

いきいき安心プランⅧまつど

第10期松戸市高齢者保健福祉計画

第9期松戸市介護保険事業計画

策定のためのアンケート調査 報告書

(市民アンケート調査編)

本報告書の対象調査

若年者調査

一般高齢者調査

事業対象者・要支援認定者調査

要介護認定者（軽度）調査

要介護認定者（重度）調査

令和6年3月

松戸市

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査実施の概要	3
3. 調査結果の表示方法	5
4. 標本誤差について	6
第2章 市民アンケート調査設問一覧表	7
1. 市民アンケート調査設問一覧表	9
第3章 調査の結果	17
1. 回答者属性情報	19
2. ご自身について	23
3. ご家族や生活状況について	24
4. 身体状況について	35
5. 食事・飲酒・喫煙について	45
6. からだを動かすことについて	52
7. 毎日の生活について	63
8. 地域での活動について	90
9. たすけあいについて	105
10. 住んでいる地域について	120
11. 認知症に関することについて	130
12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて.....	141
13. 権利擁護・成年後見制度について	163
14. 市の高齢者施策について	169
15. 介護に関することについて	179
16. 各種リスク高齢者の割合について	187
17. 圏域別集計について	196
巻末資料 調査票	211
1. 若年者調査 調査票	213
2. 一般高齢者調査 調査票	223
3. 事業対象者・要支援認定者調査 調査票	237
4. 要介護認定者（軽度）調査 調査票	251
5. 要介護認定者（重度）調査 調査票	263

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から8年度までの3年間を計画期間とした「いきいき安心プランⅧまつど（第10期松戸市高齢者保健福祉計画・第9期松戸市介護保険事業計画）」策定に向けて、市民の介護に対する考え方、保健、医療及び福祉サービスの利用実態や課題を分析・整理し、地域における高齢者施策の総合的な推進を図るための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2. 調査実施の概要

	若年者調査	一般高齢者調査	事業対象者・ 要支援認定者調査	要介護認定者 (軽度)調査	要介護認定者 (重度)調査
対 象	介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民	介護予防・日常生活支援総合事業対象の特定を受けていない市民及び介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民	介護予防・日常生活支援総合事業対象の特定を受けている市民及び介護保険の要支援の認定を受けている市民	介護保険の要介護認定1・2を受けている市民（施設入所者除く）	介護保険の要介護認定3・4・5を受けている市民（施設入所者除く）
年齢区分	40歳～64歳	65歳～	40歳～		
基準日	令和4年10月1日				
母集団	174,444人	104,189人	7,102人	13,017人	
標本数	3,000人	10,500人	3,000人	4,500人	
標本割合	1.7%	10.1%	42.2%	34.6%	
抽出方法	15圏域による層化無作為抽出			無作為抽出	
1圏域あたり抽出数	200人	700人	200人	—	
調査期間	令和4年11月16日～令和4年12月13日 4週間 (調査票回収については令和5年1月13日まで有効。若年者調査については礼状兼督促状1回送付)				
調査方法	郵送配布・郵送回収 及び WEB アンケート 併用				
配布数	2,998件	10,508件	3,015件	2,845件	1,635件
回答数	1,084件	5,744件	1,694件	1,225件	669件
郵送回答数	698件	5,377件	1,645件	1,131件	612件
WEB回答数 (WEB率)	386件 (35.6%)	367件 (6.4%)	49件 (2.9%)	94件 (7.7%)	57件 (8.5%)
回答率 (前回回答率)	36.2% (33.5%)	54.7% (52.9%)	56.2% (53.8%)	43.1% (40.7%)	40.9% (37.1%)

第1章 調査の概要

調査にあたり、下記の15の日常生活圏域を基に、調査票の配布・回収及び集計を行いました。

地区	地域
① 明第1	根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目・松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台・稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台
② 明第2西	栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目・樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目
③ 明第2東	上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花・竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目・南花島中町・南花島向町
④ 本庁	本町・松戸・小山・二十世紀が丘美野里町
⑤ 矢切	上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目・二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）西側〕・栗山
⑥ 東部	河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目・秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）東側〕・二十世紀が丘丸山町・二十世紀が丘中松町・二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町
⑦ 常盤平	金ヶ作・千駄堀・常盤平1～7丁目〔常盤平団地の担当地域を除く〕・常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前・常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮・日暮1～8丁目・常盤平松葉町
⑧ 常盤平団地	常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区・常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅・セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区・常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅
⑨ 五香松飛台	串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目・五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六美
⑩ 六美六高台	高柳・高柳新田・六美1～7丁目・六高台西・六高台1～9丁目
⑪ 小金	幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀・殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金・小金きよしヶ丘1～5丁目・小金上総町・小金清志町1～3丁目・二ツ木・二ツ木二葉町・根木内（国道6号西側）
⑫ 小金原	根木内（国道6号東側）・小金原1～9丁目・栗ヶ沢・八ヶ崎1丁目・小金1700番台
⑬ 新松戸	横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東・新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台
⑭ 馬橋西	旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田・新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町・西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋（JR線西側）
⑮ 馬橋	馬橋（JR線東側）・三ヶ月・幸谷・八ヶ崎・八ヶ崎緑町・八ヶ崎2～8丁目・中根・新作・中根長津町・中和倉

3. 調査結果の表示方法

- 図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしています。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。
- 複数回答の図表においては、傾向をよりわかりやすくするために、「その他」「無回答」などを除き、選択肢を回答率（%）の高いものから低いものへと並び替えて表示している場合があります。
- クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略しています。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しません。
- 各調査については、日常生活圏域ごとの分析を行うことを目的に、一定の人数を各日常生活圏域から抽出して調査しています。しかしながら各日常生活圏域の人口比率や要支援・要介護者数の比率は異なることから、人口が多い地域の回答には、より重み（ウェイト）をつけるなど、実際の高齢者の人口比率や要支援・要介護認定者数の比率に合わせて補正を行っています（ウェイトバック集計）。
- 無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計しています。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 選択肢「その他」の回答割合が10%を超えているものについては、代表的な意見や内容を記しています。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していません。
- 調査結果について、次のように表記しています。
 - 「大きな変化はなく」：（四捨五入して）±1%未満の増減
 - 「微増・微減」：（四捨五入して）±1%～±3%未満の増減
 - 「増加・減少」：（四捨五入して）±3%～±10%未満の増減
 - 「大幅に増加・減少」：（四捨五入して）±10%以上の増減

4. 標本誤差について

各調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」です。調査結果の比率から母集団（各調査属性を備えた対象者全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要があります。各回答比率での標本誤差は次の早見表の通りとなります。

例えば有効回答数が5,744人である一般高齢者調査の場合、ある質問の回答が50%となったとき、松戸市内の一般高齢者のこの質問に対する回答は、48.7%～51.3%の間にあると考えてよいこととなります。一方、一般高齢者調査のうち、ある圏域での有効回答数が250人である場合は、ある圏域にお住まいの一般高齢者のこの質問に対する回答は43.8%～56.2%の間にあると考えてよいこととなり、対象となる有効回答数が少なくなるほど標本誤差が大きくなります。

・標本誤差の算出式（ただし、信頼度を95%とする。）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left(\begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{有効回答数} \\ P = \text{回答比率} \end{array} \right)$

各回答比率における標本誤差早見表

回答比率 (P) 有効回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
5,744	± 0.78%	± 1.03%	± 1.19%	± 1.27%	± 1.29%
2,500	± 1.18%	± 1.57%	± 1.80%	± 1.92%	± 1.96%
1,694	± 1.43%	± 1.90%	± 2.18%	± 2.33%	± 2.38%
1,225	± 1.68%	± 2.24%	± 2.57%	± 2.74%	± 2.80%
1,084	± 1.79%	± 2.38%	± 2.73%	± 2.92%	± 2.98%
1,000	± 1.86%	± 2.48%	± 2.84%	± 3.04%	± 3.10%
750	± 2.15%	± 2.86%	± 3.28%	± 3.51%	± 3.58%
669	± 2.27%	± 3.03%	± 3.47%	± 3.71%	± 3.79%
500	± 2.63%	± 3.51%	± 4.02%	± 4.29%	± 4.38%
250	± 3.72%	± 4.96%	± 5.68%	± 6.07%	± 6.20%
100	± 5.88%	± 7.84%	± 8.98%	± 9.60%	± 9.80%

第 2 章 市民アンケート調査設問一覧表

1. 市民アンケート調査設問一覧表

質 問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
1. 回答者属性情報						19
この調査票を記入されるのはどなたですか。	○	○	○	○	○	22
						23
あなたの現在の就業状況をお答えください。	○	○	○	○		23
↳【働いていないと答えた方】 働いていない理由を教えてください。		○	○	○		23
						24
家族構成を教えてください。	○	○	○	○	○	24
家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。	○	○	○	○	○	25
↳【家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方】 その方の年齢はいくつですか。	○	○	○	○	○	25
世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。	○	○	○	○	○	26
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	○	○	○	○	○	28
あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。	○	○	○	○	○	29
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。		○	○	○	○	30
↳【現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。		○	○	○	○	31
↳【介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方】 あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。		○	○	○	○	33
↳【現在、介護・介助を受けていると答えた方】 主にどなたに介護・介助を受けていますか。		○	○	○	○	34
						35
あなたの身長と体重をご回答ください。		○	○	○		35
この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。		○	○	○		36
現在のあなたの健康状態はいかがですか。	○	○	○	○	○	37
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	○	○	○	○	○	38
あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。	○	○	○	○	○	41
あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。	○	○	○	○	○	41
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。	○	○	○	○	○	42

第2章 市民アンケート調査設問一覧表

質問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
㊦【入れ歯を利用していると答えた方】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。	○	○	○	○	○	43
なんでもよく噛めますか。	○	○	○	○	○	44
耳の聞こえに関して感じることはありますか。		○	○	○	○	44
						45
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。		○	○	○		45
お茶や汁物などでむせることがありますか。		○	○	○		46
口の渇きが気になりますか。		○	○	○		47
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	○	○	○	○	○	48
お酒は飲みますか。	○	○	○	○	○	49
タバコは吸っていますか。	○	○	○	○	○	50
どなたかと食事をとにもする機会がありますか。	○	○	○	○	○	51
						52
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。		○	○	○		52
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		○	○	○		53
15分くらい続けて歩いていますか。		○	○	○		54
過去1年間に転んだ経験がありますか。		○	○	○	○	55
転倒に対する不安は大きいですか。		○	○	○	○	56
週に1回以上は外出していますか。		○	○	○	○	57
昨年と比べて外出の回数が減っていますか。		○	○	○	○	58
外出を控えていますか。		○	○	○		59
㊦【外出を控えていると答えた方】 外出を控えている理由は何ですか。		○	○	○		60
㊦【外出を控えていると答えた方】 どのような支援があれば外出できますか。		○	○	○		61
外出する際の移動手段は何ですか。		○	○	○	○	62
						63
物忘れが多いと感じますか。		○	○	○		63
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。		○	○	○		64

質 問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
今日が何月何日かわからない時がありますか。		○	○	○		65
バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）		○	○	○		66
自分で食品・日用品の買い物をしていますか。		○	○	○		67
自分で食事の用意をしていますか。		○	○	○		68
自分で請求書の支払いをしていますか。		○	○	○		69
自分で預貯金の出し入れをしていますか。		○	○	○		70
スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ（例：LINE 等）を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。		○	○	○	○	71
↳【いずれも行ったことがないと答えた方】 行ったことがない理由はなんですか。		○	○	○	○	72
友人の家を訪ねていますか。		○	○	○		73
家族や友人の相談にのっていますか。		○	○	○		74
病人を見舞うことができますか。		○	○	○		75
ペットを飼っていますか。		○	○	○	○	76
↳【ペットを飼っていると答えた方】 ペットを飼っていて困ることはありますか。		○	○	○	○	77
生きがいがありますか。	○	○	○	○	○	78
↳【生きがいがあると答えた方】 「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。	○	○	○	○	○	79
あなたは、現在の程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください）。	○	○	○	○	○	81
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	○	○	○	○	○	83
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	○	○	○	○	○	84
普段の生活に困っていることはありますか。		○	○	○		85
あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。		○	○	○	○	86
フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。	○	○	○	○		88
コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響として感じていることはありますか。		○	○	○		89
						90
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。	○	○	○	○		90
① ボランティアのグループ	○	○	○	○		91
② スポーツ関係のグループやクラブ	○	○	○	○		91
③ 趣味関係のグループ	○	○	○	○		92

第2章 市民アンケート調査設問一覧表

質問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
④ 学習・教養サークル	○	○	○	○		93
⑤ 元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場		○	○	○		94
⑥ シニアクラブ（老人クラブ）		○	○	○		95
⑦ 町会・自治会		○	○	○		96
⑧ 収入のある仕事		○	○	○		97
会・グループに1つでも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。		○	○	○		98
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○		99
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）</u> として参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○		100
↳【企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方】 活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはありますか。	○	○	○	○		101
仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいと思いませんか。		○	○	○		102
市内らか所にある老人福祉センター（60歳以上が対象）を利用したことがありますか。		○	○	○		102
↳【現在は利用していない、利用したことがないと答えた方】 「利用していない」「利用したことがない」理由はありますか。		○	○	○		103
今後の老人福祉センターに希望することは何ですか。		○	○	○		104
						105
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。	○	○	○	○		105
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。	○	○	○	○		106
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。	○	○	○	○		108
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。	○	○	○	○		109
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えて下さい。	○	○	○	○	○	111
友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。		○	○	○		113
この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。		○	○	○		114
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。		○	○	○		115
あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合いとして、協力できることはどのようなことですか。	○	○	○			116
あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力できることはどのようなことですか。	○	○	○			117

質問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることは何ですか。	○	○	○			118
地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。	○	○	○	○		119
120						
あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。	○	○	○	○	○	120
あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。	○	○	○	○	○	120
あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。	○	○	○	○	○	122
避難するにあたり不安はありますか。	○	○	○	○	○	123
高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。	○	○	○			125
最も頼りにしているかかりつけ医療機関はどこにありますか。	○	○	○	○	○	126
↳【かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方】 市外の医療機関にかかる理由はなんですか。	○	○	○	○	○	127
最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにありますか。	○	○	○	○	○	128
かかりつけ（いつも利用する）薬局はありますか。	○	○	○	○	○	129
130						
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	○	○	○			130
認知症に関する相談窓口を知っていますか。	○	○	○			131
認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。	○	○	○			132
オレンジカフェ（認知症カフェ）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○	134
松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。	○	○	○			136
松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうが良いと思うものはどれですか。	○	○	○	○	○	138
141						
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。	○	○	○	○		141
以下の①～③のサービスについて知っていましたか、また利用してみたいと思いますか。	○	○	○	○		142
① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）	○	○	○	○		142
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）	○	○	○	○		142
③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）	○	○	○	○		143
介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いますか。	○	○	○	○		144

第2章 市民アンケート調査設問一覧表

質 問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。			○	○	○	145
↳【介護保険サービス等を利用していると答えた方】 次のような在宅サービスを利用していますか。			○	○	○	146
↳【介護保険サービス等を利用していると答えた方】 介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。			○	○	○	148
↳【介護保険サービス等を利用していないと答えた方】 あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。			○	○	○	150
以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○	152
① 小規模多機能型居宅介護			○	○	○	153
② 看護小規模多機能型居宅介護	○	○	○	○	○	153
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○	○	○	○	○	153
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。	○	○	○	○	○	154
↳【自宅で介護を希望と答えた方】 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○	156
↳【自宅で介護を希望と答えた方】 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。	○	○	○	○	○	157
↳【外部の介護を受けたいと答えた方】 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○	159
今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどのように考えますか。	○	○	○	○	○	161
						163
あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○	163
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。	○	○	○	○	○	164
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。	○	○	○	○	○	165
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○	166
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。	○	○	○	○	○	167
成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。	○	○	○	○	○	168
						169
福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○	169
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○	170
松戸市では、在宅医療と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。	○	○	○	○	○	172

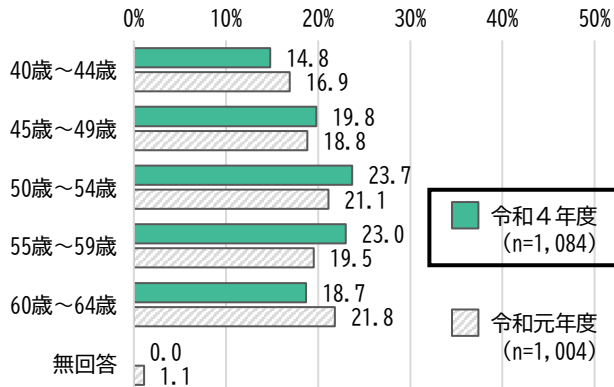
質 問	若年者	一般高齢者	事業対象・要支援者	要介護者（軽度）	要介護者（重度）	該当ページ
在宅医療を利用してみたいと思いますか。			○	○	○	173
↳【在宅医療をすでに利用していると答えた方】 在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。			○	○	○	174
↳【在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと答えた方】 在宅医療を利用するとしたら不安を感じることはありませんか。			○	○	○	175
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。 家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。	○	○				176
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○	177
179						
以下のケアに関する用語のうち、名称・内容ともに知っているものはどれですか。 (ケアラー、ヤングケアラー、ダブルケア)	○	○	○	○	○	179
あなたが現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思えますか。	○	○	○			180
あなたは、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。	○	○	○			182
介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。	○	○	○			184
「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。 「介護者のつどい」について知っていましたか。また、参加してみたいと思えますか。	○	○	○			185
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。	○	○	○			185
介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。	○	○				186

第 3 章 調査の結果

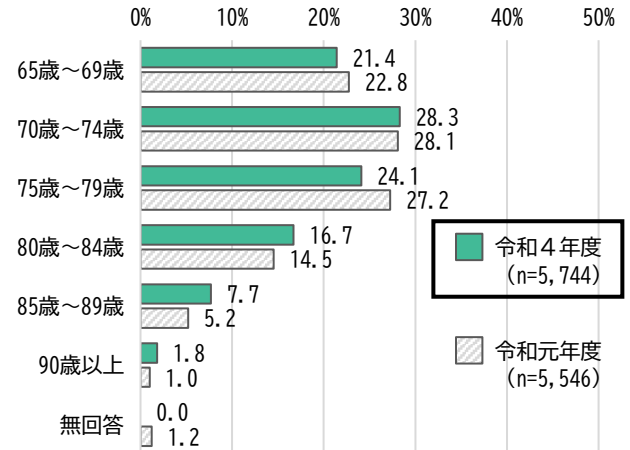
1. 回答者属性情報

(1) 年齢

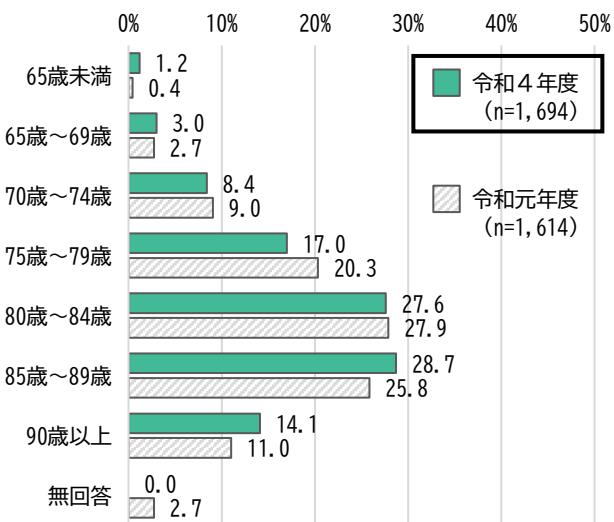
■ 若年者



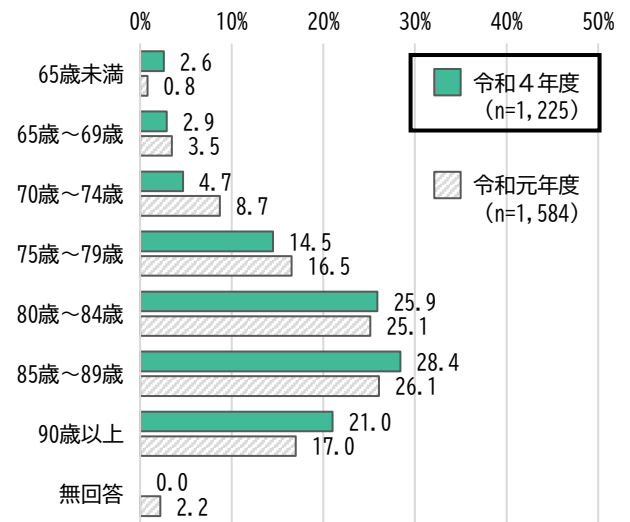
■ 一般高齢者



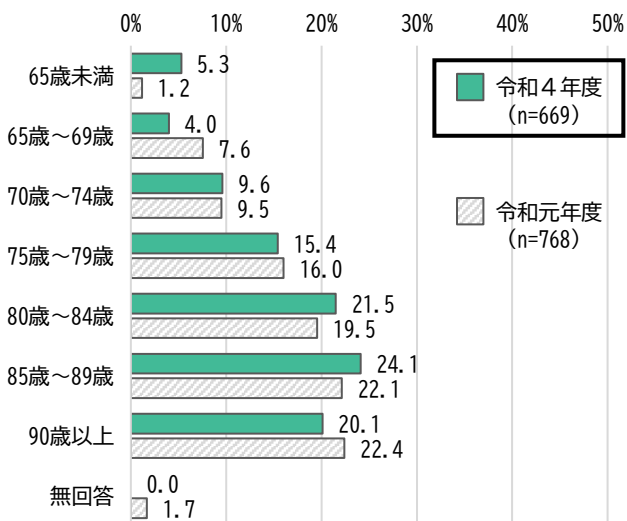
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

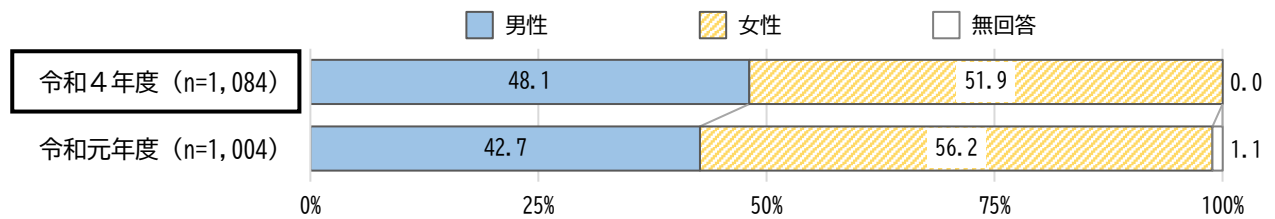


■ 要介護者（重度）

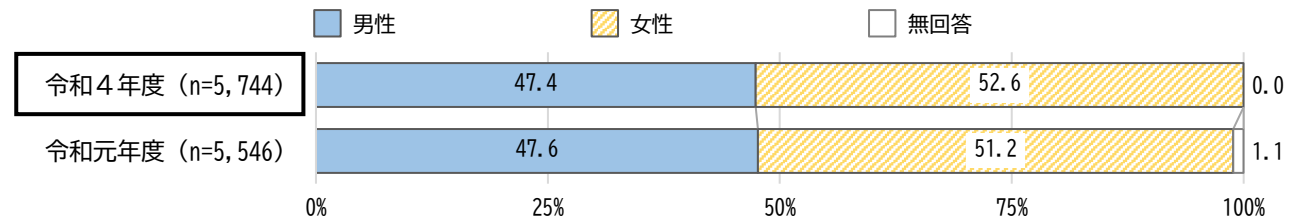


(2) 性別

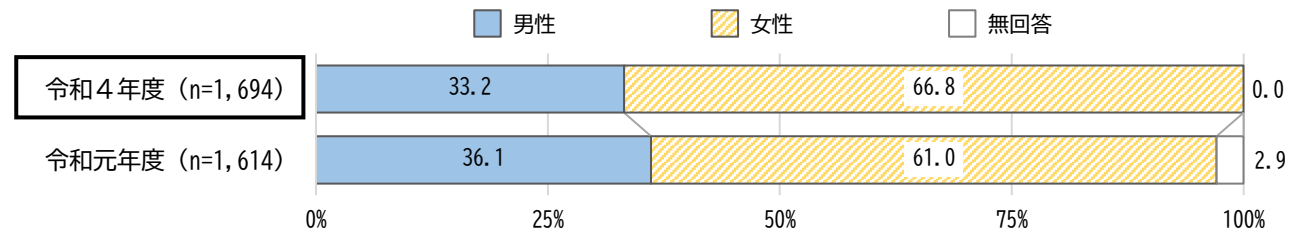
■ 若年者



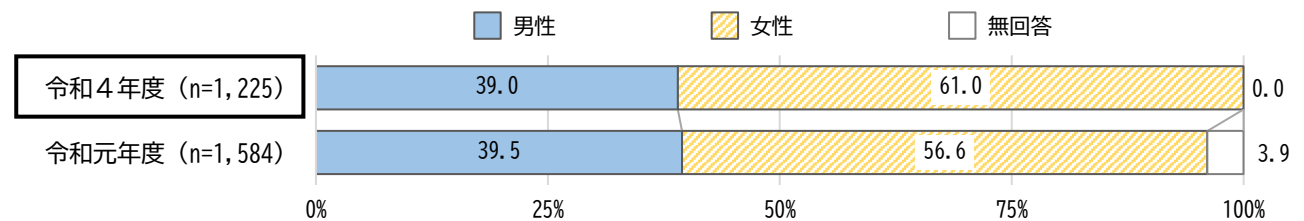
■ 一般高齢者



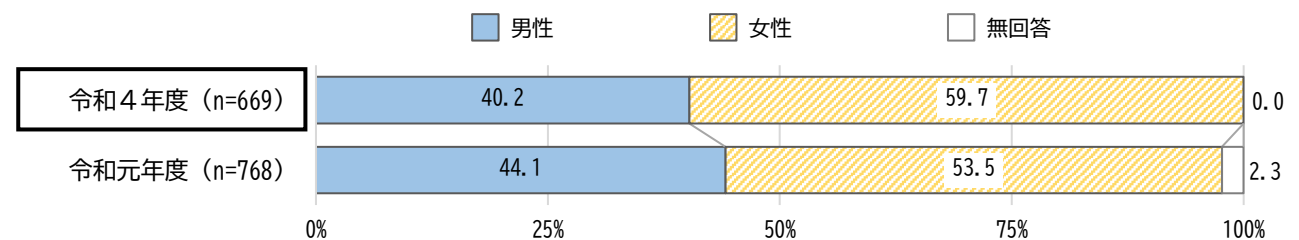
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

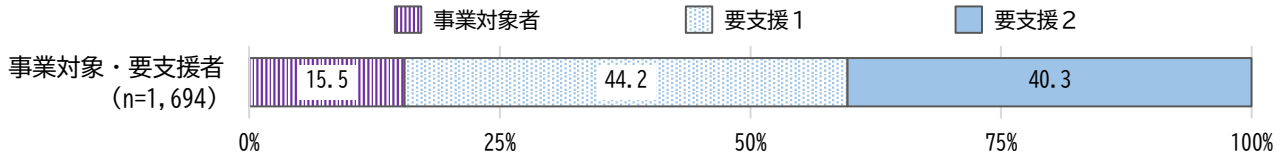


■ 要介護者（重度）

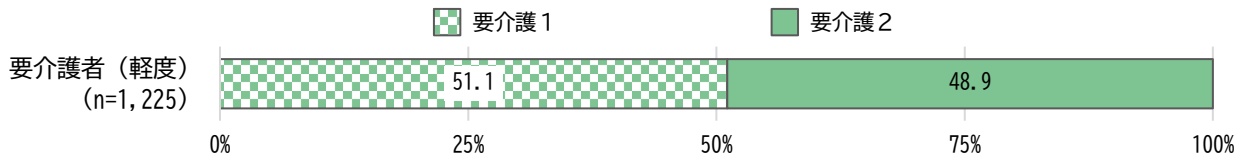


(3) 要介護度

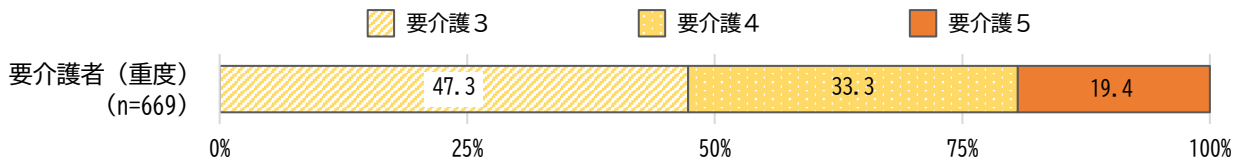
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

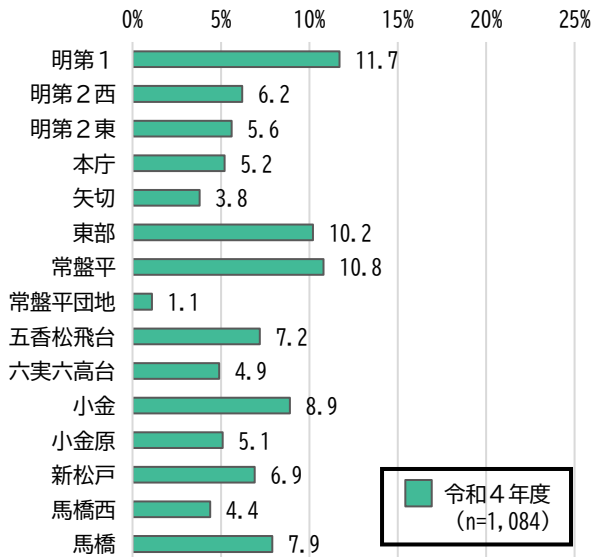


■ 要介護者（重度）

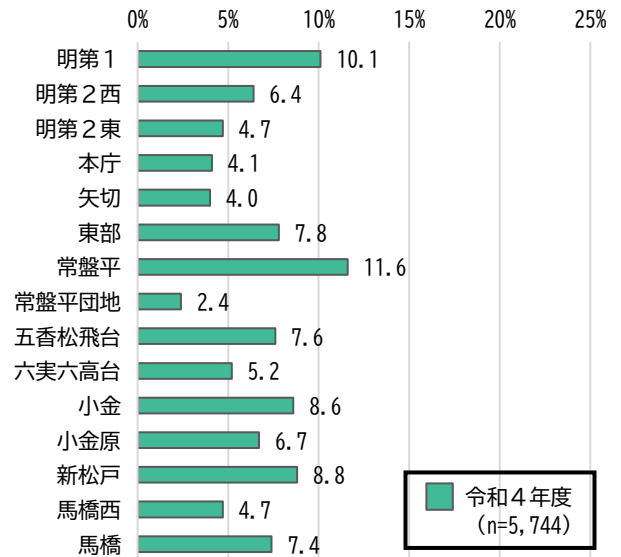


(4) 日常生活圏域 (15 圏域)

■ 若年者



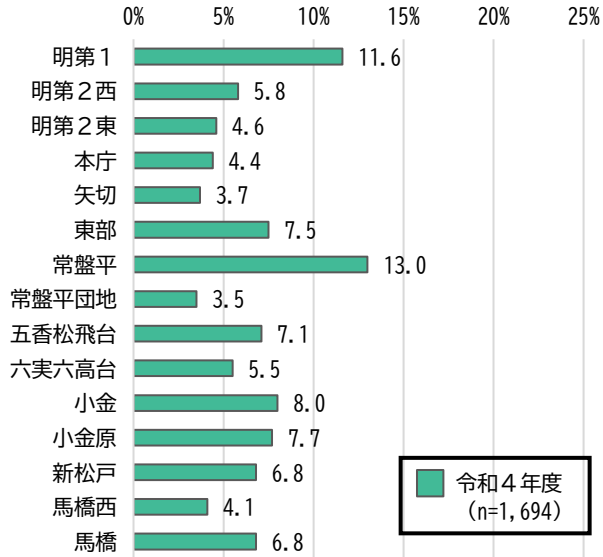
■ 一般高齢者



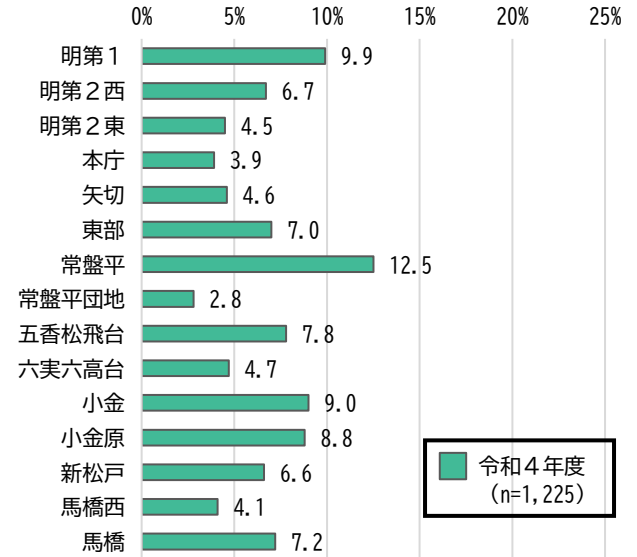
※実際の人口比率に合わせて補正を行うウェイトバック集計を行っている為、実際の回答者数の割合とは異なります。

第3章 調査の結果 「1. 回答者属性情報」

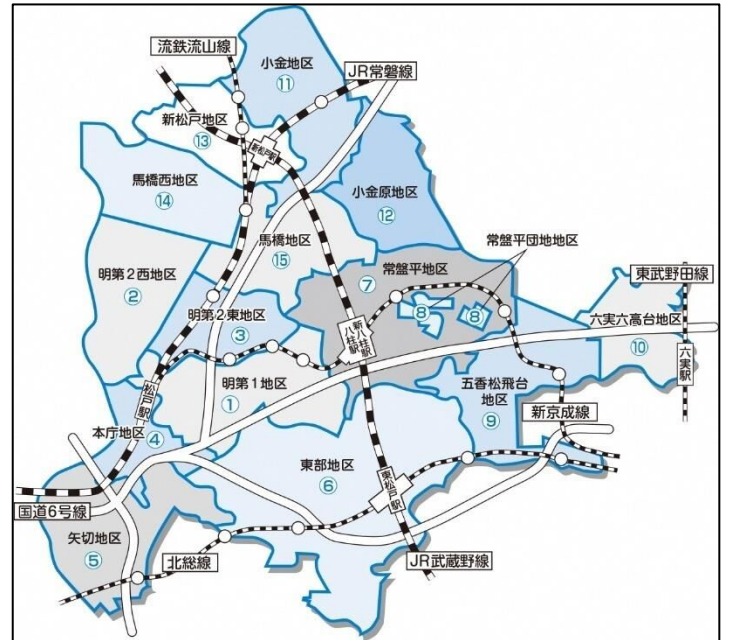
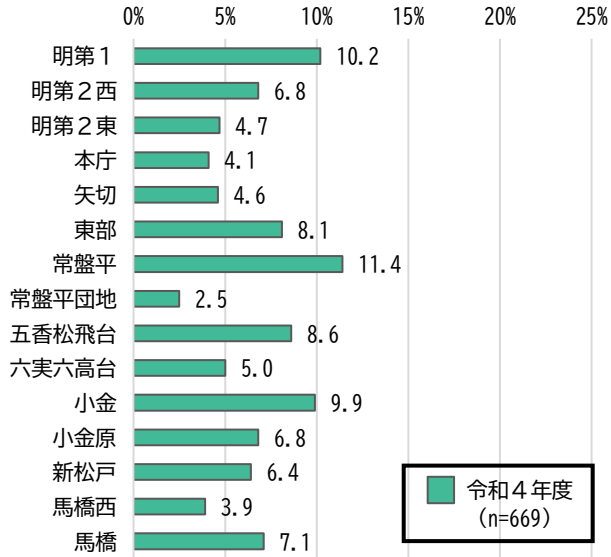
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

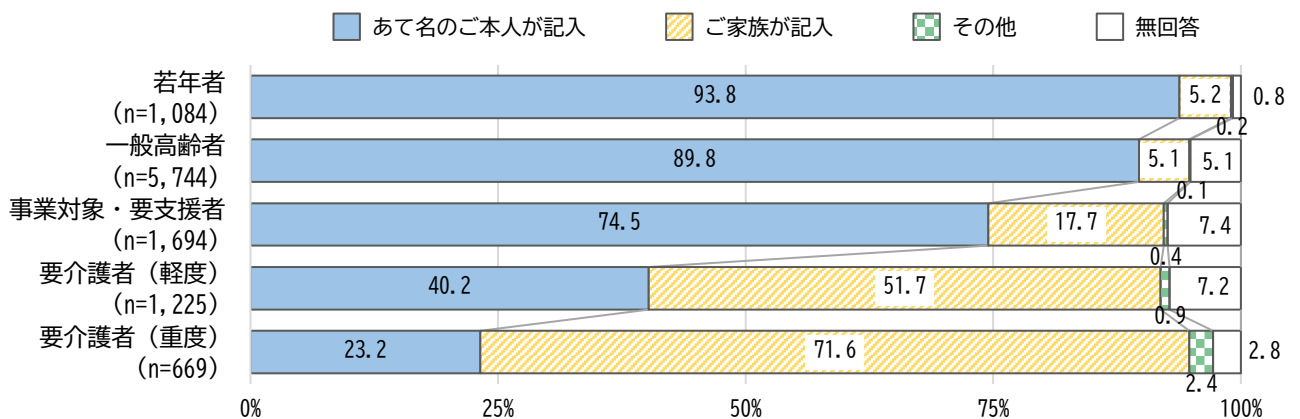


■ 要介護者（重度）



※実際の人口比率に合わせて補正を行うウェイトバック集計を行っている為、実際の回答者数の割合とは異なります。

(5) 調査票の回答者

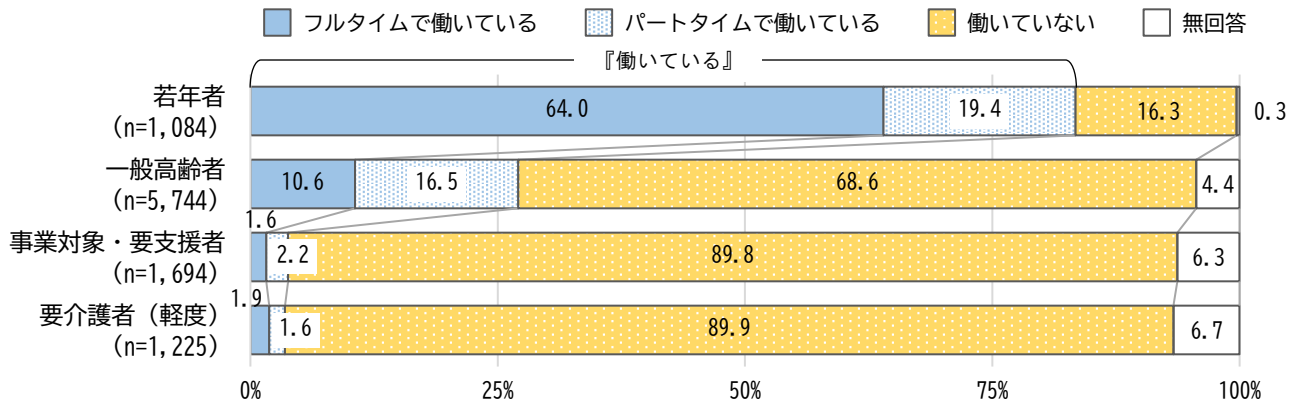


2. ご自身について

(1) 就業状況

あなたの現在の就業状況をお答えください。(1つの番号に○)

現在の就業状況について、「フルタイムで働いている」あるいは「パートタイムで働いている」と『働いている』と回答した人の割合は、一般高齢者では27.1%、事業対象・要支援者では3.8%、要介護者（軽度）では3.5%となっています。



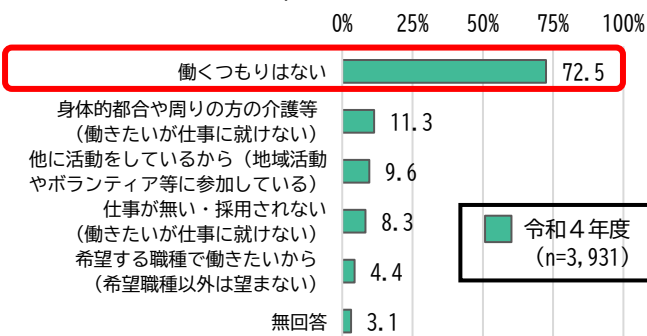
※『働いている』 = 「フルタイムで働いている」 + 「パートタイムで働いている」

働いていないと答えた方におうかがいします。

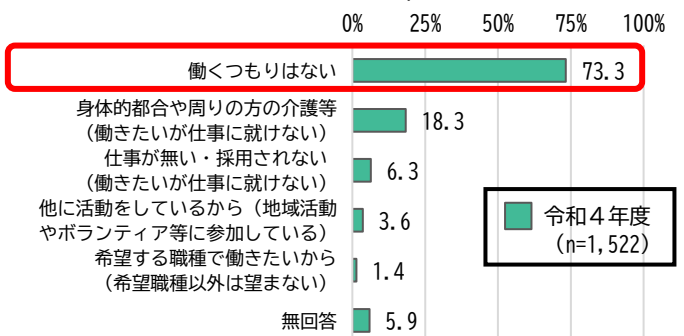
働いていない理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

働いていないと答えた方のその理由について、いずれの調査でも「働くつもりはない」と回答した人の割合が高く、70%以上となっています。

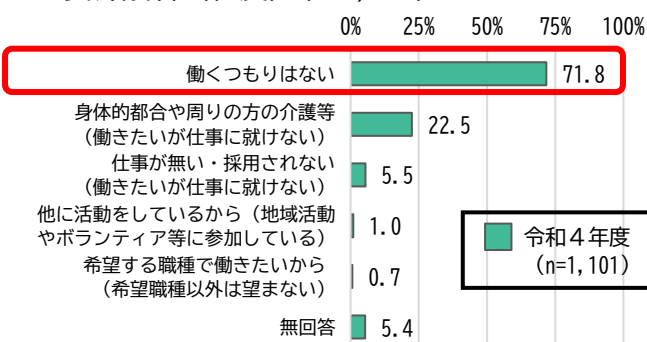
■ 一般高齢者 (n=3,931)



■ 事業対象・要支援者 (n=1,522)



■ 要介護者（軽度） (n=1,101)



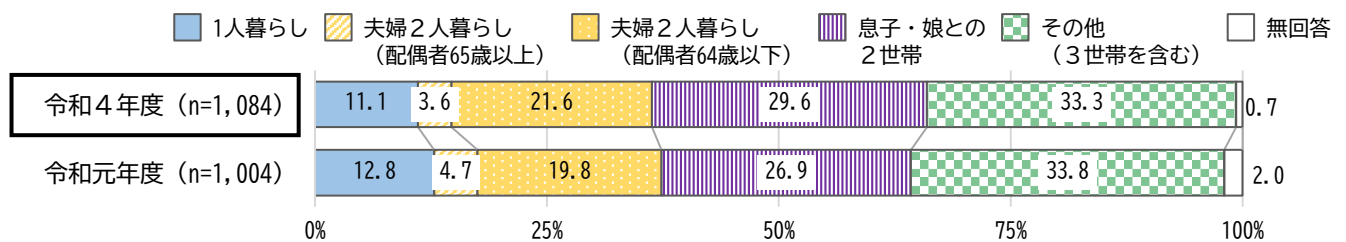
3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成等

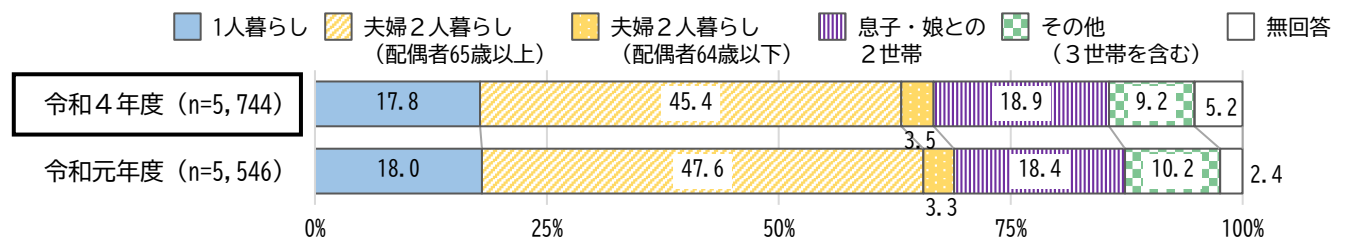
家族構成を教えてください。(1つの番号に○)

家族構成について、一般高齢者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と回答した人の割合が最も高くなっており、事業対象・要支援者では「1人暮らし」が最も高くなっています。なお、要介護者（重度）では「1人暮らし」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

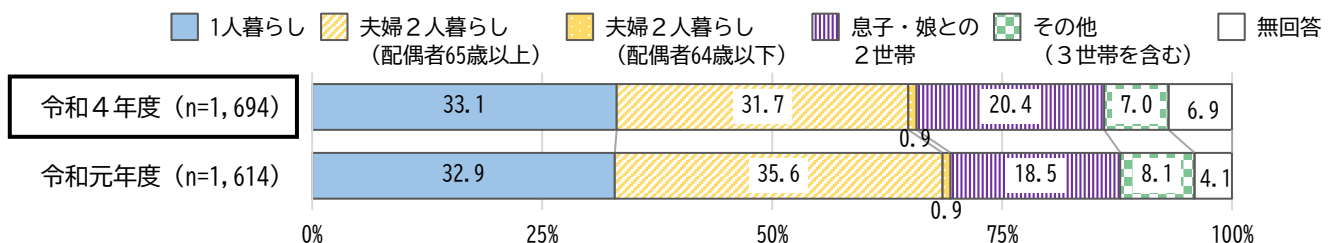
■ 若年者



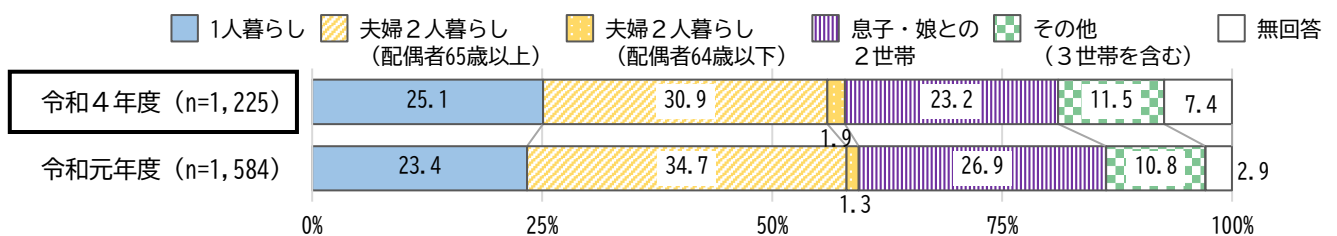
■ 一般高齢者



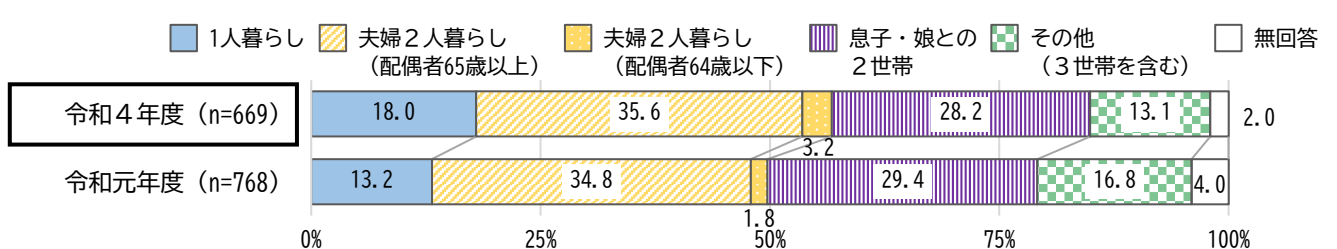
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



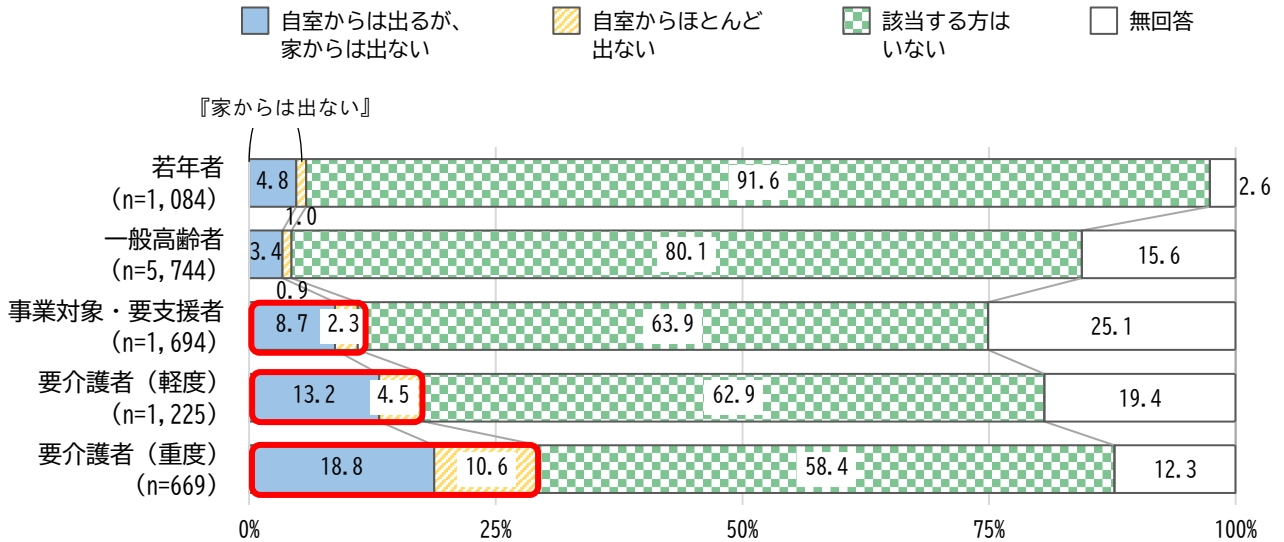
■ 要介護者（重度）



(2) 家族の中での引きこもり

家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。(1つの番号に○)

家族の中に「自室からは出るが、家からは出ない」あるいは「自室からほとんど出ない」と『家からは出ない』方がいると回答した人の割合は、事業対象・要支援者では11.0%、要介護者(軽度)では17.7%、要介護者(重度)では29.4%となっています。

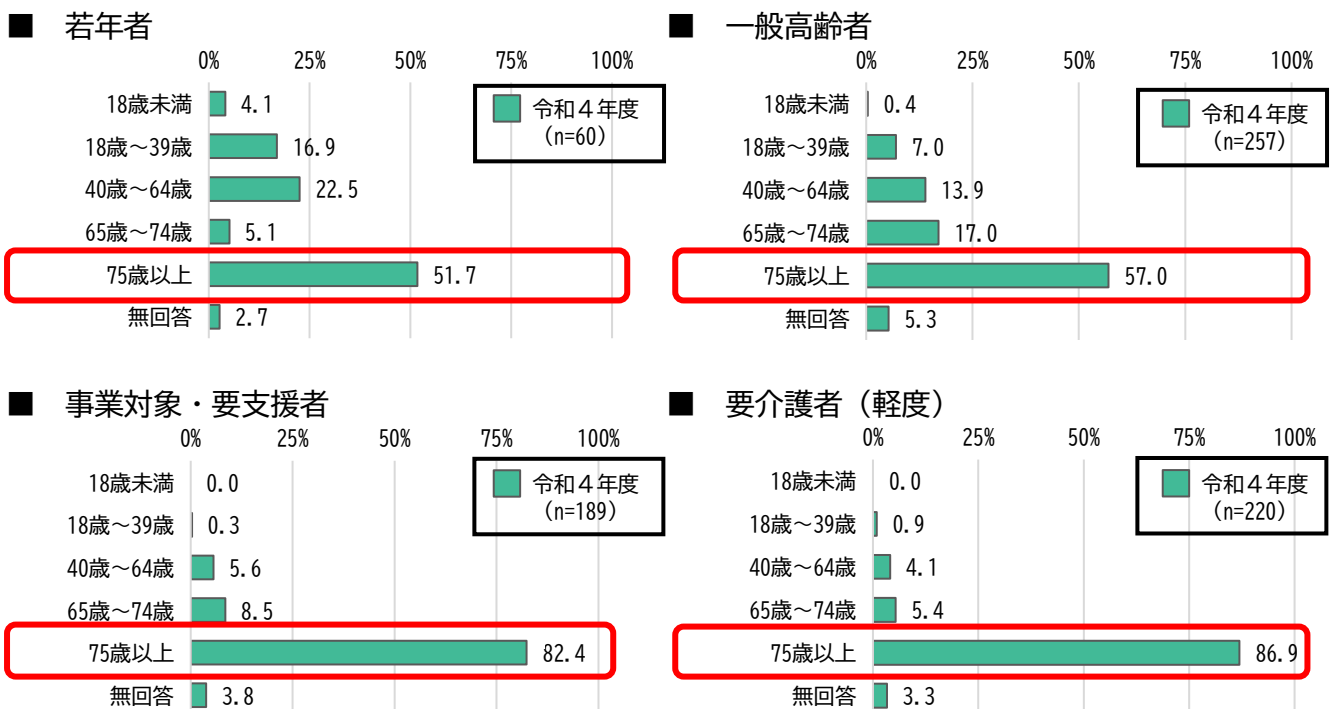


※『家からは出ない』 = 「自室からは出るが、家からは出ない」 + 「自室からほとんど出ない」

「家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいる」と答えた方におうかがいします。

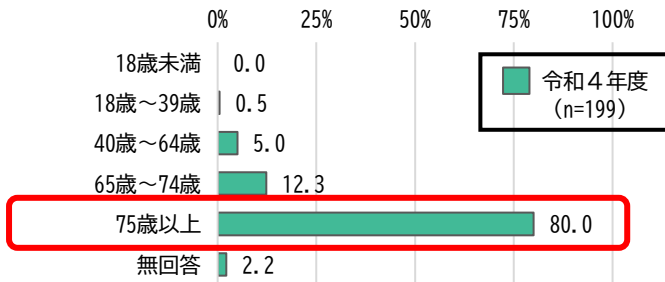
その方の年齢はいくつですか。(あてはまるものすべての番号に○)

家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方のその方の年齢について、いずれの調査でも「75歳以上」と回答した人の割合が高くなっています。



第3章 調査の結果 「3. ご家族や生活状況について」

■ 要介護者（重度）

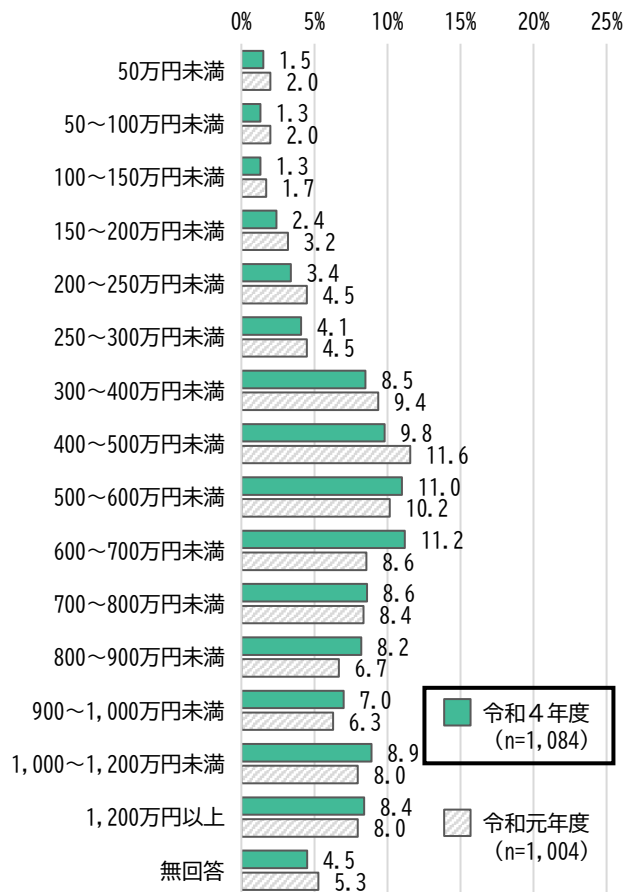


(3) 世帯収入

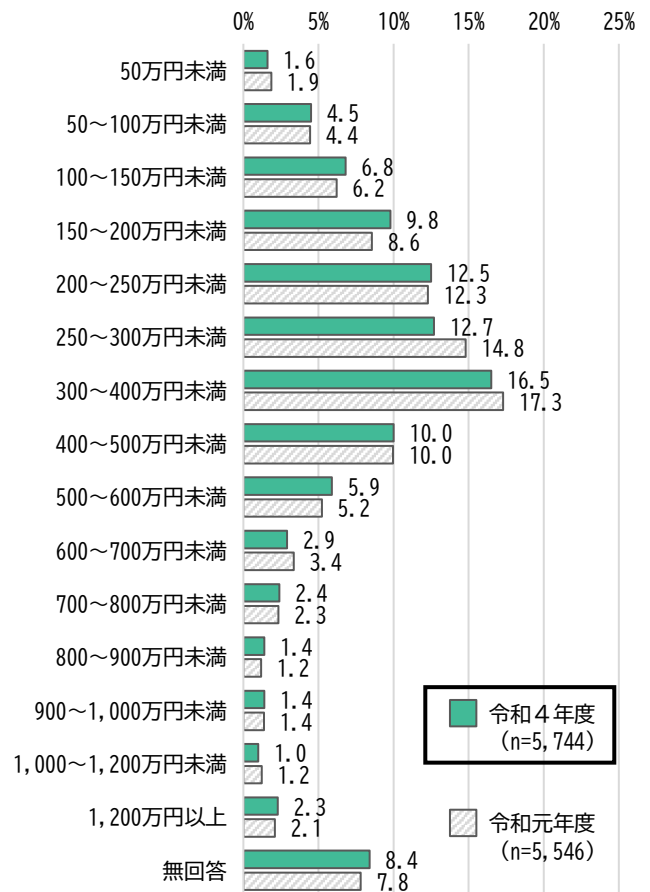
世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

各調査における世帯全体の合計収入額ごとの回答者の割合は次の通りとなっています。

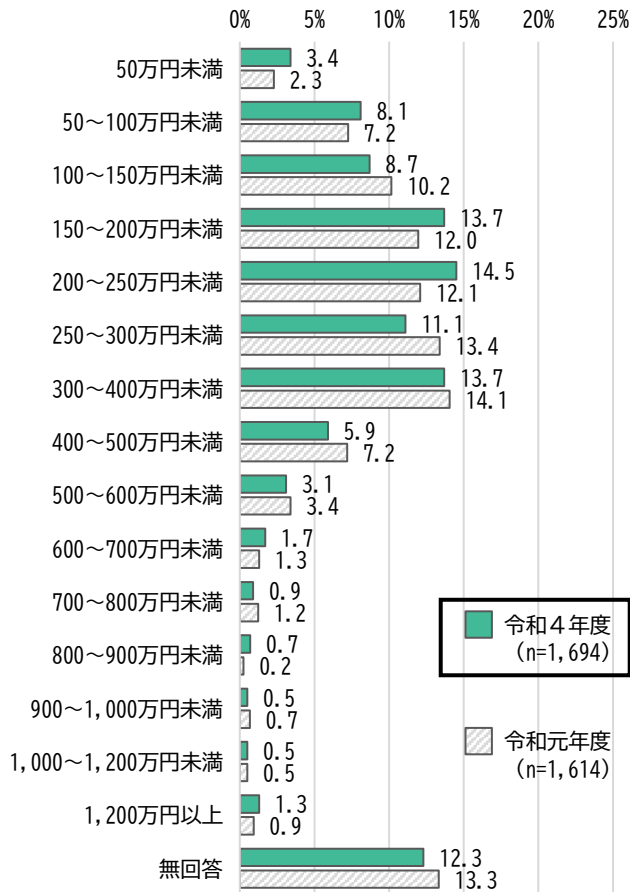
■ 若年者



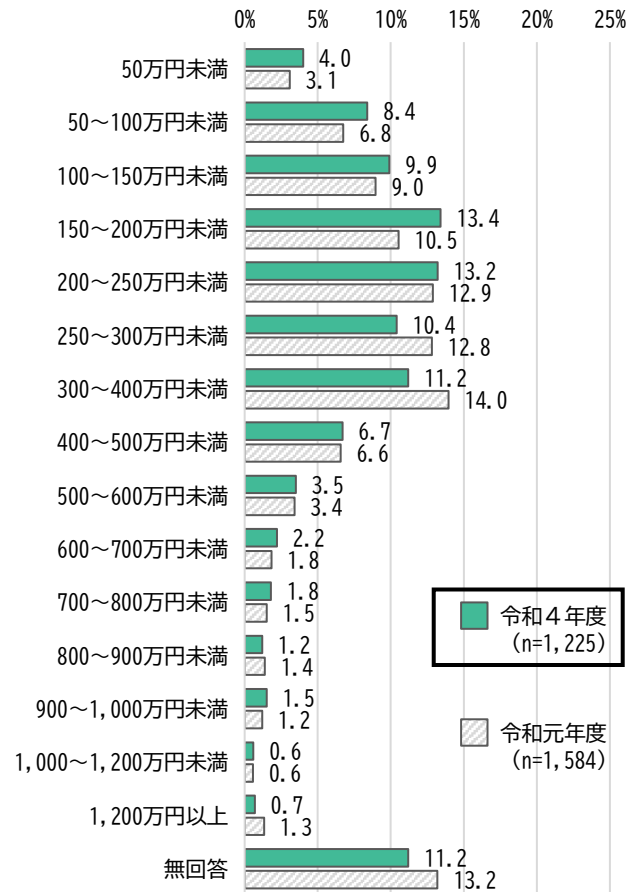
■ 一般高齢者



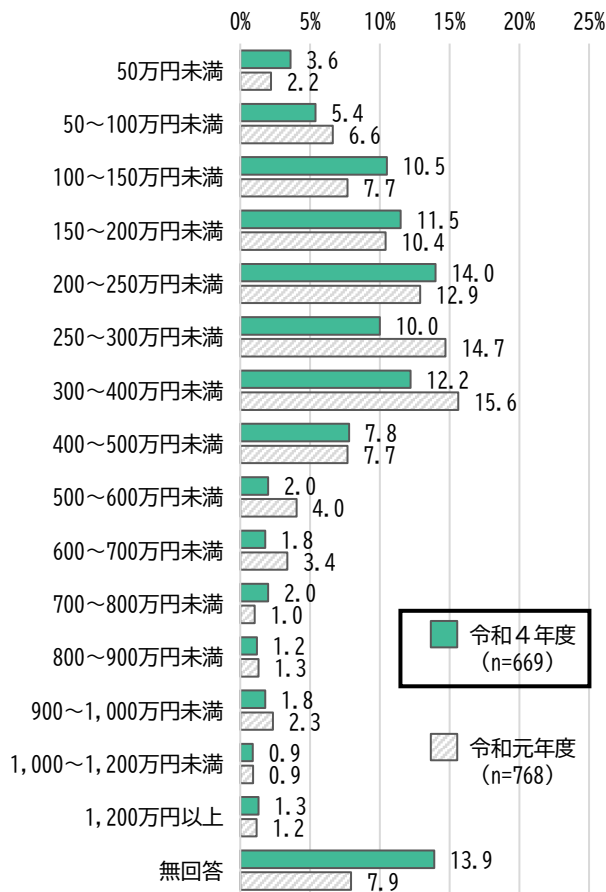
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

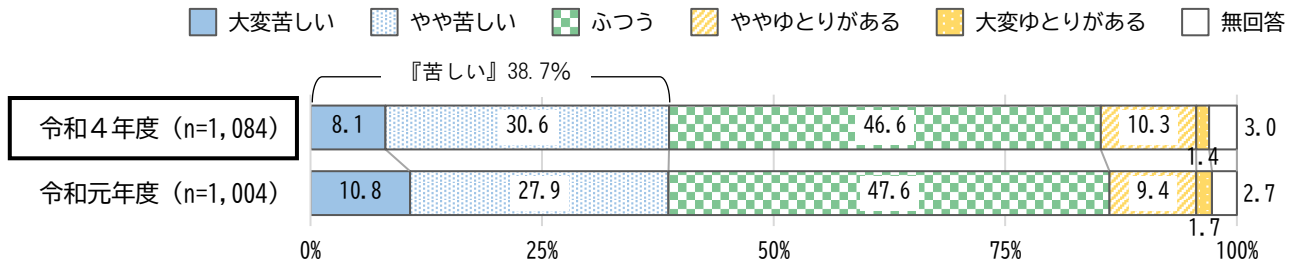


(4) 経済的にみた暮らしの状況

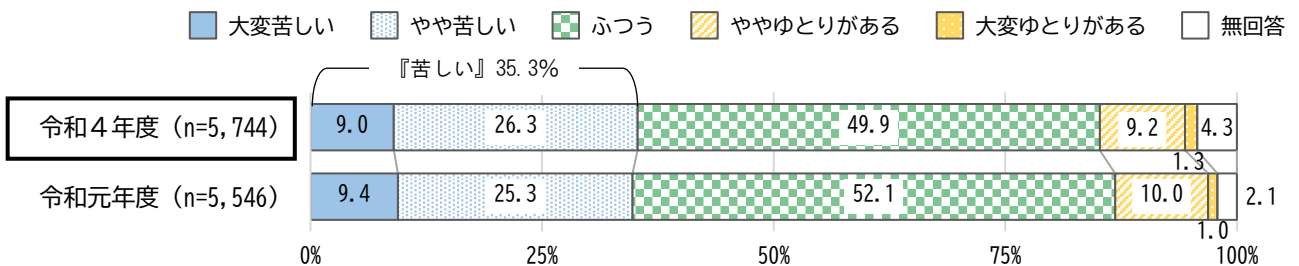
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つの番号に○)

現在の暮らしの状況を経済的にみた感じについて、「大変苦しい」あるいは「やや苦しい」と『苦しい』と回答した人の割合は、要介護者（軽度）では42.5%、要介護者（重度）では48.6%と40%を上回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

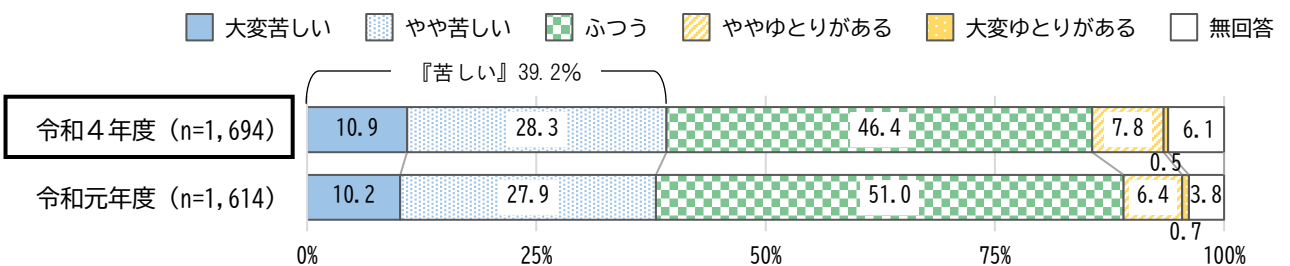
■ 若年者



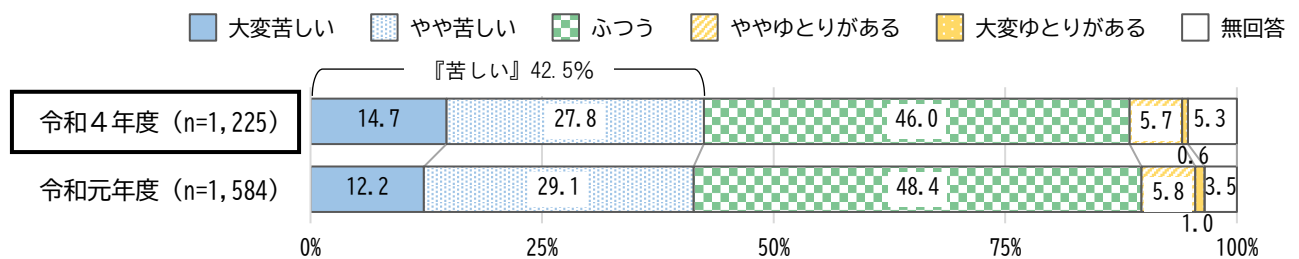
■ 一般高齢者



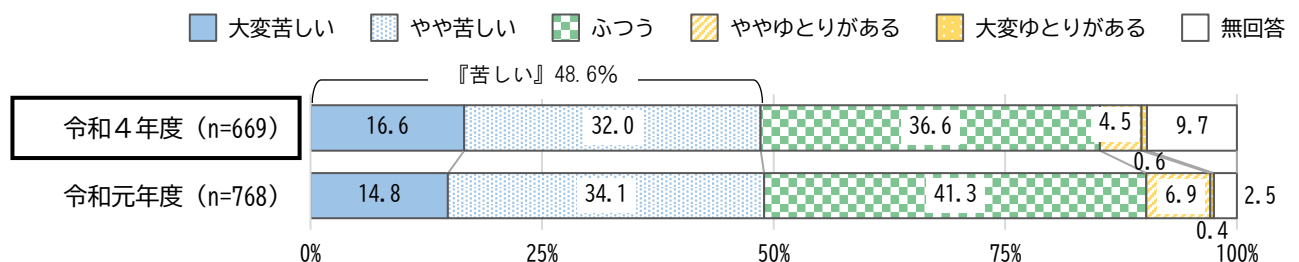
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



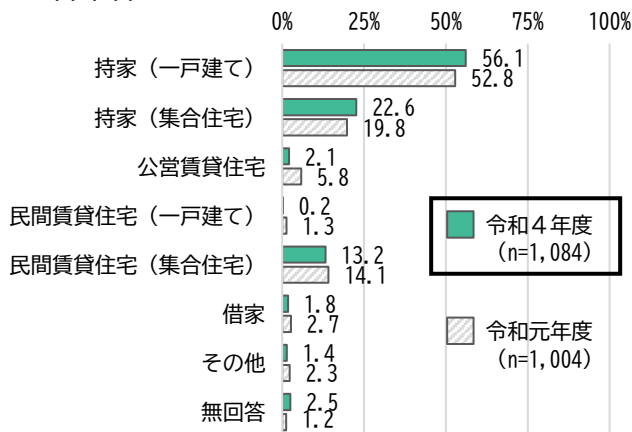
※『苦しい』 = 「大変苦しい」 + 「やや苦しい」

(5) 住宅の種類

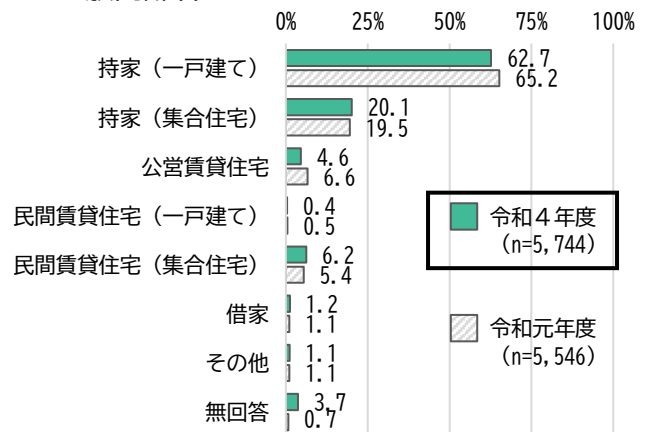
あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。(1つの番号に○)

住んでいる住宅の種類について、いずれの調査でも「持家（一戸建て）」と回答した人の割合が最も高くなる一方、若年者では「民間賃貸住宅（集合住宅）」と回答した人の割合が他調査と比較して高くなっており、事業対象・要支援者では「公営賃貸住宅」と回答した人の割合が他調査と比較して高くなっています。なお、若年者では「持家（一戸建て）」と回答した人の割合が前回調査より増加し、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では前回調査より減少または微減しています。

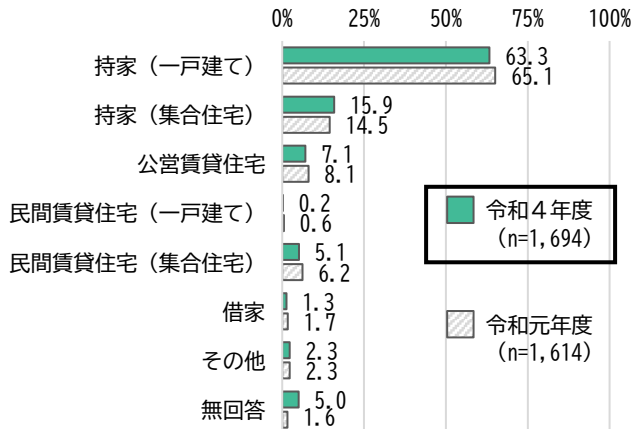
■ 若年者



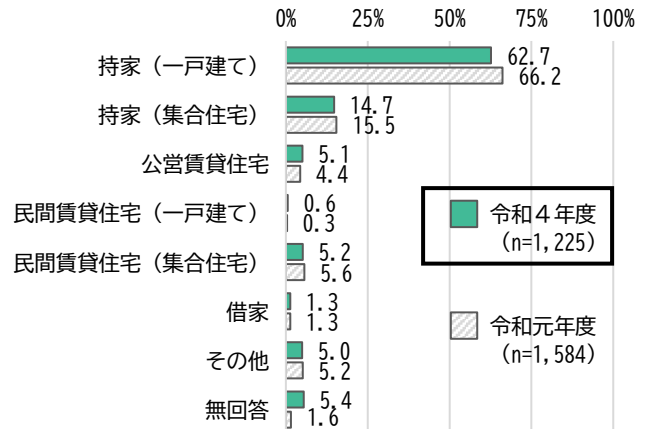
■ 一般高齢者



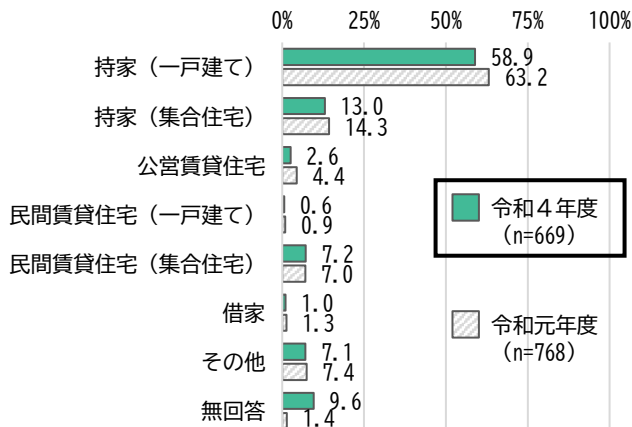
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

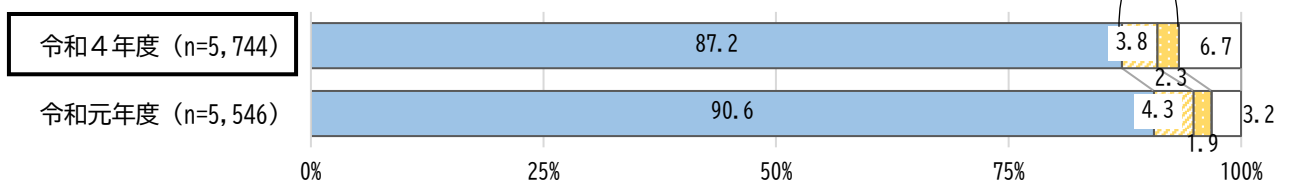
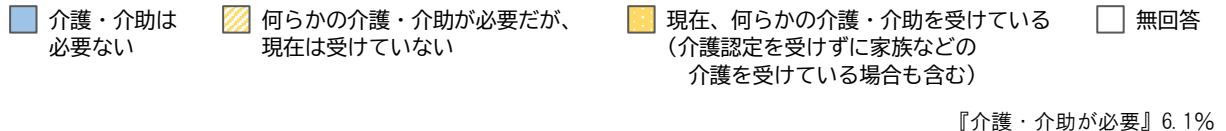


(6) 介護・介助の状況

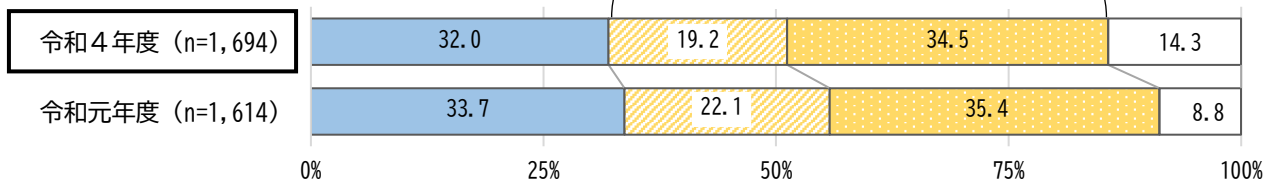
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つの番号に○)

普段の生活で「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」あるいは「現在、何らかの介護・介助を受けている」と『介護・介助が必要』と回答した人の割合は、一般高齢者では6.1%、事業対象・要支援者では53.7%、要介護者(軽度)では76.1%、要介護者(重度)では79.1%となっています。なお、一般高齢者では「介護・介助は必要ない」と回答した人の割合が前回調査より減少し、要介護者(重度)では『介護・介助が必要』と回答した人の割合が大幅に減少しています。

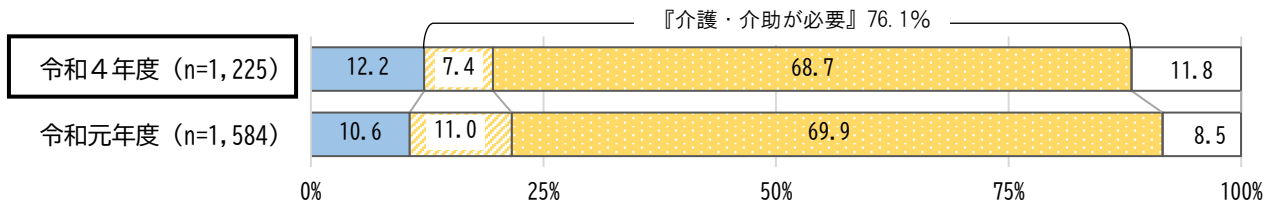
■ 一般高齢者



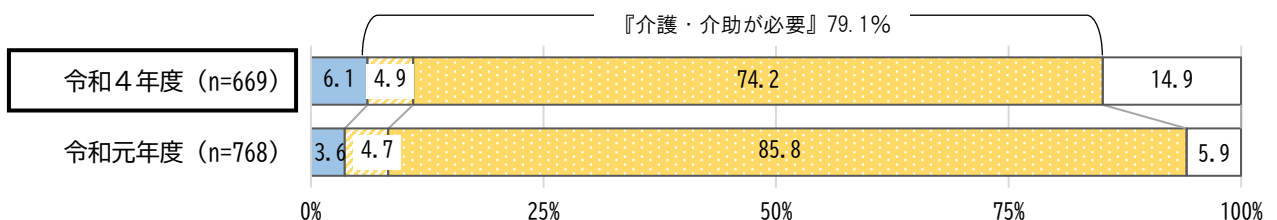
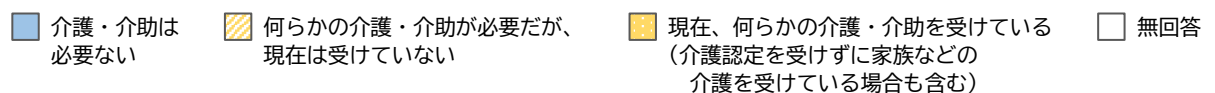
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)



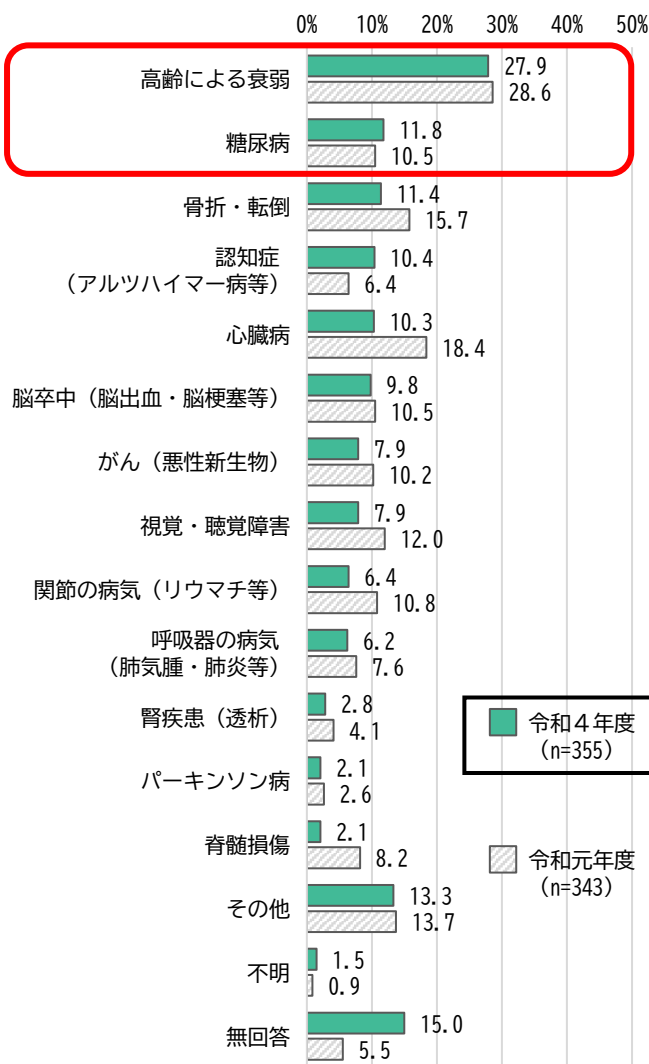
※『介護・介助が必要』 = 「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」 + 「現在、何らかの介護・介助を受けている」

現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

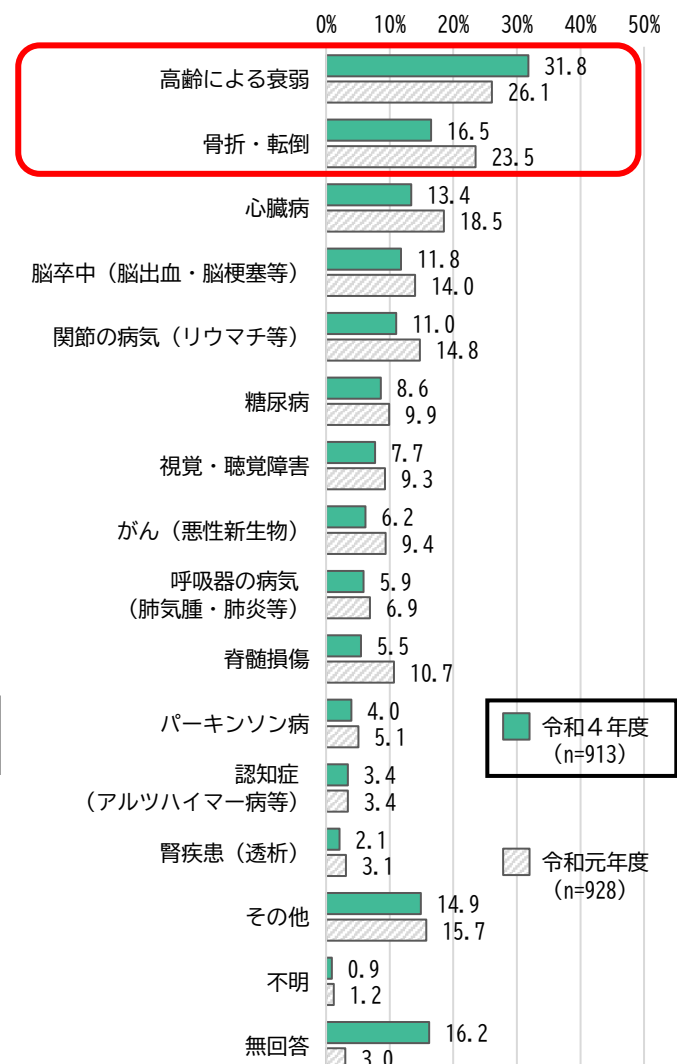
現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方の介護・介助が必要になった主な原因について、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「高齢による衰弱」が最も割合が高く、次いで一般高齢者では「糖尿病」、事業対象・要支援者では「骨折・転倒」、要介護者（軽度）では「認知症（アルツハイマー病等）」となっています。また、要介護者（重度）では「認知症（アルツハイマー病等）」が最も割合が高く、次いで「骨折・転倒」となっています。介護・介助が必要になった主な原因として事業対象・要支援の段階では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が割合として高く、要介護の重度化により「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高くなっています。

■ 一般高齢者



その他・・・脊柱管狭窄症、高血圧など

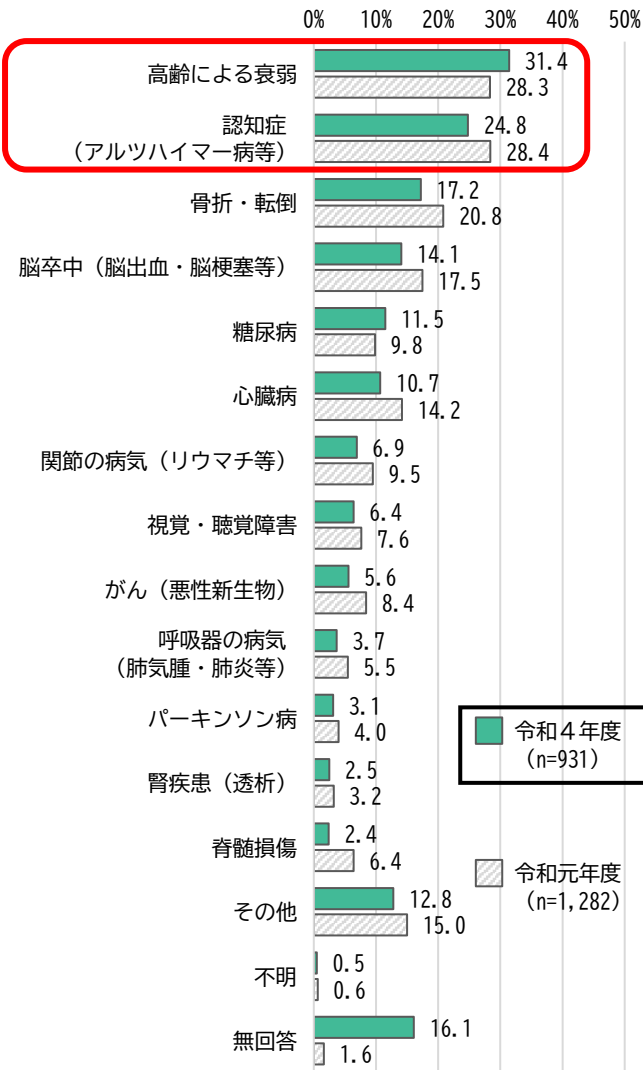
■ 事業対象・要支援者



その他・・・脊柱管狭窄症、腰痛など

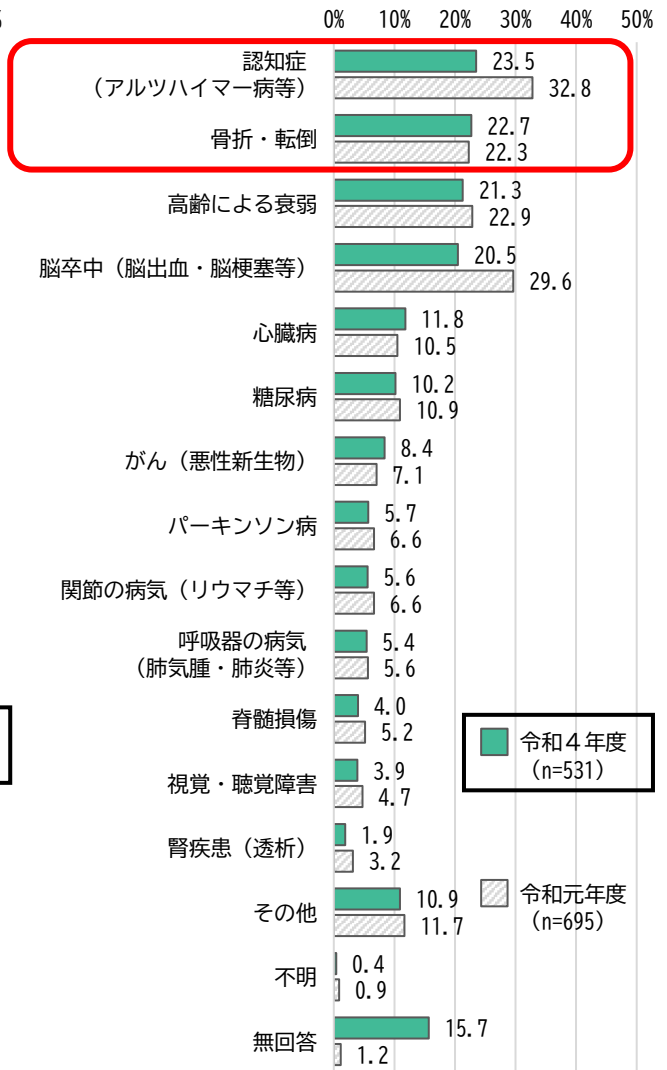
第3章 調査の結果 「3. ご家族や生活状況について」

■ 要介護者（軽度）



その他・・・うつ病、腰痛など

■ 要介護者（重度）



その他・・・うつ病、胃ろうなど

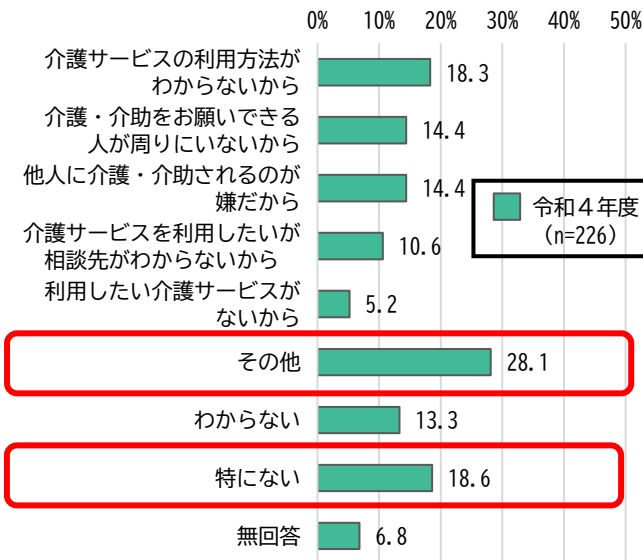
介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方におうかがいします。

あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。

(あてはまるものすべての番号に○)

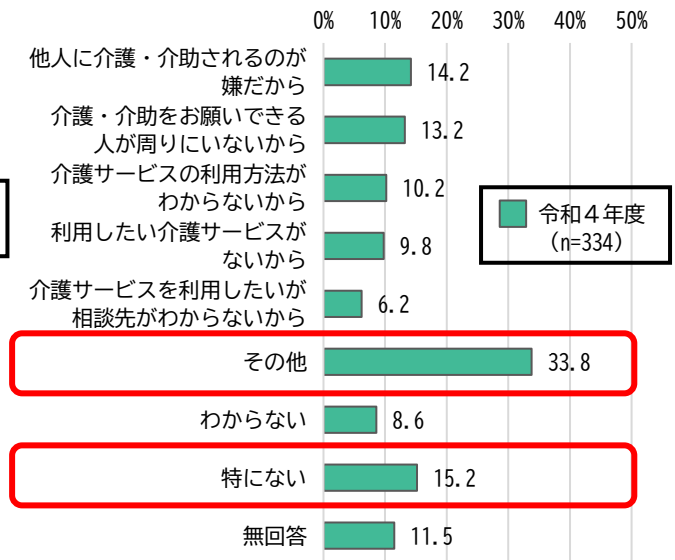
介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方の介護・介助を受けていない理由について、一般高齢者、事業対象・要支援者では「その他」として「今のところ必要ないから」「自分でできることは自分でやりたいから」、また「特にない」と回答した人の割合が高くなる一方、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「その他」として「お金がかかるから」「入院中のため」、また「他人に介護・介助されるのが嫌だから」と回答した人の割合が高くなっています。

■ 一般高齢者



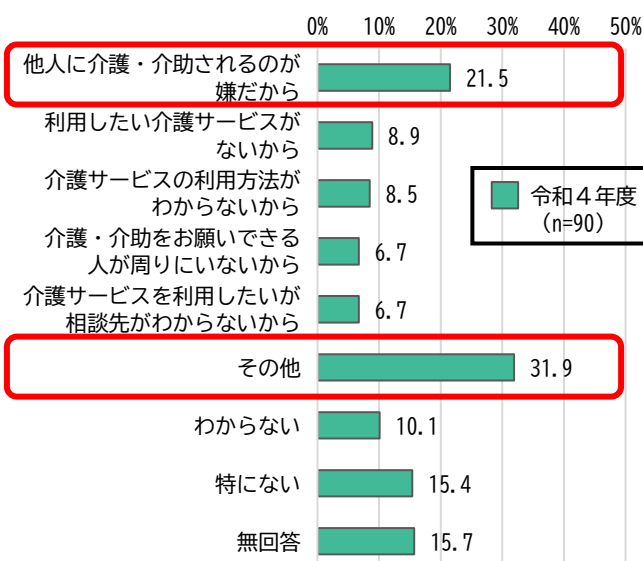
その他・・・今のところ必要ないからなど

■ 事業対象・要支援者



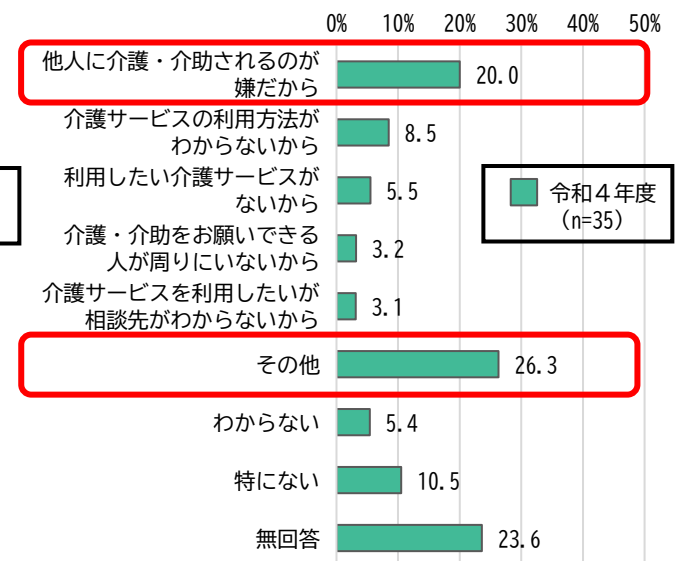
その他・・・自分でできることは自分でやりたいからなど

■ 要介護者（軽度）



その他・・・お金がかかるから、家族がいるからなど

■ 要介護者（重度）



その他・・・入院中のためなど

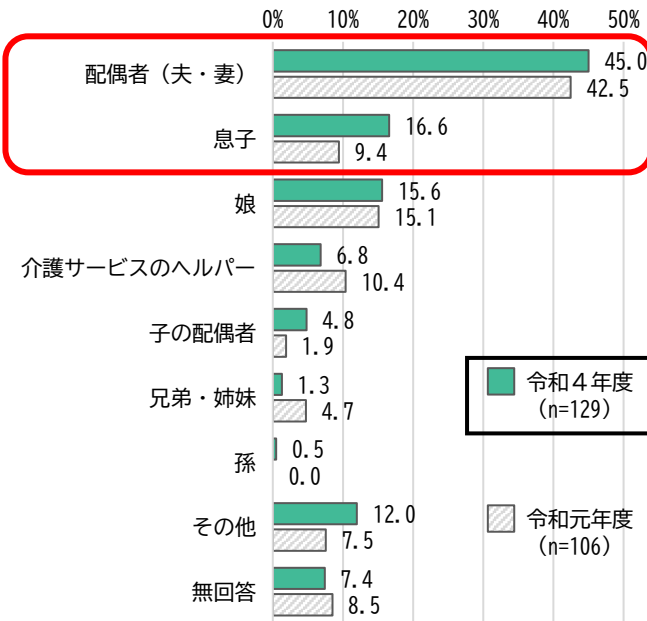
第3章 調査の結果 「3. ご家族や生活状況について」

現在、介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

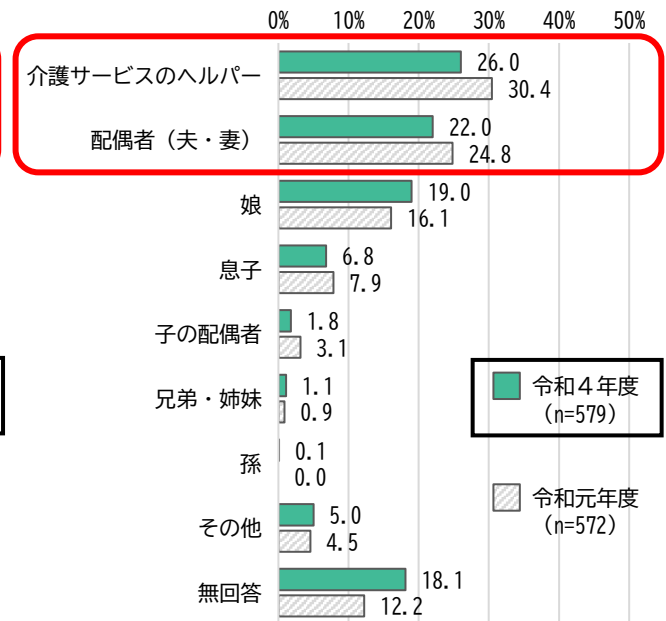
主にどなたに介護・介助を受けていますか。(1つの番号に○)

現在、介護・介助を受けていると答えた方の主にどなたに介護・介助を受けているかについて、一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」と回答した人の割合が最も高く、次いで「息子」となっており、事業対象・要支援者では「介護サービスのヘルパー」が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」となっています。また、要介護者(軽度)、要介護者(重度)では、「配偶者(夫・妻)」が最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」となっています。

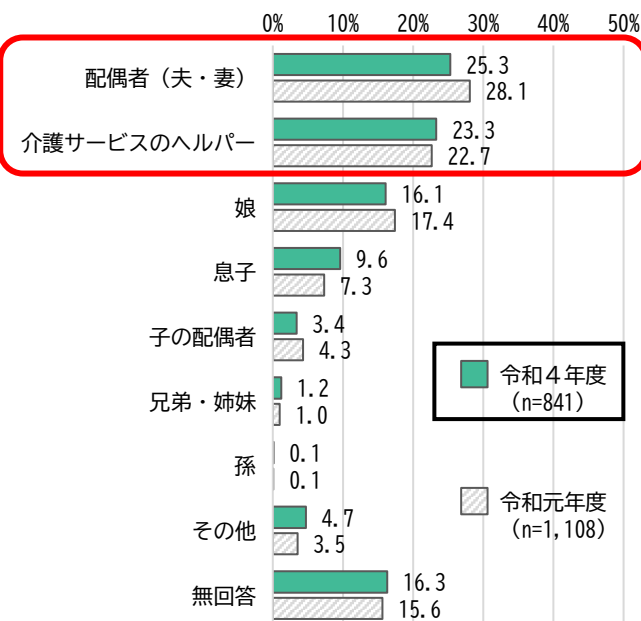
■ 一般高齢者



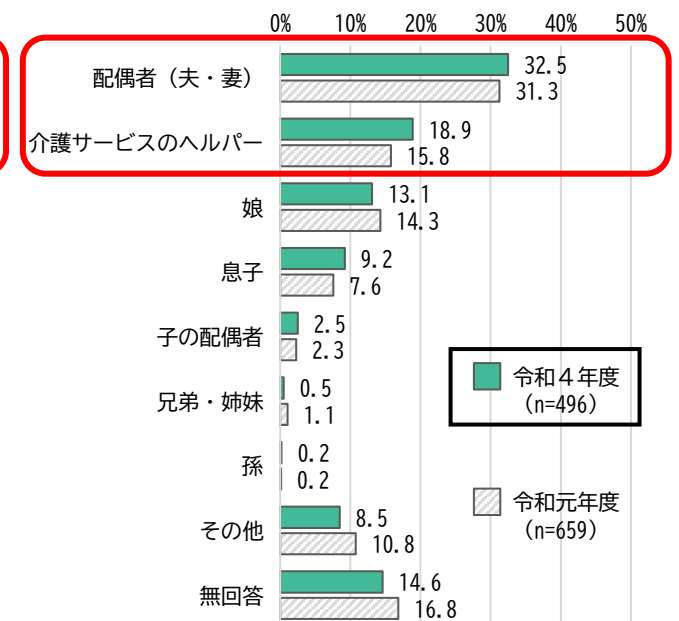
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)



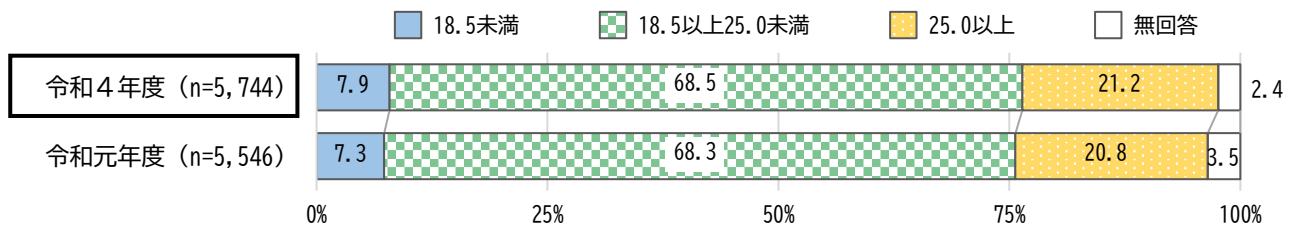
4. 身体状況について

(1) BMI と体重の減少（低栄養リスク）

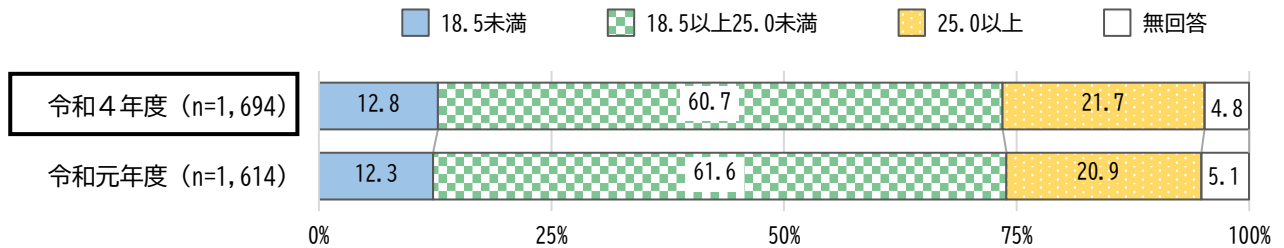
あなたの身長と体重をご回答ください。

[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される、肥満や低体重(やせ)の判定に用いられる BMI (Body Mass Index / ボディ・マス指数) について、「18.5未満(低体重)」の人の割合は、一般高齢者では7.9%、事業対象・要支援者では12.8%、要介護者(軽度)では15.6%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から BMI の割合に大きな変化は見られていません。

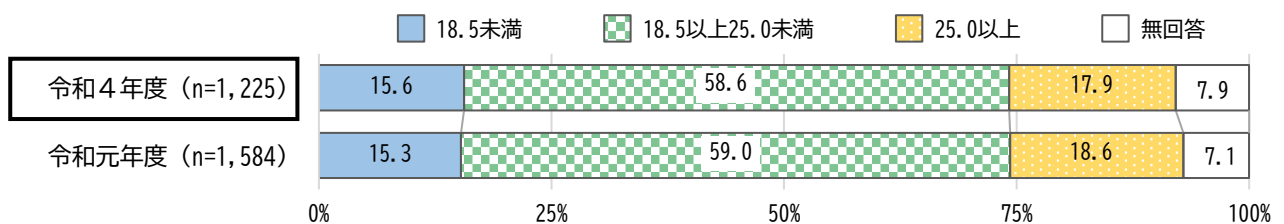
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

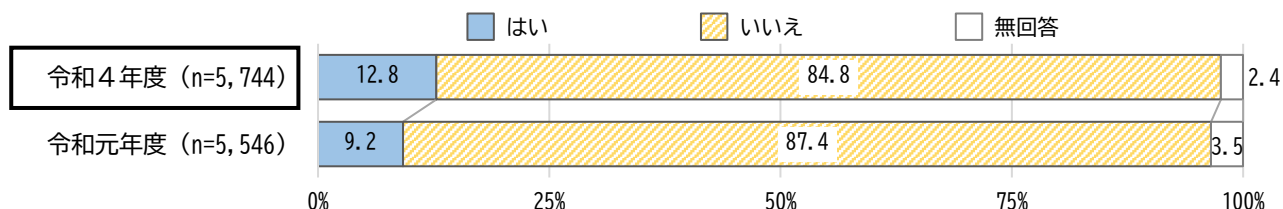


第3章 調査の結果 「4. 身体状況について」

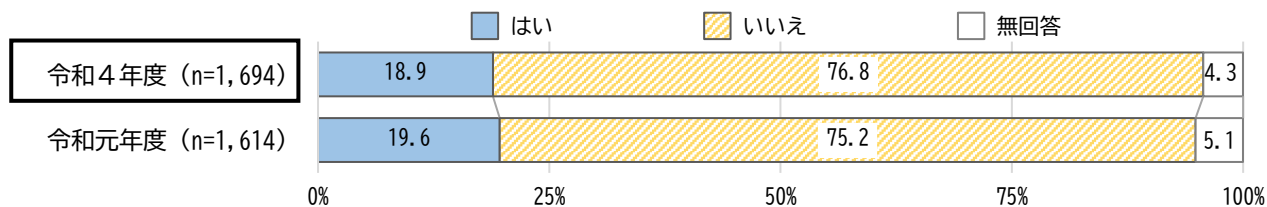
この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つの番号に○)

この6か月間で体重2～3kg以上減少があったかについて、「はい(あった)」と回答した人の割合は、一般高齢者では12.8%となり、事業対象・要支援者では18.9%、要介護者(軽度)では19.4%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

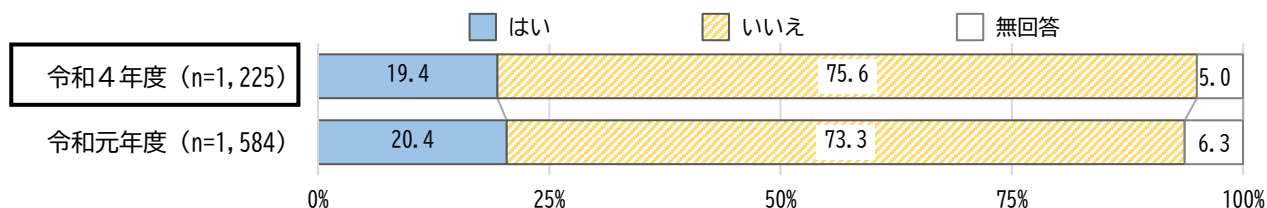
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

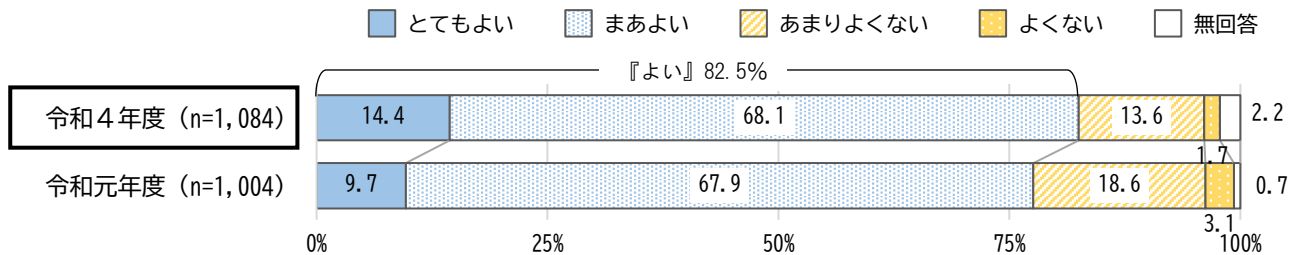


(2) 主観的健康観

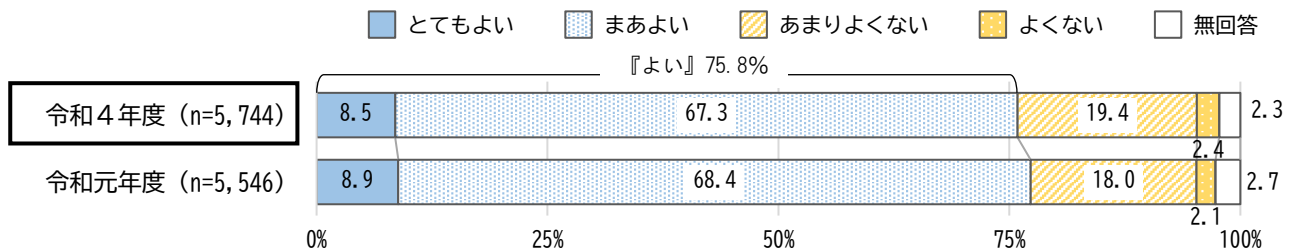
現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つの番号に○)

現在の健康状態について、「とてもよい」あるいは「まあよい」と『よい』と回答した人の割合は、若年者では82.5%、一般高齢者では75.8%となる一方、事業対象・要支援者では48.4%、要介護者（軽度）では49.2%と50%を下回り、要介護者（重度）では32.6%となっています。なお、要介護者（重度）では『よい』と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少しています。

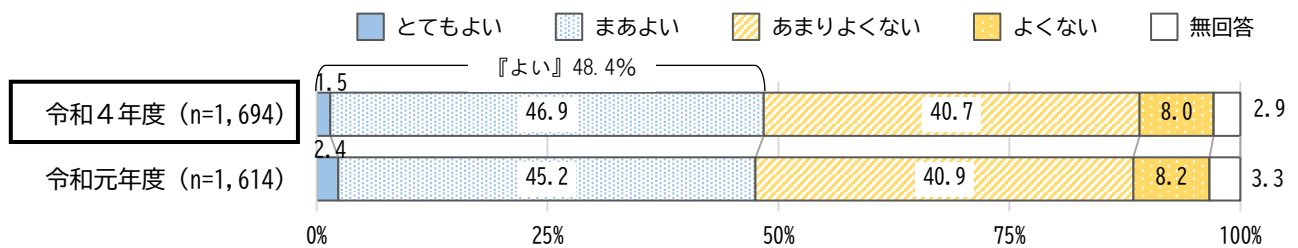
■ 若年者



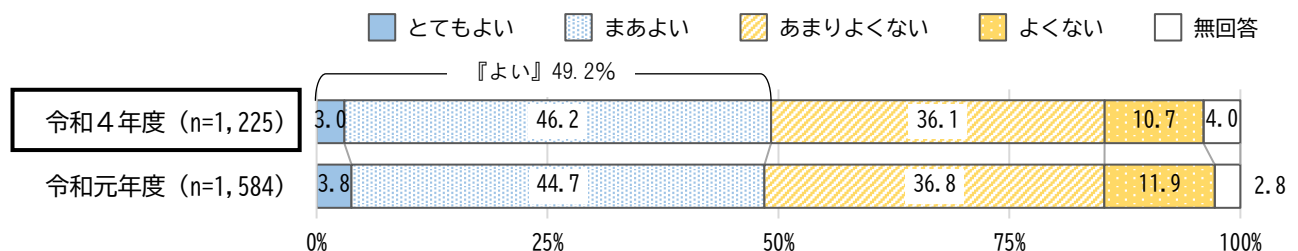
■ 一般高齢者



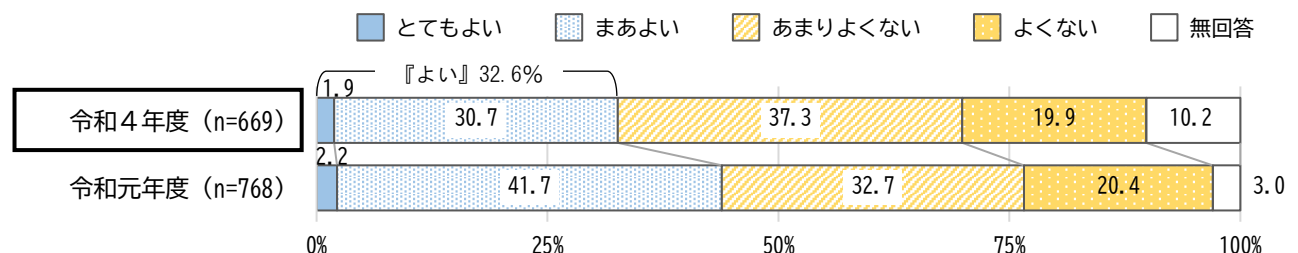
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



※『よい』 = 「とてもよい」 + 「まあよい」

第3章 調査の結果 「4. 身体状況について」

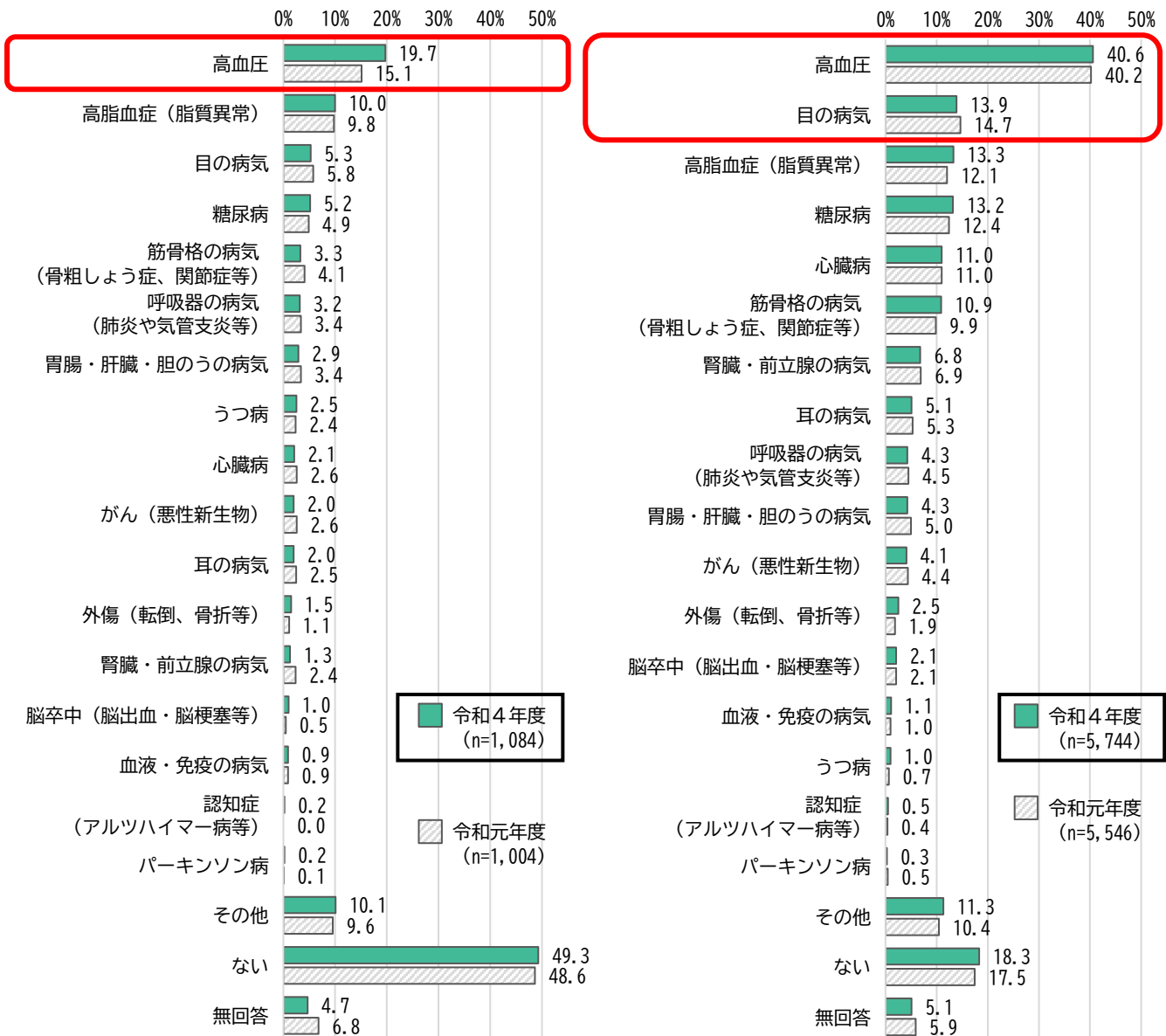
(3) 現在治療中または後遺症のある病気の有無

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

現在治療中、または後遺症のある病気について、若年者では「ない」を除くと「高血圧」と回答した人の割合が最も高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）のいずれの調査でも「高血圧」が最も高くなっています。また、一般高齢者では次いで「目の病気」、事業対象・要支援者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「認知症（アルツハイマー病等）」となっており、事業対象・要支援の段階では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」と回答する人の割合が高く、要介護が重度化すると「認知症（アルツハイマー病等）」と回答する人の割合が高くなっています。

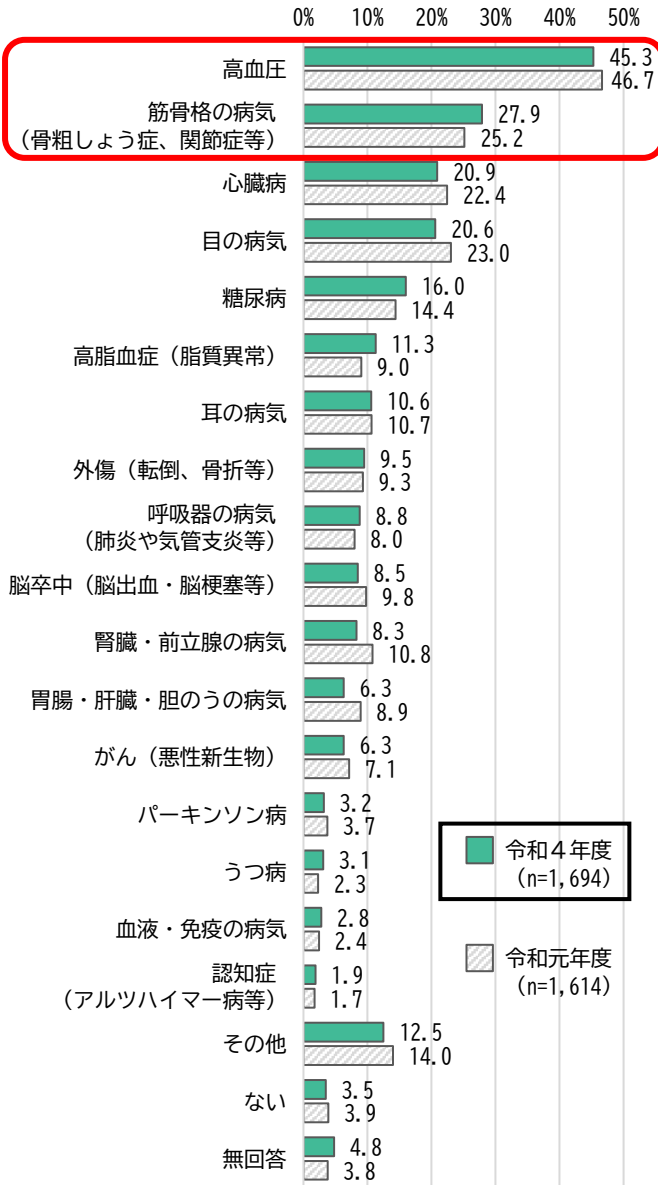
■ 若年者

■ 一般高齢者

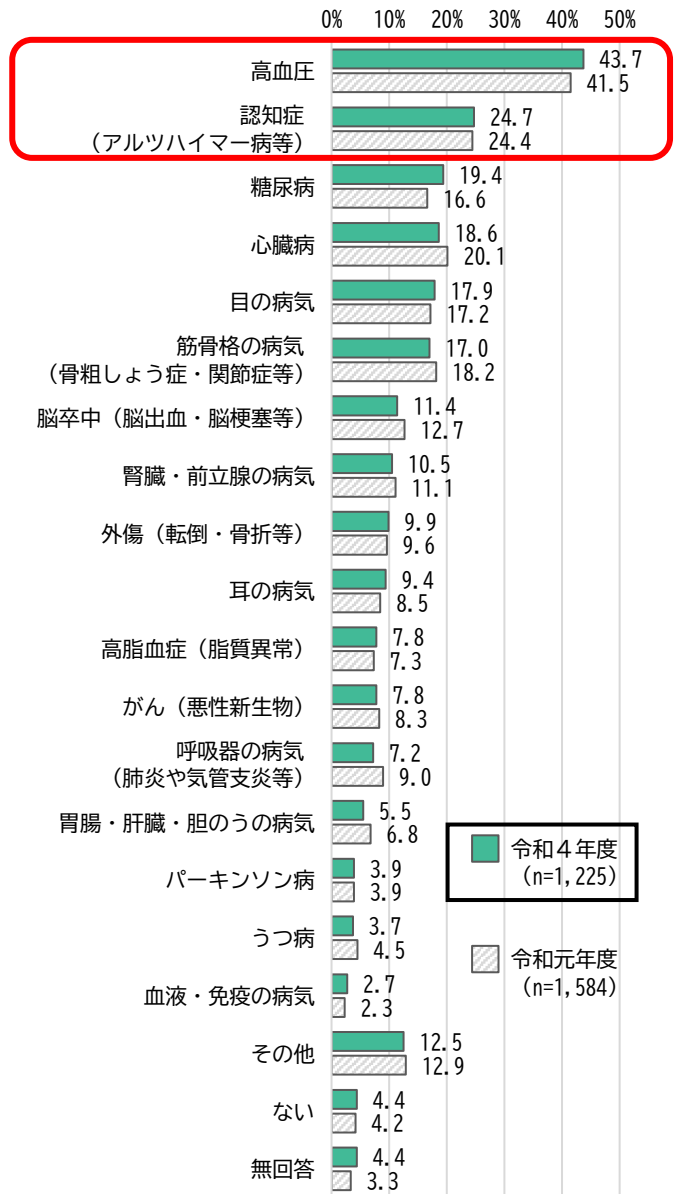


第3章 調査の結果 「4. 身体状況について」

■ 事業対象・要支援者

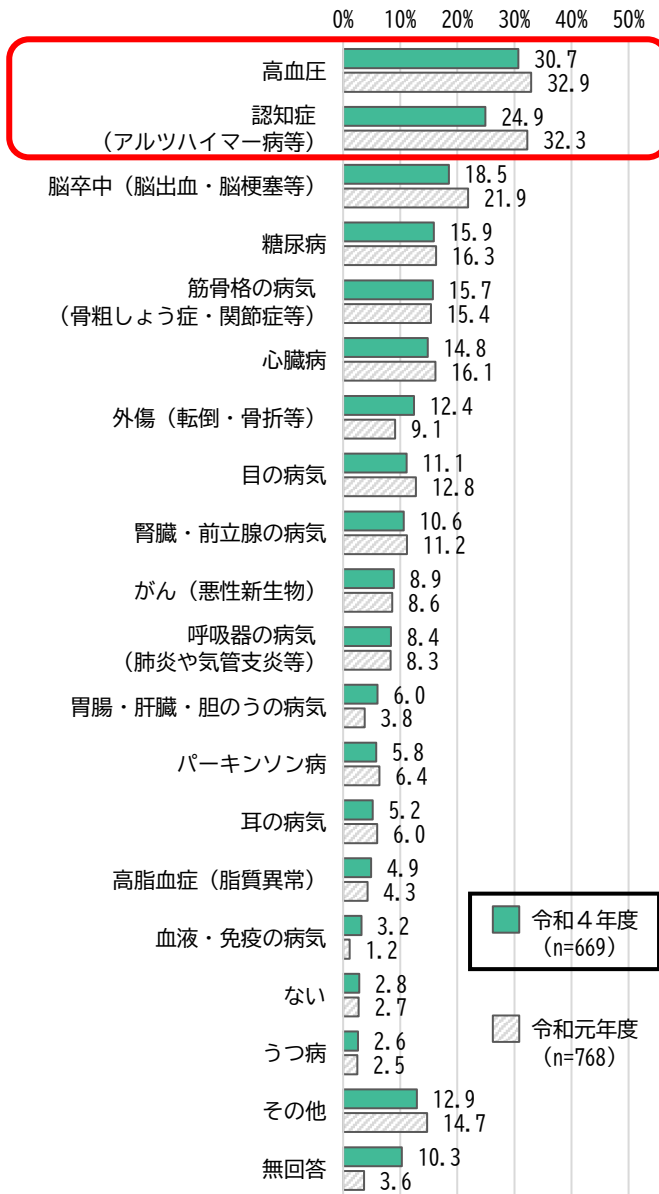


■ 要介護者 (軽度)



第3章 調査の結果 「4. 身体状況について」

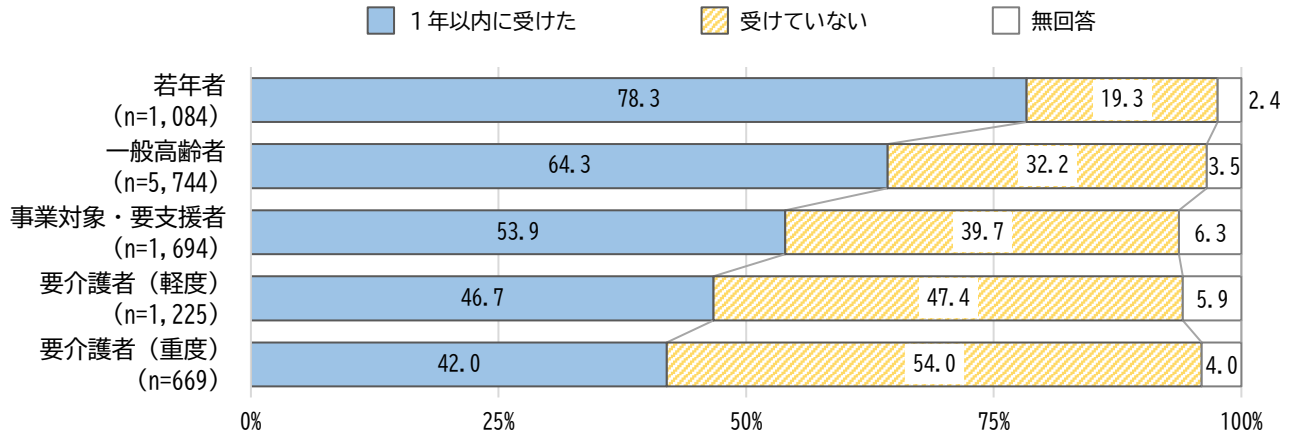
■ 要介護者（重度）



(4) 健診や人間ドック、歯科健診の受診状況

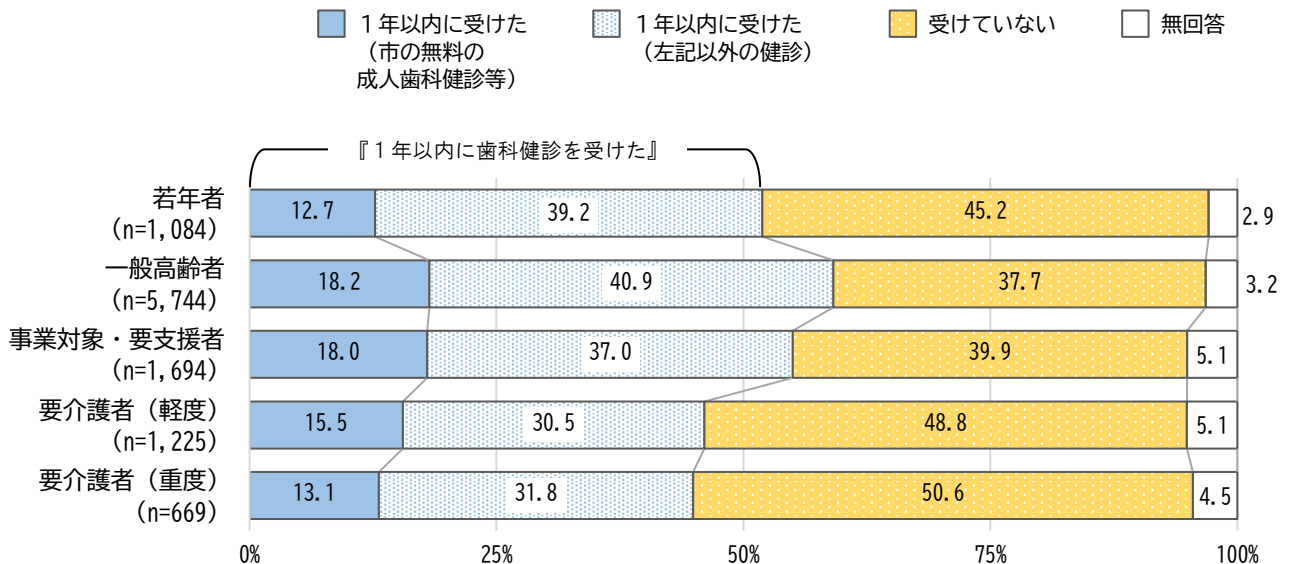
あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

健診や人間ドックについて、「1年以内に受けた」と回答した人の割合は、若年者では78.3%、一般高齢者では64.3%と60%を上回っている一方、事業対象・要支援者では53.9%となり、要介護者(軽度)では46.7%、要介護者(重度)では42.0%と50%を下回っています。



あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。(1つの番号に○)

歯科健診について、「1年以内に受けた(市の無料の成人歯科健診等)」あるいは「1年以内に受けた(左記以外の健診)」と『1年以内に歯科検診を受けた』と回答した人の割合は、一般高齢者では59.1%、事業対象・要支援者では55.0%と50%を上回っている一方、要介護者(軽度)では46.0%、要介護者(重度)では44.9%と50%を下回っています。



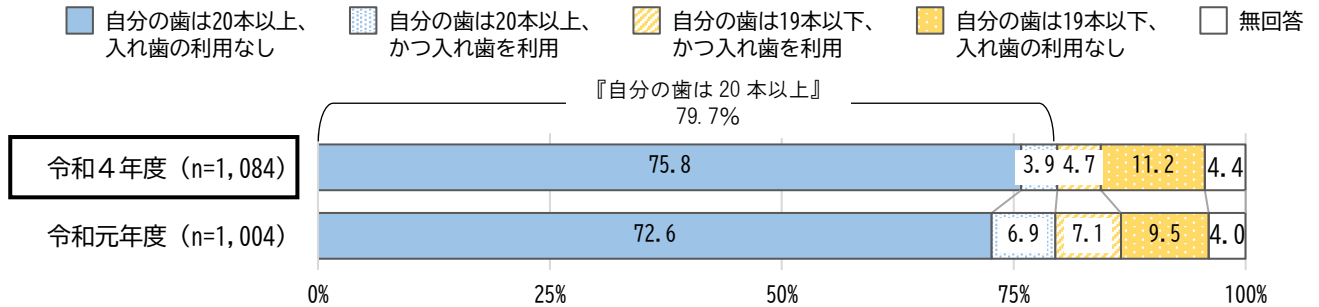
※ 『1年以内に歯科健診を受けた』 = 「1年以内に受けた(市の無料の成人歯科健診等)」 + 「1年以内に受けた(左記以外の健診)」

(5) 歯の状況

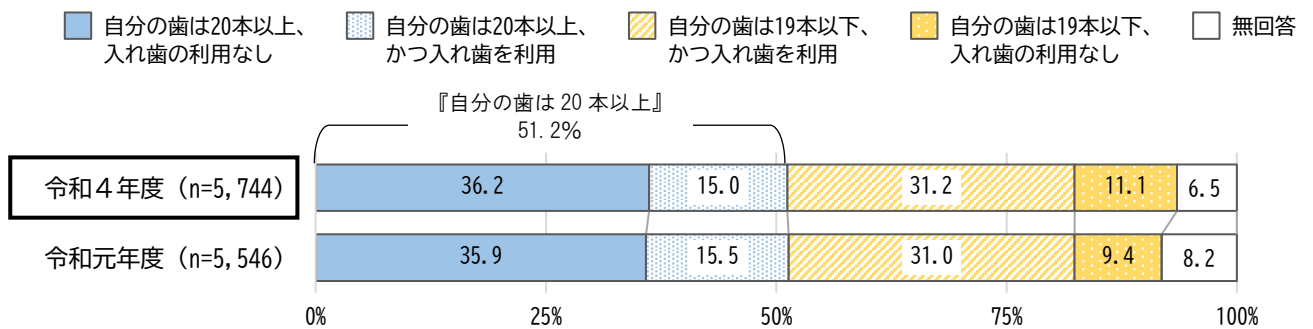
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つの番号に○)

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」あるいは「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と『自分の歯は20本以上』と回答した人の割合は、一般高齢者では51.2%と50%を上回っている一方、事業対象・要支援者では36.9%、要介護者(軽度)は32.7%、要介護者(重度)では34.3%と40%を下回っています。なお、要介護者(重度)では『自分の歯は20本以上』と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

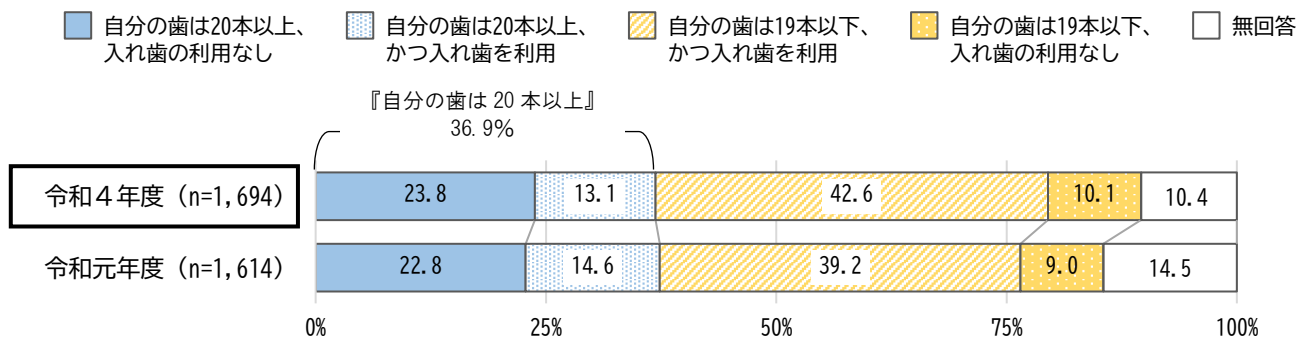
■ 若年者



■ 一般高齢者



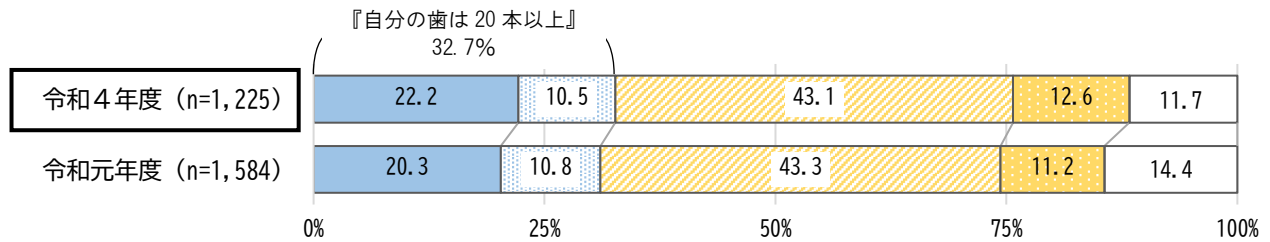
■ 事業対象・要支援者



※『自分の歯は20本以上』 = 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」 + 「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」

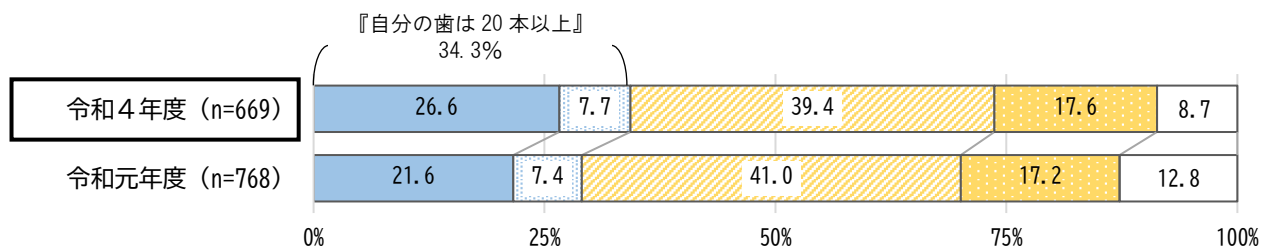
■ 要介護者（軽度）

自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
 無回答



■ 要介護者（重度）

自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
 無回答

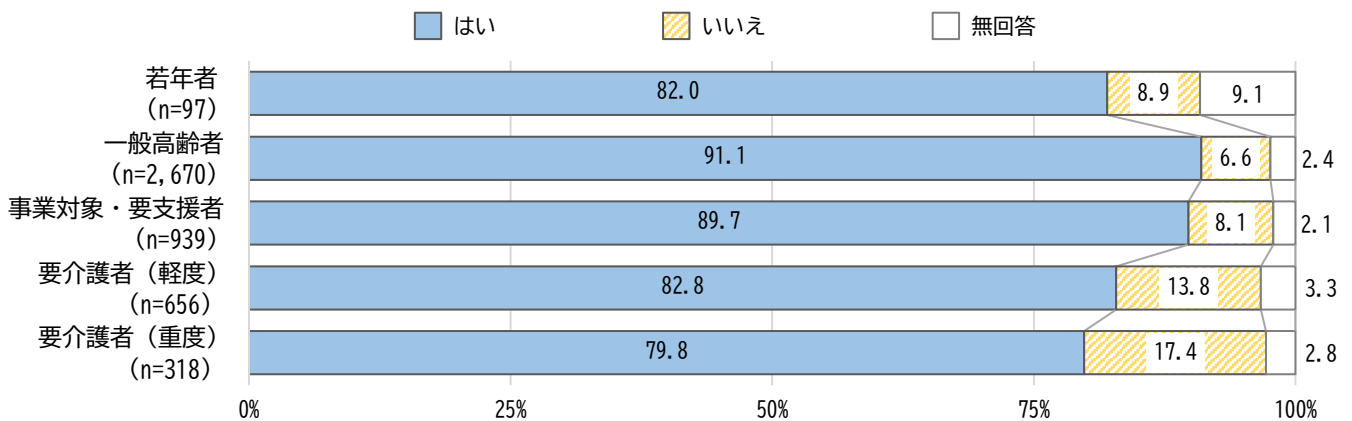


※『自分の歯は20本以上』 = 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」 + 「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」

入れ歯を利用していると答えた方におうかがいします。

毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つの番号に○）

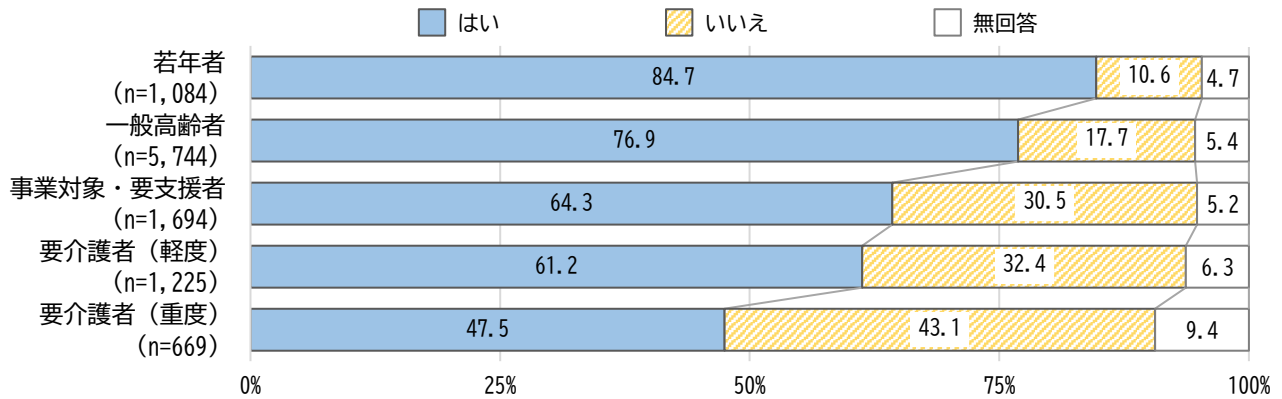
入れ歯を利用していると答えた方の毎日の入れ歯の手入れについて、「毎日入れ歯の手入れをしている」と回答した人の割合は、一般高齢者では91.1%、事業対象・要支援者では89.7%と90%前後となっており、要介護者（軽度）では82.8%、要介護者（重度）では79.8%と80%前後となっています。



第3章 調査の結果 「4. 身体状況について」

なんでもよく噛めますか。(1つの番号に○)

なんでもよく噛めるかについて、「はい」と回答した人の割合は、一般高齢者では76.9%と70%を上回る一方、事業対象・要支援者では64.3%、要介護者（軽度）では61.2%と60%台となり、要介護者（重度）では47.5%と50%を下回っています。

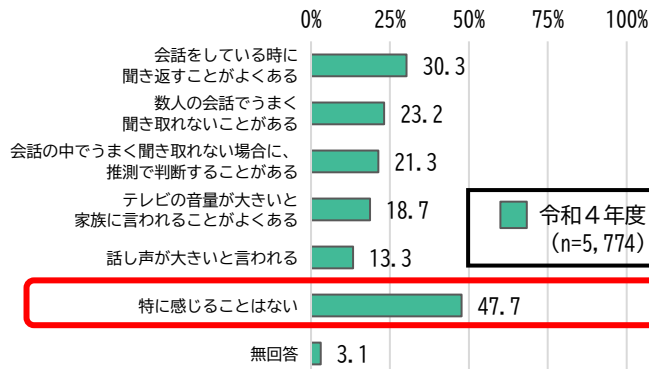


(6) 耳の聞こえ

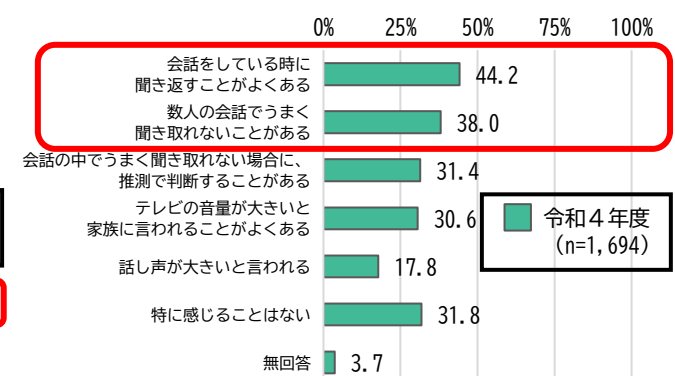
耳の聞こえに関して感じることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

耳の聞こえに関して感じていることについて、一般高齢者では「特に感じることはない」と回答した人の割合が最も高くなる一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「会話をしている時に聞き返すことがよくある」と回答した人の割合が最も高く、事業対象・要支援者では次いで「数人の会話でうまく聞き取れないことがある」、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では次いで「テレビの音量が大きいと家族に言われることがよくある」となっています。

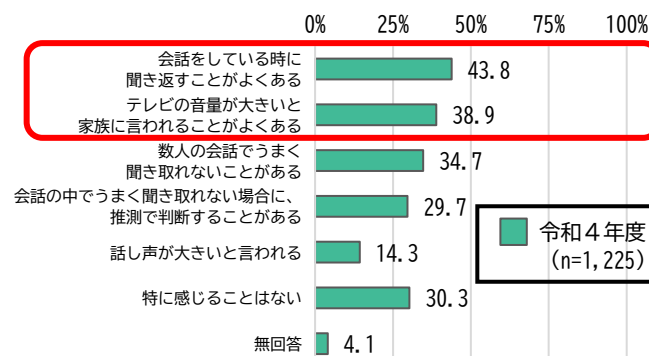
■ 一般高齢者



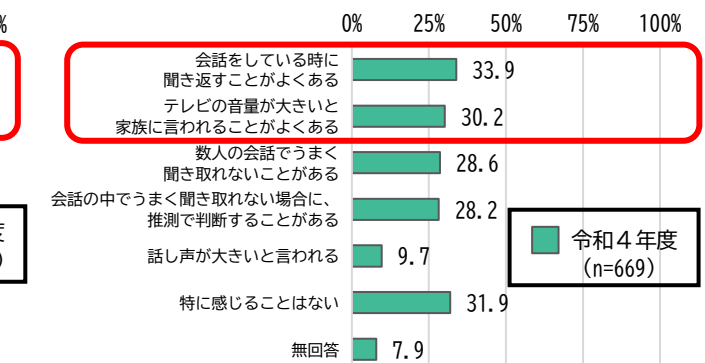
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



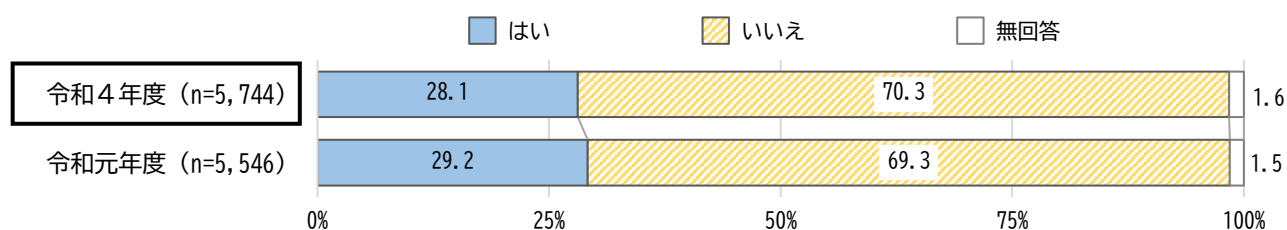
5. 食事・飲酒・喫煙について

(1) 嚥下の状態

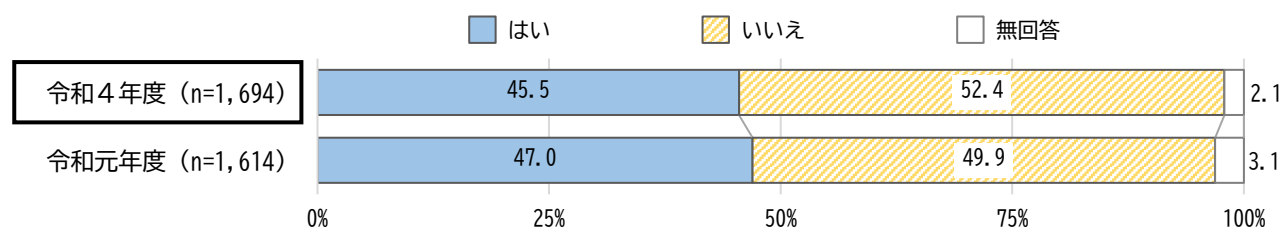
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つの番号に○)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい(なった)」と回答した人の割合は、一般高齢者では28.1%となる一方、事業対象・要支援者では45.5%、要介護者(軽度)では47.8%と40%を上回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

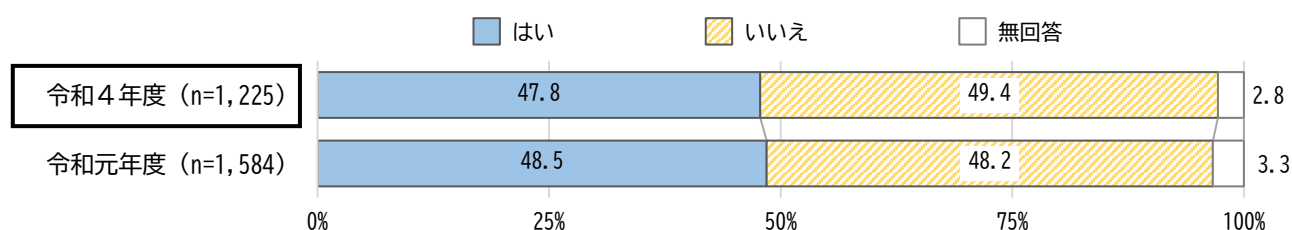
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

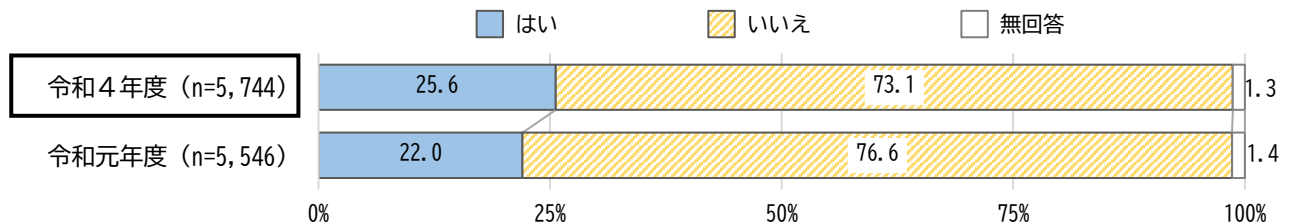


第3章 調査の結果 「5. 食事・飲酒・喫煙について」

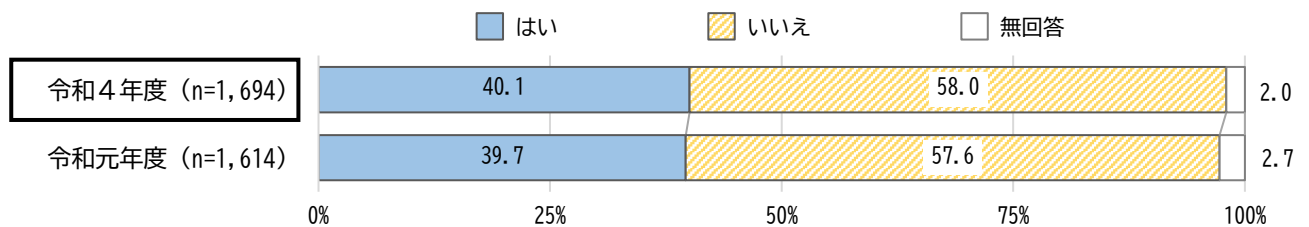
お茶や汁物などでむせることがありますか。(1つの番号に○)

お茶や汁物等でむせこみがあるかについて、「はい(ある)」と回答した人の割合は、一般高齢者では25.6%となる一方、事業対象・要支援者では40.1%、要介護者(軽度)では40.2%と40%を上回っています。なお、一般高齢者では「はい(ある)」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

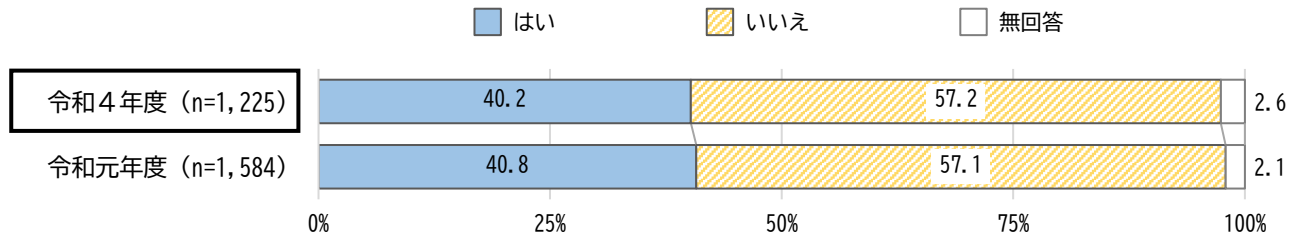
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



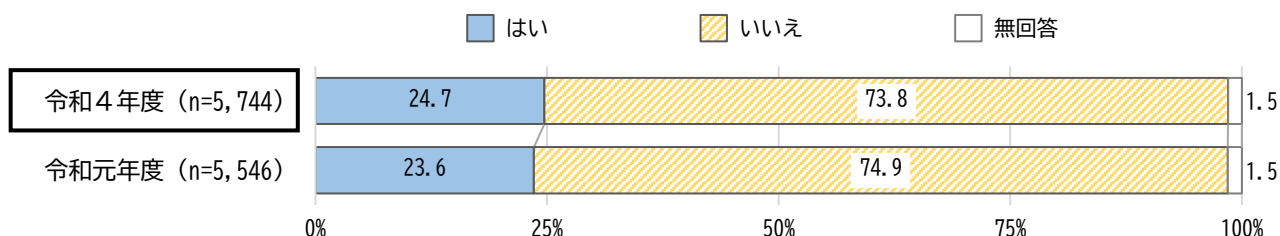
■ 要介護者(軽度)



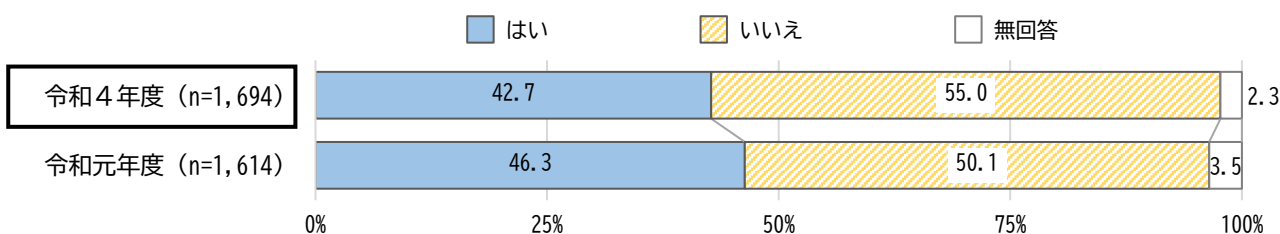
口の渇きが気になりますか。(1つの番号に○)

口の渇きが気になるかについて、「はい（気になる）」と回答した人の割合は、一般高齢者では24.7%となる一方、事業対象・要支援者では42.7%、要介護者（軽度）では39.5%と40%前後となっています。なお、事業対象・要支援者では「はい（気になる）」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

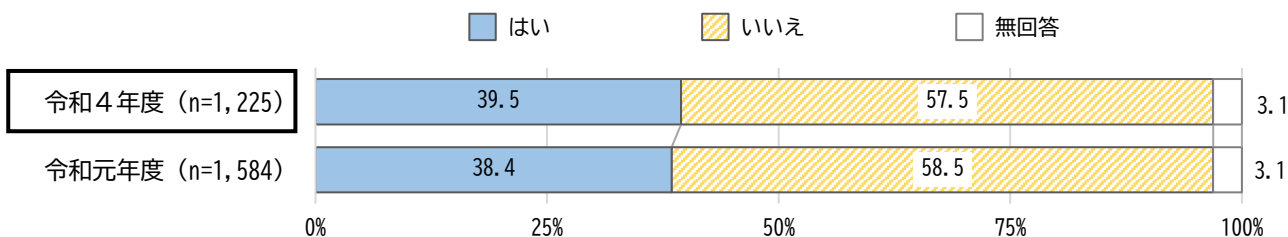
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

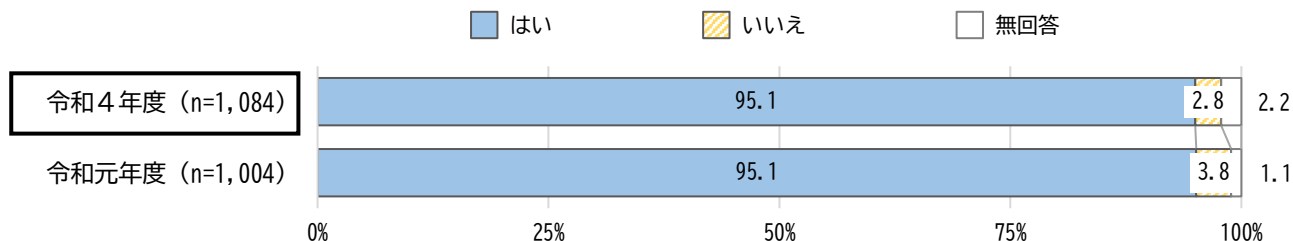


(2) 口腔ケア

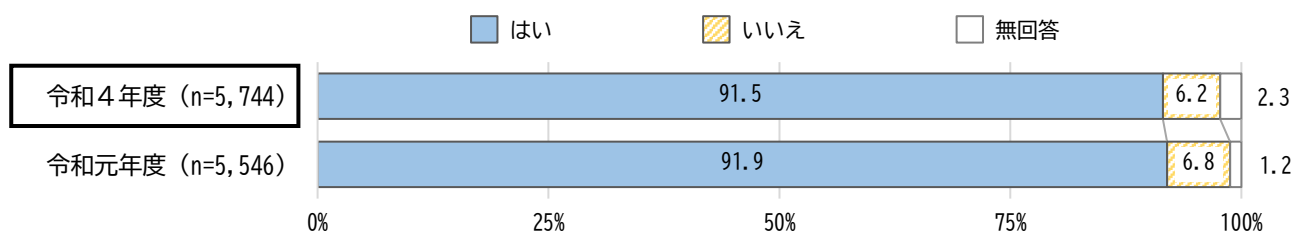
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つの番号に○）

歯磨きを毎日しているかについて、「はい（している）」と回答した人の割合は、一般高齢者では91.5%、事業対象・要支援者では85.8%となる一方、要介護者（軽度）では78.4%、要介護者（重度）では79.0%と80%を下回っています。なお、要介護者（重度）では「はい（している）」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

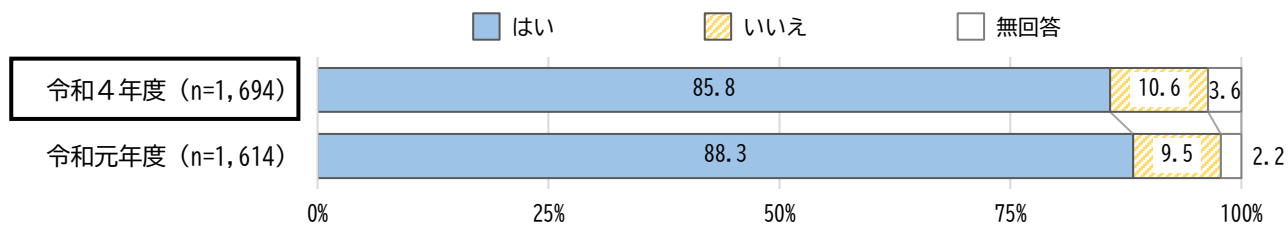
■ 若年者



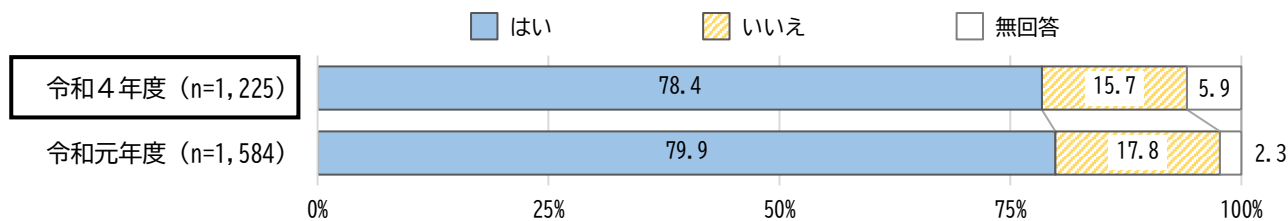
■ 一般高齢者



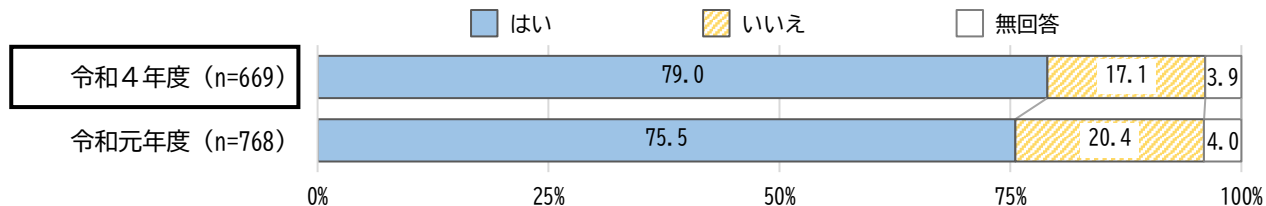
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

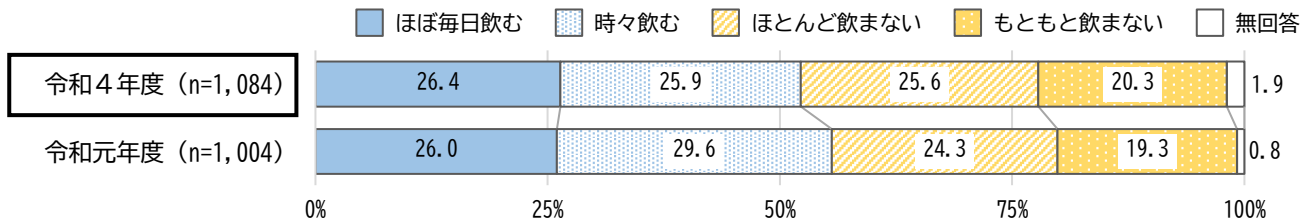


(3) 嗜好品

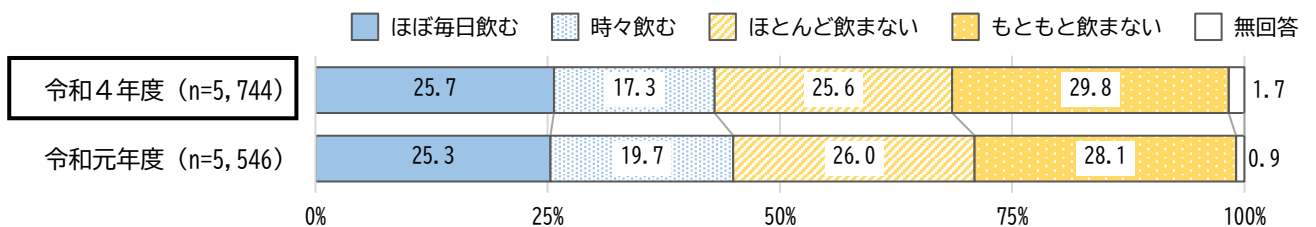
お酒は飲みますか。(1つの番号に○)

お酒について、「ほぼ毎日飲む」あるいは「時々飲む」と回答した人の割合は、一般高齢者では43.0%、事業対象・要支援者では24.8%となり、要介護者(軽度)では18.2%、要介護者(重度)では12.9%となっています。なお、要介護者(重度)では「ほぼ毎日飲む」あるいは「時々飲む」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

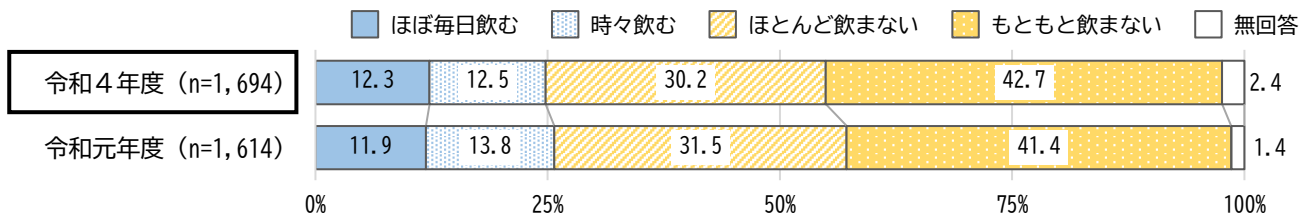
■ 若年者



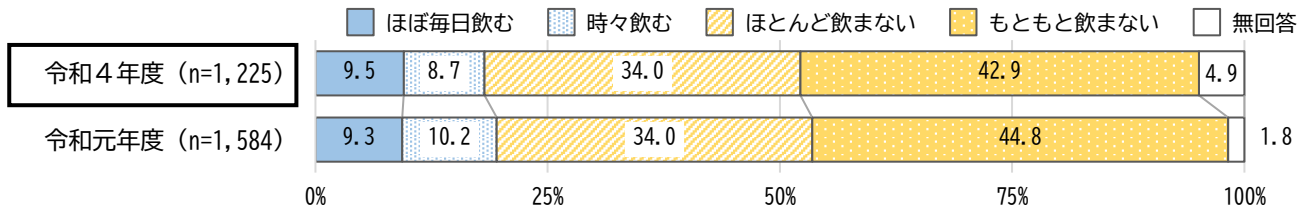
■ 一般高齢者



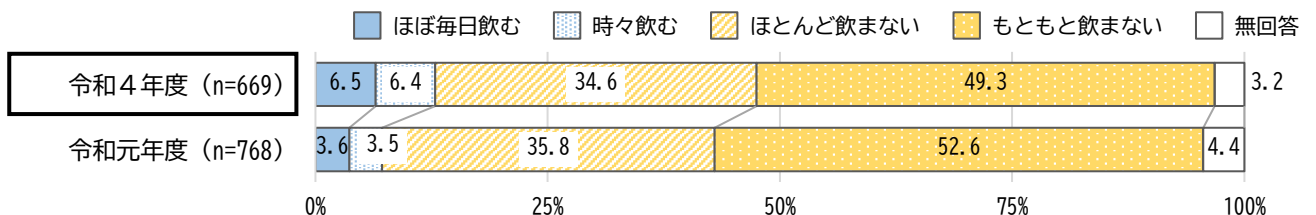
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



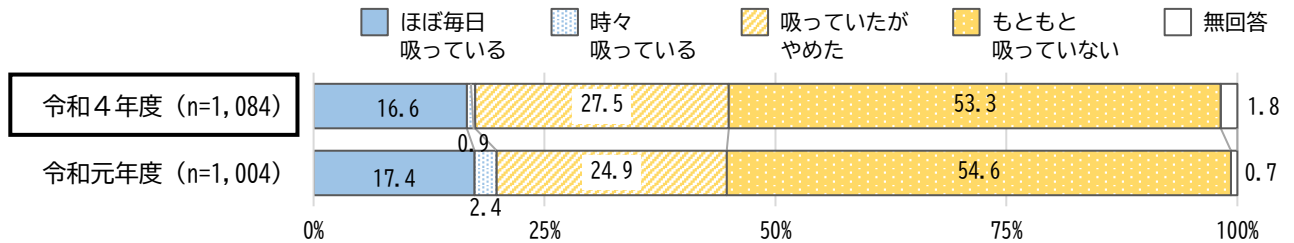
■ 要介護者(重度)



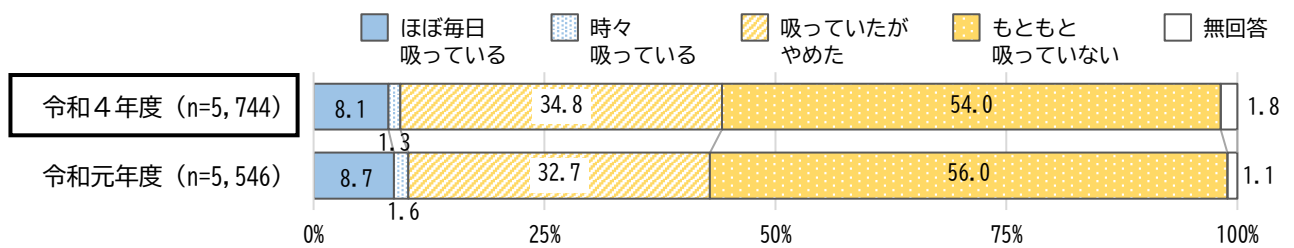
タバコは吸っていますか。(1つの番号に○)

タバコについて、「ほぼ毎日吸っている」あるいは「時々吸っている」と回答した人の割合は、一般高齢者では9.4%、事業対象・要支援者では3.4%、要介護者（軽度）では4.0%、要介護者（重度）では2.3%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

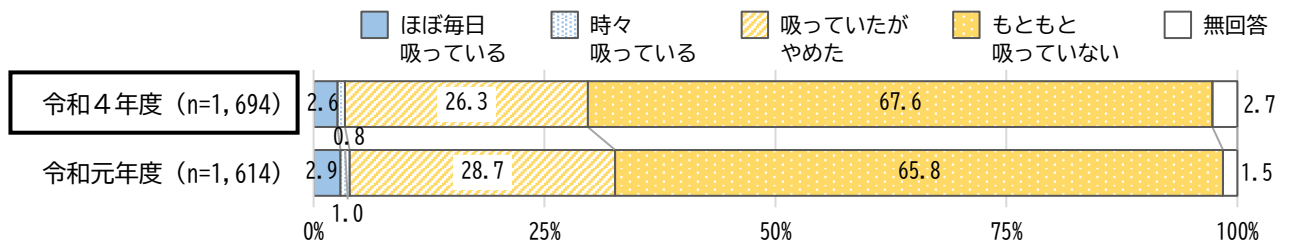
■ 若年者



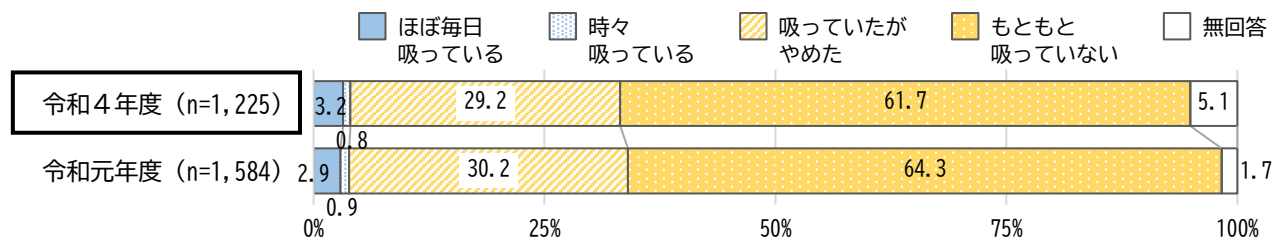
■ 一般高齢者



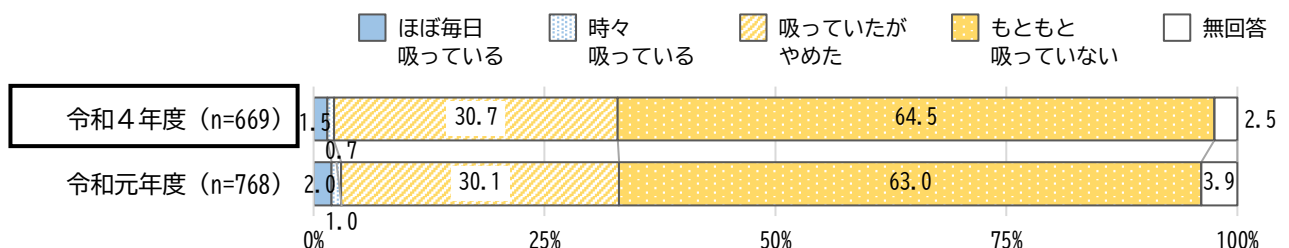
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

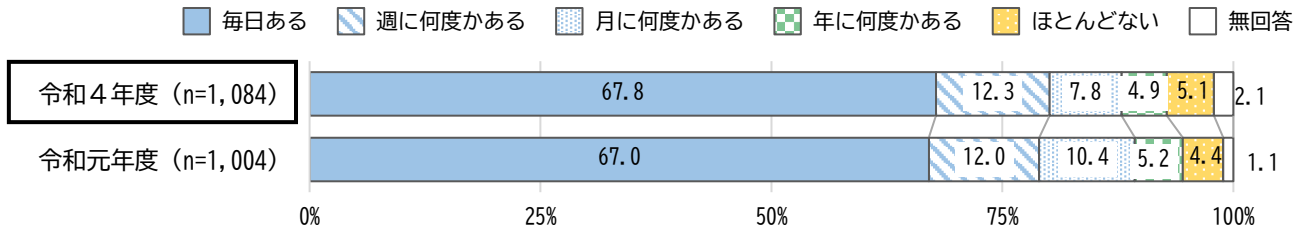


(4) だれかと食事をする機会の有無

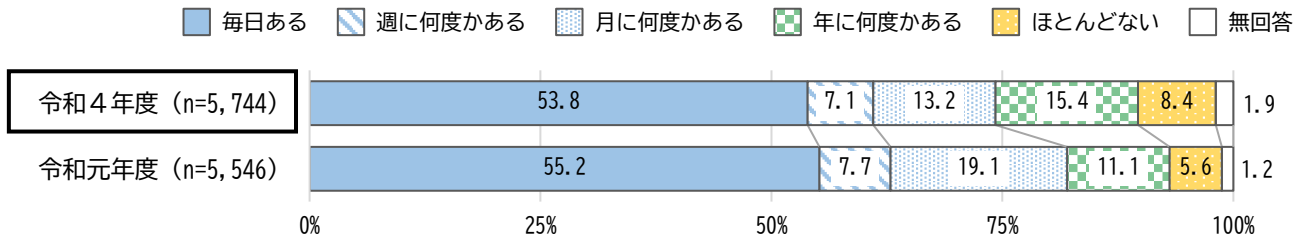
どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(1つの番号に○)

だれかと食事をする機会について、「毎日ある」と回答した人の割合は、一般高齢者では53.8%、要介護者（軽度）では48.8%、要介護者（重度）では58.7%となる一方、事業対象・要支援者では37.7%と40%を下回っています。なお、要介護者（軽度）では「毎日ある」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

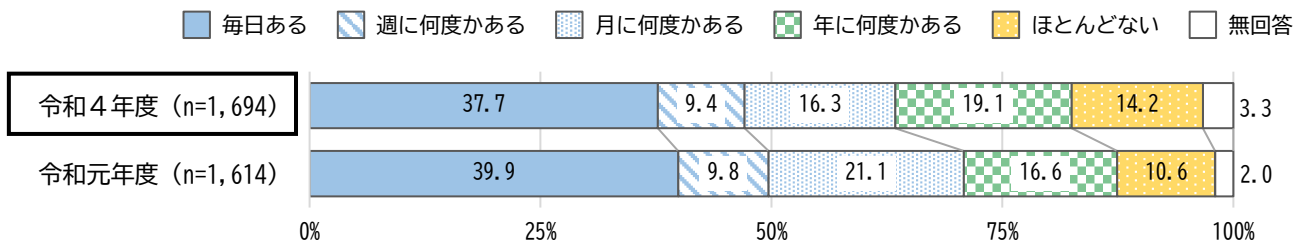
■ 若年者



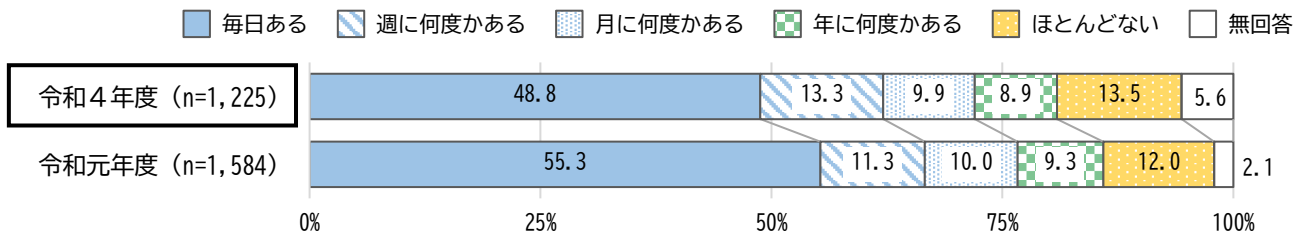
■ 一般高齢者



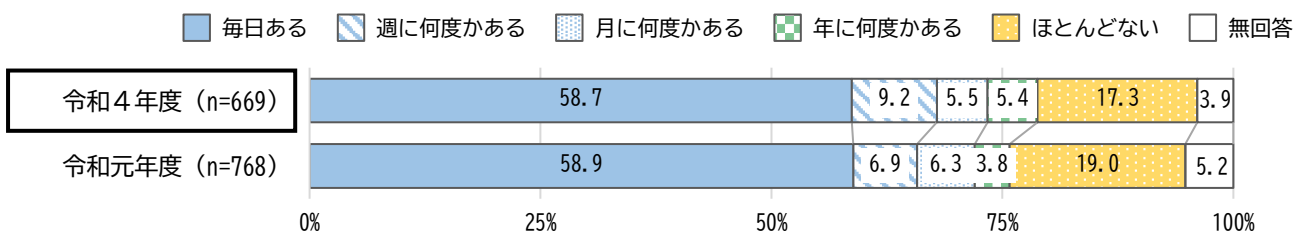
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



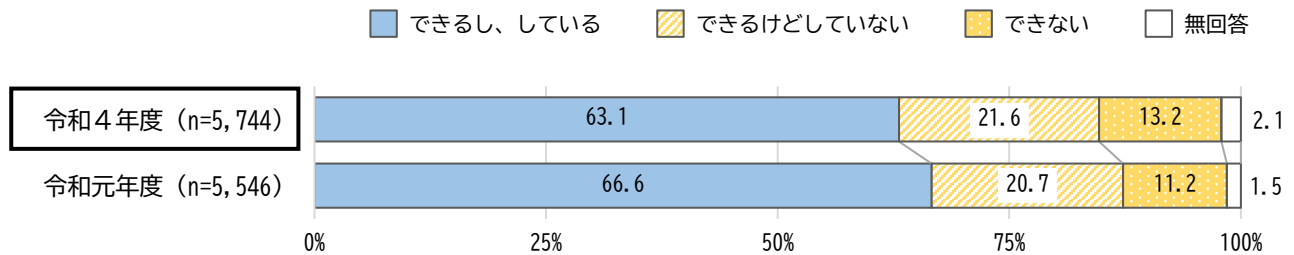
6. からだを動かすことについて

(1) 運動器機能リスク

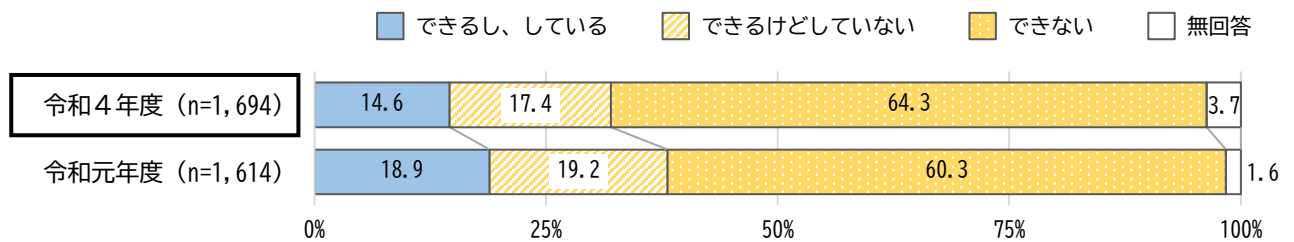
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つの番号に○)

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では34.8%となる一方、事業対象・要支援者では81.7%、要介護者（軽度）では79.3%と80%前後となっています。なお、事業対象・要支援者では「できない」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

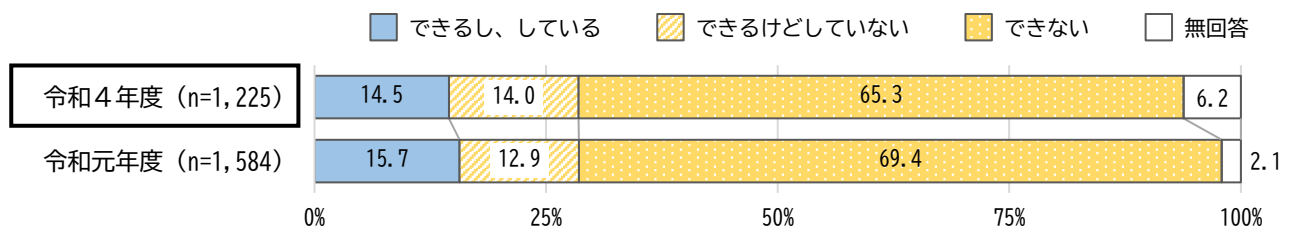
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



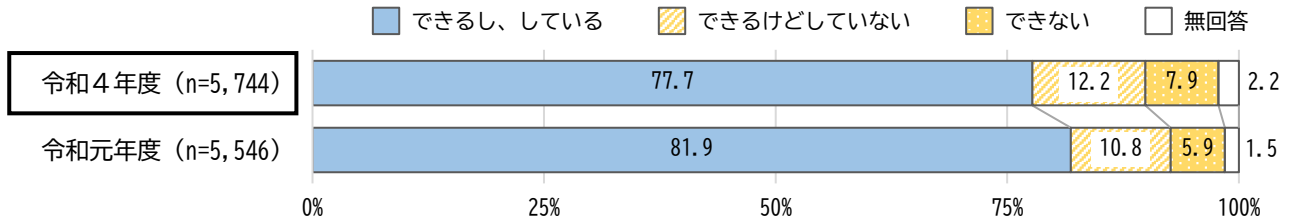
■ 要介護者（軽度）



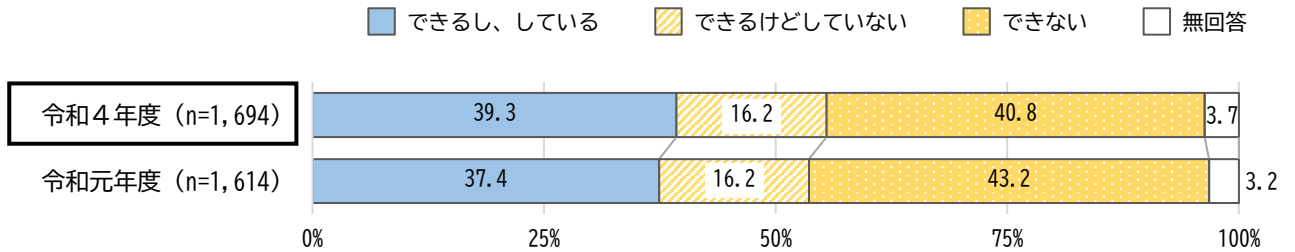
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つの番号に○)

椅子から何もつかまらずに立ち上がることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では20.1%となる一方、事業対象・要支援者では57.0%、要介護者（軽度）では66.7%と60%前後となっています。なお、一般高齢者では「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合が前回調査より増加し、要介護者（軽度）では減少しています。

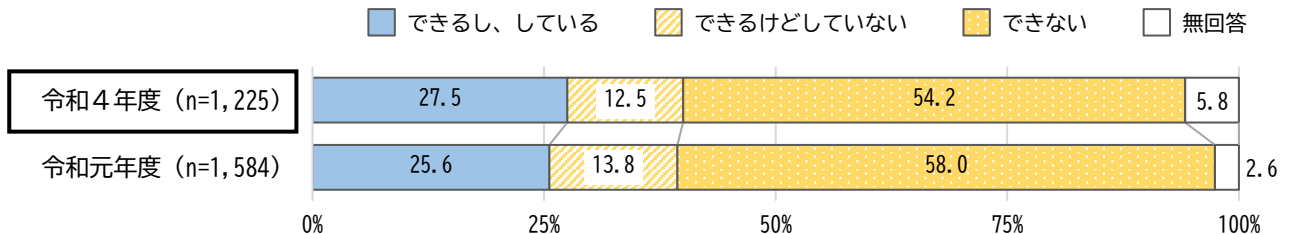
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

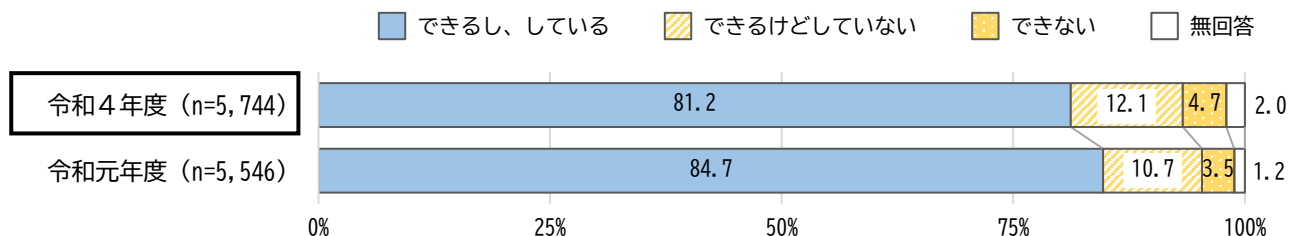


第3章 調査の結果 「6. からだを動かすことについて」

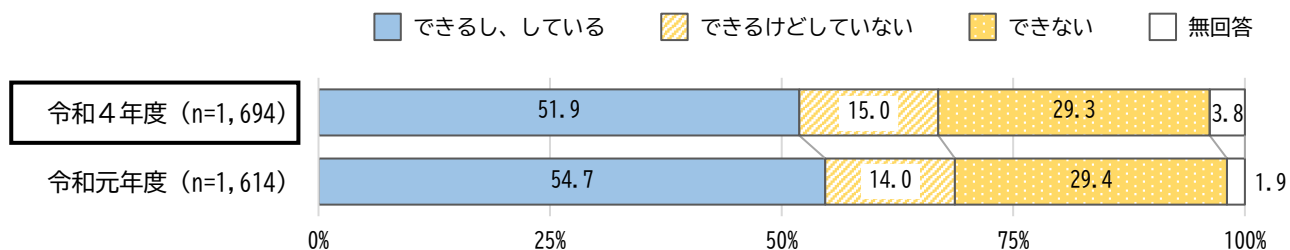
15分くらい続けて歩いていますか。(1つの番号に○)

15分くらい続けて歩くことについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では16.8%となる一方、事業対象・要支援者では44.3%と40%を上回り、要介護者（軽度）では58.7%と50%を上回っています。なお、要介護者（軽度）では「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

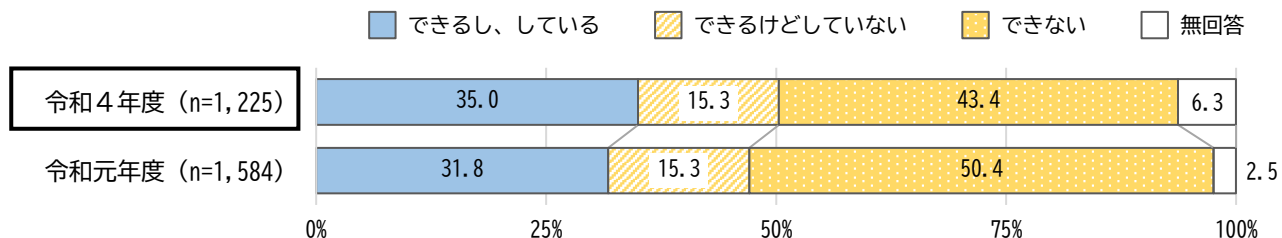
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

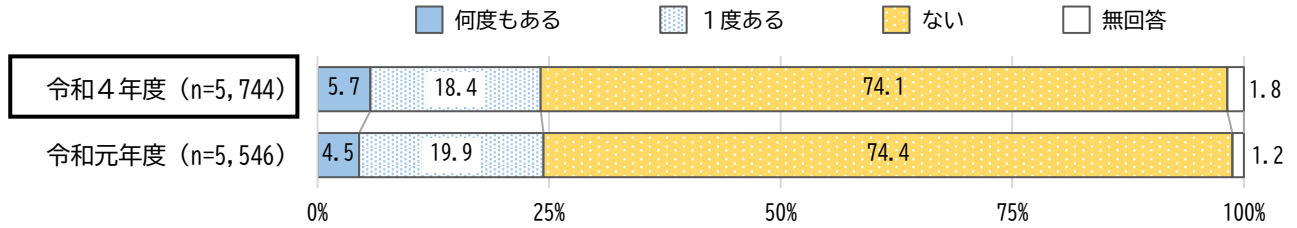


(2) 転倒リスク

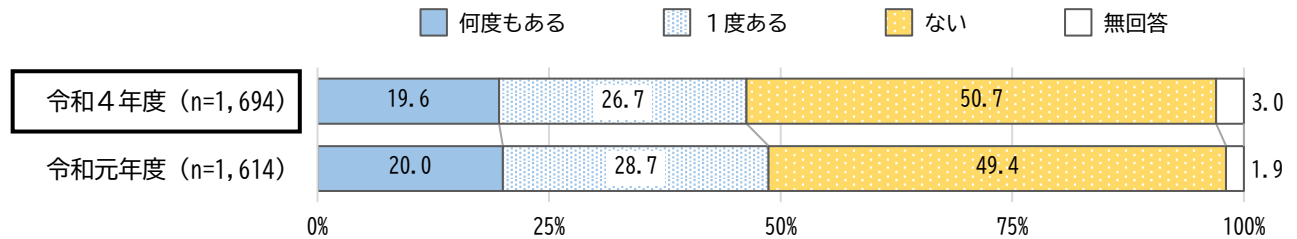
過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つの番号に○)

過去1年間に転んだ経験について、「何度もある」あるいは「一度ある」と回答した人の割合は、一般高齢者では24.1%となる一方、事業対象・要支援者では46.3%と40%を上回り、要介護者(軽度)では52.8%、要介護者(重度)では57.3%と50%を上回っています。なお、要介護者(軽度)では「何度もある」あるいは「一度ある」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

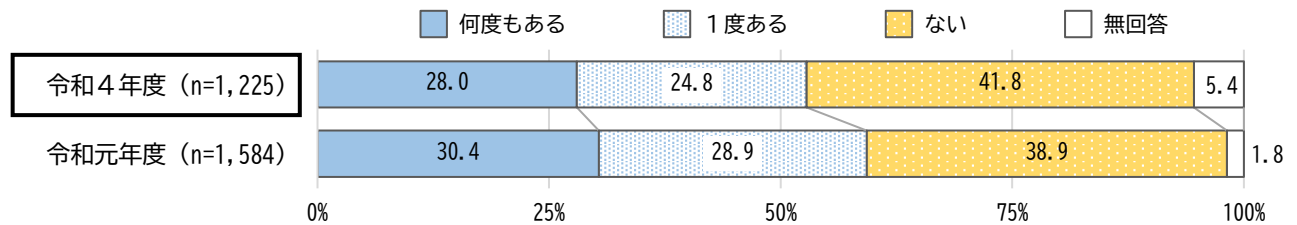
■ 一般高齢者



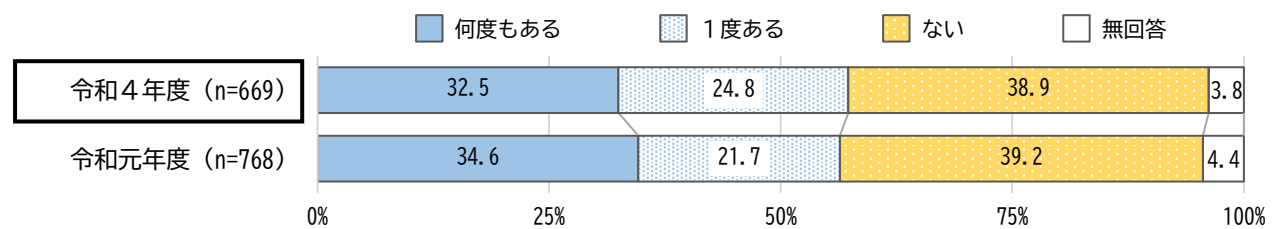
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)

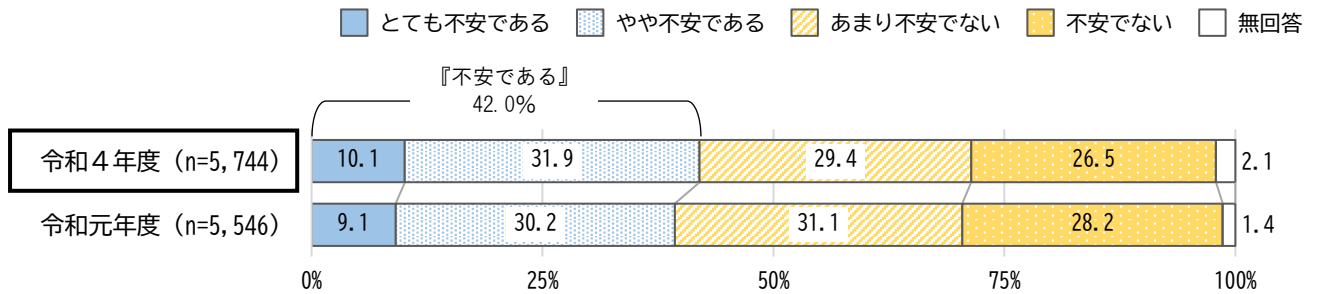


第3章 調査の結果 「6. からだを動かすことについて」

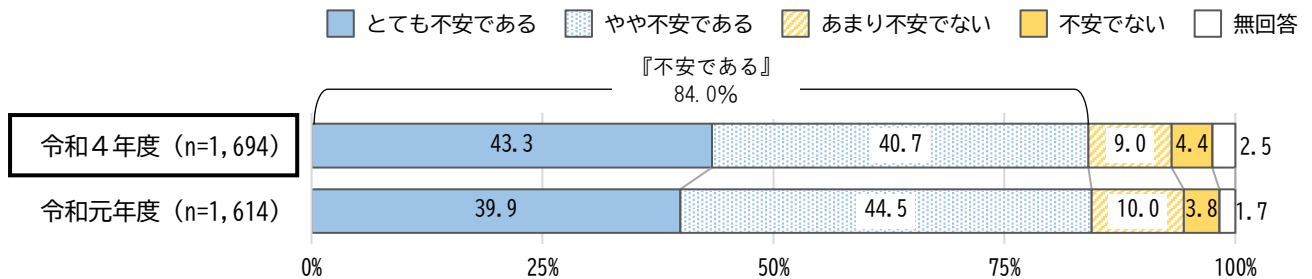
転倒に対する不安は大きいですか。(1つの番号に○)

転倒について、「とても不安である」あるいは「やや不安である」と『不安である』と回答した人の割合は、一般高齢者では42.0%となる一方、事業対象・要支援者では84.0%、要介護者（軽度）では79.8%、要介護者（重度）では82.6%と80%前後となっています。なお、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では『不安である』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

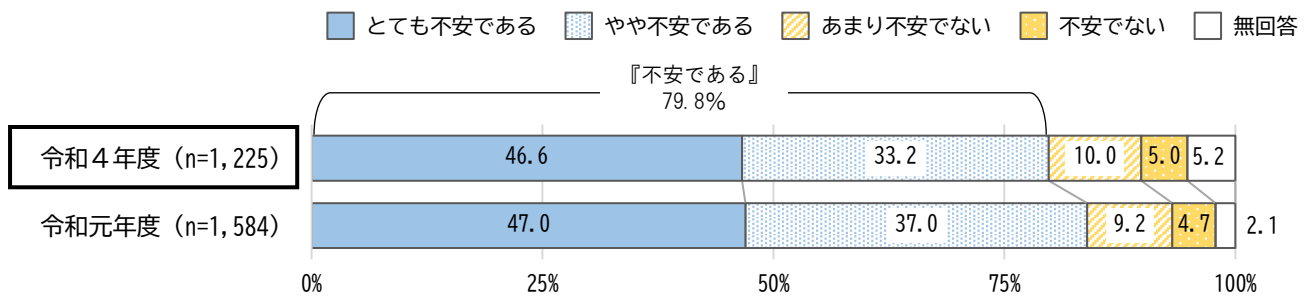
■ 一般高齢者



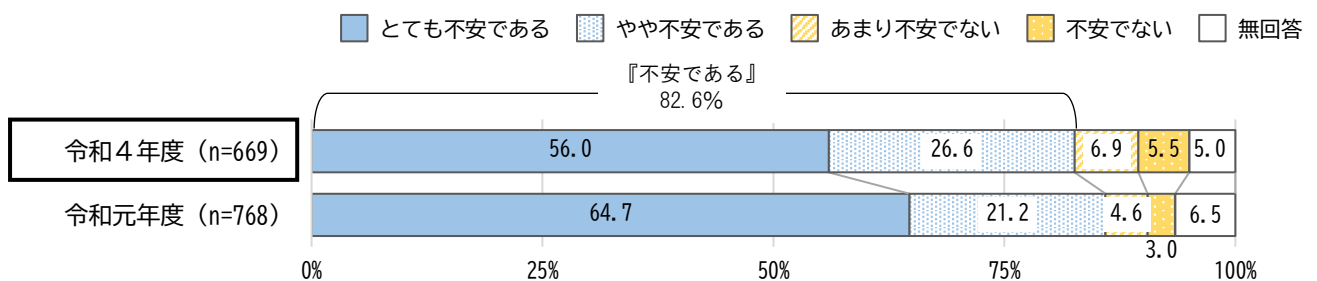
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



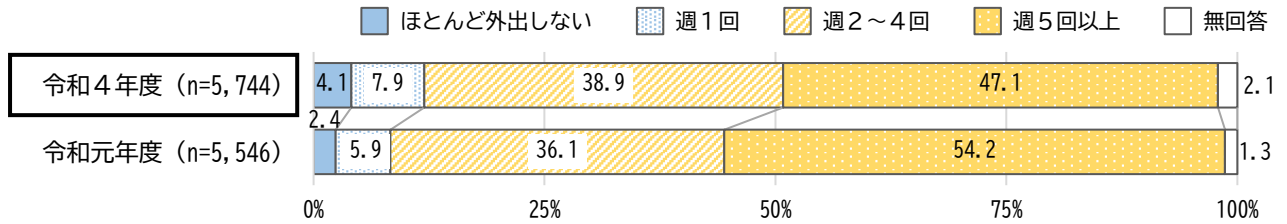
※『不安である』 = 「とても不安である」 + 「やや不安である」

(3) 閉じこもりリスク

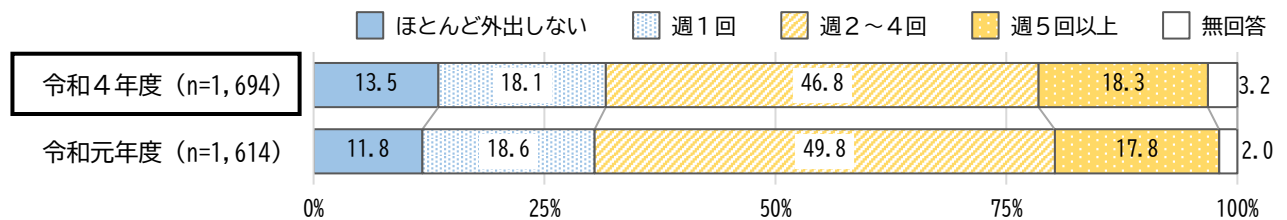
週に1回以上は外出していますか。(1つの番号に○)

外出について、「ほとんど外出しない」あるいは「週1回」程度と回答した人の割合は、一般高齢者では12.0%となる一方、事業対象・要支援者では31.6%、要介護者(軽度)では35.6%と30%を上回り、要介護者(重度)は50.2%と50%を上回っています。なお、一般高齢者では「ほとんど外出しない」あるいは「週1回」程度と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

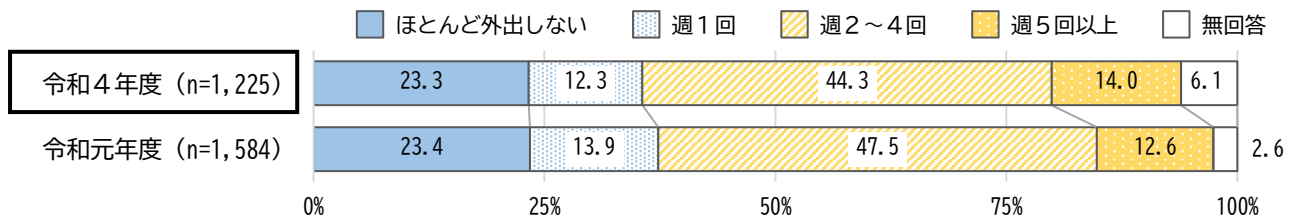
■ 一般高齢者



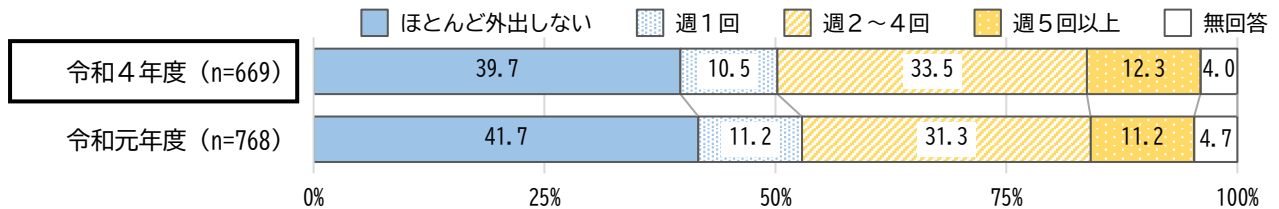
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)

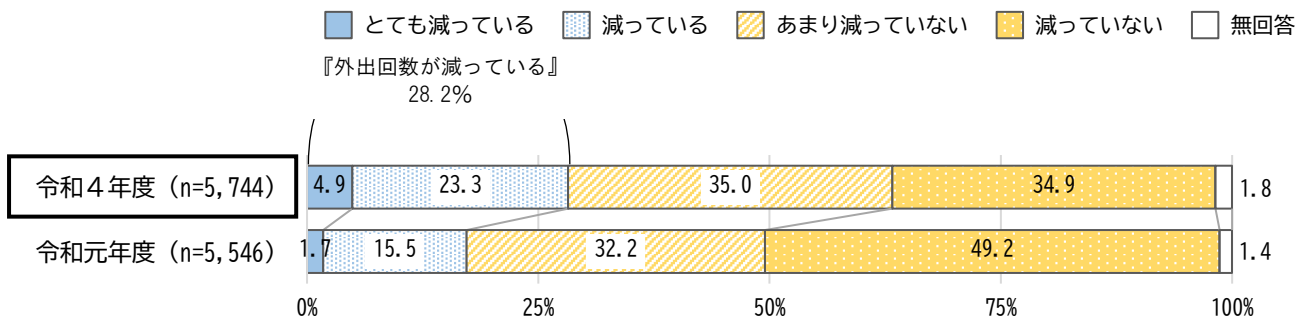


第3章 調査の結果 「6. からだを動かすことについて」

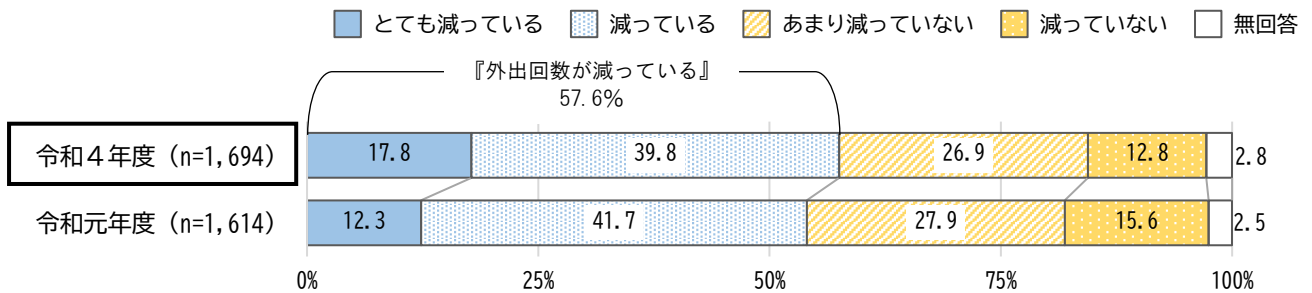
昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つの番号に○)

昨年と比べて外出の頻度について、「とても減っている」あるいは「減っている」と『外出回数が減っている』と回答した人の割合は、一般高齢者は28.2%となる一方、事業対象・要支援者では57.6%、要介護者（軽度）では52.0%、要介護者（重度）では57.9%と50%を上回っています。なお、一般高齢者では『外出回数が減っている』と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し、事業対象・要支援者、要介護者（重度）でも前回調査より増加しています。

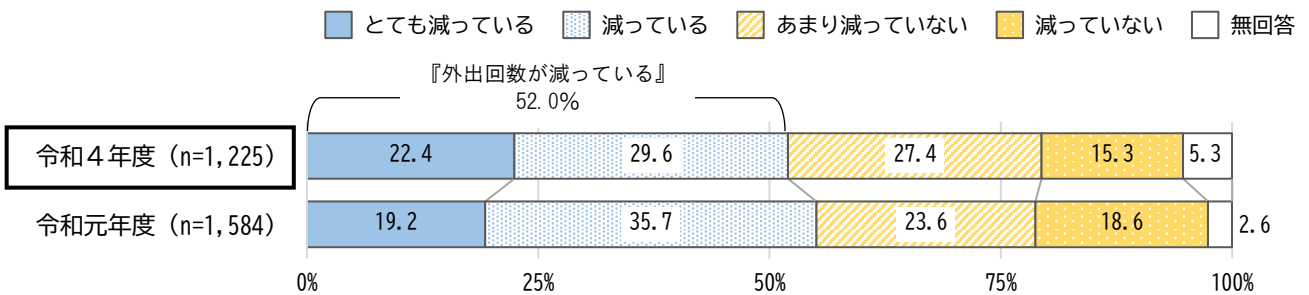
■ 一般高齢者



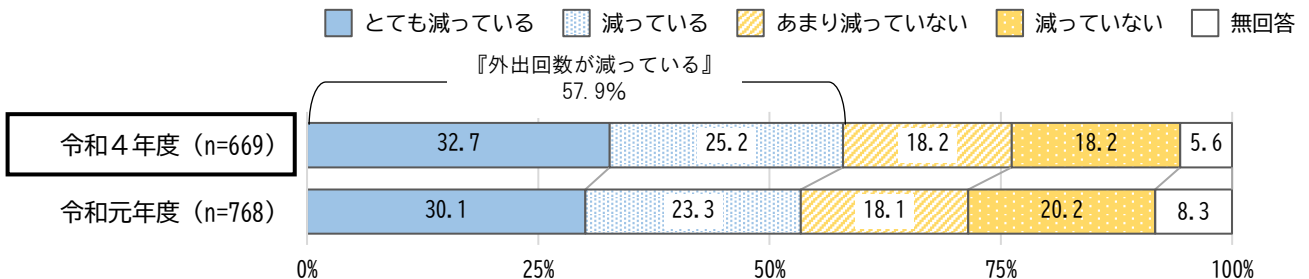
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

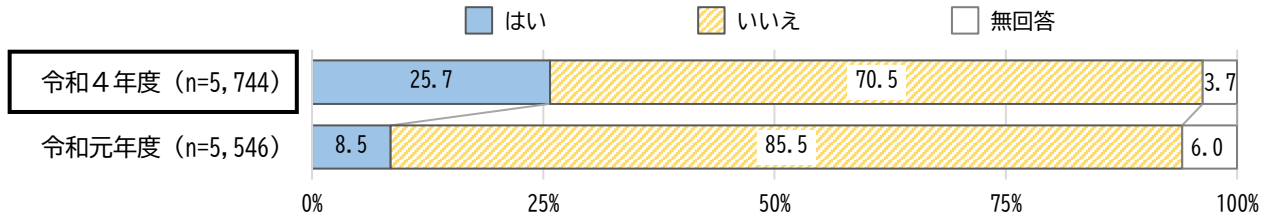


※『外出回数が減っている』 = 「とても減っている」 + 「減っている」

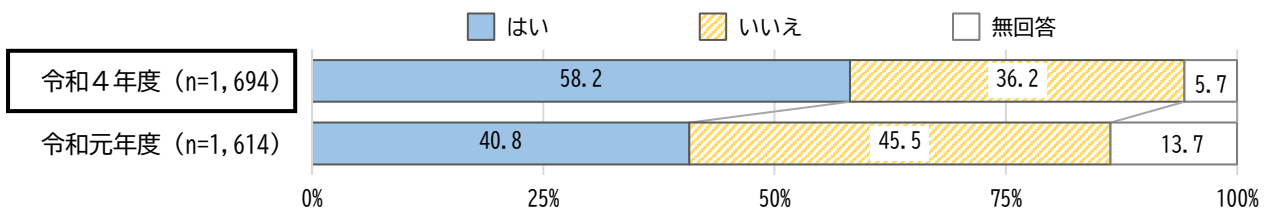
外出を控えていますか。(1つの番号に○)

外出を控えているかについて、「はい（控えている）」と回答した人の割合は、一般高齢者では25.7%となる一方、事業対象・要支援者では58.2%、要介護者（軽度）では60.4%と60%前後となっています。なお、いずれの調査でも「はい（控えている）」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加しています。

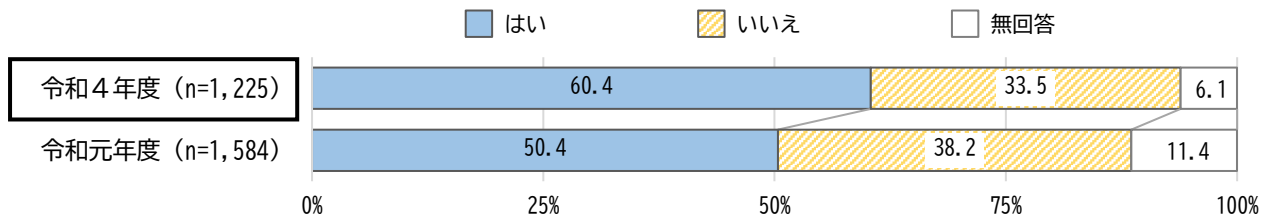
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



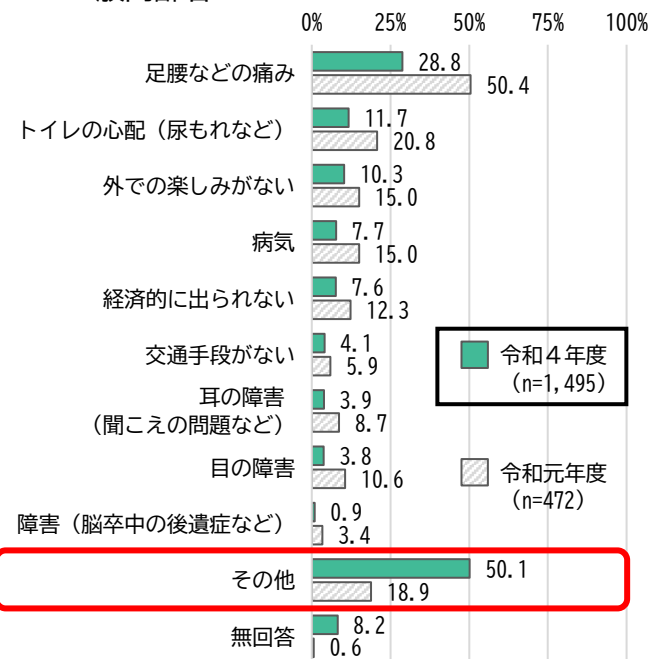
第3章 調査の結果 「6. からだを動かすことについて」

外出を控えていると答えた方におうかがいします。

外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

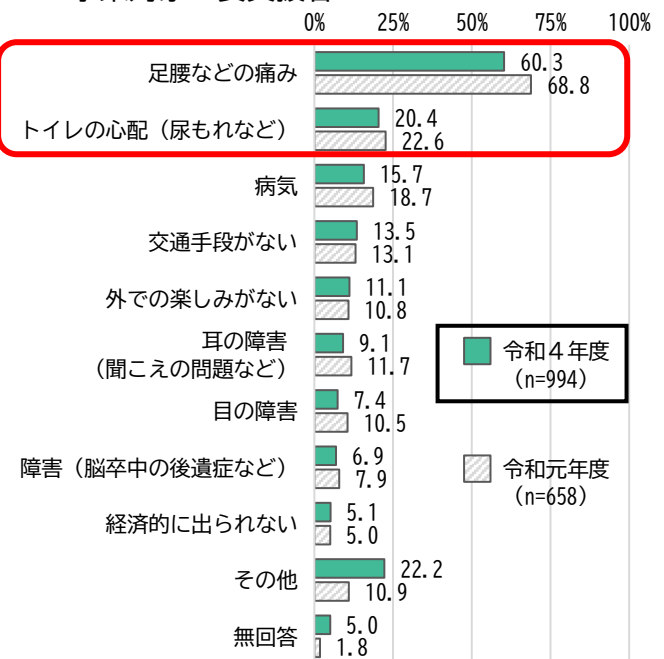
外出を控えていると答えた方の外出を控えている理由について、一般高齢者では「その他」として「コロナ感染予防のため」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「足腰などの痛み」と回答した人の割合が最も高く、事業対象・要支援者では次いで「トイレの心配」、要介護者（軽度）では次いで「病気」となっています。なお、いずれの調査でも「足腰などの痛み」と回答した人の割合が前回調査より減少し、一般高齢者、事業対象・要支援者では「その他」として「コロナ感染予防のため」が前回調査より大幅に増加しています。

■ 一般高齢者



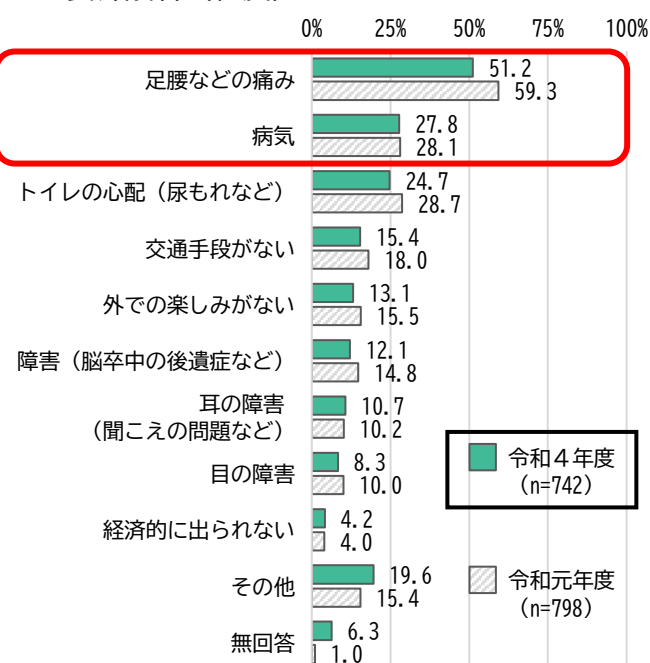
その他・・・コロナ感染予防の為

■ 事業対象・要支援者



その他・・・コロナ感染予防の為、歩行が困難な為など

■ 要介護者（軽度）



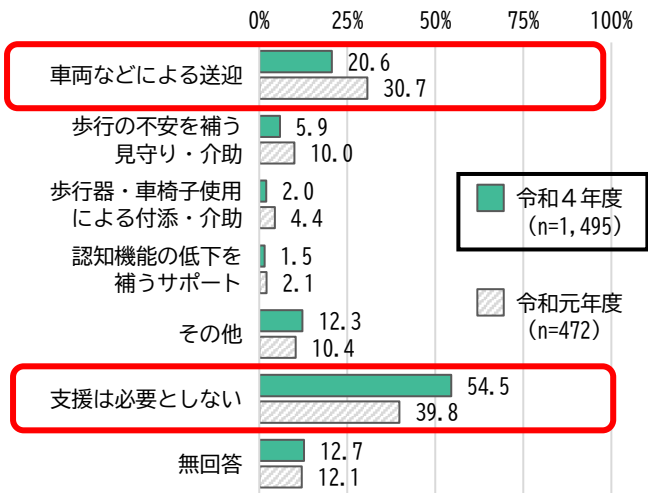
その他・・・コロナ感染予防の為、歩行が困難な為など

外出を控えていると答えた方におうかがいします

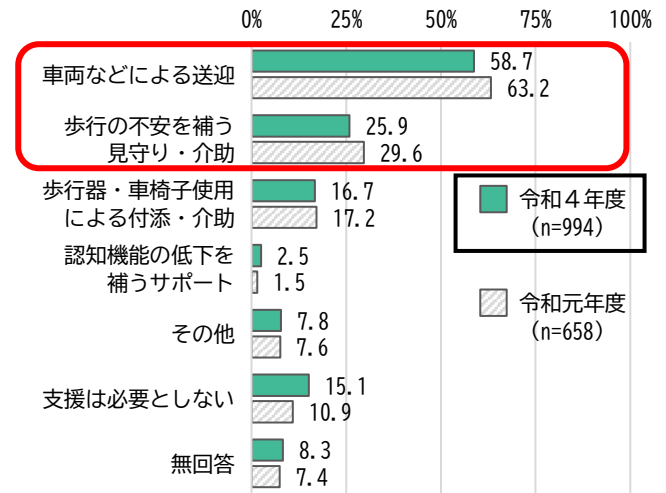
どのような支援があれば外出できますか。(あてはまるものすべての番号に○)

外出を控えていると答えた方の外出するようになるための支援について、一般高齢者では「支援は必要としない」と回答した人の割合が最も高く、次いで「車両などによる送迎」となっています。また、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「車両などによる送迎」と回答した人の割合が最も高く、次いで「歩行の不安を補う見守り・介助」となっています。

■ 一般高齢者

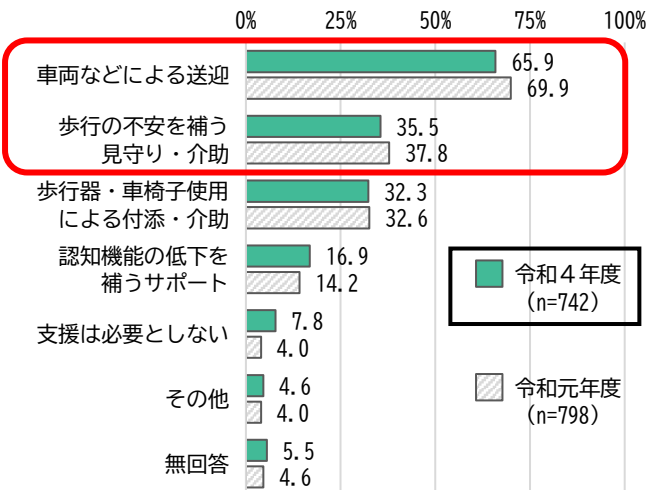


■ 事業対象・要支援者



その他・・・コロナが収束すればなど

■ 要介護者（軽度）

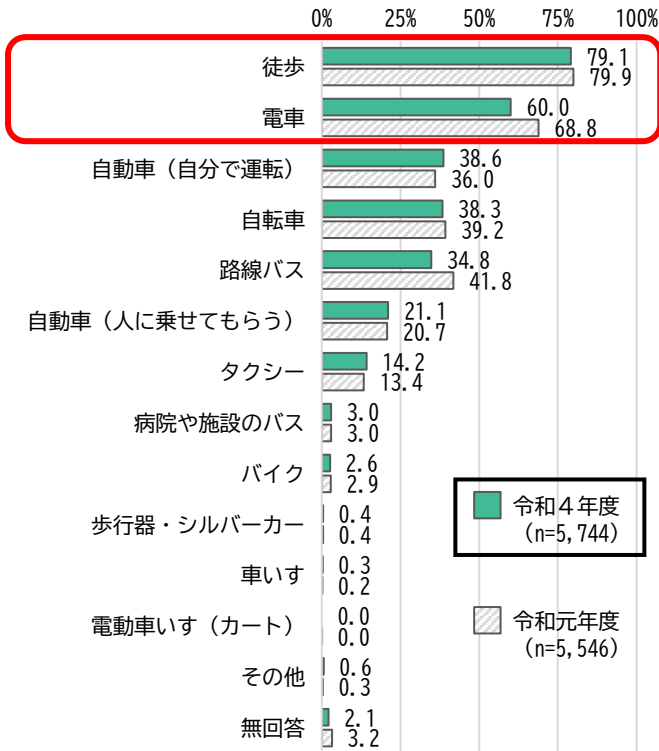


第3章 調査の結果 「6. からだを動かすことについて」

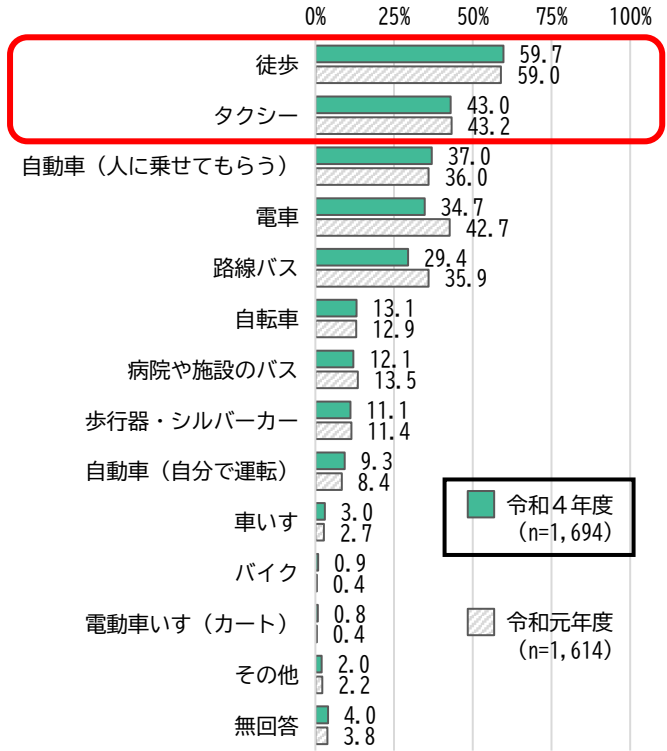
外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

外出する際の移動手段について、一般高齢者、事業対象・要支援者では「徒歩」と回答した人の割合が最も高く、一般高齢者では次いで「電車」、事業対象・要支援者では次いで「タクシー」となっています。また、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「自動車（人に乗せてもらう）」と回答した人の割合が最も高く、要介護者（軽度）では次いで「徒歩」、要介護者（重度）では次いで「車いす」となっています。

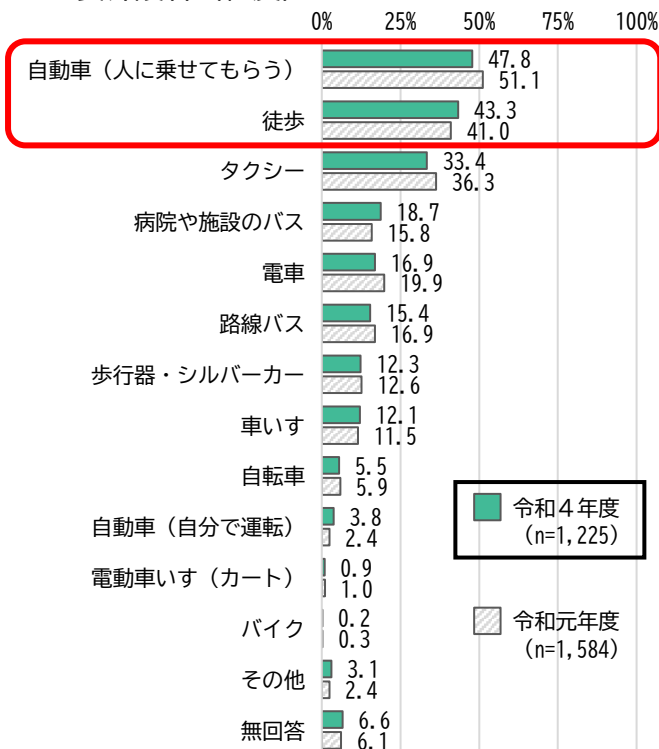
■ 一般高齢者



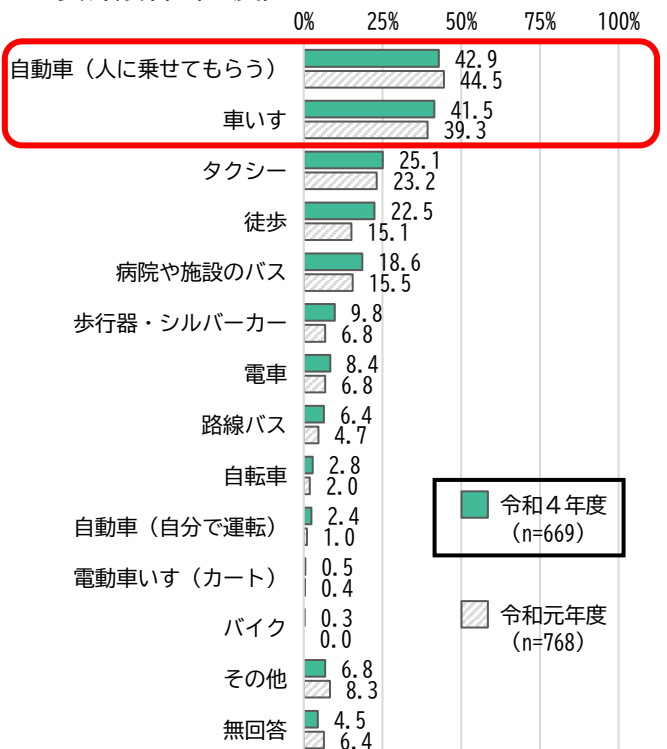
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



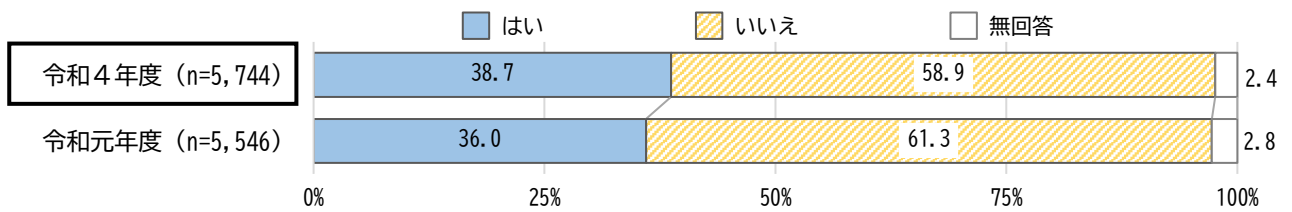
7. 毎日の生活について

(1) 認知症リスク

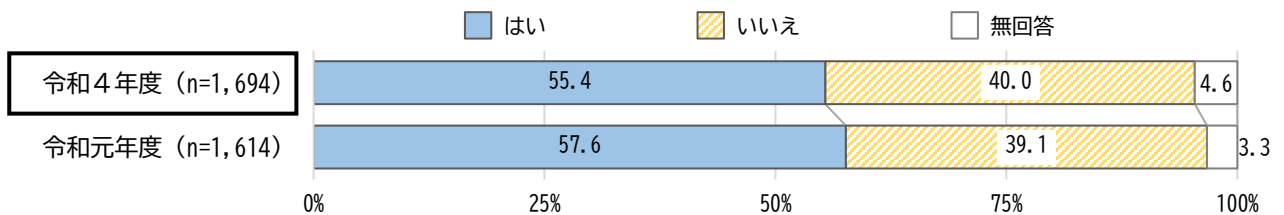
物忘れが多いと感じますか。(1つの番号に○)

物忘れが多いと感じるかについて、「はい（感じる）」と回答した人の割合は、一般高齢者では38.7%となる一方、事業対象・要支援者では55.4%と50%を上回り、要介護者（軽度）では68.8%と約70%となっています。なお、要介護者（軽度）では「はい（感じる）」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

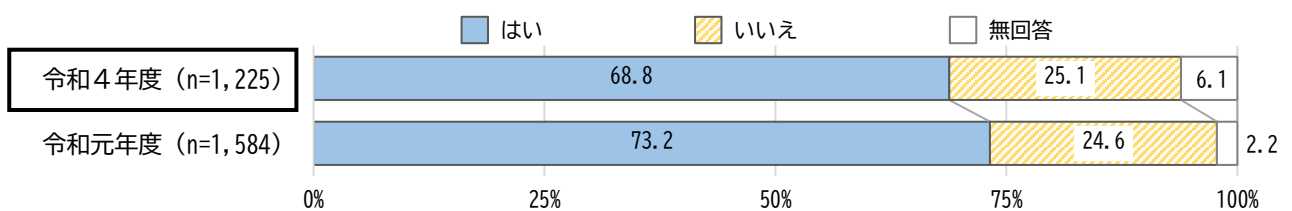
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

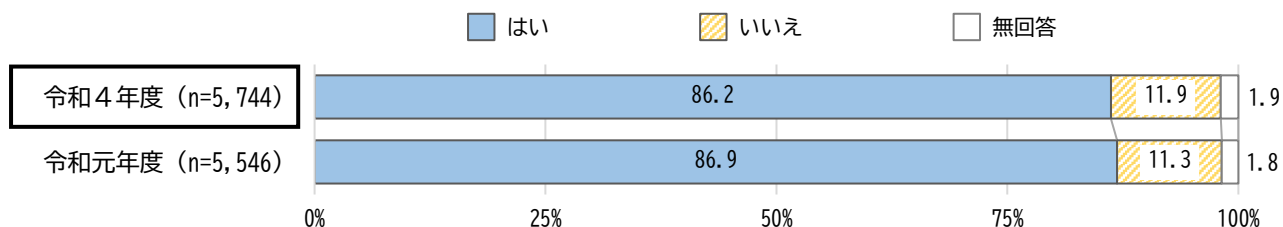


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

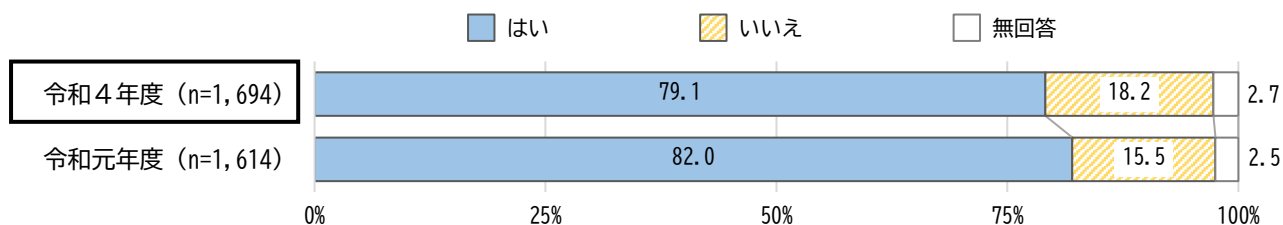
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つの番号に○)

自分で電話番号を調べて電話をしているかについて、「はい(している)」と回答した人の割合は、一般高齢者では86.2%、事業対象・要支援者では79.1%となる一方、要介護者(軽度)では47.5%と50%を下回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

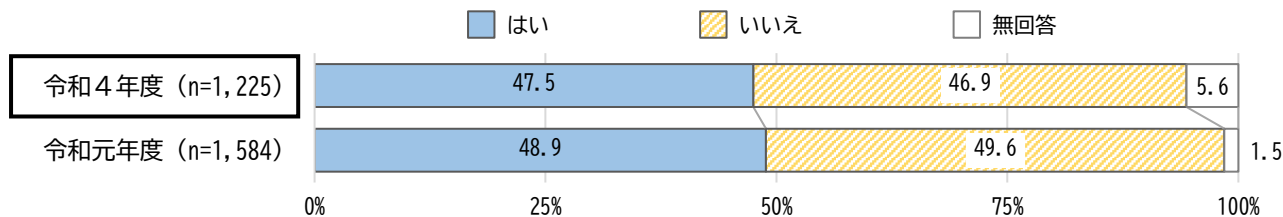
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



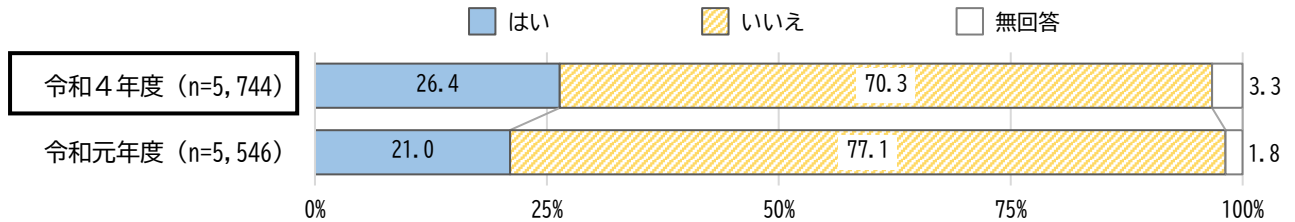
■ 要介護者(軽度)



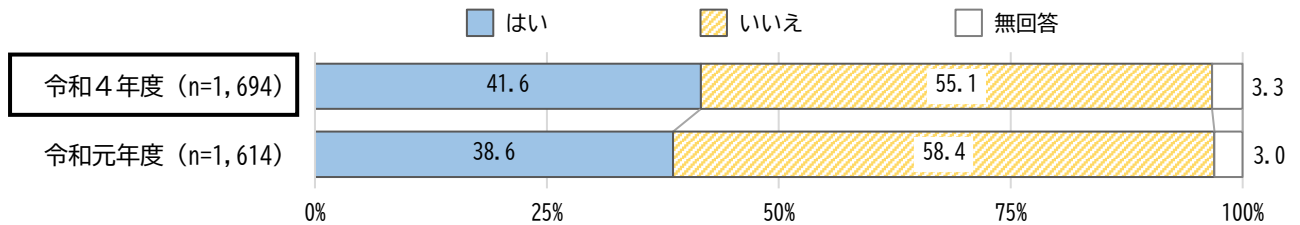
今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つの番号に○)

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい(ある)」と回答した人の割合は、一般高齢者では26.4%となる一方、事業対象・要支援者では41.6%と40%を上回り、要介護者(軽度)では61.8%と60%を上回っています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では「はい(ある)」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

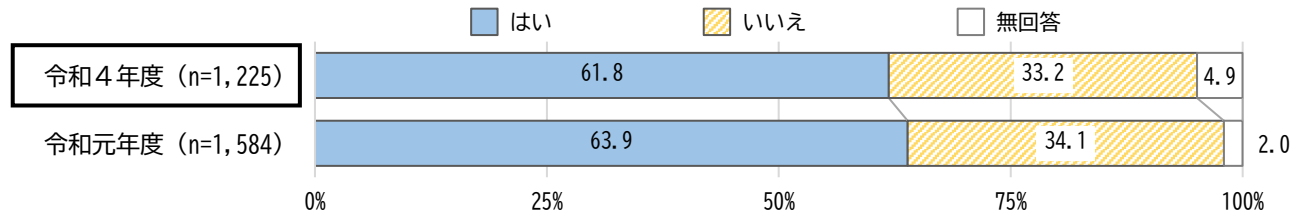
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

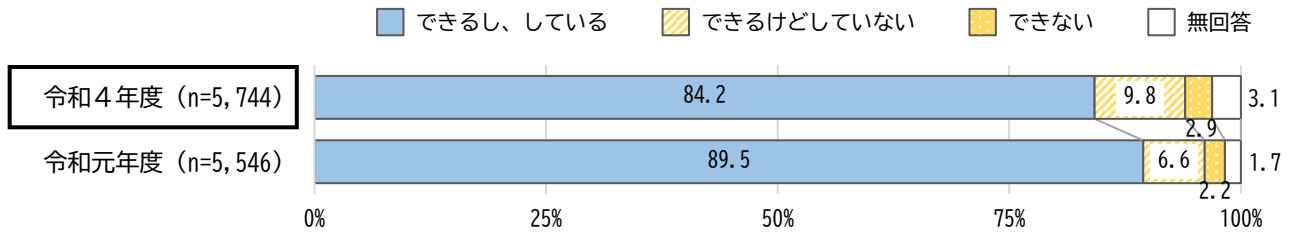


(2) IADL (手段的日常生活動作) の低下リスク

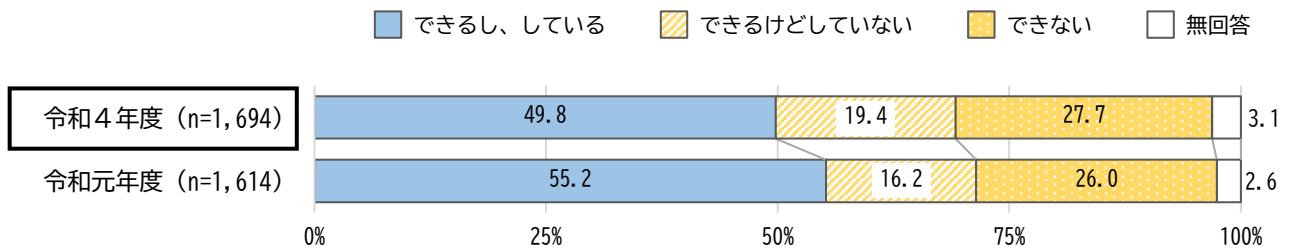
バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つの番号に○)

1人でバスや電車を使って外出することについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では12.7%となる一方、事業対象・要支援者では47.1%と40%を上回り、要介護者(軽度)では75.4%と70%を上回っています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

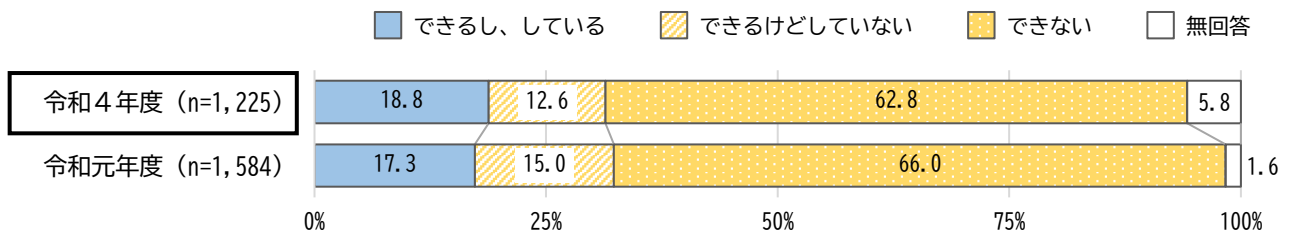
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



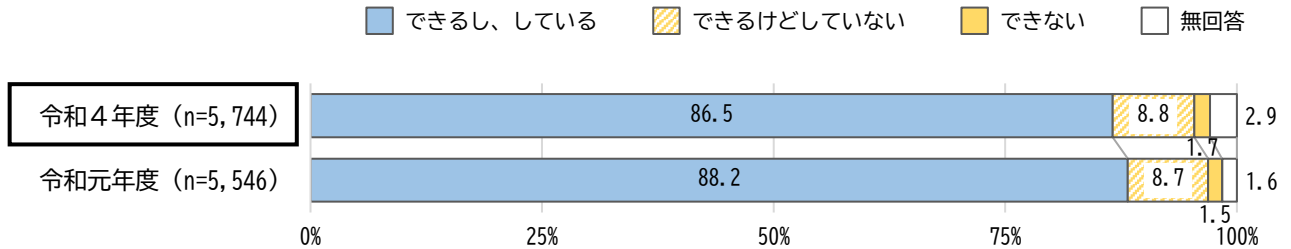
■ 要介護者(軽度)



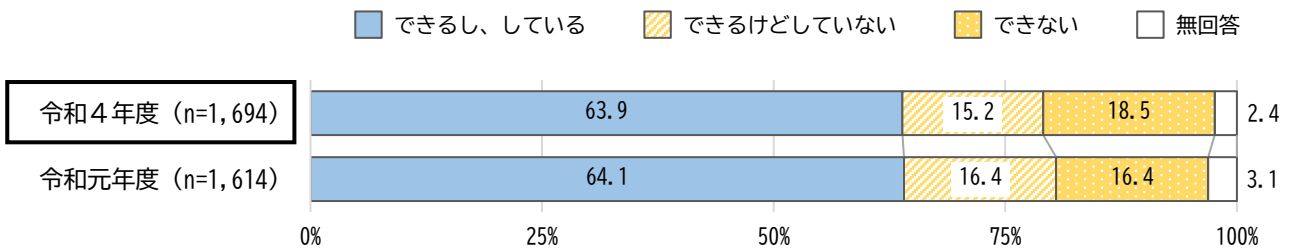
自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つの番号に○)

自分で食品・日用品の買い物をすることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では10.5%となる一方、事業対象・要支援者では33.7%と30%を上回り、要介護者（軽度）では67.7%と60%を上回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

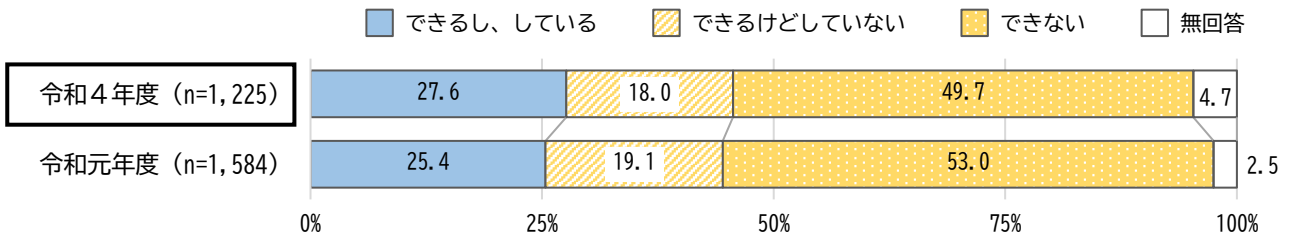
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

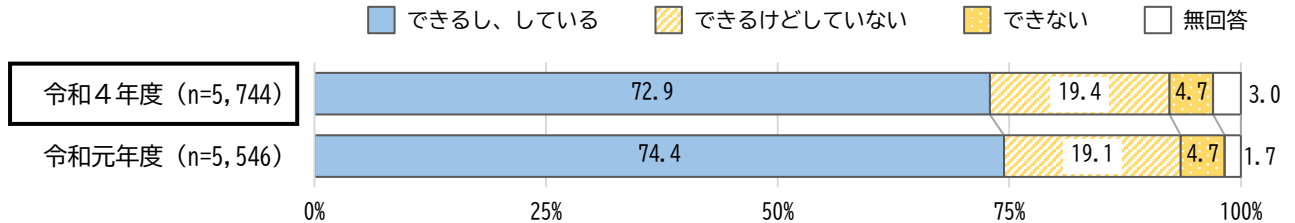


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

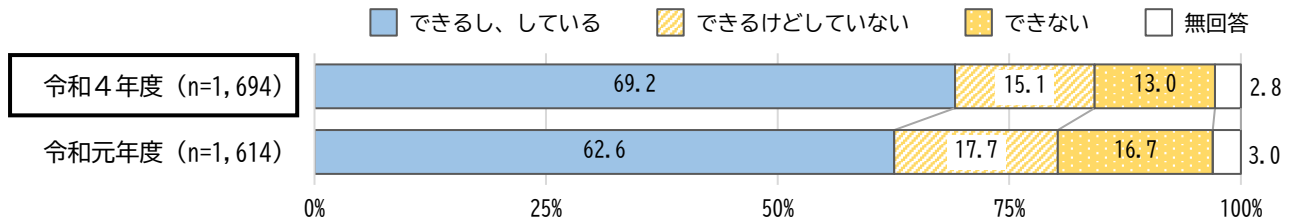
自分で食事の用意をしていますか。(1つの番号に○)

自分で食事の準備をすることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では24.1%、事業対象・要支援者では28.1%となる一方、要介護者（軽度）では64.6%と60%を上回っています。なお、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

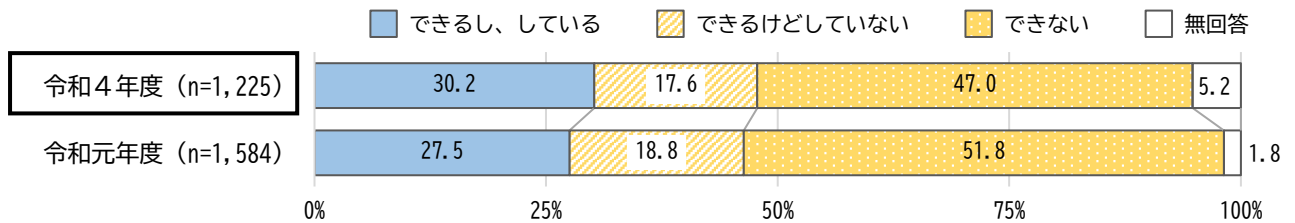
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



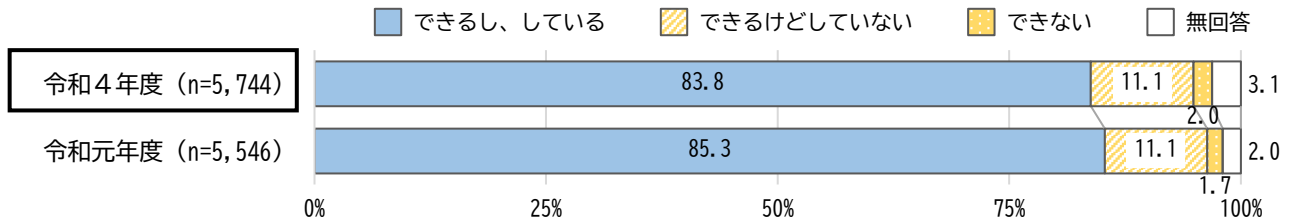
■ 要介護者（軽度）



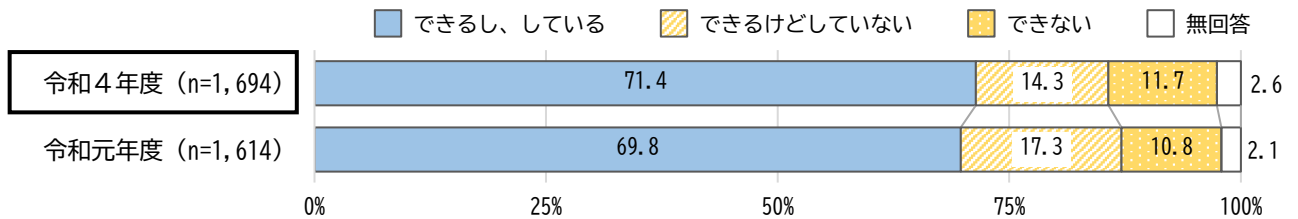
自分で請求書の支払いをしていますか。(1つの番号に○)

自分で請求書の支払いをすることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では13.1%、事業対象・要支援者では26.0%となる一方、要介護者（軽度）では67.0%と60%を上回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

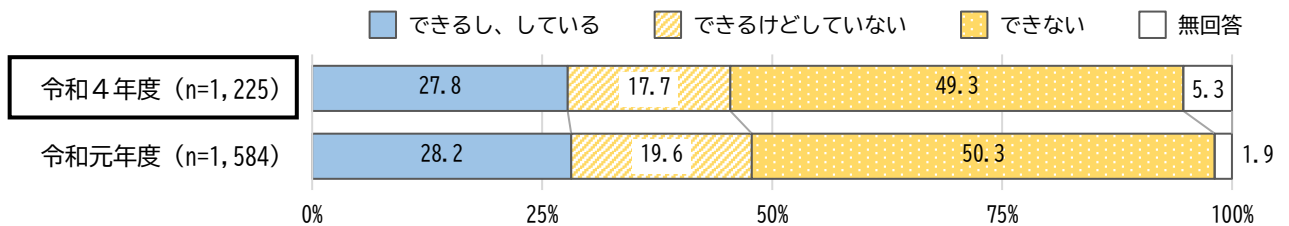
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

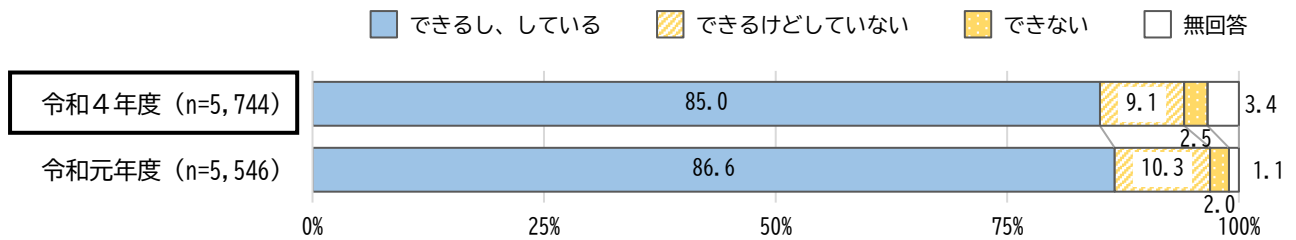


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

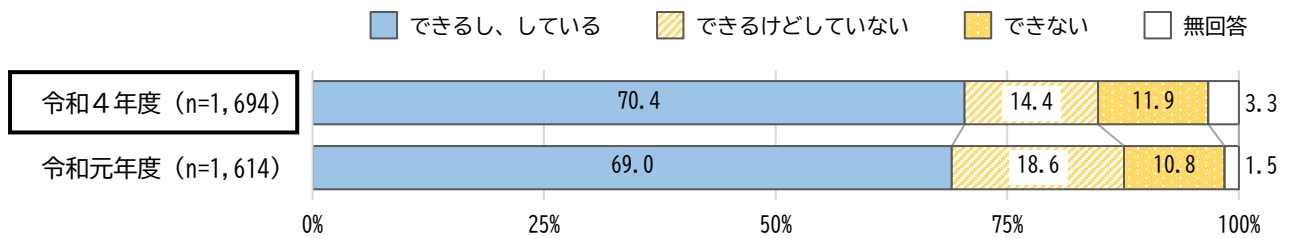
自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つの番号に○)

自分で預貯金の出し入れをすることについて、「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合は、一般高齢者では11.6%、事業対象・要支援者では26.3%となる一方、要介護者（軽度）では66.3%と60%を上回っています。なお、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「できるけどしていない」あるいは「できない」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

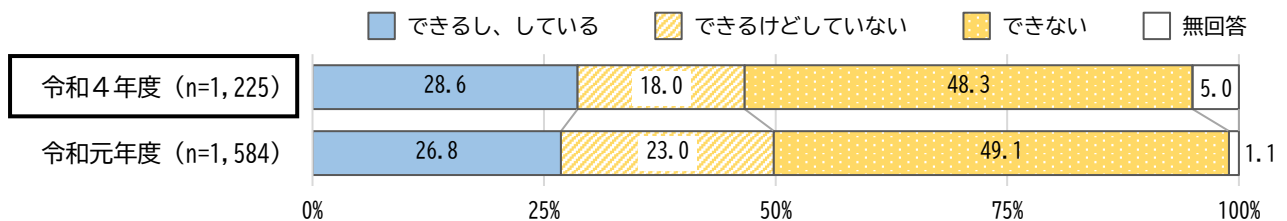
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

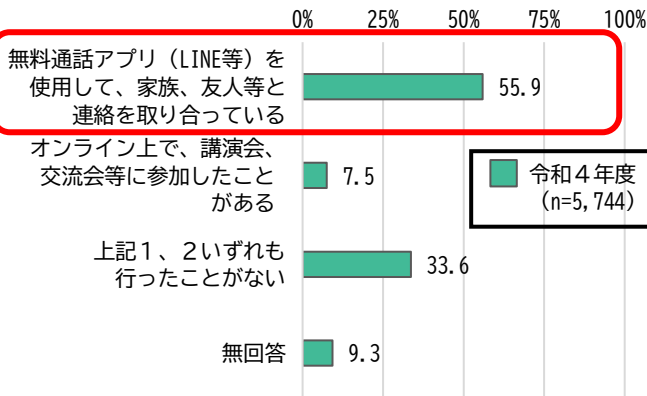


(3) スマートフォンの活用状況

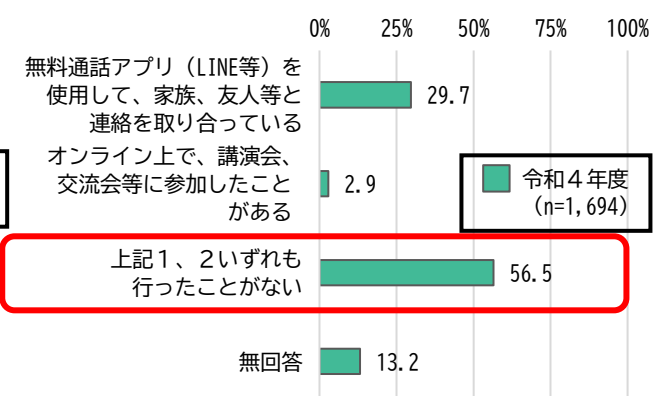
スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ（例：LINE等）を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

スマートフォンやタブレットの活用について、「無料通話アプリ（LINE等）を使用して、家族、友人等と連絡を取り合っている」と回答した人の割合は、一般高齢者では55.9%と50%を上回る一方、「上記1、2いずれも行ったことがない」と回答した人の割合について、事業対象・要支援者では56.5%と50%を上回り、要介護者（軽度）では71.0%、要介護者（重度）では74.3%と70%を上回っています。

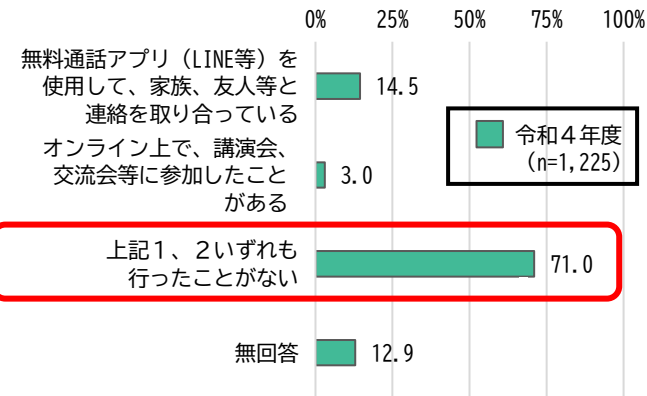
■ 一般高齢者



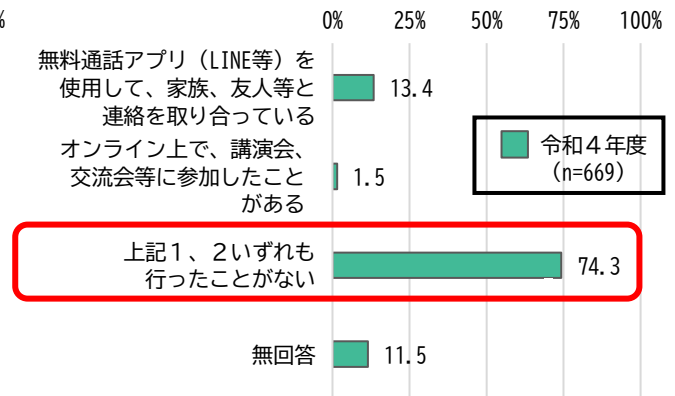
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



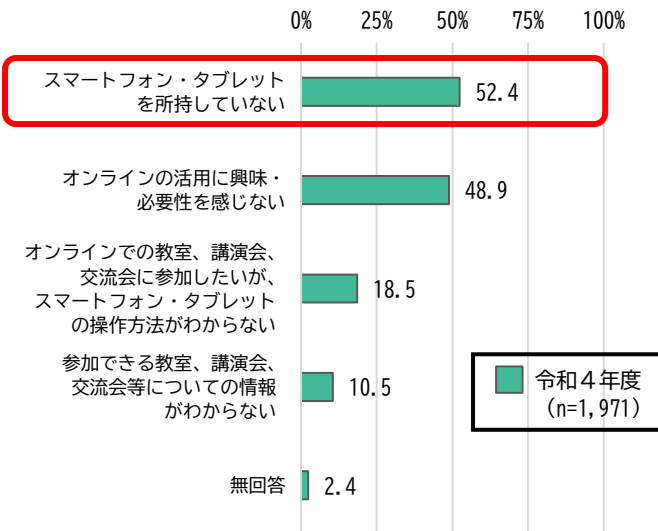
第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

いずれも行ったことがないと答えた方におうかがいします。

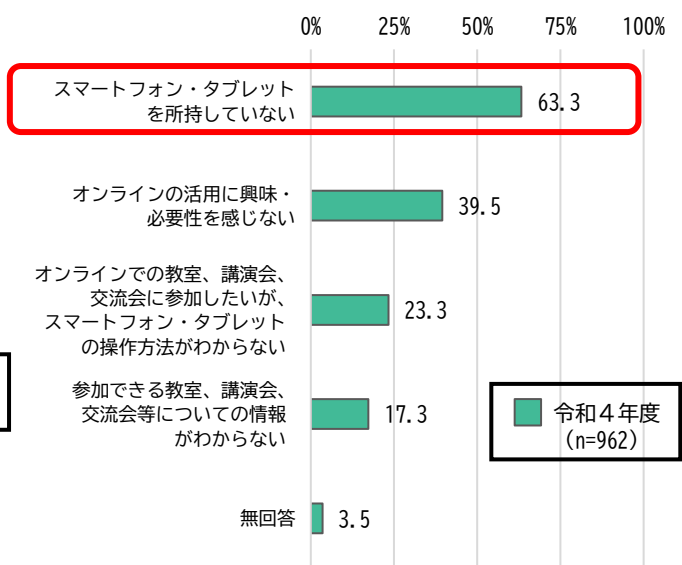
行ったことがない理由はなんですか。(あてはまるものすべての番号に○)

いずれも行ったことがないと答えた方の行ったことがない理由について、いずれの調査でも「スマートフォン・タブレットを所持していない」と回答した人の割合が高くなっています。

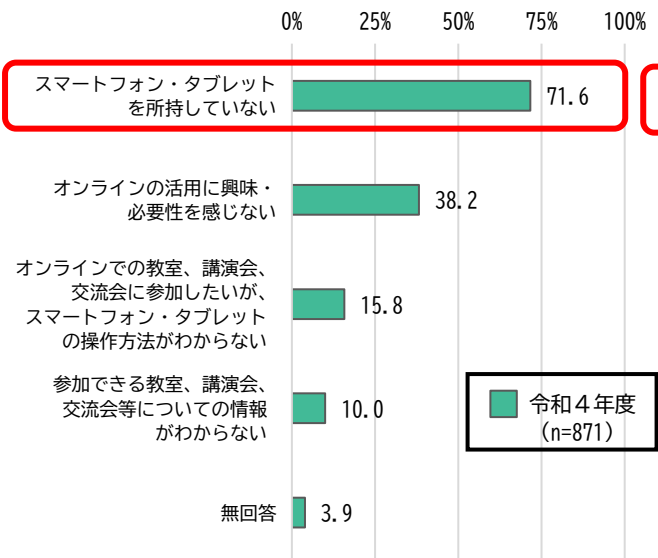
■ 一般高齢者



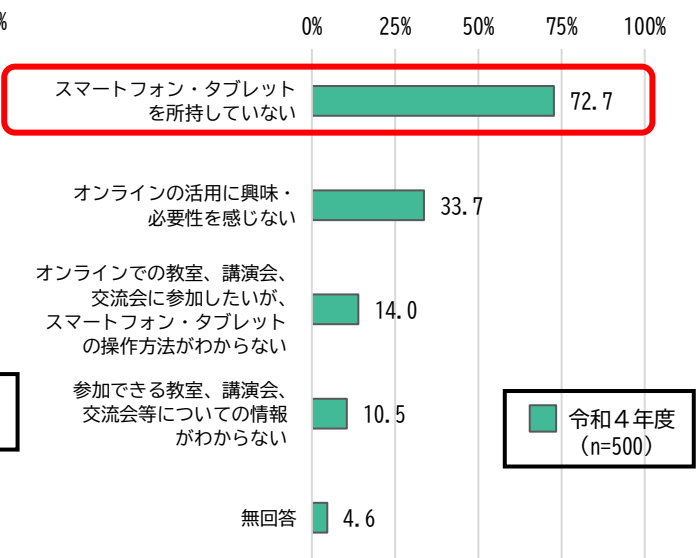
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

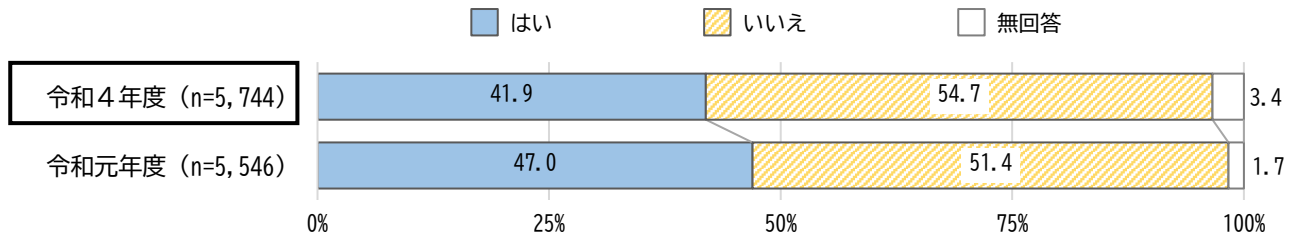


(4) 家族や友人、周囲との付き合い

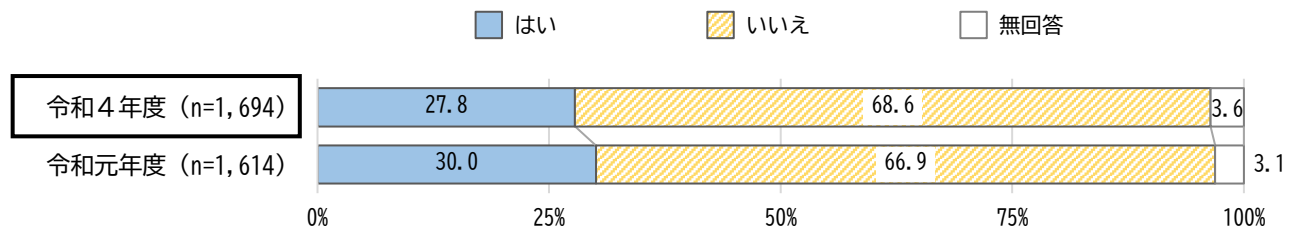
友人の家を訪ねていますか。(1つの番号に○)

友人の家を訪ねているかについて、「はい(訪ねている)」と回答した人の割合は、一般高齢者では41.9%となる一方、事業対象・要支援者では27.8%と30%を下回り、要介護者(軽度)では12.4%と20%を下回っています。なお、一般高齢者では「はい(訪ねている)」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

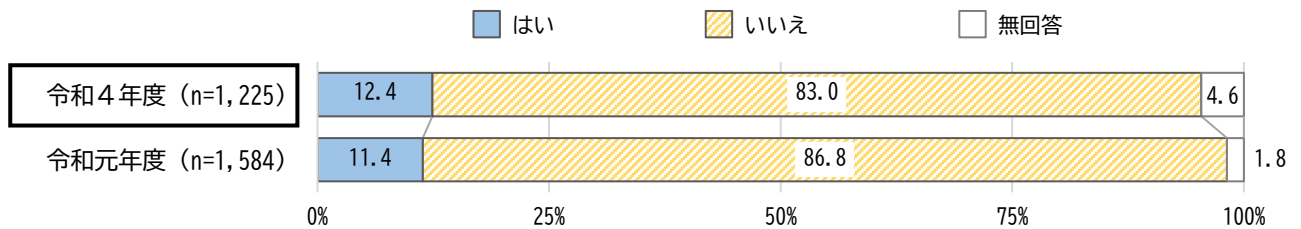
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

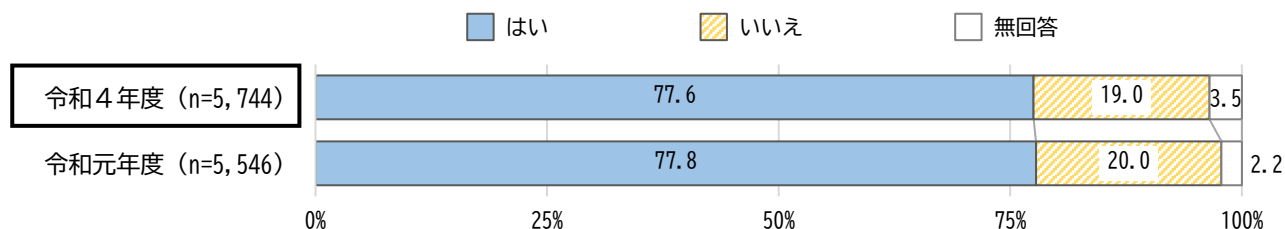


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

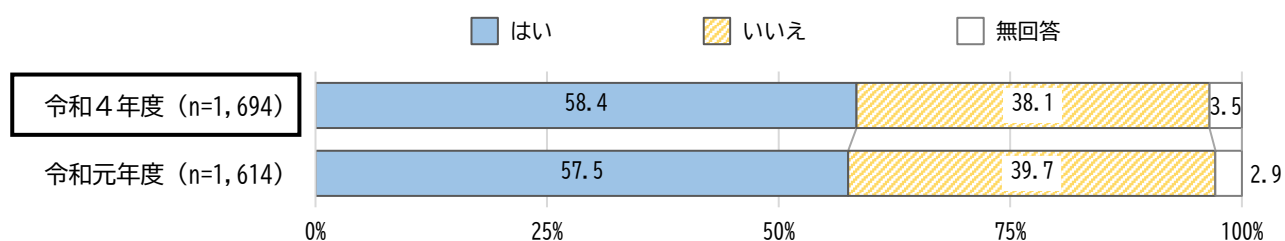
家族や友人の相談にのっていますか。(1つの番号に○)

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい(のっている)」と回答した人の割合は、一般高齢者では77.6%となる一方、事業対象・要支援者では58.4%と60%を下回り、要介護者(軽度)では34.5%と40%を下回っています。なお、要介護者(軽度)では「はい(のっている)」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

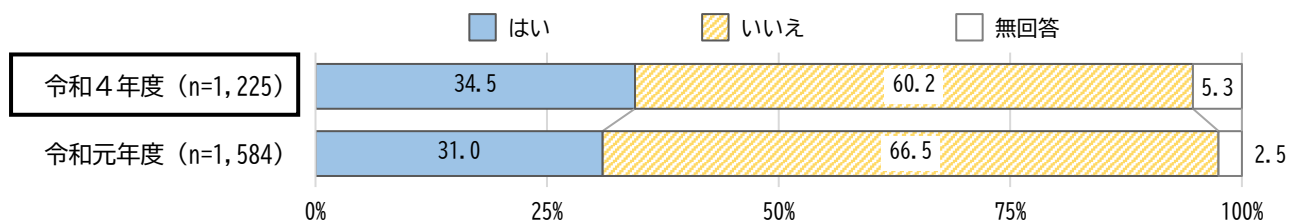
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



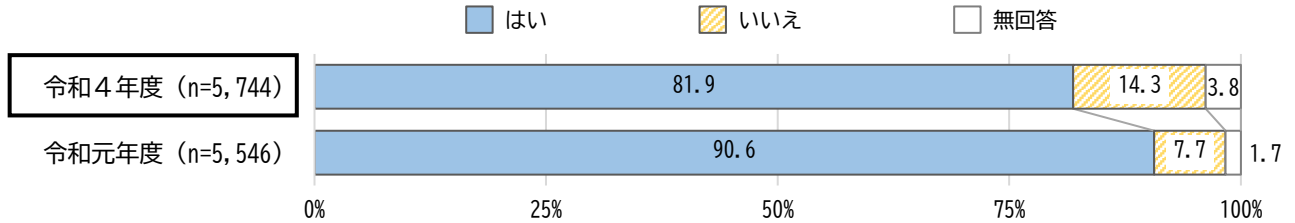
■ 要介護者(軽度)



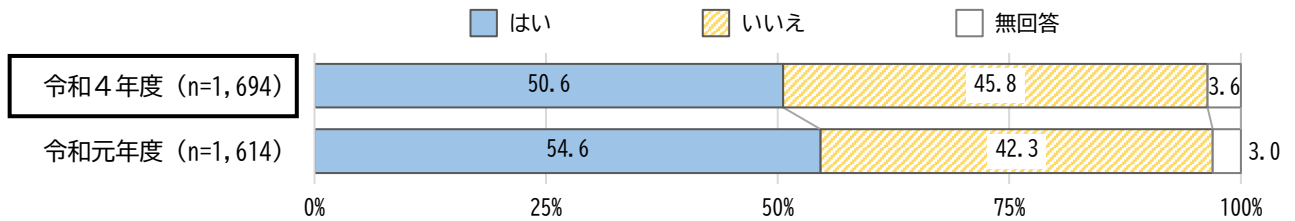
病人を見舞うことができますか。(1つの番号に○)

病人を見舞うことができるかについて、「はい(できる)」と回答した人の割合は、一般高齢者では81.9%となる一方、事業対象・要支援者では50.6%と約50%となり、要介護者(軽度)では27.4%と30%を下回っています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では「はい(できる)」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

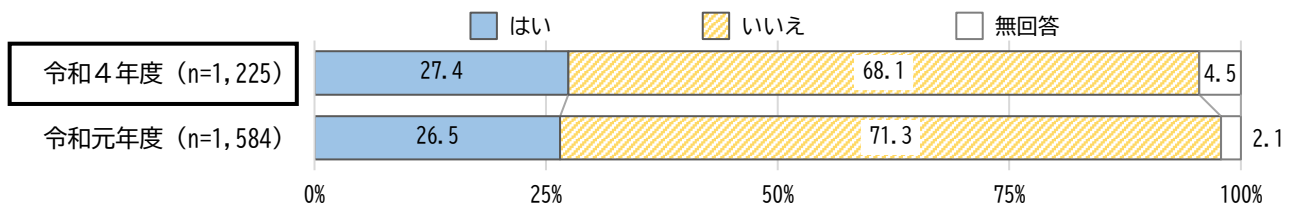
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

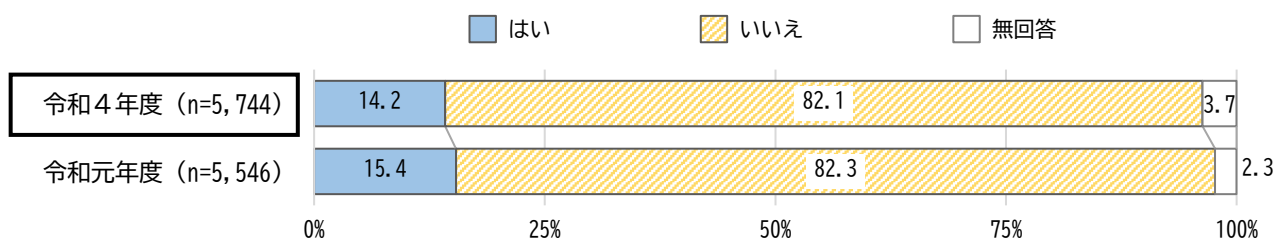


(5) ペット

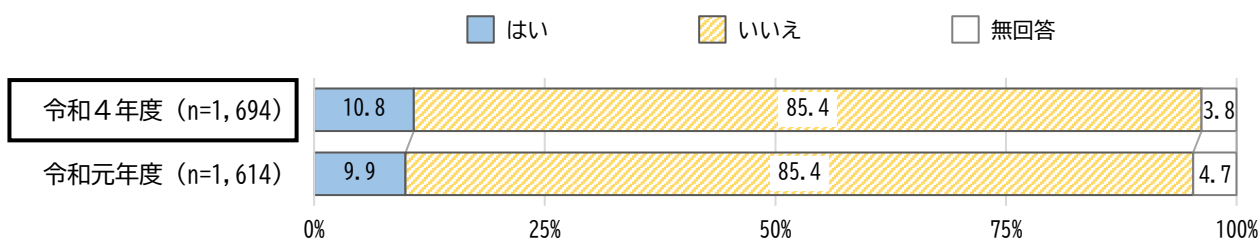
ペットを飼っていますか。(1つの番号に○)

ペットを飼っているかについて、「はい（飼っている）」と回答した人の割合は、一般高齢者では14.2%となっており、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）でも10%程度となっています。なお、いずれの調査でも前回調査からペットを飼っている割合に大きな変化は見られていません。

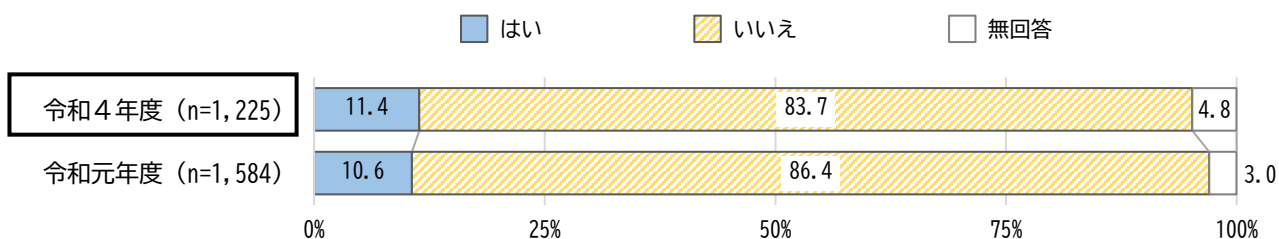
■ 一般高齢者



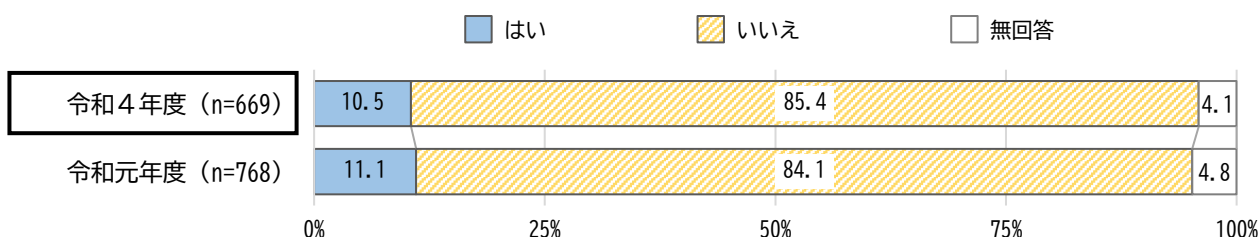
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

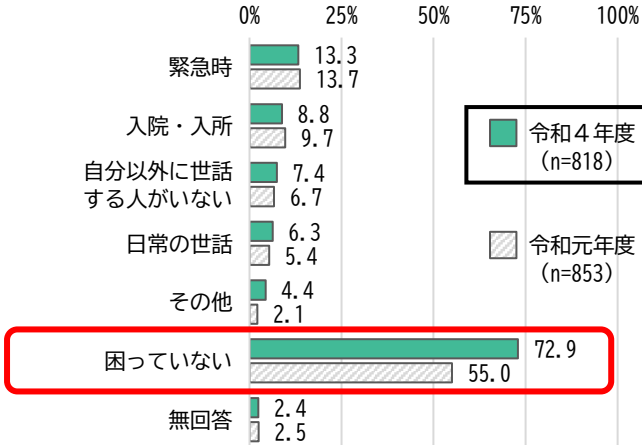


ペットを飼っていると答えた方におうかがいします。

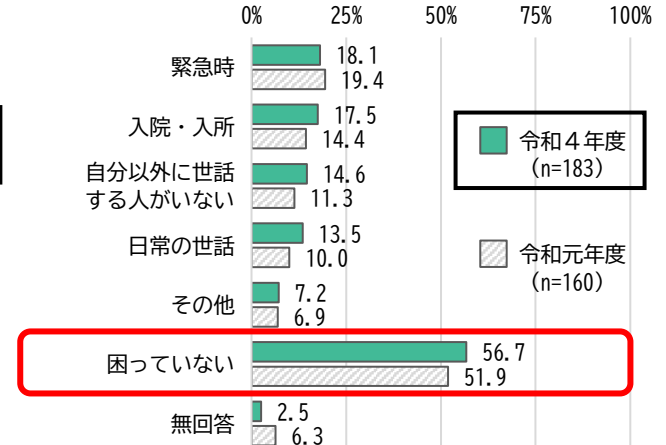
ペットを飼っていて困ることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

ペットを飼っていると答えた方のペットを飼っていて困ることについて、いずれの調査でも「困っていない」と回答した人の割合が最も高く、次いで「緊急時」となっています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では「困っていない」と回答した人の割合が前回調査より増加し、要介護者（軽度）では「緊急時」と回答した人の割合が前回調査より増加し、要介護者（重度）では大幅に増加しています。

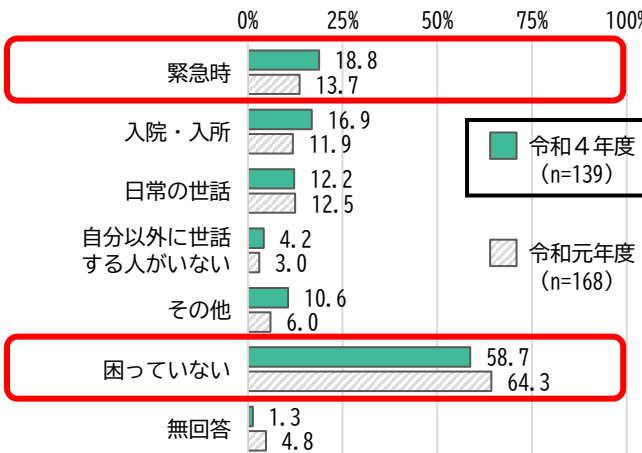
■ 一般高齢者



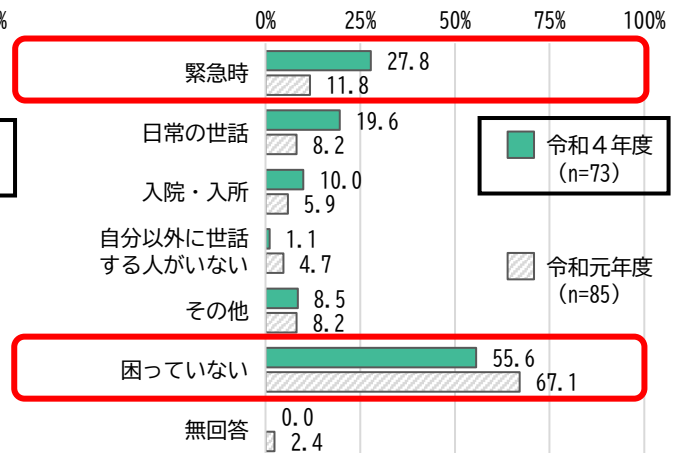
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

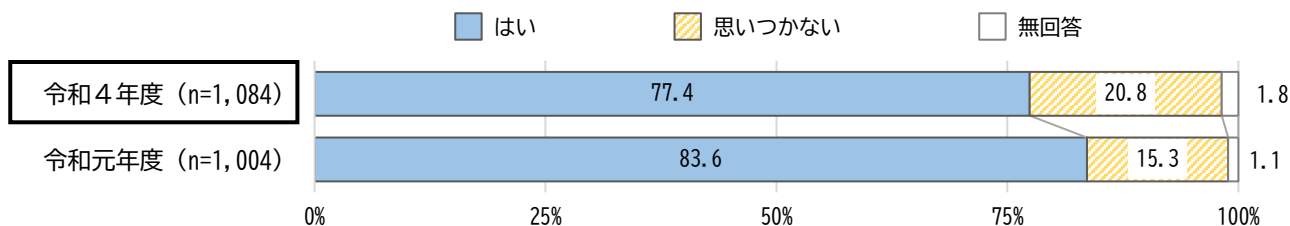


(6) 生きがい

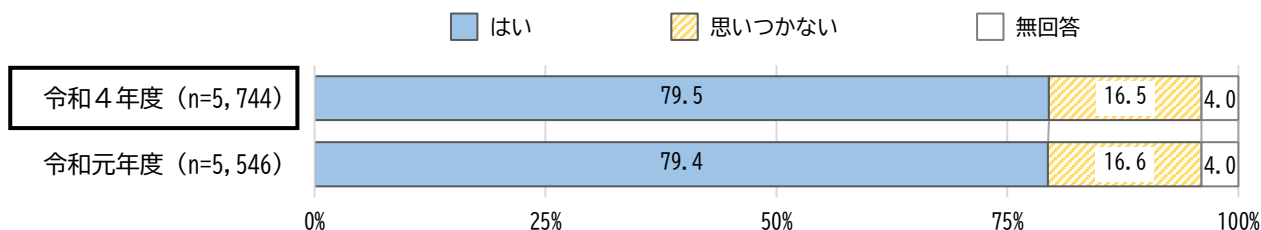
生きがいはありますか。(1つの番号に○)

生きがいがあるかについて、「はい(ある)」と回答した人の割合は、若年者では77.4%、一般高齢者では79.5%となる一方、事業対象・要支援者では65.3%と70%を下回り、要介護者(軽度)では45.7%、要介護者(重度)では42.4%と50%を下回っています。なお、若年者、事業対象・要支援者、要介護者(軽度)では「はい(ある)」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

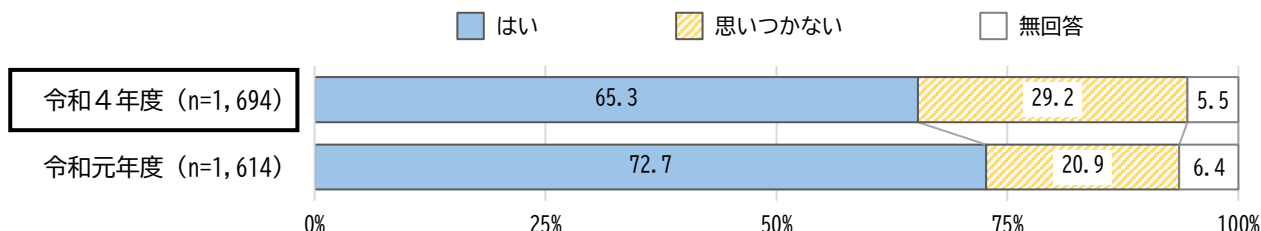
■ 若年者



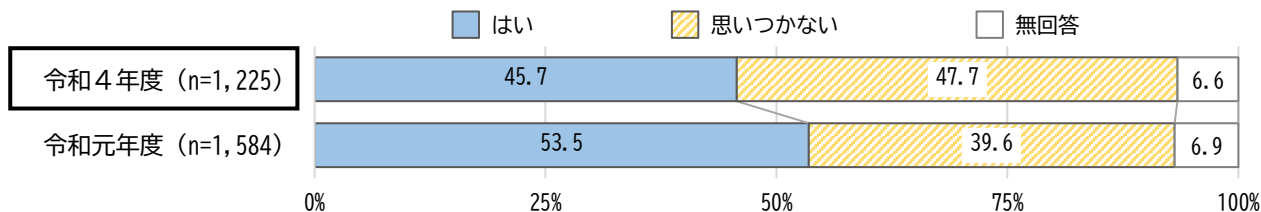
■ 一般高齢者



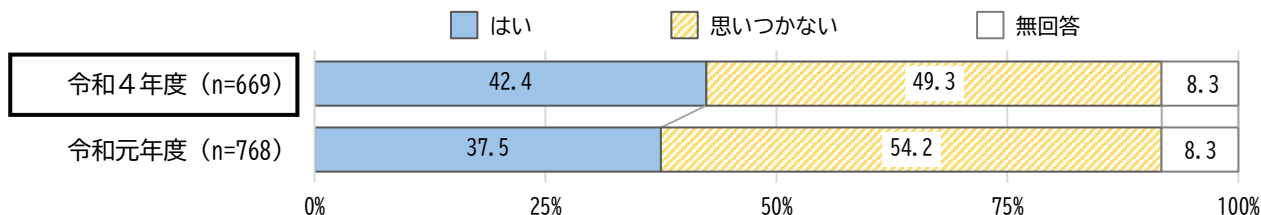
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)

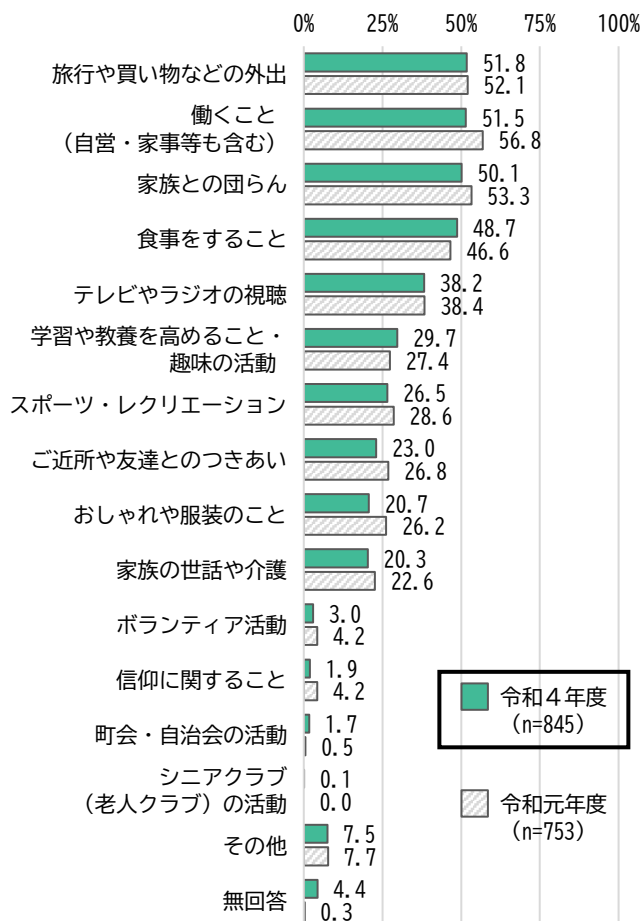


生きがいがあると答えた方におうかがいします。

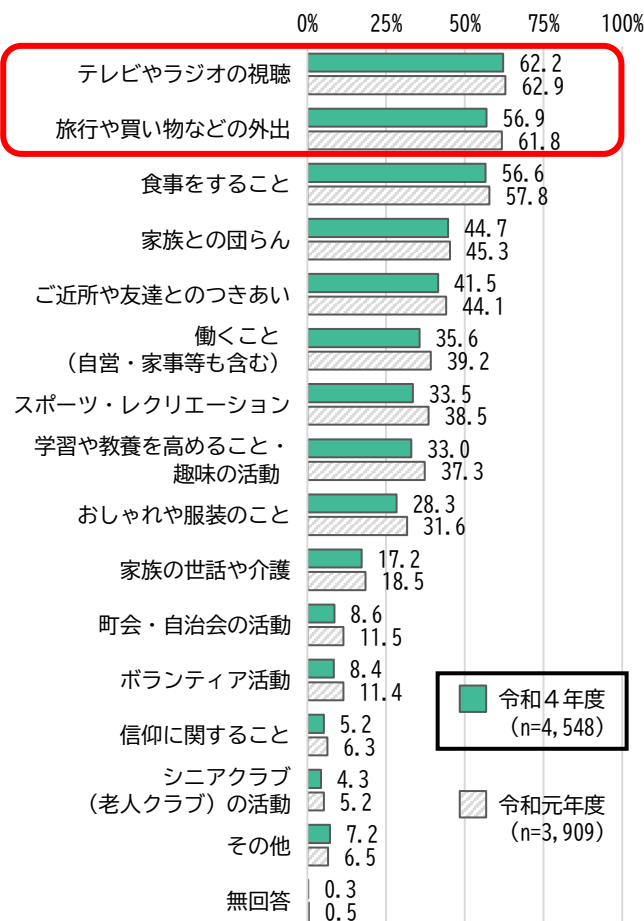
「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

生きがいがあると答えた方の生きがいとして感じていることについて、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「テレビやラジオの視聴」と回答した人の割合が最も高く、一般高齢者では次いで「旅行や買い物などの外出」となっており、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では次いで「食事をする事」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

■ 若年者

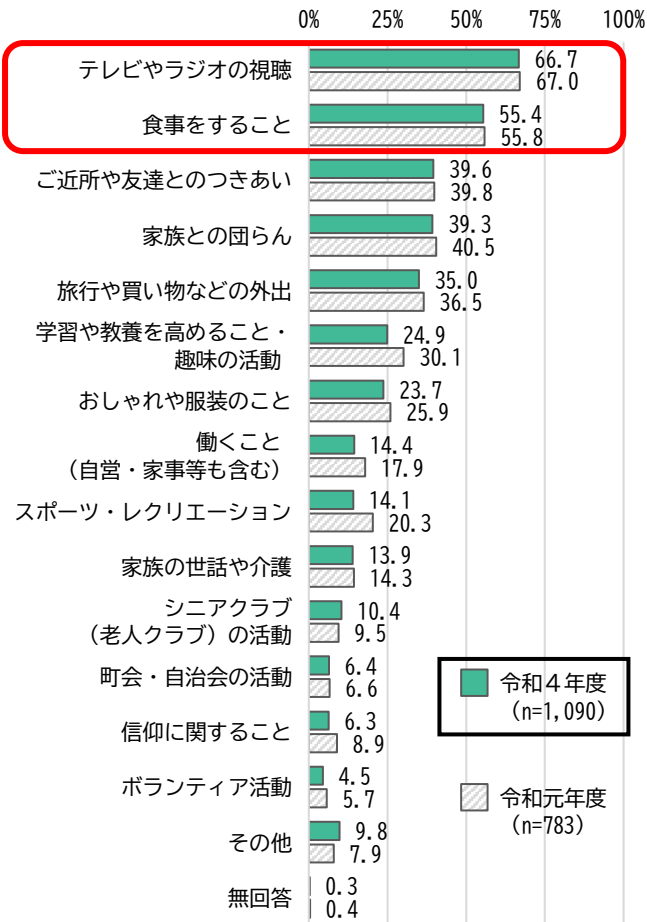


■ 一般高齢者

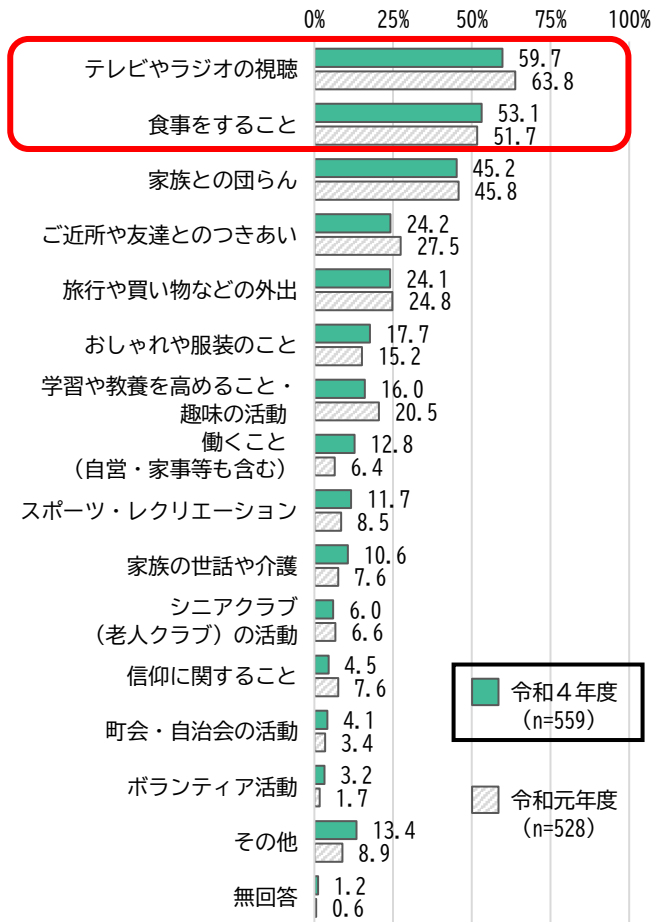


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

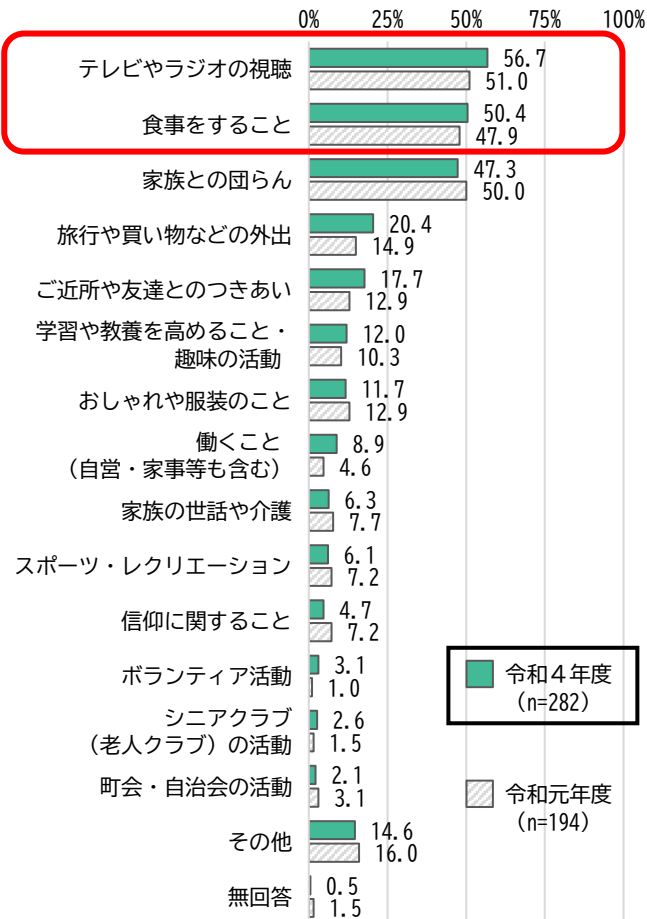
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者 (軽度)



■ 要介護者 (重度)

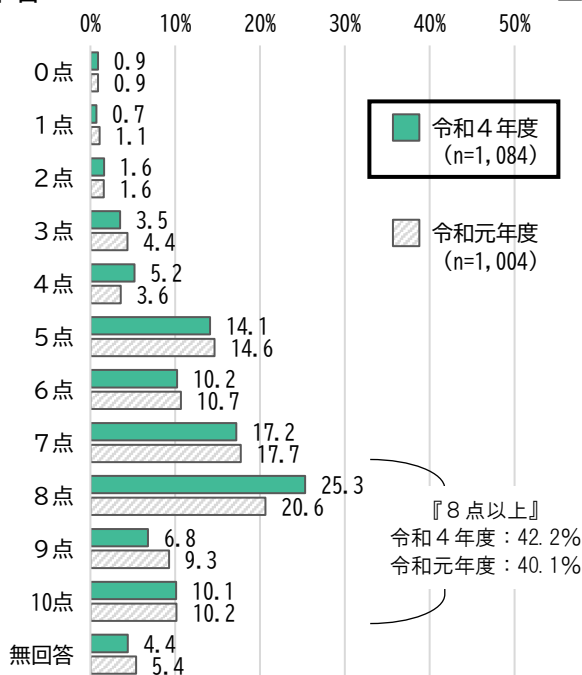


(7) 主観的幸福感

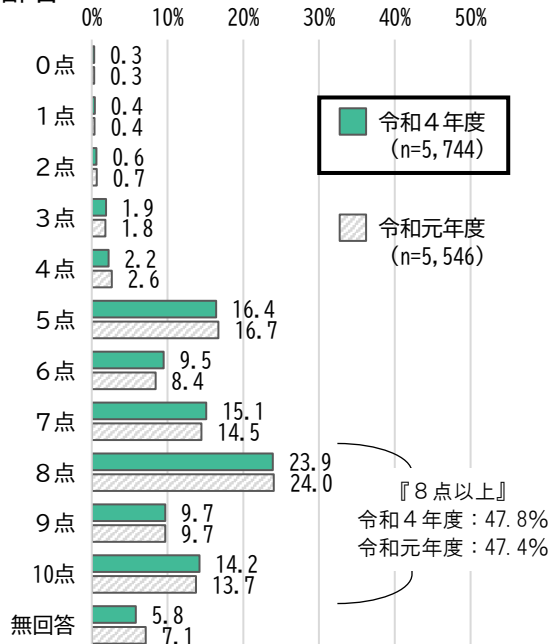
あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください）。（1つの点数に○）

現在の幸せ度合いについて、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした際、「8点」「9点」「10点」と『8点以上』と回答した人の割合は、若年者では42.2%、一般高齢者では47.8%、事業対象・要支援者では36.2%、要介護者（軽度）では30.6%、要介護者（重度）では21.0%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

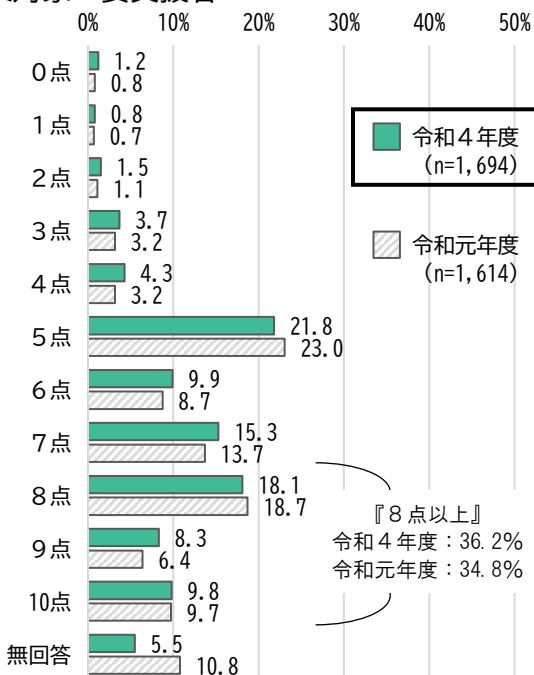
■ 若年者



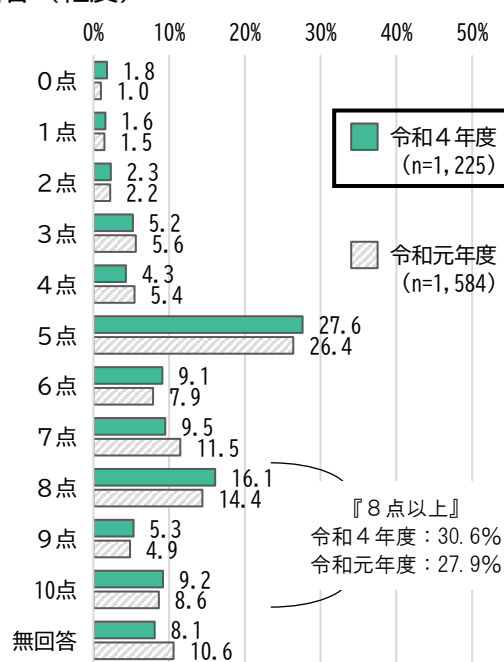
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



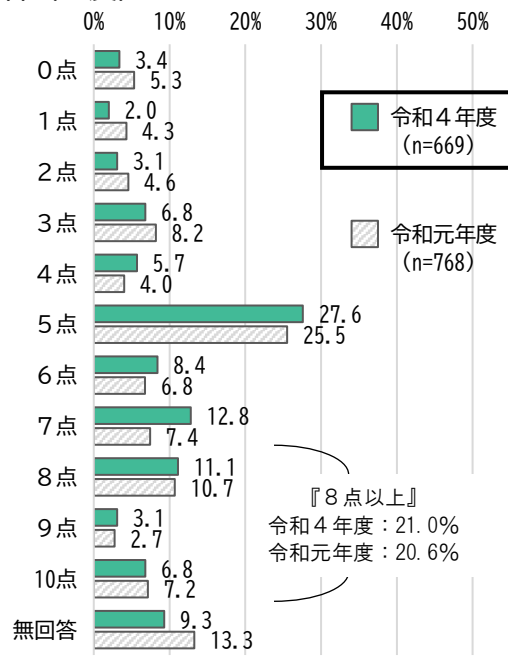
■ 要介護者（軽度）



※『8点以上』=「8点」+「9点」+「10点」

第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

■ 要介護者（重度）



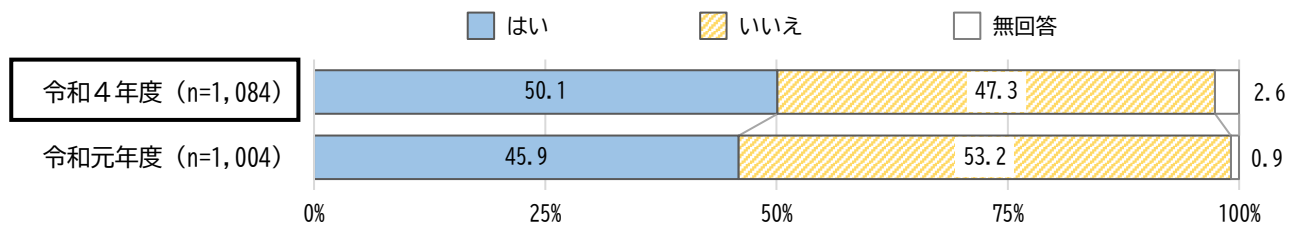
※『8点以上』 = 「8点」 + 「9点」 + 「10点」

(8) うつリスク

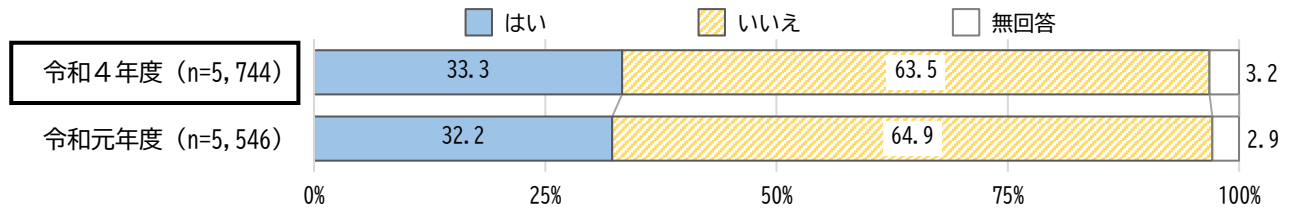
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つの番号に○)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい(あった)」と回答した人の割合は、一般高齢者では33.3%となる一方、事業対象・要支援者では48.7%と40%を上回り、若年者では50.1%、要介護者(軽度)では53.4%、要介護者(重度)では54.3%と50%を上回っています。なお、若年者では「はい(あった)」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

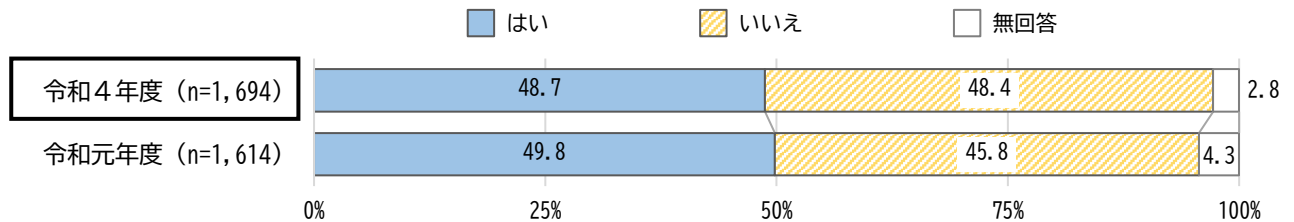
■ 若年者



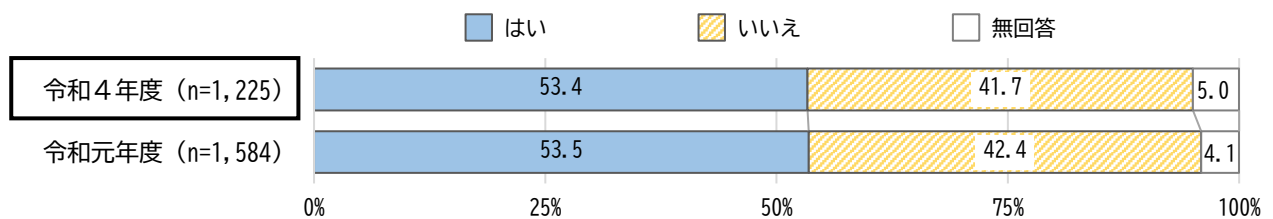
■ 一般高齢者



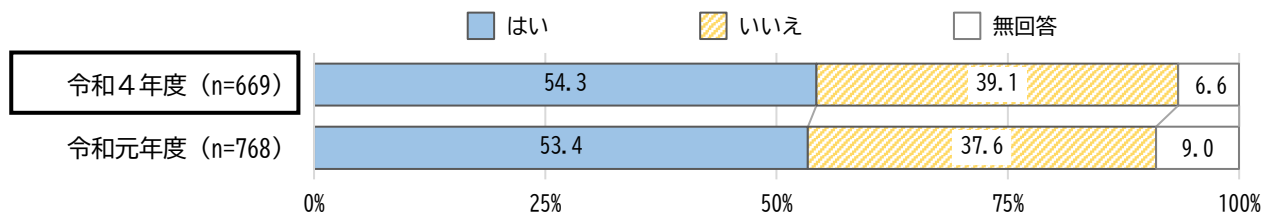
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)

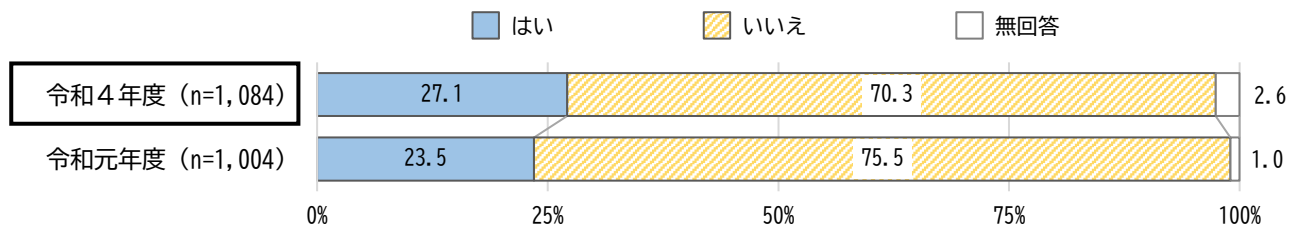


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

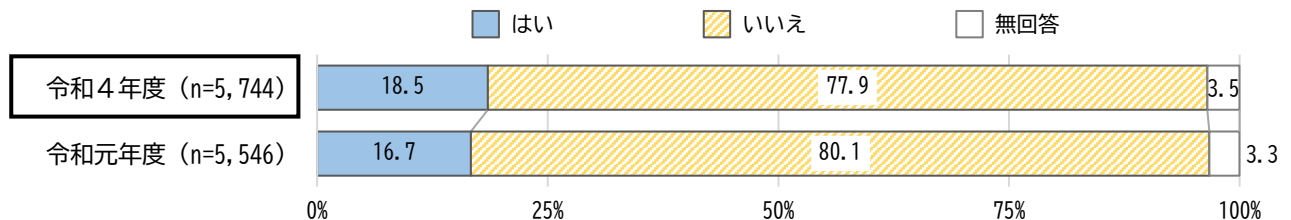
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい(あった)」と回答した人の割合は、一般高齢者では18.5%となる一方、事業対象・要支援者では38.2%と30%を上回り、要介護者(軽度)では48.4%、要介護者(重度)では48.3%と40%を上回っています。なお、若年者では「はい(あった)」と回答した人の割合が前回調査より増加し、要介護者(重度)では前回調査より減少しています。

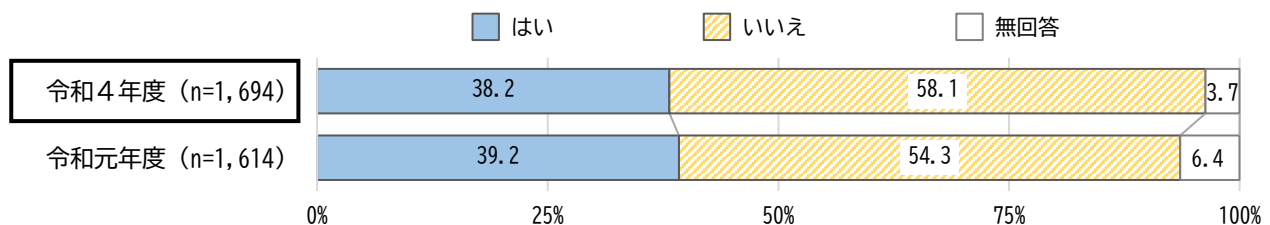
■ 若年者



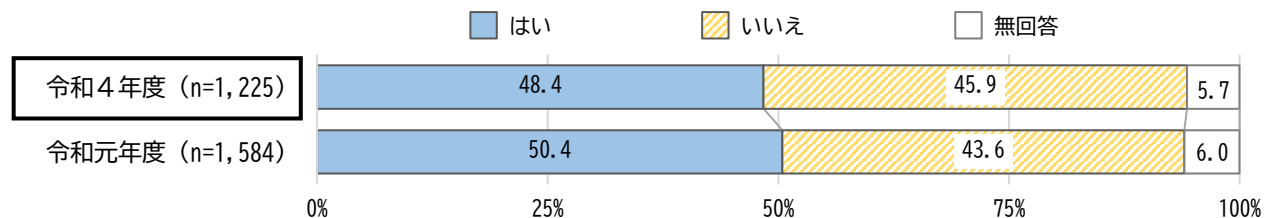
■ 一般高齢者



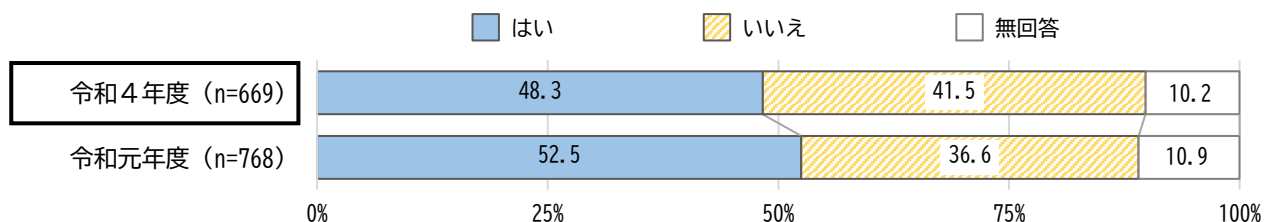
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



■ 要介護者(重度)

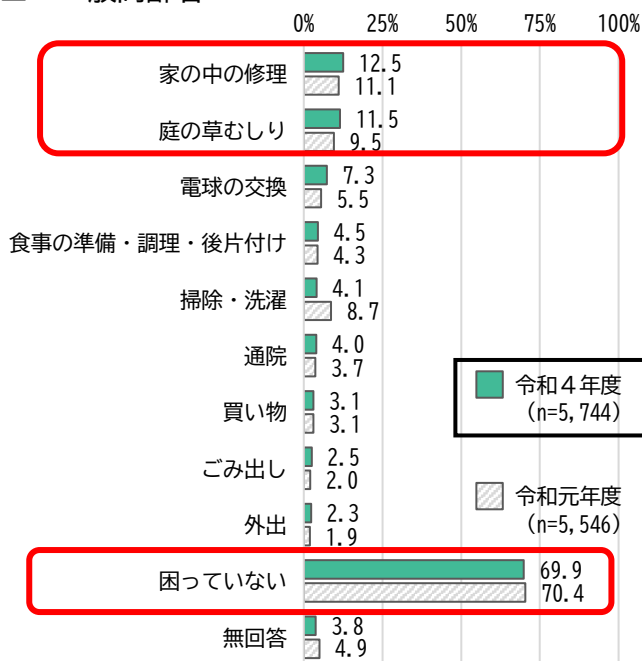


(9) 普段の生活での困りごと

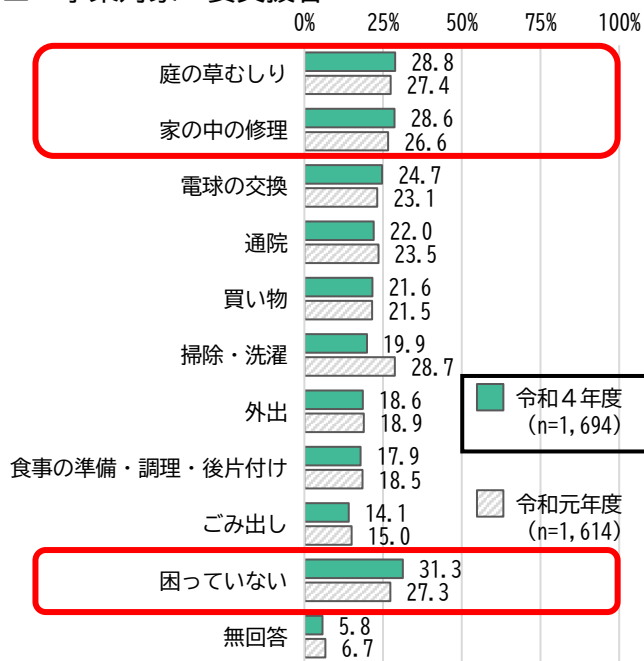
普段の生活に困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

普段の生活で困っていることについて、いずれの調査でも「困っていない」と回答した人の割合が最も高くなっており、次いで一般高齢者、事業対象・要支援者では「家の中の修理」や「庭の草むしり」、要介護者（軽度）では「通院」や「外出」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

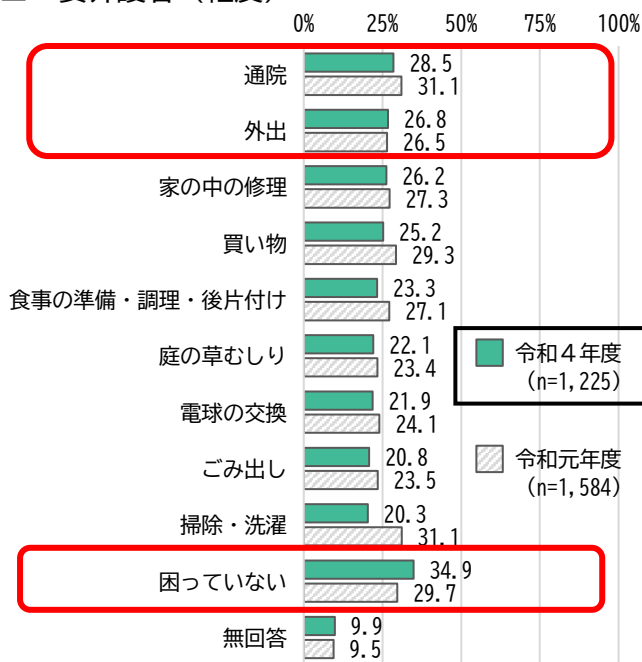
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

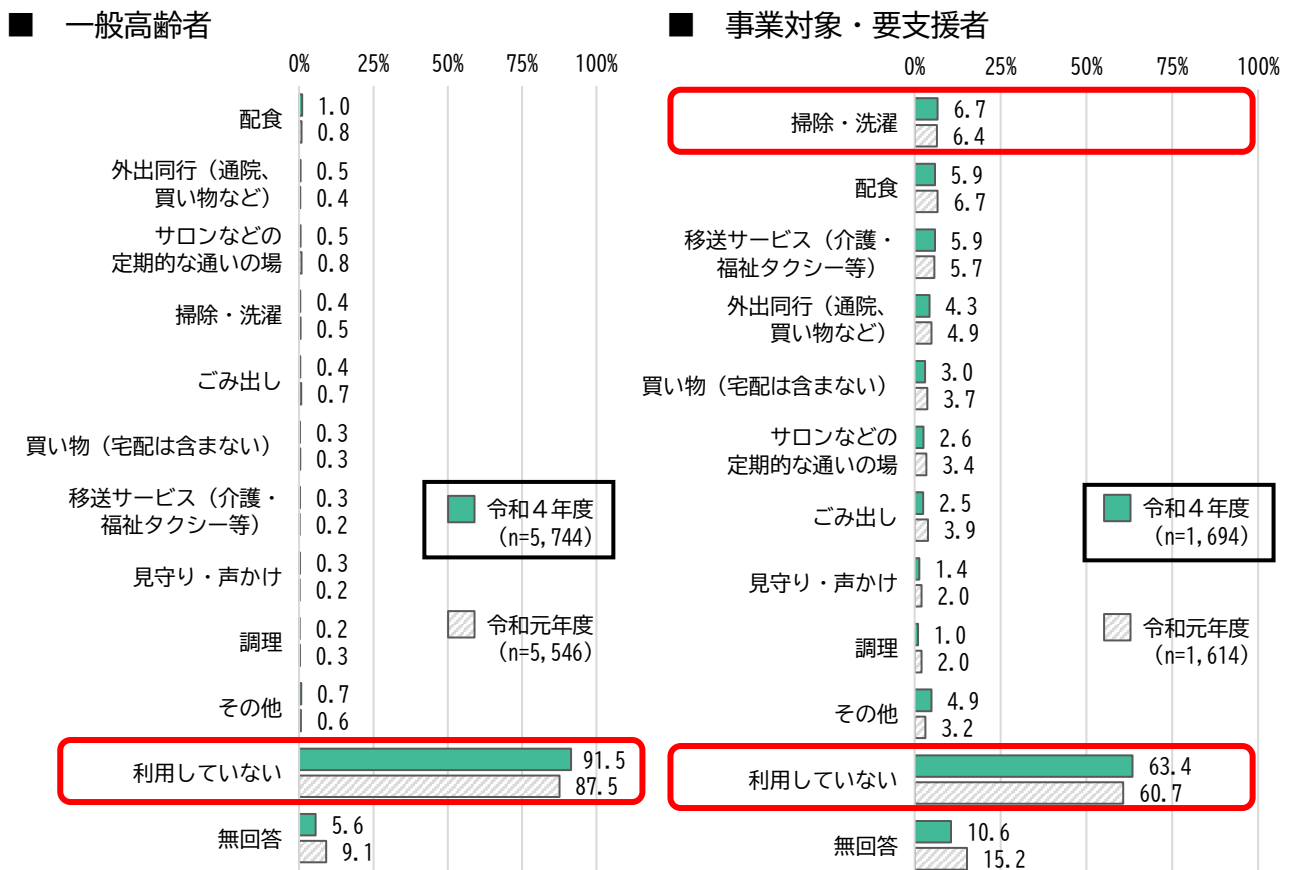


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

(10) 介護保険外サービスの利用状況

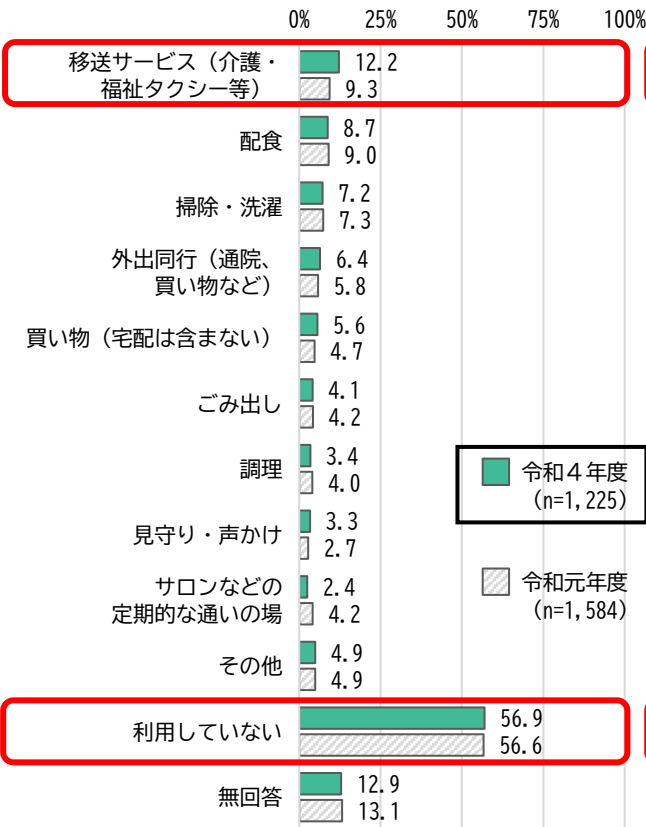
あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

普段の生活での介護保険以外のサービス利用状況について、「利用していない」と回答した人の割合は、一般高齢者では91.5%、事業対象・要支援者では63.4%、要介護者（軽度）では56.9%、要介護者（重度）では53.7%となっています。一方、利用しているサービスとしては事業対象・要支援者では「掃除・洗濯」、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

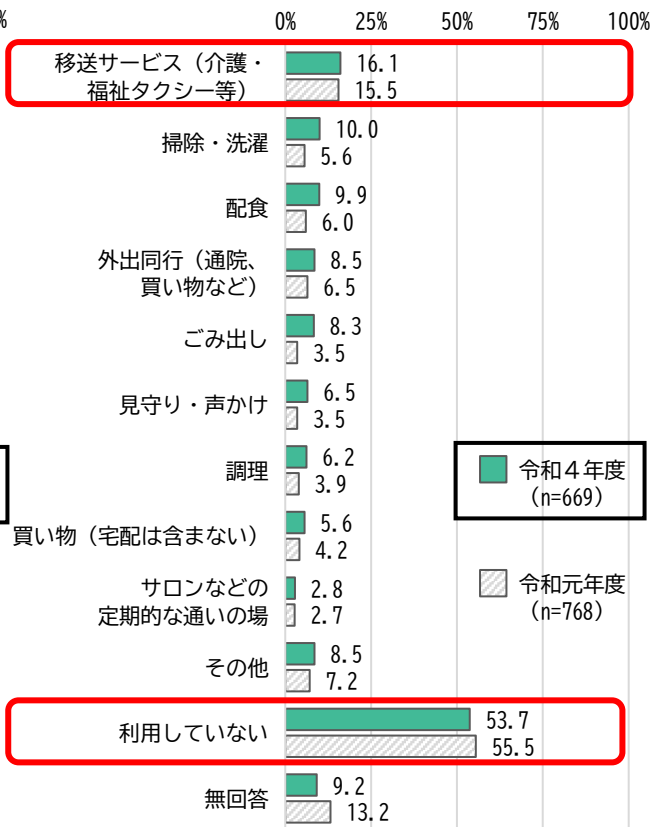


第3章 調査の結果 「7. 毎日の生活について」

■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

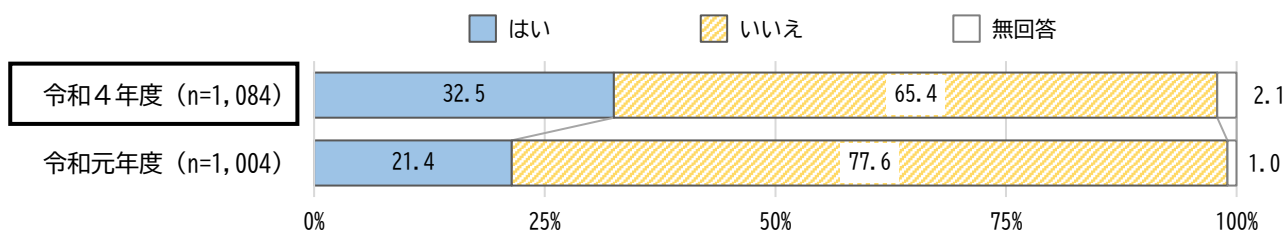


(11) フレイルの認知度

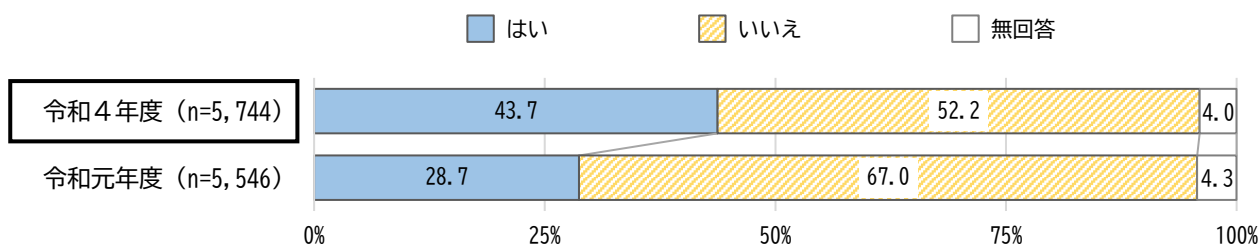
フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（1つの番号に○）

フレイルを知っているかについて、「はい（知っている）」と回答した人の割合は、若年者では32.5%、一般高齢者では43.7%、事業対象・要支援者では47.5%、要介護者（軽度）では31.7%といずれも30%を上回っています。なお、いずれの調査でも「はい（知っている）」と回答した人の割合が前回調査より増加し、特に若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では大幅に増加しています。

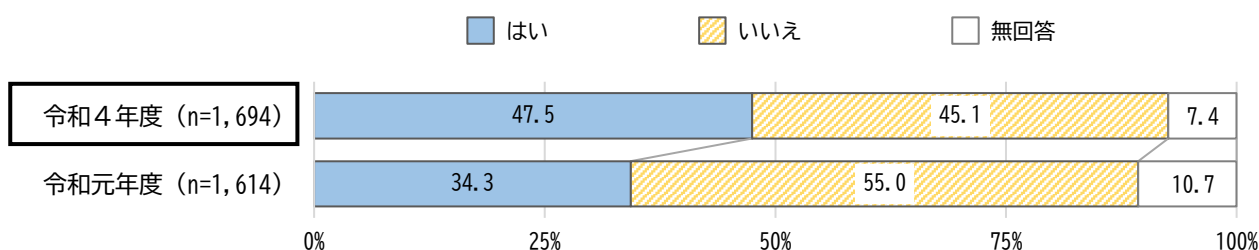
■ 若年者



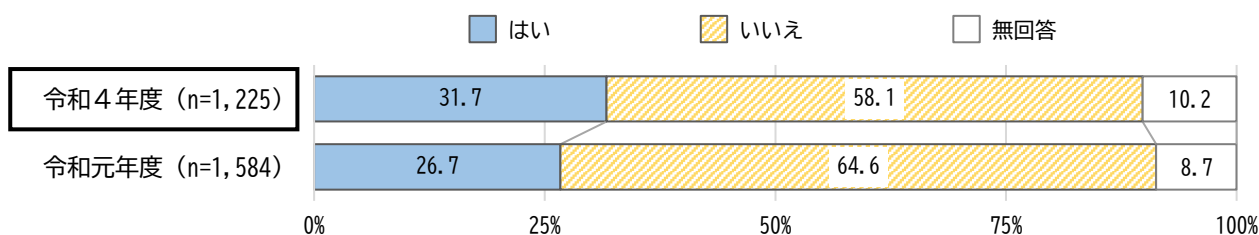
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

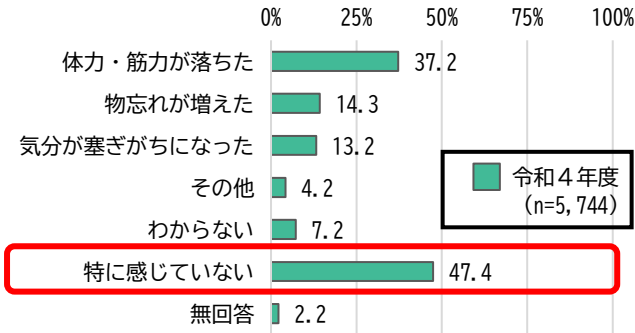


(12) コロナ禍における外出・交流の機会が減ったことによる影響

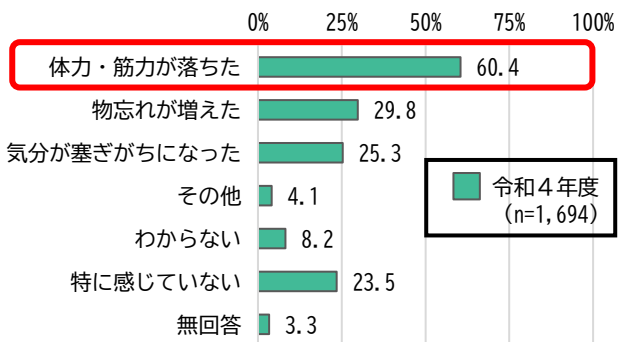
コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響として感じていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響について、一般高齢者では「特に感じていない」と回答した人の割合が最も高くなる一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「体力・筋力が落ちた」と感じている人の割合が最も高くなっています。

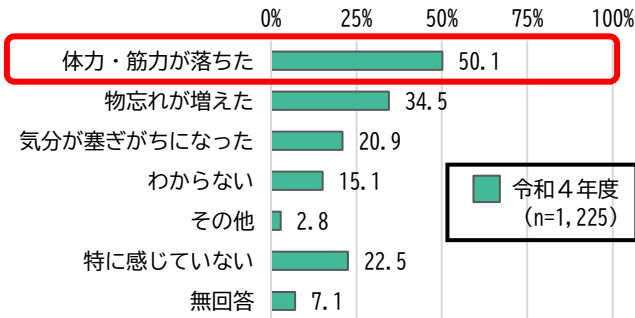
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



8. 地域での活動について

(1) 会・グループの参加状況

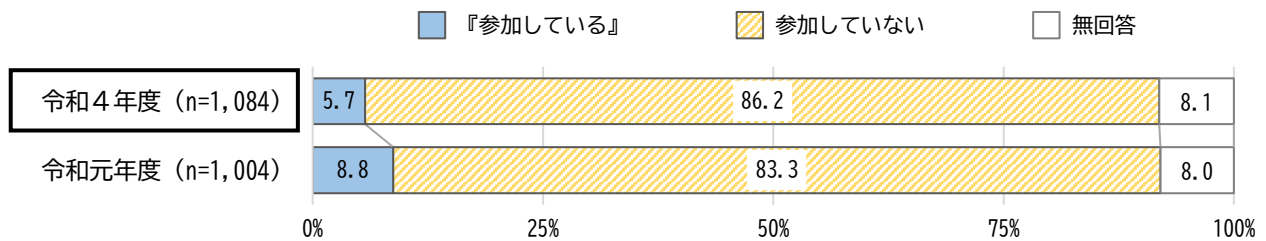
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

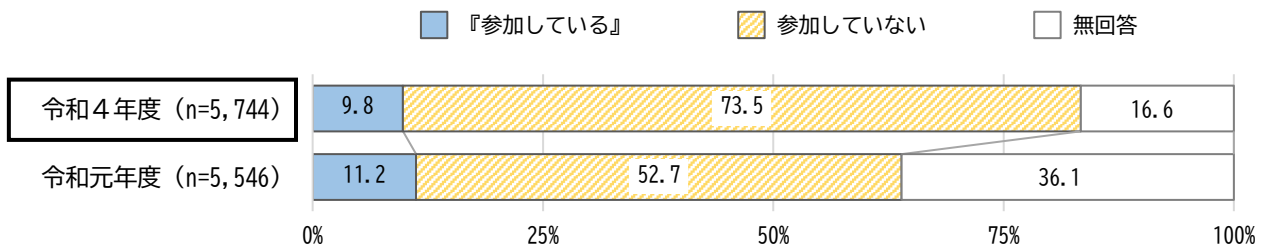
① ボランティアのグループ

ボランティアグループへの参加状況について、一般高齢者では9.8%、事業対象・要支援者では7.0%となっています。なお、若年者では『参加している』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

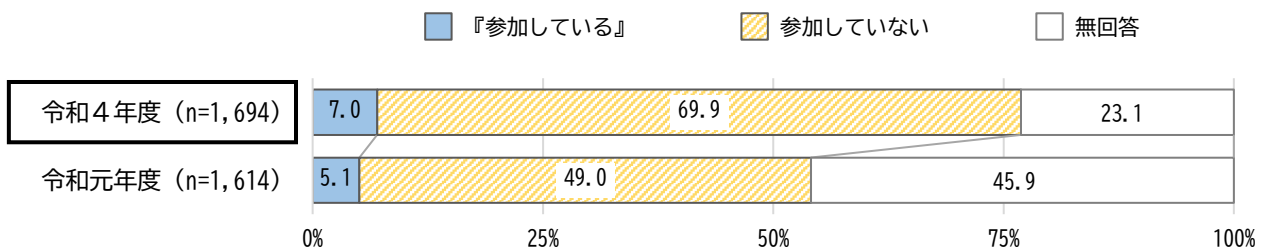
■ 若年者



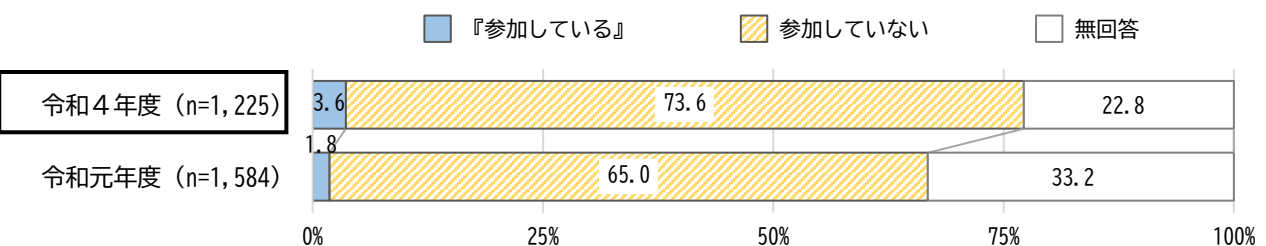
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

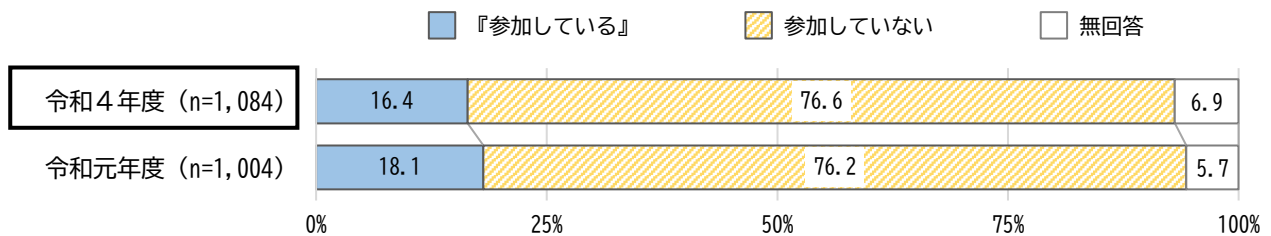


※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

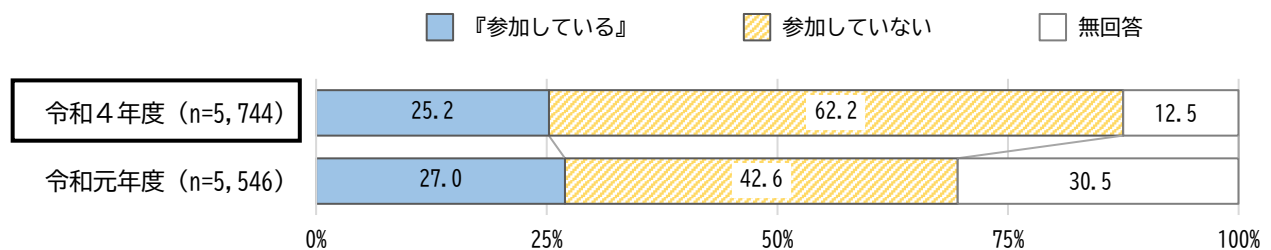
② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況について、一般高齢者では25.2%、事業対象・要支援者では13.8%となっています。なお、いずれの調査でも『参加している』と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

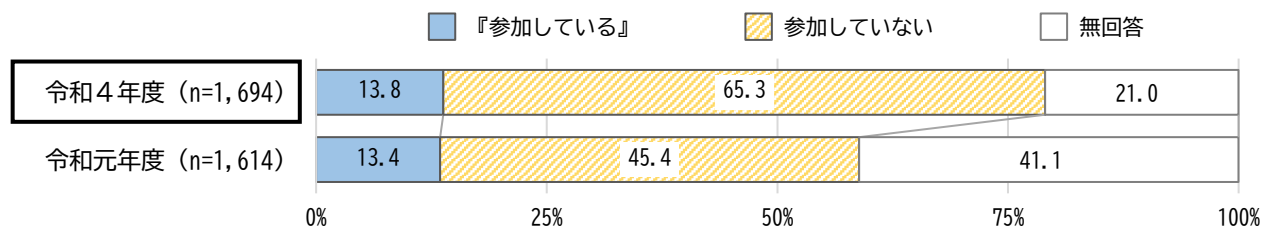
■ 若年者



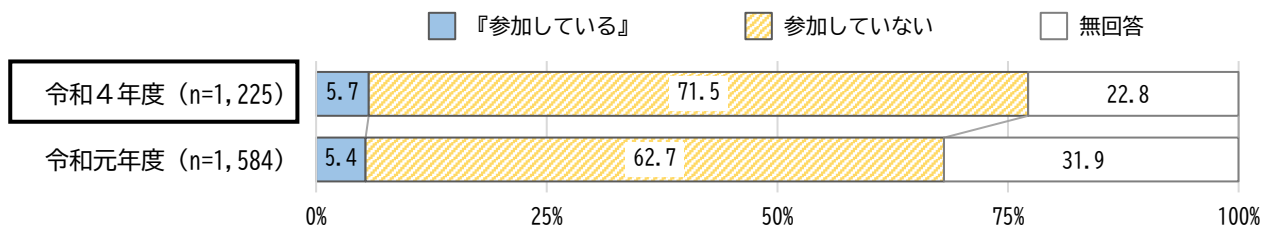
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



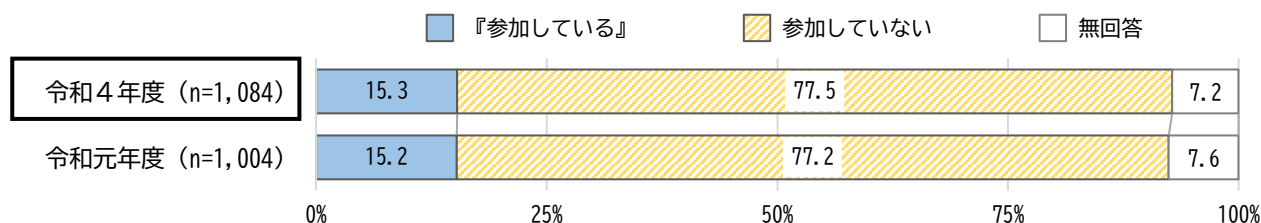
※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

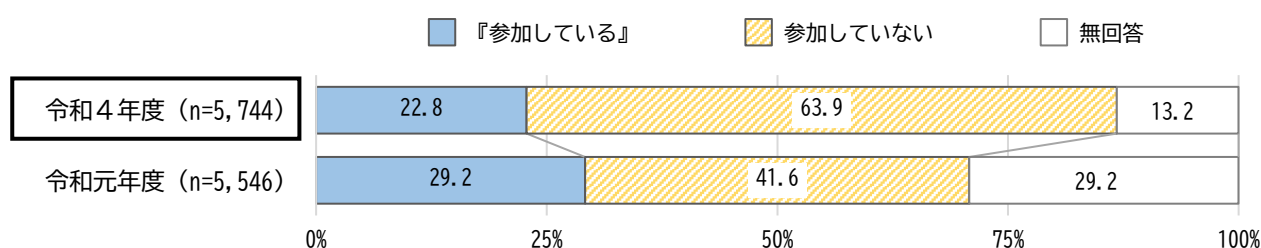
③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況について、一般高齢者では 22.8%、事業対象・要支援者では 14.3%となっています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では『参加している』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

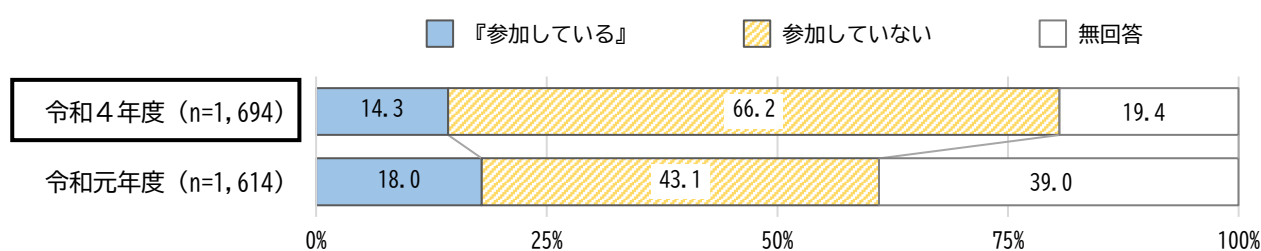
■ 若年者



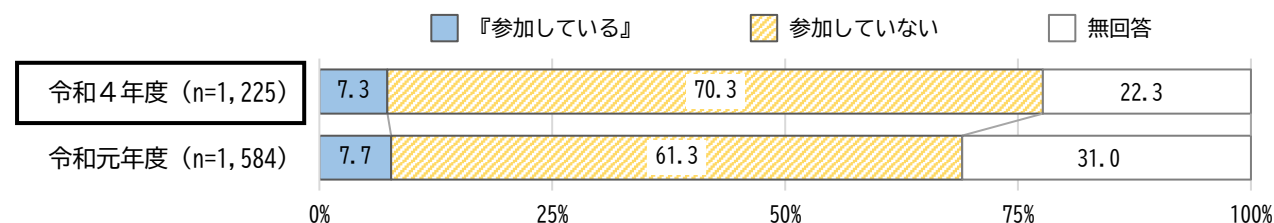
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

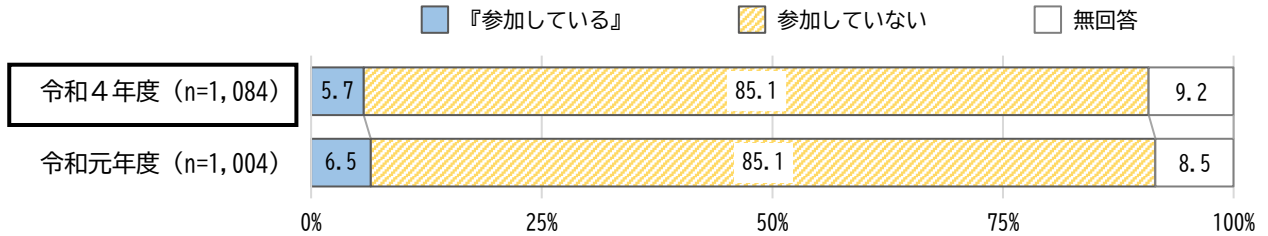


※『参加している』 = 「週4回以上」 + 「週2~3回」 + 「週1回」 + 「月1~3回」 + 「年に数回」

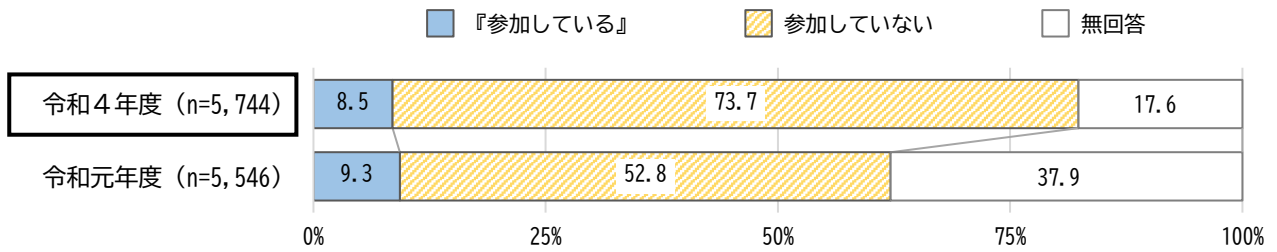
④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況について、一般高齢者では8.5%、事業対象・要支援者では5.8%となっています。なお、いずれの調査でも『参加している』と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

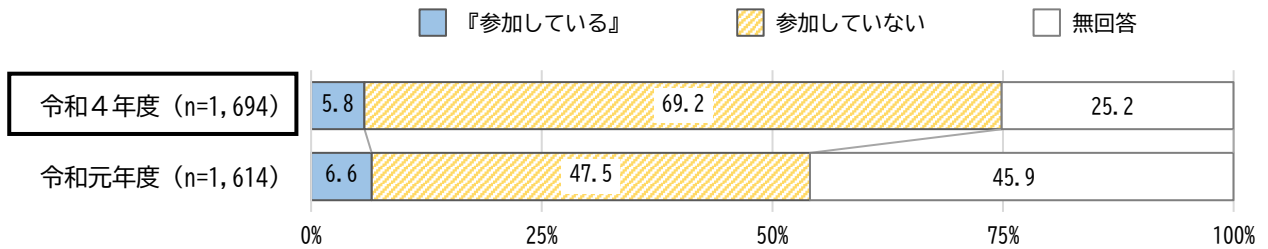
■ 若年者



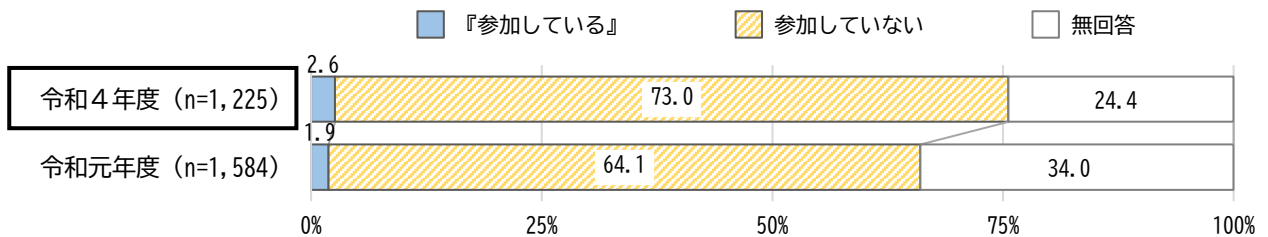
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



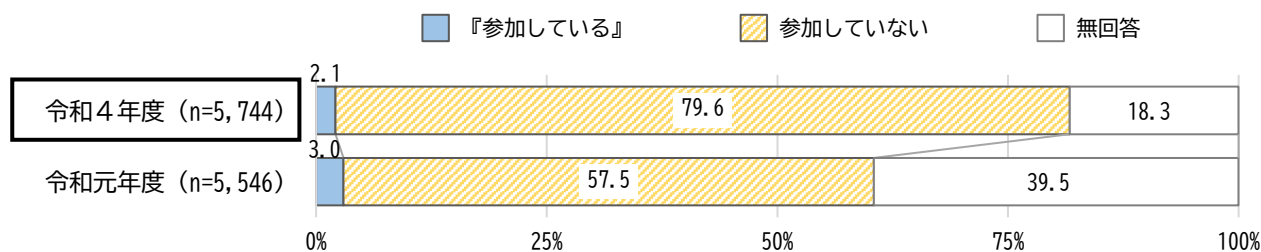
※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

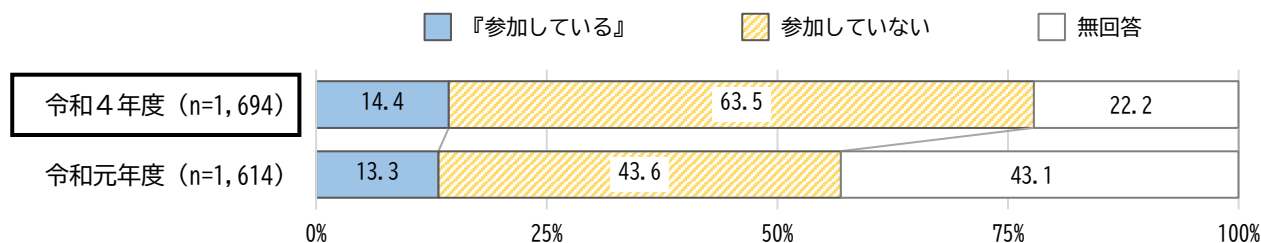
⑤ 元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場

元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場への参加状況について、一般高齢者では2.1%、事業対象・要支援者では14.4%、要介護者（軽度）では9.7%となっています。なお、いずれの調査でも『参加している』と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

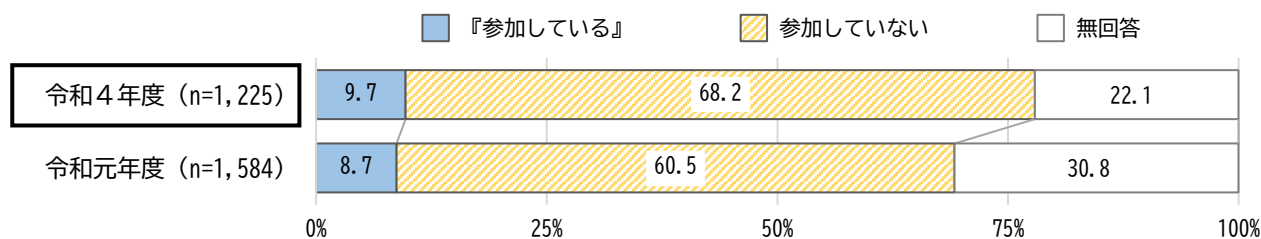
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

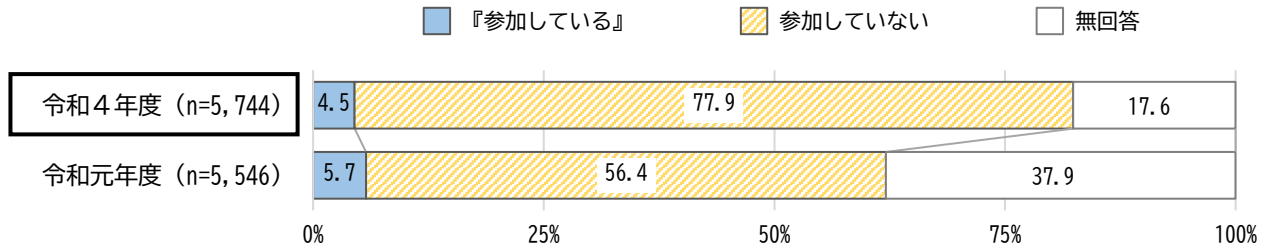


※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

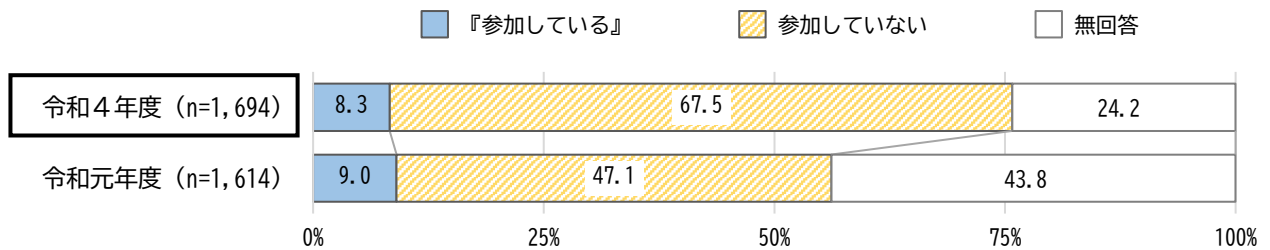
⑥ シニアクラブ（老人クラブ）

シニアクラブ（老人クラブ）への参加状況について、一般高齢者では4.5%、事業対象・要支援者では8.3%、要介護者（軽度）では4.1%となっています。なお、いずれの調査でも『参加している』と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

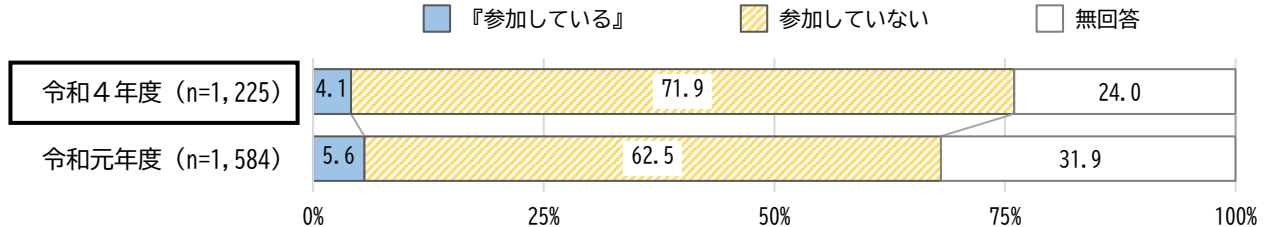
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



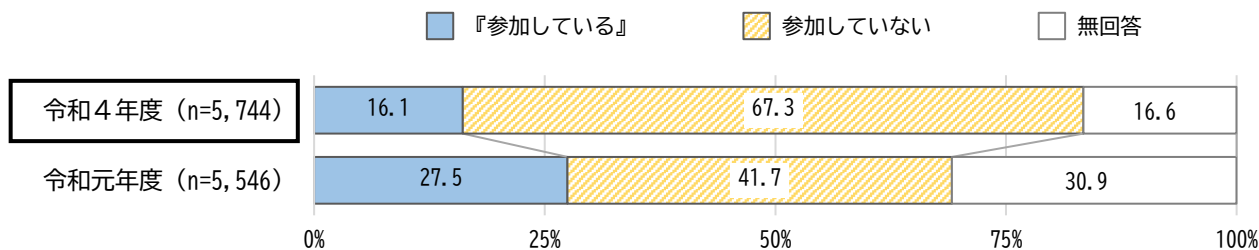
※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

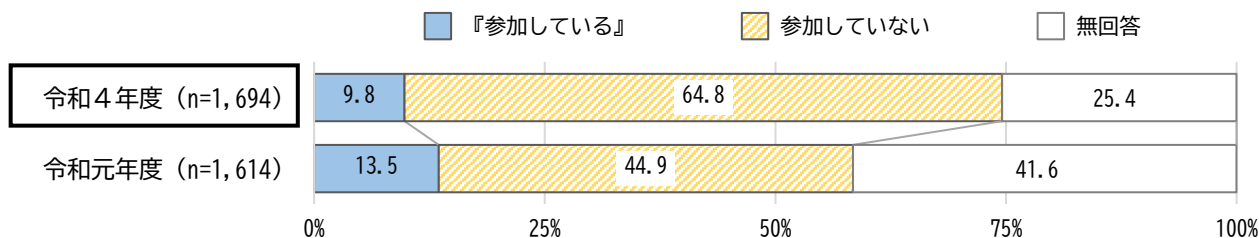
⑦ 町会・自治会

町会・自治会への参加状況について、一般高齢者では 16.1%、事業対象・要支援者では 9.8%、要介護者（軽度）では 5.1%となっています。なお、いずれの調査でも『参加している』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

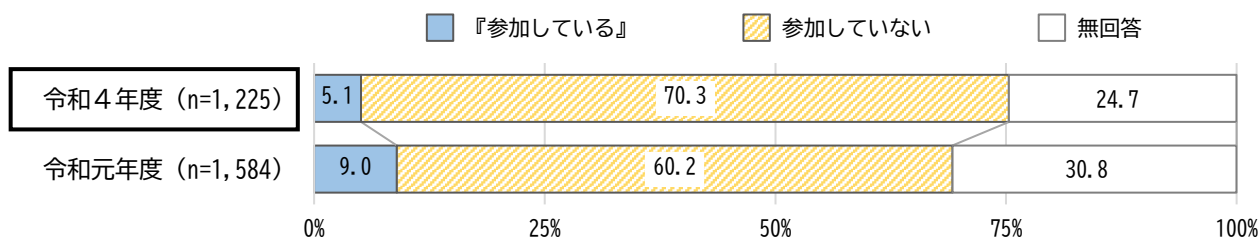
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

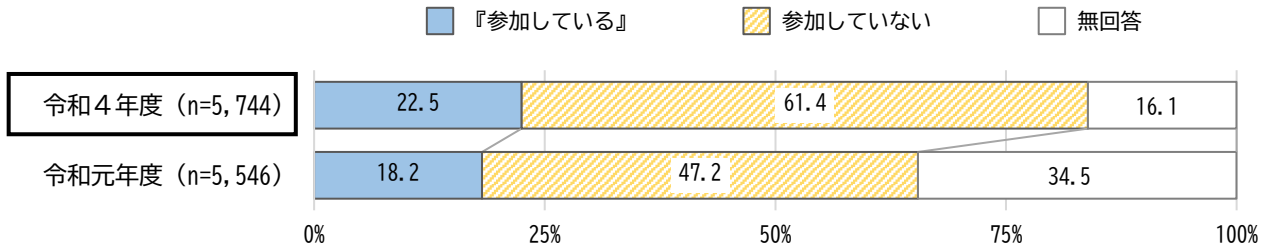


※『参加している』＝「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

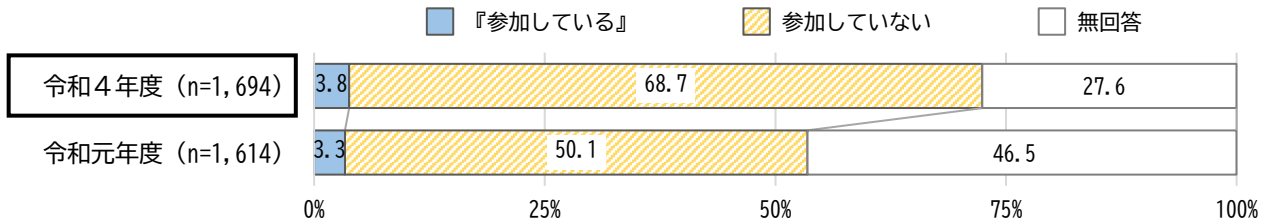
⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況について、一般高齢者では 22.5%、事業対象・要支援者では 3.8%、要介護者（軽度）では 1.8%となっています。なお、一般高齢者では『参加している』と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

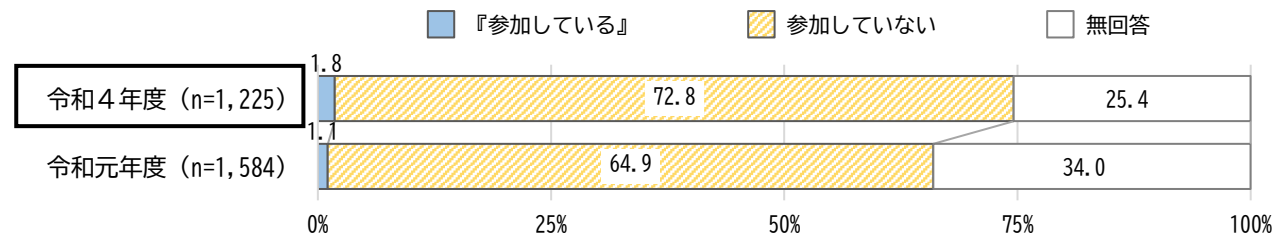
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



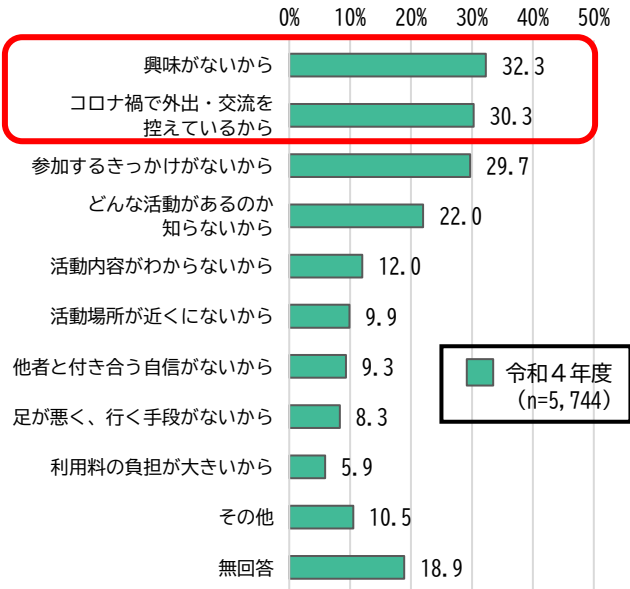
※『参加している』 = 「週4回以上」 + 「週2～3回」 + 「週1回」 + 「月1～3回」 + 「年に数回」

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

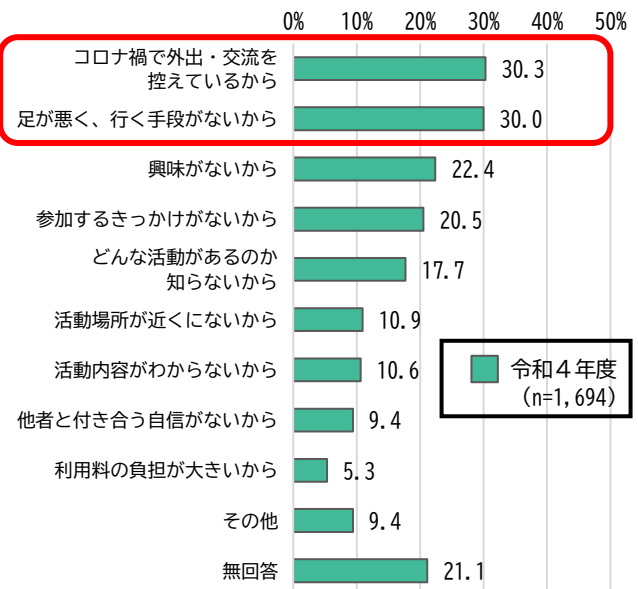
会・グループに1つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

会・グループ等に参加しない理由について、一般高齢者では「興味がないから」と回答した人の割合が最も高く、次いで「コロナ禍で外出・交流を控えているから」となっています。また、事業対象・要支援者では、「コロナ禍で外出・交流を控えているから」と回答した人の割合が最も高く、次いで「足が悪く、行く手段がないから」となっており、要介護者（軽度）では「足が悪く、行く手段がないから」と回答した人の割合が最も高く、次いで「興味がないから」となっています。

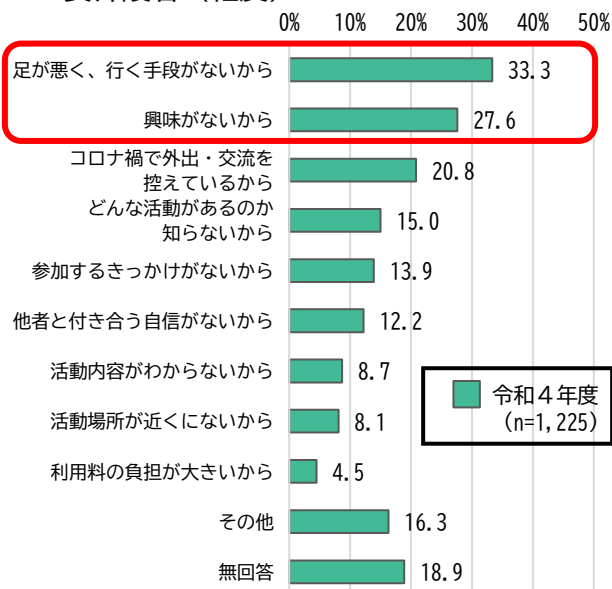
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

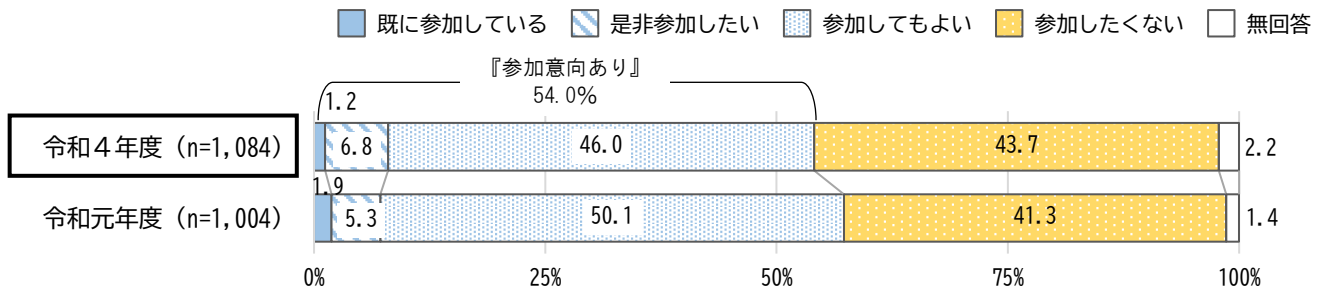


(2) 地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向

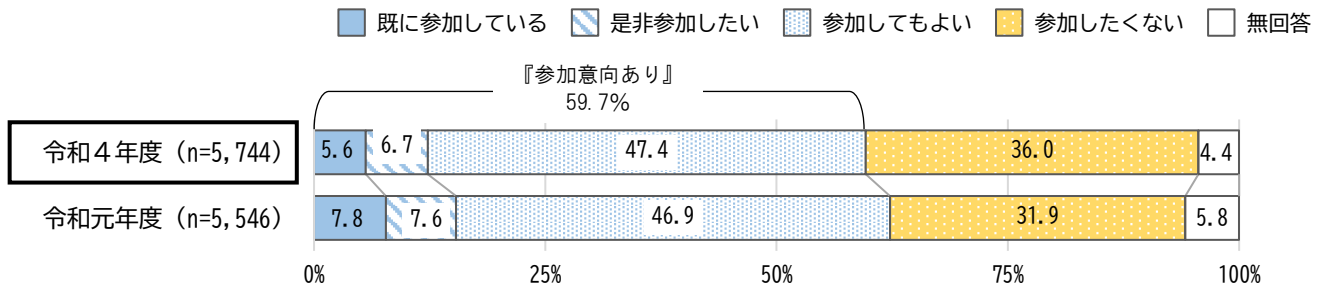
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

地域住民の有志によって行われる、健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、「既に参加している」あるいは「是非参加したい」、「参加してもよい」と『参加意向あり』と回答した人の割合は、若年者では54.0%、一般高齢者では59.7%、事業対象・要支援者では49.6%、要介護者（軽度）では30.1%となっています。なお、いずれの調査でも『参加意向あり』と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

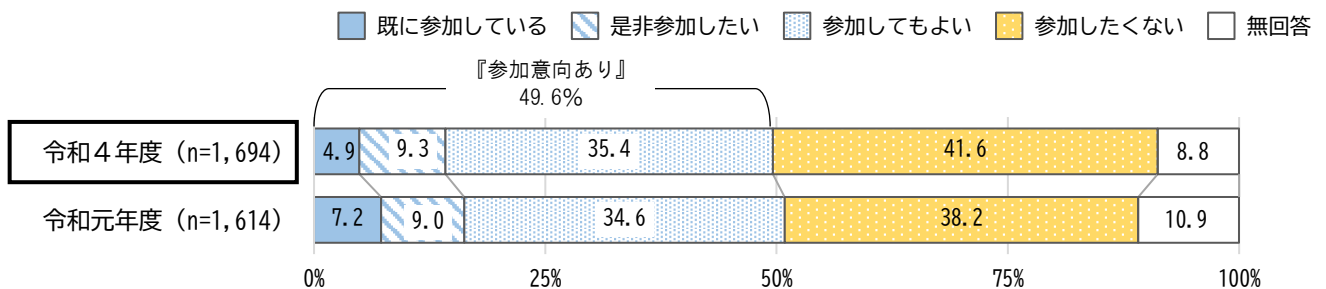
■ 若年者



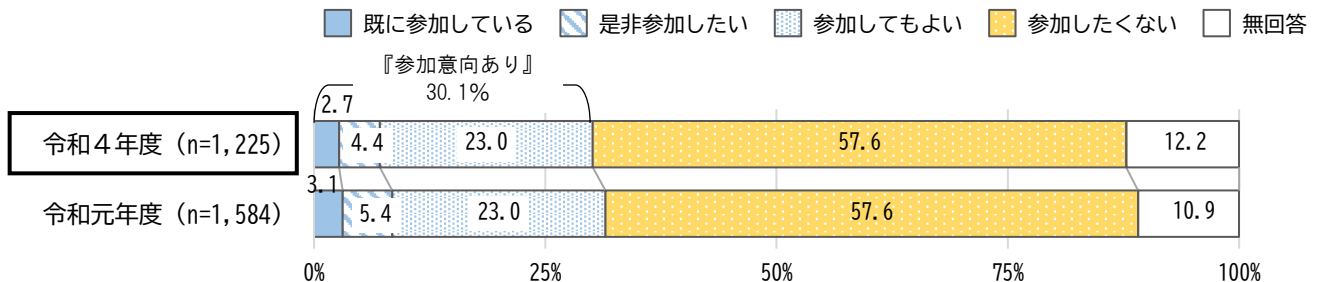
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



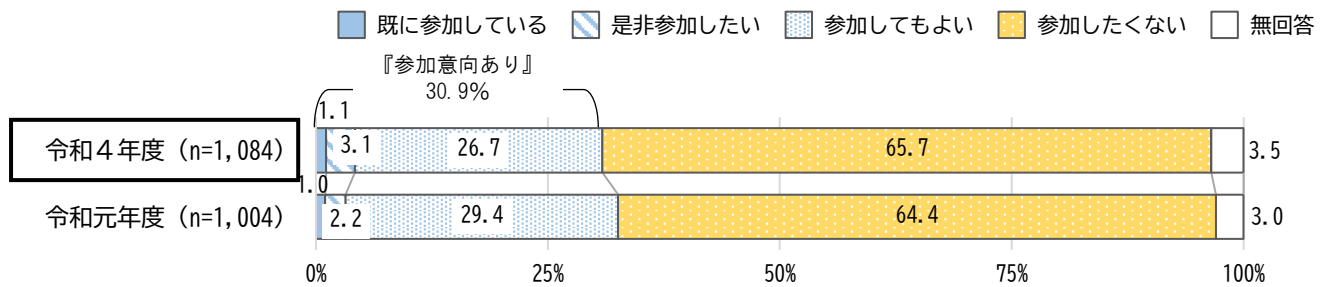
※『参加意向あり』 = 「既に参加している」 + 「是非参加したい」 + 「参加してもよい」

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

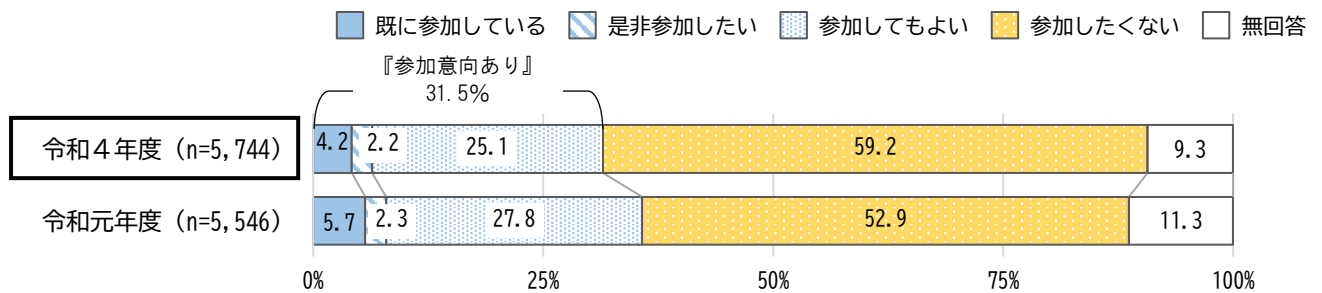
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

地域住民の有志によって行われる、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に、企画・運営（お世話役）として参加することについて、「既に参加している」あるいは「是非参加したい」、「参加してもよい」と『参加意向あり』と回答した人の割合は、若年者では30.9%、一般高齢者では31.5%、事業対象者・要支援者では22.7%、要介護者（軽度）では11.5%となっています。なお、一般高齢者では『参加意向あり』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

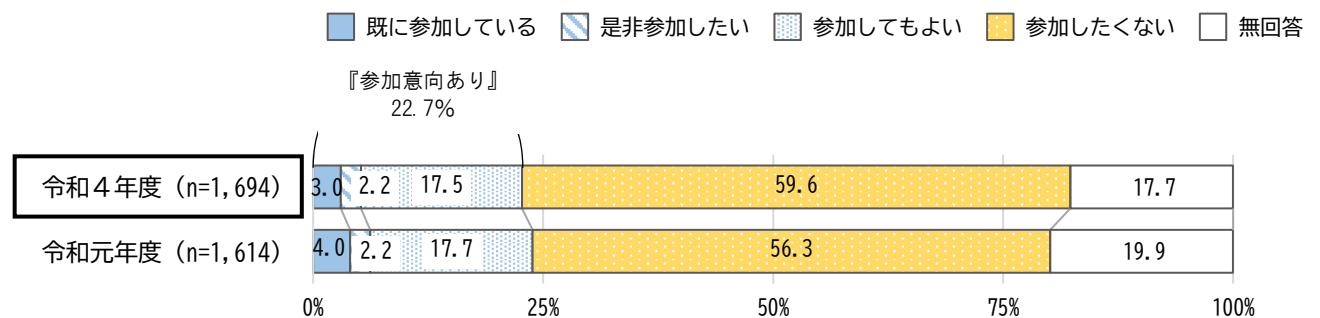
■ 若年者



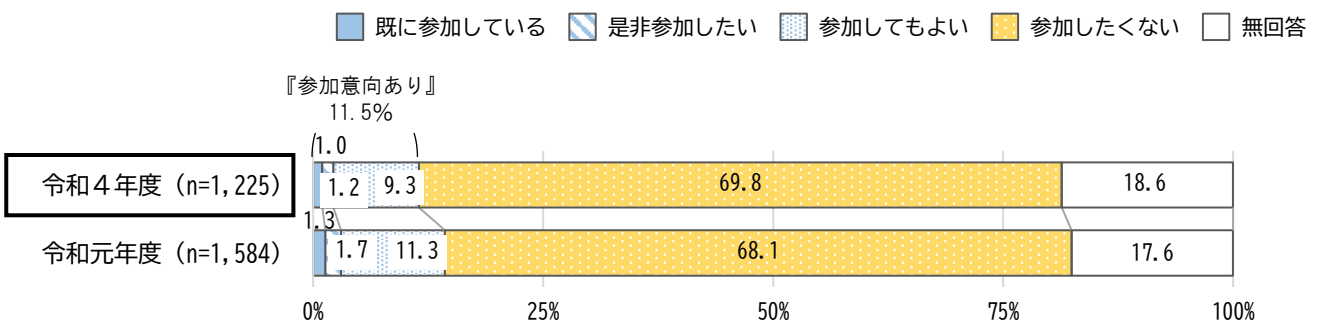
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



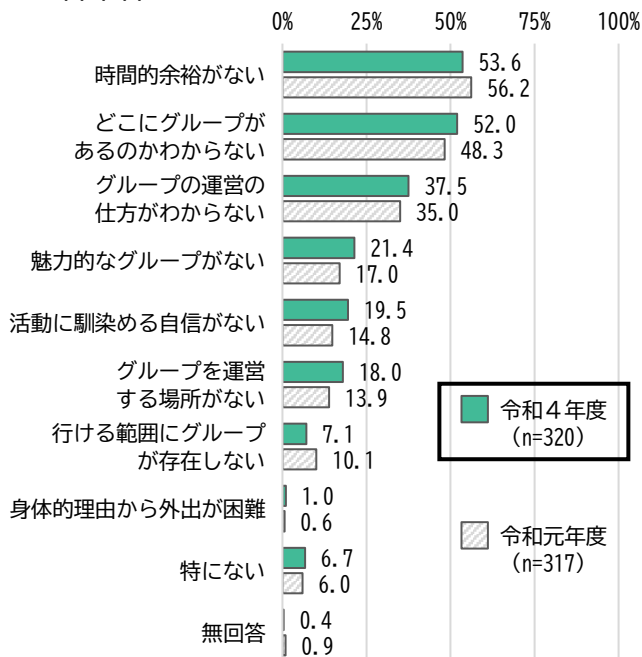
※『参加意向あり』＝「既に参加している」＋「是非参加したい」＋「参加してもよい」

企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方におうかがいします。

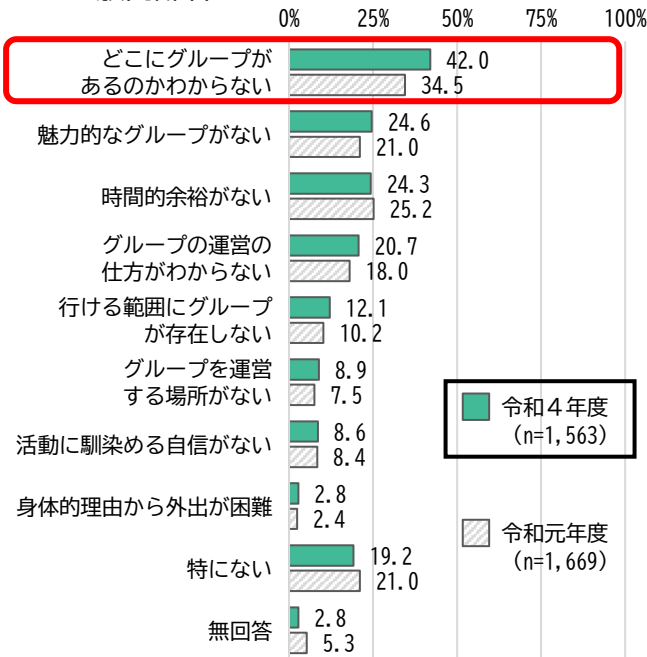
活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるものすべての番号に○）

企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方の活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことについて、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「どこにグループがあるのかわからない」と回答した人の割合が最も高く、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では、次いで「身体的理由から外出が困難」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

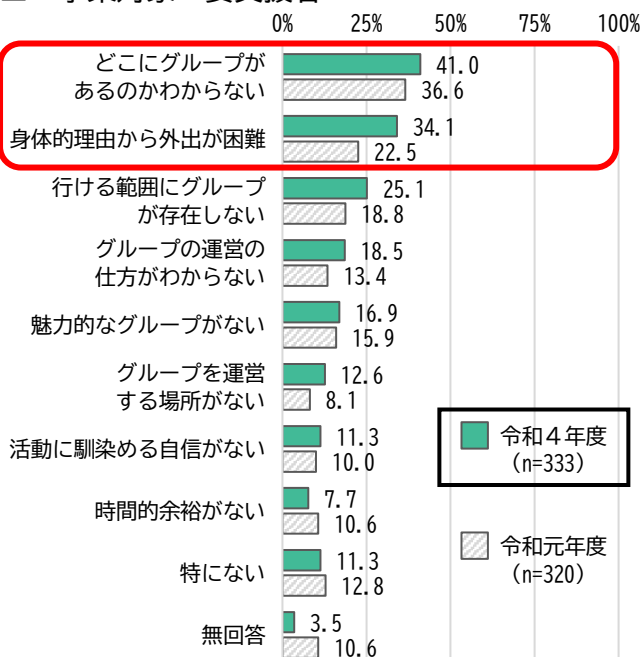
■ 若年者



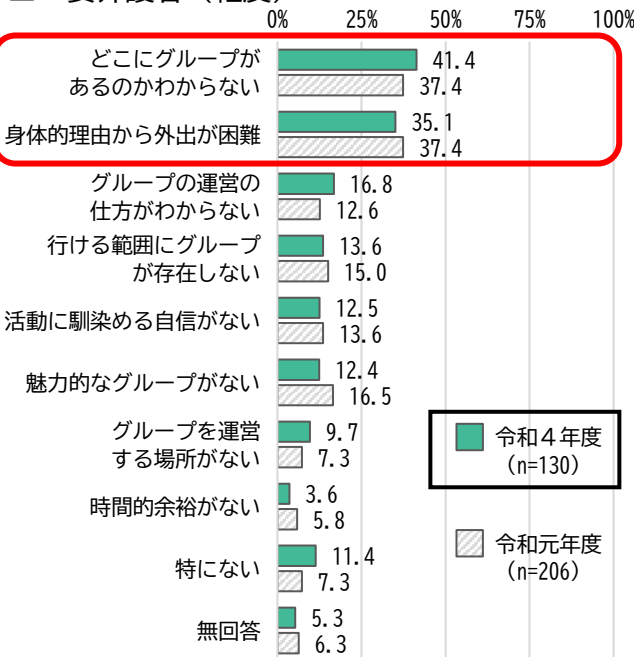
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

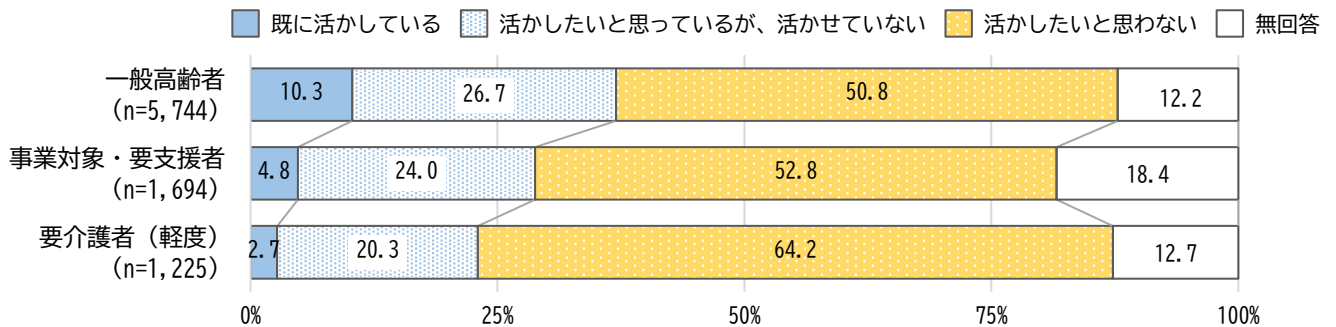


第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

(3) 仕事や経験で培った技術、知識の就労やボランティア活動への活用意向

仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいと思いませんか。(1つの番号に○)

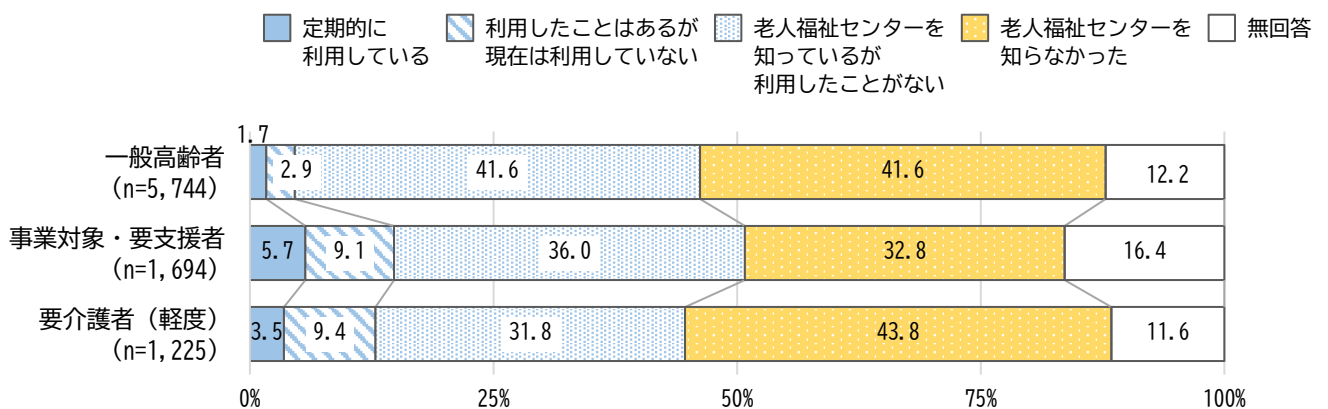
仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいかについて、一般高齢者では「既に活かしている」と回答した人の割合が10.3%、「活かしたいと思っているが、活かせていない」が26.7%となっています。また、事業対象・要支援者では「活かしたいと思っているが、活かせていない」が24.0%、要介護者（軽度）では20.3%と20%を上回っています。



(4) 老人福祉センター

市内5か所にある老人福祉センター（60歳以上が対象）を利用したことがありますか。(1つの番号に○)

老人福祉センターについて、「定期的に利用している」と回答した人の割合は、一般高齢者では1.7%、事業対象・要支援者では5.7%、要介護者（軽度）では3.5%となる一方、「老人福祉センターを知らなかった」と回答した人の割合は、一般高齢者では41.6%、要介護者（軽度）では43.8%と40%を上回っています。



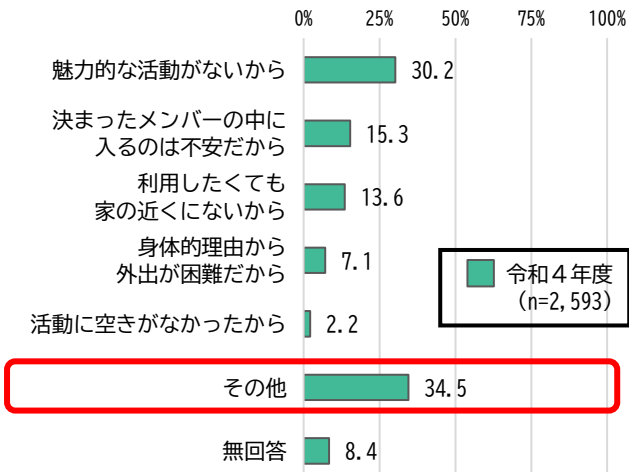
現在は利用していない、利用したことがないと答えた方におうかがいします。

「利用していない」「利用したことがない」理由はなんですか。

(あてはまるものすべての番号に○)

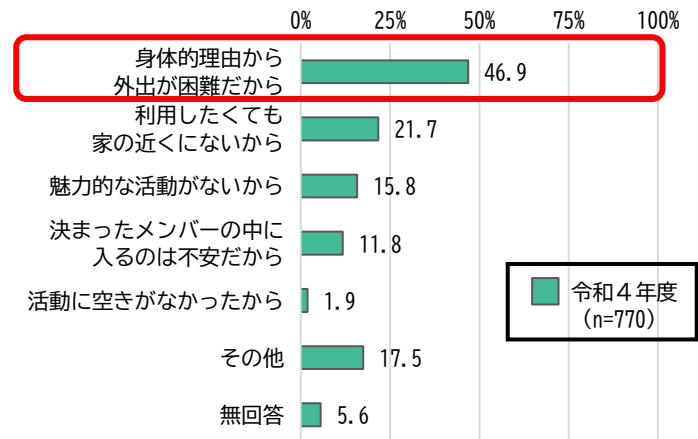
現在は利用していない、利用したことがないと答えた方の利用していない、利用したことがない理由について、一般高齢者では「その他」として「興味がないから」「必要を感じないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「身体的理由から外出が困難だから」と回答した人の割合が最も高くなっています。

■ 一般高齢者



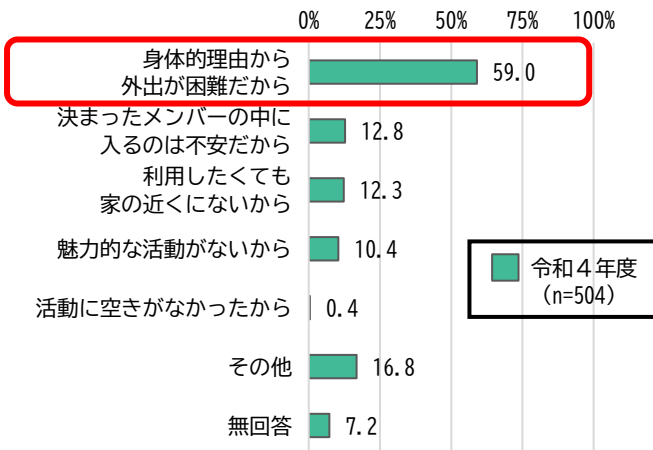
その他・・・興味がないから、必要を感じないからなど

■ 事業対象・要支援者



その他・・・必要を感じないから、時間に余裕がないからなど

■ 要介護者（軽度）



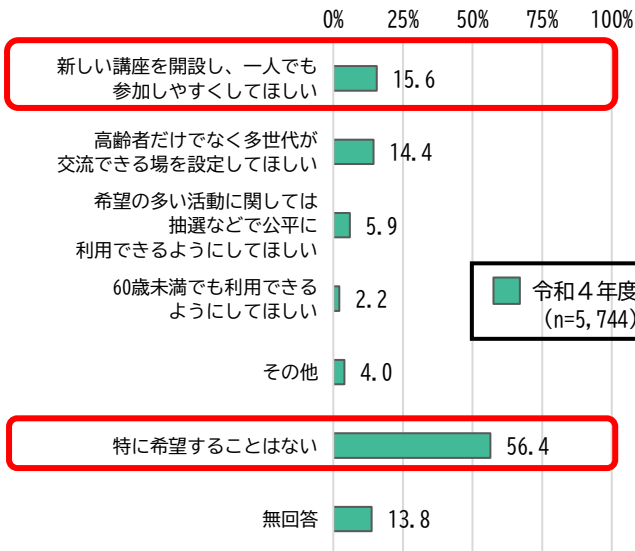
その他・・・デイサービスに行っているから、興味がないからなど

第3章 調査の結果 「8. 地域での活動について」

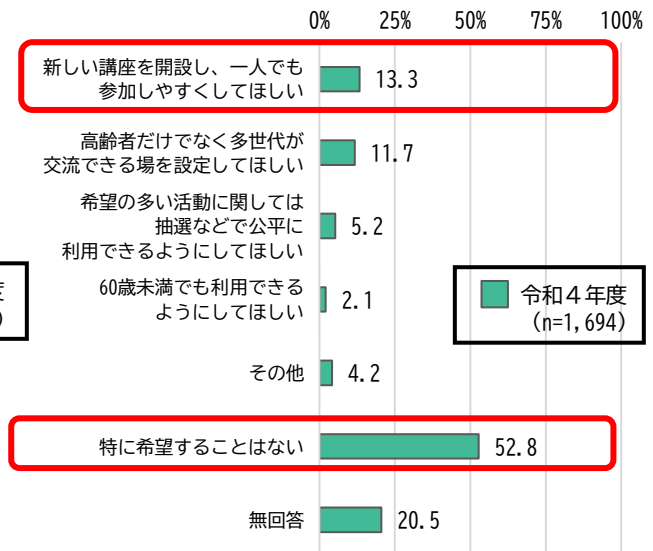
今後の老人福祉センターに希望することは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

今後の老人福祉センターに希望することについて、いずれの調査でも「特に希望することはない」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、一般高齢者、事業対象・要支援者では次いで「新しい講座を開設し、一人でも参加しやすくしてほしい」となっており、要介護者（軽度）では「高齢者だけでなく多世代が交流できる場を設定してほしい」となっています。

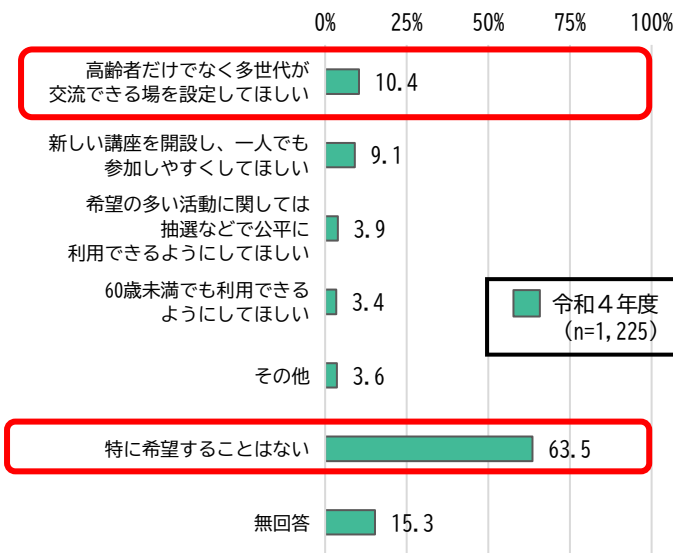
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



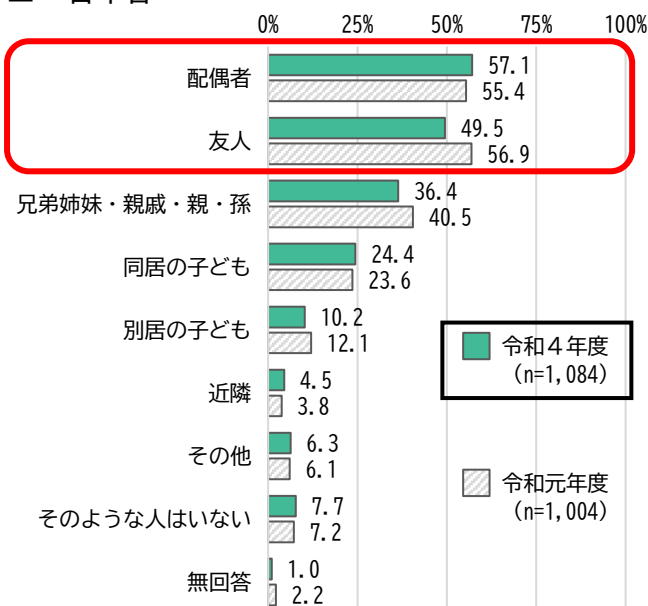
9. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人・聞いてあげる人（情緒的サポート）

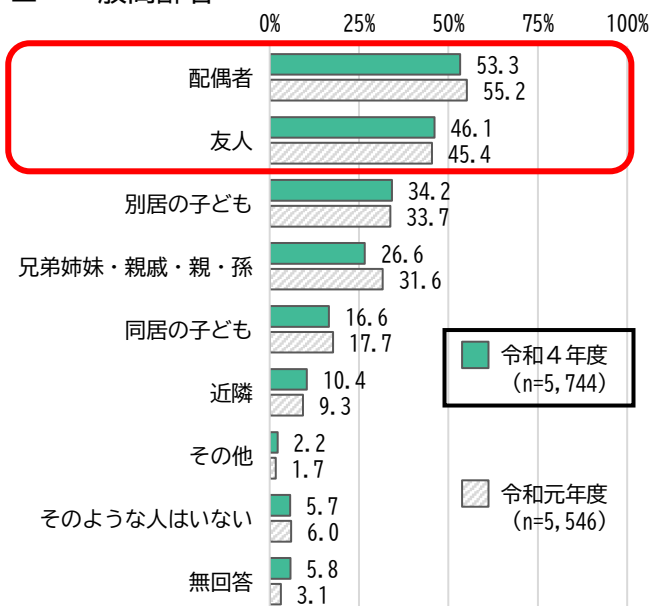
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるものすべての番号に○）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人について、若年者、一般高齢者では「配偶者」と回答した人の割合が最も高く、次いで「友人」となる一方、事業対象・要支援者では「別居の子ども」が最も高く、次いで「友人」となっています。また、要介護者（軽度）では「配偶者」が最も高く、次いで「別居の子ども」となっています。なお、若年者調査では「友人」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、一般高齢者では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と回答した人の割合が前回調査より減少していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

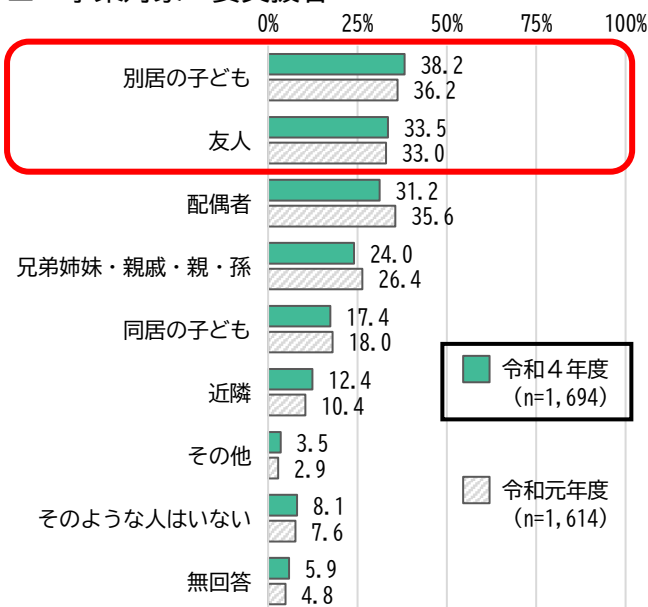
■ 若年者



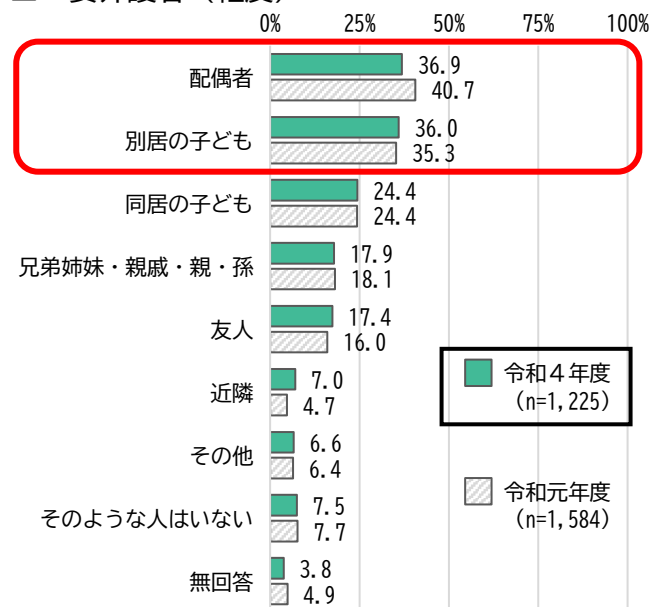
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

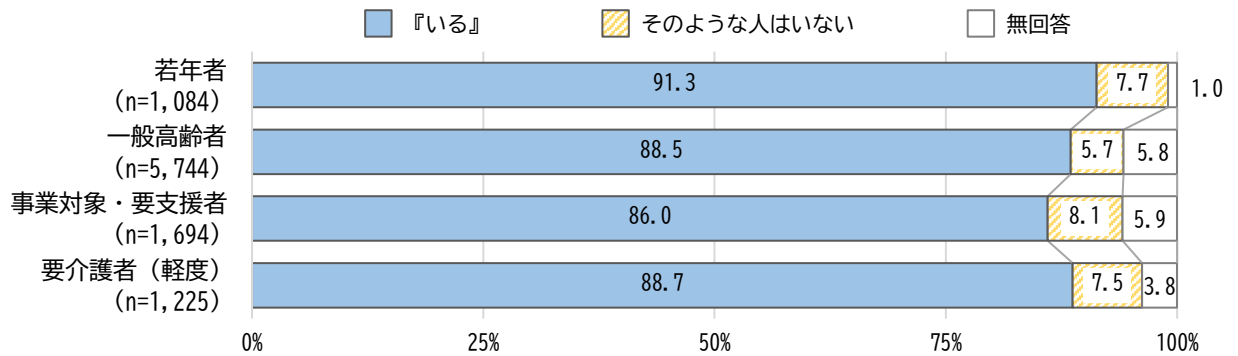


■ 要介護者（軽度）



第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（情緒的サポートをしてくれる人）について、『いる』と回答した人の割合は、一般高齢者では88.5%、事業対象・要支援者では86.0%、要介護者（軽度）では88.7%といずれも80%を上回っています。

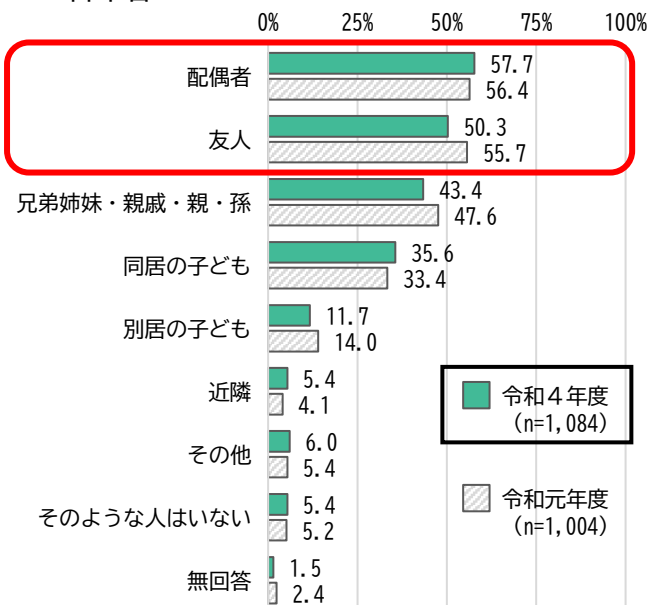


※『いる』=100-「そのような人はいない」-「無回答」

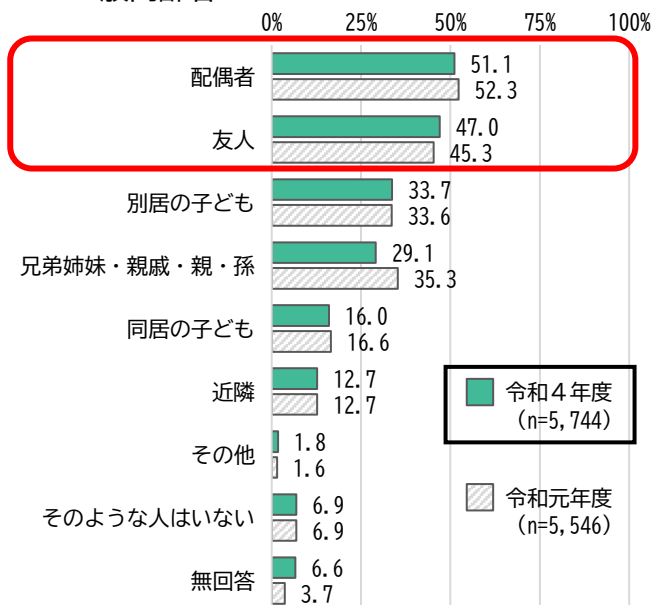
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるものすべての番号に○）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人について、若年者、一般高齢者では「配偶者」と回答した人の割合が最も高く、次いで「友人」となる一方、事業対象・要支援者では「友人」が最も高く、次いで「配偶者」となっています。また、要介護者（軽度）では「配偶者」が最も高く、次いで「そのような人はいない」となっています。なお、若年者調査では「友人」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、一般高齢者では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と回答した人の割合が前回調査より減少していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

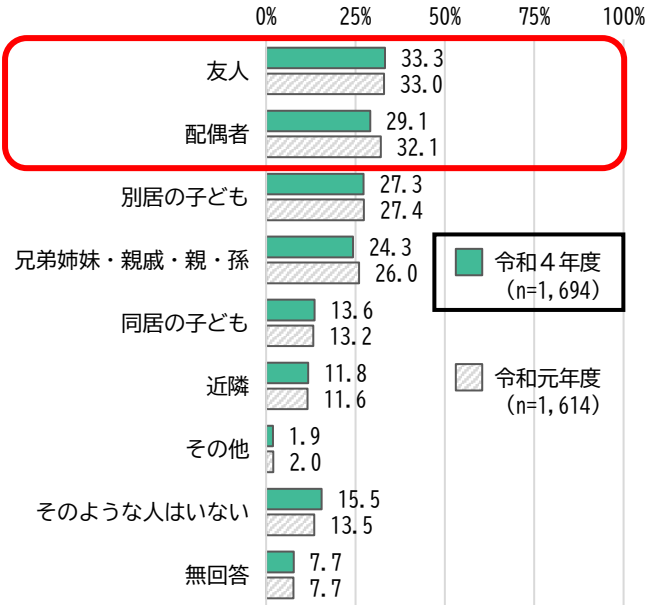
■ 若年者



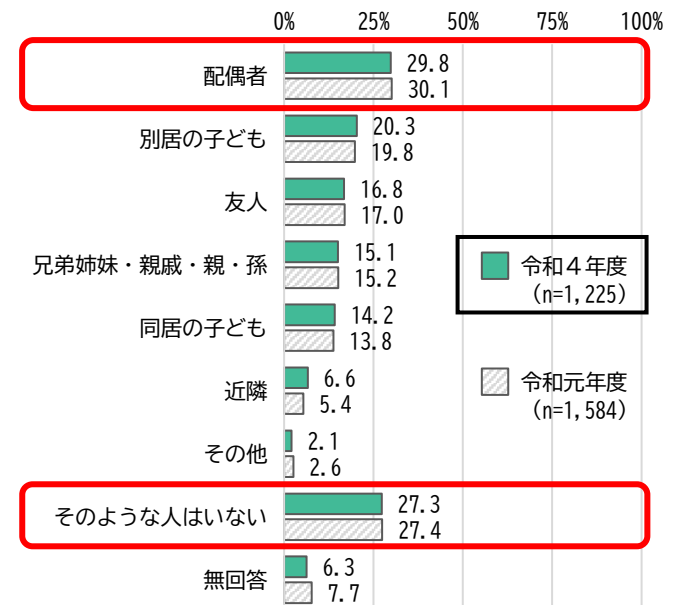
■ 一般高齢者



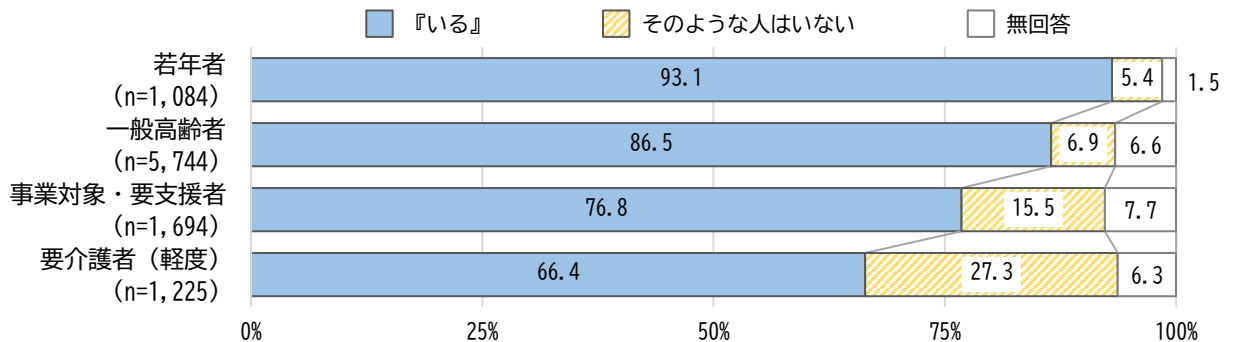
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）(n=1,225)



心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（情緒的サポートをしてあげる人）について、『いる』と回答した人の割合は、一般高齢者では 86.5%となっている一方、事業対象・要支援者では 76.8%と 80%を下回り、要介護者（軽度）では 66.4%と 70%を下回っています。



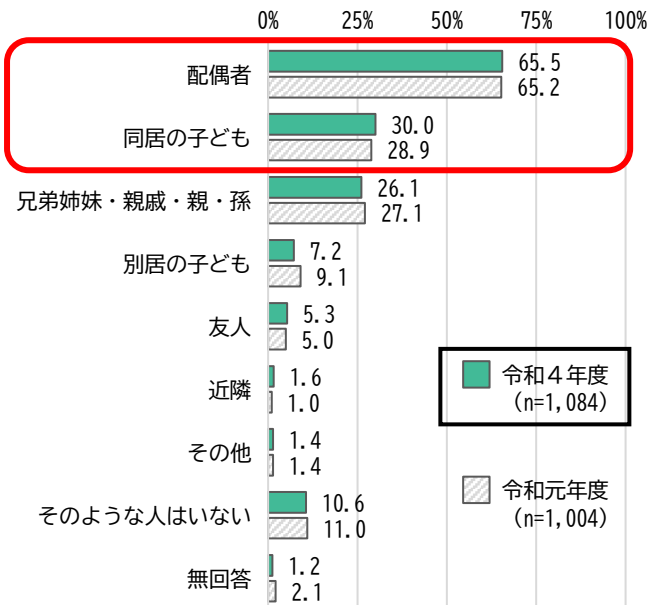
※『いる』=100-「そのような人はいない」-「無回答」

(2) 看病や世話をしてくれる人・してあげる人(手段的サポート)

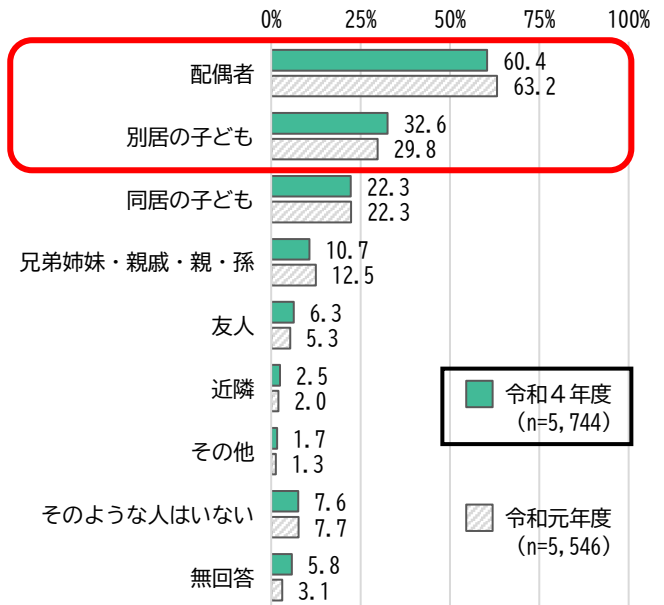
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、若年者、一般高齢者、要介護者(軽度)では「配偶者」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者では「同居の子ども」、一般高齢者、要介護者(軽度)では「別居の子ども」となっています。また、事業対象・要支援者では「別居の子ども」が最も高く、次いで「配偶者」となっています。なお、事業対象・要支援者、要介護者(軽度)では「配偶者」と回答した人の割合が前回調査より減少していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

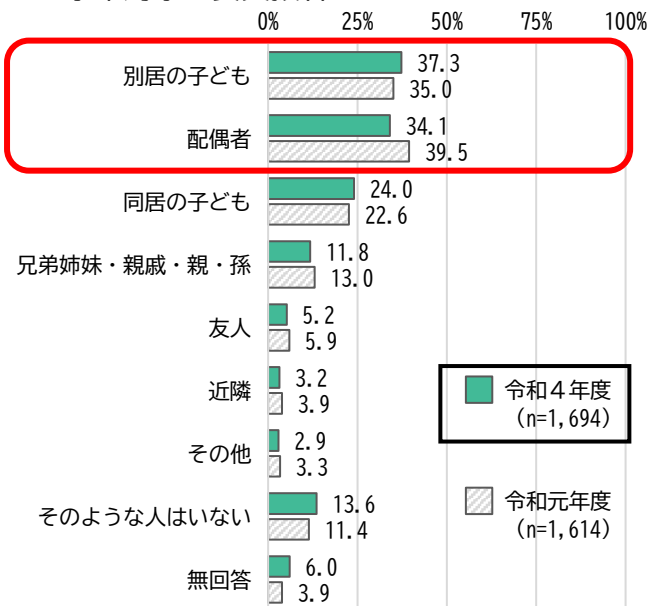
■ 若年者



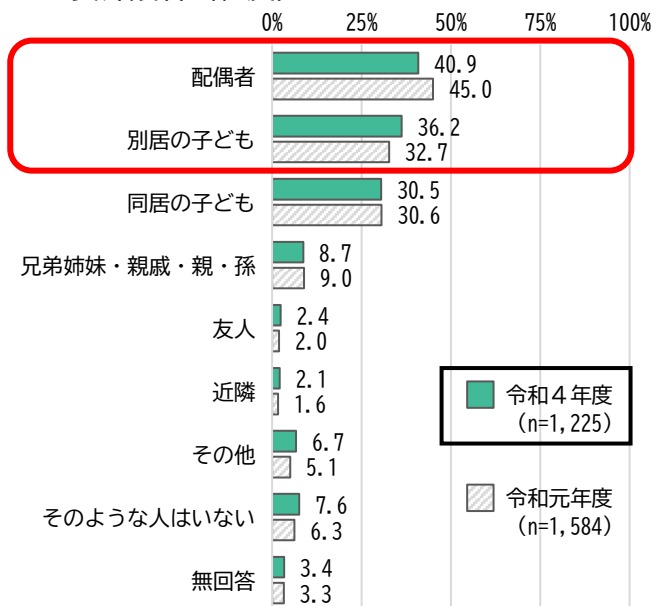
■ 一般高齢者



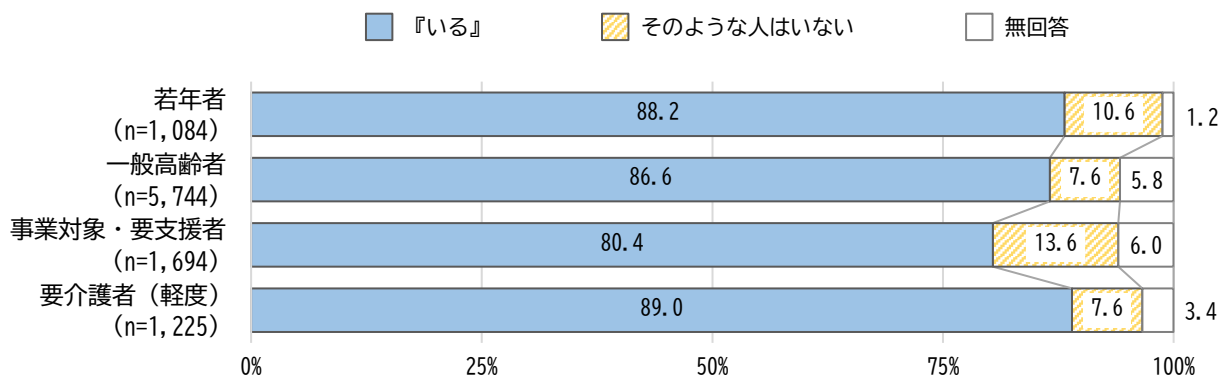
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（手段的サポートをしてくれる人）について、『いる』と回答した人の割合は、一般高齢者では86.6%、事業対象・要支援者では80.4%、要介護者（軽度）では89.0%といずれも80%を上回っている一方、他調査と比較して事業対象・要支援者では『いる』と回答した人の割合が低くなっています。

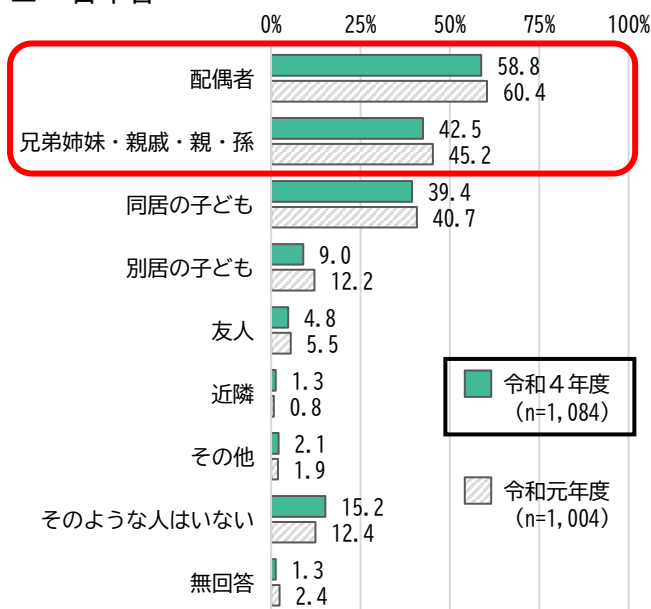


※『いる』=100-「そのような人はいない」-「無回答」

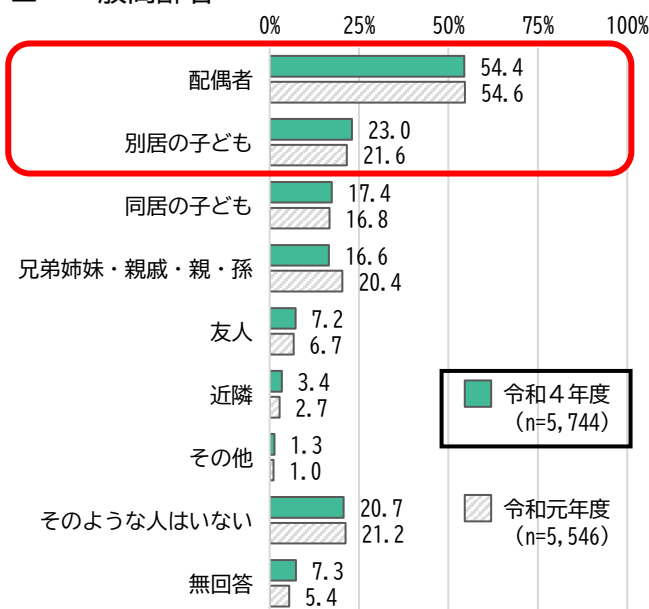
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人について、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では「配偶者」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、一般高齢者では「別居の子ども」、事業対象・要支援者では「そのような人はいない」となっています。また、要介護者（軽度）では「そのような人はいない」と回答した人の割合が最も高く、次いで「配偶者」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

■ 若年者

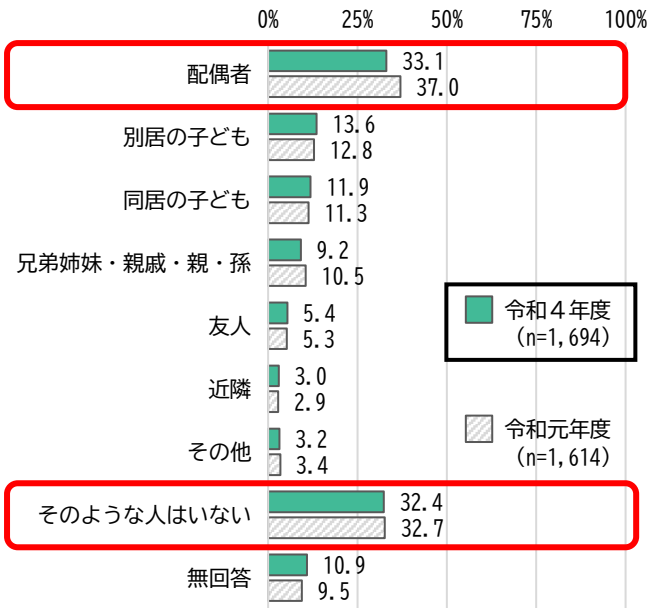


■ 一般高齢者

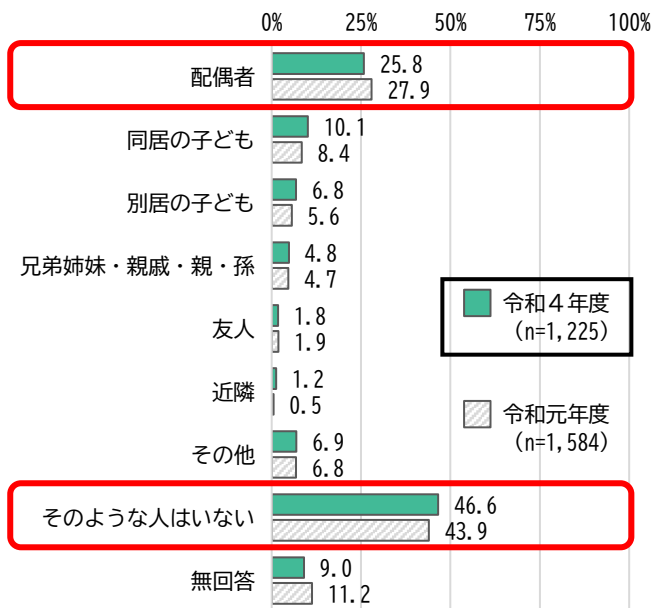


第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

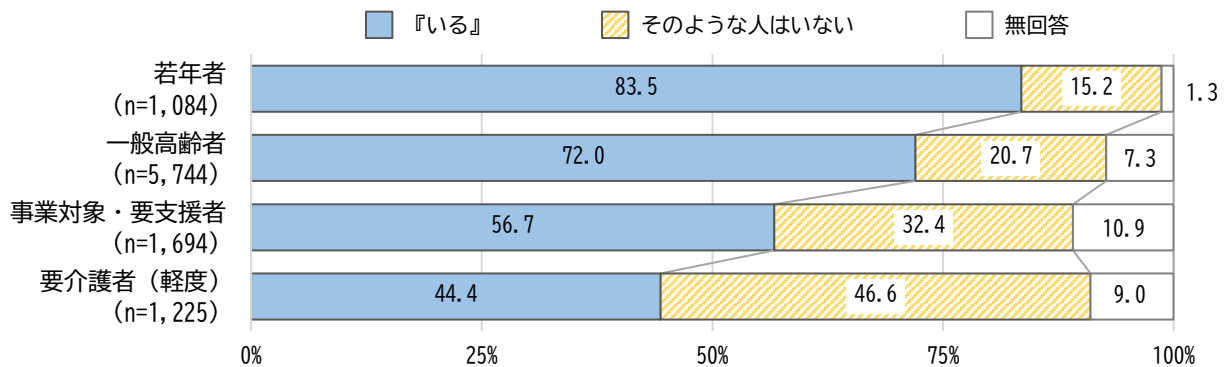
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



看病や世話をしあがる人（手段的サポートをしあがる人）について、『いる』と回答した人の割合は、一般高齢者では72.0%となっている一方、事業対象・要支援者では56.7%と60%を下回り、要介護者（軽度）では44.4%と50%を下回っています。



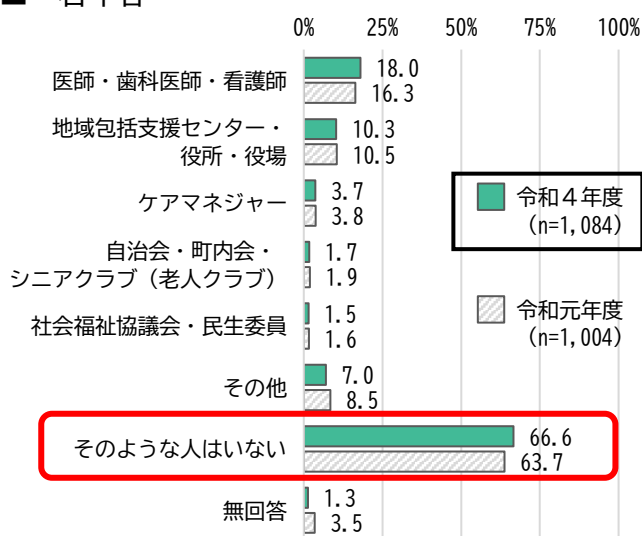
※『いる』 = 100 - 「そのような人はいない」 - 「無回答」

(3) 家族や友人・知人以外の相談相手

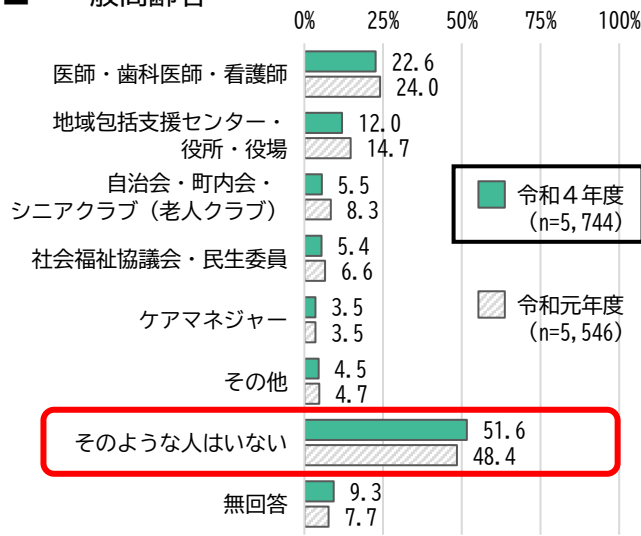
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、若年者、一般高齢者では「そのような人はいない」と回答した人の割合が最も高くなる一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では、「ケアマネジャー」と回答した人の割合が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

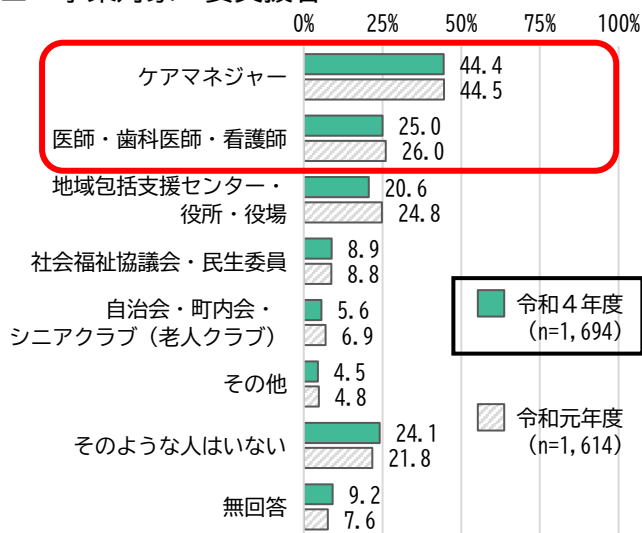
■ 若年者



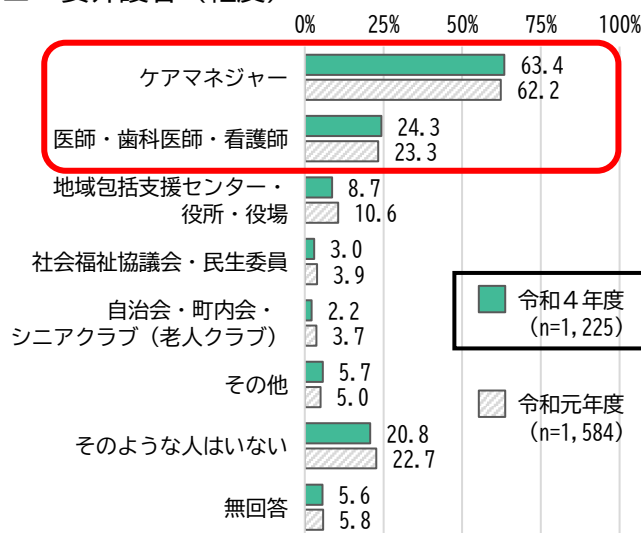
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

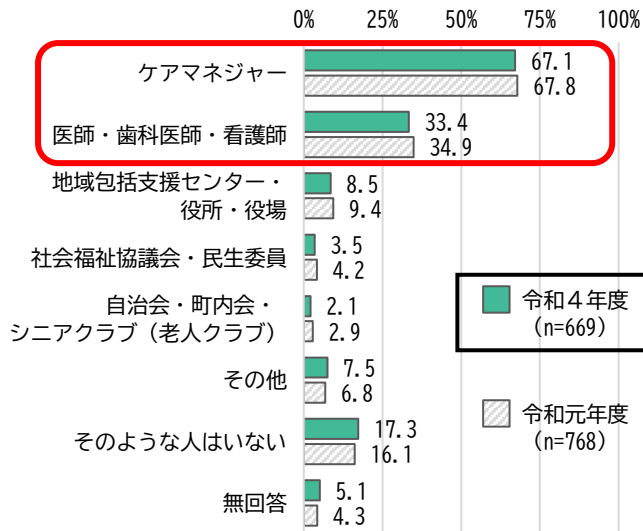


■ 要介護者（軽度）



第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

■ 要介護者（重度）

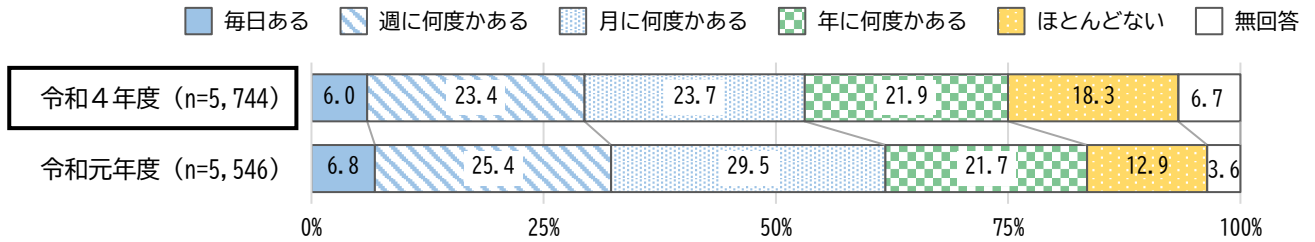


(4) 友人・知人とのつきあい

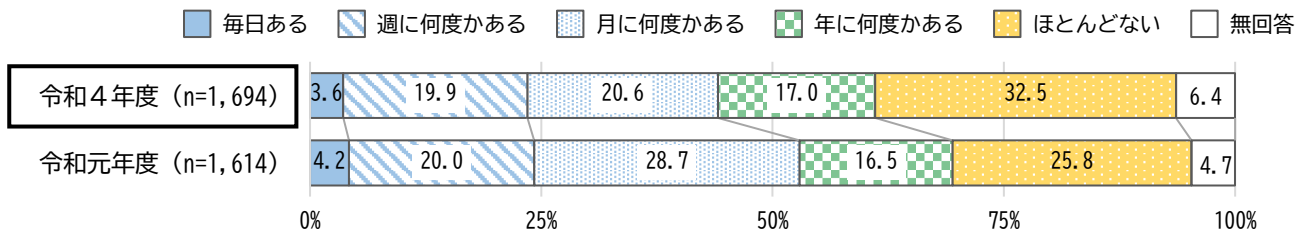
友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つの番号に○)

友人・知人と会う頻度について、一般高齢者では「ほとんどない」と回答した人の割合が18.3%となる一方、事業対象・要支援者では32.5%と30%を上回っており、要介護者(軽度)では46.6%と40%を上回っています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では「月に何度かある」と回答した人の割合が前回調査より減少し、「ほとんどない」と回答した人の割合が増加しています。

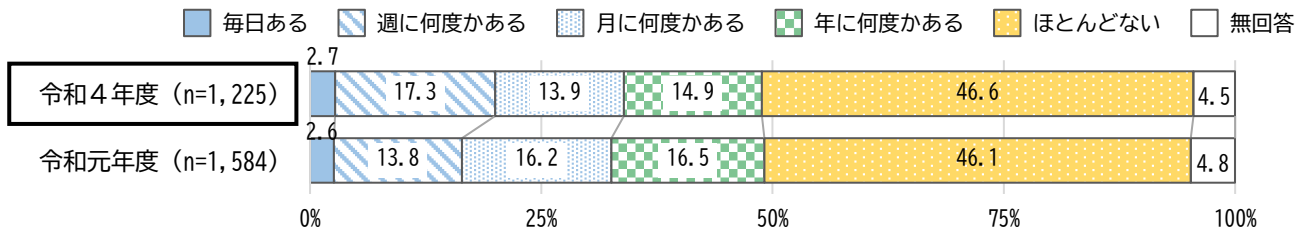
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者(軽度)

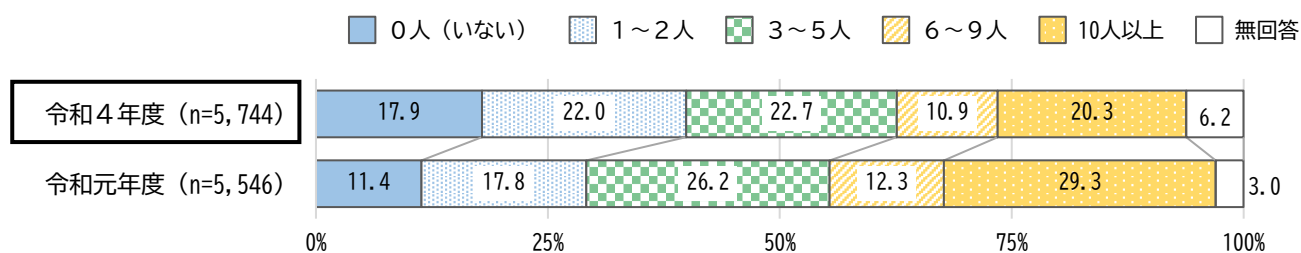


第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

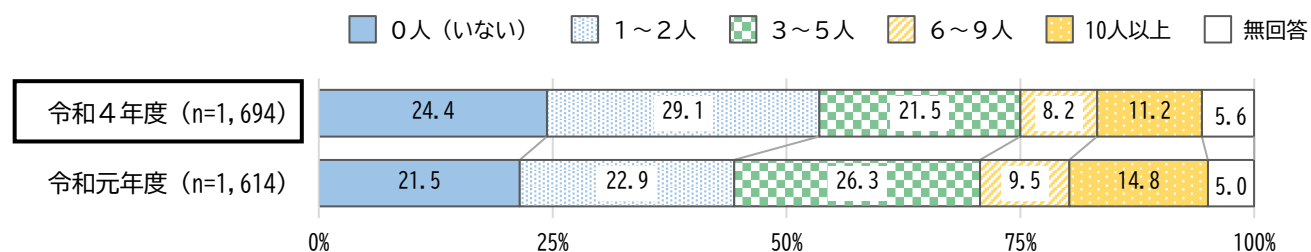
この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。(1つの番号に○)

この1か月間に会った友人・知人の人数について、一般高齢者では「0人」と回答した人の割合が17.9%となる一方、事業対象・要支援者では24.4%と20%を上回っており、要介護者（軽度）では39.1%と約40%となっています。なお、一般高齢者では「0人」と回答した人の割合が前回調査より増加し、「3～5人」あるいは「10人以上」と回答した人の割合が減少しています。

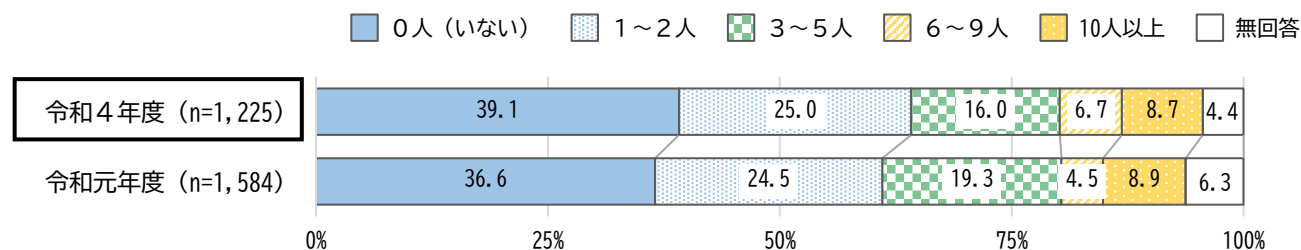
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



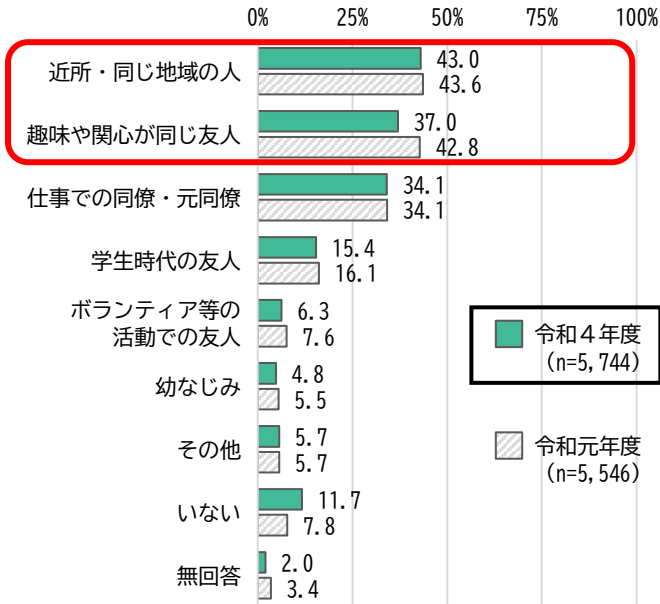
■ 要介護者（軽度）



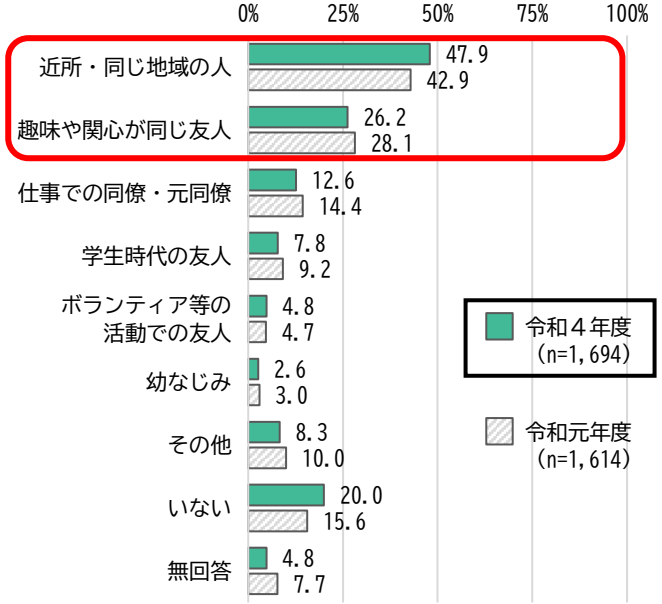
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

よく会う友人・知人について、いずれの調査でも「近所・同じ地域の人」と回答した人の割合が最も高く、次いで一般高齢者、事業対象・要支援者では「趣味や関心が同じ友人」となっており、要介護者（軽度）では「いない」となっています。なお、いずれの調査でも「いない」と回答した人の割合が増加しています。

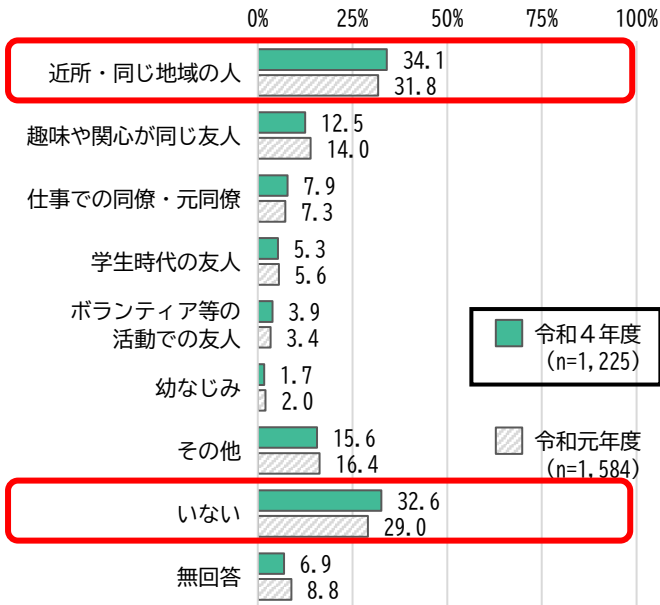
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



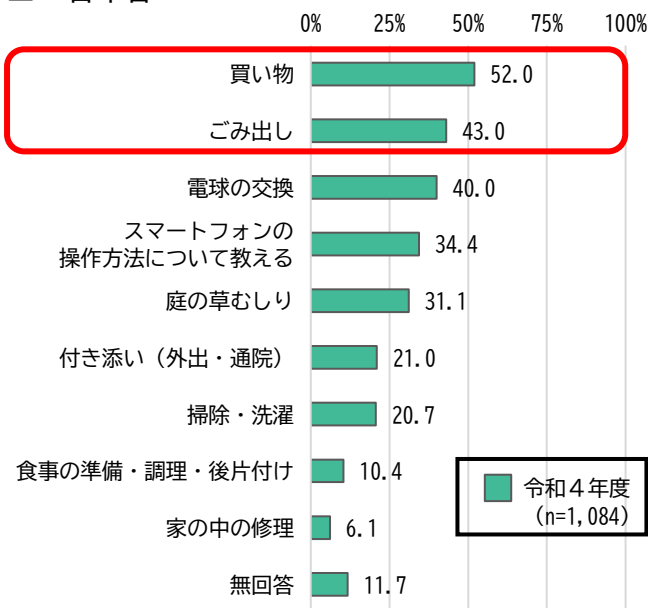
第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

(5) 近隣でのたすけあい

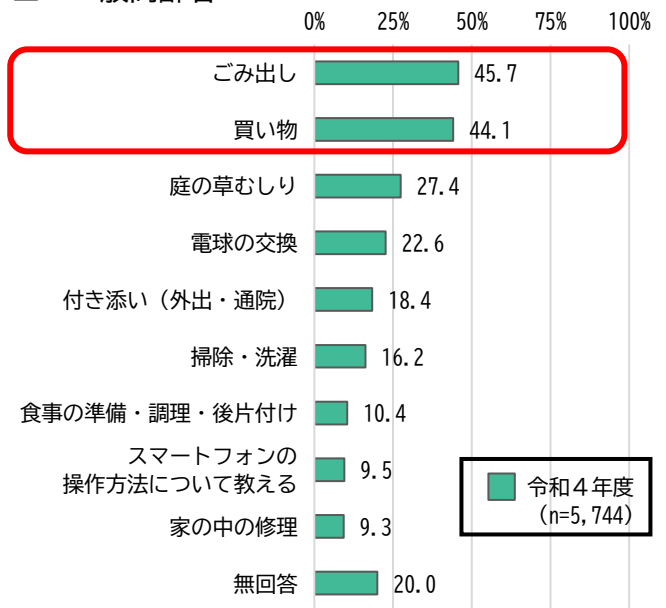
あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合いとして、協力できることはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

近隣で困っている高齢者がいた場合、できる範囲で協力することについて、若年者では「買い物」と回答した人の割合が最も高く、次いで「ごみ出し」となっています。また、一般高齢者では「ごみ出し」が最も高く、次いで「買い物」となっています。なお、事業対象・要支援者では「無回答」が最も高くなっており、協力できることはないと回答した人の割合が高くなっていると考えられます。

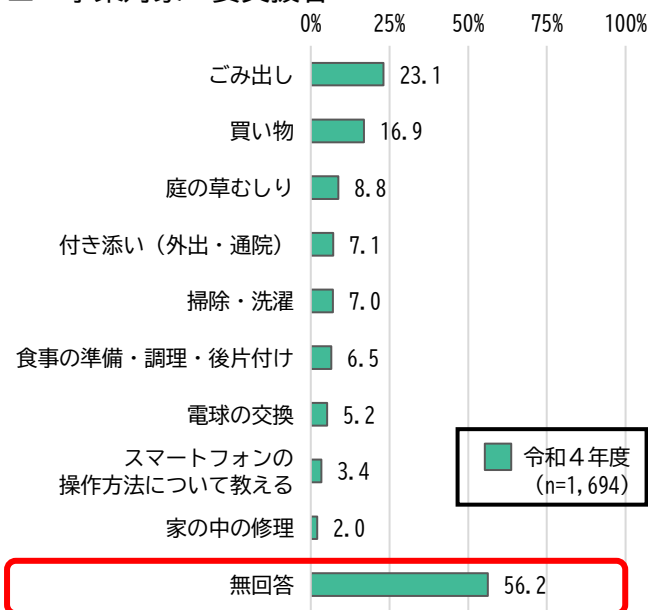
■ 若年者



■ 一般高齢者



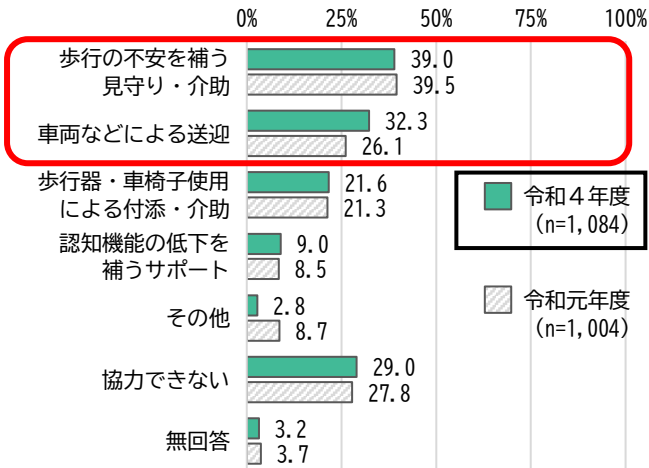
■ 事業対象・要支援者



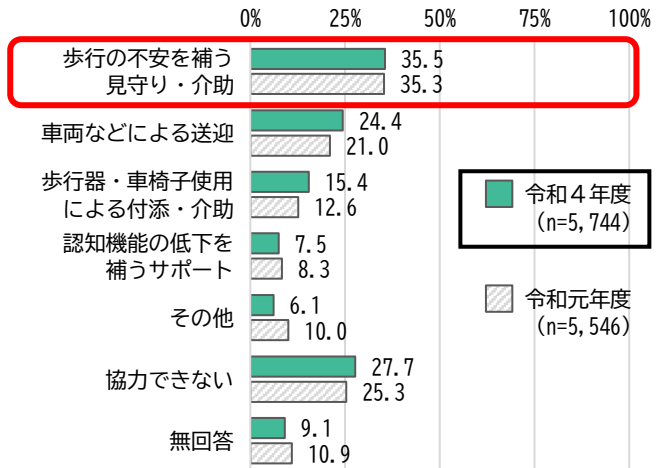
あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力できることはどんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合に協力できることについて、若年者、一般高齢者では「歩行の不安を補う見守り・介助」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者では「車両などによる送迎」となっています。近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、何らかの形で協力できると回答した人の割合について、若年者で約70%、一般高齢者では約60%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

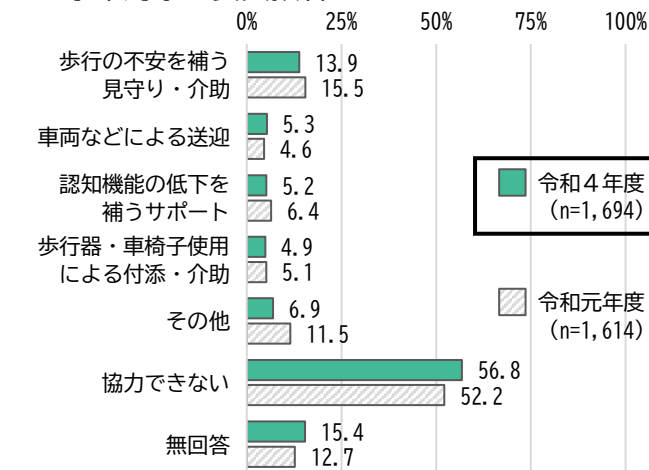
■ 若年者



■ 一般高齢者



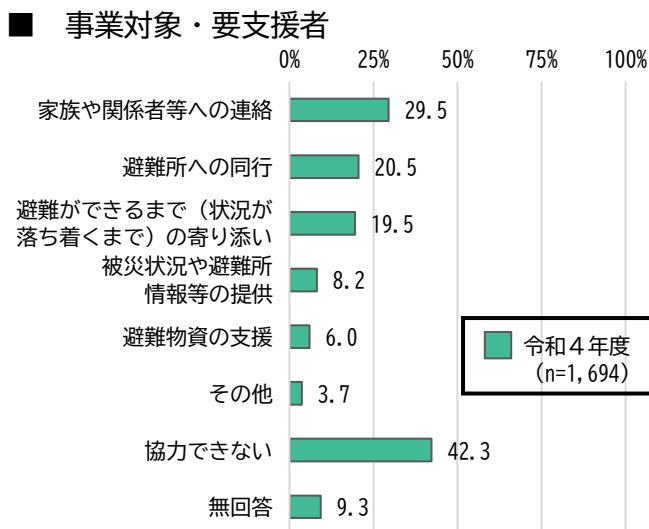
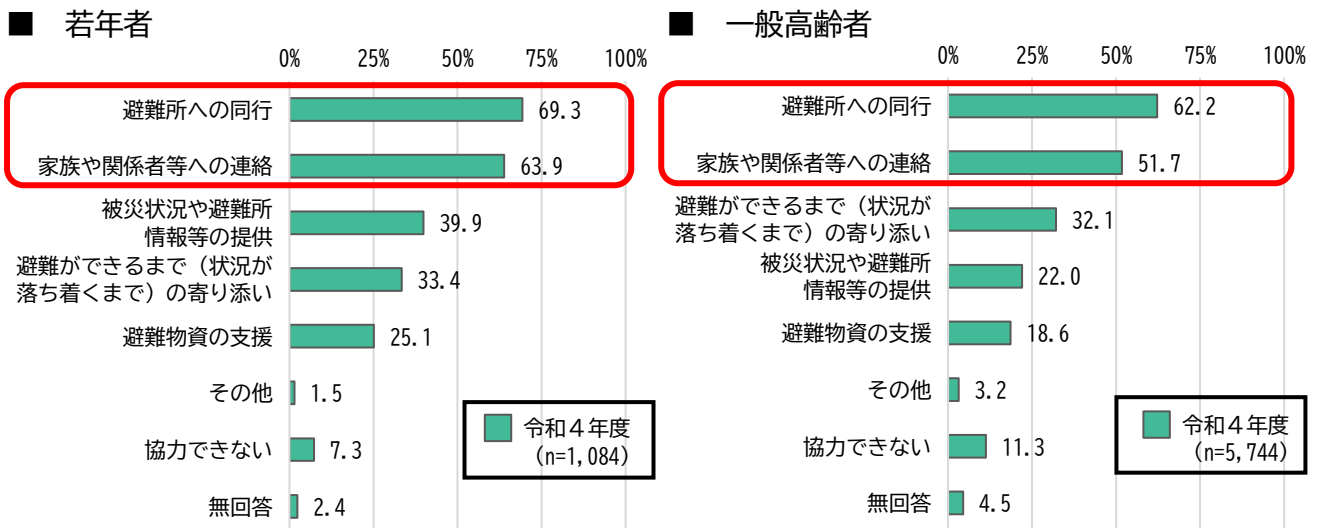
■ 事業対象・要支援者



第3章 調査の結果 「9. たすけあいについて」

あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

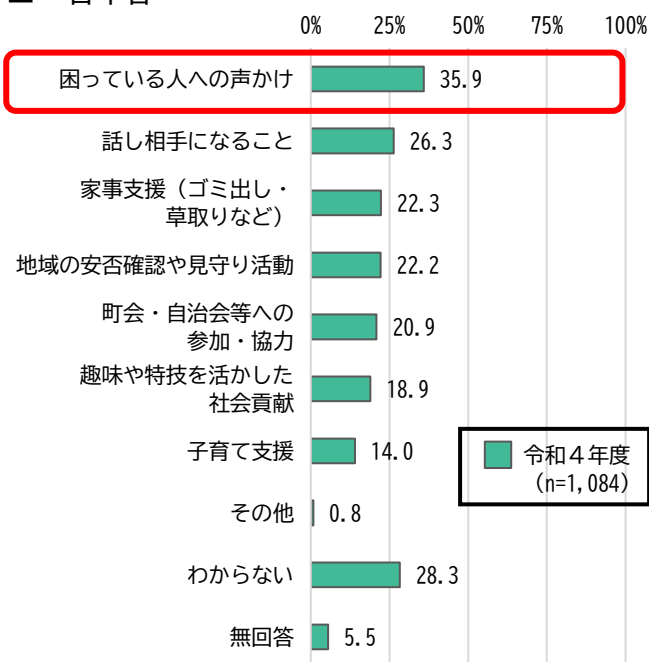
災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることについて、「避難所への同行」と回答した人の割合が若年者では69.3%、一般高齢者では62.2%と60%を上回っており、「家族や関係者等への連絡」は若年者では63.9%、一般高齢者では51.7%と50%を上回っています。災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、何らかの形で協力できると回答した人の割合について、若年者で約90%、一般高齢者では約80%となっています。



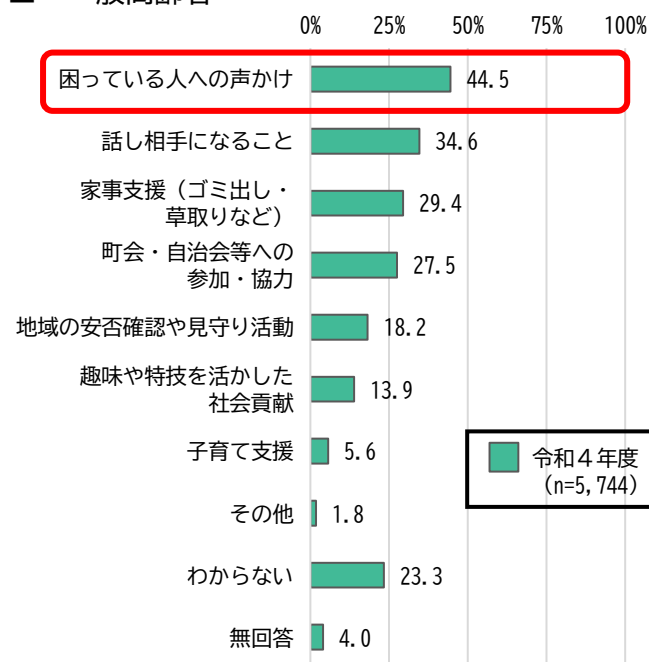
地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。(あてはまるものすべての番号に○)

地域共生社会の構築に向けてできる事について、若年者、一般高齢者では「困っている人への声かけ」と回答した人の割合が最も高く、事業対象・要支援者では「話し相手になること」が最も高くなっており、地域共生社会の構築に向けて、何らかの形で協力できると回答した人の割合について、若年者、一般高齢者では70%前後、事業対象・要支援者では約60%となっています。なお、要介護者（軽度）では「わからない」と回答した人の割合が最も高くなってしています。

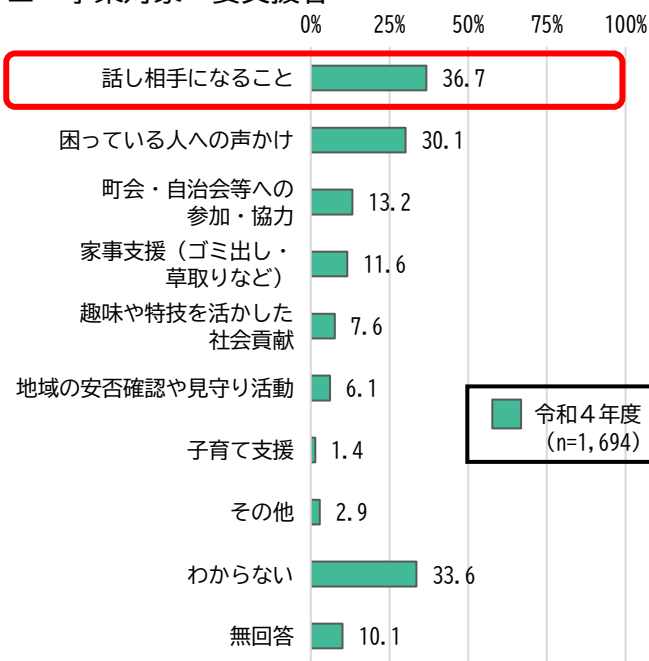
■ 若年者



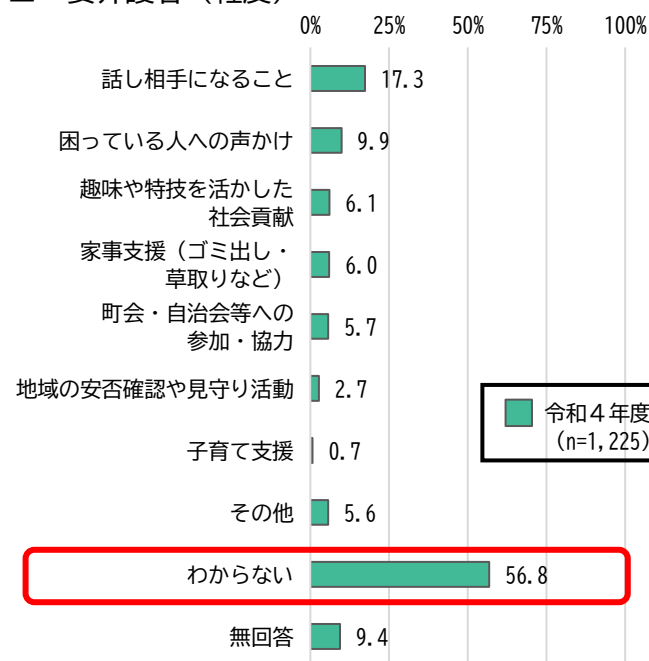
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

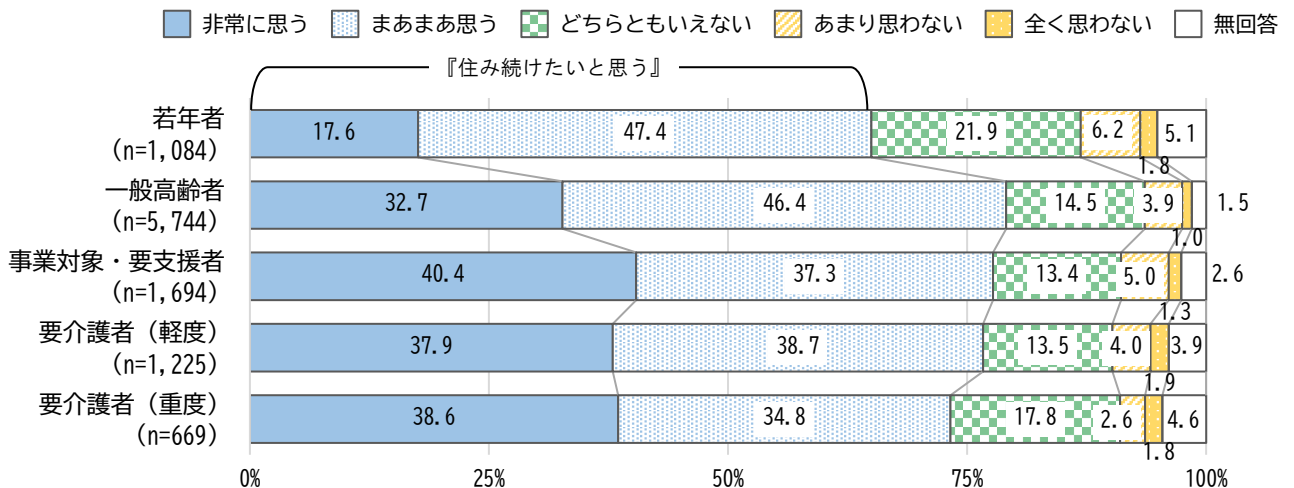


10. 住んでいる地域について

(1) 現在住んでいる地域に住み続けたいと思うか

あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。(1つの番号に○)

現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思うかについて、「非常に思う」あるいは「まあまあ思う」と『住み続けたいと思う』と回答した人の割合は、若年者では65.0%となる一方、一般高齢者では79.1%、事業対象・要支援者では77.7%、要介護者（軽度）では76.6%、要介護者（重度）では73.4%と70%を上回っています。



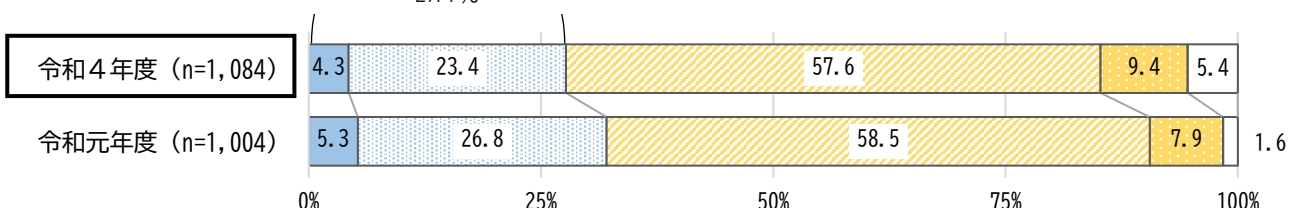
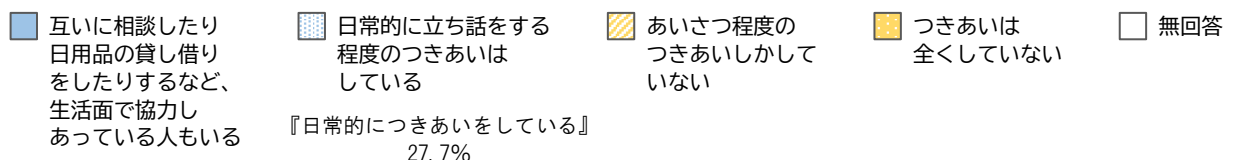
※『住み続けたいと思う』＝「非常に思う」＋「まあまあ思う」

(2) 近所とのつきあい

あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

ご近所とのおつきあいについて、「互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる」あるいは「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」と『日常的につきあいをしている』と回答した人の割合は、若年者では27.7%と30%を下回る一方、一般高齢者では54.3%、事業対象・要支援者では55.0%と50%を上回っています。また、要介護者（軽度）では36.7%、要介護者（重度）では28.6%となっています。なお、若年者、一般高齢者では『日常的につきあいをしている』と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

■ 若年者



※『日常的につきあいをしている』＝「互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる」＋「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」

■ 一般高齢者

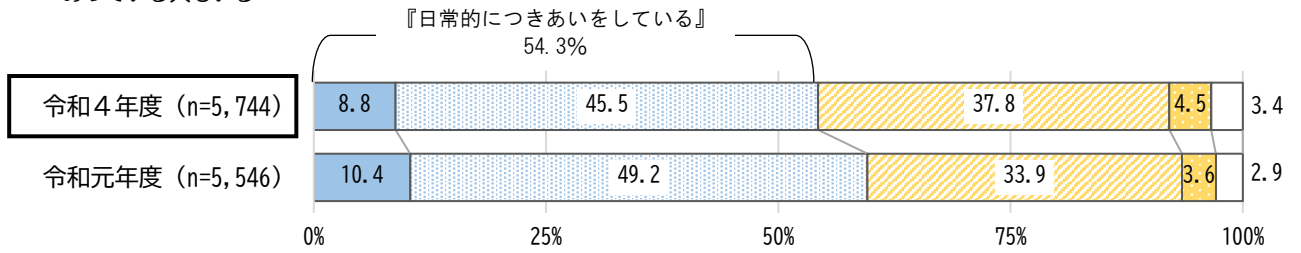
互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる

日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

あいさつ程度のつきあしかしてない

つきあいは全くしてない

無回答



■ 事業対象・要支援者

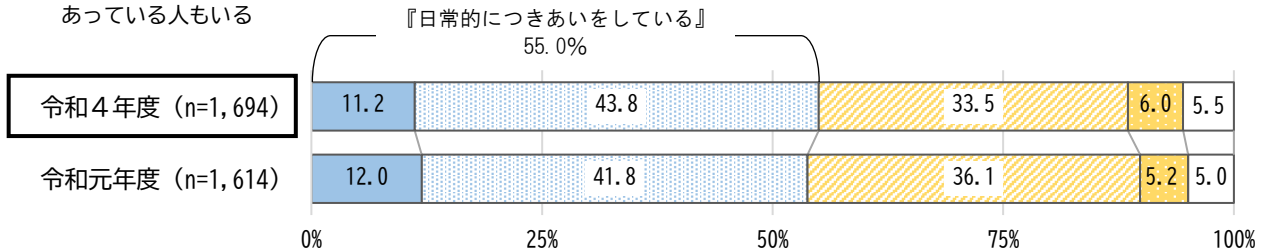
互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる

日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

あいさつ程度のつきあしかしてない

つきあいは全くしてない

無回答



■ 要介護者（軽度）

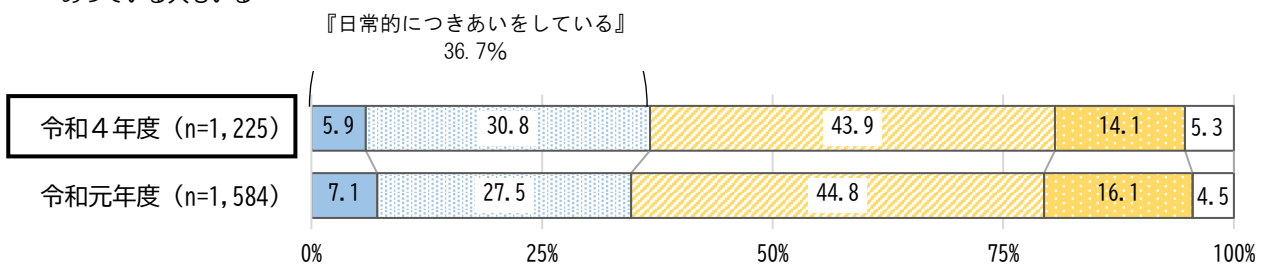
互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる

日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

あいさつ程度のつきあしかしてない

つきあいは全くしてない

無回答



■ 要介護者（重度）

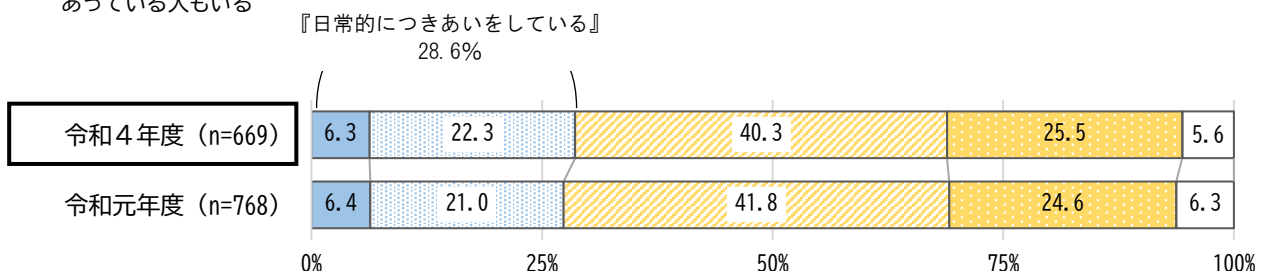
互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる

日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

あいさつ程度のつきあしかしてない

つきあいは全くしてない

無回答



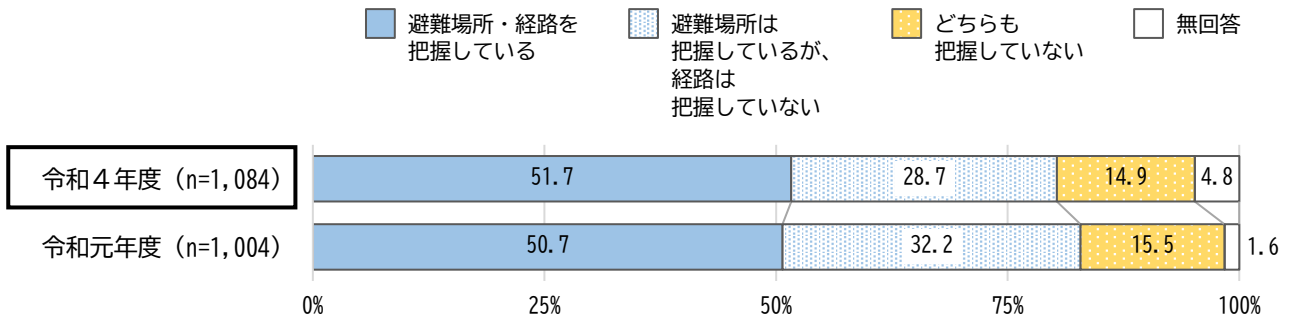
※『日常的につきあいをしている』＝「互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる」＋「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」

(3) 避難行動

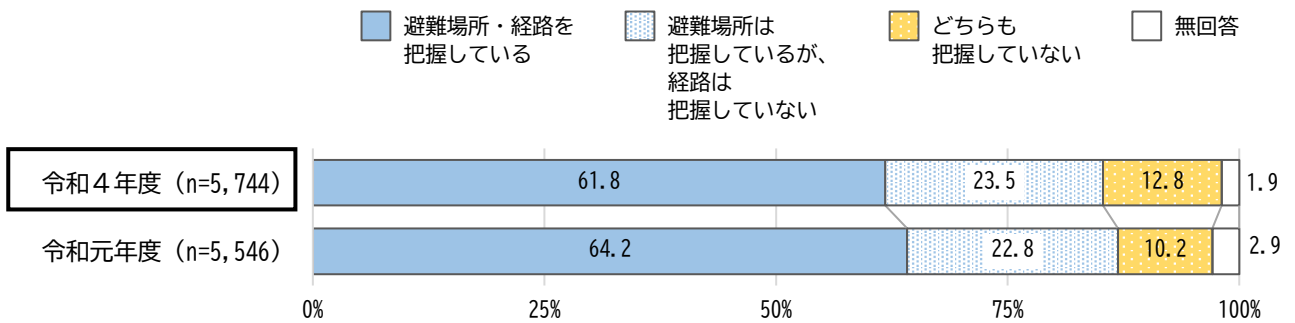
あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

地域の避難場所・経路の把握について、「避難場所・経路を把握している」と回答した人の割合は、若年者では51.7%、一般高齢者では61.8%、事業対象・要支援者では51.5%と50%を上回る一方、要介護者（軽度）では35.0%、要介護者（重度）では31.5%と40%を下回っています。

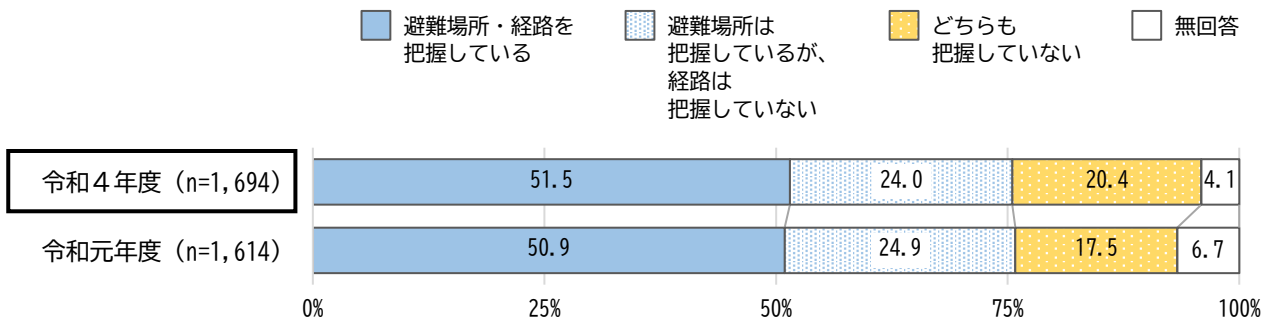
■ 若年者



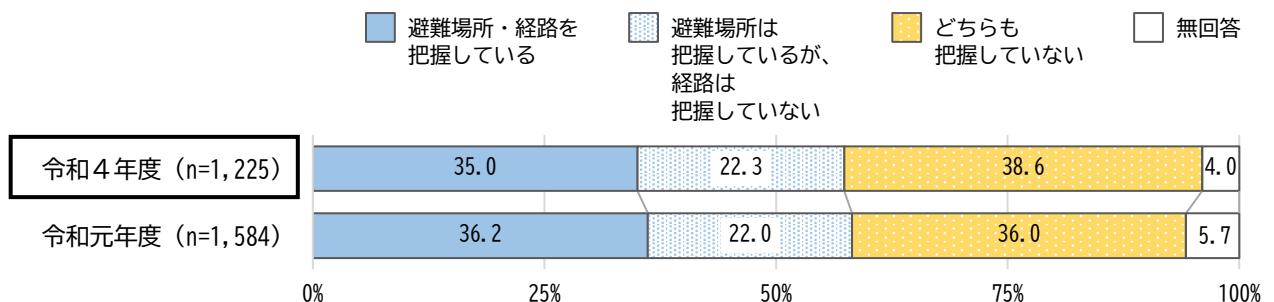
■ 一般高齢者



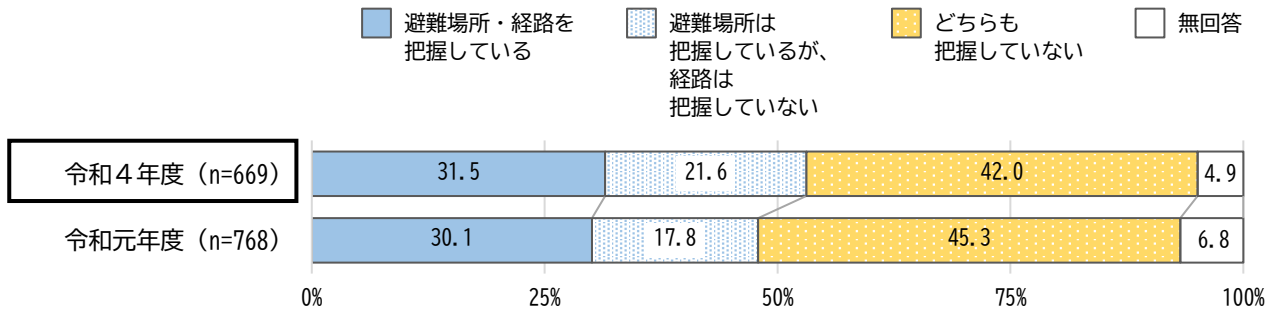
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



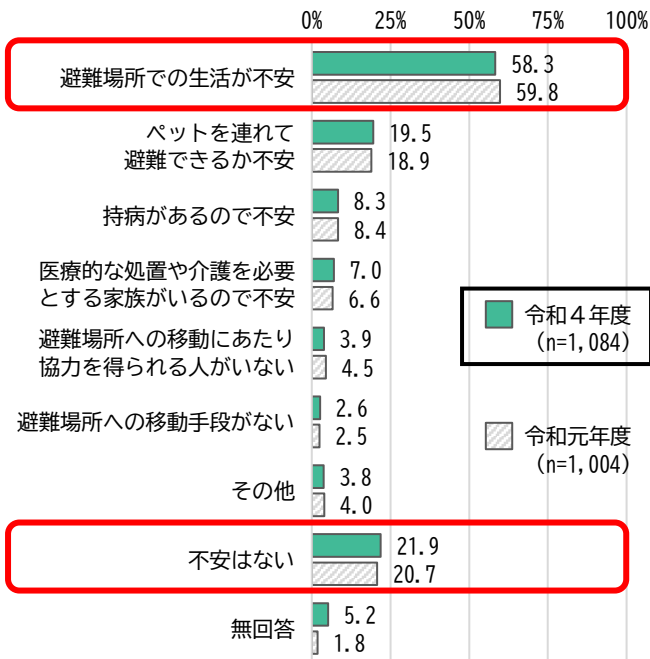
■ 要介護者（重度）



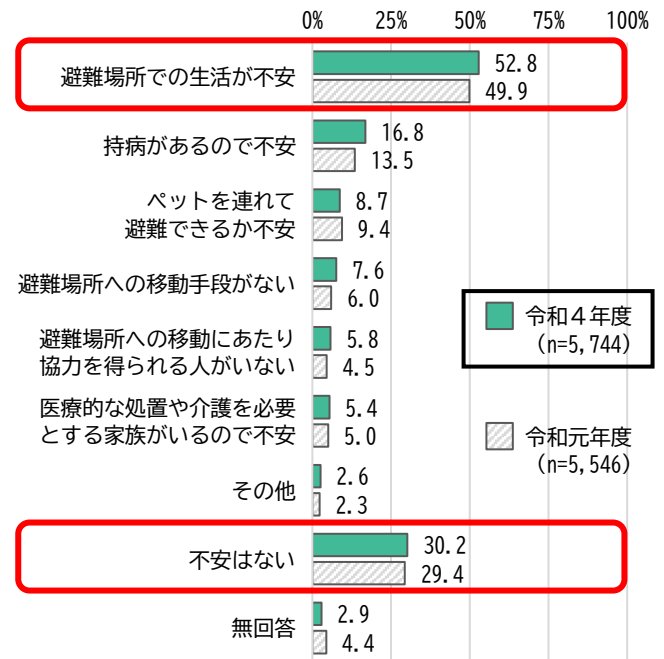
避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

避難するにあたり不安なことについて、若年者、一般高齢者では「避難場所での生活が不安」と回答した人の割合が最も高く、次いで「不安はない」となっています。一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「避難場所での生活が不安」と回答した人の割合が最も高く、次いで「持病があるので不安」、「避難場所への移動手段がない」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

■ 若年者

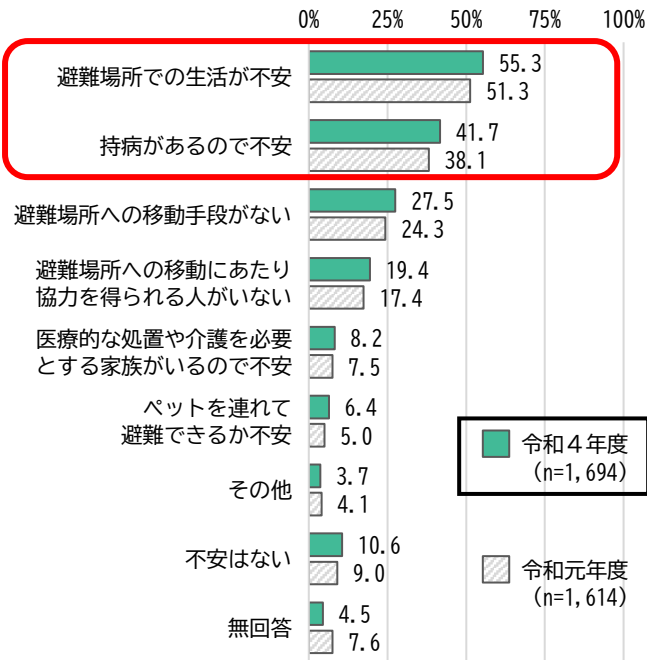


■ 一般高齢者

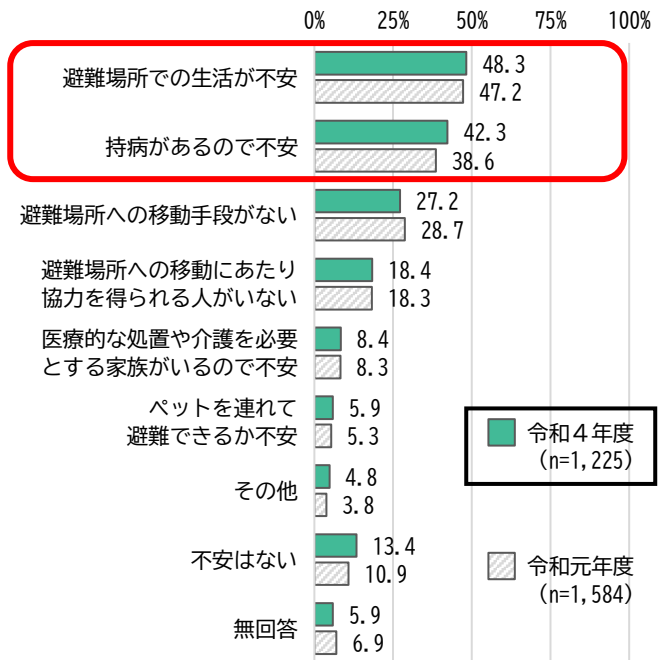


第3章 調査の結果 「10. 住んでいる地域について」

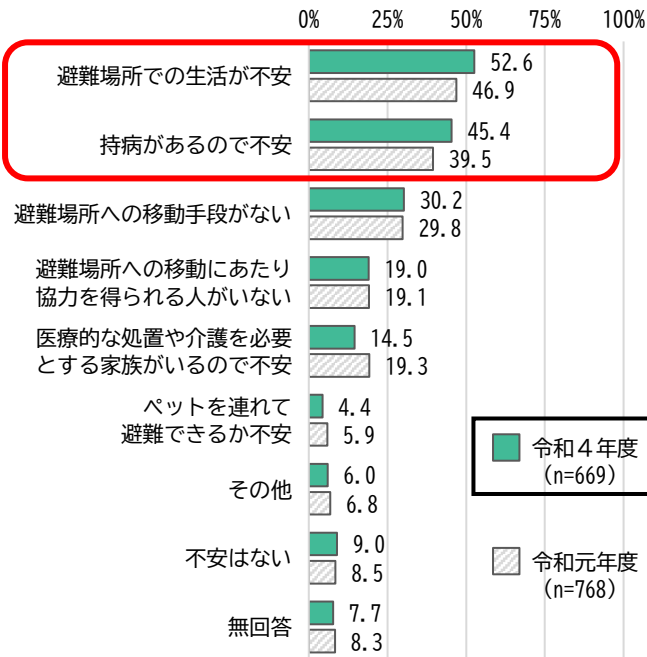
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

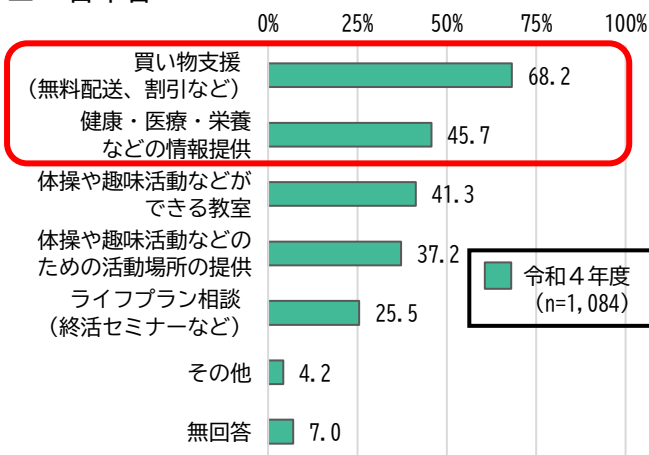


(4) 高齢者が元気に暮らしていくための企業やお店などによるサービス

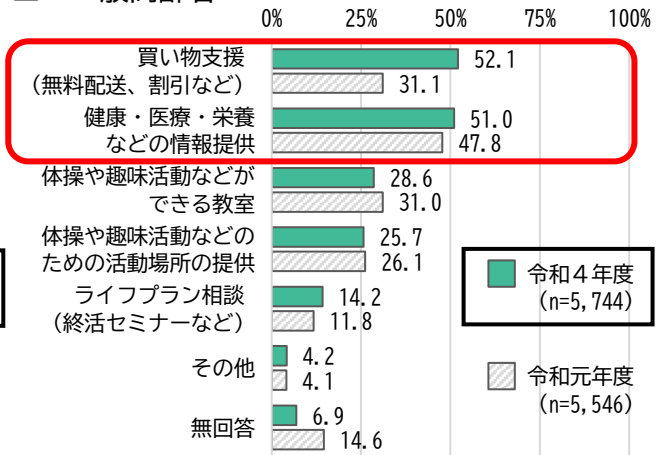
高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店がどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますかについて、いずれの調査でも「買い物支援（無料配送、割引など）」と回答した人の割合が最も高くなり、次いで「健康・医療・栄養などの情報提供」となっています。なお、一般高齢者では「買い物支援（無料配送、割引など）」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加しています。

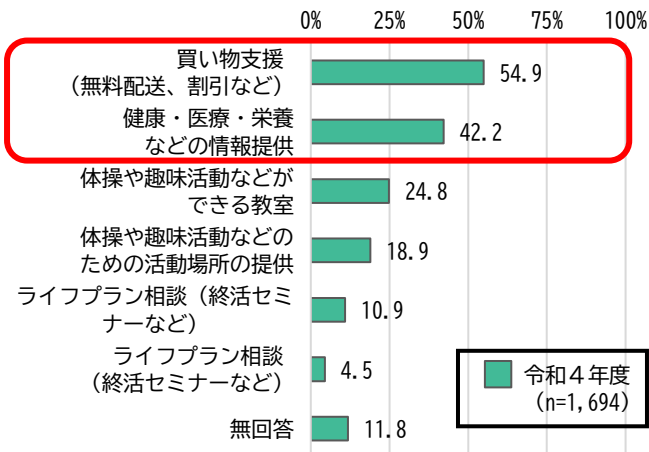
■ 若年者



■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

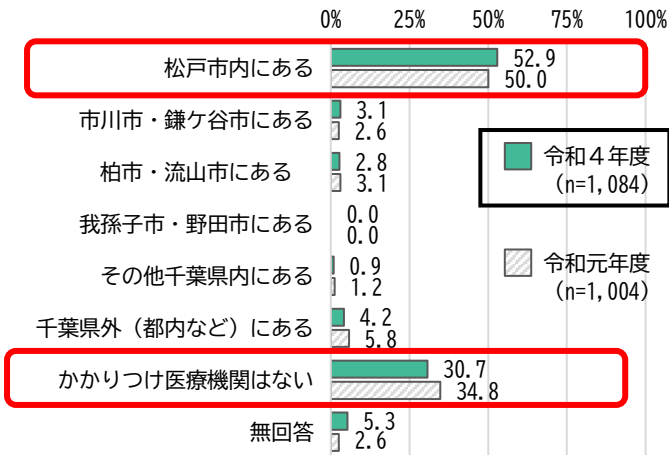


(5) かかりつけ医療機関・歯科医・薬局

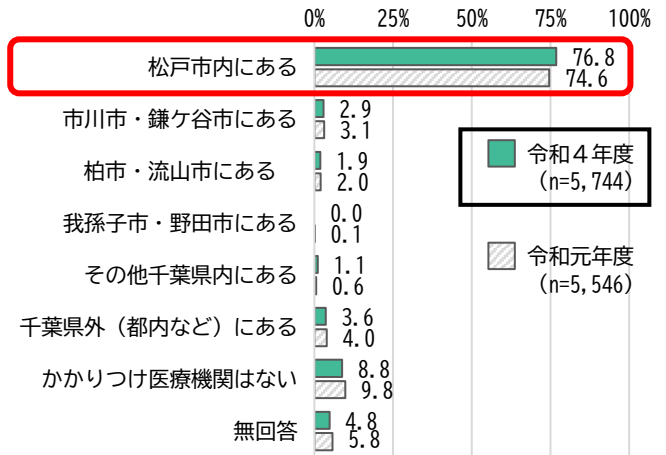
最も頼りにしているかかりつけ医療機関はどこにありますか。(1つの番号に○)

最も頼りにしているかかりつけ医療機関はどこにあるかについて、いずれの調査でも「松戸市内にある」と回答した人の割合が最も高くなり、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では80%前後となっています。また、若年者では「かかりつけ医療機関はない」と回答した人の割合が30.7%となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

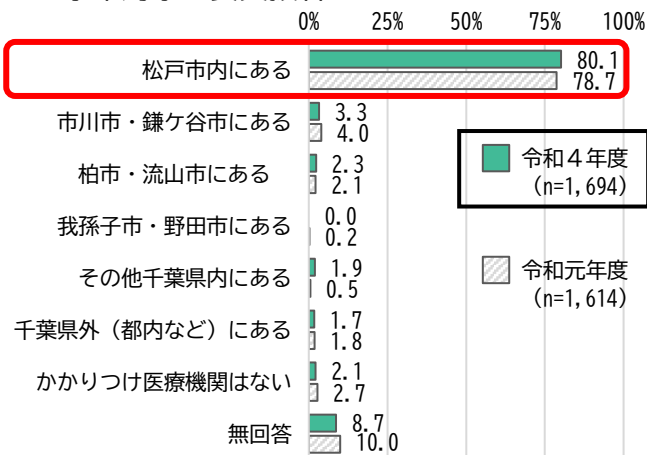
■ 若年者



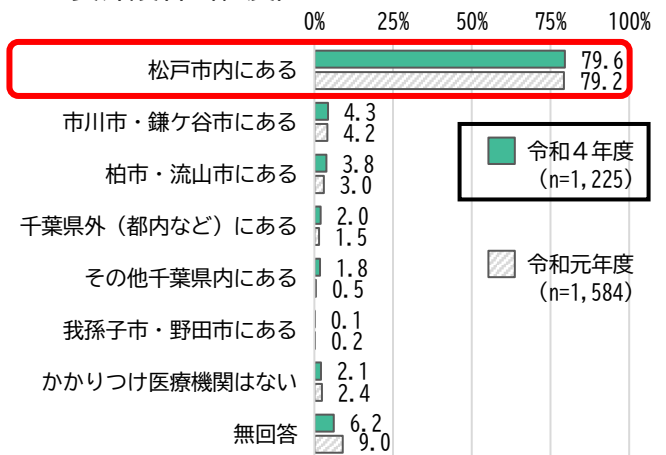
■ 一般高齢者



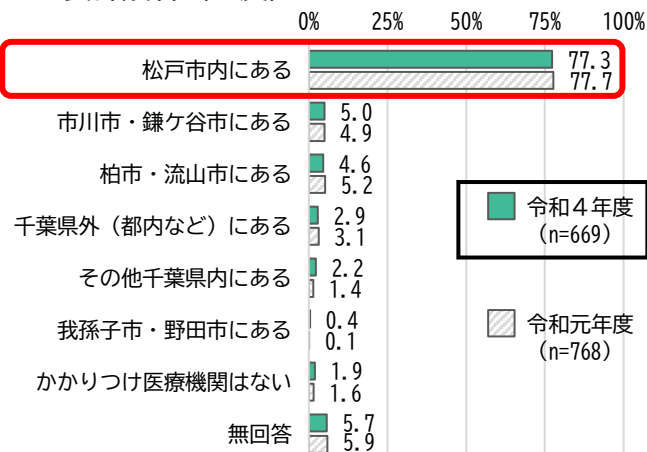
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

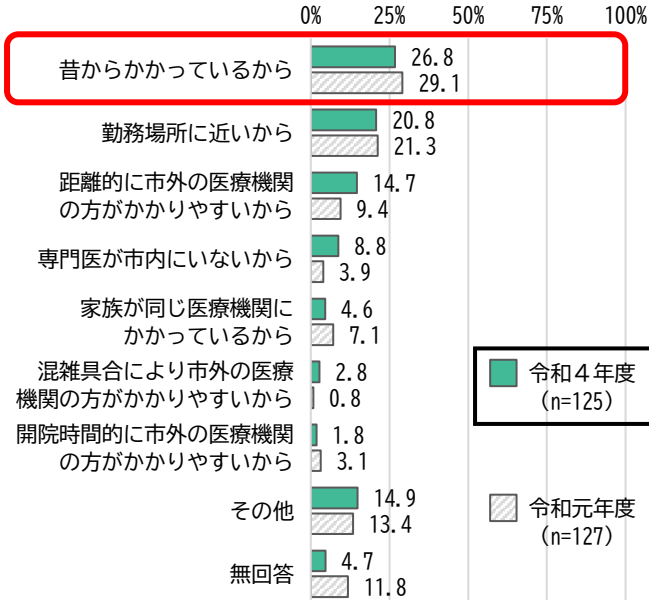


かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方におうかがいします。

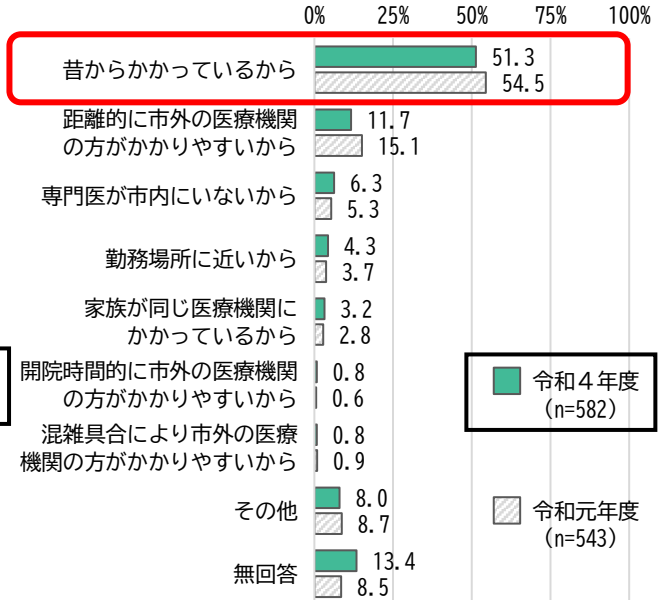
市外の医療機関にかかる理由はなんですか。(1つの番号に○)

かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方の市外の医療機関にかかる理由について、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「昔からかかっているから」と回答した人の割合が最も高くなっています。

■ 若年者

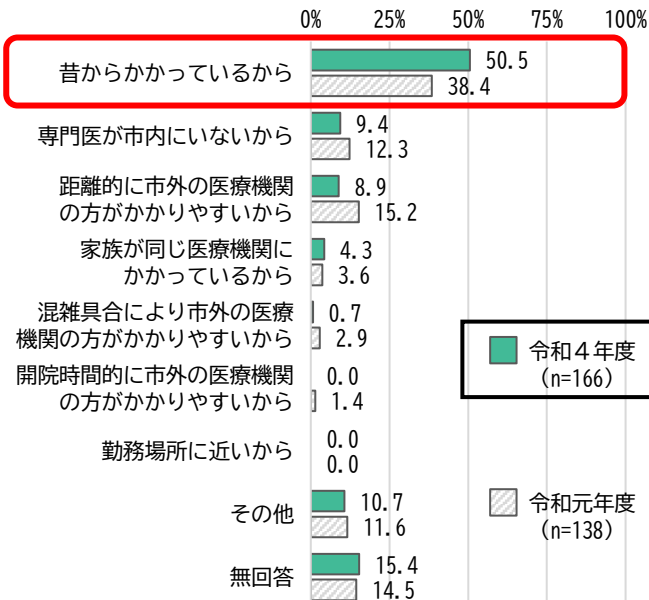


■ 一般高齢者

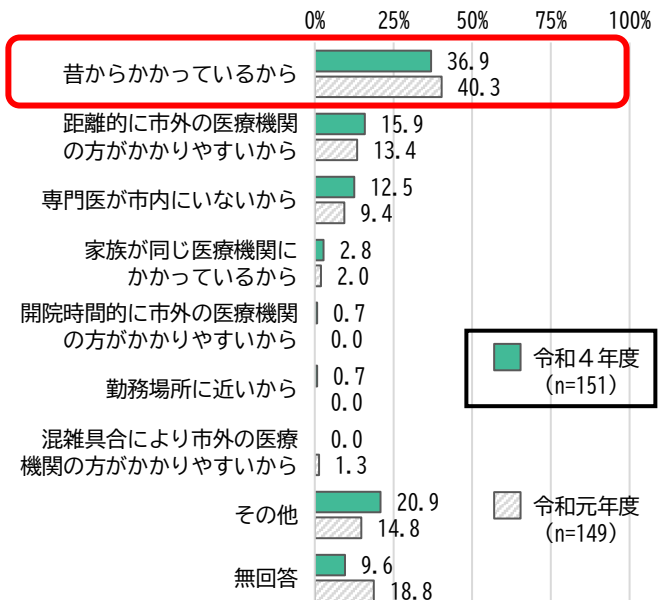


その他・・・引っ越したばかりだからなど

■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

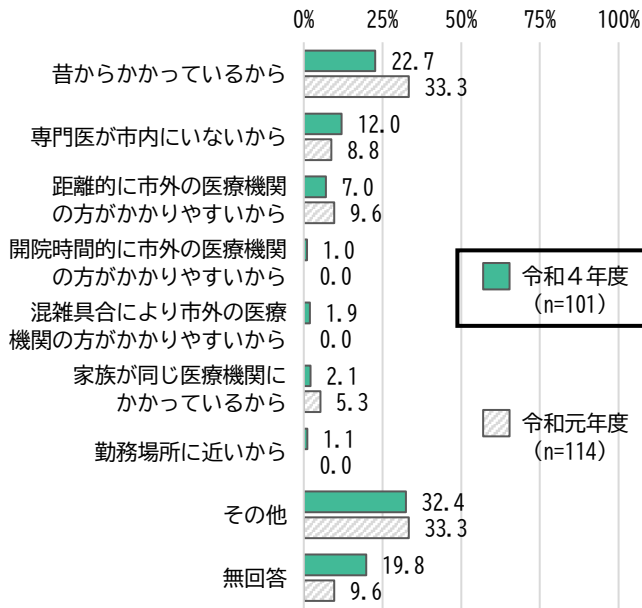


その他・・・紹介された病院だからなど

その他・・・紹介されたから、訪問診療医だからなど

第3章 調査の結果 「10. 住んでいる地域について」

■ 要介護者（重度）

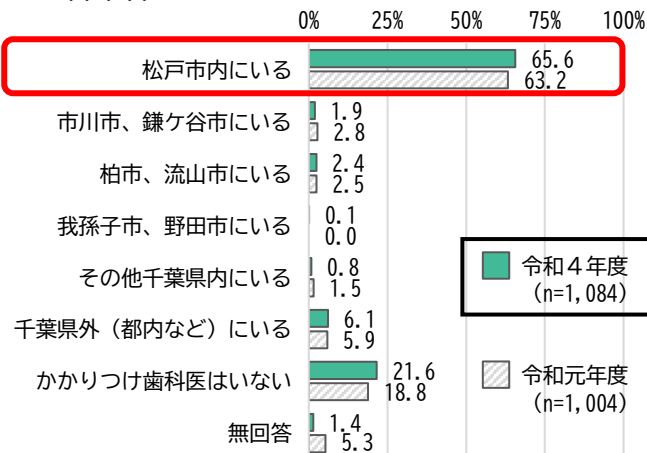


その他・・・往診、訪問診療医だからなど

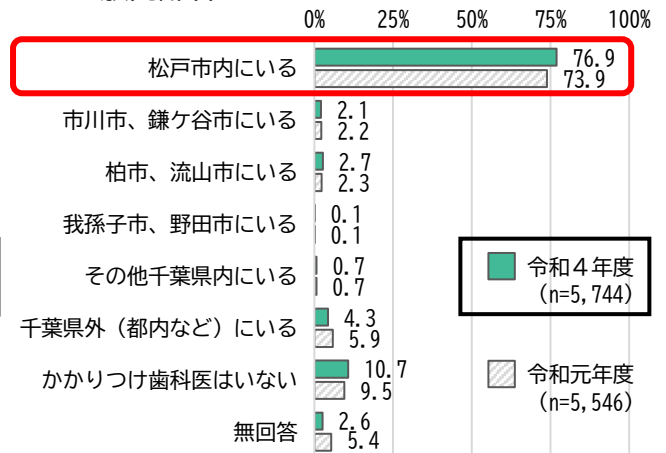
最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（1つの番号に○）

最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいるかについて、いずれの調査でも「松戸市内にいる」と回答した人の割合が最も高くなり、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では70%を上回っています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

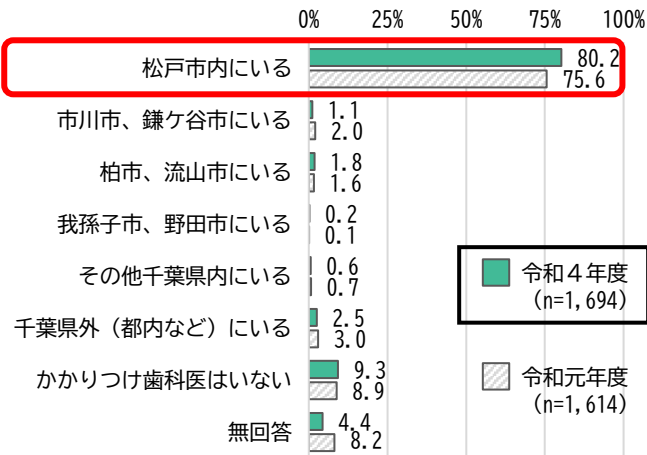
■ 若年者



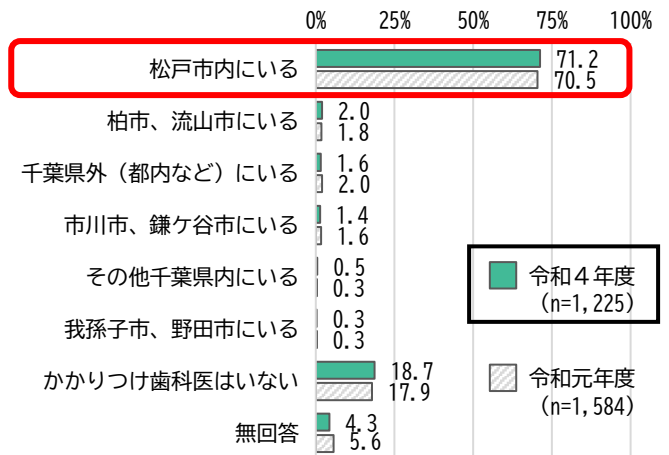
■ 一般高齢者



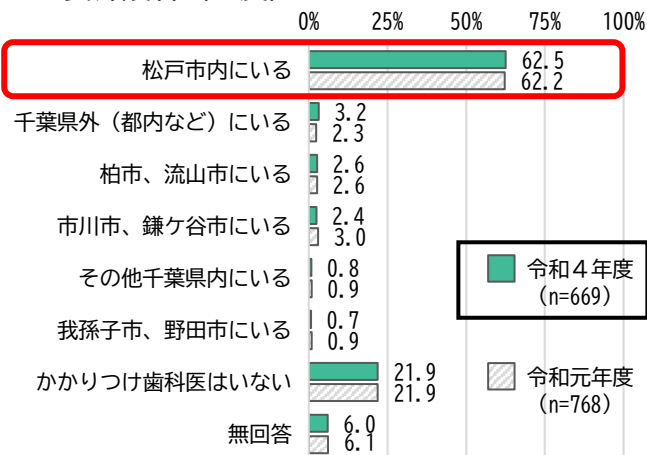
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）

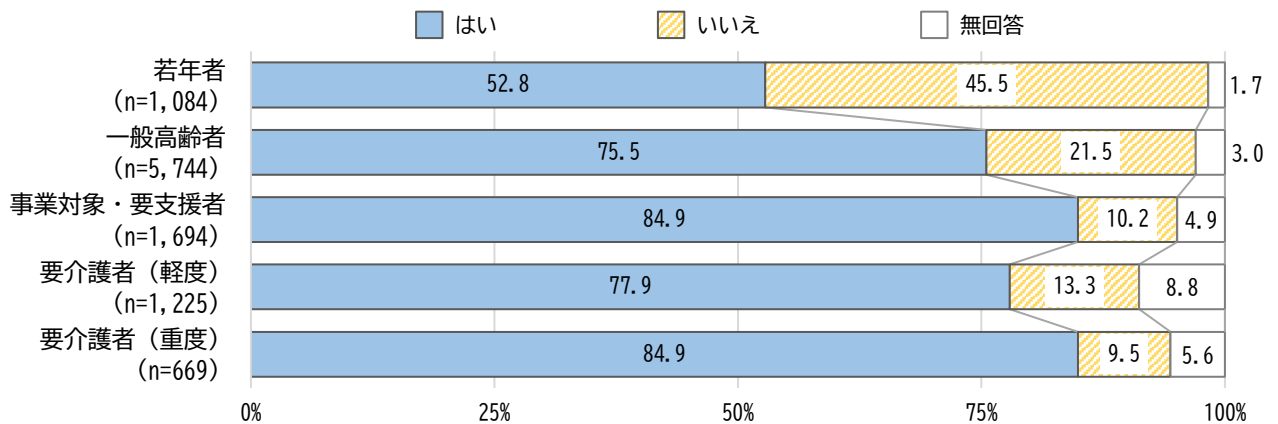


■ 要介護者（重度）



かかりつけ（いつも利用する）薬局はありますか。（1つの番号に○）

かかりつけ薬局はあるかについて、「はい（ある）」と回答した人の割合は、一般高齢者、要介護者（軽度）では70%を上回っており、事業対象・要支援者、要介護者（重度）では80%を上回っています。



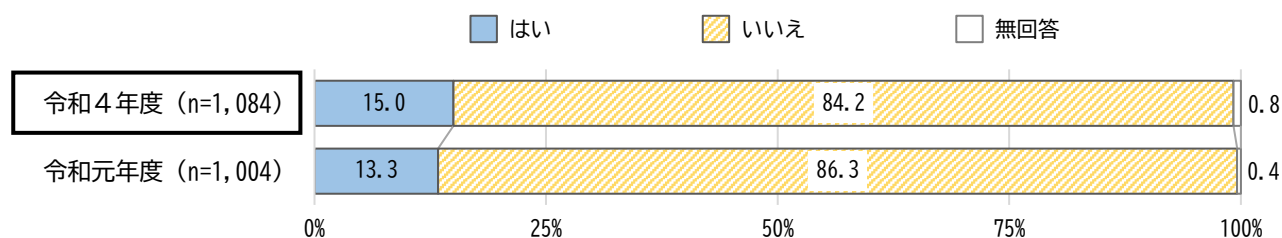
11. 認知症に関することについて

(1) 認知症の症状がある方の有無

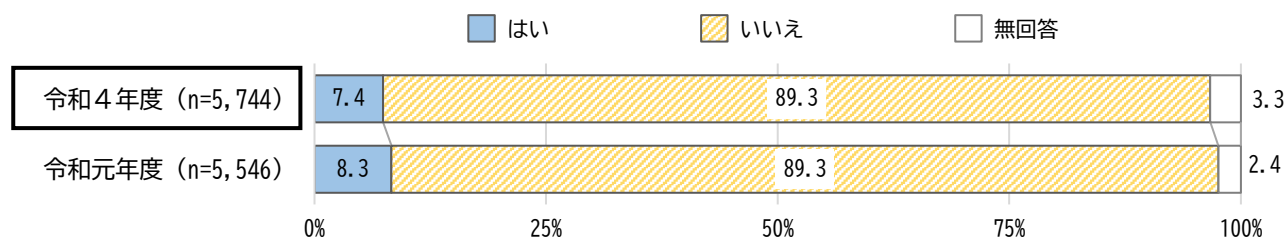
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つの番号に○)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい(いる)」と回答した人の割合は、若年者、事業対象・要支援者では15.0%となっており、一般高齢者では7.4%となっています。なお、事業対象・要支援者では「はい(いる)」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

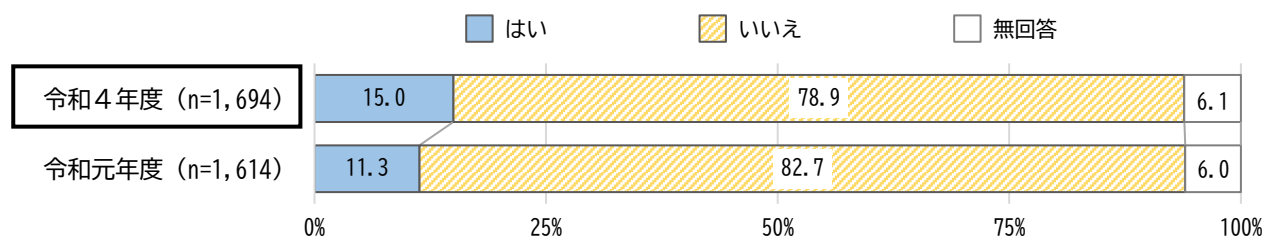
■ 若年者



■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

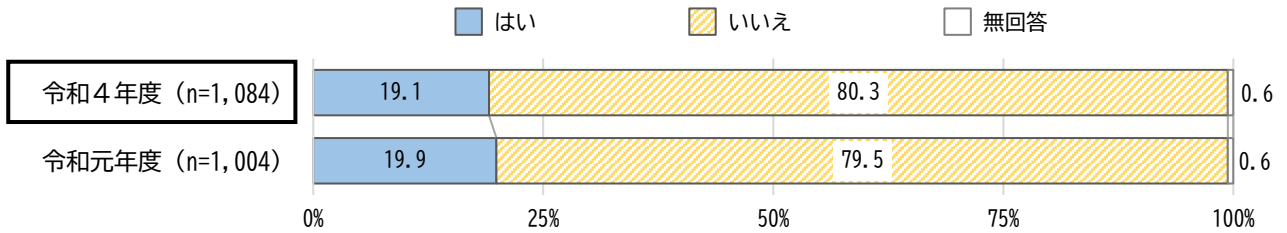


(2) 認知症に関する相談窓口

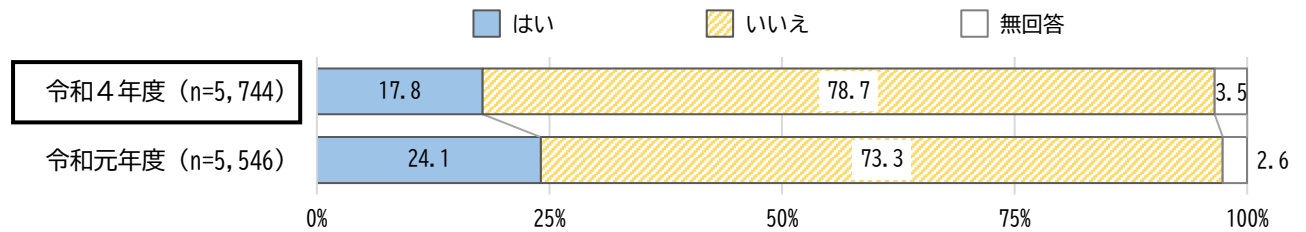
認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つの番号に○)

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい(知っている)」と回答した人の割合は、いずれの調査でも18%前後となっています。なお、一般高齢者では「はい(知っている)」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

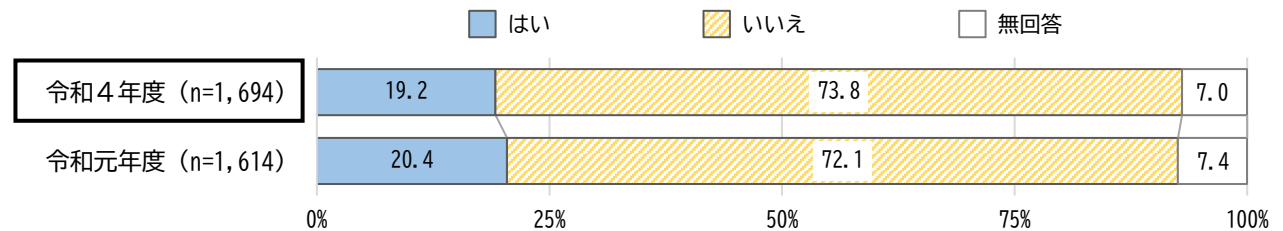
■ 若年者



■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

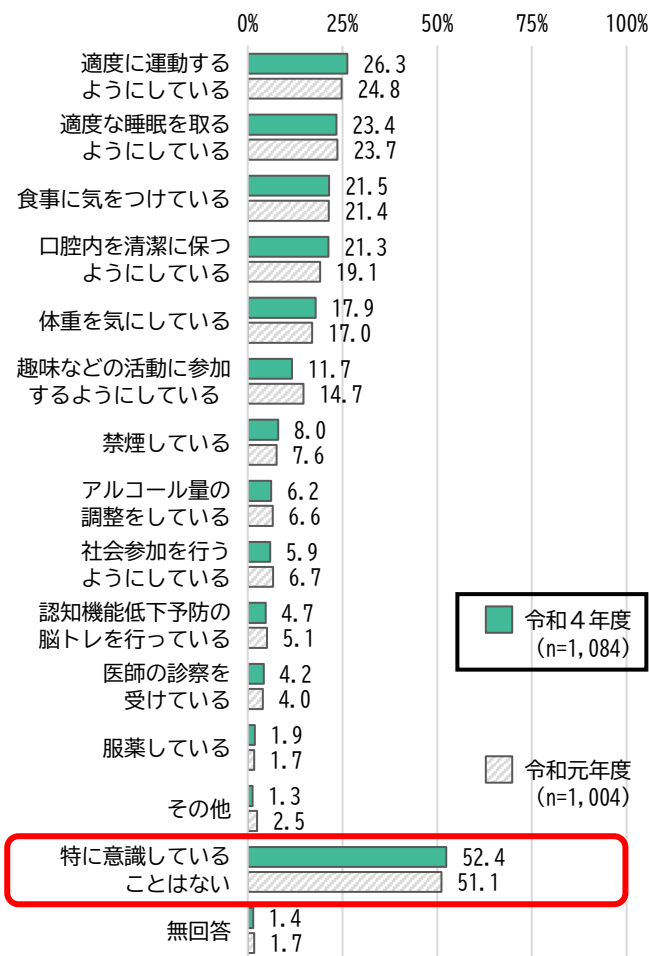


(3) 認知症発症遅延（予防）の取り組み

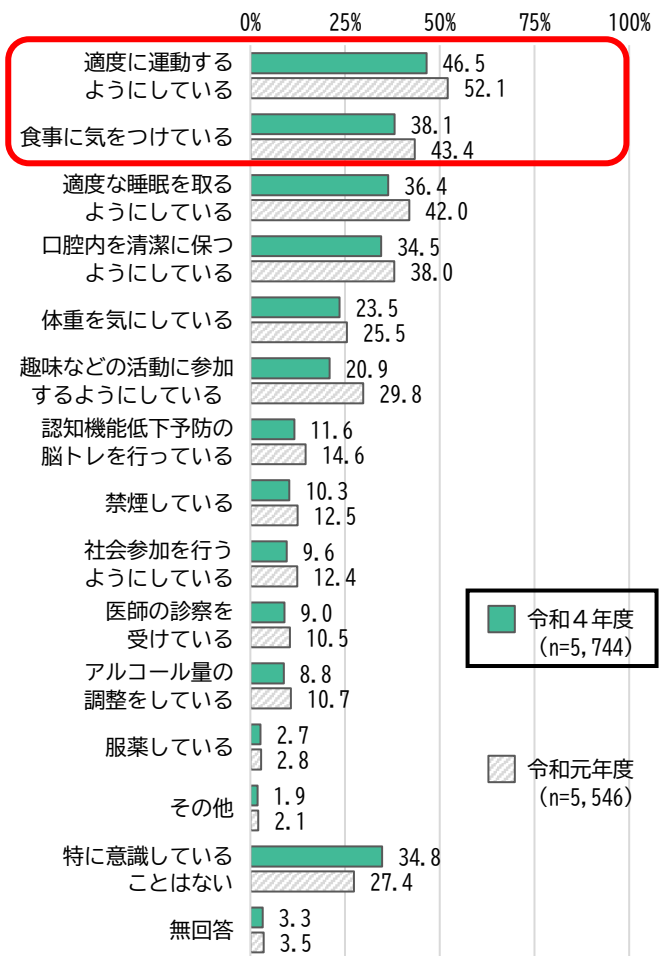
認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

認知症発症遅延（予防）として意識していることはあるかについて、若年者では「特に意識していることはない」と回答した人の割合が最も高くなる一方、一般高齢者では「適度に運動するようにしている」が最も高く、次いで「食事に気をつけている」となっています。また、事業対象・要支援者では「食事に気をつけている」が最も高く、次いで「適度に運動するようにしている」となっています。なお、一般高齢者では意識していることの回答割合が全般的に前回調査より減少し、「特に意識していることはない」と回答した人の割合が増加しています。一方、事業対象・要支援者では意識していることの回答割合が全般的に前回調査より増加しています。

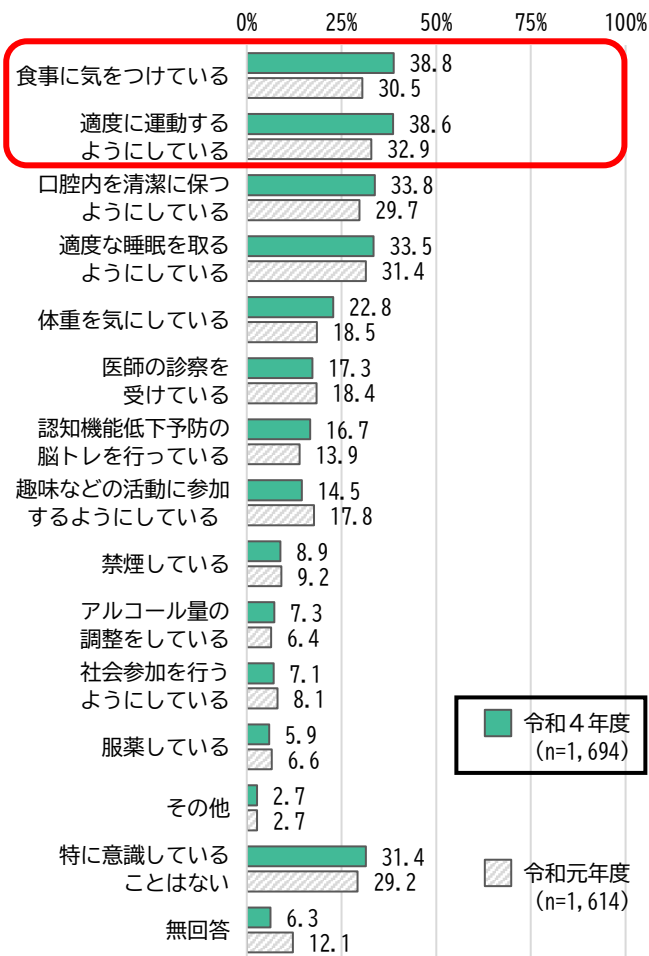
■ 若年者



■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



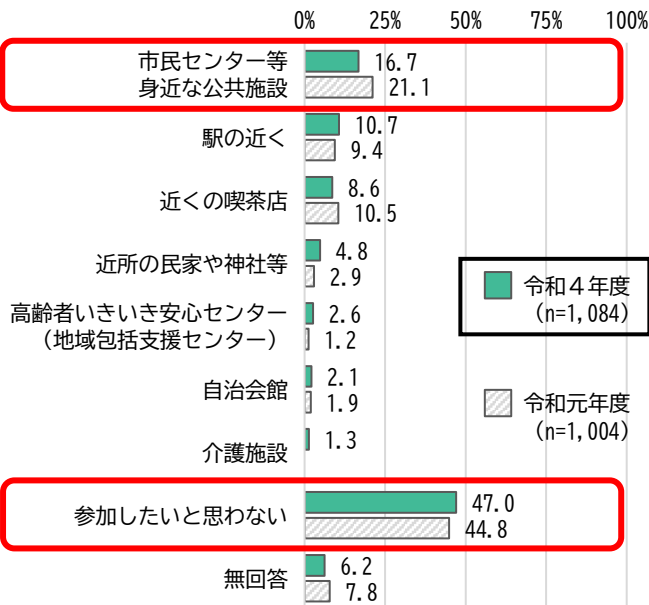
第3章 調査の結果 「11. 認知症に関することについて」

(4) オレンジカフェ（認知症カフェ）

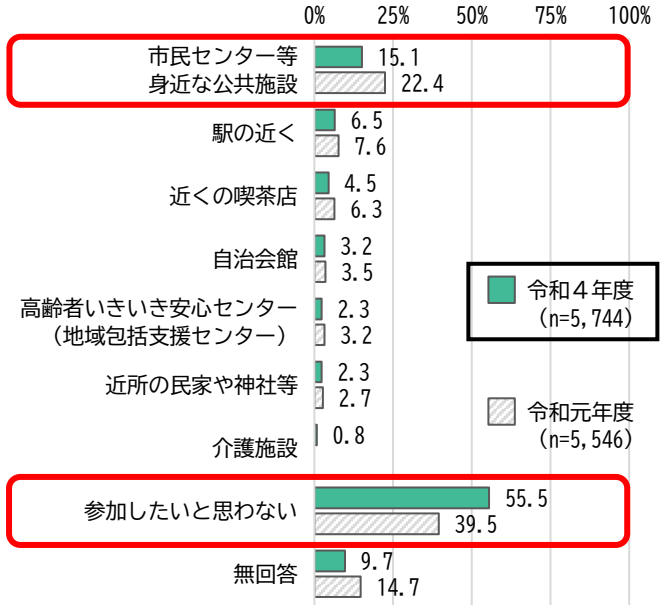
オレンジカフェ（認知症カフェ）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

認知症カフェがどこにあれば参加してみたいと思うかについて、いずれの調査でも「参加したいと思わない」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「参加したいと思わない」を除くと、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では「市民センター等身近な公共施設」と回答した人の割合が高くなっており、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「介護施設」が高くなっています。なお、一般高齢者では「参加したいと思わない」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）でも増加しています。

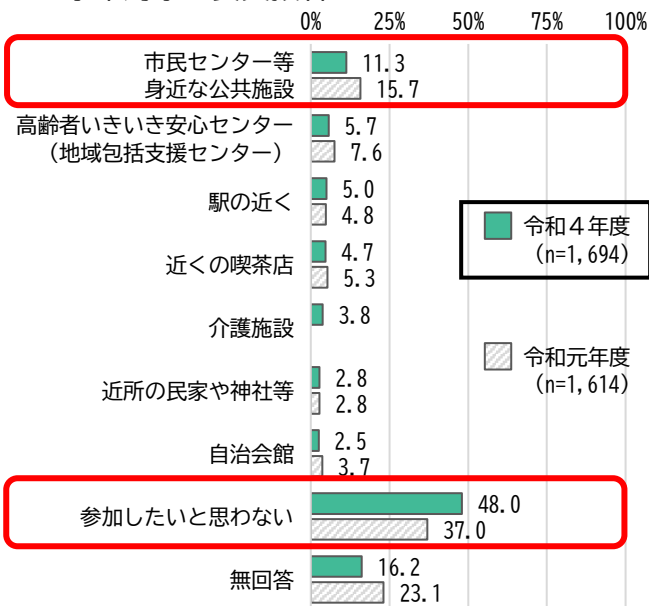
■ 若年者



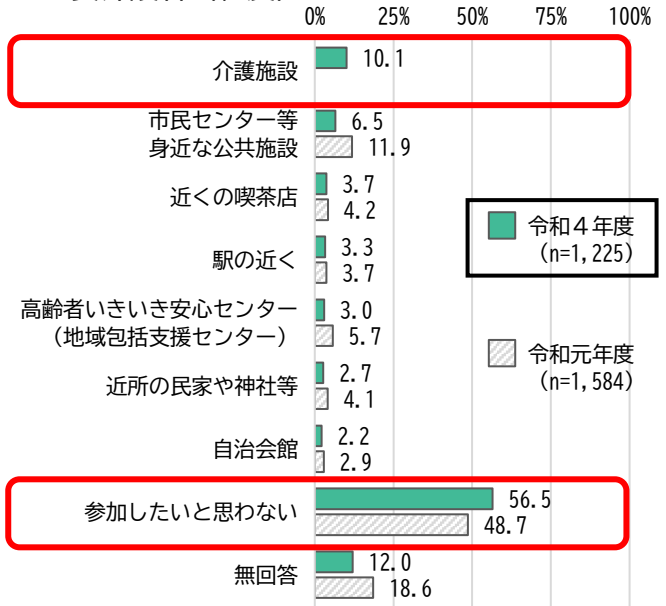
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

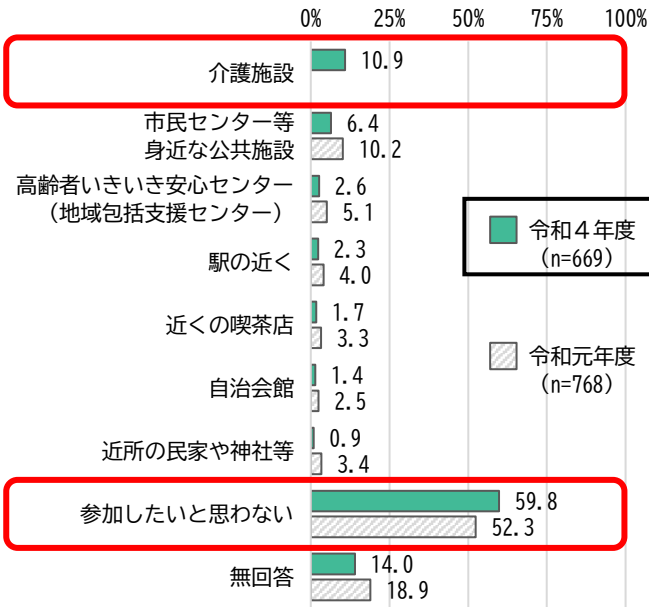


■ 要介護者（軽度）



※「介護施設」は令和4年度調査より選択肢追加

■ 要介護者（重度）



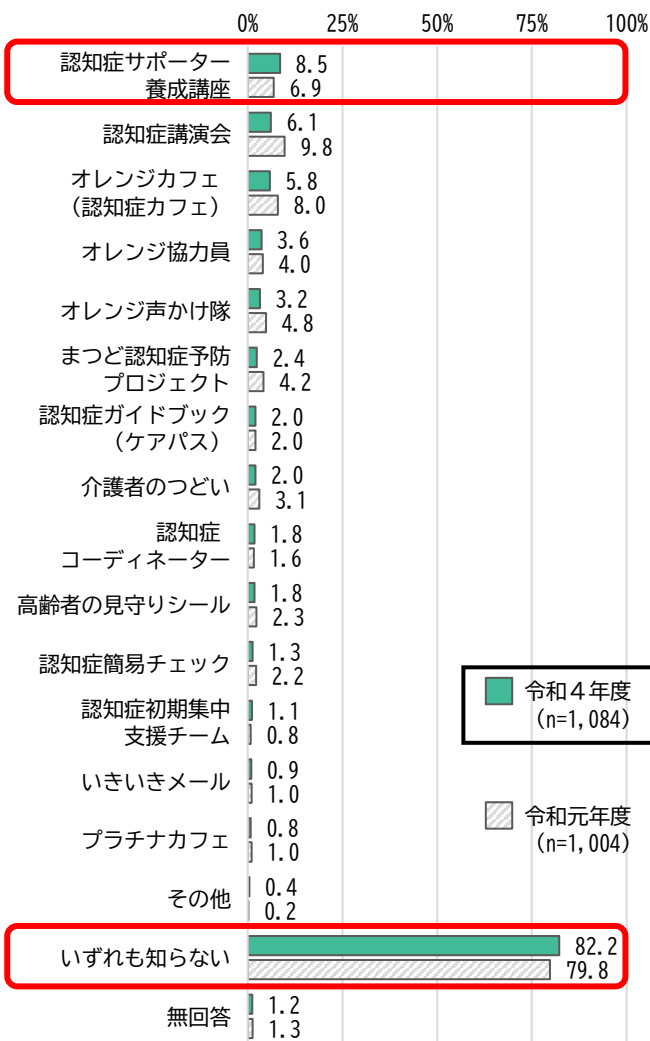
※「介護施設」は令和4年度調査より選択肢追加

(5) 認知症施策の認知度

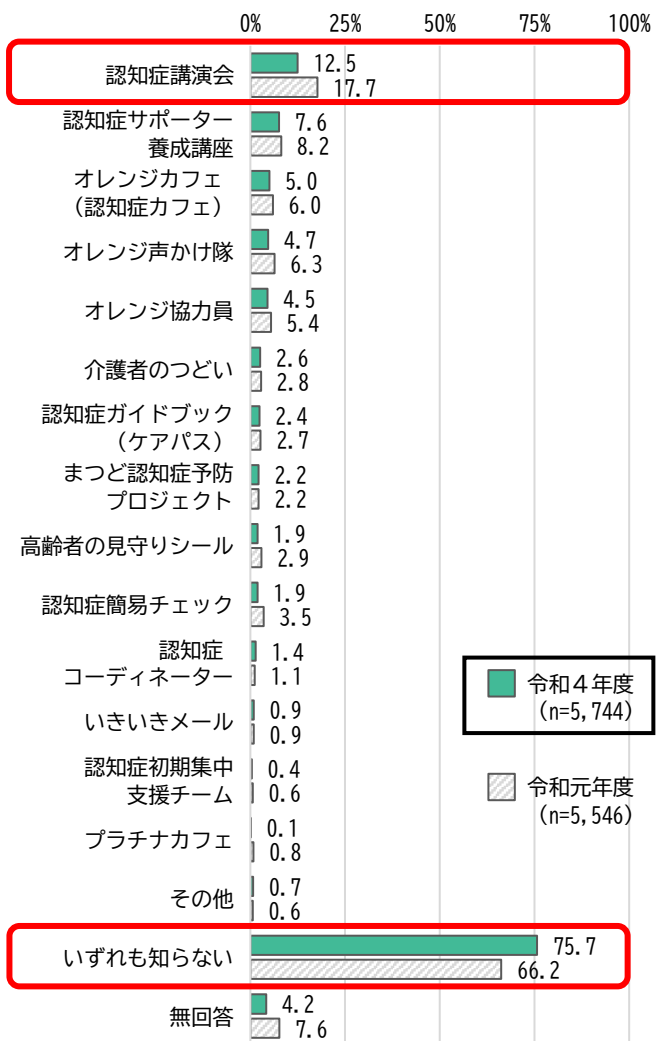
松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

松戸市が行っている認知症対策で知っているものについて、「いずれも知らない」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「いずれも知らない」を除くと若年者では「認知症サポーター養成講座」と回答した人の割合が高くなっており、一般高齢者、事業対象・要支援者では「認知症講演会」となっています。なお、いずれの調査でも「いずれも知らない」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

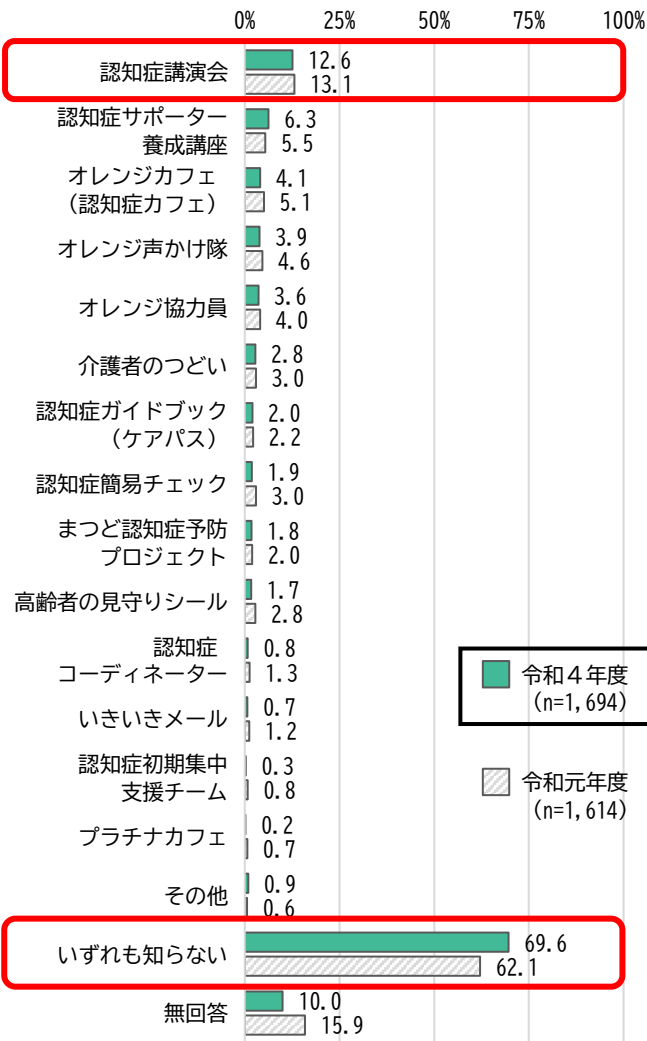
■ 若年者



■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



第3章 調査の結果 「11. 認知症に関することについて」

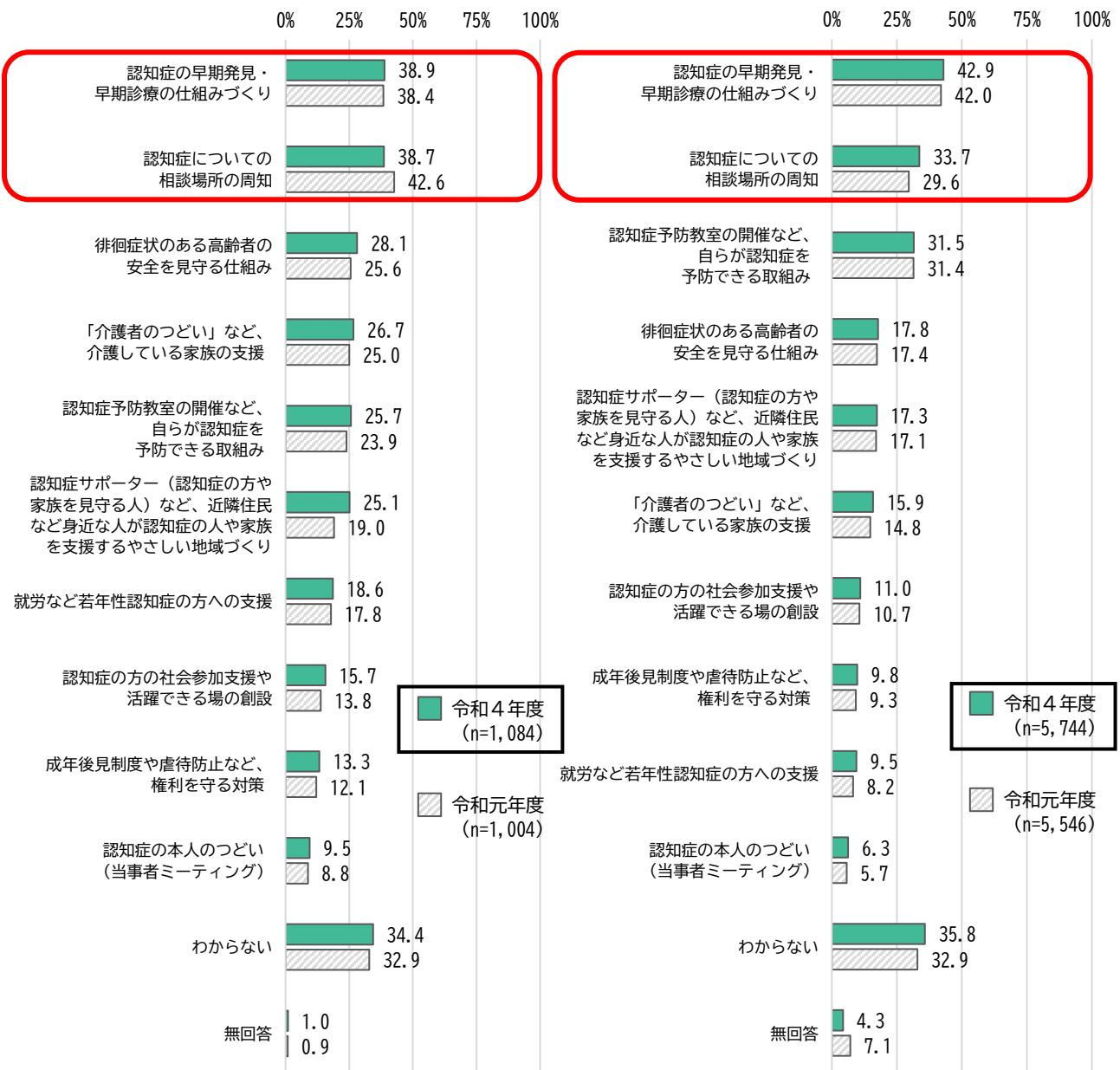
(6) より充実させた方がいい認知症対策

松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

松戸市が行っている認知症対策の中で、より充実させたほうがいいと思うものについて、「わからない」を除くと、いずれの調査でも「認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、若年者、一般高齢者、要介護者(軽度)、要介護者(重度)では次いで「認知症についての相談場所の周知」となっており、事業対象・要支援者では「認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み」となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

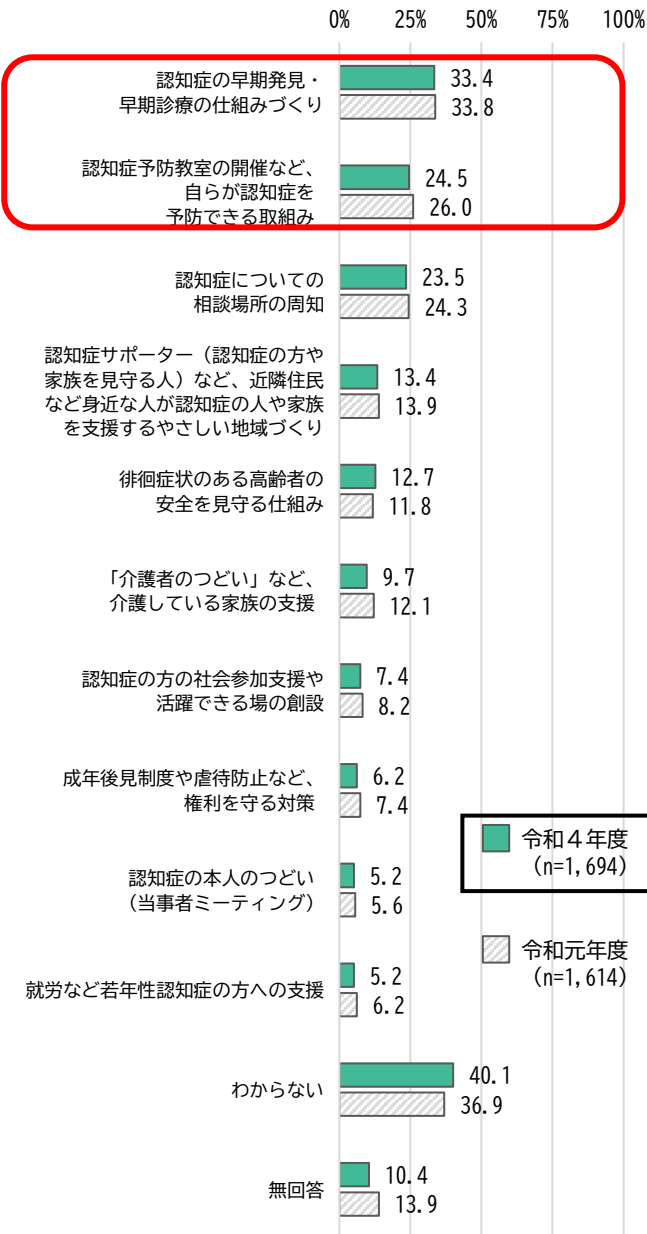
■ 若年者

■ 一般高齢者

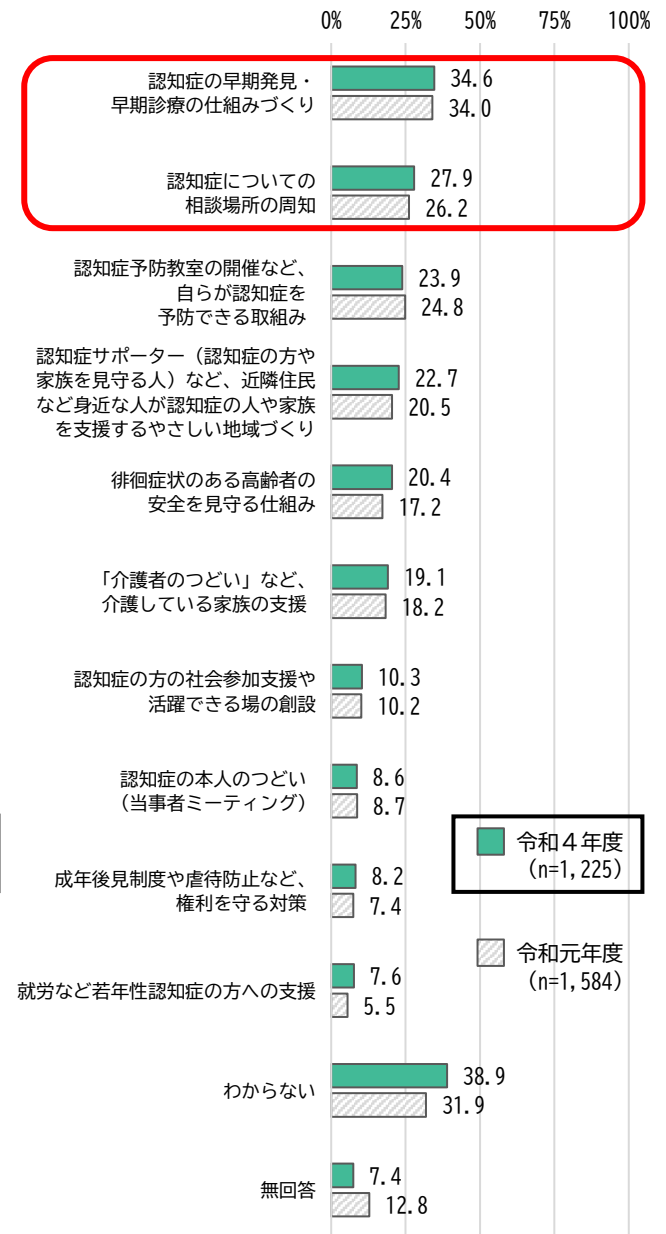


第3章 調査の結果 「11. 認知症に関することについて」

■ 事業対象・要支援者

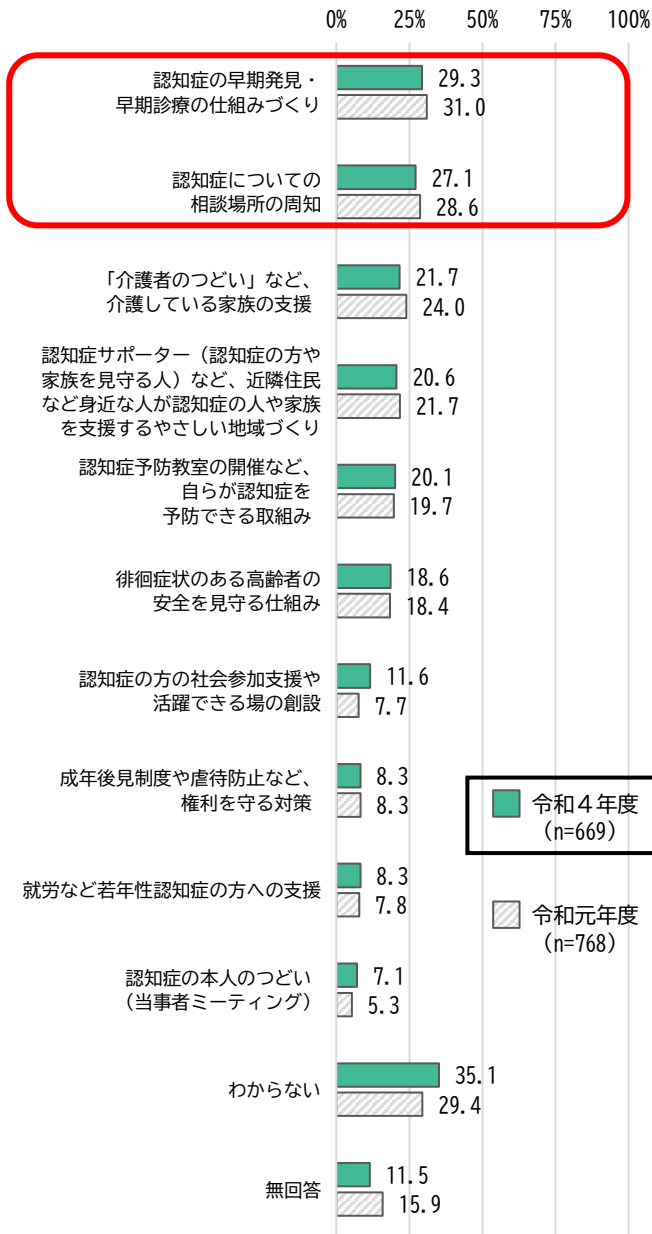


■ 要介護者（軽度）



第3章 調査の結果 「11. 認知症に関することについて」

■ 要介護者（重度）



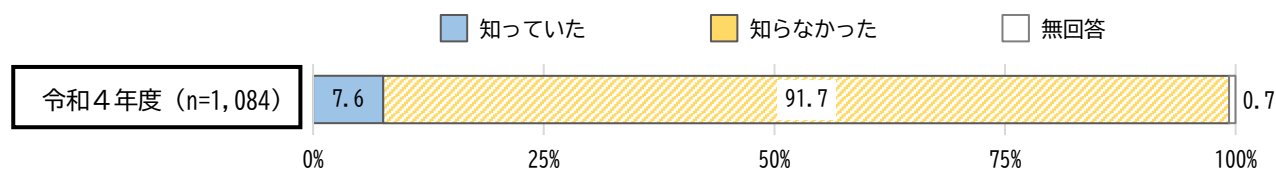
12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の認知度・利用意向

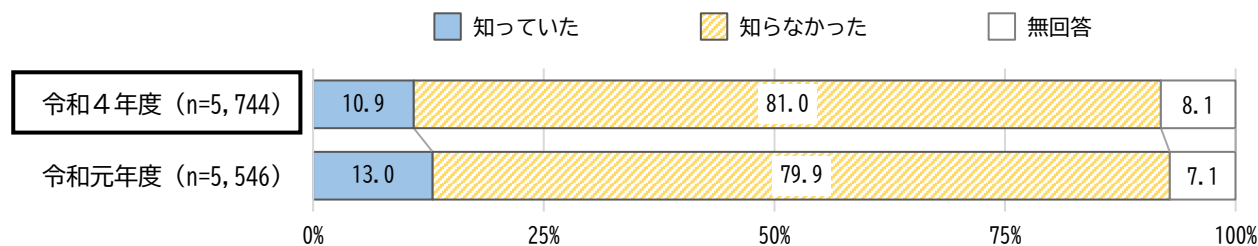
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等も利用できることを知っていましたか。（1つの番号に○）

事業対象者として特定された場合、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていたかについて、「知っていた」と回答した人の割合は、若年者では7.6%、一般高齢者では10.9%となっており、事業対象・要支援者では27.9%、要介護者（軽度）では20.4%と20%を上回っています。なお、一般高齢者、事業対象・要支援者では前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

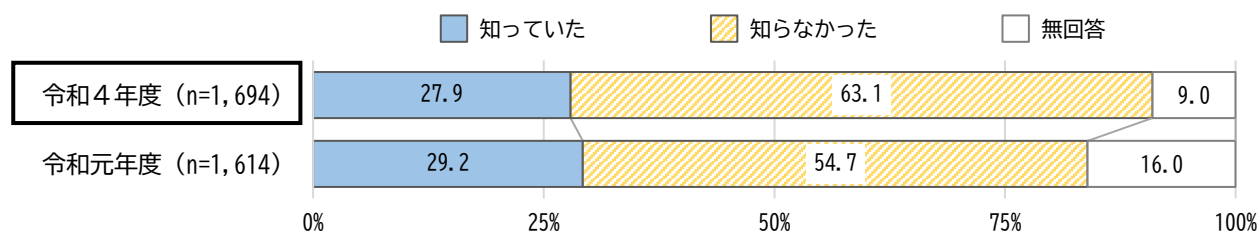
■ 若年者



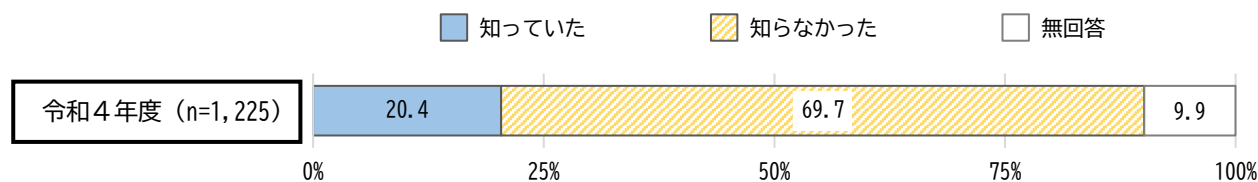
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



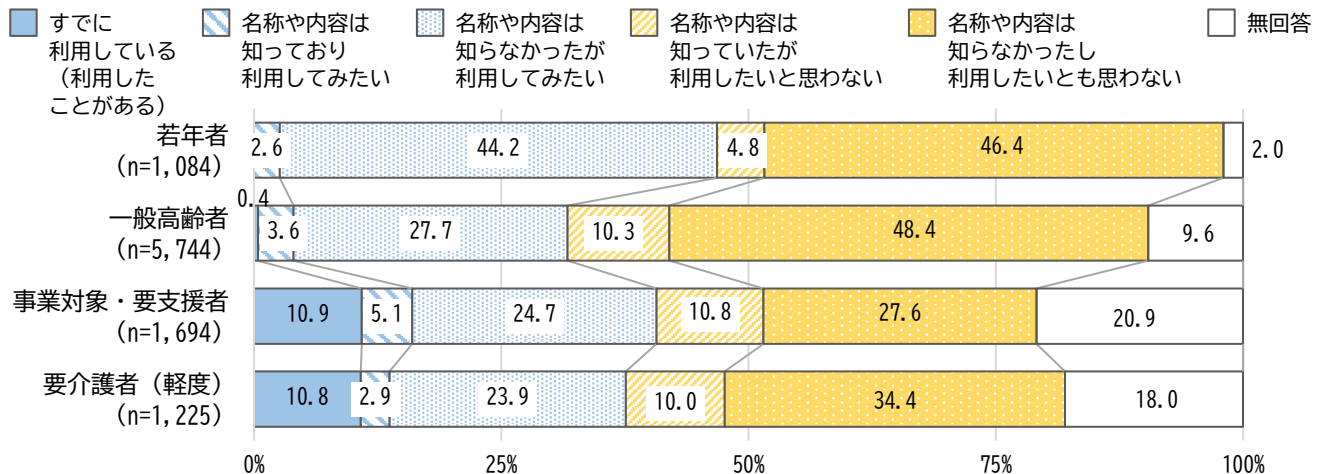
■ 要介護者（軽度）



以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。
 (①～③それぞれのサービスごとに1つの番号に○)

① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）

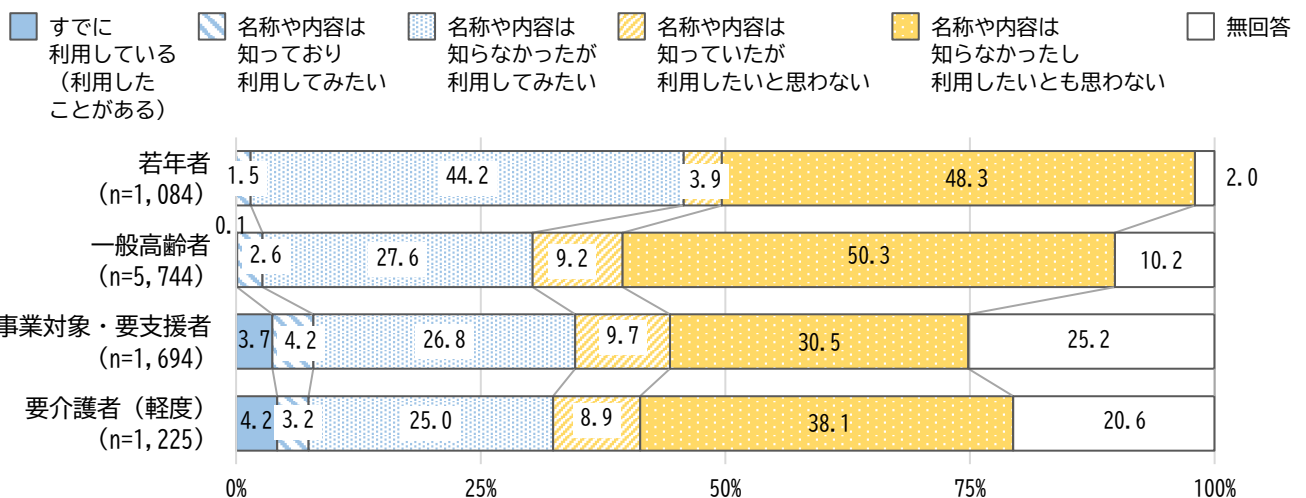
訪問型元気応援サービス(生活支援コース)を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では7.4%、一般高齢者では14.3%、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では25%前後となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では46.8%と高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）でも30%前後となっています。



※『知っていた』 = 「すでに利用している (利用したことがある)」 + 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」
 ※『利用してみたい』 = 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」
 ※若年者調査に「すでに利用している (利用したことがある)」の選択肢は無し

② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）

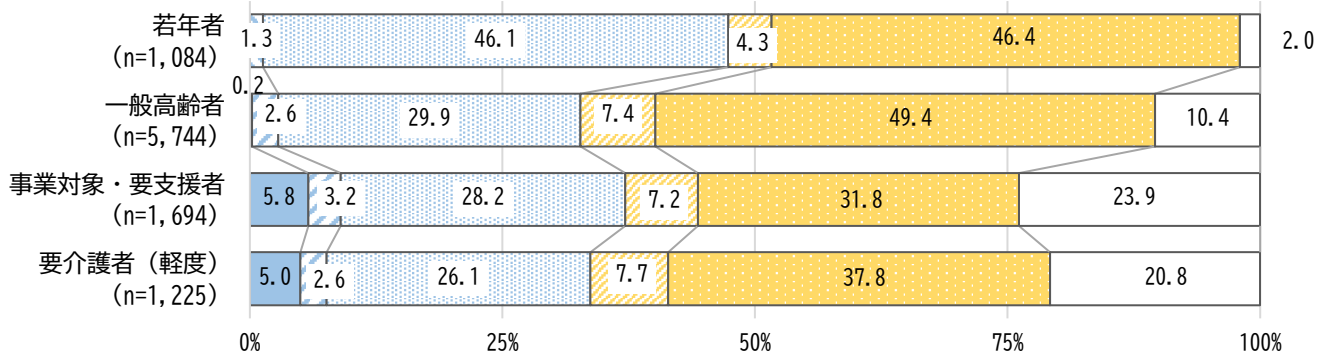
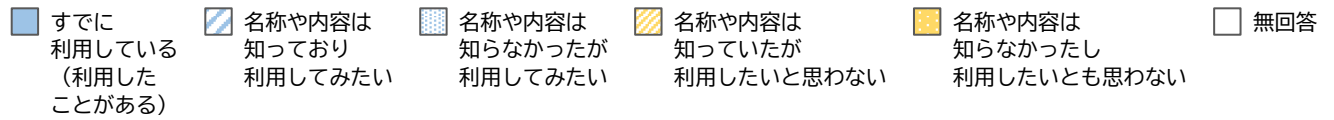
訪問型元気応援サービス(困りごとコース)を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では5.4%、一般高齢者では11.9%、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では17%前後となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では45.7%と高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）でも30%前後となっています。



※『知っていた』 = 「すでに利用している (利用したことがある)」 + 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」
 ※『利用してみたい』 = 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」
 ※若年者調査に「すでに利用している (利用したことがある)」の選択肢は無し

③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）

短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では5.6%、一般高齢者では10.2%、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では15%前後となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では47.4%と高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では30%前後となっています。



※『知っていた』＝「すでに利用している（利用したことがある）」＋「名称や内容は知っており利用してみたい」＋「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」

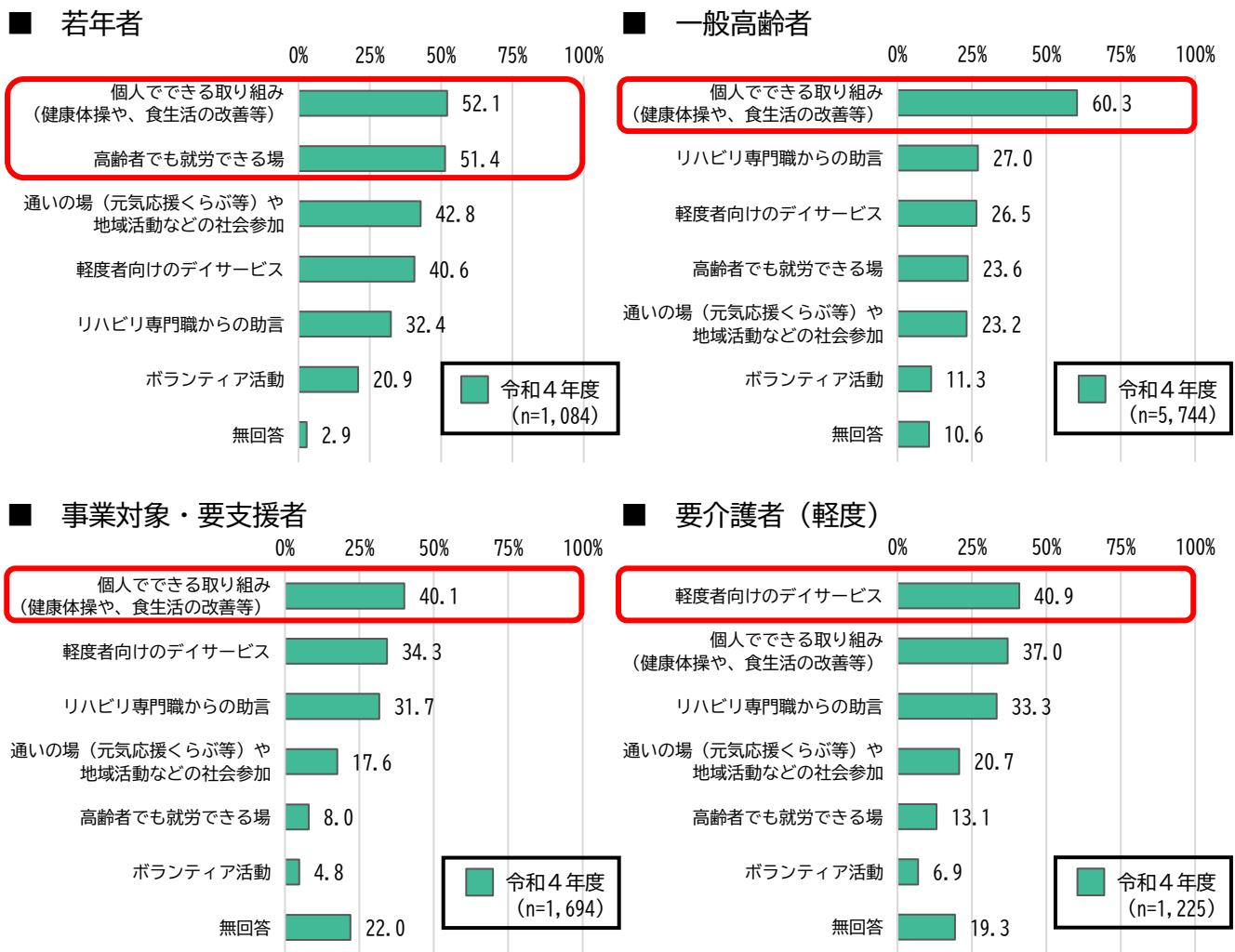
※『利用してみたい』＝「名称や内容は知っており利用してみたい」＋「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」

※若年者調査に「すでに利用している（利用したことがある）」の選択肢は無し

(2) 介護状態にならないために充実すべきサービスや仕組み

介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

介護状態にならないために充実するとよいと思うサービスや仕組みについて、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では「個人でできる取り組み（健康体操や、食生活の改善等）」と回答した人の割合が最も高く、要介護者（軽度）では「軽度者向けのデイサービス」が最も高くなっています。また、若年者では「高齢者でも就労できる場」と回答した人の割合も高くなっています。

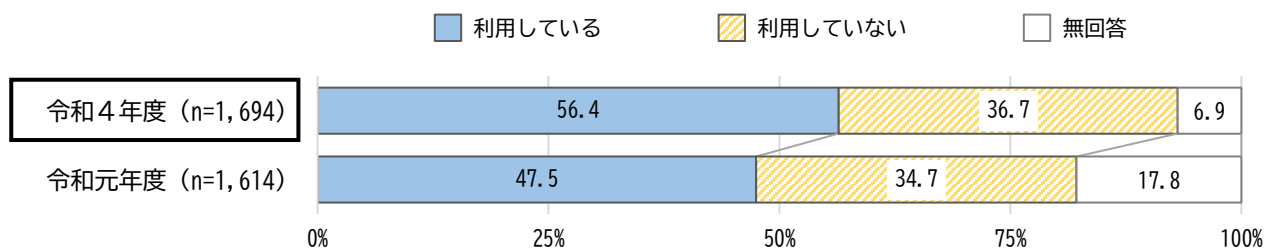


(3) 介護保険サービスの利用状況

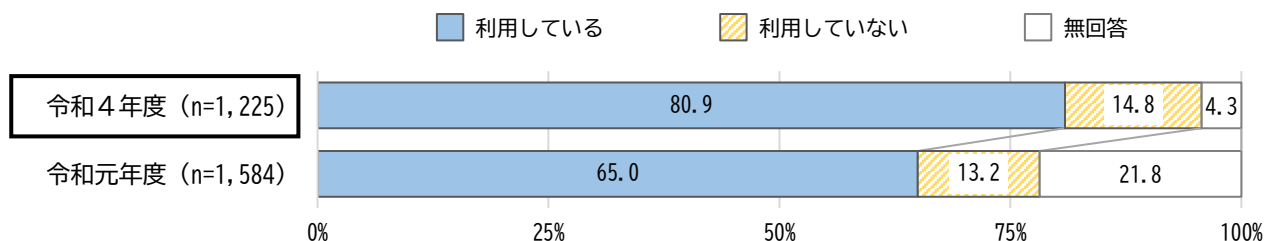
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。(1つの番号に○)

介護保険サービス等を利用しているかについて、「利用している」と回答した人の割合は、事業対象・要支援者では56.4%、要介護者（軽度）では80.9%、要介護者（重度）では85.8%となっています。

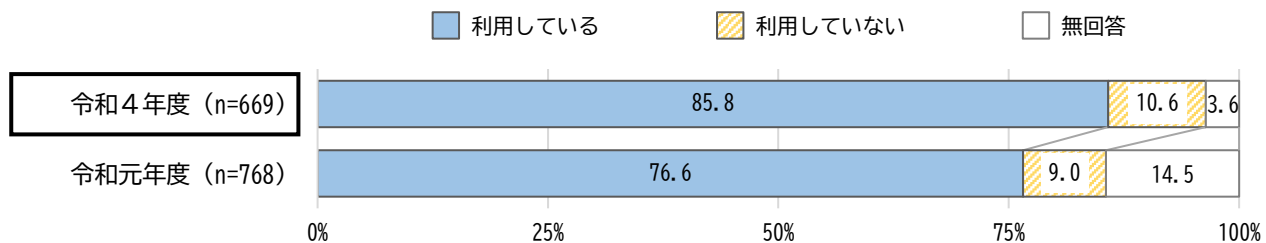
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



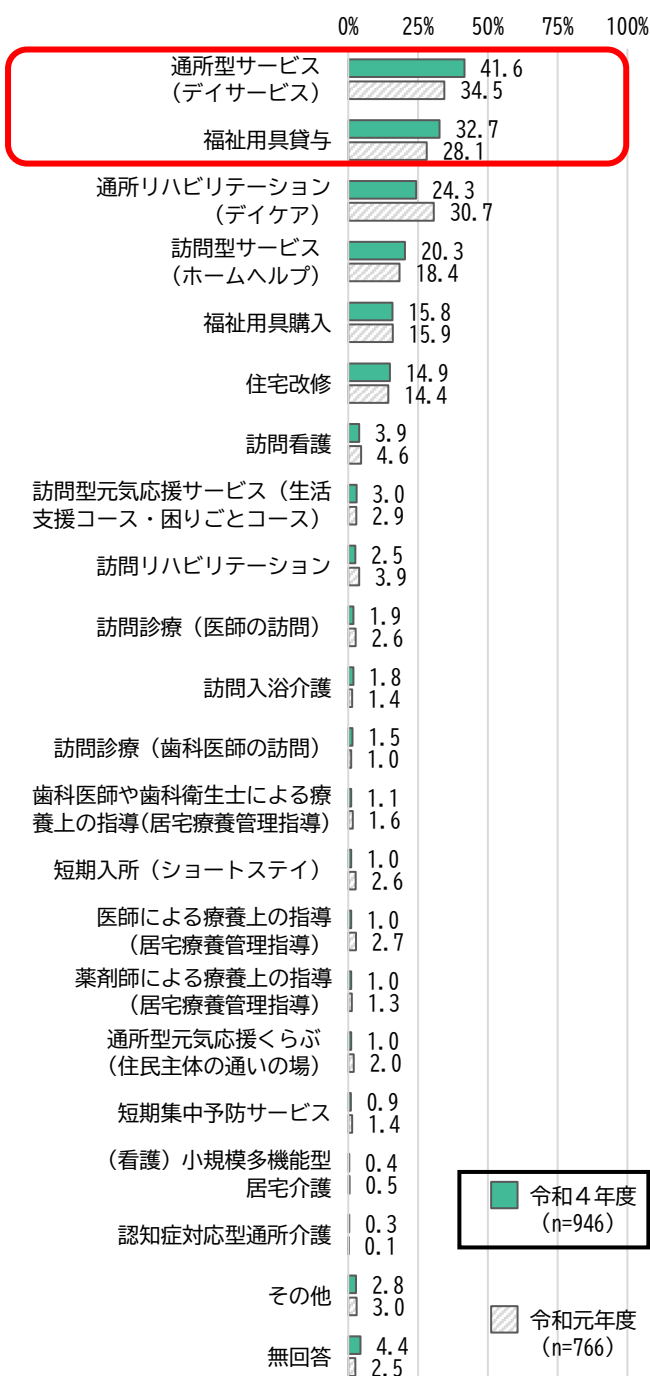
第3章 調査の結果 「12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて」

介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。

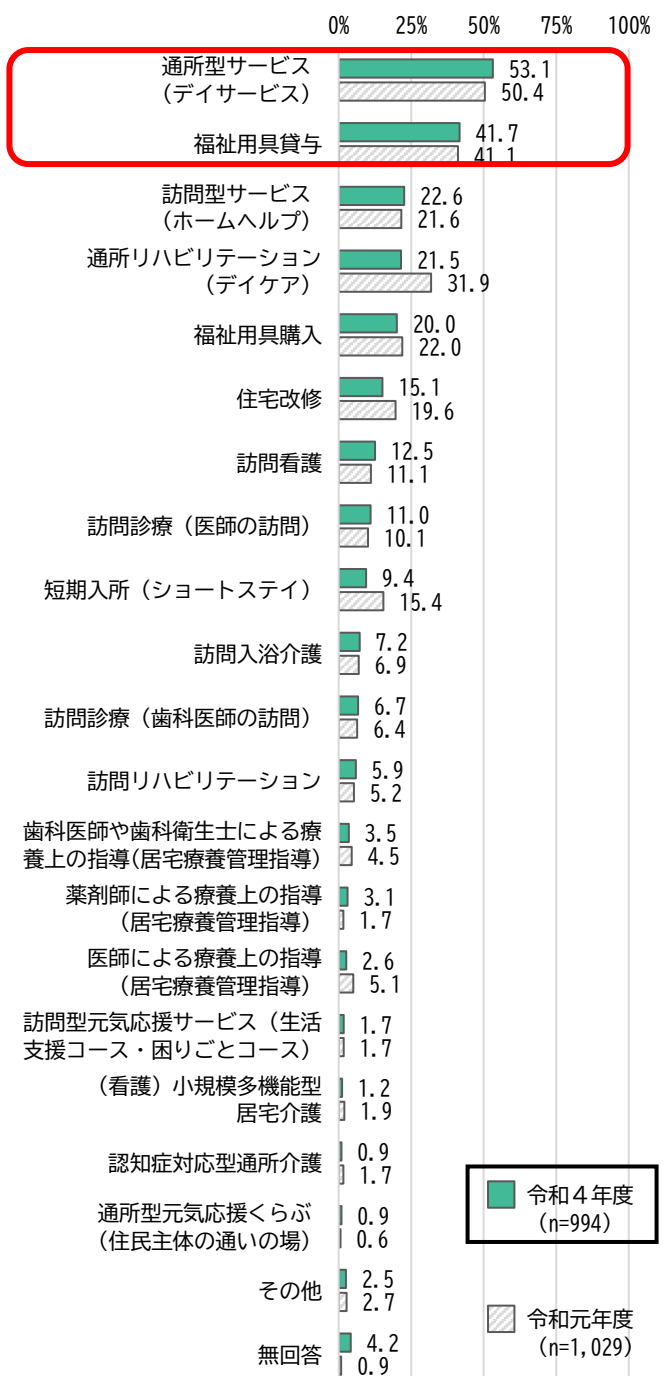
次のような在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

介護保険サービス等を利用していると答えた方の利用している在宅サービスについて、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「通所型サービス（デイサービス）」と回答した人の割合が最も高くなっており、次いで「福祉用具貸与」となっています。また、要介護者（重度）では「福祉用具貸与」が最も高くなっており、次いで「通所型サービス（デイサービス）」となっています。なお、要介護者（軽度）では「通所リハビリテーション（デイケア）」を利用していると回答した人の割合が前回調査より大幅に減少しており、事業対象・要支援者、要介護者（重度）でも減少しています。また、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「短期入所（ショートステイ）」を利用していると回答した人の割合が前回調査より減少しています。

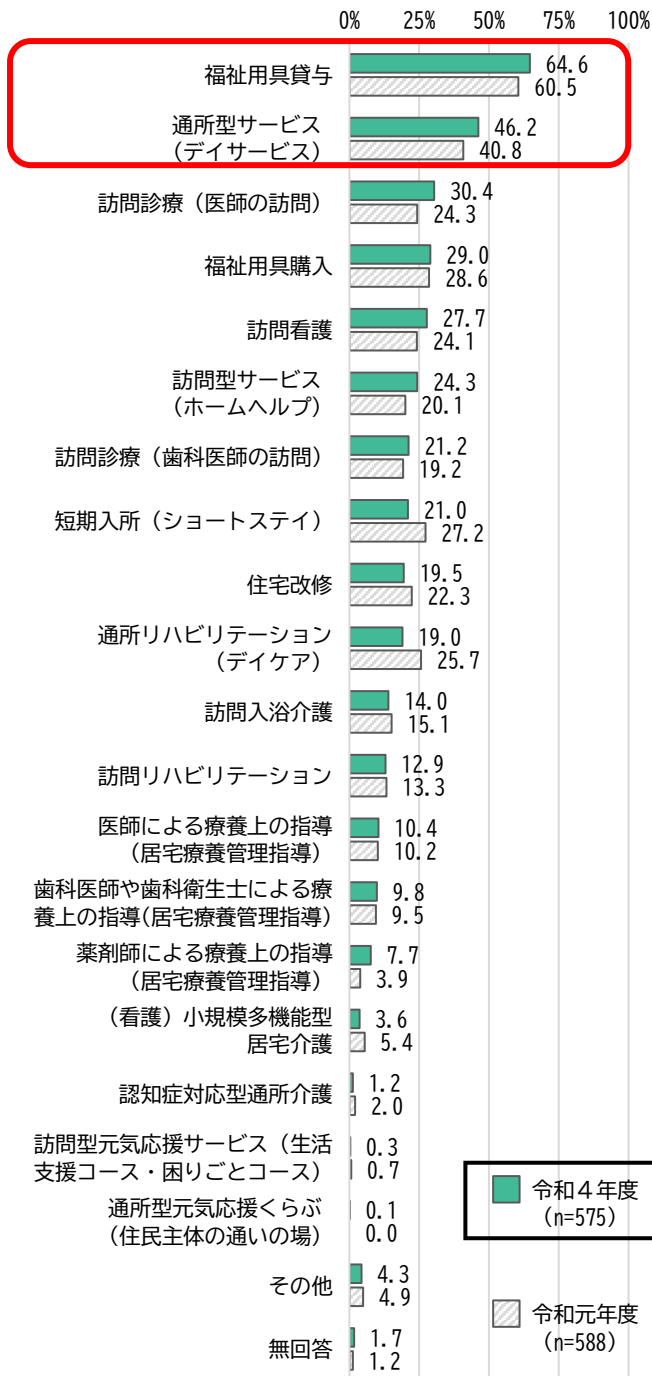
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



(4) 介護保険サービスの利用による効果

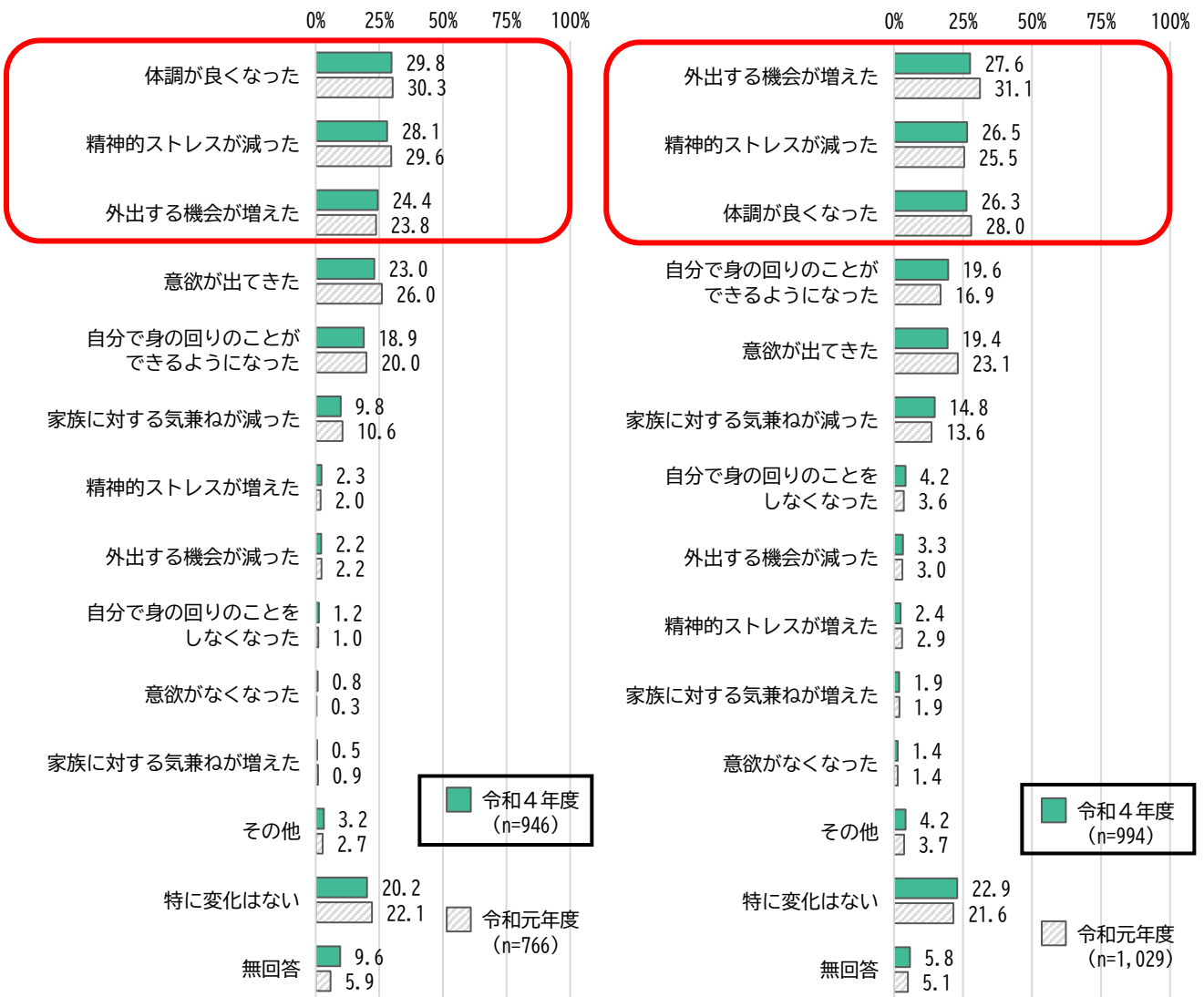
介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。

介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

介護保険サービス等を利用していると答えた方の介護保険サービス等を利用したことによる生活への変化について、いずれの調査でも「体調が良くなった」「精神的ストレスが減った」「外出する機会が増えた」と回答した人の割合が高くなっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

■ 事業対象・要支援者

■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



(5) 介護保険サービスを利用していない理由

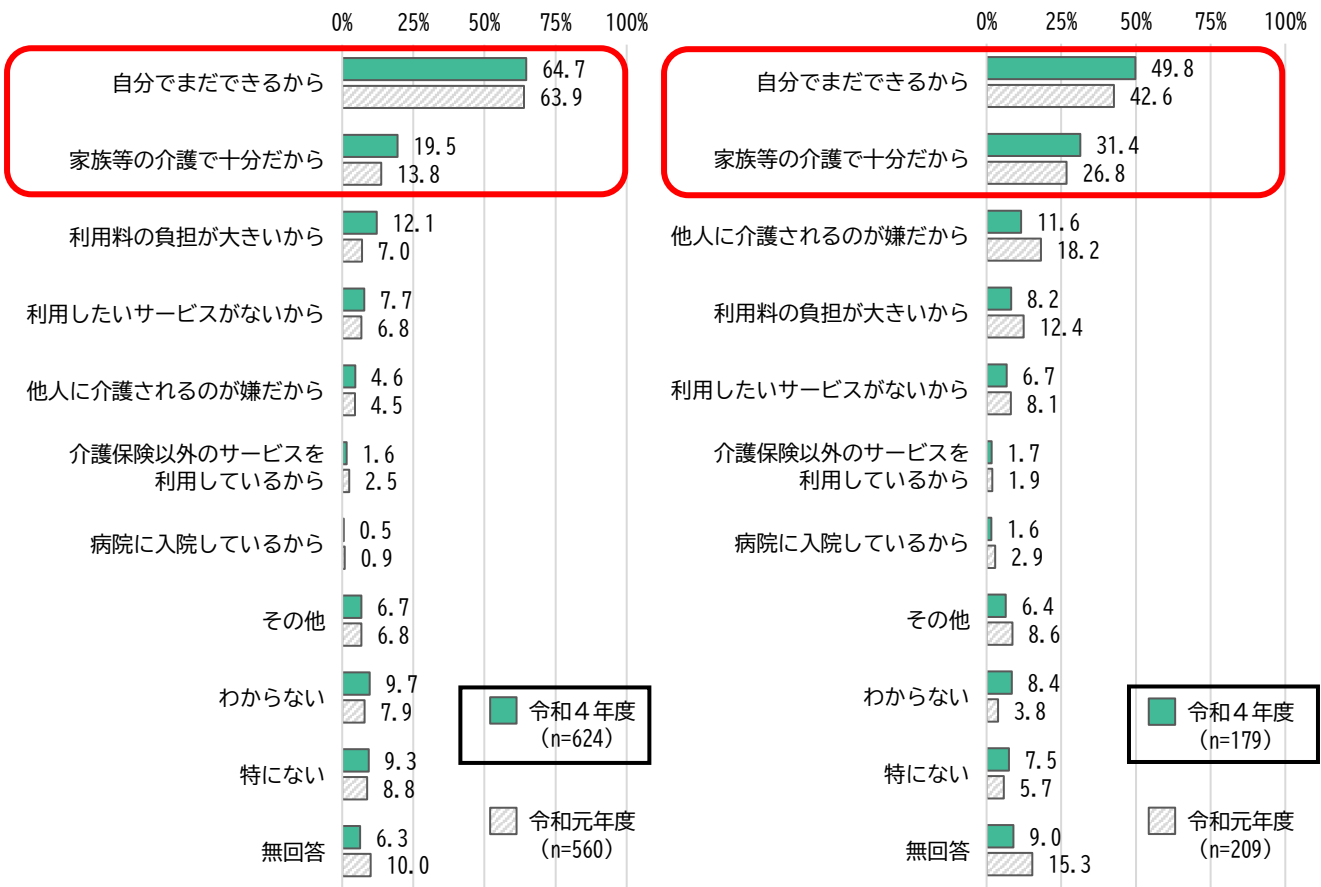
介護保険サービス等を利用していないと答えた方におうかがいします。

あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

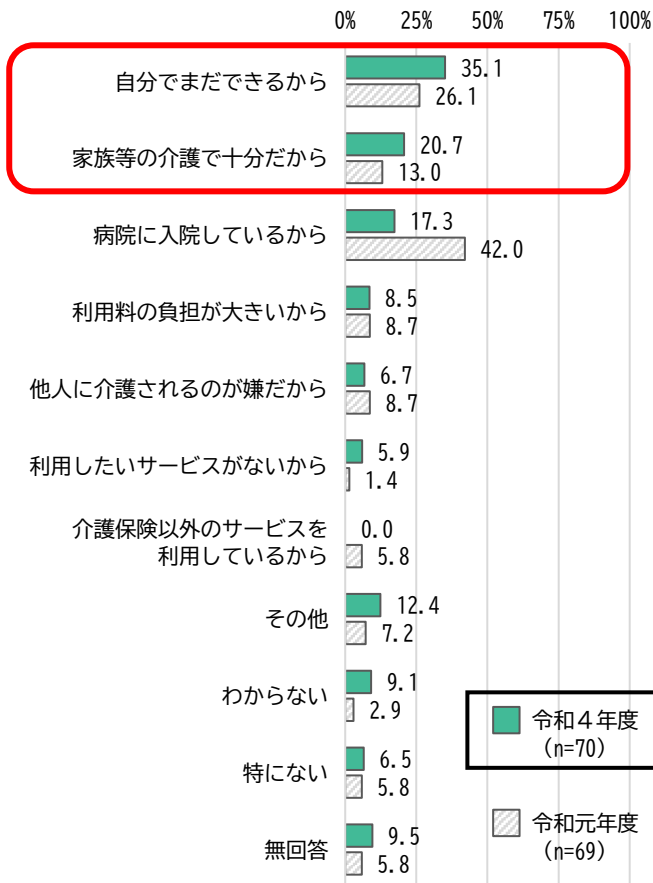
介護保険サービス等を利用していないと答えた方のどのサービスも利用していない理由について、いずれの調査でも「自分でまだできるから」と回答した人の割合が最も高く、次いで「家族等の介護で十分だから」となっています。なお、要介護者（重度）では「病院に入院しているから」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少しています。

■ 事業対象・要支援者

■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

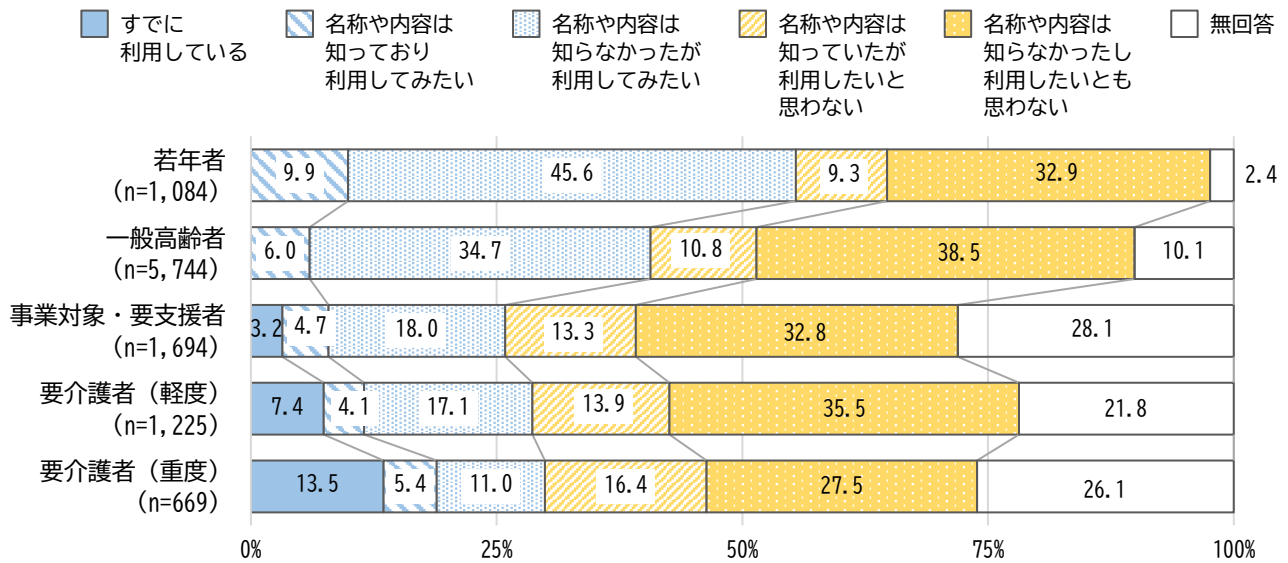


(6) 地域密着型サービスの認知度・利用意向

以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。(①～③それぞれのサービスごとに1つの番号に○)

① 小規模多機能型居宅介護

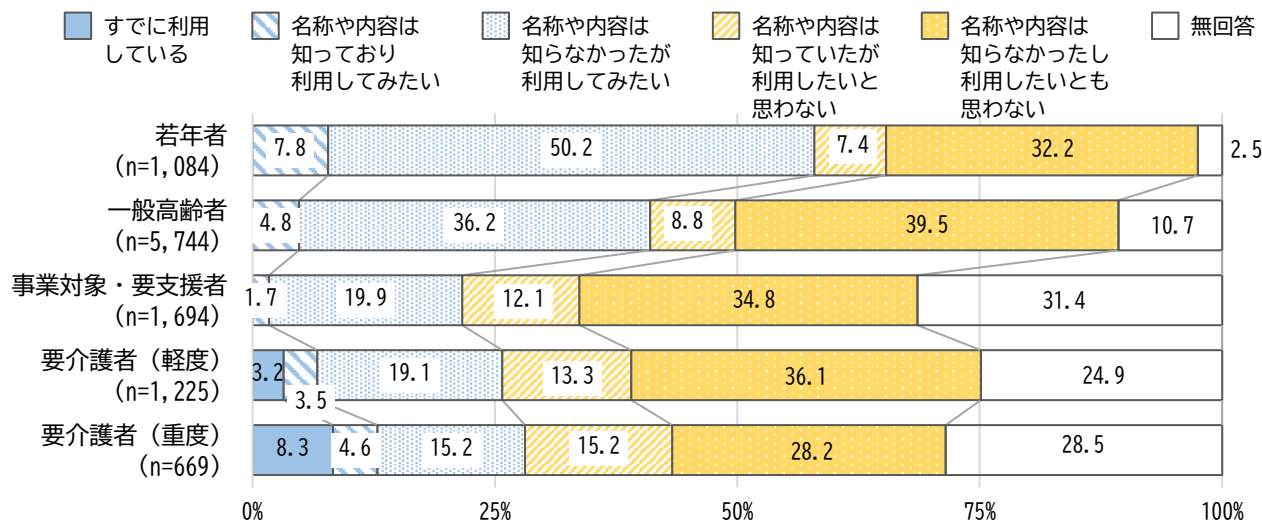
小規模多機能型居宅介護を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では約20%、要介護者(軽度)では約25%、要介護者(重度)では約35%となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では55.5%、一般高齢者では40.7%と高く、事業対象・要支援者、要介護者(軽度)、要介護者(重度)でも20%前後となっています。



※『知っていた』 = 「すでに利用している」 + 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」
 ※『利用してみたい』 = 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」
 ※若年者調査、一般高齢者調査に「すでに利用している」の選択肢は無し

② 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では約15%、要介護者（軽度）では20%、要介護者（重度）では約30%となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では58.0%、一般高齢者では41.0%と高く、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）でも20%前後となっています。



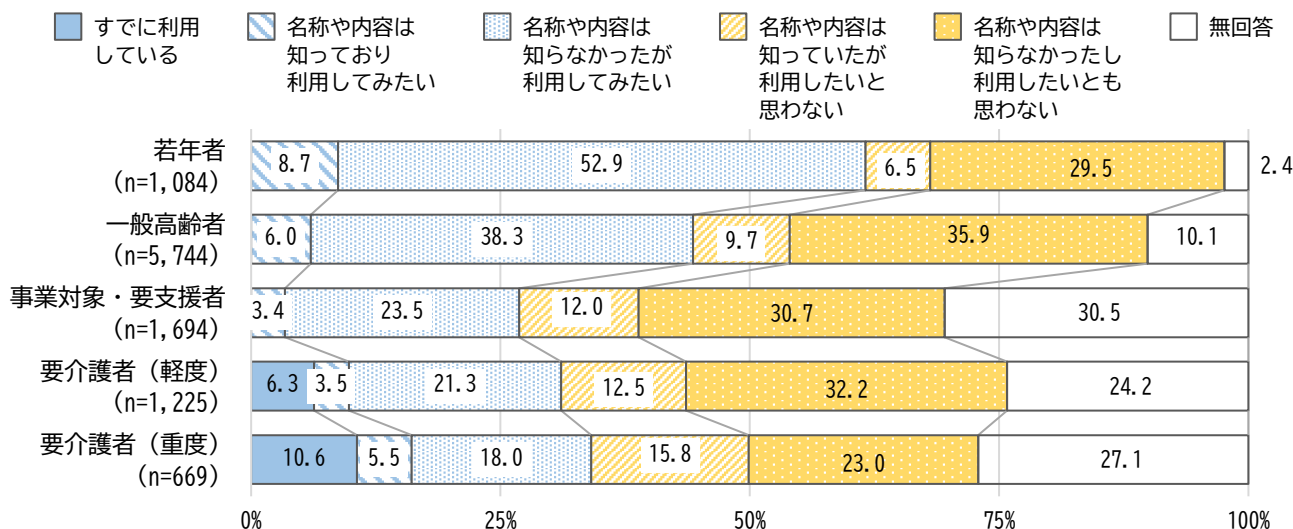
※『知っていた』 = 「すでに利用している」 + 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」

※『利用してみたい』 = 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」

※若年者調査、一般高齢者調査、事業対象・要支援者調査に「すでに利用している」の選択肢は無し

③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者では約15%、要介護者（軽度）では約20%、要介護者（重度）では約30%となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では61.6%、一般高齢者では44.3%と高く、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）でも25%前後となっています。



※『知っていた』 = 「すでに利用している」 + 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」

※『利用してみたい』 = 「名称や内容は知っており利用してみたい」 + 「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」

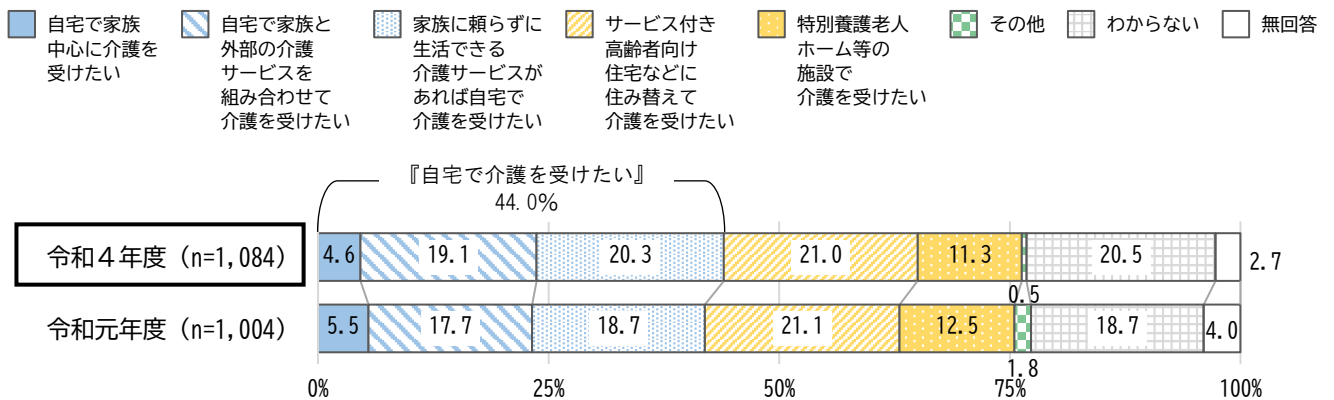
※若年者調査、一般高齢者調査、事業対象・要支援者調査に「すでに利用している」の選択肢は無し

(7) 介護が必要になった場合に受たい介護・場所

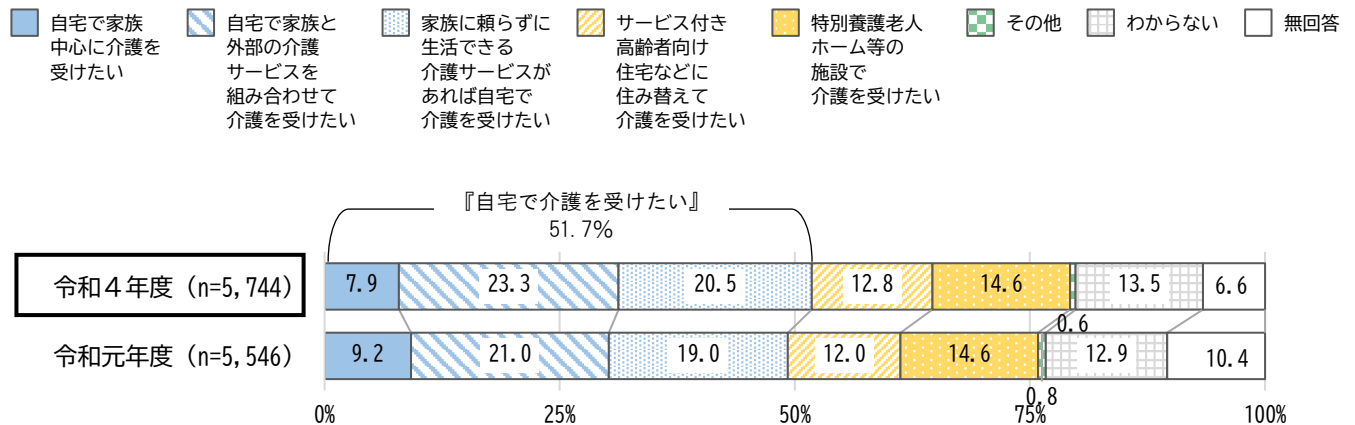
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。(1つの番号に○)

介護が必要になった場合にどこでどのような介護を受けたいかについて、『自宅で介護を受けたい』と回答した人の割合は、若年者では44.0%となっており、一般高齢者では51.7%、事業対象・要支援者では47.5%、要介護者(軽度)では53.1%、要介護者(重度)では52.8%と50%前後となっています。なお、いずれの調査でも『自宅で介護を受けたい』と回答した人の割合が前回調査から微増しており、要介護者(重度)では「特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい」と回答した人の割合が前回調査から減少しています。

■ 若年者



■ 一般高齢者

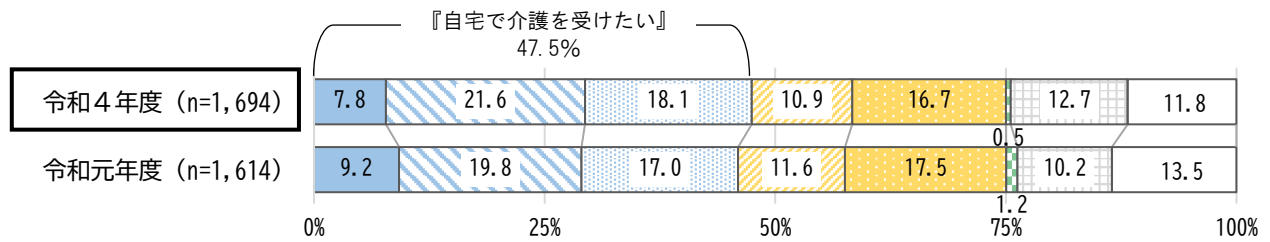


※『自宅で介護を受けたい』=「自宅が家族中心に介護を受けたい」+「自宅が家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」+「家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」

第3章 調査の結果 「12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて」

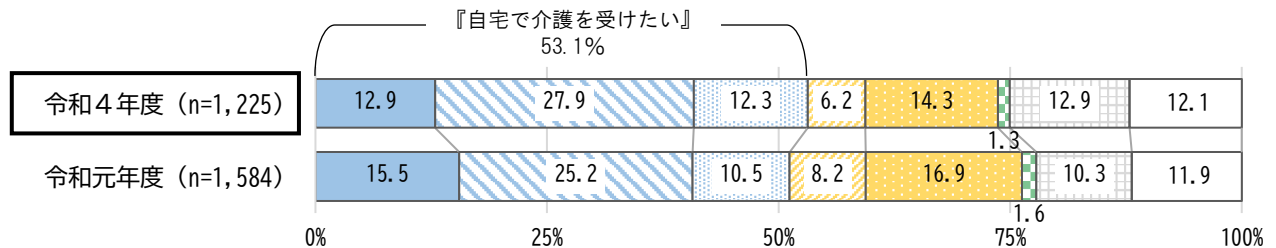
■ 事業対象・要支援者

- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい
- サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



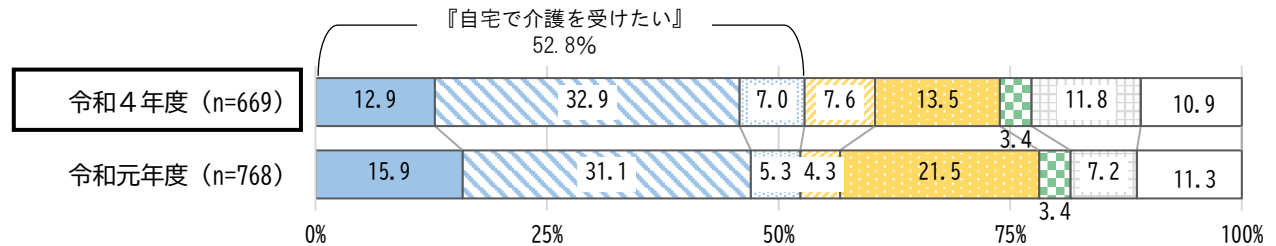
■ 要介護者（軽度）

- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい
- サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



■ 要介護者（重度）

- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい
- サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



※『自宅で介護を受けたい』=「自宅で家族中心に介護を受けたい」+「自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」+「家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」

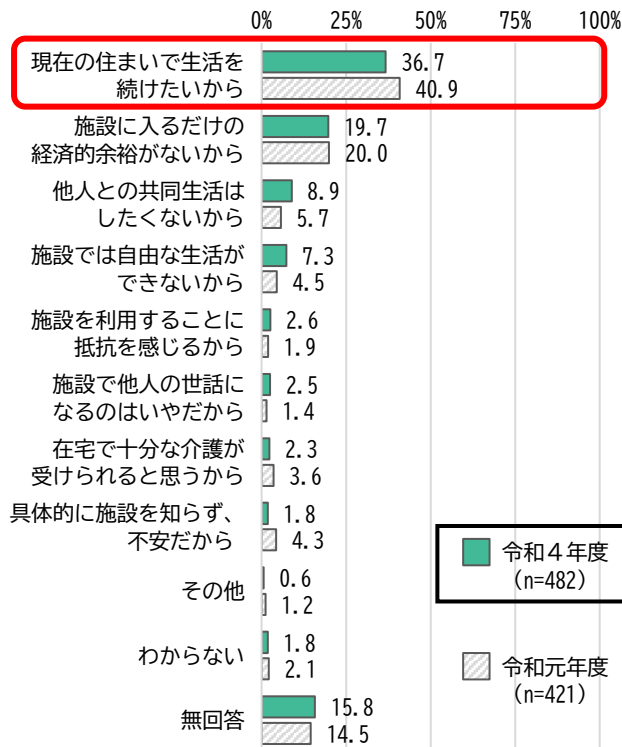
第3章 調査の結果 「12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて」

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

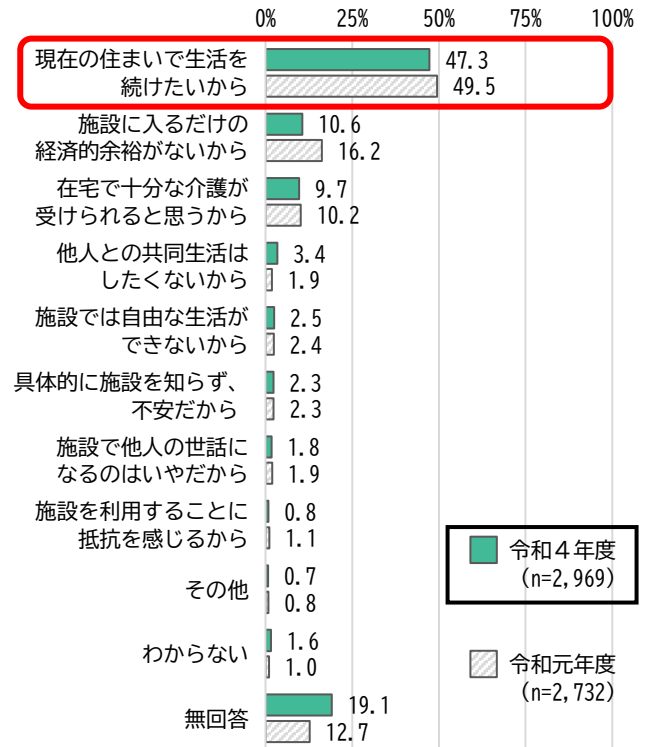
あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

自宅で介護を希望と答えた方の在宅での介護を選択する理由について、いずれの調査でも「現在の住まいで生活を続けたいから」と回答した人の割合が最も高く、一般高齢者では47.3%、事業対象・要支援者では48.0%、要介護者（軽度）では49.9%、要介護者（重度）では52.0%と50%前後となっています。なお、いずれの調査でも前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

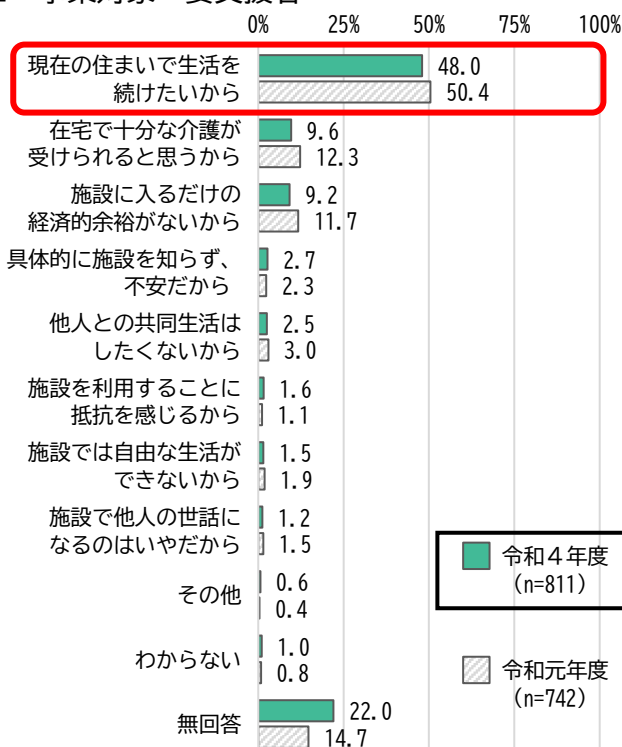
■ 若年者



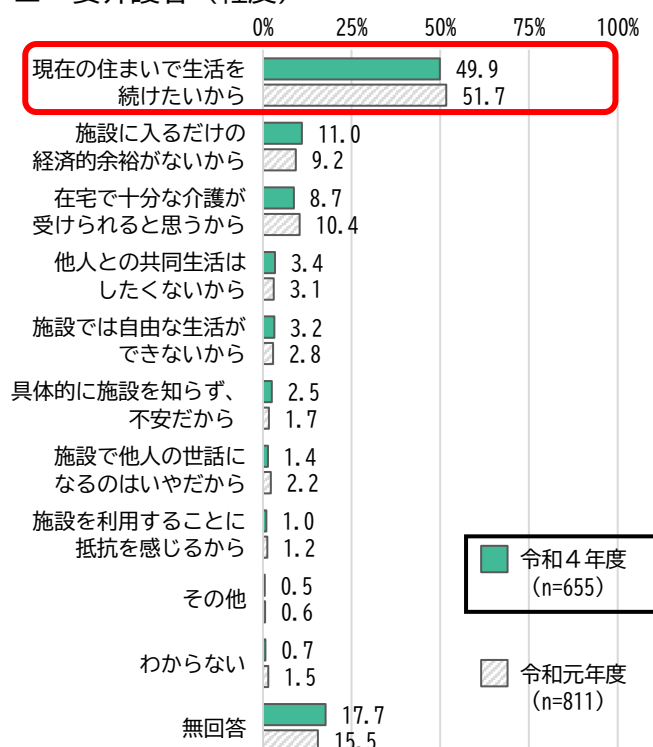
■ 一般高齢者



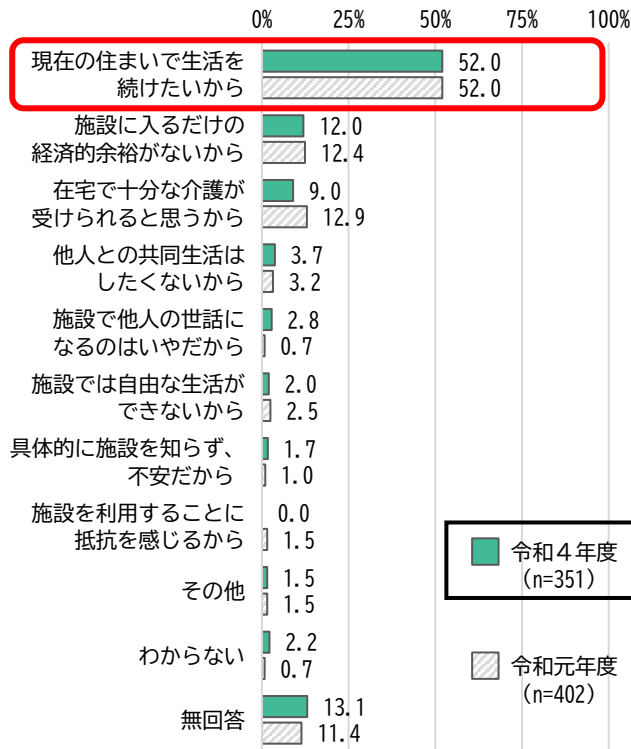
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

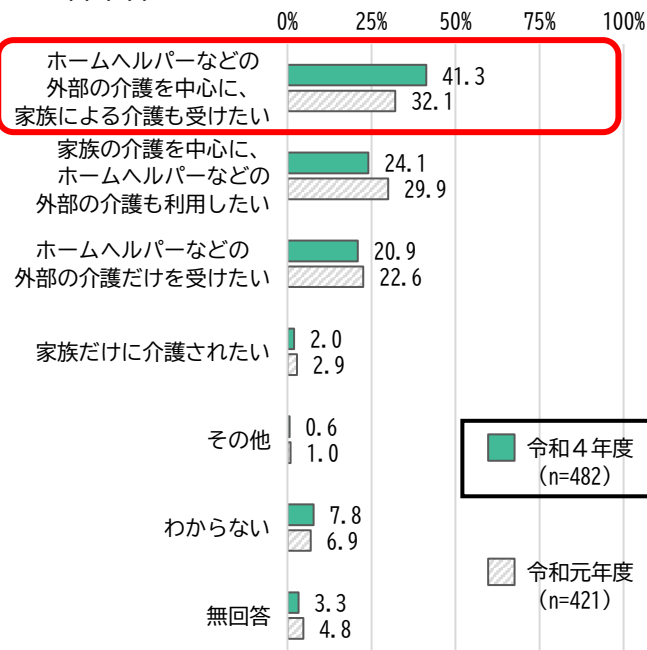


自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

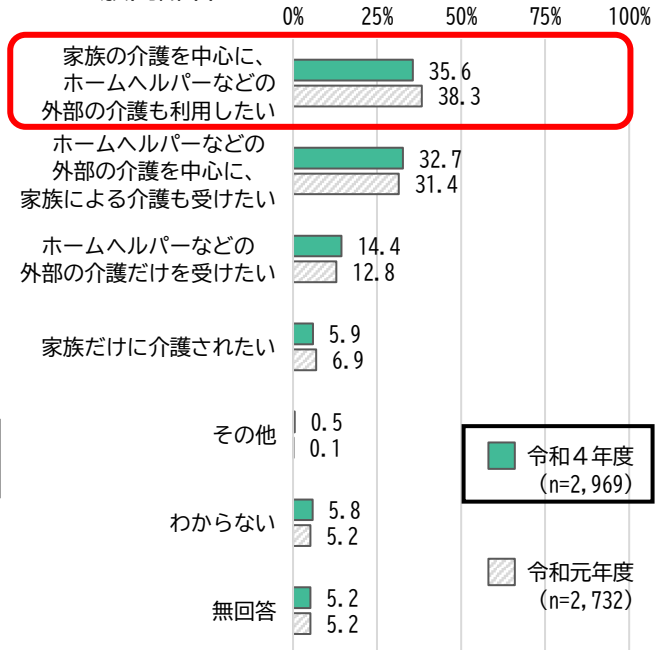
その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（1つの番号に○）

自宅で介護を希望と答えた方のその際に受けたい介護について、若年者では「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」と回答した人の割合が最も高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」が最も高くなっています。なお、若年者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

■ 若年者

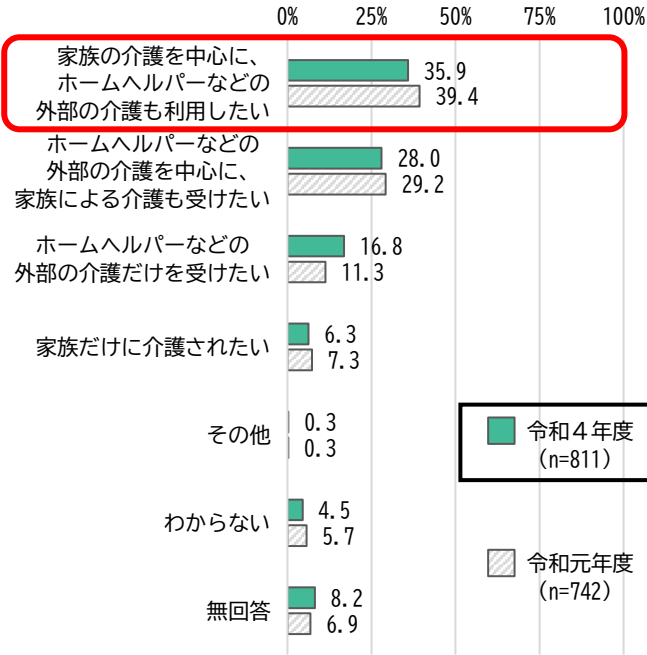


■ 一般高齢者

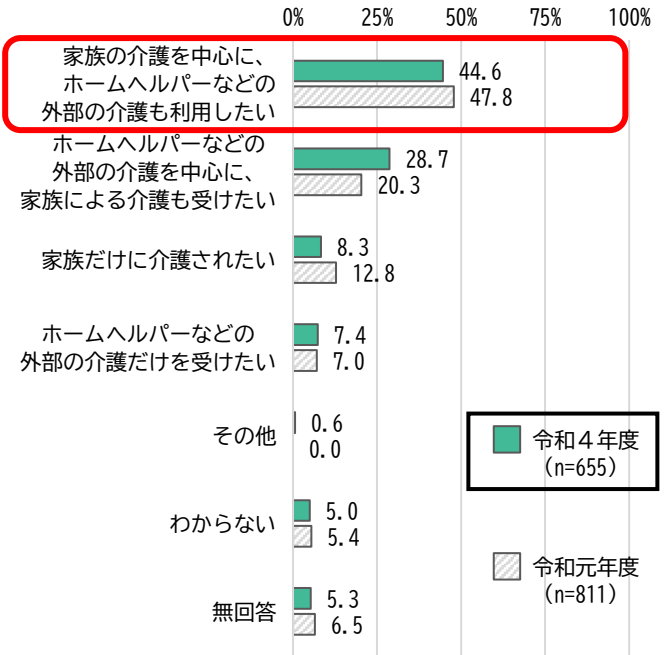


第3章 調査の結果 「12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて」

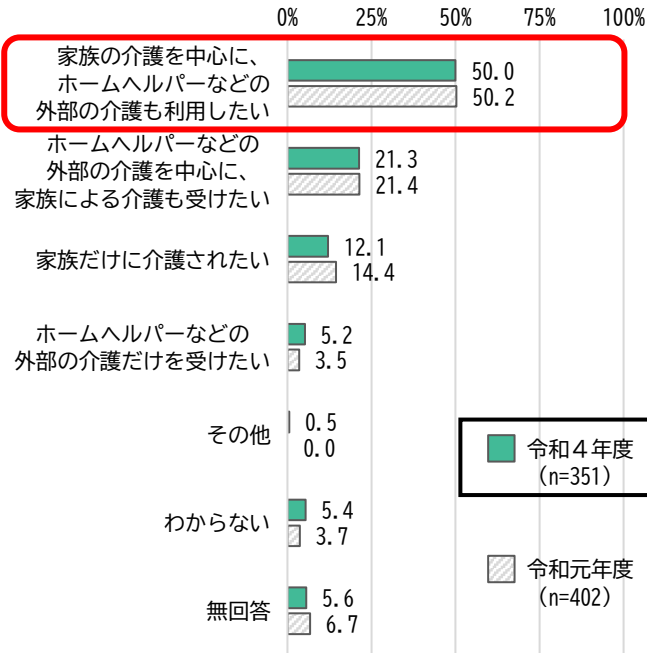
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

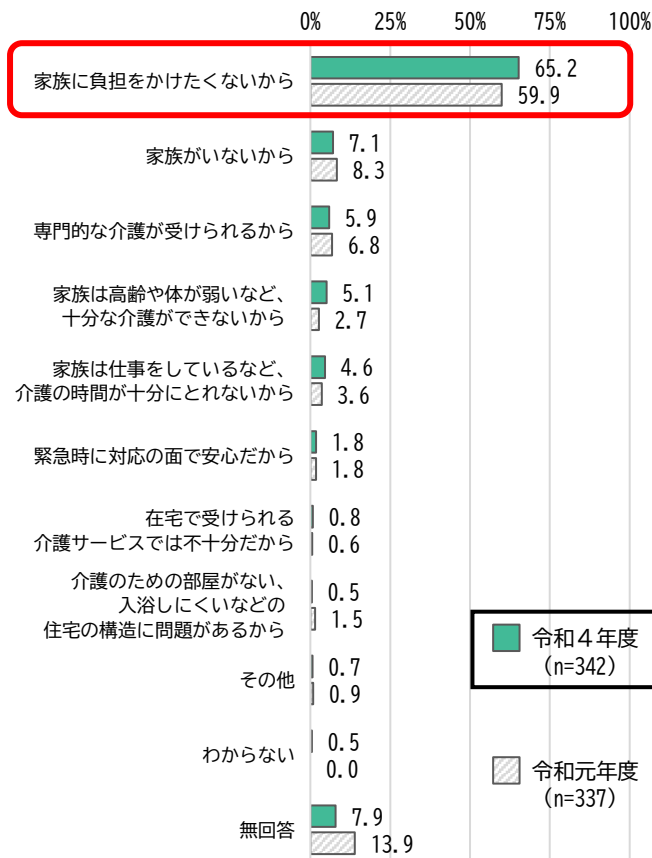


外部の介護を受けたいと答えた方におうかがいします。

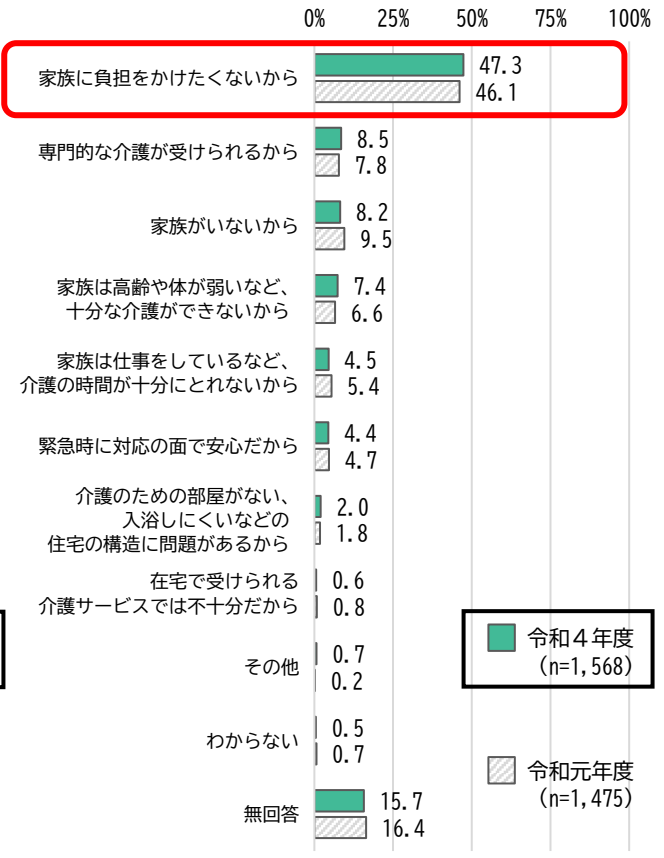
あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

外部の介護を受けたいと答えた方の施設入所を選択する理由について、いずれの調査でも「家族に負担をかけたくないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。なお、若年者、要介護者（重度）では「家族に負担をかけたくないから」と回答した人の割合が前回調査より増加していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

■ 若年者

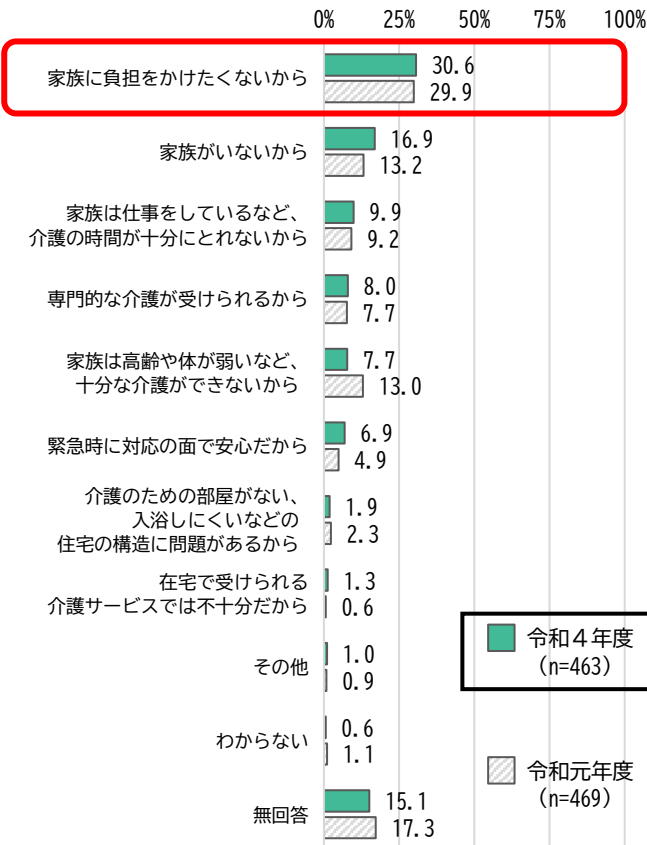


■ 一般高齢者

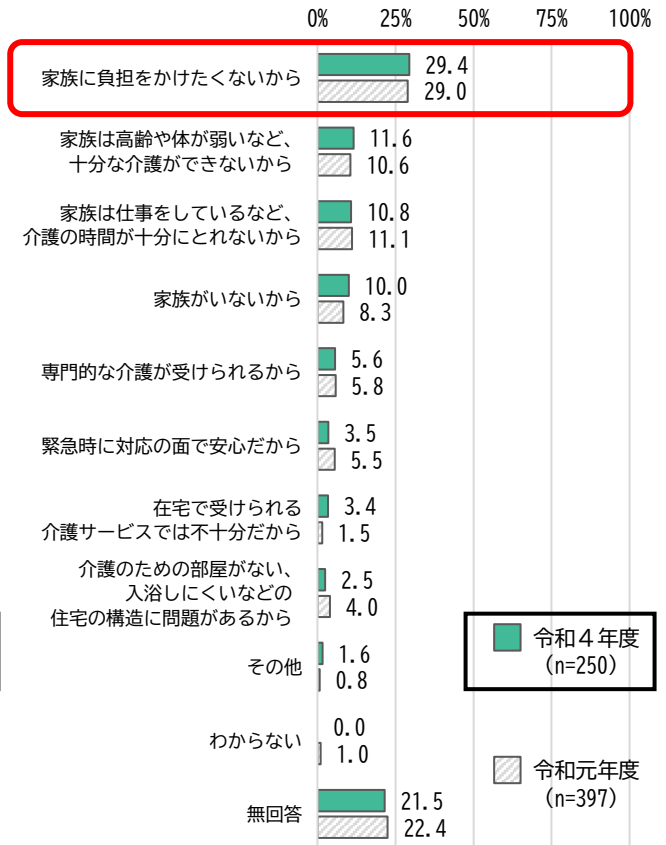


第3章 調査の結果 「12. 介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて」

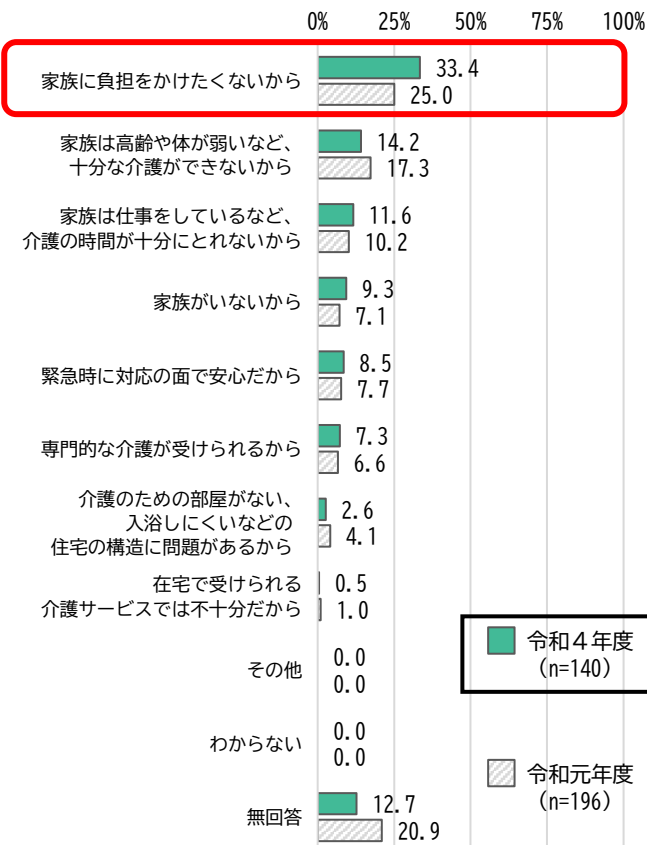
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



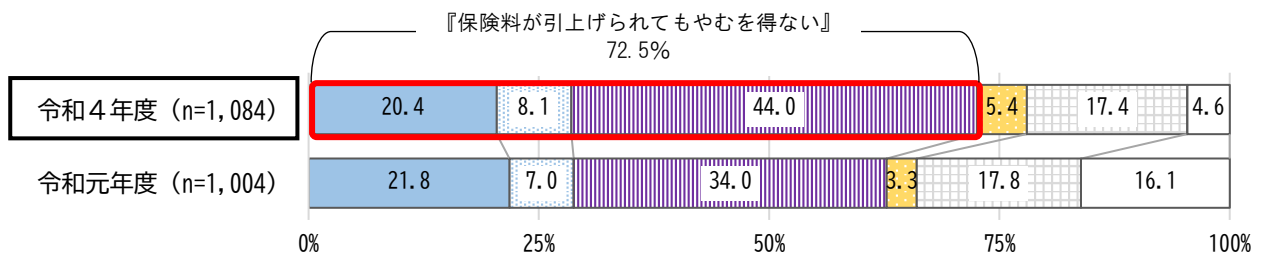
(8) 介護サービスと保険料負担

今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどのように考えますか。(1つの番号に○)

介護サービスと、サービスを支える保険料負担をどう考えるかについて、『保険料が引上げられてもやむを得ない』と回答した人の割合は、若年者では72.5%と他調査と比較して高くなっており、一般高齢者では61.9%、事業対象・要支援者では57.3%、要介護者(軽度)では57.6%、要介護者(重度)では60.6%となっています。なお、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者(軽度)では『保険料が引上げられてもやむを得ない』と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

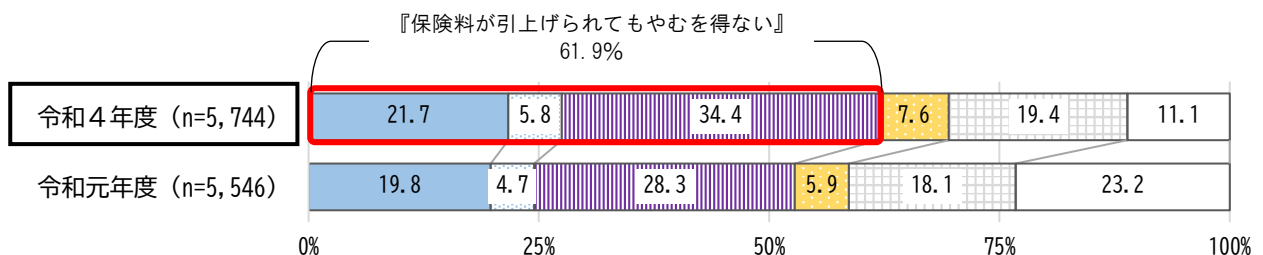
■ 若年者

- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の引上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
- わからない
- 無回答



■ 一般高齢者

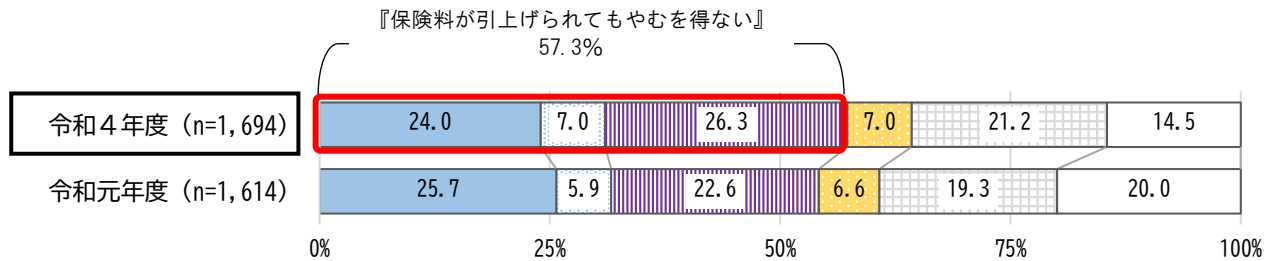
- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の引上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
- わからない
- 無回答



※『保険料が引上げられてもやむを得ない』 = 「現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない」 + 「現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない」 + 「保険料負担の引上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる」

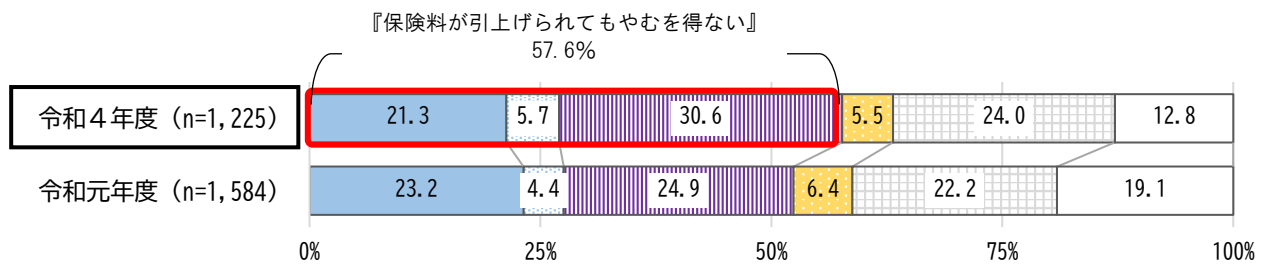
■ 事業対象・要支援者

- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
- わからない
- 無回答



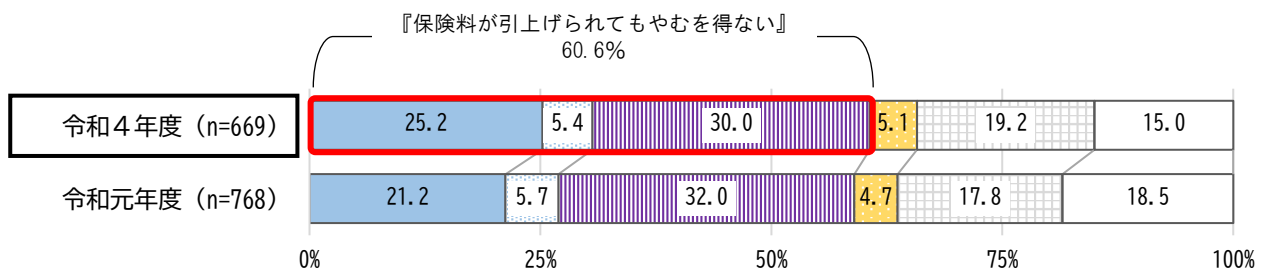
■ 要介護者（軽度）

- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
- わからない
- 無回答



■ 要介護者（重度）

- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
- わからない
- 無回答



※『保険料が上げられてもやむを得ない』 = 「現在のサービス水準を維持するために必要な保険料上げであれば、やむを得ない」 + 「現在以上にサービスを充実するために、左記よりもさらに保険料負担が上げられてもやむを得ない」 + 「保険料負担の上げを左記よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる」

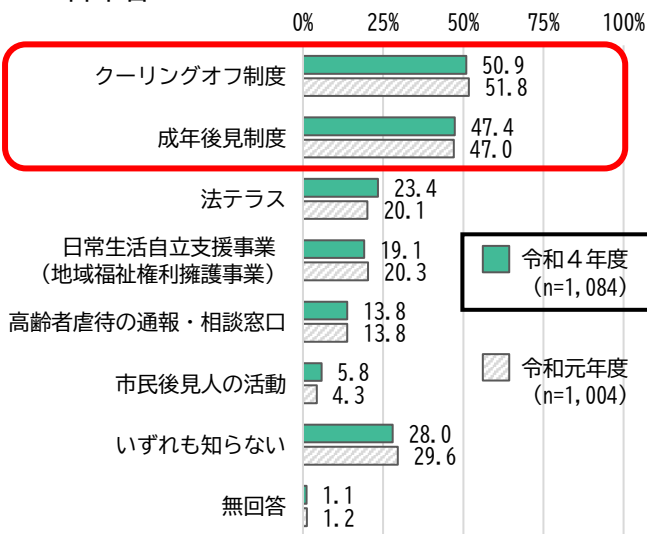
13. 権利擁護・成年後見制度について

(1) 権利擁護の制度等の認知度

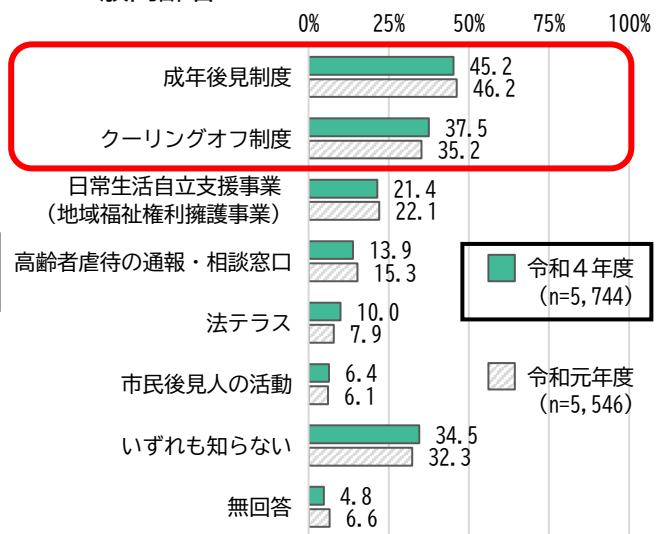
あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みで知っているものについて、若年者、一般高齢者では、「成年後見制度」や「クーリングオフ制度」と回答した人の割合が高くなる一方、事業対象・要支援者、要介護者(軽度)、要介護者(重度)では「いずれも知らない」が最も高くなっています。なお、要介護者(軽度)、要介護者(重度)では「成年後見制度」や「クーリングオフ制度」を知っていると回答した人の割合が前回調査より増加しています。

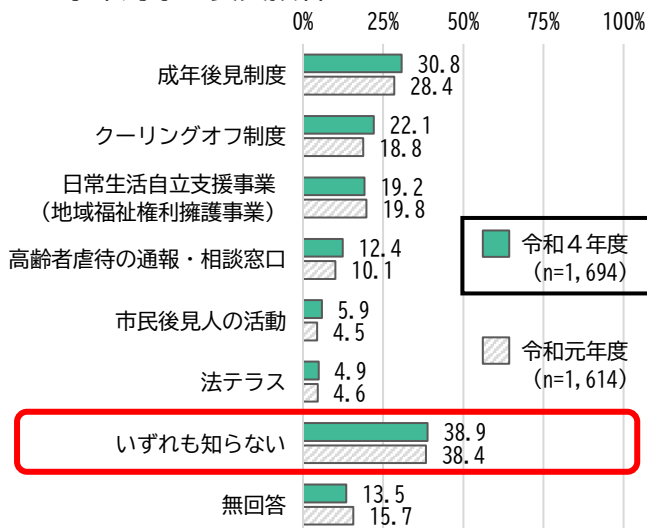
■ 若年者



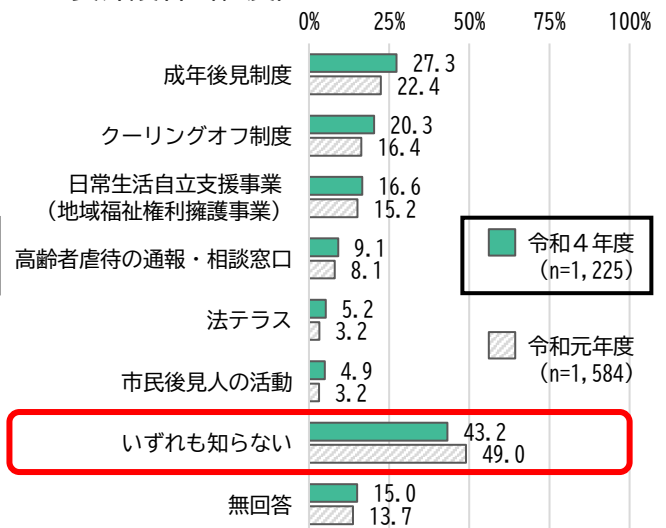
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

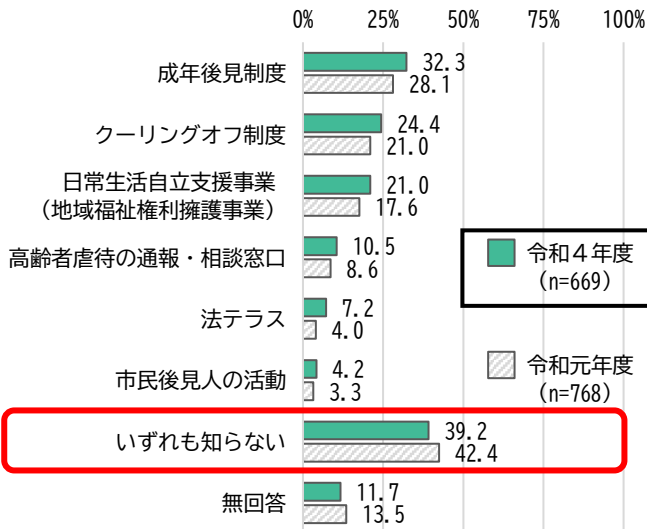


■ 要介護者(軽度)



第3章 調査の結果 「13. 権利擁護・成年後見制度について」

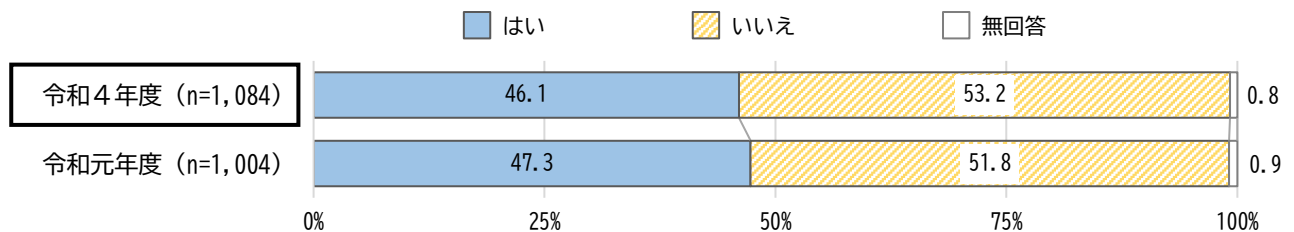
■ 要介護者（重度）



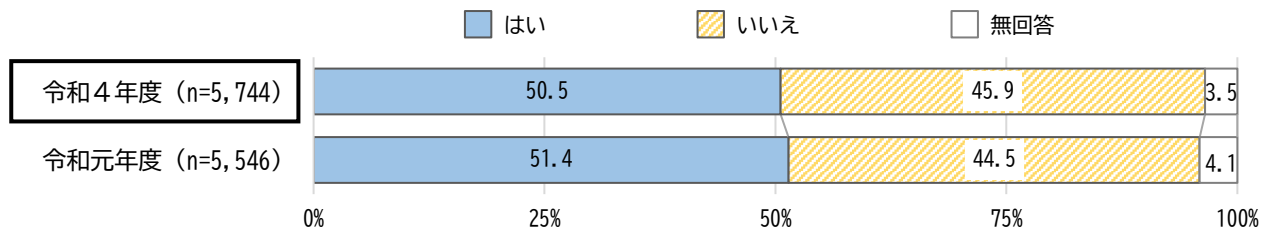
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（1つの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っているかについて、「はい（知っている）」と回答した割合は、一般高齢者で 50.5% となっており、その他の調査においても 46% 前後となっています。なお、要介護者（軽度）では「はい（知っている）」と回答した人の割合が前回調査より増加していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

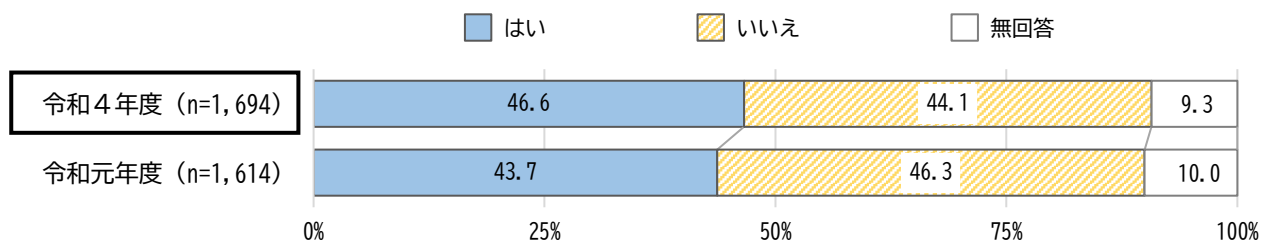
■ 若年者



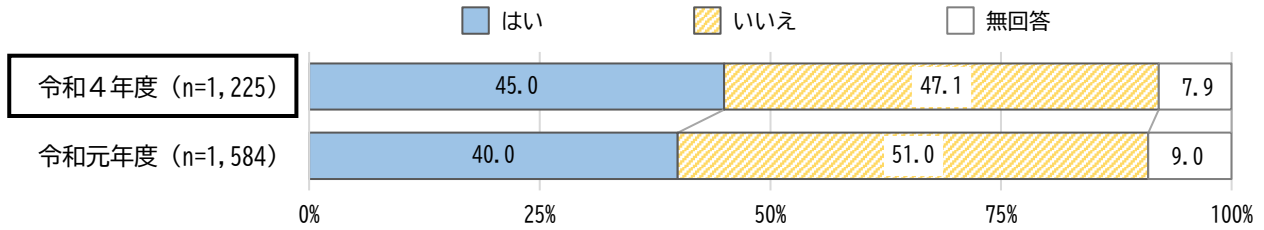
■ 一般高齢者



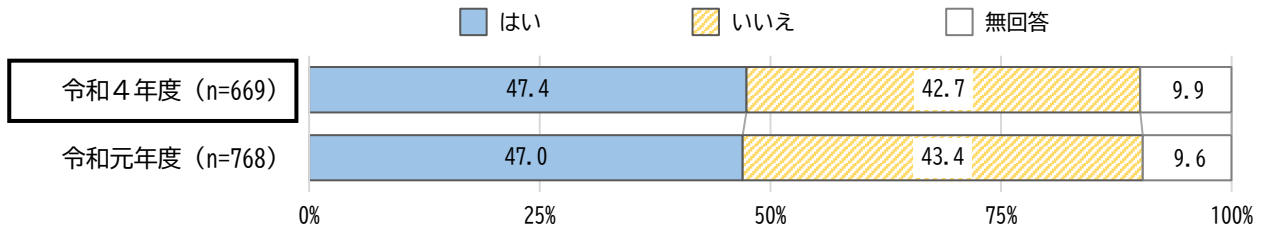
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



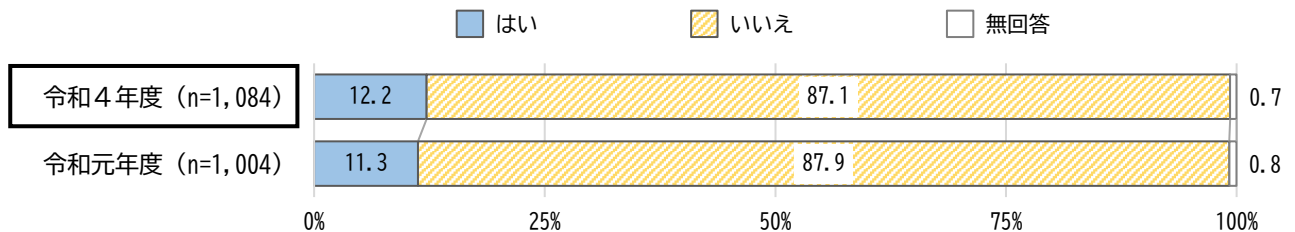
■ 要介護者（重度）



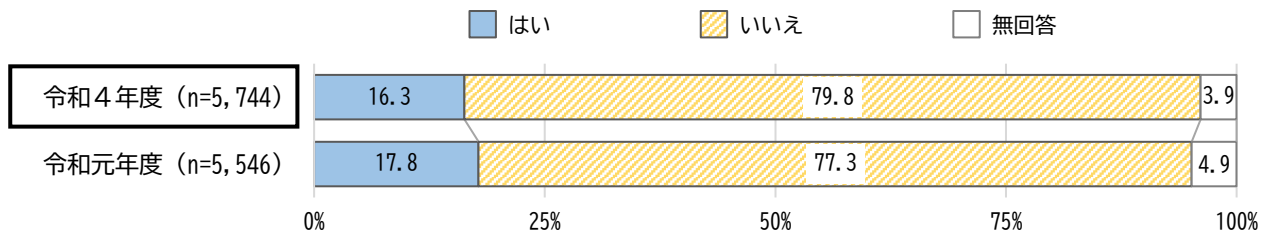
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（1つの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っているかについて、「はい（知っている）」と回答した割合は、一般高齢者で16.3%となっており、その他の調査においても14%前後となっています。なお、いずれの調査でも「はい（知っている）」と回答した人の割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

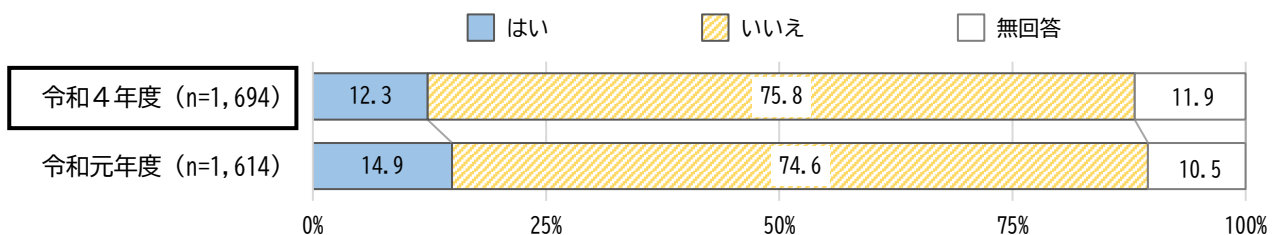
■ 若年者



■ 一般高齢者

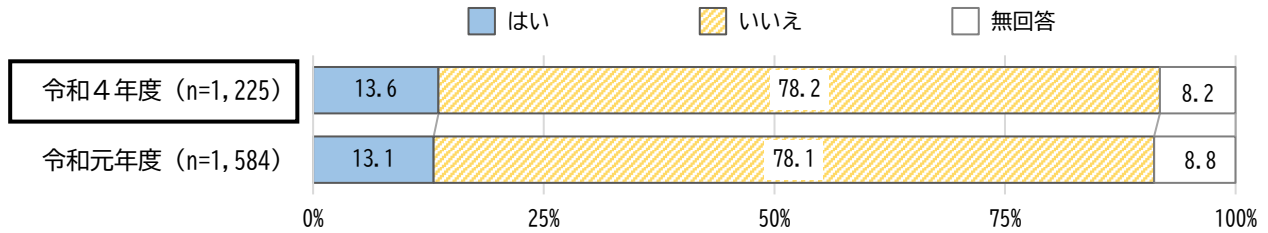


■ 事業対象・要支援者

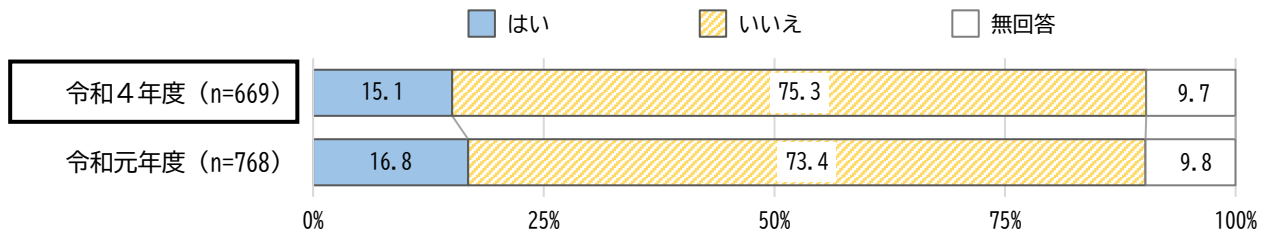


第3章 調査の結果 「13. 権利擁護・成年後見制度について」

■ 要介護者（軽度）

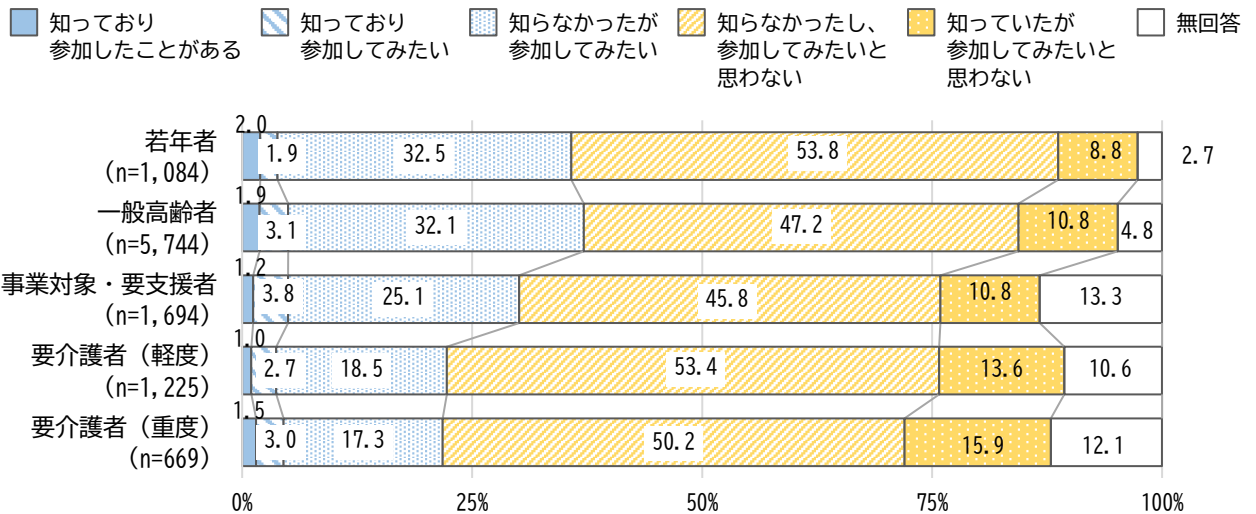


■ 要介護者（重度）



あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）では15%前後、要介護者（重度）では約20%となっています。また、『参加してみたい』と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者では35%前後、事業対象・要支援者では約30%、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では20%前後となっています。



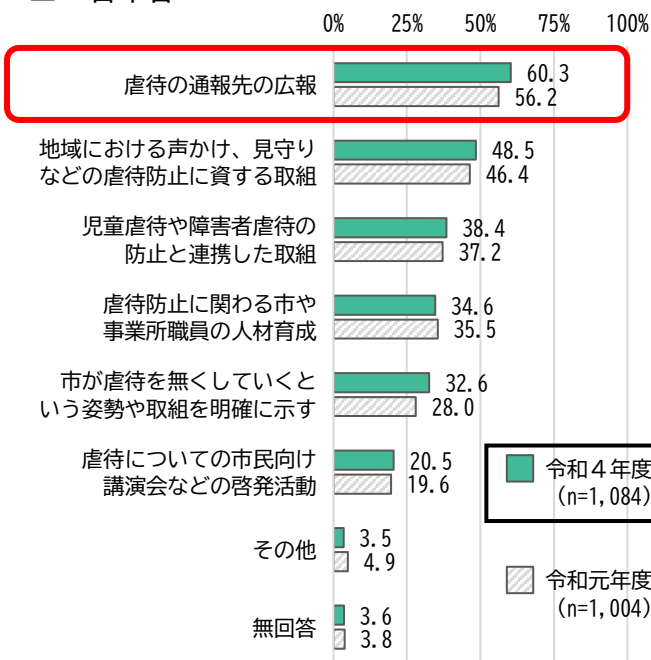
※『知っていた』＝「知っている参加したことがある」＋「知っている参加してみたい」＋「知っていたが参加してみたいと思わない」
 ※『参加してみたい』＝「知っている参加してみたい」＋「知らなかったが参加してみたい」

(2) 虐待の防止を推進するために必要な取り組み

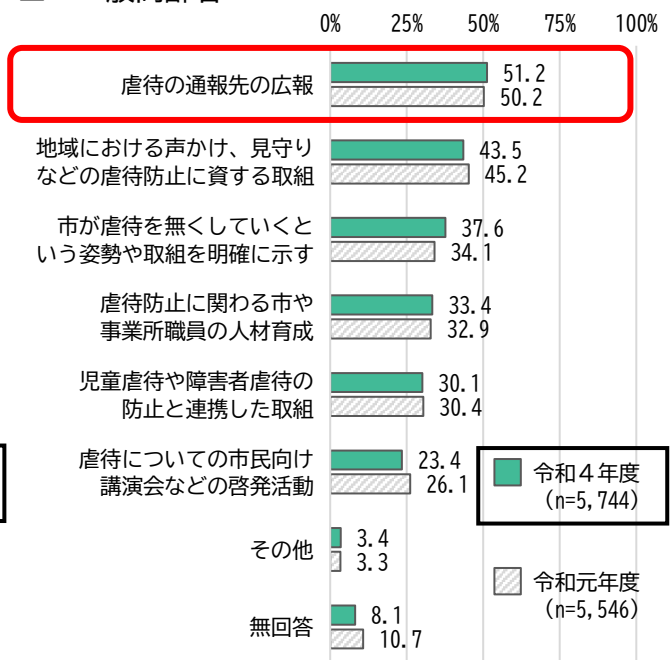
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

虐待の防止を推進するためにどんな取り組みが必要だと思うかについて、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（重度）では「虐待の通報先の広報」と回答した人の割合が最も高く、次いで「地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組」となっています。また、要介護者（軽度）でも「地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組」と回答した人の割合が最も高く、次いで「虐待の通報先の広報」となっています。なお、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

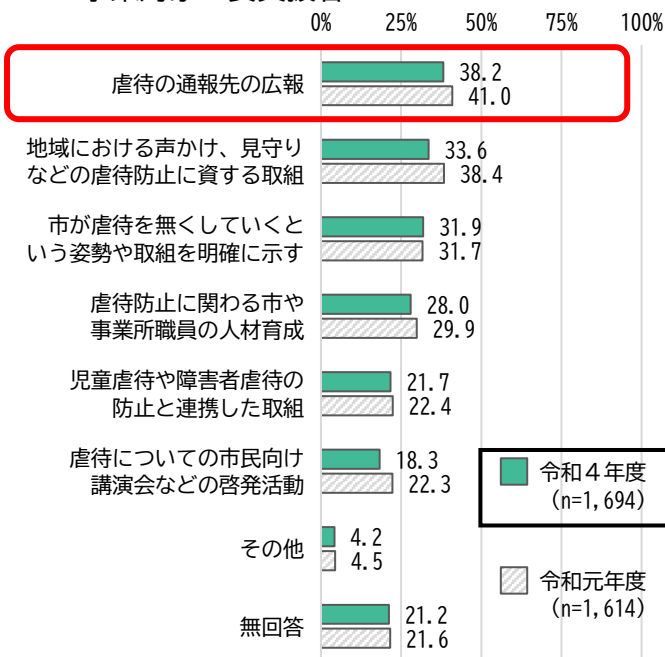
■ 若年者



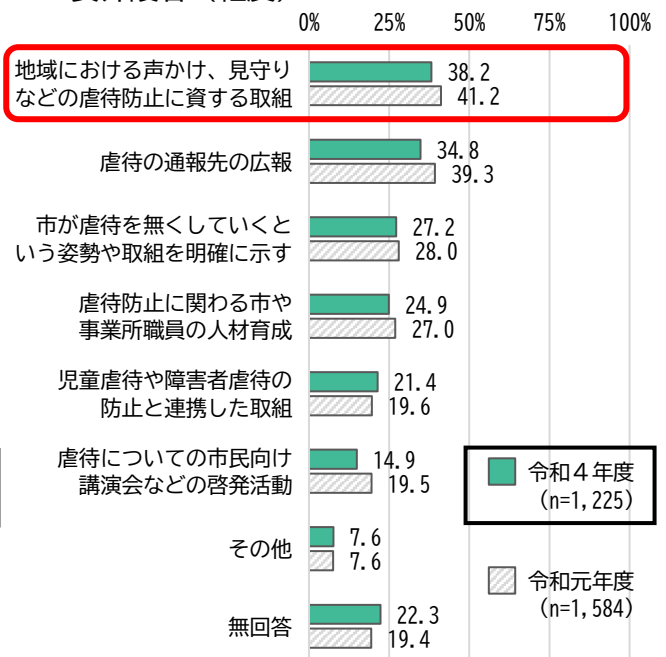
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者

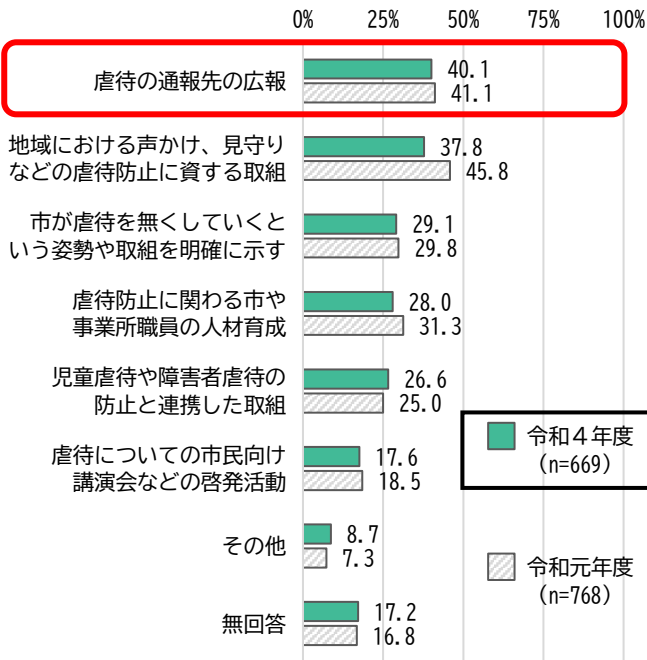


■ 要介護者（軽度）



第3章 調査の結果 「13. 権利擁護・成年後見制度について」

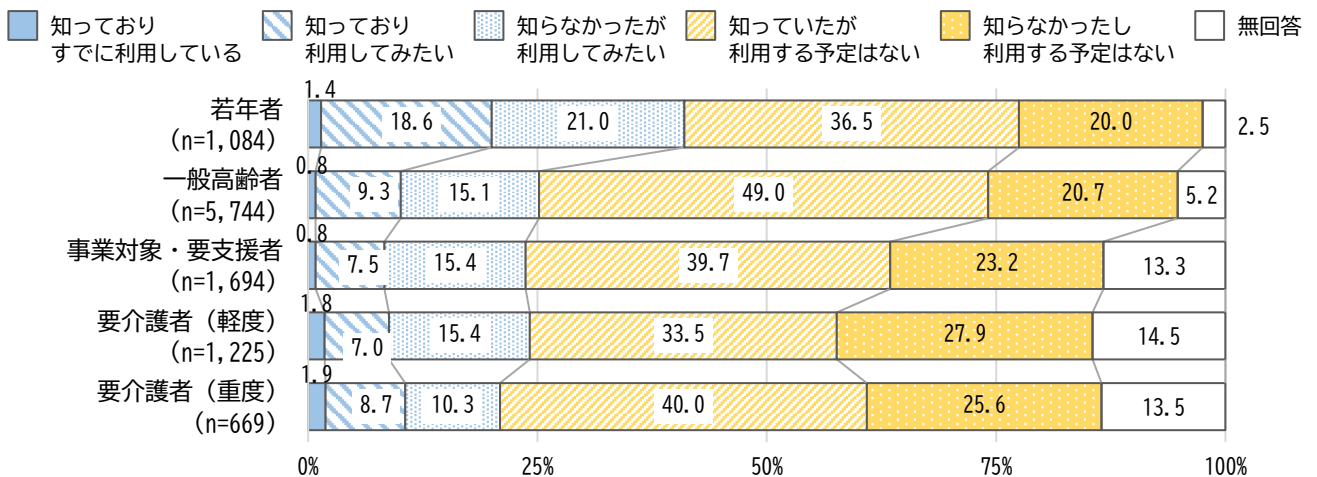
■ 要介護者（重度）



(3) 成年後見制度の認知度・利用意向

成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。（1つの番号に○）

成年後見制度を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では56.5%、一般高齢者では59.1%となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者で約40%と高く、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では20%前後となっています。



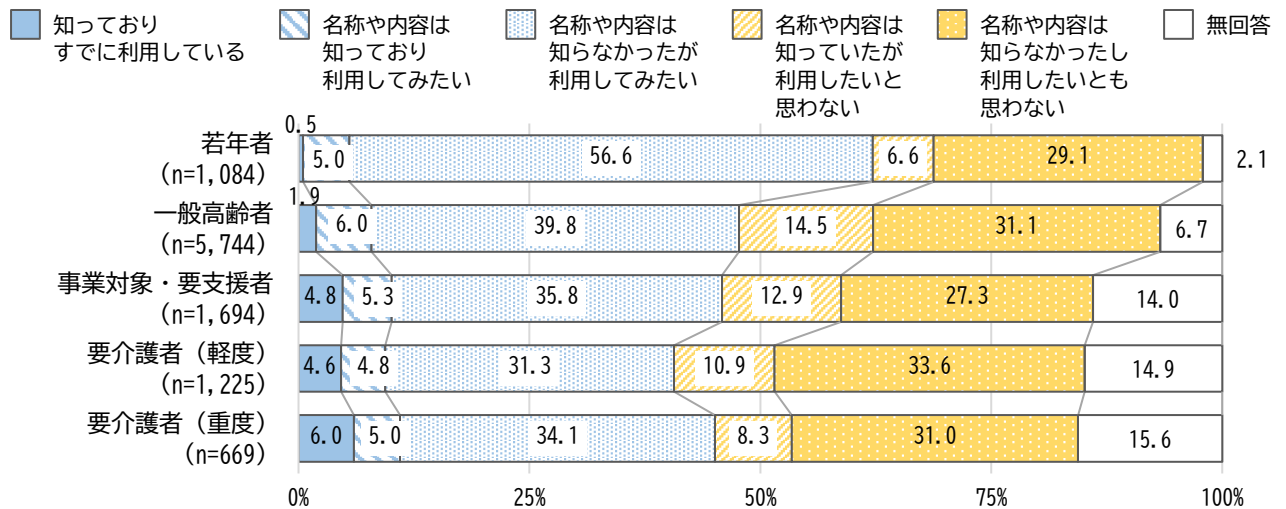
※『知っていた』＝「知っておりすでに利用している」＋「知っており利用してみたい」＋「知っていたが利用する予定はない」
 ※『利用してみたい』＝「知っており利用してみたい」＋「知らなかったが利用してみたい」

14. 市の高齢者施策について

(1) 福祉まるごと相談窓口の認知度・利用意向

福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

福祉まるごと相談窓口を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では12.1%、一般高齢者、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では20%前後となっています。また、『利用してみたい』と回答した人の割合は、若年者では61.6%と高く、一般高齢者では45.8%、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では40%前後となっています。



※『知っていた』＝「知っているすでに利用している」＋「名称や内容は知っており利用してみたい」＋「名称や内容は知っていたが利用したいと思わない」

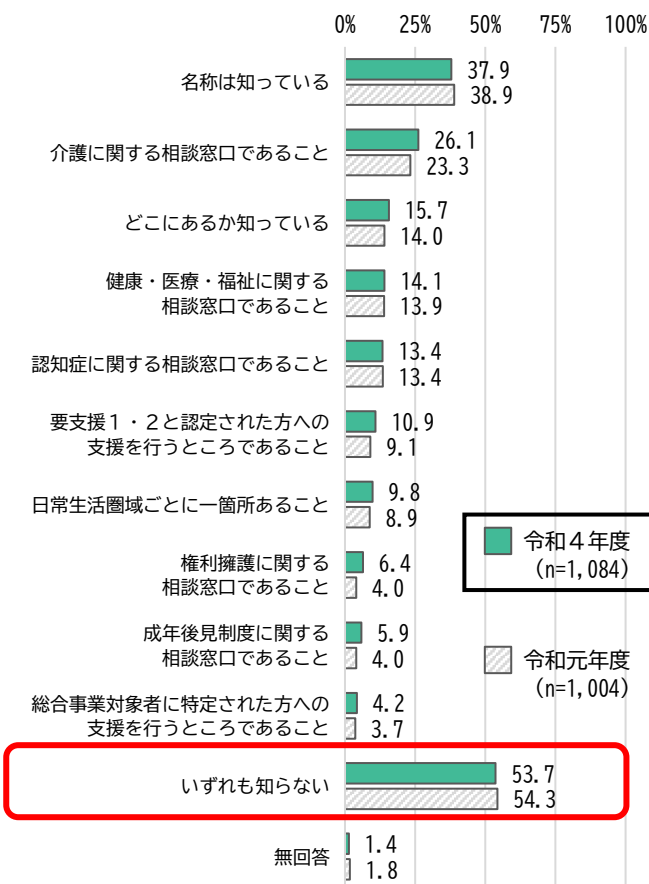
※『利用してみたい』＝「名称や内容は知っており利用してみたい」＋「名称や内容は知らなかったが利用してみたい」

(2) 高齢者いきいき安心センターの認知度

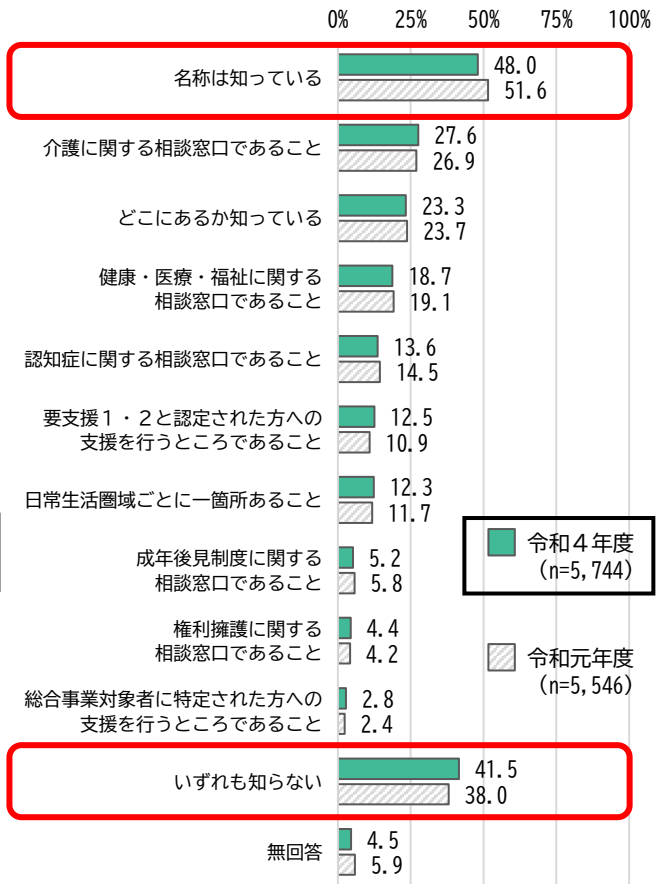
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）で知っているものについて、若年者では「いずれも知らない」と回答した人の割合が最も高くなっており、一般高齢者では「名称は知っている」と回答した人の割合が最も高くなるとともに、「いずれも知らない」と回答した人の割合も高くなっています。一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「名称は知っている」と回答した人の割合が高くなるとともに「介護に関する相談窓口であること」と回答した人の割合も高くなっています。なお、一般高齢者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「名称は知っている」と回答した人の割合が前回調査より減少しています。

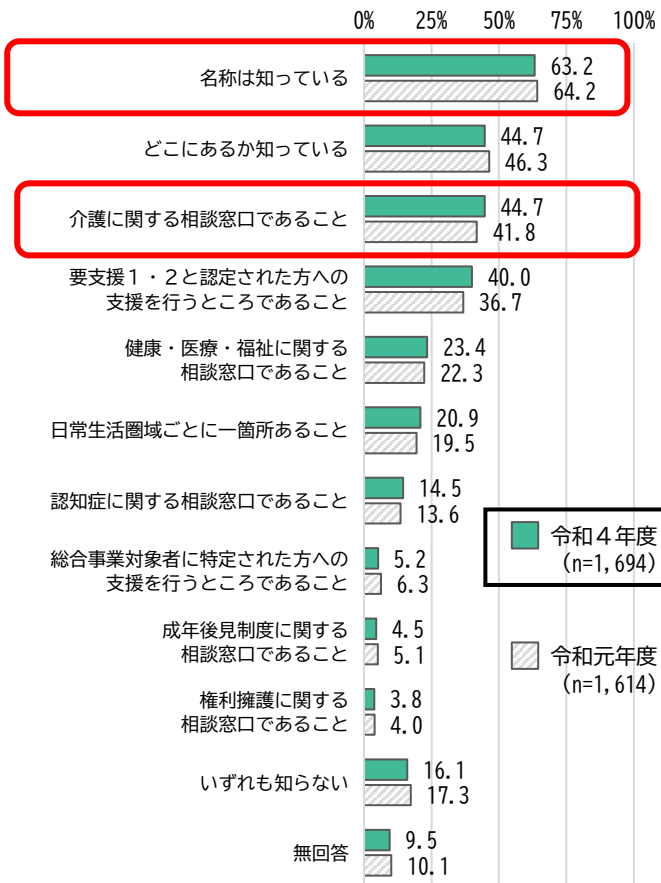
■ 若年者



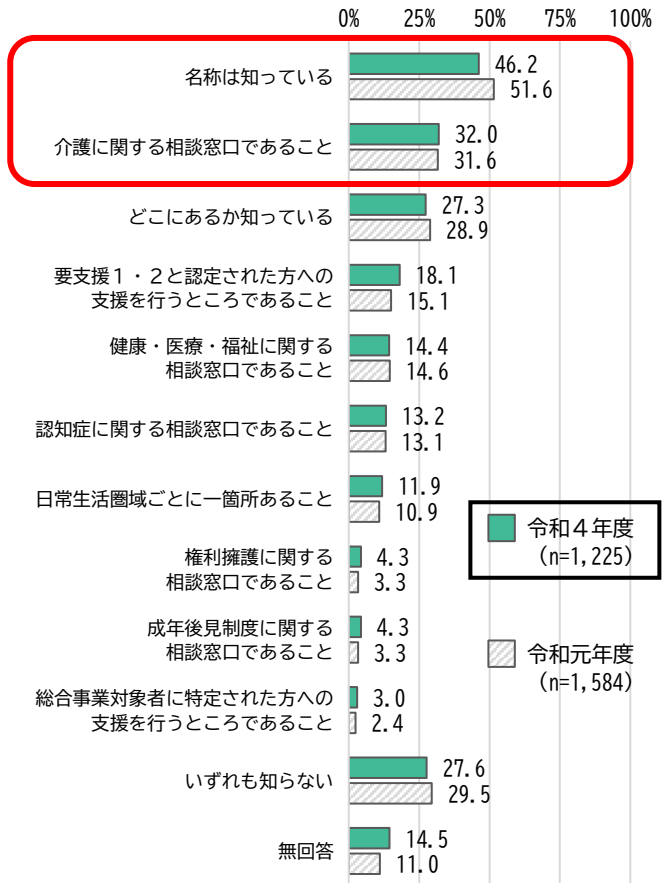
■ 一般高齢者



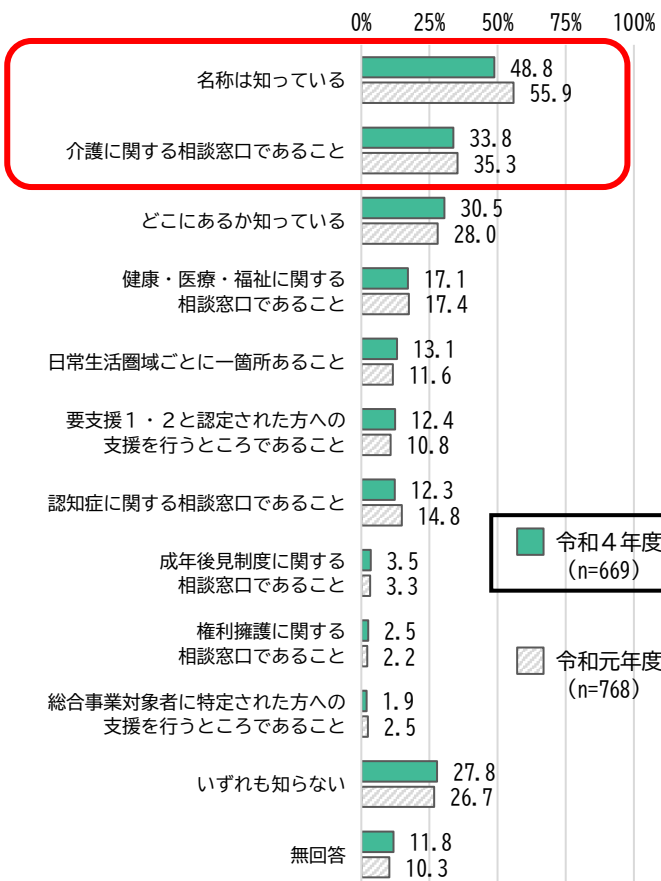
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

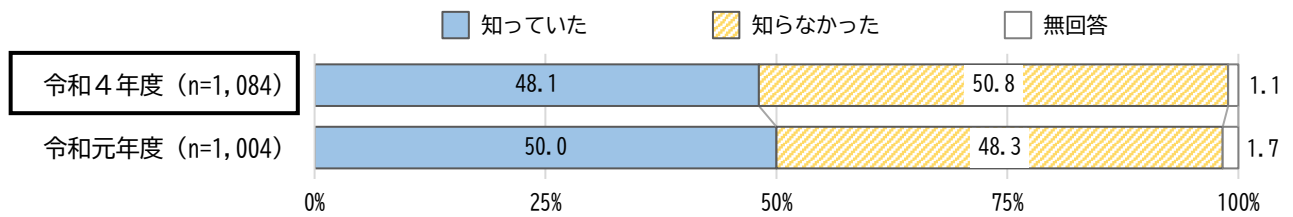


(3) 在宅医療の認知度・利用意向

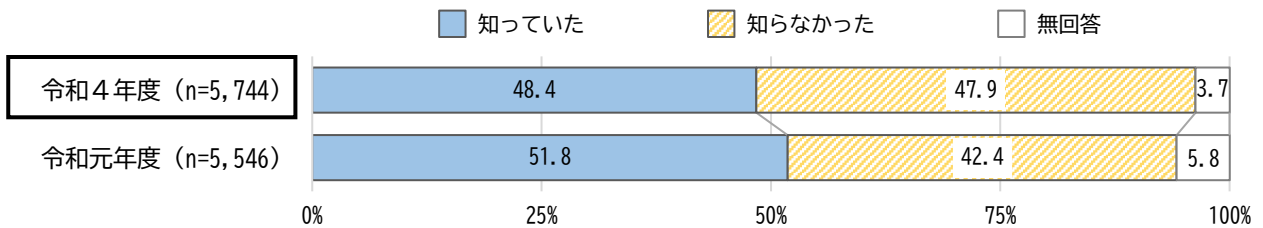
松戸市では、在宅医療と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。(1つの番号に○)

在宅医療を知っていたかについて、「知っていた」と回答した人の割合は、若年者、一般高齢者、事業対象・要支援者要介護者（軽度）では48%前後となっており、要介護者（重度）では「知っていた」と回答した人の割合が56.7%と高くなっています。なお、要介護者（軽度）では「知っていた」と回答した人の割合が前回調査より増加していますが、その他については前回調査から回答の割合に大きな変化は見られていません。

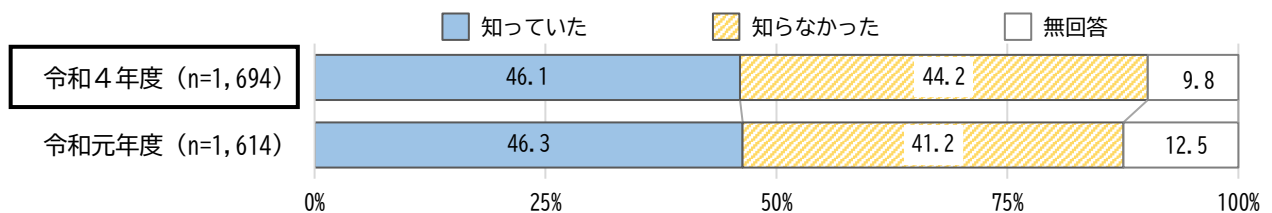
■ 若年者



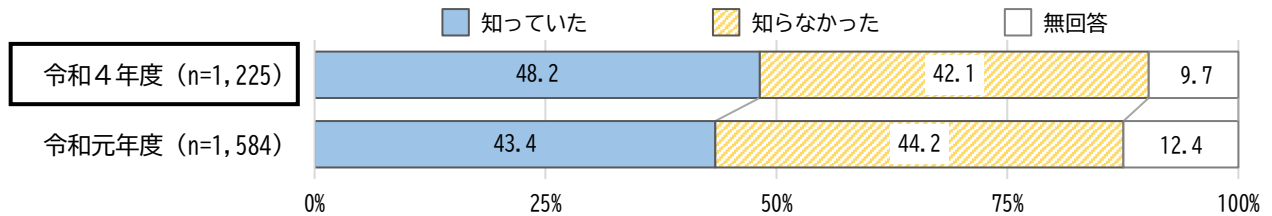
■ 一般高齢者



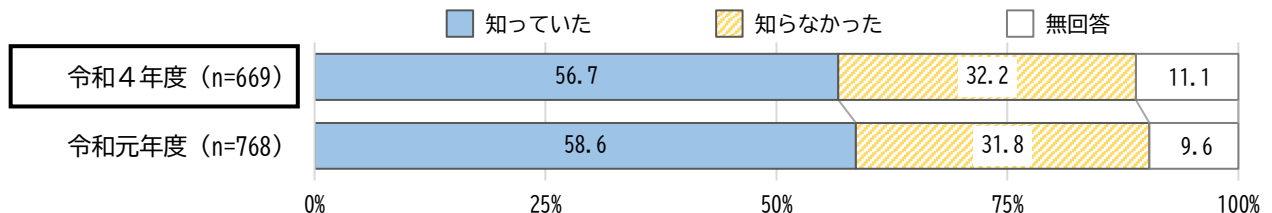
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



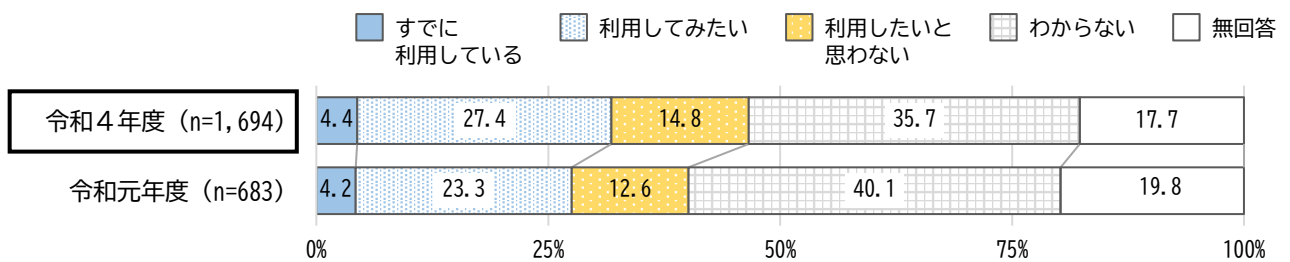
■ 要介護者（重度）



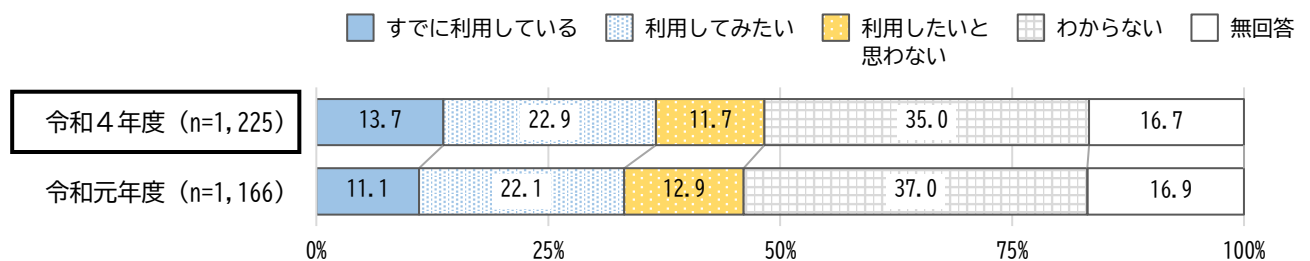
在宅医療を利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

在宅医療を利用してみたいと思うかについて、「利用してみたい」と回答した人の割合は、事業対象・要支援者では27.4%、要介護者（軽度）では22.9%、要介護者（重度）では20.3%となっています。また、要介護者（重度）では「すでに利用している」と回答した人の割合を合わせると、50.7%となっています。なお、要介護者（重度）では「すでに利用している」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

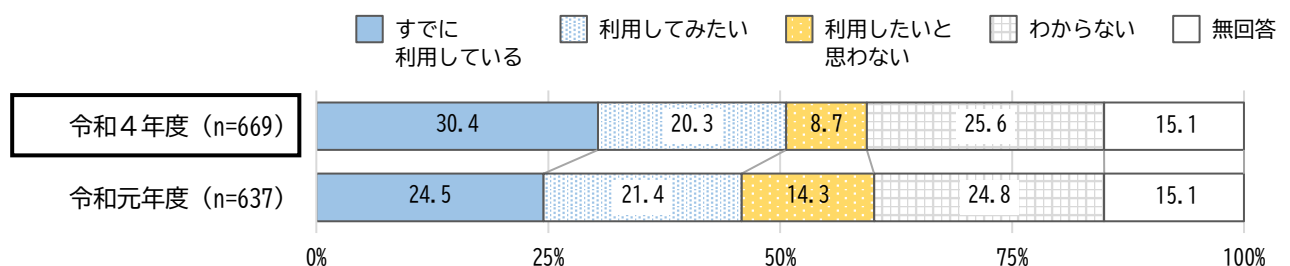
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



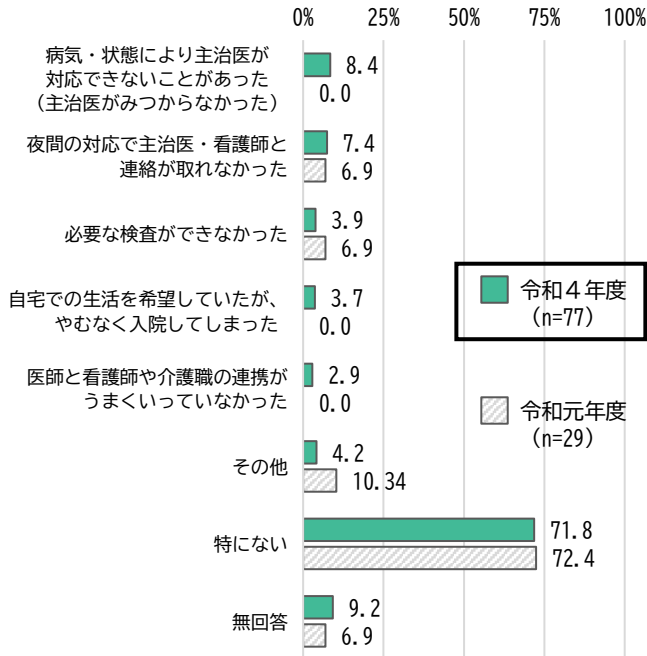
第3章 調査の結果 「14. 市の高齢者施策について」

在宅医療をすでに利用していると答えた方におうかがいします。

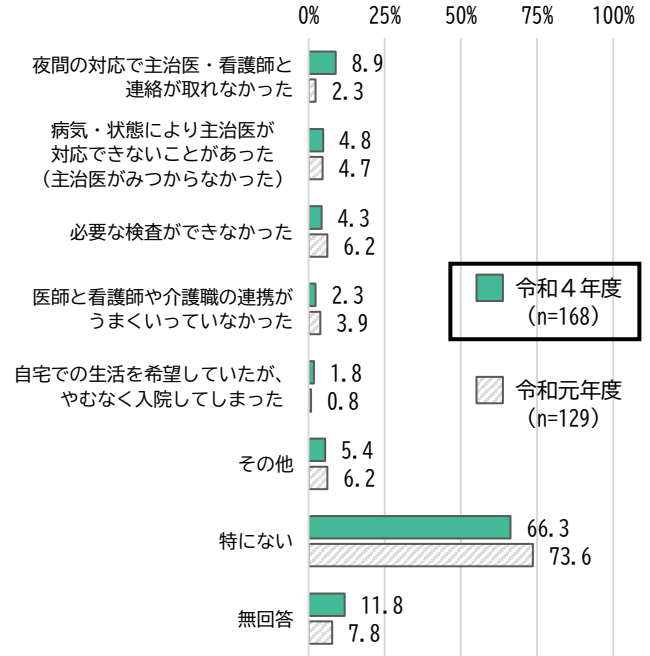
在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

在宅医療をすでに利用していると答えた方の在宅医療で対応できず困ったことについて、いずれの調査でも「特にない」と回答した人の割合が最も高く60%を上回っています。

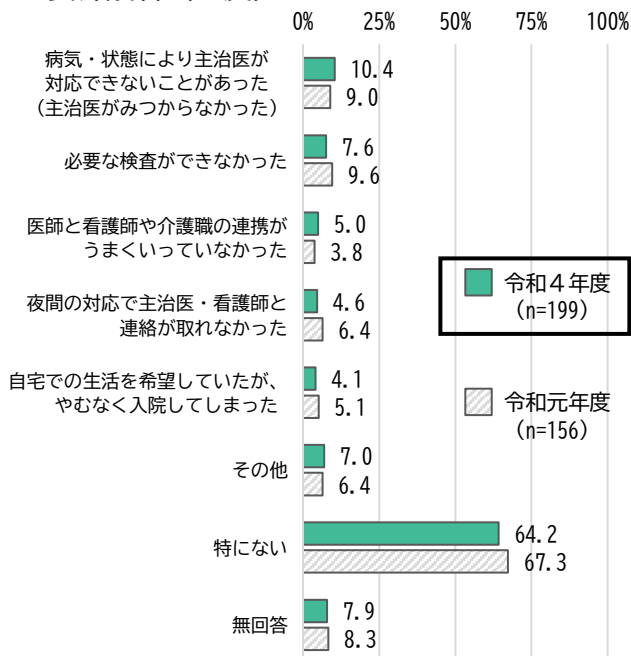
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



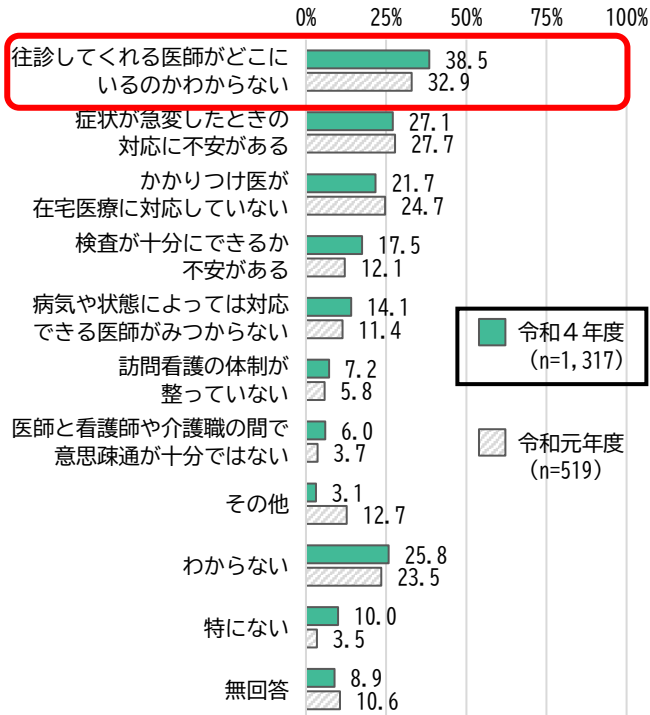
在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと答えた方におうかがいします。

在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか。

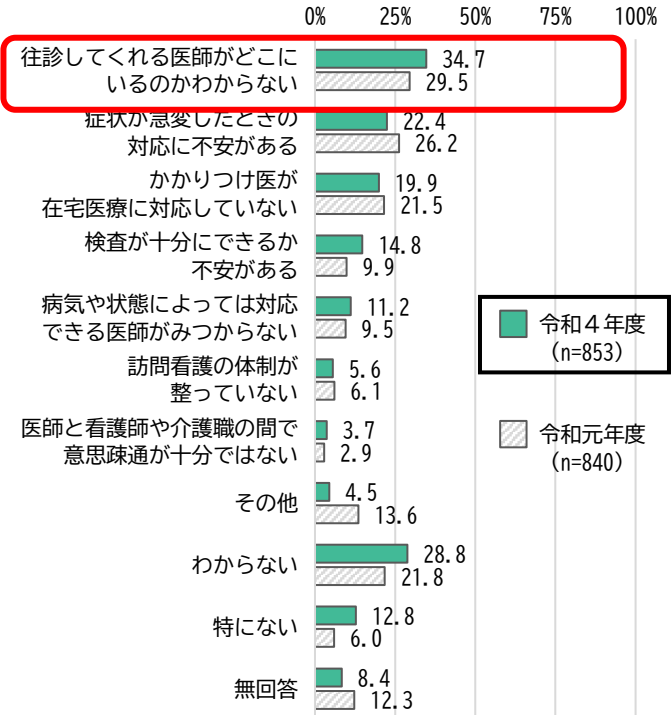
(あてはまるすべての番号に○)

在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと答えた方の今後在宅医療を利用する際に不安を感じることについて、いずれの調査においても「往診してくれる医師がどこにいるのかわからない」と回答した人の割合が最も高くなっています。

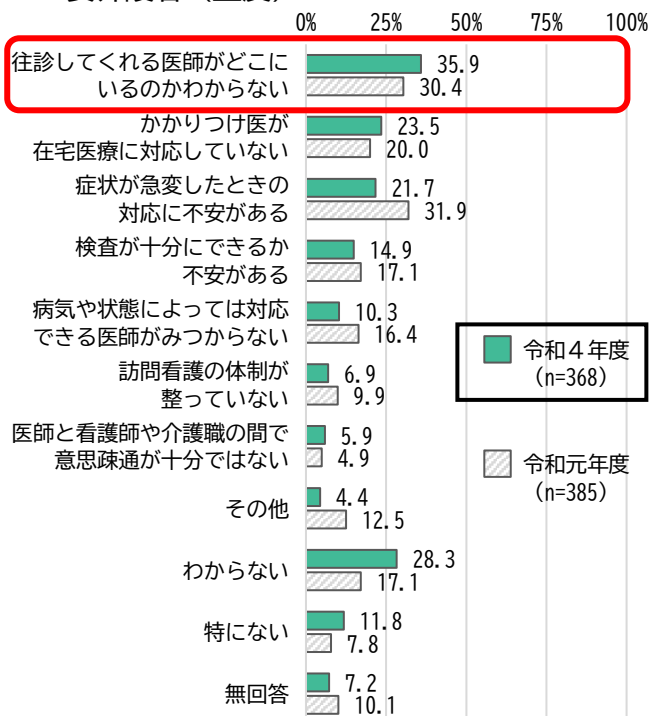
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

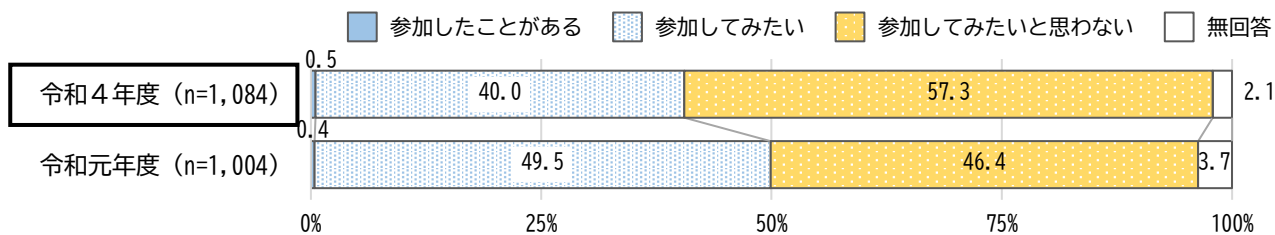


(4) 家族介護に関する講座参加意向

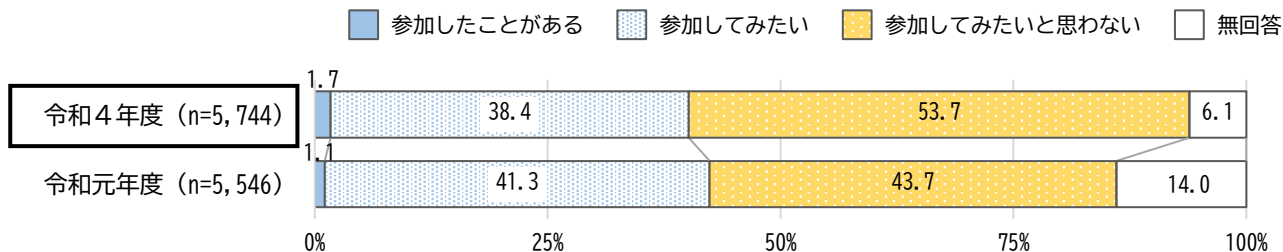
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座について、「参加してみたい」と回答した人の割合は若年者では40.0%、一般高齢者では38.4%となっています。

■ 若年者



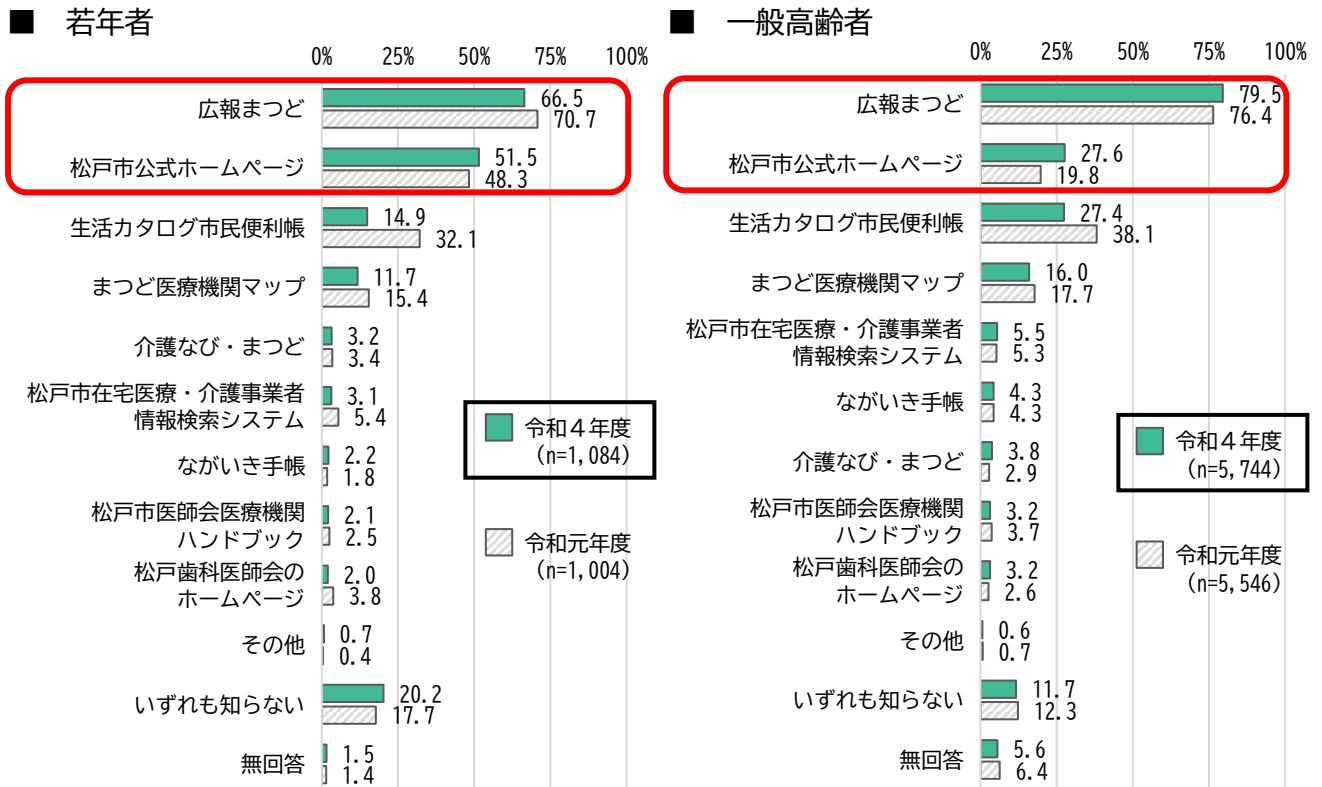
■ 一般高齢者



(5) 情報を収集するための手段

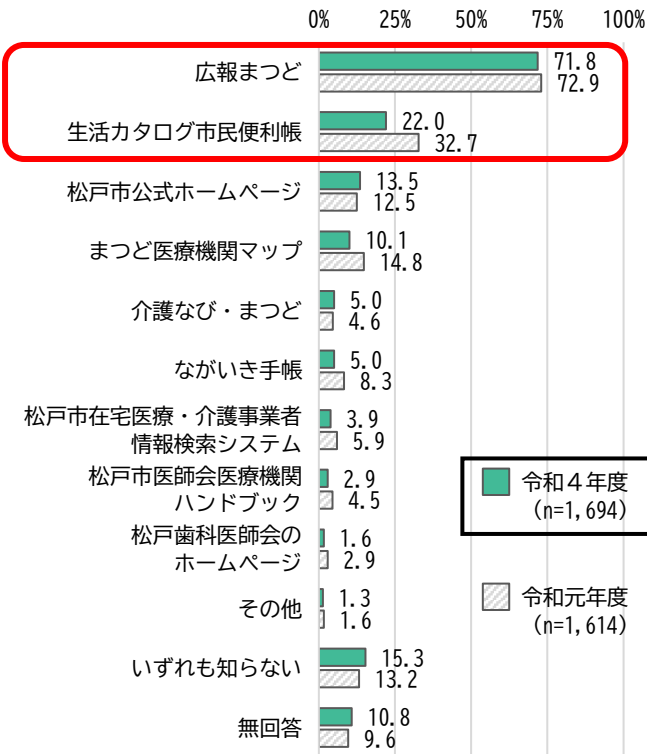
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として知っているものについて、いずれの調査でも「広報まつど」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者、一般高齢者では「松戸市ホームページ」、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「生活カタログ」となっています。なお、若年者、一般高齢者、要介護者（重度）では「松戸市ホームページ」と回答した人の割合が前回調査より増加しています。

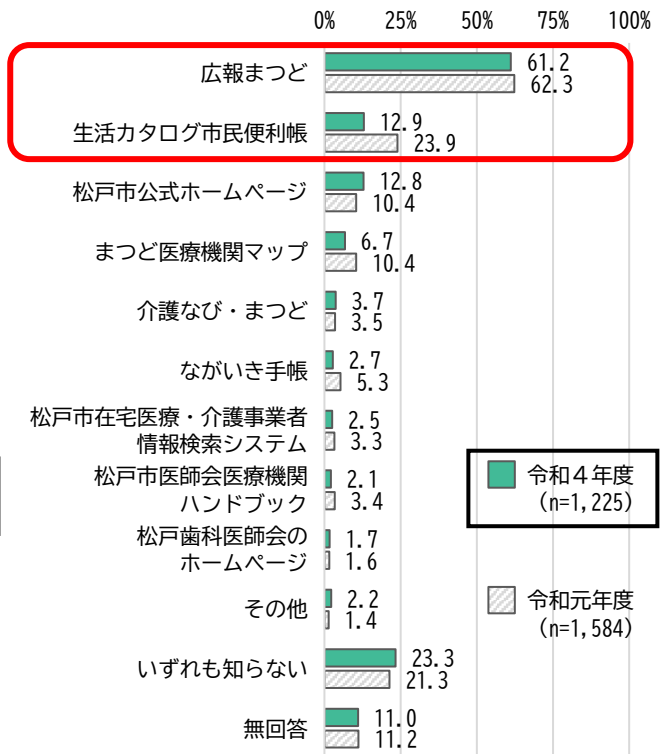


第3章 調査の結果 「14. 市の高齢者施策について」

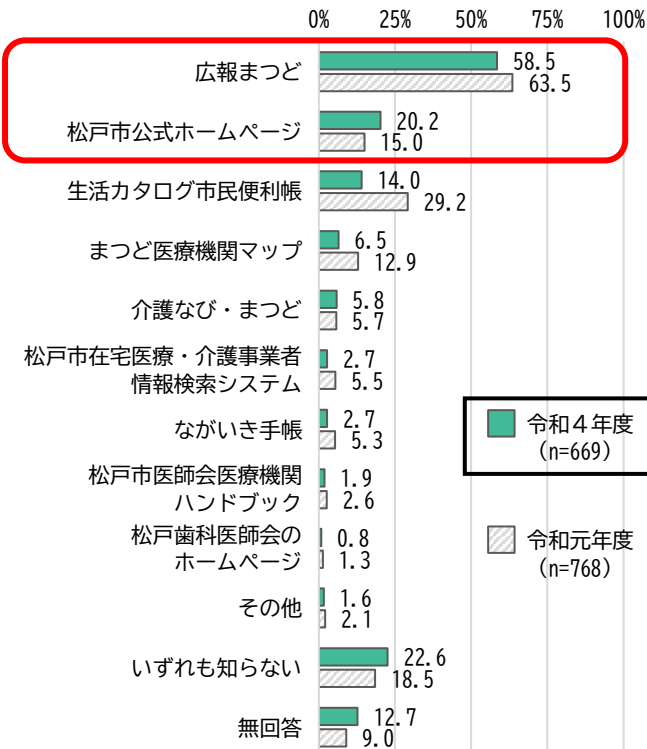
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）



- 「広報まつど」毎月1日及び15日に発行されている情報誌
- 「生活カタログ市民便利帳」全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子
- 「まつど医療機関マップ」市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子
- 「松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム」市ホームページにある市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できるシステム
- 「ながいき手帳」市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子
- 「介護なび・まつど」介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子
- 「松戸市医師会医療機関ハンドブック」各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子

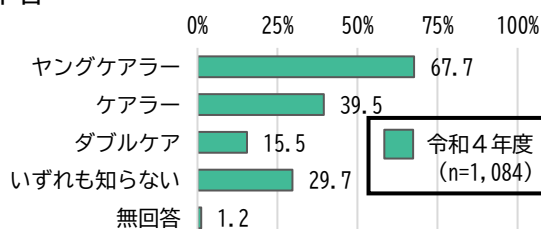
15. 介護に関することについて

(1) ケアラー・ヤングケアラー・ダブルケアの認知度

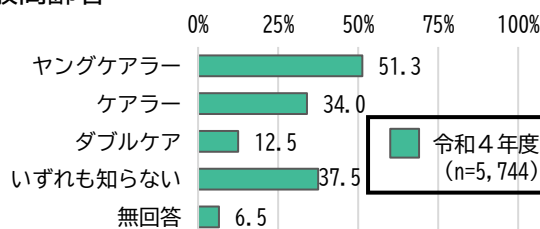
以下のケアに関する用語のうち、名称・内容ともに知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

ケアに関する用語のうち、名称・内容ともに知っているものについて、若年者、一般高齢者では「ヤングケアラー」と回答した人の割合が最も高くなる一方、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）、要介護者（重度）では「いずれも知らない」と回答した人の割合が最も高くなっています。

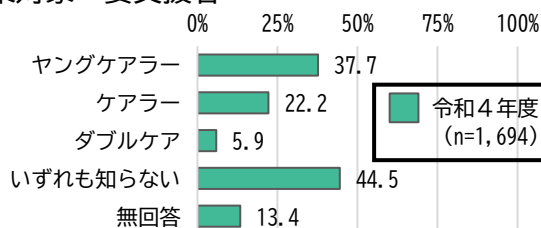
■ 若年者



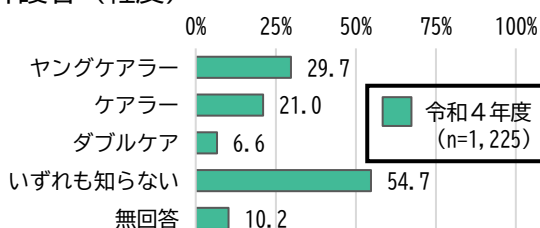
■ 一般高齢者



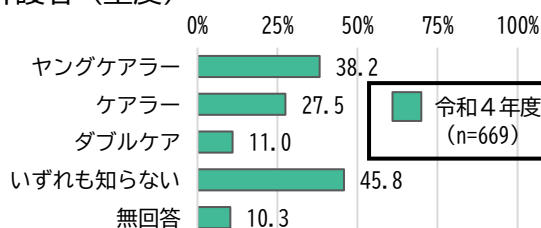
■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



■ 要介護者（重度）

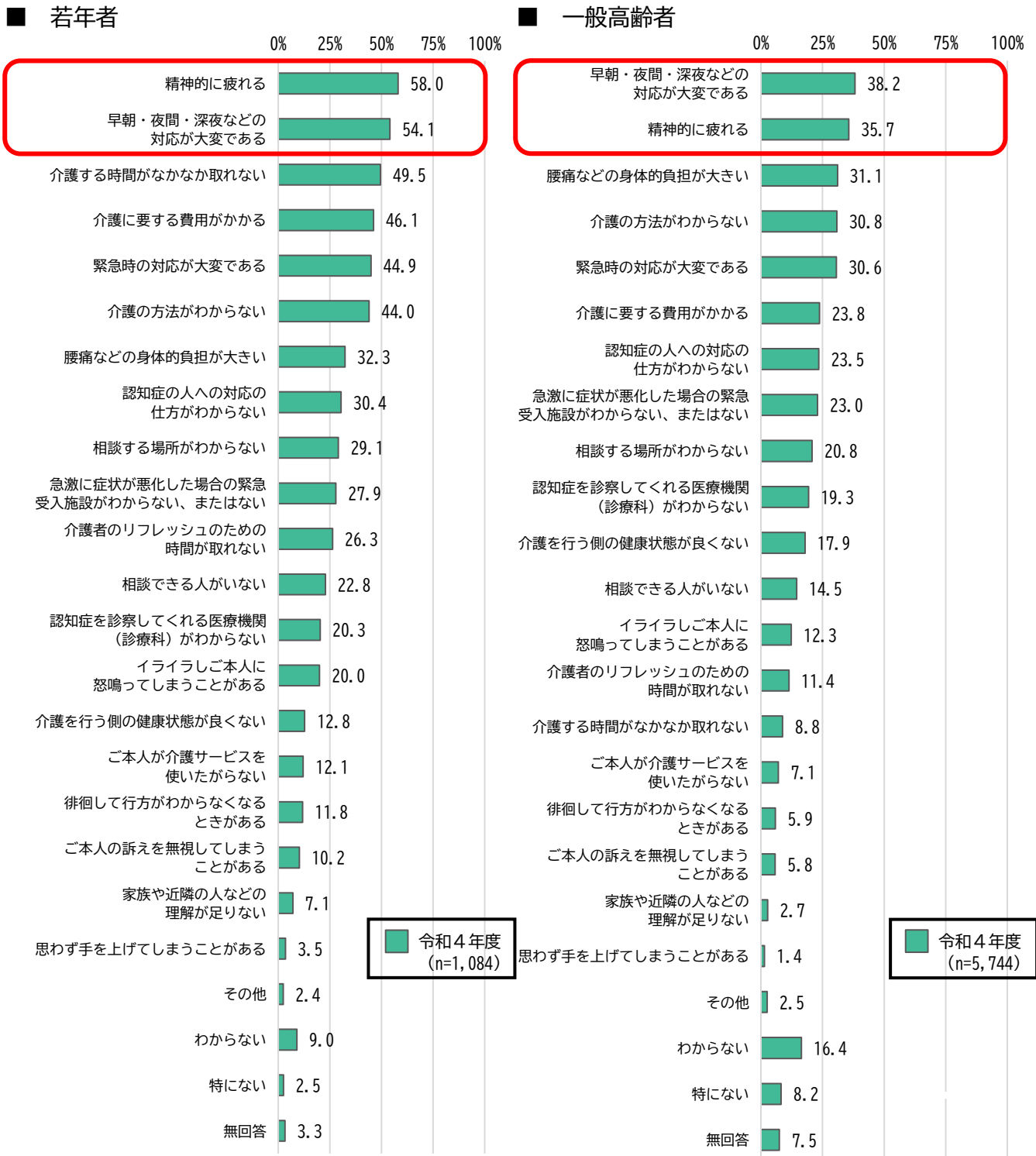


第3章 調査の結果 「15. 介護に関することについて」

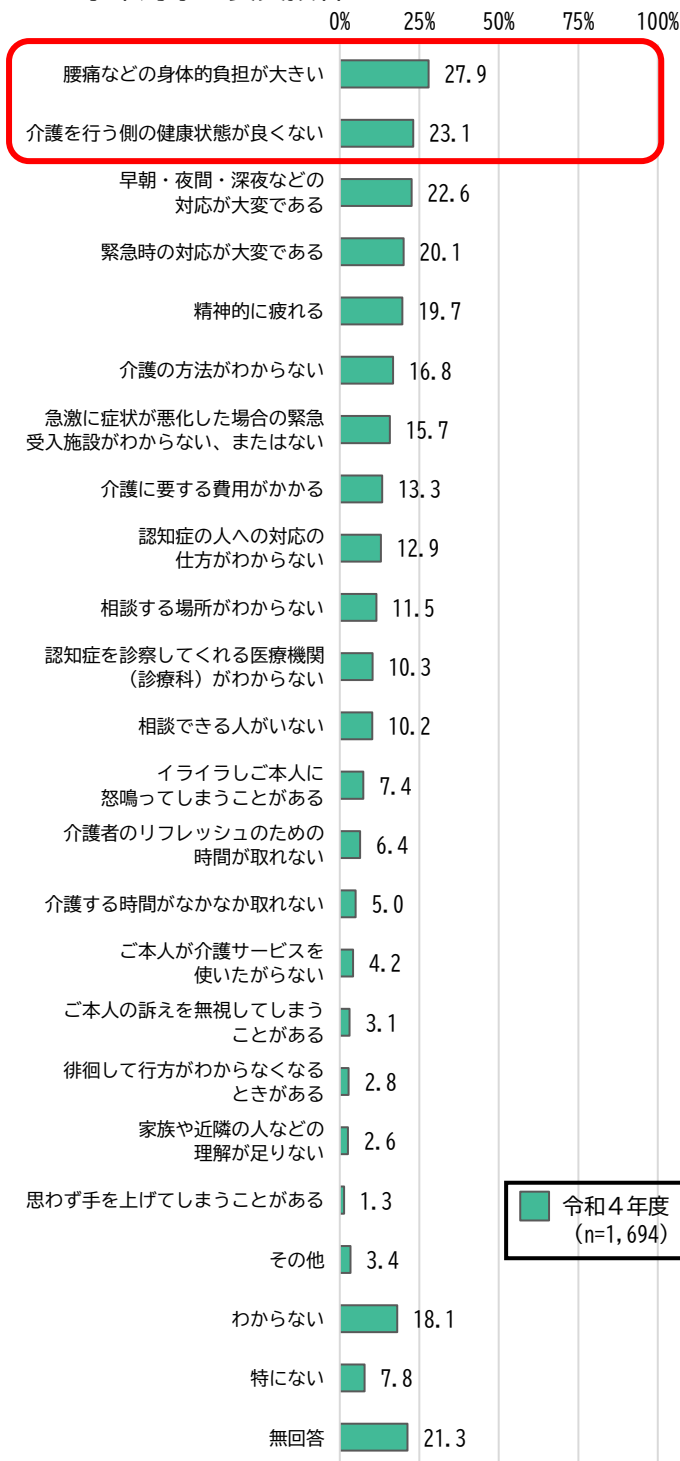
(2) 今後介護を行う上で、困ることや悩むと思うこと

あなたが現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことについて、若年者、一般高齢者では「精神的に疲れる」あるいは「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」と回答した人の割合が高くなっています。また、事業対象・要支援者では「腰痛などの身体的負担が大きい」と回答した人の割合が最も高く、次いで「介護を行う側の健康状態が良くない」となっています。



■ 事業対象・要支援者

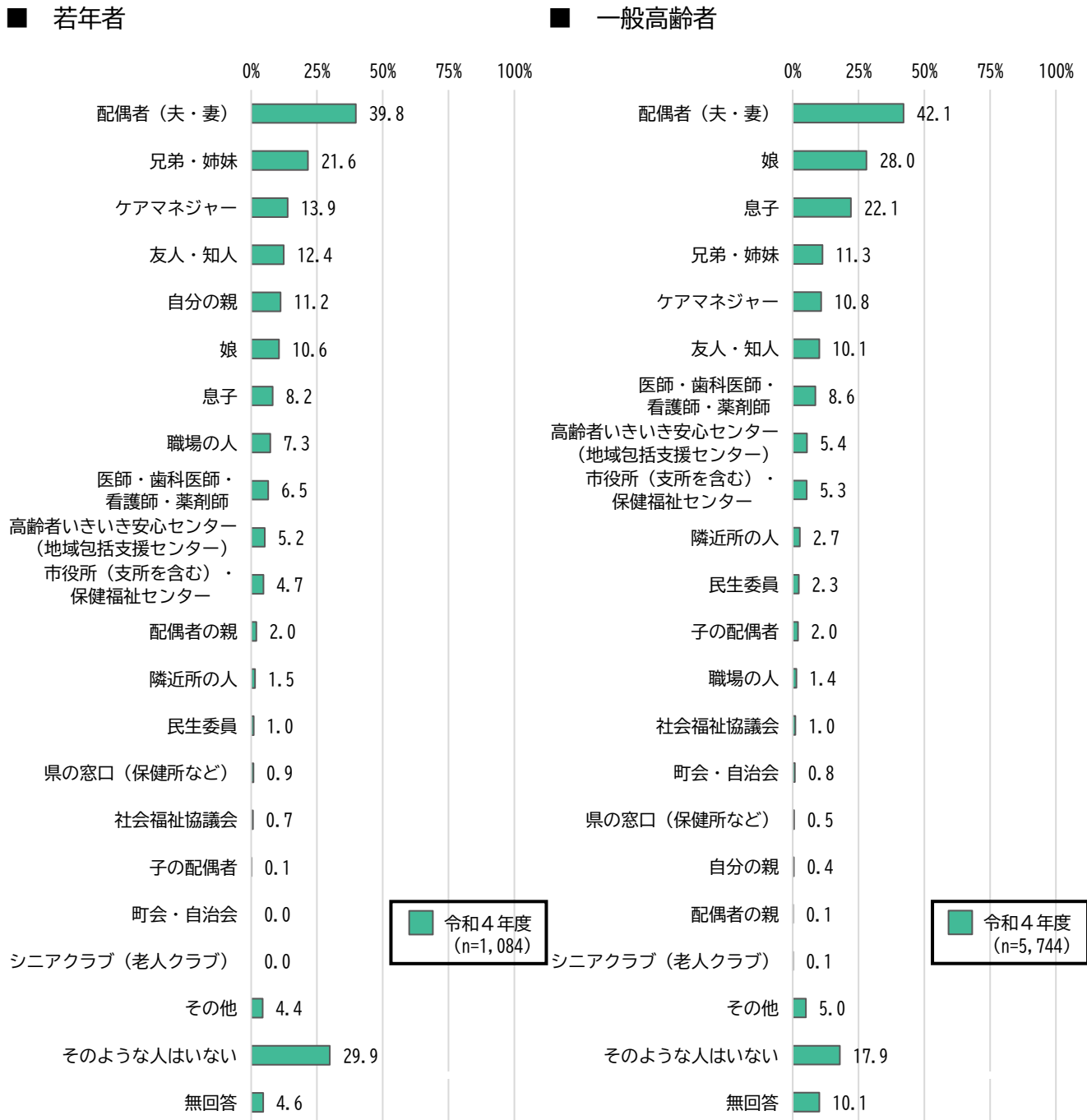


第3章 調査の結果 「15. 介護に関することについて」

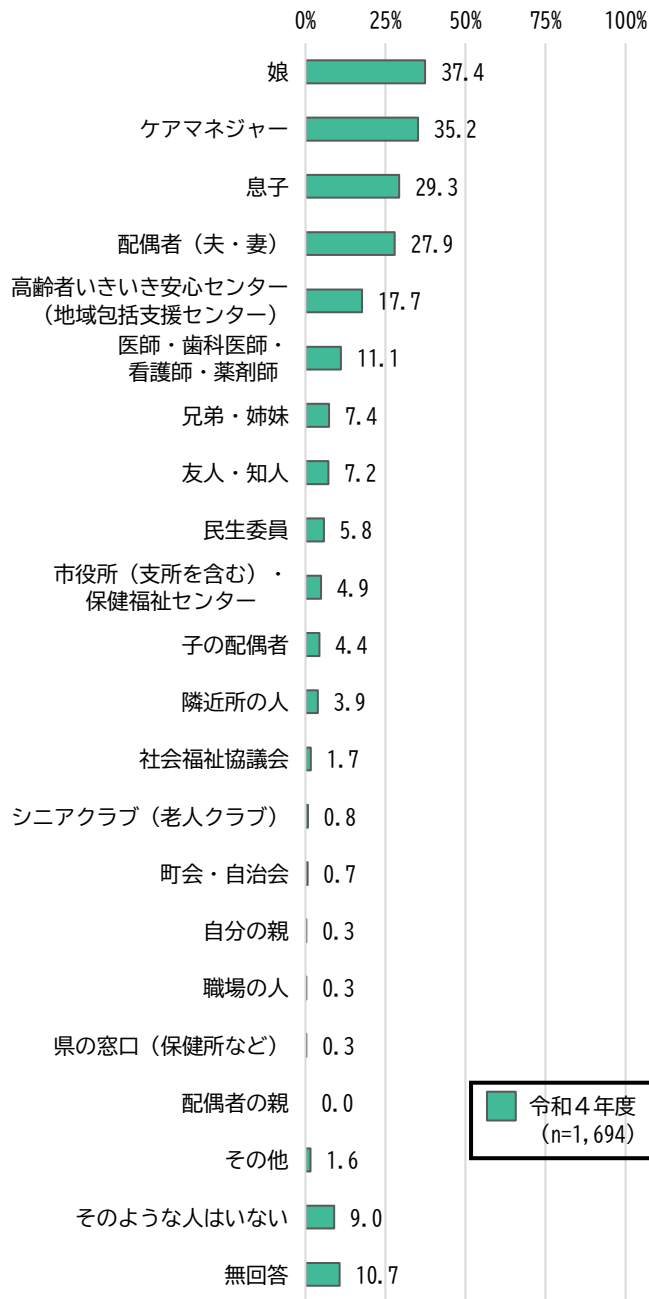
(3) 介護についての相談相手

あなたは、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

介護に関する相談相手について、若年者、一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者では「兄弟・姉妹」、一般高齢者では「娘」となっています。また、事業対象・要支援者では「娘」と回答した人の割合が最も高く、次いで「ケアマネジャー」となっています。



■ 事業対象・要支援者

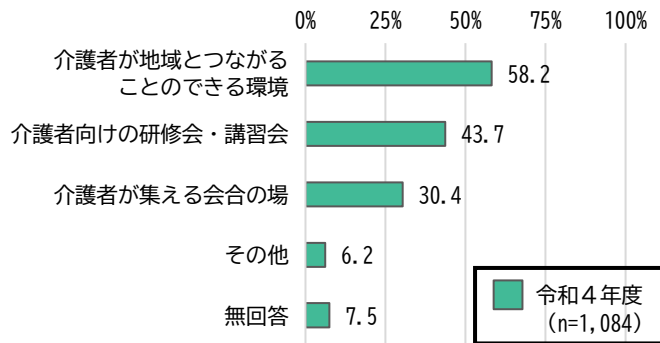


(4) 介護者の支援を充実させるために必要だと思う取り組み

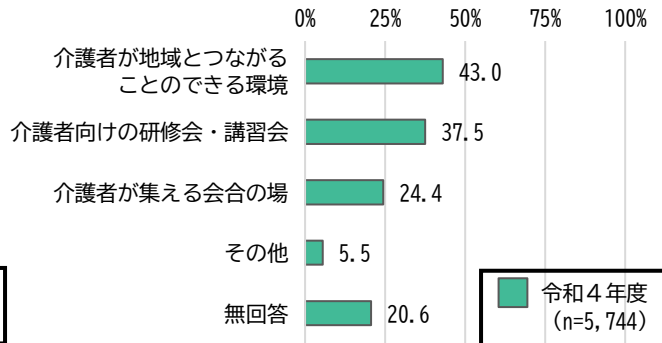
介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

介護者の支援を充実させるために必要だと思う取り組みについて、いずれの調査でも「介護者が地域とつながることのできる環境」と回答した人の割合が最も高くなっています。

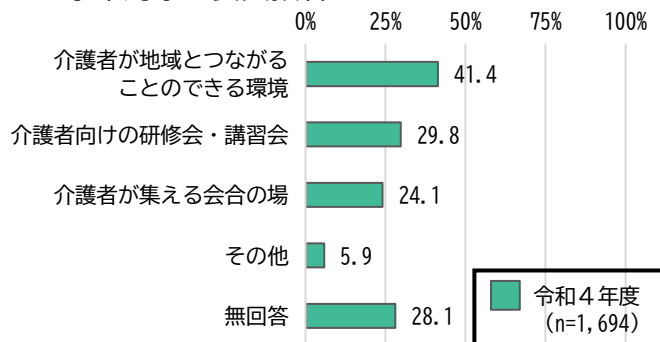
■ 若年者



■ 一般高齢者



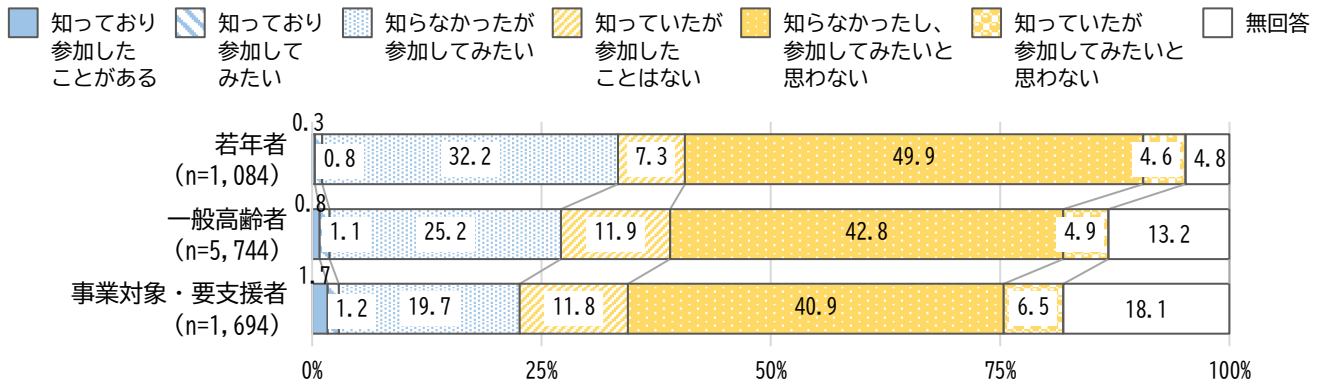
■ 事業対象・要支援者



(5) 「介護者のつどい」の認知度・参加意向

「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

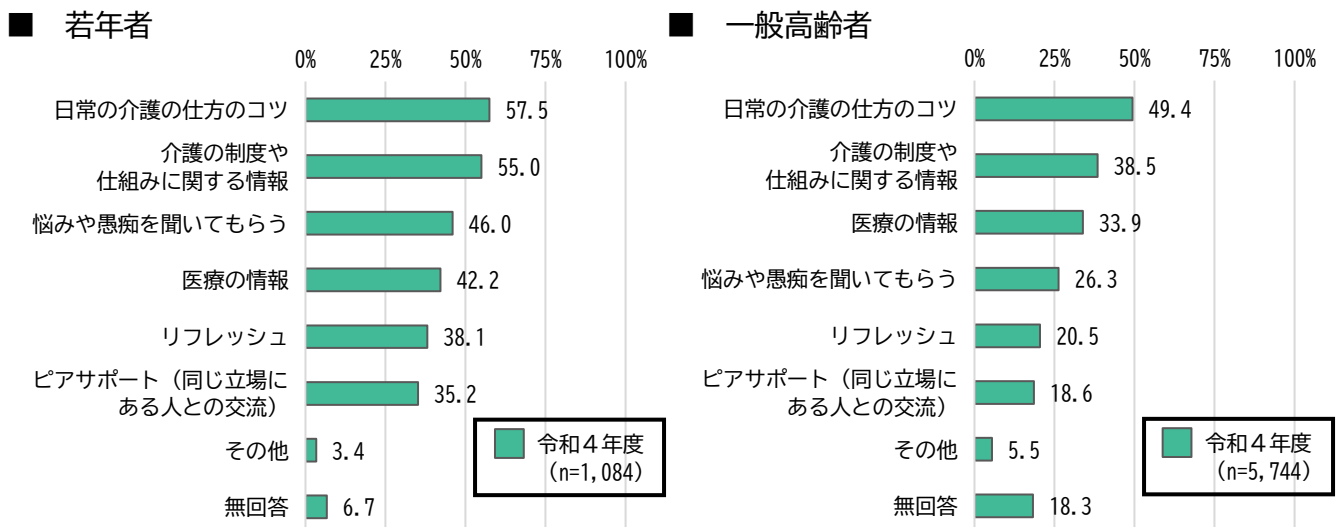
「介護者のつどい」を知っていたかについて、『知っていた』と回答した人の割合は、若年者では13.0%、一般高齢者、事業対象・要支援者では20%前後となっています。また、『参加してみたい』と回答した人の割合は、若年者では33.0%と高く、一般高齢者では26.3%、事業対象・要支援者では20.9%となっています。



※『知っていた』 = 「知っているが参加したことがある」 + 「知っているが参加してみたい」 + 「知っているが参加したことはない」 + 「知っているが参加してみたいと思わない」
 ※『参加してみたい』 = 「知っているが参加してみたい」 + 「知らないが参加してみたい」

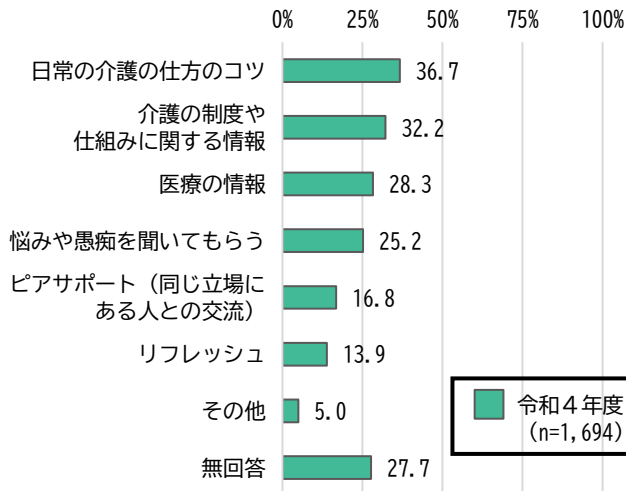
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべての番号に○)

「介護者のつどい」にどのようなことを期待するかについて、いずれの調査でも「日常の介護の仕方のコツ」と回答した人の割合が最も高く、次いで「介護の制度や仕組みに関する情報」となっています。



第3章 調査の結果 「15. 介護に関することについて」

■ 事業対象・要支援者

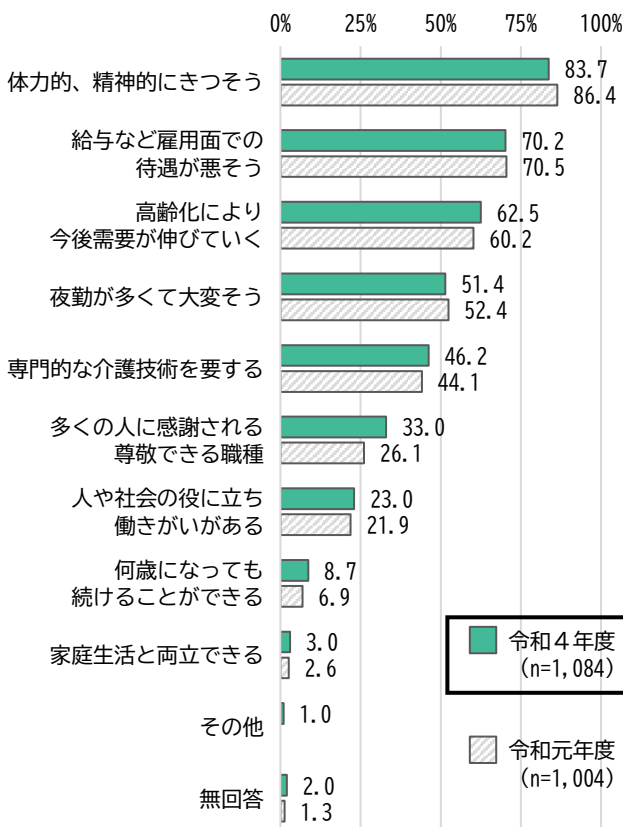


(6) 介護職のイメージ

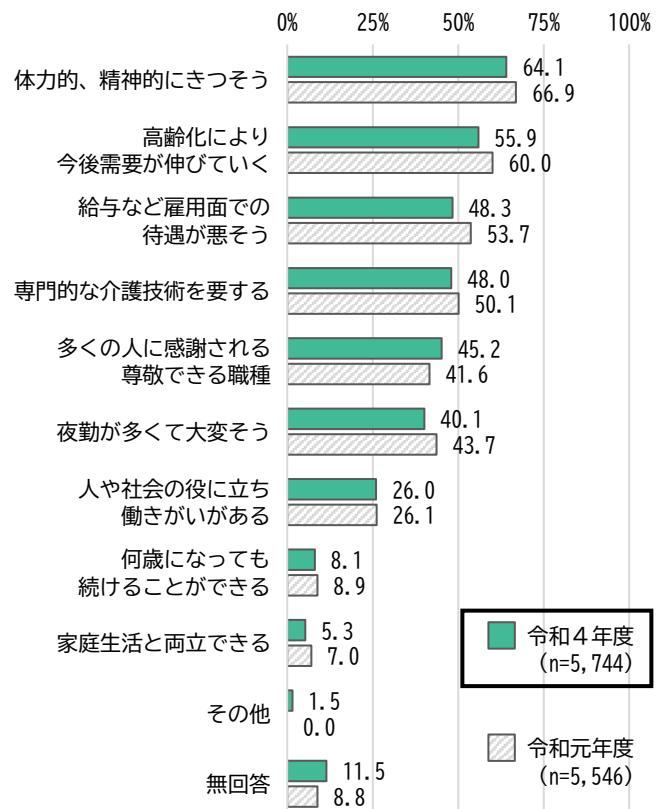
介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

介護職のイメージとしてもっているものについて、若年者、一般高齢者ともに「体力的、精神的にきつそう」と回答した人の割合が最も高く、次いで若年者では「給与など雇用面での待遇が悪そう」、一般高齢者では「高齢化により今後需要が伸びていく」となっています。

■ 若年者



■ 一般高齢者



16. 各種リスク高齢者の割合について

国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」にて設定されている設問・判定方法に準拠し、運動器機能低下やうつ状態等に関するリスクを伴う高齢者の割合を把握するため、各設問に対する回答結果に基づき、以下の8リスク分類に関する判定を行いました。

	リスク分類	設問	選択肢	判定方法
①	運動器機能低下リスク 高齢者	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」	左記設問・選択肢で3問以上が該当
		椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」	
		15分くらい続けて歩いていますか	「3. できない」	
		過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」	
		転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」or 「2. やや不安である」	
②	転倒リスク 高齢者	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当
③	閉じこもりリスク 高齢者	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」or 「2. 週1回」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当
④	うつリスク 高齢者	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢でいずれか1つでも選択した場合は該当
		この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」	
⑤	認知症リスク 高齢者	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当
⑥	IADLの低下リスク 高齢者	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	左記設問・選択肢を選択した場合を1点とし、計3点以下で該当
		自分で食品・日用品の買い物をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
		自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
		自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
		自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
⑦	咀嚼機能低下リスク 高齢者	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当
⑧	栄養改善リスク 高齢者	あなたの身長と体重をご回答ください	BMI (体重(kg) ÷ {身長(m)の2乗}) < 18.5	BMI < 18.5に該当する場合は該当

第3章 調査の結果 「16. 各種リスク高齢者の割合について」

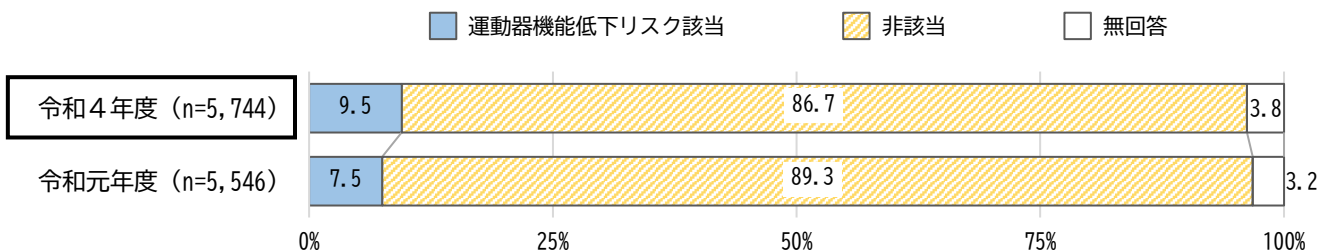
① 運動器機能低下リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

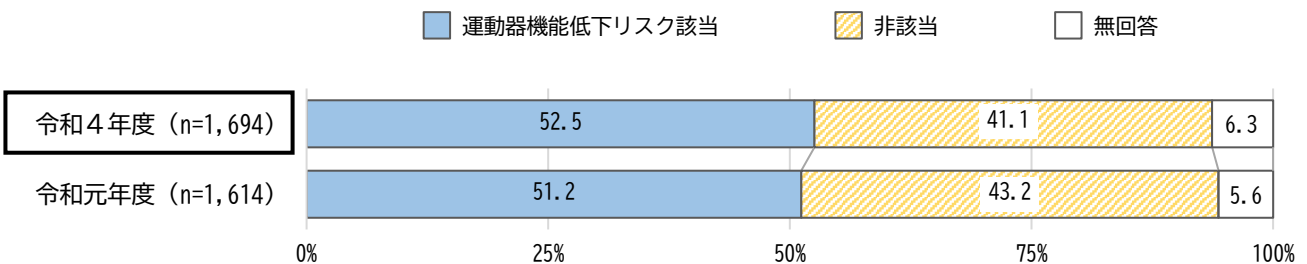
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
運動器機能低下リスク 高齢者	階段を手すりや壁をつた わらずに昇っていますか	「3. できない」	左記設問・選択 肢で3問以上が 該当
	椅子に座った状態から何 もつかまらずに立ち上が っていますか	「3. できない」	
	15分くらい続けて歩いて いますか	「3. できない」	
	過去1年間に転んだ経験 がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」	
	転倒に対する不安は大き いですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」	

運動器機能低下リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では9.5%にとどまっているものの、事業対象・要支援者では52.5%と半数を超え、要介護者（軽度）では60.4%と大幅に該当割合が高くなっています。一般高齢者の運動器機能低下リスク該当者に対して、できるだけ足腰の衰え抑止につながる運動を推進し、運動器機能の低下、介護予防につなげていく取り組みが求められます。なお、要介護者（軽度）では運動器機能低下リスクの該当割合が前回調査より減少しています。

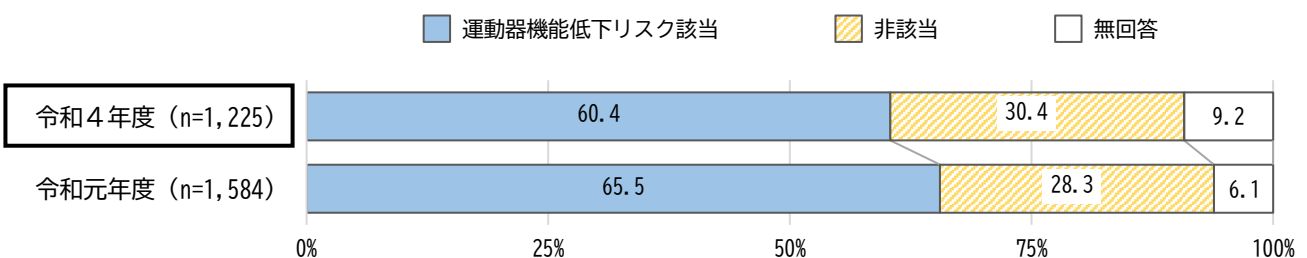
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



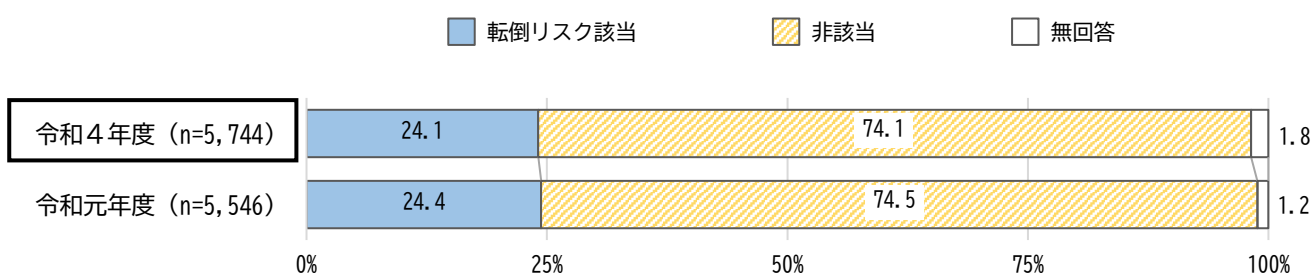
② 転倒リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

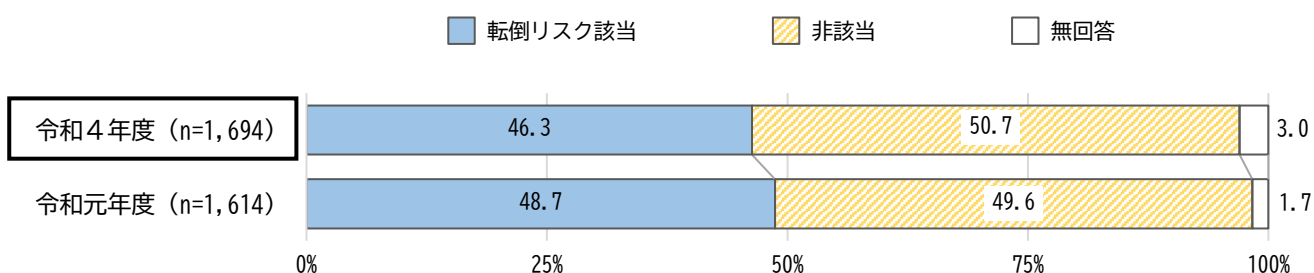
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
転倒リスク 高齢者	過去1年間に転んだ経験 がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」	左記設問・選択 肢に該当する場 合は該当

転倒リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では24.1%にとどまっているものの、事業対象・要支援者では46.3%、要介護者（軽度）では52.8%と一般高齢者の2倍となっています。なお、要介護者（軽度）では転倒リスクの該当割合が前回調査より減少しています。

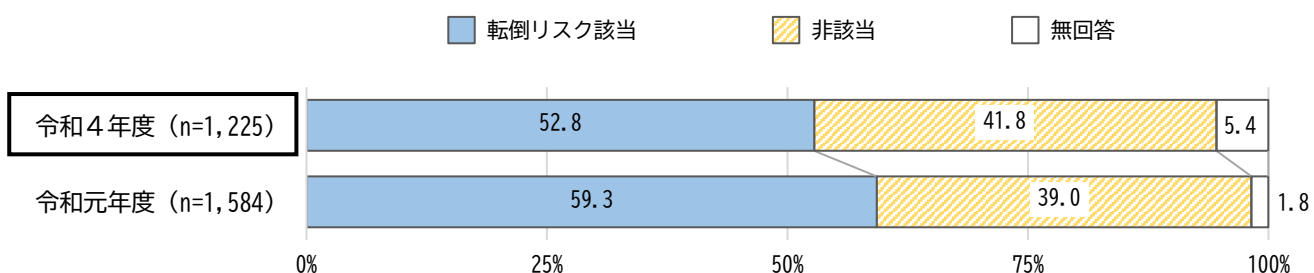
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



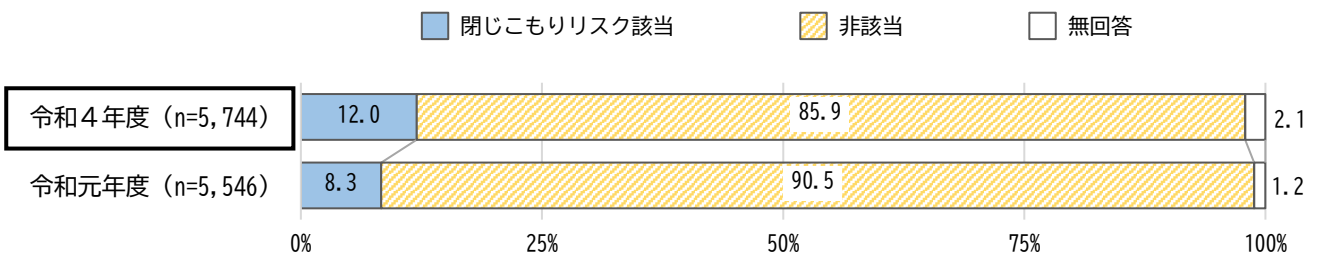
③ 閉じこもりリスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

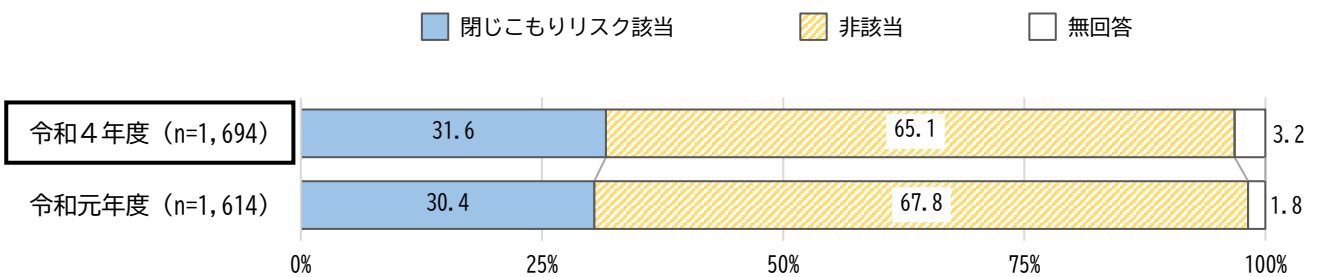
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
閉じこもりリスク 高齢者	週に1回以上は外出して いますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」	左記設問・選択 肢に該当する場 合は該当

閉じこもりリスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では12.0%にとどまっているものの、事業対象・要支援者では31.6%、要介護者（軽度）では35.6%とリスク該当者が一般高齢者の2倍以上となっています。なお、一般高齢者では閉じこもりリスクの該当割合が前回調査より増加しています。

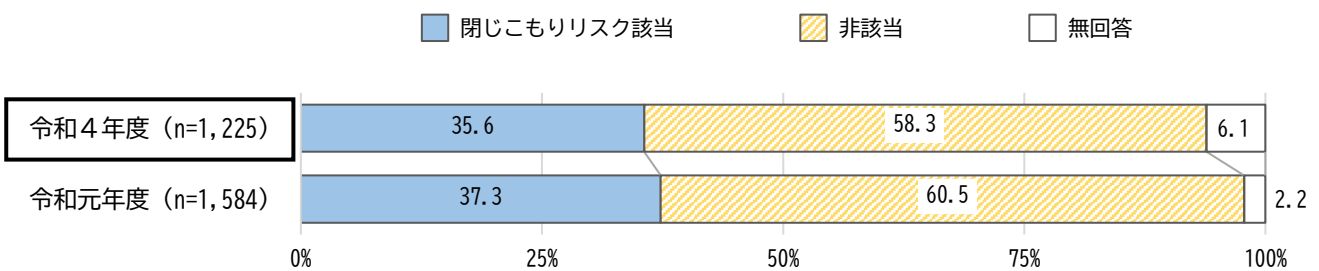
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



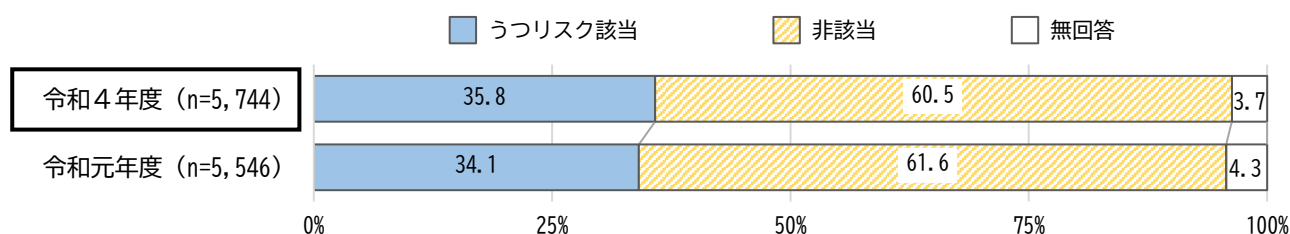
④ うつリスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

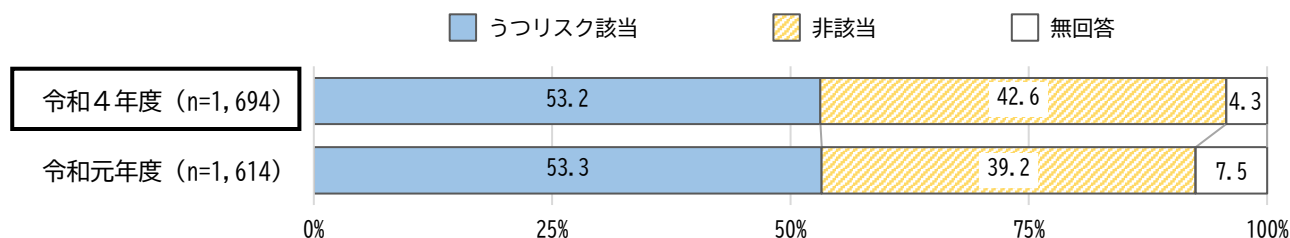
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
うつリスク 高齢者	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢でいずれか1つでも選択した場合は該当
	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」	

うつリスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では35.8%、事業対象・要支援者では53.2%、要介護者（軽度）では60.5%となっています。なお、いずれの調査でもうつリスクの該当割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

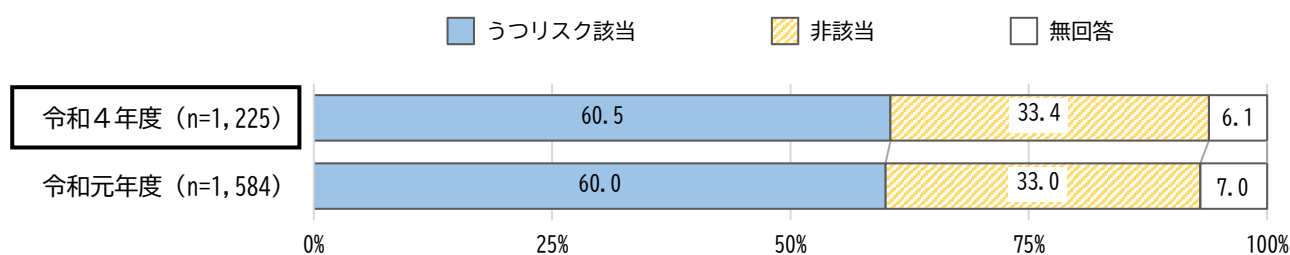
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



第3章 調査の結果 「16. 各種リスク高齢者の割合について」

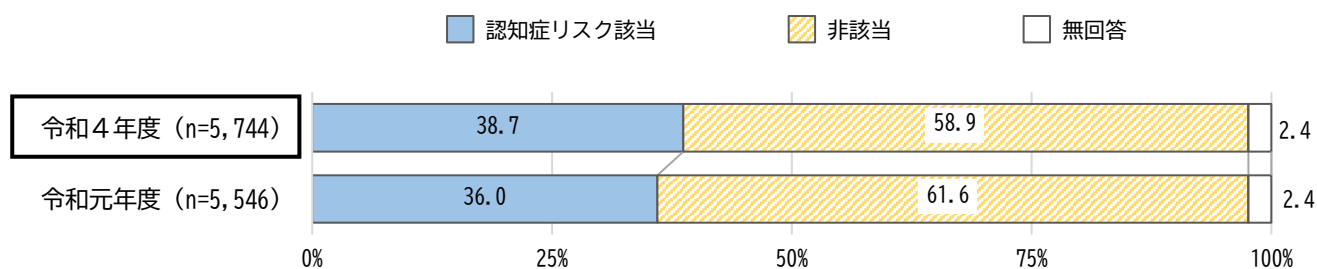
⑤ 認知症リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

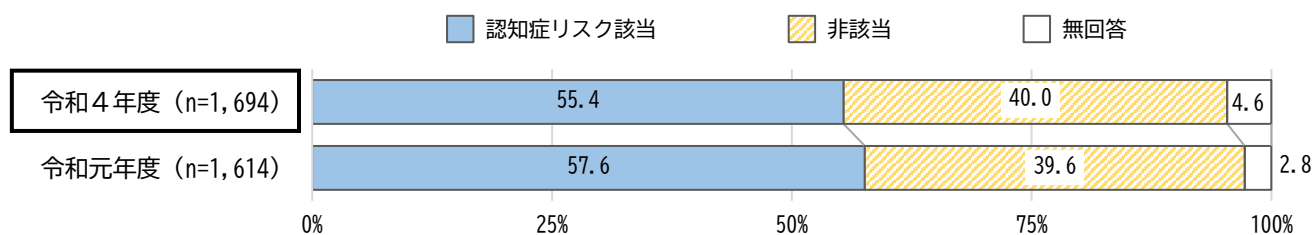
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
認知症リスク 高齢者	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当

認知症リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では38.7%、事業対象・要支援者では55.4%、要介護者（軽度）では68.8%となっています。なお、要介護者（軽度）では認知症リスクの該当割合が前回調査より減少しています。

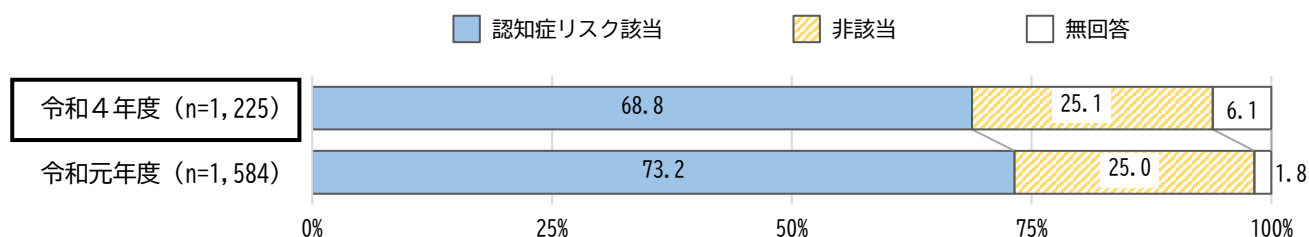
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



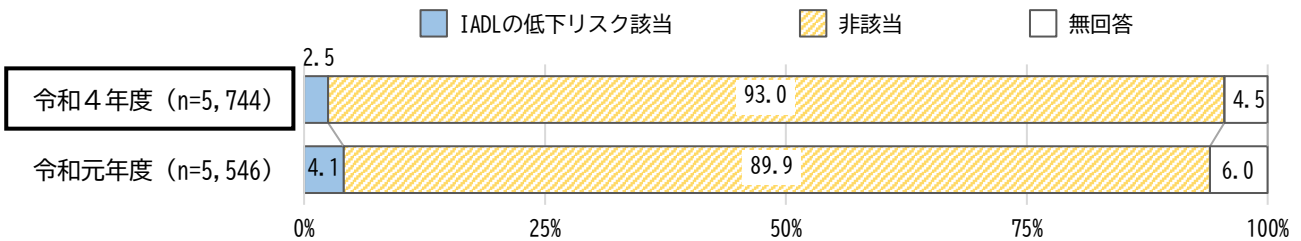
⑥ IADL（手段的日常生活動作）の低下リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

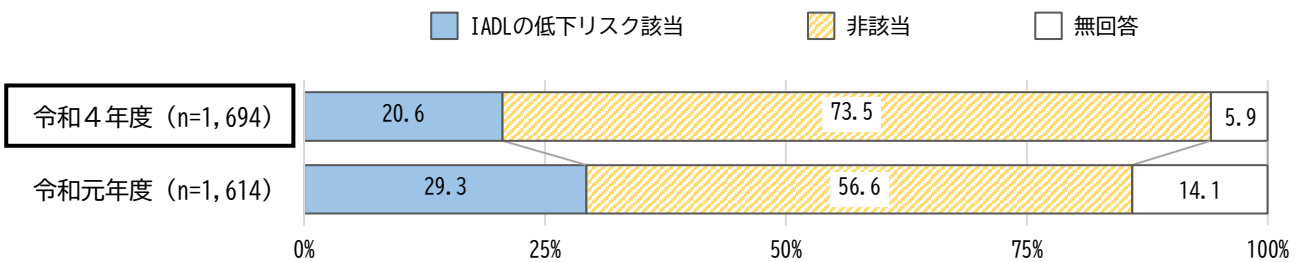
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
IADLの低下リスク高齢者	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	左記設問・選択肢を選択した場合を1点とし、計3点以下で該当
	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	
	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけれどしていない」	

IADLの低下リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では2.5%にとどまっているものの、事業対象・要支援者では20.6%、要介護者（軽度）では59.8%と大幅に割合が高くなっています。要支援・要介護となることでIADLの低下が顕著に現れると考えられます。なお、事業対象・要支援者、要介護者（軽度）ではIADLの低下リスクの該当割合が前回調査より減少しています。

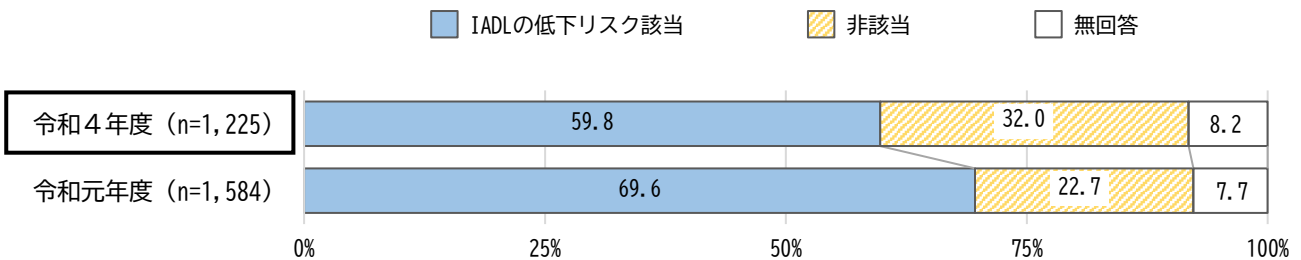
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



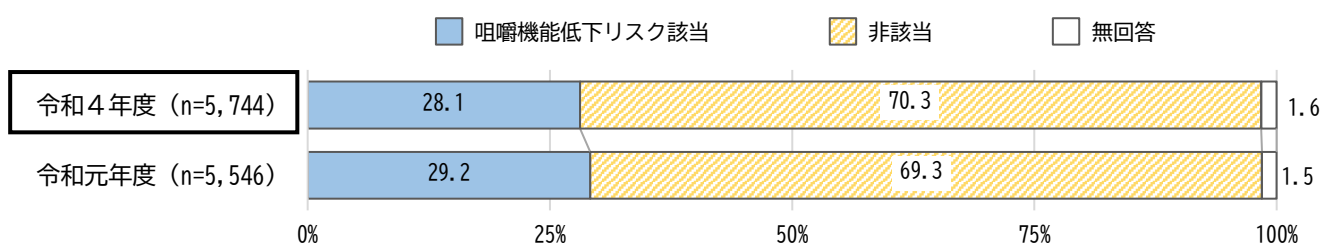
⑦ 咀嚼機能低下リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

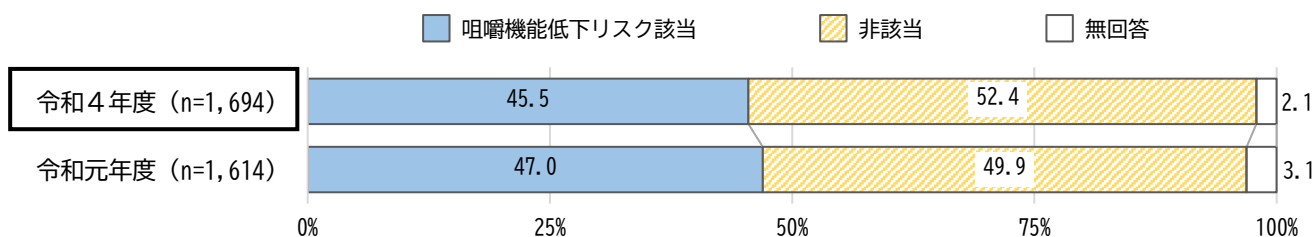
リスク分類	設問	選択肢	判定方法
咀嚼機能低下リスク 高齢者	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢に該当する場合は該当

咀嚼機能低下リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では 28.1%にとどまっているものの、事業対象・要支援者では 45.5%、要介護者（軽度）では 47.8%となっています。なお、いずれの調査でも咀嚼機能低下リスクの該当割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

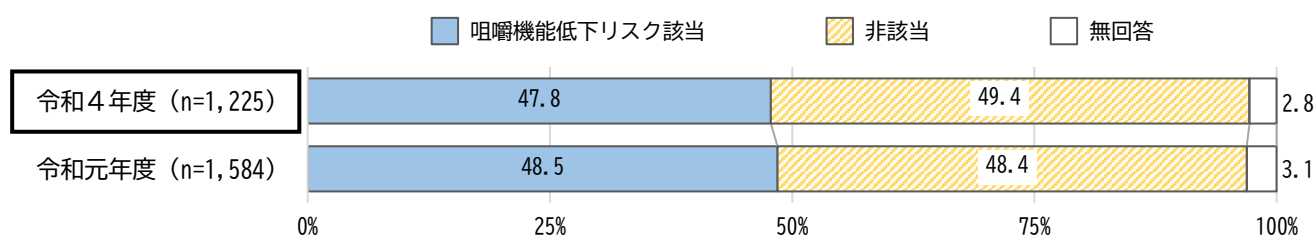
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



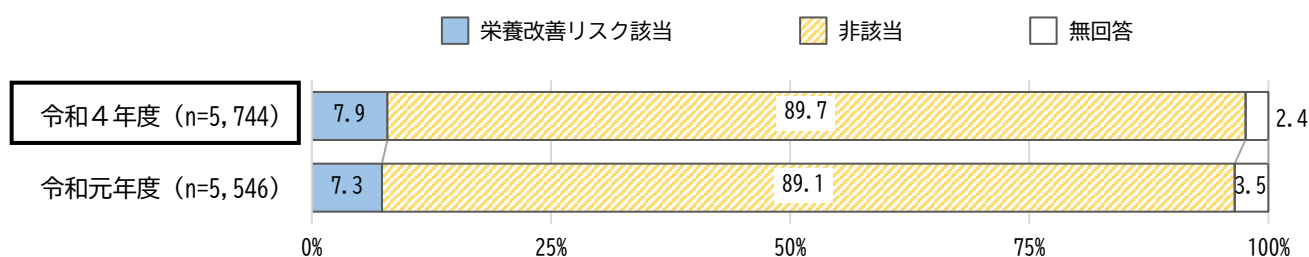
⑧ 栄養改善リスク高齢者の該当割合

該当者判定方法

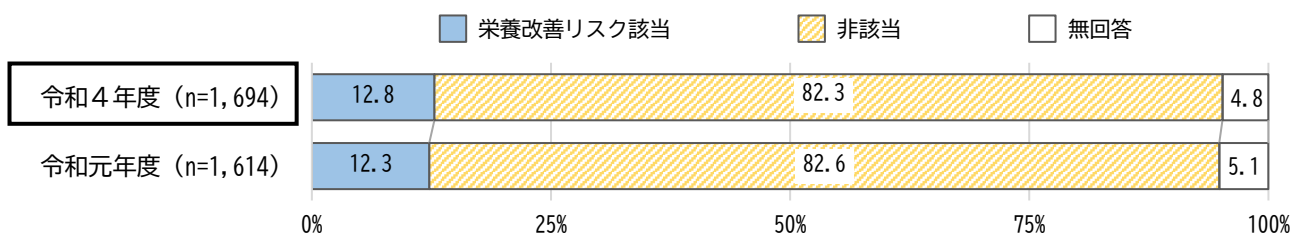
リスク分類	設 問	選択肢	判定方法
栄養改善リスク 高齢者	あなたの身長と体重をご 回答ください	BMI (体重(kg) ÷ {身長(m)の2 乗}) < 18.5	BMI < 18.5 に該 当する場合は該 当

栄養改善リスク高齢者の該当割合について、一般高齢者では7.9%にとどまっており、事業対象・要支援者では12.8%、要介護者（軽度）では15.6%となっています。なお、いずれの調査でも栄養改善リスクの該当割合に前回調査から大きな変化は見られていません。

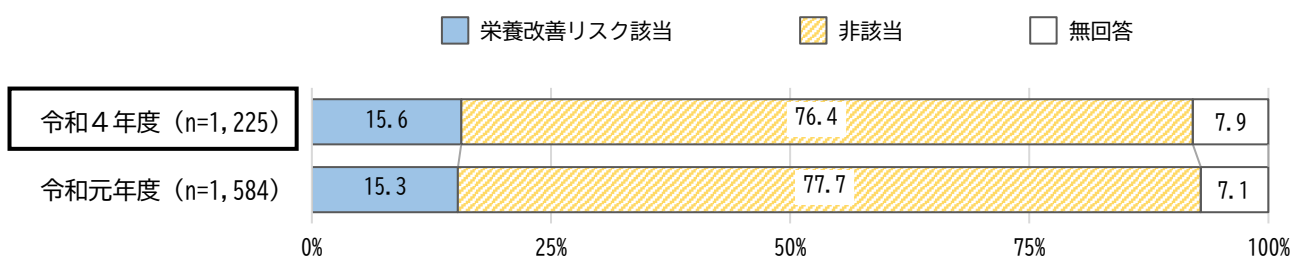
■ 一般高齢者



■ 事業対象・要支援者



■ 要介護者（軽度）



17. 圏域別集計について

高齢者虐待を発見した場合の通報する（努力）義務について

あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（1つの番号に○）

■ 若年者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,084	46.1	53.2	0.8
明第1	76	42.1	57.9	0.0
明第2西	70	55.7	41.4	2.9
明第2東	67	47.8	47.8	4.5
本庁	81	35.8	64.2	0.0
矢切	64	50.0	50.0	0.0
東部	76	39.5	60.5	0.0
常盤平	69	43.5	56.5	0.0
常盤平団地	57	47.4	52.6	0.0
五香松飛台	78	47.4	52.6	0.0
六実六高台	70	52.9	47.1	0.0
小金	78	53.8	43.6	2.6
小金原	69	49.3	50.7	0.0
新松戸	69	42.0	58.0	0.0
馬橋西	85	42.4	57.6	0.0
馬橋	75	49.3	49.3	1.3

■ 一般高齢者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	5,744	50.5	45.9	3.5
明第1	387	51.2	45.5	3.4
明第2西	381	55.9	39.9	4.2
明第2東	400	51.5	46.2	2.2
本庁	369	50.1	48.5	1.4
矢切	356	50.8	44.9	4.2
東部	377	53.3	44.3	2.4
常盤平	392	49.7	47.2	3.1
常盤平団地	343	52.2	43.4	4.4
五香松飛台	402	52.2	43.8	4.0
六実六高台	377	47.7	49.1	3.2
小金	397	49.9	45.1	5.0
小金原	380	50.8	42.6	6.6
新松戸	394	45.4	51.5	3.0
馬橋西	398	48.5	47.5	4.0
馬橋	390	50.3	47.7	2.1

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,694	46.6	44.1	9.3
明第1	113	43.4	48.7	8.0
明第2西	111	41.4	46.8	11.7
明第2東	120	50.8	42.5	6.7
本庁	114	43.0	48.2	8.8
矢切	111	44.1	45.9	9.9
東部	106	47.2	46.2	6.6
常盤平	125	44.8	43.2	12.0
常盤平団地	87	51.7	39.1	9.2
五香松飛台	104	52.9	38.5	8.7
六実六高台	118	51.7	39.0	9.3
小金	119	47.9	45.4	6.7
小金原	120	41.7	53.3	5.0
新松戸	128	50.8	41.4	7.8
馬橋西	105	47.6	38.1	14.3
馬橋	112	46.4	37.5	16.1

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,225	45.0	47.1	7.9
明第1	119	45.4	48.7	5.9
明第2西	69	44.9	44.9	10.1
明第2東	50	48.0	50.0	2.0
本庁	53	39.6	47.2	13.2
矢切	55	34.5	52.7	12.7
東部	87	48.3	39.1	12.6
常盤平	145	48.3	43.4	8.3
常盤平団地	20	55.0	45.0	0.0
五香松飛台	99	51.5	41.4	7.1
六実六高台	65	46.2	49.2	4.6
小金	110	48.2	46.4	5.5
小金原	103	37.9	51.5	10.7
新松戸	91	49.5	44.0	6.6
馬橋西	57	35.1	57.9	7.0
馬橋	101	38.6	53.5	7.9

■ 要介護者（重度）

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	669	47.4	42.7	9.8
明第1	65	56.9	35.4	7.7
明第2西	51	49.0	41.2	9.8
明第2東	31	54.8	38.7	6.5
本庁	36	55.6	25.0	19.4
矢切	30	40.0	50.0	10.0
東部	50	44.0	50.0	6.0
常盤平	71	50.7	35.2	14.1
常盤平団地	13	30.8	61.5	7.7
五香松飛台	76	40.8	48.7	10.5
六実六高台	43	53.5	39.5	7.0
小金	65	41.5	47.7	10.8
小金原	35	62.9	25.7	11.4
新松戸	30	36.7	50.0	13.3
馬橋西	27	40.7	55.6	3.7
馬橋	45	42.2	51.1	6.7

高齢者虐待を発見した場合の通報先について

あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（1つの番号に○）

■ 若年者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,084	12.2	87.1	0.7
明第1	76	13.2	86.8	0.0
明第2西	70	12.9	84.3	2.9
明第2東	67	9.0	88.1	3.0
本庁	81	9.9	90.1	0.0
矢切	64	14.1	85.9	0.0
東部	76	13.2	86.8	0.0
常盤平	69	8.7	91.3	0.0
常盤平団地	57	21.1	78.9	0.0
五香松飛台	78	12.8	87.2	0.0
六実六高台	70	12.9	87.1	0.0
小金	78	10.3	88.5	1.3
小金原	69	14.5	85.5	0.0
新松戸	69	11.6	87.0	1.4
馬橋西	85	12.9	87.1	0.0
馬橋	75	16.0	82.7	1.3

■ 一般高齢者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	5,744	16.3	79.8	3.9
明第1	387	16.0	80.1	3.9
明第2西	381	19.7	76.1	4.2
明第2東	400	17.2	80.5	2.2
本庁	369	14.1	83.2	2.7
矢切	356	13.5	81.7	4.8
東部	377	18.8	78.8	2.4
常盤平	392	16.3	80.9	2.8
常盤平団地	343	18.1	76.7	5.2
五香松飛台	402	17.2	78.9	4.0
六実六高台	377	15.9	79.8	4.2
小金	397	17.4	76.3	6.3
小金原	380	17.1	76.1	6.8
新松戸	394	13.2	83.8	3.0
馬橋西	398	15.8	79.4	4.8
馬橋	390	13.6	83.6	2.8

第3章 調査の結果 「17. 圏域別集計について」

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,694	12.3	75.8	11.9
明第1	113	14.2	75.2	10.6
明第2西	111	10.8	79.3	9.9
明第2東	120	11.7	79.2	9.2
本庁	114	7.0	82.5	10.5
矢切	111	18.0	70.3	11.7
東部	106	14.2	74.5	11.3
常盤平	125	13.6	78.4	8.0
常盤平団地	87	16.1	74.7	9.2
五香松飛台	104	12.5	75.0	12.5
六実六高台	118	11.0	70.3	18.6
小金	119	6.7	74.8	18.5
小金原	120	10.8	80.0	9.2
新松戸	128	10.2	78.9	10.9
馬橋西	105	15.2	70.5	14.3
馬橋	112	14.3	68.8	17.0

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	1,225	13.6	78.2	8.2
明第1	119	12.6	82.4	5.0
明第2西	69	17.4	72.5	10.1
明第2東	50	8.0	88.0	4.0
本庁	53	13.2	73.6	13.2
矢切	55	9.1	76.4	14.5
東部	87	10.3	73.6	16.1
常盤平	145	13.1	80.0	6.9
常盤平団地	20	20.0	80.0	0.0
五香松飛台	99	18.2	74.7	7.1
六実六高台	65	15.4	80.0	4.6
小金	110	13.6	80.0	6.4
小金原	103	13.6	76.7	9.7
新松戸	91	16.5	75.8	7.7
馬橋西	57	8.8	86.0	5.3
馬橋	101	13.9	76.2	9.9

■ 要介護者（重度）

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	669	15.1	75.3	9.6
明第1	65	15.4	76.9	7.7
明第2西	51	19.6	70.6	9.8
明第2東	31	12.9	80.6	6.5
本庁	36	27.8	58.3	13.9
矢切	30	10.0	80.0	10.0
東部	50	12.0	82.0	6.0
常盤平	71	21.1	63.4	15.5
常盤平団地	13	0.0	92.3	7.7
五香松飛台	76	15.8	73.7	10.5
六実六高台	43	14.0	76.7	9.3
小金	65	10.8	78.5	10.8
小金原	35	20.0	71.4	8.6
新松戸	30	6.7	83.3	10.0
馬橋西	27	7.4	85.2	7.4
馬橋	45	20.0	73.3	6.7

高齢者いきいき安心センターについて

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

■ 若年者

	回答者数	名称は知っている	どこにあるか知っている	日常生活圏域ごとに一箇所あること	介護に関する相談窓口であること	健康・医療・福祉に関する相談窓口であること	認知症に関する相談窓口であること	権利擁護に関する相談窓口であること	成年後見制度に関する相談窓口であること	総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること	要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること	いずれも知らない	無回答
全体	1,084	37.9	15.7	9.8	26.1	14.1	13.4	6.4	5.9	4.2	10.9	53.7	1.4
明第1	76	39.5	11.8	5.3	27.6	17.1	11.8	5.3	3.9	3.9	13.2	50.0	1.3
明第2西	70	31.4	14.3	8.6	14.3	11.4	4.3	2.9	1.4	1.4	8.6	64.3	1.4
明第2東	67	37.3	9.0	7.5	17.9	9.0	9.0	3.0	4.5	4.5	10.4	58.2	1.5
本庁	81	37.0	18.5	14.8	28.4	14.8	13.6	6.2	6.2	4.9	7.4	51.9	1.2
矢切	64	43.7	21.9	17.2	29.7	17.2	21.9	10.9	9.4	4.7	9.4	53.1	3.1
東部	76	25.0	9.2	7.9	21.1	5.3	11.8	6.6	7.9	5.3	10.5	63.2	0.0
常盤平	69	50.7	20.3	11.6	29.0	14.5	13.0	7.2	5.8	2.9	11.6	42.0	1.4
常盤平団地	57	47.4	19.3	5.3	21.1	10.5	17.5	7.0	8.8	1.8	14.0	43.9	1.8
五香松飛台	78	35.9	21.8	9.0	24.4	12.8	10.3	6.4	5.1	3.8	11.5	59.0	0.0
六美六高台	70	41.4	17.1	7.1	30.0	18.6	17.1	2.9	2.9	2.9	1.4	45.7	1.4
小金	78	43.6	21.8	11.5	33.3	20.5	19.2	11.5	9.0	9.0	19.2	48.7	1.3
小金原	69	29.0	20.3	8.7	30.4	20.3	14.5	5.8	4.3	5.8	11.6	47.8	4.3
新松戸	69	36.2	13.0	15.9	33.3	15.9	20.3	7.2	8.7	1.4	8.7	55.1	0.0
馬橋西	85	37.6	7.1	10.6	23.5	16.5	10.6	8.2	10.6	5.9	10.6	60.0	0.0
馬橋	75	37.3	14.7	8.0	22.7	9.3	12.0	5.3	4.0	2.7	9.3	58.7	4.0

■ 一般高齢者

	回答者数	名称は知っている	どこにあるか知っている	日常生活圏域ごとに一箇所あること	介護に関する相談窓口であること	健康・医療・福祉に関する相談窓口であること	認知症に関する相談窓口であること	権利擁護に関する相談窓口であること	成年後見制度に関する相談窓口であること	総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること	要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること	いずれも知らない	無回答
全体	5,744	48.0	23.3	12.3	27.6	18.7	13.6	4.4	5.2	2.8	12.5	41.5	4.5
明第1	387	45.0	20.4	9.8	23.3	16.0	11.1	3.9	3.4	2.6	10.1	45.5	3.9
明第2西	381	48.6	22.3	13.6	29.4	18.4	14.4	3.9	5.2	3.9	15.0	38.1	6.3
明第2東	400	42.7	20.7	9.7	24.2	15.5	10.2	4.2	6.7	2.7	10.7	47.2	3.0
本庁	369	49.6	25.2	11.9	29.5	20.1	13.6	4.3	5.7	3.8	11.7	40.4	4.3
矢切	356	41.9	21.9	8.1	25.0	21.6	10.1	4.5	5.6	3.4	10.7	43.8	5.9
東部	377	45.9	17.5	9.0	25.7	17.0	11.9	3.7	4.5	1.9	11.4	44.6	3.7
常盤平	392	46.7	27.6	13.3	27.0	19.6	13.3	5.9	6.6	3.6	15.6	43.1	3.8
常盤平団地	343	54.5	28.0	11.4	31.5	21.9	13.4	4.4	6.4	3.2	10.8	33.2	5.5
五香松飛台	402	53.0	30.3	16.2	31.6	20.4	17.7	5.0	5.0	3.2	14.7	37.8	4.2
六美六高台	377	51.2	30.8	12.7	30.5	17.8	13.5	4.2	4.0	4.0	10.9	36.9	5.0
小金	397	48.4	21.9	15.9	28.5	18.9	15.6	4.8	6.8	2.3	14.6	39.5	5.5
小金原	380	51.3	21.6	15.3	28.9	22.1	18.2	6.1	6.1	2.6	11.6	37.1	6.6
新松戸	394	48.7	20.6	11.4	30.2	18.8	15.7	4.1	5.1	1.8	13.7	42.6	3.3
馬橋西	398	45.5	21.1	10.6	24.4	16.8	7.8	2.0	3.5	1.5	9.3	43.2	4.8
馬橋	390	49.5	23.1	12.3	26.7	17.9	13.6	4.1	4.1	2.3	11.3	42.1	3.8

第3章 調査の結果 「17. 圏域別集計について」

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	名称は知っている	どこにあるか知っている	日常生活圏域ごとに一箇所あること	介護に関する相談窓口であること	健康・医療・福祉に関する相談窓口であること	認知症に関する相談窓口であること	権利擁護に関する相談窓口であること	成年後見制度に関する相談窓口であること	総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること	要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること	いずれも知らない	無回答
全体	1,694	63.2	44.7	20.9	44.7	23.4	14.5	3.8	4.5	5.2	40.0	16.1	9.5
明第1	113	57.5	36.3	18.6	35.4	20.4	8.8	2.7	2.7	2.7	31.0	19.5	13.3
明第2西	111	53.2	36.9	17.1	40.5	17.1	12.6	3.6	3.6	6.3	34.2	25.2	9.9
明第2東	120	70.8	54.2	22.5	50.8	21.7	15.8	6.7	4.2	4.2	46.7	15.0	3.3
本庁	114	66.7	47.4	18.4	43.0	21.1	7.9	2.6	2.6	7.0	35.1	16.7	7.0
矢切	111	58.6	41.4	15.3	47.7	28.8	15.3	4.5	10.8	8.1	35.1	18.9	6.3
東部	106	55.7	31.1	19.8	42.5	24.5	17.0	5.7	6.6	5.7	30.2	24.5	10.4
常盤平	125	68.0	55.2	23.2	48.8	20.8	14.4	2.4	4.0	4.0	50.4	12.0	8.8
常盤平団地	87	62.1	54.0	21.8	43.7	23.0	13.8	6.9	4.6	8.0	37.9	16.1	10.3
五香松飛台	104	72.1	51.0	19.2	49.0	26.9	15.4	0.0	1.0	10.6	44.2	8.7	6.7
六実六高台	118	69.5	51.7	19.5	51.7	27.1	22.0	4.2	3.4	3.4	42.4	13.6	9.3
小金	119	63.9	45.4	25.2	45.4	33.6	17.6	5.9	8.4	9.2	36.1	17.6	12.6
小金原	120	67.5	45.8	20.8	45.8	21.7	15.0	6.7	4.2	4.2	47.5	12.5	5.8
新松戸	128	69.5	47.7	28.1	53.1	28.1	19.5	3.9	5.5	3.9	49.2	7.8	9.4
馬橋西	105	52.4	35.2	21.9	38.1	20.0	11.4	1.9	4.8	3.8	40.0	19.0	11.4
馬橋	112	56.3	37.5	17.9	37.5	17.9	12.5	2.7	3.6	1.8	33.9	18.8	12.5

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	名称は知っている	どこにあるか知っている	日常生活圏域ごとに一箇所あること	介護に関する相談窓口であること	健康・医療・福祉に関する相談窓口であること	認知症に関する相談窓口であること	権利擁護に関する相談窓口であること	成年後見制度に関する相談窓口であること	総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること	要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること	いずれも知らない	無回答
全体	1,225	46.2	27.3	11.9	32.0	14.4	13.2	4.3	4.3	3.0	18.1	27.6	14.5
明第1	119	47.9	31.1	12.6	33.6	9.2	7.6	5.9	3.4	2.5	17.6	29.4	11.8
明第2西	69	46.4	21.7	7.2	29.0	15.9	15.9	4.3	5.8	5.8	20.3	31.9	11.6
明第2東	50	46.0	28.0	20.0	38.0	12.0	8.0	2.0	2.0	2.0	14.0	26.0	12.0
本庁	53	56.6	26.4	11.3	39.6	11.3	18.9	1.9	5.7	1.9	15.1	18.9	18.9
矢切	55	30.9	16.4	5.5	23.6	10.9	9.1	3.6	5.5	3.6	10.9	34.5	25.5
東部	87	44.8	20.7	4.6	24.1	10.3	11.5	3.4	5.7	3.4	12.6	29.9	17.2
常盤平	145	43.4	23.4	13.1	29.0	18.6	13.8	2.1	3.4	2.8	20.0	31.0	11.0
常盤平団地	20	30.0	45.0	10.0	25.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	25.0	15.0	20.0
五香松飛台	99	56.6	43.4	17.2	38.4	18.2	12.1	4.0	3.0	5.1	25.3	21.2	12.1
六実六高台	65	56.9	36.9	13.8	33.8	13.8	18.5	4.6	4.6	6.2	21.5	24.6	15.4
小金	110	46.4	26.4	9.1	36.4	17.3	13.6	5.5	5.5	2.7	15.5	23.6	15.5
小金原	103	51.5	31.1	13.6	33.0	18.4	17.5	4.9	3.9	2.9	23.3	22.3	17.5
新松戸	91	47.3	27.5	17.6	37.4	20.9	20.9	7.7	8.8	3.3	23.1	28.6	12.1
馬橋西	57	26.3	7.0	10.5	21.1	5.3	8.8	3.5	1.8	0.0	8.8	45.6	15.8
馬橋	101	45.5	24.8	10.9	31.7	10.9	9.9	6.9	4.0	1.0	11.9	27.7	12.9

■ 要介護者（重度）

	回答者数	名称は知っている	どこにあるか知っている	日常生活圏域ごとに一箇所あること	介護に関する相談窓口であること	健康・医療・福祉に関する相談窓口であること	認知症に関する相談窓口であること	権利擁護に関する相談窓口であること	成年後見制度に関する相談窓口であること	総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること	要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること	いずれも知らない	無回答
全体	669	48.8	30.5	13.2	33.8	17.1	12.3	2.5	3.5	1.9	12.4	27.8	11.8
明第1	65	53.8	36.9	13.8	36.9	20.0	16.9	1.5	4.6	3.1	21.5	24.6	7.7
明第2西	51	51.0	31.4	17.6	33.3	23.5	9.8	5.9	7.8	3.9	17.6	21.6	17.6
明第2東	31	45.2	19.4	3.2	22.6	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	6.5	48.4	6.5
本庁	36	50.0	27.8	16.7	33.3	22.2	13.9	2.8	2.8	2.8	13.9	22.2	13.9
矢切	30	50.0	23.3	3.3	30.0	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	30.0	13.3
東部	50	44.0	30.0	18.0	44.0	20.0	10.0	8.0	6.0	4.0	14.0	32.0	8.0
常盤平	71	43.7	26.8	11.3	25.4	9.9	12.7	0.0	0.0	0.0	9.9	28.2	12.7
常盤平団地	13	46.2	23.1	7.7	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	30.8	23.1
五香松飛台	76	48.7	31.6	13.2	42.1	18.4	18.4	3.9	10.5	3.9	18.4	19.7	14.5
六実六高台	43	58.1	32.6	11.6	32.6	20.9	11.6	2.3	2.3	0.0	16.3	20.9	11.6
小金	65	55.4	36.9	16.9	38.5	24.6	13.8	0.0	1.5	1.5	6.2	27.7	6.2
小金原	35	51.4	22.9	17.1	28.6	25.7	14.3	2.9	2.9	2.9	11.4	31.4	11.4
新松戸	30	43.3	36.7	13.3	40.0	6.7	10.0	3.3	3.3	0.0	6.7	26.7	20.0
馬橋西	27	37.0	22.2	11.1	25.9	22.2	7.4	3.7	3.7	0.0	18.5	33.3	18.5
馬橋	45	48.9	37.8	11.1	33.3	11.1	8.9	2.2	2.2	2.2	6.7	28.9	6.7

運動器機能低下リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	運動器機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	9.5	86.7	3.8
明第1	387	7.5	88.9	3.6
明第2西	381	11.5	81.6	6.8
明第2東	400	10.7	87.7	1.5
本庁	369	8.7	87.3	4.1
矢切	356	8.4	86.8	4.8
東部	377	9.0	86.2	4.8
常盤平	392	9.2	86.5	4.3
常盤平団地	343	11.4	82.2	6.4
五香松飛台	402	11.2	85.3	3.5
六実六高台	377	10.1	88.6	1.3
小金	397	9.3	87.2	3.5
小金原	380	12.1	82.9	5.0
新松戸	394	7.1	91.4	1.5
馬橋西	398	10.1	87.7	2.3
馬橋	390	9.2	86.7	4.1

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	運動器機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	52.5	41.2	6.3
明第1	113	49.6	43.4	7.1
明第2西	111	59.5	34.2	6.3
明第2東	120	44.2	50.8	5.0
本庁	114	56.1	38.6	5.3
矢切	111	45.0	50.5	4.5
東部	106	54.7	39.6	5.7
常盤平	125	55.2	40.0	4.8
常盤平団地	87	52.9	34.5	12.6
五香松飛台	104	58.7	30.8	10.6
六実六高台	118	50.8	42.4	6.8
小金	119	48.7	42.0	9.2
小金原	120	49.2	50.0	0.8
新松戸	128	53.1	39.8	7.0
馬橋西	105	52.4	39.0	8.6
馬橋	112	54.5	42.0	3.6

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	運動器機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	60.4	30.4	9.2
明第1	119	66.4	28.6	5.0
明第2西	69	46.4	37.7	15.9
明第2東	50	62.0	34.0	4.0
本庁	53	60.4	30.2	9.4
矢切	55	69.1	23.6	7.3
東部	87	55.2	36.8	8.0
常盤平	145	57.2	35.9	6.9
常盤平団地	20	80.0	15.0	5.0
五香松飛台	99	65.7	28.3	6.1
六実六高台	65	63.1	23.1	13.8
小金	110	62.7	29.1	8.2
小金原	103	53.4	35.0	11.7
新松戸	91	51.6	38.5	9.9
馬橋西	57	63.2	22.8	14.0
馬橋	101	66.3	18.8	14.9

転倒リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	転倒リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	24.1	74.1	1.8
明第1	387	21.7	76.5	1.8
明第2西	381	23.4	73.5	3.1
明第2東	400	22.5	76.5	1.0
本庁	369	24.1	75.1	0.8
矢切	356	22.5	74.7	2.8
東部	377	21.5	76.1	2.4
常盤平	392	25.3	72.2	2.6
常盤平団地	343	26.8	69.4	3.8
五香松飛台	402	26.4	71.9	1.7
六実六高台	377	21.5	77.7	0.8
小金	397	25.2	73.8	1.0
小金原	380	22.9	75.5	1.6
新松戸	394	27.4	72.1	0.5
馬橋西	398	28.1	70.4	1.5
馬橋	390	22.6	75.1	2.3

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	転倒リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	46.3	50.7	3.0
明第1	113	43.4	52.2	4.4
明第2西	111	50.5	47.7	1.8
明第2東	120	41.7	54.2	4.2
本庁	114	51.8	46.5	1.8
矢切	111	42.3	55.9	1.8
東部	106	43.4	53.8	2.8
常盤平	125	42.4	55.2	2.4
常盤平団地	87	52.9	40.2	6.9
五香松飛台	104	55.8	40.4	3.8
六実六高台	118	41.5	55.1	3.4
小金	119	47.9	48.7	3.4
小金原	120	45.8	53.3	0.8
新松戸	128	42.2	52.3	5.5
馬橋西	105	44.8	51.4	3.8
馬橋	112	54.5	45.5	0.0

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	転倒リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	52.8	41.9	5.4
明第1	119	52.1	44.5	3.4
明第2西	69	40.6	46.4	13.0
明第2東	50	54.0	44.0	2.0
本庁	53	60.4	32.1	7.5
矢切	55	61.8	34.5	3.6
東部	87	48.3	49.4	2.3
常盤平	145	57.2	40.7	2.1
常盤平団地	20	65.0	30.0	5.0
五香松飛台	99	47.5	48.5	4.0
六実六高台	65	43.1	47.7	9.2
小金	110	59.1	37.3	3.6
小金原	103	51.5	41.7	6.8
新松戸	91	48.4	46.2	5.5
馬橋西	57	54.4	33.3	12.3
馬橋	101	55.4	37.6	6.9

閉じこもりリスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	閉じこもり リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	12.0	85.9	2.1
明第1	387	12.9	84.5	2.6
明第2西	381	14.4	82.2	3.4
明第2東	400	13.0	85.5	1.5
本庁	369	11.1	87.0	1.9
矢切	356	14.0	82.9	3.1
東部	377	15.6	82.0	2.4
常盤平	392	9.9	87.8	2.3
常盤平団地	343	11.4	84.3	4.4
五香松飛台	402	12.7	85.1	2.2
六実六高台	377	13.8	85.4	0.8
小金	397	10.6	87.4	2.0
小金原	380	11.6	86.3	2.1
新松戸	394	7.6	91.9	0.5
馬橋西	398	11.8	85.9	2.3
馬橋	390	11.8	86.4	1.8

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	閉じこもり リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	31.6	65.1	3.2
明第1	113	25.7	70.8	3.5
明第2西	111	36.0	60.4	3.6
明第2東	120	30.0	67.5	2.5
本庁	114	36.0	63.2	0.9
矢切	111	37.8	57.7	4.5
東部	106	34.0	61.3	4.7
常盤平	125	27.2	70.4	2.4
常盤平団地	87	21.8	75.9	2.3
五香松飛台	104	27.9	69.2	2.9
六実六高台	118	36.4	59.3	4.2
小金	119	39.5	58.0	2.5
小金原	120	35.0	63.3	1.7
新松戸	128	30.5	63.3	6.2
馬橋西	105	29.5	67.6	2.9
馬橋	112	33.0	63.4	3.6

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	閉じこもり リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	35.6	58.3	6.1
明第1	119	38.7	56.3	5.0
明第2西	69	34.8	53.6	11.6
明第2東	50	44.0	54.0	2.0
本庁	53	41.5	52.8	5.7
矢切	55	30.9	61.8	7.3
東部	87	36.8	60.9	2.3
常盤平	145	35.2	61.4	3.4
常盤平団地	20	35.0	60.0	5.0
五香松飛台	99	30.3	64.6	5.1
六実六高台	65	38.5	55.4	6.2
小金	110	36.4	57.3	6.4
小金原	103	26.2	63.1	10.7
新松戸	91	30.8	64.8	4.4
馬橋西	57	36.8	52.6	10.5
馬橋	101	44.6	48.5	6.9

うつリスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	うつリスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	35.8	60.5	3.7
明第1	387	36.4	60.2	3.4
明第2西	381	34.4	62.7	2.9
明第2東	400	39.7	58.7	1.5
本庁	369	33.6	62.9	3.5
矢切	356	36.8	59.0	4.2
東部	377	33.4	64.5	2.1
常盤平	392	37.5	58.4	4.1
常盤平団地	343	45.2	52.5	2.3
五香松飛台	402	35.8	59.0	5.2
六実六高台	377	39.0	58.1	2.9
小金	397	30.7	66.0	3.3
小金原	380	33.9	61.6	4.5
新松戸	394	32.7	60.9	6.3
馬橋西	398	39.2	56.8	4.0
馬橋	390	37.7	58.7	3.6

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	うつリスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	53.2	42.6	4.3
明第1	113	41.6	53.1	5.3
明第2西	111	57.7	40.5	1.8
明第2東	120	55.8	35.0	9.2
本庁	114	56.1	39.5	4.4
矢切	111	54.1	37.8	8.1
東部	106	49.1	45.3	5.7
常盤平	125	56.0	41.6	2.4
常盤平団地	87	55.2	40.2	4.6
五香松飛台	104	58.7	40.4	1.0
六実六高台	118	58.5	33.1	8.5
小金	119	58.8	36.1	5.0
小金原	120	48.3	48.3	3.3
新松戸	128	53.9	43.0	3.1
馬橋西	105	47.6	50.5	1.9
馬橋	112	54.5	42.0	3.6

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	うつリスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	60.5	33.4	6.1
明第1	119	58.0	37.8	4.2
明第2西	69	49.3	44.9	5.8
明第2東	50	72.0	28.0	0.0
本庁	53	64.2	28.3	7.5
矢切	55	69.1	23.6	7.3
東部	87	62.1	29.9	8.0
常盤平	145	62.8	29.7	7.6
常盤平団地	20	55.0	35.0	10.0
五香松飛台	99	57.6	33.3	9.1
六実六高台	65	64.6	30.8	4.6
小金	110	66.4	28.2	5.5
小金原	103	54.4	38.8	6.8
新松戸	91	60.4	35.2	4.4
馬橋西	57	61.4	33.3	5.3
馬橋	101	56.4	38.6	5.0

認知症リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	認知症リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	38.7	58.9	2.4
明第1	387	37.5	60.2	2.3
明第2西	381	39.6	56.2	4.2
明第2東	400	40.7	57.2	2.0
本庁	369	39.8	59.3	0.8
矢切	356	36.5	59.8	3.7
東部	377	38.5	58.6	2.9
常盤平	392	34.2	63.5	2.3
常盤平団地	343	37.3	58.9	3.8
五香松飛台	402	39.6	58.7	1.7
六実六高台	377	41.6	56.8	1.6
小金	397	40.3	57.4	2.3
小金原	380	40.3	56.3	3.4
新松戸	394	38.8	60.2	1.0
馬橋西	398	39.7	57.8	2.5
馬橋	390	40.0	57.4	2.6

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	認知症リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	55.4	40.0	4.6
明第1	113	50.4	40.7	8.8
明第2西	111	59.5	38.7	1.8
明第2東	120	55.0	40.8	4.2
本庁	114	53.5	42.1	4.4
矢切	111	60.4	36.9	2.7
東部	106	51.9	40.6	7.5
常盤平	125	56.0	40.0	4.0
常盤平団地	87	57.5	36.8	5.7
五香松飛台	104	60.6	36.5	2.9
六実六高台	118	58.5	36.4	5.1
小金	119	61.3	34.5	4.2
小金原	120	54.2	43.3	2.5
新松戸	128	51.6	43.7	4.7
馬橋西	105	47.6	45.7	6.7
馬橋	112	55.4	42.9	1.8

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	認知症リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	68.8	25.1	6.1
明第1	119	66.4	29.4	4.2
明第2西	69	62.3	26.1	11.6
明第2東	50	72.0	22.0	6.0
本庁	53	67.9	20.8	11.3
矢切	55	83.6	10.9	5.5
東部	87	72.4	25.3	2.3
常盤平	145	71.0	25.5	3.4
常盤平団地	20	80.0	10.0	10.0
五香松飛台	99	65.7	30.3	4.0
六実六高台	65	70.8	23.1	6.2
小金	110	71.8	23.6	4.5
小金原	103	64.1	28.2	7.8
新松戸	91	70.3	24.2	5.5
馬橋西	57	56.1	28.1	15.8
馬橋	101	65.3	29.7	5.0

IADL の低下リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	IADLの低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	2.5	93.0	4.5
明第1	387	1.8	94.6	3.6
明第2西	381	2.6	92.9	4.5
明第2東	400	2.5	94.0	3.5
本庁	369	1.6	93.5	4.9
矢切	356	3.7	91.0	5.3
東部	377	2.7	93.9	3.4
常盤平	392	2.3	93.4	4.3
常盤平団地	343	2.9	93.3	3.8
五香松飛台	402	2.7	91.5	5.7
六実六高台	377	3.2	93.6	3.2
小金	397	2.8	92.9	4.3
小金原	380	3.2	91.6	5.3
新松戸	394	1.8	92.6	5.6
馬橋西	398	3.0	90.2	6.8
馬橋	390	2.3	94.4	3.3

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	IADLの低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	20.6	73.5	5.9
明第1	113	16.8	77.0	6.2
明第2西	111	25.2	67.6	7.2
明第2東	120	19.2	70.8	10.0
本庁	114	26.3	66.7	7.0
矢切	111	20.7	71.2	8.1
東部	106	30.2	62.3	7.5
常盤平	125	15.2	80.8	4.0
常盤平団地	87	13.8	79.3	6.9
五香松飛台	104	20.2	77.9	1.9
六実六高台	118	21.2	71.2	7.6
小金	119	16.0	77.3	6.7
小金原	120	20.8	72.5	6.7
新松戸	128	21.9	74.2	3.9
馬橋西	105	25.7	67.6	6.7
馬橋	112	25.0	72.3	2.7

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	IADLの低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	59.8	32.0	8.2
明第1	119	55.5	37.8	6.7
明第2西	69	63.8	31.9	4.3
明第2東	50	66.0	26.0	8.0
本庁	53	62.3	30.2	7.5
矢切	55	61.8	27.3	10.9
東部	87	66.7	21.8	11.5
常盤平	145	56.6	37.9	5.5
常盤平団地	20	65.0	25.0	10.0
五香松飛台	99	55.6	33.3	11.1
六実六高台	65	60.0	32.3	7.7
小金	110	64.5	25.5	10.0
小金原	103	47.6	40.8	11.7
新松戸	91	54.9	41.8	3.3
馬橋西	57	68.4	22.8	8.8
馬橋	101	65.3	26.7	7.9

咀嚼機能低下リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	咀嚼機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	28.1	70.3	1.6
明第1	387	26.4	71.8	1.8
明第2西	381	33.3	65.9	0.8
明第2東	400	28.5	71.0	0.5
本庁	369	29.5	69.4	1.1
矢切	356	26.1	71.9	2.0
東部	377	28.6	70.6	0.8
常盤平	392	29.3	69.1	1.5
常盤平団地	343	40.5	59.2	0.3
五香松飛台	402	24.4	74.9	0.7
六実六高台	377	26.3	72.1	1.6
小金	397	26.4	71.3	2.3
小金原	380	27.1	70.0	2.9
新松戸	394	25.4	71.8	2.8
馬橋西	398	29.4	70.1	0.5
馬橋	390	29.7	68.2	2.1

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	咀嚼機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	45.5	52.4	2.1
明第1	113	35.4	61.9	2.7
明第2西	111	41.4	50.5	8.1
明第2東	120	51.7	47.5	0.8
本庁	114	47.4	51.8	0.9
矢切	111	36.9	61.3	1.8
東部	106	49.1	49.1	1.9
常盤平	125	48.0	52.0	0.0
常盤平団地	87	46.0	47.1	6.9
五香松飛台	104	50.0	49.0	1.0
六実六高台	118	40.7	55.9	3.4
小金	119	52.1	45.4	2.5
小金原	120	48.3	50.8	0.8
新松戸	128	42.2	56.2	1.6
馬橋西	105	45.7	54.3	0.0
馬橋	112	47.3	50.0	2.7

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	咀嚼機能低下 リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	47.8	49.5	2.8
明第1	119	49.6	49.6	0.8
明第2西	69	44.9	53.6	1.4
明第2東	50	42.0	56.0	2.0
本庁	53	43.4	50.9	5.7
矢切	55	43.6	56.4	0.0
東部	87	42.5	55.2	2.3
常盤平	145	50.3	47.6	2.1
常盤平団地	20	55.0	40.0	5.0
五香松飛台	99	43.4	53.5	3.0
六実六高台	65	53.8	43.1	3.1
小金	110	45.5	49.1	5.5
小金原	103	48.5	46.6	4.9
新松戸	91	48.4	48.4	3.3
馬橋西	57	63.2	33.3	3.5
馬橋	101	47.5	51.5	1.0

栄養改善リスク高齢者の割合

■ 一般高齢者

	回答者数	栄養改善リスク該当	非該当	無回答
全体	5,744	7.9	89.7	2.4
明第1	387	7.8	88.6	3.6
明第2西	381	8.4	88.7	2.9
明第2東	400	9.5	89.5	1.0
本庁	369	7.3	90.8	1.9
矢切	356	6.2	91.6	2.2
東部	377	7.7	90.2	2.1
常盤平	392	9.4	89.5	1.0
常盤平団地	343	10.8	86.6	2.6
五香松飛台	402	7.0	90.8	2.2
六実六高台	377	8.0	89.7	2.4
小金	397	7.1	90.7	2.3
小金原	380	5.3	89.7	5.0
新松戸	394	8.6	88.1	3.3
馬橋西	398	7.3	91.0	1.8
馬橋	390	9.0	89.5	1.5

■ 事業対象・要支援者

	回答者数	栄養改善リスク該当	非該当	無回答
全体	1,694	12.8	82.4	4.8
明第1	113	12.4	82.3	5.3
明第2西	111	9.9	86.5	3.6
明第2東	120	10.0	85.0	5.0
本庁	114	8.8	86.0	5.3
矢切	111	9.0	86.5	4.5
東部	106	7.5	87.7	4.7
常盤平	125	16.8	78.4	4.8
常盤平団地	87	8.0	80.5	11.5
五香松飛台	104	13.5	81.7	4.8
六実六高台	118	16.9	81.4	1.7
小金	119	11.8	84.9	3.4
小金原	120	10.8	84.2	5.0
新松戸	128	22.7	74.2	3.1
馬橋西	105	12.4	82.9	4.8
馬橋	112	13.4	79.5	7.1

■ 要介護者（軽度）

	回答者数	栄養改善リスク該当	非該当	無回答
全体	1,225	15.6	76.5	7.9
明第1	119	13.4	79.0	7.6
明第2西	69	13.0	79.7	7.2
明第2東	50	16.0	76.0	8.0
本庁	53	13.2	79.2	7.5
矢切	55	10.9	80.0	9.1
東部	87	23.0	63.2	13.8
常盤平	145	17.2	76.6	6.2
常盤平団地	20	10.0	85.0	5.0
五香松飛台	99	13.1	81.8	5.1
六実六高台	65	21.5	69.2	9.2
小金	110	16.4	75.5	8.2
小金原	103	13.6	79.6	6.8
新松戸	91	14.3	78.0	7.7
馬橋西	57	14.0	75.4	10.5
馬橋	101	19.8	71.3	8.9

卷末資料 調査票

1. 若年者調査 調査票

WEB（インターネット）で回答する場合は
右のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査 若年者調査票

この調査票を記入されるのはどなたですか。（1つの番号に○）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみた続柄：（ ）
3. その他（ ）

これ以降の「あなた」は、あて名のご本人についておうかがいします。

あなた（あて名のかた）ご自身についておうかがいします。

問1 あなたの現在の就業状況をお答えください。（1つの番号に○）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイム*で働いている
3. 働いていない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

あなた（あて名のかた）のご家族や生活状況についておうかがいします。

問2 家族構成をお答えください。（1つの番号に○）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（3世帯を含む）

問3 家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（1つの番号に○）

1. 自室からは出るが、家からは出ない → 問3-1ハ
2. 自室からほとんど出ない
3. 該当する方はいない → 問4ハ

家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方におうかがいします。

問3-1 その方の年齢はいくつですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 18歳未満
2. 18歳～39歳
3. 40歳～64歳
4. 65歳～74歳
5. 75歳以上

問4 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満
8. 400～500万円未満
9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満
11. 700～800万円未満
12. 800～900万円未満
13. 900～1,000万円未満
14. 1,000～1,200万円未満
15. 1,200万円以上

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つの番号に○）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問6 あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（1つの番号に○）

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借家
7. その他（ ）

あなた（あて名のかた）の身体状況についておうかがいします。

問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つの番号に○）

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問8 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ない	11. 外傷 (転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん (悪性新生物)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)
6. 高脂血症 (脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他 ()
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	

問9 あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた	2. 受けていない
-------------	-----------

問10 あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた (市の無料の成人歯科健診等)	3. 受けていない
2. 1年以内に受けた (1以外の健診)	

問11 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つの番号に○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	→問11-1△
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	→問12△
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	→問11-1△
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	→問12△

→**入れ歯を利用している」と答えた方におうかがいします。**
問11-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問12 なんでもよく噛めますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

問13 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14 お酒は飲みますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

問15 タバコは吸っていますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

問16 どのようなかたと食事をとにもする機会はありますか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

毎日の生活についてうかがいます。

問17 生きがいがありますか。(1つの番号に○)

1. はい	→問17-1△	2. 思いつかない	→問18△
-------	---------	-----------	-------

→**生きがいがあると答えた方におうかがいします。**
問17-1 「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 働くこと (自営・家事等も含む)	9. おしゃれや服装のこと
2. 家族の世話や介護	10. 家族との団らん
3. ご近所や友達とのつきあい	11. テレビやラジオの視聴
4. スポーツ・レクリエーション	12. 信仰に関すること
5. 学習や教養を高めること・趣味の活動	13. 旅行や買い物などの外出
6. 町会・自治会の活動	14. 食事をすること
7. シニアクラブ (老人クラブ) の活動	15. その他 ()
8. ボランティア活動	

問 18 あなたは、現在の程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください）。（1つの点数に○）

← とても不幸	とても幸せ →
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点	

問 19 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（1つの番号に○）

1. はい 2. いいえ

問 20 この1か月間、どうしても物事に対して興味かわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（1つの番号に○）

1. はい 2. いいえ

問 21 フレイイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（1つの番号に○）

1. はい 2. いいえ

地域での活動についてうかがいます。

問 22 以下のような会・グループ等ほどのくらの頻度で参加していますか。

（①～④それぞれの会・グループ等ごとに1つの番号に○、参加していない場合は「6」に○）

	1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回	4 月1～3回	5 年に数回	6 参加して いない
① ボランティアのグループ（1つの番号に○）	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ（1つの番号に○）	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ（1つの番号に○）	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル（1つの番号に○）	1	2	3	4	5	6

問 23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1. 是非参加したい 3. 参加したくない
2. 参加してもよい 4. 既に参加している

問 24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1. 是非参加したい →問 24-1へ
2. 参加してもよい
3. 参加したくない →問 25へ
4. 既に参加している

企画・運営として参加しない・参加してもよいと答えた方におうかがいします。

問 24-1 活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思っただけで、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. グループの運営の仕方がわからない
2. グループを運営する場所がない
3. 時間的余裕がない
4. 魅力的なグループがない
5. 行ける範囲にグループが存在しない
6. どこにグループがあるのかわからない
7. 身体的理由から外出が困難
8. 活動に馴染める自信がない
9. 持たない

たすけあいについてうかがいます。

問 25 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいませんか。

（あてはまるものすべての番号に○）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 26 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいませんか。

（あてはまるものすべての番号に○）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 27 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいませんか。

（あてはまるものすべての番号に○）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 28 反対に、看病や世話をしあげてあげてはいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他 () |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問 29 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

- (あてはまるものすべての番号に○)
- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 自治会・町内会・シニアクラブ (老人クラブ) | 5. 地域包括支援センター・役所・役場 |
| 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 6. その他 () |
| 3. ケアマネジャー | 7. そのような人はいない |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | |

問 30 あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合いとして、協力できることはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 家の中の修理 | 6. 庭の草むしり |
| 2. 電球の交換 | 7. 付き添い (外出・通院) |
| 3. 掃除・洗濯 | 8. 食事の準備・調理・後片付け |
| 4. 買い物 | 9. スマートフォンの操作方法について教える |
| 5. ごみ出し | |

問 31 あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができるところで協力できることはどんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 車両などによる送迎 | 4. 認知機能の低下を補うサポート |
| 2. 歩行の不安を補う見守り・介助 | 5. その他 () |
| 3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助 | 6. 協力できない |

問 32 あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 避難所への同行 | 5. 避難ができるまで (状況が落ち着くまで) の寄り添い |
| 2. 家族や関係者等への連絡 | 6. その他 () |
| 3. 被災状況や避難所情報等の提供 | 7. 協力できない |
| 4. 避難物資の支援 | |

問 33 地域共生社会[※]の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 困っている人への声かけ | 6. 趣味や特技を活かした社会貢献 |
| 2. 町会・自治会等への参加・協力 | 7. 話し相手になること |
| 3. 家事支援 (ゴミ出し・草取りなど) | 8. その他 () |
| 4. 地域の安否確認や見守り活動 | 9. わからない |
| 5. 子育て支援 | |

※ 地域共生社会とは？

制度・分野ごとの『縦割り』や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

住んでいる地域についてうかがいます。

問 34 あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。(1つの番号に○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 非常に思う | 4. あまり思わない |
| 2. まあまあ思う | 5. 全く思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問 35 あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

- | |
|--|
| 1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる |
| 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている |
| 3. あいさつ程度のつきあいが少ない |
| 4. つきあいは全くしていません |

問 36 あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 避難場所・経路を把握している | 3. どちらも把握していない |
| 2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない | |

問 37 避難するにあたり不安はありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 避難場所への移動手段がない | 5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安 |
| 2. 避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない | 6. ハットを連れて避難できるか不安 |
| 3. 避難場所での生活が不安 | 7. その他 () |
| 4. 持病があるので不安 | 8. 不安はない |

問 38 高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 健康・医療・栄養などの情報提供
2. 体操や趣味活動などができる教室
3. ライフプラン相談（終活セミナーなど）
4. 体操や趣味活動などのための活動場所の提供
5. 買い物支援（無料配送、割引など）
6. その他（ ）

問 39 最も頼りにしているかかりつけ医療機関*はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にある
2. 市川市・鎌ヶ谷市にある
3. 柏市・流山市にある
4. 我孫子市・野田市にある
5. その他千葉県内にある
6. 千葉県外（都内など）にある
7. かかりつけ医療機関はない

* かかりつけ医とは？
健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

かかりつけ医療機関が松戸市以外にある理由はなんですか。(1つの番号に○)

- 問 39-1 市外の医療機関にかかる理由はなんですか。(1つの番号に○)
1. 吉からかかっているから
 2. 専門医が市内にいないから
 3. 距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
 4. 開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
 5. 混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
 6. 家族が同じ医療機関にかかっているから
 7. 勤務場所に近いかから
 8. その他（ ）

問 40 最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にいる
2. 市川市、鎌ヶ谷市にいる
3. 柏市、流山市にいる
4. 我孫子市、野田市にいる
5. その他千葉県内にいる
6. 千葉県外（都内など）にいる
7. かかりつけ歯科医はいない

問 41 かかりつけ（いつも利用する）薬局はありますか。(1つの番号に○)

1. ある
2. ない

認知症に関することについてうかがいます。

問 42 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 43 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 44 認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。

(あてはまるものすべての番号に○)

1. 医師の診察を受けている
2. 服薬している
3. 認知機能低下予防の脳トレを行っている
4. 禁煙している
5. アルコール量の調整をしている
6. 体重を気にしている
7. 食事に気をつけている
8. 適度な睡眠を取るようになっている
9. 適度に運動するようになっている
10. 口腔内を清潔に保つようになっている
11. 社会参加を行うようになっている
12. 趣味などの活動に参加するようになっている
13. その他（ ）
14. 特に意識していることはない

問 45 オレンジカフェ（認知症カフェ）*がどこにあれば参加してみたいと思いますか。

(1つの番号に○)

1. 駅の近く
2. 市民センター等身近な公共施設
3. 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
4. 近くの喫茶店
5. 自治会館
6. 介護施設
7. 近所の民家や神社等
8. 参加したいと思わない

* オレンジカフェ（認知症カフェ）とは？

お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場です。

問 46 松戸市が行っている認知症対策について、知っているものとはどれですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 認知症講演会 | 9. オレンジカフェ (認知症カフェ) |
| 2. 認知症サポーター養成講座 | 10. 介護者のつどい |
| 3. オレンジ声かけ隊 | 11. いきいきメール |
| 4. オレンジ協力員 | 12. 高齢者の見守りシール |
| 5. 認知症コーディネーター | 13. 認知症簡易チェック |
| 6. 認知症ガイドブック (ケアパス) | 14. ブラチナカフェ |
| 7. 認知症初期集中支援チーム | 15. その他 () |
| 8. まつど認知症予防プロジェクト | 16. いずれも知らない |

問 47 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | |
|--|
| 1. 認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み |
| 2. 認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり |
| 3. 「介護者のつどい」など、介護している家族の支援 |
| 4. 認知症サポーター (認知症の方や家族を見守る人) など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり |
| 5. 徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み |
| 6. 成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策 |
| 7. 認知症の本人のつどい (当事者ミーティング) |
| 8. 就労など若年性認知症の方への支援 |
| 9. 認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設 |
| 10. 認知症についての相談場所の周知 |
| 11. わからない |

介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

問 48 介護保険の要介護 (要支援) 認定を受けなくても、基本チェックリスト (25 項目) により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等も利用できることを知っていましたか。(1つの番号に○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 49 以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いませんか。(①～③それぞれサービスの番号に○)

① 訪問型元氣応援サービス (生活支援コース) ※1	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したくはない 4. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
② 訪問型元氣応援サービス (困りごとコース) ※2	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 4. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
③ 短期集中予防サービス (いきいきトレーニング) ※3	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 4. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない

※1 訪問型元氣応援サービス (生活支援コース) とは?
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。

※2 訪問型元氣応援サービス (困りごとコース) とは?
介護者本人以外の居宅などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。

※3 短期集中予防サービス (いきいきトレーニング) とは?
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6か月程度で機能の改善を目指すサービスです。

問 50 介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 軽度者向けのデイサービス |
| 2. 通いの場 (元氣応援くらぶ等) や地域活動などの社会参加 |
| 3. リハビリ専門職からの助言 |
| 4. 高齢者でも就労できる場 |
| 5. ボランティア活動 |
| 6. 個人でできる取組の仕組み (健康体操や、食生活の改善等) |

↑ 自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 52-1 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 在宅で十分な介護が受けられると思うから
2. 現在の住まいで生活を続けたいから
3. 施設で他人の世話になるのはいやだから
4. 他人との共同生活はしたくないから
5. 施設では自由な生活ができないから
6. 施設に入るだけの経済的余裕がないから
7. 施設を利用することに抵抗を感じるから
8. 具体的に施設を知らず、不安だから
9. その他 ()
10. わからない

↑ 自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 52-2 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つの番号に○)

1. 家族だけに介護されたい
2. 家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3. ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4. ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5. その他 ()
6. わからない

→問 53へお進みください

↓ 外部の介護を受けたいと答えた方におうかがいします。

問 52-3 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 家族がいらないから
2. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3. 家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4. 家族に負担をかけたくないから
5. 専門的な介護が受けられるから
6. 緊急時に対応の面で安心だから
7. 在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9. その他 ()
10. わからない

問 51 以下の①～③のサービスについて知っていますか。(①～③それぞれサービスごとに1つの番号に○)

① 小規模多機能型居宅介護※1	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. 名称や内容は知っており利用してみたい 2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができ介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスが必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

問 52 あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこどのような介護を受けたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 自宅で家族中心に介護を受けたい	→問 52-1・2へ
2. 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	→問 52-3へ
3. 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	
4. サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい	→問 53へ
5. 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい	
6. その他 ()	
7. わからない	

問53 今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどうか考えますか。(1つの番号に○)

1. 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2. 現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が上げられなくてもやむを得ない
3. 保険料負担の引上げを上記1よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4. 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5. わからない

権利擁護・成年後見制度についてうかがいます。

問54 あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2. 成年後見制度
3. 市民後見人の活動
4. 高齢者虐待の通報・相談窓口
5. 法テラス
6. クーリングオフ制度
7. いずれも知らない

問55 あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問56 あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問57 あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
5. 知っていたが参加してみたいと思わない

問58 虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3. 虐待の通報先の広報
4. 児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6. 虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7. その他（ ）

問59 成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていますか。また、必要になったときに利用したいですか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 知っており利用してみたい
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知っていたが利用する予定はない
5. 知らなかったし利用する予定はない

市の高齢者施策についてうかがいます。

問60 福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていますか。また、利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 名称や内容は知っており利用してみたい
3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
5. 名称や内容は知らなかったし利用したいとも思わない

問61 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 名称は知っている
2. どこにあるか知っている
3. 日常生活圏域ごとに一箇所あること
4. 介護に関する相談窓口であること
5. 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6. 認知症に関する相談窓口であること
7. 権利擁護に関する相談窓口であること
8. 成年後見制度に関する相談窓口であること
9. 総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10. 要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること
11. いずれも知らない

問 62 松戸市では、在宅医療[※]と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていますか。(1つの番号に○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|
- ※ 在宅医療とは？
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職等が連携し、自宅で医療を提供することです。

問 63 松戸市では「はじめの介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について参加してみたいと思いませんか。(1つの番号に○)

- | | | |
|--------------|------------|-----------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加してみたい | 3. 参加してみたいと思わない |
|--------------|------------|-----------------|

問 64 松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 広報まつど (毎月1日及び15日に発行されている情報誌)
2. 松戸市公式ホームページ
3. 市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4. 介護ナビ・まつど (介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子)
5. 生活カタログ市民便利帳 (全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子)
6. なかいき手帳 (市独自の高齢者向けサービス (福祉・介護・保健等の施策) が掲載されている冊子)
7. まつど医療機関マップ (市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子)
8. 松戸市医師会医療機関ハンドブック (各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子)
9. 松戸歯科医師会のホームページ
10. その他 ()
11. いずれも知らない

介護に関することについてうかがいます。

問 65 以下のケアに関する用語のうち、名称・内容とも知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. ケアラール ^{※1} | 3. ダブルケア ^{※3} |
| 2. ヤングケアラー ^{※2} | 4. いずれも知らない |

- ※1 ケアラールとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアが必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
- ※2 ヤングケアラーとは？
大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている18歳未満の子どもたちのことをいいます。
- ※3 ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。
- 問 66 あなたが現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護する時間がなかなか取れない
2. 相談できる人がいない
3. 相談する場所がわからない
4. 介護の方法がわからない
5. 早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
6. 緊急時の対応が大変である
7. 腰痛などの身体的負担が大きい
8. 介護を行う側の健康状態が良くない
9. 精神的に疲れる
10. 介護者のリフレッシュのための時間が取れない
11. 家族や近隣の人などの理解が足りない
12. ご本人が介護サービスを使いたがらない
13. イライラしご本人に怒鳴ってしまうことがある
14. 思わす手を上げてしまうことがある
15. ご本人の訴えを無視してしまうことがある
16. 介護に要する費用がかかる
17. 認知症を診察してくれる医療機関 (診療科) がわからない
18. 認知症の人への対応の仕方がわからない
19. 急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またはない
20. 徘徊して行方がわからなくなるときがある
21. その他 ()
22. わからない
23. 特にない

問 67 あなたは、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。
(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 12. 民生委員 |
| 2. 娘 | 13. 町会・自治会 |
| 3. 息子 | 14. シニアクラブ(老人クラブ) |
| 4. 兄弟・姉妹 | 15. 社会福祉協議会 |
| 5. 自分の親 | 16. 高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター) |
| 6. 配偶者の親 | 17. ケアマネジャー |
| 7. 子の配偶者 | 18. 市役所(支所を含む)・保健福祉センター |
| 8. 友人・知人 | 19. 県の窓口(保健所など) |
| 9. 職場の人 | 20. その他() |
| 10. 隣近所の人 | 21. そのような人はいない |
| 11. 医師・歯科医師・看護師・薬剤師 | |

問 68 介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 介護者が集える会合の場 | 3. 介護者向けの研修会・講習会 |
| 2. 介護者が地域とつながることのできる環境 | 4. その他() |

問 69 「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。
(1つの番号に○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 知っており参加したことがある | 4. 知っていたが参加したことはない |
| 2. 知っており参加してみたい | 5. 知らなかったし、参加してみたいと思わない |
| 3. 知らなかったが参加してみたい | 6. 知っていたが参加してみたいと思わない |

問 70 「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 日常の介護の仕方のコツ | 5. 悩みや愚痴を聞いてもらう |
| 2. 介護の制度や仕組みに関する情報 | 6. リフレッシュ |
| 3. 医療の情報 | 7. その他() |
| 4. ピアサポート(同じ立場にある人との交流) | |

19/20

問 71 介護職のイメージとして持っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 多くの人に感謝される尊敬できる職種 | 6. 家庭生活と両立できる |
| 2. 高齢化により今後需要が伸びていく | 7. 夜勤が多くて大変そう |
| 3. 専門的な介護技術を要する | 8. 給与など雇用面での待遇が悪そう |
| 4. 人や社会の役に立ち働きがいがある | 9. 体力的、精神的にきつそう |
| 5. 何歳になっても続けることができる | 10. その他() |

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。

記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
令和4年12月13日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

20/20

2. 一般高齢者調査 調査票

WEB（インターネット）で回答する場合は
右のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査 一般高齢者調査票

この調査票を記入されるのはどなたですか。（1つの番号に○）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみられた続柄：（ ）
3. その他（ ）

これ以降の「あなた」は、あて名のご本人についておうかがいします。

あなた（あて名のかた）ご自身についておうかがいします。

問1 あなたの現在の就業状況をお答えください。（1つの番号に○）

1. フルタイムで働いている → 問2へ
2. パートタイム*で働いている → 問1-1へ
3. 働いていない

*「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

働いていないと答えない理由をおうかがいします。

問1-1 働いていない理由を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 仕事が無い・採用されない（働きたいが仕事に就けない）
2. 身体的都合や周りの方の介護等（働きたいが仕事に就けない）
3. 希望する職種で働きたいから（希望職種以外は望まない）
4. 他に活動をしているから（地域活動やボランティア等に参加している）
5. 働くつもりはない

あなた（あて名のかた）のご家族や生活状況についておうかがいします。

問2 家族構成を教えてください。（1つの番号に○）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（3世帯を含む）

問3 家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（1つの番号に○）

1. 自室からは出るが、家からは出ない → 問3-1へ
2. 自室からほとんど出ない
3. 該当する方はいない → 問4へ

→ 家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方におうかがいします。

問3-1 その方の年齢はいくつですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 18歳未満
2. 18歳～39歳
3. 40歳～64歳
4. 65歳～74歳
5. 75歳以上

問4 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満
8. 400～500万円未満
9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満
11. 700～800万円未満
12. 800～900万円未満
13. 900～1,000万円未満
14. 1,000～1,200万円未満
15. 1,200万円以上

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つの番号に○）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

現在、介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。←

問7-3 主にどなたに介護・介助を受けていますか。(1つの番号に○)

1. 配偶者(夫・妻)	5. 孫
2. 息子	6. 兄弟・姉妹
3. 娘	7. 介護サービスのヘルパー
4. 子の配偶者	8. その他()

問8 あなたの身長と体重をご回答ください。
(数字で記入。小数点以下は切り捨て(例)150.5cmの場合、150と記入、(例)60.5kgの場合、60と記入)

身長	cm	体重	kg

あなた(あて名のかた)の身体状況についてうかがいます。

問9 この6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つの番号に○)

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

問11 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ない	11. 外傷(転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん(悪性新生物)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症(脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他()
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)	

問12 あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた	2. 受けていない
-------------	-----------

4/27

問6 あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。(1つの番号に○)

1. 持家(一戸建て)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
2. 持家(集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他()
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つの番号に○)

1. 介護・介助は必要ない	→問8ハ
2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→問7-1・2ハ
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)	→問7-1・3ハ

現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

問7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	9. 腎疾患(透析)
2. 心臓病	10. 視覚・聴覚障害
3. がん(悪性新生物)	11. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	12. 背腿損傷
5. 関節の病気(リウマチ等)	13. 高齢による衰弱
6. 認知症(アルツハイマー病等)	14. その他()
7. パーキンソン病	15. 不明
8. 糖尿病	

介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方におうかがいします。

問7-2 あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護・介助をお願いできる人が周りにいないから
2. 他人に介護・介助されるのが嫌だから
3. 介護サービスの利用方法がわからないから
4. 介護サービスを利用したいが相談先がわからないから
5. 利用したい介護サービスがないから
6. その他()
7. わからない
8. 特になし

→問8ハお進みください

3/27

問13 あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた (市の無料の成人歯科健診等) 3. 受けていない
2. 1年以内に受けた (1以外の健診)

問14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つの番号に○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 →問14-1ハ
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし →問15ハ
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 →問14-1ハ
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし →問15ハ

入れ歯を利用していると答えた方におうかがいします。
問14-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問15 なんでもよく噛めますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問16 耳の聞こえに関して感じることはありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 話し声が大きいと言われる
2. 会話をしている時に聞き返すことがよくある
3. 数人の会話でうまく聞き取れないことがある
4. 会話の中でうまく聞き取れない場合に、推測で判断することがある
5. テレビの音量が大きいと家族に言われることがよくある
6. 特に感じることはない

食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問18 お茶や汁物などでむせることがありますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問19 口の渇きが気になりますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問20 歯磨き (人にやってもらった場合も含む) を毎日していますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問21 お酒は飲みますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日飲む 3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む 4. もともと飲まない

問22 タバコは吸っていますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日吸っている 3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている 4. もともと吸っていない

問23 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある 4. 年に何度かある
2. 週に何度かある 5. ほとんどない
3. 月に何度かある

からだを動かすことについてうかがいます。

問24 次の①～⑤のからだを動かすことや転倒について、それぞれ回答ください。

① 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
③ 15分くらい続けて歩いていきますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
④ 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つの番号に○)	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
⑤ 転倒に対する不安は大きいですか。(1つの番号に○)	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問25 週に1回以上は外出していますか。(1つの番号に○)

1. ほとんど外出しない 3. 週2～4回
2. 週1回 4. 週5回以上

問 26 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つの番号に○)

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

問 27 外出を控えていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ	→問 28へ
-------	--------	--------

外出を控えていると答えられた方におうかがいします。

問 27-1 外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 病气	6. 目の障害
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配(尿もれなど)	9. 交通手段がない
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	10. その他()

外出を控えていると答えられた方におうかがいします。

問 27-2 どのような支援があれば外出できますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 車両などによる送迎	4. 認知機能の低下を補うサポート
2. 歩行の不安を補う見守り・介助	5. その他()
3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助	6. 支援は必要としない

問 28 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 徒歩	8. 病院や施設のバス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす(カート)
4. 自動車(自分で運転)	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車(人に乗せてもらう)	12. タクシー
6. 電車	13. その他()
7. 路線バス	

問 29 次の①～⑧毎日の生活のことについて、それぞれご回答ください。

毎日の生活についてうかがいます。

① 物忘れが多いと感じますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ

③ 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

④ バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

⑤ 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

⑥ 自分で食事の用意をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

⑦ 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

⑧ 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない
--------------	----------------	---------

問 30 スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ(例:LINE等)を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 無料通話アプリ(LINE等)を使用して、家族、友人等と連絡を取り合っている	→問 31へ
2. オンライン上で、講演会、交流会等に参加したことがある	
3. 上記1、2いずれも行ったことがない	

→問 30-1へ

問 30-1 行ったことがないと答えられた方におうかがいします。

1. 参加できる教室、講演会、交流会等についての情報がわからない

2. オンラインでの教室、講演会、交流会に参加したいが、スマートフォン・タブレットの操作方法がわからない

3. オンラインの活用に興味・必要性を感じない

4. スマートフォン・タブレットを所持していない

問 31 友人の家を訪ねていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 32 家族や友人の相談のついでにしていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 33 病人を見舞うことができますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 34 ペットを飼っていますか。(1つの番号に○)

1. はい →問 34-1 へ 2. いいえ →問 35 へ

ペットを飼っていると答えた方におうかがいします。

問 34-1 ペットを飼っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 入院・入所 4. 自分以外に世話する人がいない
2. 日常の世話 5. その他 ()
3. 緊急時 6. 困っていない

問 35 生きがいがありますか。(1つの番号に○)

1. はい →問 35-1 へ 2. 思いつかない →問 36 へ

生きがいがあると答えた方におうかがいします。

問 35-1 「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 働くこと (自営・家事等も含む) 9. おしゃれや服装のこと
2. 家族の世話や介護 10. 家族との団らん
3. ご近所や友達とのつきあい 11. テレビやラジオの視聴
4. スポーツ・レクリエーション 12. 信仰に関すること
5. 学習や教養を高めること・趣味の活動 13. 旅行や買い物などの外出
6. 町会・自治会の活動 14. 食事をすること
7. シニアクラブ (老人クラブ) の活動 15. その他 ()
8. ボランティア活動

問 36 あなたは、現在の程度幸せですか (「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください)。(1つの点数に○)

とても不幸 → とも幸せ →
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問 38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

9/27

問 39 普段の生活に困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 家中の修理 6. 庭の草むしり
2. 電球の交換 7. 外出
3. 掃除・洗濯 8. 通院
4. 買い物 9. 食事の準備・調理・後片付け
5. ごみ出し 10. 困っていない

問 40 あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配食 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
2. 調理 8. 見守り・声かけ
3. 掃除・洗濯 9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物 (宅配は含まない) 10. その他 ()
5. ごみ出し 11. 利用していない
6. 外出同行 (通院、買い物など)

問 41 フレイル (加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態) について知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問 42 コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響として感じていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 体力・筋力が落ちた 4. その他 ()
2. 気分が重さがちになった 5. わからない
3. 物忘れが増えた 6. 特に感じていない

地域での活動についてうかがいます。

問 43 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。(①～④それぞれ会・グループ等ごとに1つの番号に○、参加していない場合は「6」に○)

	1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回	4 月1～3回	5 年に数回	6 参加して いない
① ボランティアのグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

10/27

問 47 仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 既に活かしている	→問 49 ハ
2. 活かしたいと思っっているが、活かせていない	→問 48-1 ハ
3. 活かしたいと思わない	→問 49 ハ

問 48 市内5か所にある老人福祉センター (60歳以上が対象) を利用したことがありますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に利用している	→問 49 ハ
2. 利用したことはあるが現在は利用していない	→問 48-1 ハ
3. 老人福祉センターを知っているが利用したことがない	→問 49 ハ
4. 老人福祉センターを知らなかった	→問 49 ハ

現在は利用していない、利用したことがないと答えた方におうかがいします。

問 48-1 「利用していない」「利用したことがない」理由はなんですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 利用したくても家の近くにならないから	4. 決まったメンバーの中に入るのは不安だから
2. 魅力的な活動*がないから	5. 身体的理由から外出が困難だから
3. 活動に空きがなかったから	6. その他 ()

* 活動：1～2日/月 (例) カラオケ、体操、社交ダンスなどクラブ・サークルとしての活動のことをいいます。

問 49 今後の老人福祉センターに希望することは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 60歳未満でも利用できるようにしてほしい
2. 希望の多い活動に関しては抽選などで公平に利用できるようにしてほしい
3. 新しい講座を開設し、一人でも参加しやすくしてほしい
4. 高齢者だけでなく多世代が交流できる場を設定してほしい
5. その他 ()
6. 特に希望することはない

たすけあいについてうかがいます。

問 50 あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

	1	2	3	4	5	6
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
⑤ 元気が衰えくちがなど介護予防のための通いの場(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ(老人クラブ)(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑦ 町会・自治会(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

問 44 会・グループに1つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. どんな活動があるのかわからないから	6. 他者と付き合う自信がないから
2. 活動場所が近くにないから	7. 興味がでないから
3. 足が悪く、行く手段がないから	8. 利用料の負担が大きすぎるから
4. 活動内容がわからないから	9. コロナ禍で外出・交流を控えているから
5. 参加するきっかけがないから	10. その他 ()

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	→問 46-1 ハ	3. 参加したくない	→問 47 ハ
2. 参加してもよい	→問 46-1 ハ	4. 既に参加している	→問 47 ハ

企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方におうかがいします。

問 46-1 活動やグループを企画・運営(お世話役)として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. グループの運営の仕方がわからない	6. どこにグループがあるのかわからない
2. グループを運営する場所がない	7. 身体的理由から外出が困難
3. 時間的余裕がない	8. 活動に馴染める自信がない
4. 魅力的なグループがない	9. 特にない
5. 行ける範囲にグループが存在しない	

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 近所・同じ地域の人	5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ	6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人	7. その他 ()
4. 仕事での同僚・元同僚	8. いない

問 58 あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合いとして、協力できることとはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 家の中の修理	6. 庭の草むしり
2. 電球の交換	7. 付き添い (外出・通院)
3. 掃除・洗濯	8. 食事の準備・調理・後片付け
4. 買い物	9. スマートフォンの操作方法について教える
5. ごみ出し	

問 59 あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力できることはどんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 車両などによる送迎	4. 認知機能の低下を補うサポート
2. 歩行の不安を補う見守り・介助	5. その他 ()
3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助	6. 協力できない

問 60 あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 避難所への同行	5. 避難ができるまで (状況が落ち着くまで) の寄り添い
2. 家族や関係者等への連絡	6. その他 ()
3. 被災状況や避難所情報等の提供	7. 協力できない
4. 避難物資の支援	

問 61 地域共生社会[※]の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 困っている人への声かけ	6. 趣味や特技を活かした社会貢献
2. 町会・自治会等への参加・協力	7. 話し相手になること
3. 家事支援 (ゴミ出し・草取りなど)	8. その他 ()
4. 地域の安否確認や見守り活動	9. わからない
5. 子育て支援	

(※ 地域共生社会とは？
制度・分野ごとの『縦割り』や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。)

問 51 反対に、あなたが心配事や高齢を聞いてあげてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 52 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 53 反対に、看病や世話をしてあげてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 54 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自治会・町内会・シニアクラブ (老人クラブ)	5. 地域包括支援センター・役所・役場
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他 ()
3. ケアマネジャー	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。(1つの番号に○)

1. 0人 (いない)	4. 6～9人
2. 1～2人	5. 10人以上
3. 3～5人	

住んでいる地域についてうかがいます。

問 62 あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 非常に思う	4. あまり思わない
2. まあまあ思う	5. 全く思わない
3. どちらともいえない	

問 63 あなたは、ご近所どのようなおつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度のつきあひしかしていません
4. つきあいは全くしていません

問 64 あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

1. 避難場所・経路を把握している
2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない
3. どちらも把握していない

問 65 避難するにあたり不安はありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 避難場所への移動手段がない
2. 避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない
3. 避難場所での生活が不安
4. 持病があるので不安
5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
6. ペットを連れて避難できるか不安
7. その他 ()
8. 不安はない

問 66 高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 健康・医療・栄養などの情報提供	4. 体操や趣味活動などのための活動場所の提供
2. 体操や趣味活動などができる教室	5. 買い物支援 (無料配送、割引など)
3. ライフプラン相談 (終活セミナーなど)	6. その他 ()

問 67 最も頼りにしているかかりつけ医療機関※はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にある	→問 68 ハ
2. 市川市・鎌ヶ谷市にある	}
3. 柏市・流山市にある	
4. 我孫子市・野田市にある	
5. その他千葉県内にある	
6. 千葉県外(都内など)にある	→問 67-1 ハ
7. かかりつけ医療機関はない	→問 68 ハ

※ かかりつけ医とは?
健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

→**かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方におうかがいします。**

問 67-1 市外の医療機関にかかるとする理由は何ですか。(1つの番号に○)

1. 昔からかかっているから
2. 専門医が市内にいないから
3. 距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4. 開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5. 混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6. 家族が同じ医療機関にかかっているから
7. 勤務場所に近いかから
8. その他 ()

問 68 最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にいる	5. その他千葉県内にいる
2. 市川市、鎌ヶ谷市にいる	6. 千葉県外(都内など)にいる
3. 柏市、流山市にいる	7. かかりつけ歯科医はいない
4. 我孫子市、野田市にいる	

問 69 かかりつけ (いつも利用する) 薬局はありますか。(1つの番号に○)

1. ある	2. ない
-------	-------

認知症に関することについてうかがいます。

問 70 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 75 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2. 認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3. 「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4. 認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5. 徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6. 成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7. 認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8. 就労など若年性認知症の方への支援
9. 認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10. 認知症についての相談場所の周知
11. わからない

介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

問 76 介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等も利用できることを知っていましたか。（1つの番号に○）

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 77 以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いませんか。（①～③それぞれのサービスごとに1つの番号に○）

① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）※1	1. 利用したことがある 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）※2	1. 利用したことがある 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

問 71 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（1つの番号に○）

1. はい
2. いいえ

問 72 認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 医師の診察を受けている
2. 服薬している
3. 認知機能低下予防の脳トレを行っている
4. 禁煙している
5. アルコール量の調整をしている
6. 体重を気にしている
7. 食事に気をつけている
8. 適度な睡眠を取るようになっている
9. 適度に運動するようになっている
10. 口腔内を清潔に保つようになっている
11. 社会参加を行うようになっている
12. 趣味などの活動に参加するようになっている
13. その他（ ）
14. 特に意識していることはない

問 73 オレンジカフェ（認知症カフェ）※がどこにあれば参加してみたいと思いませんか。（1つの番号に○）

1. 駅の近く
2. 市民センター等身近な公共施設
3. 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
4. 近くの喫茶店
5. 自治会館
6. 介護施設
7. 近所の民家や神社等
8. 参加したいと思わない

※ オレンジカフェ（認知症カフェ）とは？

お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場です。

問 74 松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 認知症講演会
2. 認知症サポーター養成講座
3. オレンジ声かけ隊
4. オレンジ協力員
5. 認知症コーディネーター
6. 認知症ガイドブック（ケアパス）
7. 認知症初期集中支援チーム
8. まつど認知症予防プロジェクト
9. オレンジカフェ（認知症カフェ）
10. 介護者のつどい
11. いきいきメール
12. 高齢者の見守りシール
13. 認知症簡易チェック
14. ブラチナカフェ
15. その他（ ）
16. いずれも知らない

※1 訪問型元氣応援サービス（生活支援コース）とは？
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。

※2 訪問型元氣応援サービス（困りごとコース）とは？
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。

※3 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）とは？
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6か月程度で機能の改善を目指すサービスです。

問 78 介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

	1. 軽度者向けのデイサービス
	2. 通いの場（元氣応援くらぶ等）や地域活動などの社会参加
	3. リハビリ専門職からの助言
	4. 高齢者でも就労できる場
	5. ボランティア活動
	6. 個人でできる取り組み（健康体操や、食生活の改善等）

問 79 以下の①～③のサービスについて知っていますか。①～③それぞれサービスごとに1つの番号に○、利用してみたいと思いますか。

① 小規模多機能型居宅介護※1	1. 名称や内容は知っており利用してみたい
	2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. 名称や内容は知っており利用してみたい
	2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. 名称や内容は知っており利用してみたい
	2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	4. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせること、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることのできる介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要に応じてミニミニングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることのできる介護保険サービスです。

問 80 あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（1つの番号に○）

	1. 自宅で家族中心に介護を受けたい		→問 80-1・2ハ
	2. 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせたい		
	3. 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい		
	4. サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい		→問 80-3ハ
	5. 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい		
	6. その他（ ）		
	7. わからない		→問 81ハ

自宅で介護を希望と答えられた方におうかがいします。

問 80-1 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

	1. 在宅で十分な介護が受けられると思うから
	2. 現在の住まいで生活を続けたいから
	3. 施設で他人の世話になるのはいやだから
	4. 他人との共同生活はしたくないから
	5. 施設では自由な生活ができないから
	6. 施設に入るだけの経済的余裕がないから
	7. 施設を利用することに抵抗を感じるから
	8. 具体的に施設を知らず、不安だから
	9. その他（ ）
	10. わからない

→自宅で介護を希望と答えられた方におうかがいします。

問 80-2 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つの番号に○)

1. 家族だけに介護されたい
2. 家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3. ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4. ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5. その他 ()
6. わからない

→問 81へお進みください

外部の介護を受けたいと答えられた方におうかがいします。

問 80-3 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 家族がいないから
2. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3. 家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4. 家族に負担をかけたくないから
5. 専門的な介護が受けられるから
6. 緊急時に対応の面で安心だから
7. 在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9. その他 ()
10. わからない

問 81 今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどのように考えますか。(1つの番号に○)

1. 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2. 現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3. 保険料負担の引上げを上記1よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4. 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5. わからない

権利擁護・成年後見制度についてうかがいます。

問 82 あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2. 成年後見制度
3. 市民後見人の活動
4. 高齢者虐待の通報・相談窓口
5. 法テラス
6. クーリングオフ制度
7. いずれも知らない

問 83 あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 84 あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 85 あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
5. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 86 虐待の防止を推進するためにごくんな取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3. 虐待の通報先の広報
4. 児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6. 虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7. その他 ()

問 87 成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていますか。また、必要になったときに利用したいですか。（1つの番号に○）

1. 知っておりすでに利用している
2. 知っており利用してみたい
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知っていたが利用する予定はない
5. 知らなかったが利用する予定はない

市の高齢者施策についてうかがいます。

問 88 福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また、利用してみたいと思いませんか。（1つの番号に○）

1. 知っておりすでに利用している
2. 名称や内容は知っており利用してみたい
3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない

問 89 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 名称は知っている
2. どこにあるか知っている
3. 日常生活圏域ごとに一箇所あること
4. 介護に関する相談窓口であること
5. 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6. 認知症に関する相談窓口であること
7. 権利擁護に関する相談窓口であること
8. 成年後見制度に関する相談窓口であること
9. 総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10. 要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること
11. いずれも知らない

問 90 松戸市では、在宅医療[※]と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていますか。（1つの番号に○）

1. 知っていた
2. 知らなかった

※ 在宅医療とは？
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職等が連携し、自宅で医療を提供することです。

問 91 松戸市では「はじめの介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について参加してみたいと思いませんか。（1つの番号に○）

1. 参加したことがある
2. 参加してみたい
3. 参加してみたいと思わない

問 92 松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 広報まつど（毎月1日及び15日に発行されている情報誌）
2. 松戸市公式ホームページ
3. 市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4. 介護ナビ・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5. 生活カタログ市民便利帳（全市配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6. ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7. まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8. 松戸市医師会医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9. 松戸歯科医師会のホームページ
10. その他（ ）
11. いずれも知らない

介護に関することについてうかがいます。

問 93 以下のケアに関する用語のうち、名称・内容とも知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. ケアラー^{※1}
2. ヤングケアラー^{※2}
3. ダブルケア^{※3}
4. いずれも知らない

※1 ケアラーとは？

介護・看病・療育・世話を、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。

※2 ヤングケアラーとは？

大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話をしている18歳未満の子どものことをいいます。

※3 ダブルケアとは？

育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

問 94 あなたが現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思えますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護する時間がなかなか取れない
2. 相談できる人がいない
3. 相談する場所がわからない
4. 介護の方法がわからない
5. 早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
6. 緊急時の対応が大変である
7. 腰痛などの身体的負担が大きい
8. 介護を行う側の健康状態が良くない
9. 精神的に疲れる
10. 介護者のリフレッシュのための時間が取れない
11. 家族や近隣の人などの理解が足りない
12. ご本人が介護サービスを使いたがらない
13. イライラして本人に怒鳴ってしまうことがある
14. 思わず手を上げてしまうことがある
15. ご本人の訴えを無視してしまうことがある
16. 介護に要する費用がかかる
17. 認知症を診察してくれる医療機関（診療科）がわからない
18. 認知症の人への対応の仕方がわからない
19. 急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またはない
20. 徘徊して行方がわからなくなるときがある
21. その他（ ）
22. わからない
23. 特にない

25/27

問 95 あなたは、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者（夫・妻）
2. 娘
3. 息子
4. 兄弟・姉妹
5. 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
6. 配偶者の親
7. ケアマネジャー
8. 子の配偶者
9. 市の窓口（保健所など）
10. その他（ ）
11. 隣近所の人
12. 民生委員
13. 町会・自治会
14. シニアクラブ（老人クラブ）
15. 社会福祉協議会
16. 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
17. ケアマネジャー
18. 市役所（支所を含む）・保健福祉センター
19. 県の窓口（保健所など）
20. その他（ ）
21. そのような人はいない
11. 医師・歯科医師・看護師・薬剤師

問 96 介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護者が集える会合の場
2. 介護者が地域とつながることのできる環境
3. 介護者向けの研修会・講習会
4. その他（ ）

問 97 「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また、参加してみたいと思えますか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知っていたが参加したことはない
5. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
6. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 98 「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常の介護の仕方のコツ
2. 介護の制度や仕組みに関する情報
3. 医療の情報
4. ピアサポート（同じ立場にある人との交流）
5. 悩みや愚痴を聞いてもらう
6. リフレッシュ
7. その他（ ）

26/27

問99 介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 多くの人に感謝される尊敬できる職種 | 6. 家庭生活と両立できる |
| 2. 高齢化により今後需要が伸びていく | 7. 夜勤が多くて大変そう |
| 3. 専門的な介護技術を要する | 8. 給与など雇用面での待遇が悪そう |
| 4. 人や社会の役に立ち働きがいがある | 9. 体力的、精神的にきつそう |
| 5. 何歳になっても続けることができる | 10. その他() |

◎最後に高齢者保健福祉社や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。

記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
令和4年12月13日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

3. 事業対象者・要支援認定者調査 調査票

あなた（あて名のかた）のご家族や生活状況についてうかがいます。

問2 家族構成を教えてください。(1つの番号に○)

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他（3世帯を含む）

問3 家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。(1つの番号に○)

- 1. 自室からは出るが、家からは出ない →問3-1へ
- 2. 自室からほとんど出ない
- 3. 該当する方はいない →問4へ

→家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方におうかがいします。
問3-1 その方の年齢はいくつですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 18歳未満
- 2. 18歳～39歳
- 3. 40歳～64歳
- 4. 65歳～74歳
- 5. 75歳以上

問4 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。(1つの番号に○)

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～250万円未満
- 6. 250～300万円未満
- 7. 300～400万円未満
- 8. 400～500万円未満
- 9. 500～600万円未満
- 10. 600～700万円未満
- 11. 700～800万円未満
- 12. 800～900万円未満
- 13. 900～1,000万円未満
- 14. 1,000～1,200万円未満
- 15. 1,200万円以上

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つの番号に○)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. ぶつう
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

WEB（インターネット）で回答する場合は、右のログインID・パスワードにて回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査 事業対象者・要支援認定者調査票

この調査票を記入されるのはどなたですか。(1つの番号に○)

- 1. あて名のご本人が記入
- 2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみた続柄：()
- 3. その他 ()

これ以降の「あなた」は、あて名のご本人についておうかがいます。

あなた（あて名のかた）ご自身についてうかがいます。

問1 あなたの現在の就業状況をお答えください。(1つの番号に○)

- 1. フルタイムで働いている →問2へ
- 2. パートタイム*で働いている →問1-1へ
- 3. 働いていない

*「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

働いていないと答えた方におうかがいします。

問1-1 働いていない理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 仕事が無い・採用されない（働きたいが仕事に就けない）
- 2. 身体的都合や周りの方の介護等（働きたいが仕事に就けない）
- 3. 希望する職種で働きたいから（希望職種以外は望まない）
- 4. 他に活動をしているから（地域活動やボランティア等に参加している）
- 5. 働くつもりはない

現在、介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。←

問7-3 主にどなたに介護・介助を受けていますか。(1つの番号に○)

1. 配偶者(夫・妻)	5. 孫
2. 息子	6. 兄弟・姉妹
3. 娘	7. 介護サービスヘルパー
4. 子の配偶者	8. その他()

あなた(あて名のた)の身体状況についてうかがいます。

問8 あなたの身長と体重をご回答ください。
(数字で記入。小数点以下は切り捨て(例)150.5cmの場合、150と記入、(例)60.5kgの場合、60と記入)

身長 cm 体重 kg

問9 この6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つの番号に○)

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

問11 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ない	11. 外傷(転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん(悪性新生物)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症(脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他()
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)	

問12 あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた	2. 受けていない
-------------	-----------

4/28

問6 あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。(1つの番号に○)

1. 持家(一戸建て)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
2. 持家(集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他()
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つの番号に○)

1. 介護・介助は必要ない	→問8ハ
2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→問7-1・2ハ
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)	→問7-1・3ハ

現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。←

問7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	9. 腎疾患(透析)
2. 心臓病	10. 視覚・聴覚障害
3. がん(悪性新生物)	11. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	12. 背腰痛
5. 関節の病気(リウマチ等)	13. 高齢による衰弱
6. 認知症(アルツハイマー病等)	14. その他()
7. パーキンソン病	15. 不明
8. 糖尿病	

介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方におうかがいします。←

問7-2 あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護・介助をお願いできる人が周りにいないから
2. 他人に介護・介助されるのが嫌だから
3. 介護サービスの利用方法がわからないから
4. 介護サービスを利用したいが相談先がわからないから
5. 利用したい介護サービスがないから
6. その他()
7. わからない
8. 特になし

→問8ハお進みください

3/28

問 20 歯磨き (人にやってもらった場合も含む) を毎日していますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 21 お酒は飲みますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

問 22 タバコは吸っていますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

問 23 どなたかと食事をもつ機会がありますか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

からだを動かすことについてうかがいます。

問 24 次の①～⑤のからだを動かすことや転倒について、それぞれ回答ください。

① 階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している
	2. できるけど、していない
	3. できない
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している
	2. できるけど、していない
	3. できない
③ 15分くらい続けて歩いていますか。(1つの番号に○)	1. できるし、している
	2. できるけど、していない
	3. できない
④ 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つの番号に○)	1. 何度もある
	2. 1度ある
	3. ない
⑤ 転倒に対する不安は大きいですか。(1つの番号に○)	1. とても不安である
	2. やや不安である
	3. あまり不安でない
	4. 不安でない

問 25 週に1回以上は外出していますか。(1つの番号に○)

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

問 13 あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた (市の無料の成人歯科健診等)	3. 受けていない
2. 1年以内に受けた (1以外の健診)	

問 14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つの番号に○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	→問 14-1ハ
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	→問 15ハ
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	→問 14-1ハ
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	→問 15ハ

入れ歯を利用していると答えた方におうかがいします。

問 14-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 15 なんでもよく噛めますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 16 耳の間こえに関して感じることはありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 話し声が大きいと言われる
2. 会話をしている時に聞き返すことがよくある
3. 数人の会話でうまく聞き取れないことがある
4. 会話の中でうまく聞き取れない場合に、推測で判断することがある
5. テレビの音量が大きいと家族に言われることがよくある
6. 特に感じることはない

食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 18 お茶や汁物などでむせることがありますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 19 口の渇きが気になりますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問26 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つの番号に○)

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

問27 外出を控えていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ	→問28へ
-------	--------	-------

→外出を控えていると答えられた方におうかがいします。

問27-1 外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 病気	6. 目の障害
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配(尿もれなど)	9. 交通手段がない
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	10. その他()

→外出を控えていると答えられた方におうかがいします。

問27-2 どのような支援があれば外出できますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 車両などによる送迎	4. 認知機能の低下を補うサポート
2. 歩行の不安を補う見守り・介助	5. その他()
3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助	6. 支援は必要としない

問28 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 徒歩	8. 病院や施設のバス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす(カート)
4. 自動車(自分で運転)	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車(人に乗せてもらう)	12. タクシー
6. 電車	13. その他()
7. 路線バス	

問29 次の①～⑥毎日の生活のことについて、それぞれご回答ください。

毎日の生活についてうかがいます。

① 物忘れが多いと感じますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ

7/28

③ 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

④ バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない
3. できない	

⑤ 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない
3. できない	

⑥ 自分で食事の用意をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない
3. できない	

⑦ 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない
3. できない	

⑧ 自分で預貯金のおし入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している	2. できるけど、していない
3. できない	

問30 スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ(例:LINE等)を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

いずれも行ったことがないと答えられた方におうかがいします。

1. 無料通話アプリ(LINE等)を使用して、家族、友人等と連絡を取り合っている	→問31へ
2. オンライン上で、講演会、交流会等に参加したことがある	→問30-1へ
3. 上記1、2いずれも行ったことがない	

問30-1 行ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 参加できる教室、講演会、交流会等についての情報がわからない
2. オンラインでの教室、講演会、交流会に参加したいが、スマートフォン・タブレットの操作方法がわからない
3. オンラインの活用に興味・必要性を感じない
4. スマートフォン・タブレットを所持していない

問31 友人の家を訪ねていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問32 家族や友人の相談のついでにしていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問33 病人を見舞うことができますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

8/28

問 39 普段の生活に困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 家中の修理
- 2. 電球の交換
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物
- 5. ごみ出し
- 6. 庭の草むしり
- 7. 外出
- 8. 通院
- 9. 食事の準備・調理・後片付け
- 10. 困っていない

問 40 あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスの利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物 (宅配は含まない)
- 5. ごみ出し
- 6. 外出同行 (通院、買い物など)
- 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
- 8. 見守り・声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他 ()
- 11. 利用していない

問 41 フレイル (年齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態) について知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 42 コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響として感じていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 体力・筋力が落ちた
- 2. 気分が塞ぎがちになった
- 3. 物忘れが増えた
- 4. その他 ()
- 5. わからない
- 6. 特に感じていない

地域での活動についてうかがいます。

問 43 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑥それぞれ会・グループ等ごとに1つの番号に○、参加していない場合は「6」に○)

	1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回	4 月1～3回	5 年に数回	6 参加して いない
① ボランティアのグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

問 34 ペットを飼っていますか。(1つの番号に○)

- 1. はい →問 34-1 ハ
- 2. いいえ →問 35 ハ

ペットを飼っていると言えられた方におうかがいします。

問 34-1 ペットを飼っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 入院・入所
- 2. 日常の世話
- 3. 緊急時
- 4. 自分以外に世話する人がいない
- 5. その他 ()
- 6. 困っていない

問 35 生がいはありますか。(1つの番号に○)

- 1. はい →問 35-1 ハ
- 2. 思いつかない →問 36 ハ

生がいがああると言えられた方におうかがいします。

問 35-1 「生がいがいい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 働くこと (自営・家事等も含む)
- 2. 家族の世話や介護
- 3. ご近所や友達とのつきあい
- 4. スポーツ・レクリエーション
- 5. 学習や教養を高めること・趣味の活動
- 6. 町会・自治会の活動
- 7. シニアクラブ (老人クラブ) の活動
- 8. ボランティア活動
- 9. おしゃれや服装のこと
- 10. 家族との団らん
- 11. テレビやラジオの視聴
- 12. 信仰に関すること
- 13. 旅行や買い物などの外出
- 14. 食事をすること
- 15. その他 ()

問 36 あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください)。(1つの点数に○)

- ← とても不幸 →
- 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
- とても幸せ →

問 37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 47 仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 既に活かしている	→問 49 ハ
2. 活かしたいと思っているが、活かせていない	→問 48-1 ハ
3. 活かしたいと思わない	→問 49 ハ

問 48 市内5か所にある老人福祉センター（60歳以上が対象）を利用したことがありますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に利用している	→問 49 ハ
2. 利用したことはあるが現在は利用していない	→問 48-1 ハ
3. 老人福祉センターを知っているが利用したことがない	→問 49 ハ
4. 老人福祉センターを知らなかった	→問 49 ハ

現在は利用していない、利用したことがないと答えた方におうかがいします。

問 48-1 「利用していない」「利用したことがない」理由はなんですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 利用したくても家の近くにないから	4. 決まったメンバーの中に入るのは不安だから
2. 魅力的な活動*がないから	5. 身体的理由から外出が困難だから
3. 活動に空きがなかったから	6. その他 ()

* 活動：1～2日/月（例）カラオケ、体操、社交ダンスなどクラブ・サークルとしての活動のことをいいます。

問 49 今後の老人福祉センターに希望することは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 60歳未満でも利用できるようにしてほしい
2. 希望の多い活動に関しては抽選などで公平に利用できるようにしてほしい
3. 新しい講座を開設し、一人でも参加しやすくしてほしい
4. 高齢者だけでなく多世代が交流できる場を設定してほしい
5. その他 ()
6. 特に希望することはなし

たすけあいについてうかがいます。

問 50 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

	1	2	3	4	5	6
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない
⑤ 元気が悪くくらがなど介護学術のための通いの場(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ(老人クラブ)(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑦ 町会・自治会(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事(1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

問 44 会・グループに1つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. どんな活動があるか知らないから	6. 他者と付き合う自信がないから
2. 活動場所が近くにないから	7. 興味がないから
3. 足が悪く、行く手段がないから	8. 利用料の負担が大いから
4. 活動内容がわからないから	9. コロナ禍で外出・交流を控えているから
5. 参加するきっかけがないから	10. その他 ()

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	→問 46-1 ハ	3. 参加したくない	→問 47 ハ
2. 参加してもよい	→問 46-1 ハ	4. 既に参加している	→問 47 ハ

企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方におうかがいします。

問 46-1 活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. グループの運営の仕方がわからない	6. どこにグループがあるのかわからない
2. グループを運営する場所がない	7. 身体的理由から外出が困難
3. 時間的余裕がない	8. 活動に馴染める自信がない
4. 魅力的なグループがない	9. 特になし
5. 行ける範囲にグループが存在しない	

問51 反対に、あなたか心配事や愚痴を聞いてあげる人はいいますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

問52 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

問53 反対に、看病や世話をしてあげる人はいいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

問54 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自治会・町内会・シニアクラブ (老人クラブ)
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場
6. その他 ()
7. そのような人はいない

問55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何回会っても1人と数えてください。(1つの番号に○)

1. 0人 (いない)
2. 1～2人
3. 3～5人
4. 6～9人
5. 10人以上

問57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 ()
8. いない

問58 あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合いとして、協力できることはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 家の中の修理
2. 電球の交換
3. 掃除・洗濯
4. 買い物
5. ごみ出し
6. 庭の草むしり
7. 付き添い (外出・通院)
8. 食事の準備・調理・後片付け
9. スマートフォンの操作方法について教える

問59 あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力できることはどんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 車両などによる送迎
2. 歩行の不安を補助・見守り・介助
3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助
4. 認知機能の低下を補うサポート
5. その他 ()
6. 協力ができない

問60 あなたは、災害などが起こったときに、手助けができないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できることは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 避難所への同行
2. 家族や関係者等への連絡
3. 被災状況や避難所情報等の提供
4. 避難物資の支援
5. 避難ができるまで (状況が落ち着くまで) の寄り添い
6. その他 ()
7. 協力ができない

問61 地域共生社会[※]の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行なう事ができますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 困っている人への声かけ
2. 町会・自治会等への参加・協力
3. 家事支援 (ゴミ出し・草取りなど)
4. 地域の安否確認や見守り活動
5. 子育て支援
6. 趣味や特技を活かした社会貢献
7. 話し相手になること
8. その他 ()
9. わからない

※ 地域共生社会とは？

制度・分野ごとの『縦割り』や、「支え手」「受け手」という関係を超越して、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

住んでいる地域についてうかがいます。

問 62 あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思えますか。(1つの番号に○)

1. 非常に思う
2. まあまあ思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

問 63 あなたは、ご近所などのようなおつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度のつきあいはしていない
4. つきあいは全くしていない

問 64 あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

1. 避難場所・経路を把握している
2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない
3. どちらも把握していない

問 65 避難するにあたり不安はありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 避難場所への移動手段がない
2. 避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない
3. 避難場所での生活が不安
4. 持病があるので不安
5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
6. ペットを連れて避難できるか不安
7. その他 ()
8. 不安はない

問 66 高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思えますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 健康・医療・栄養などの情報提供
2. 体操や趣味活動などができる教室
3. ライフプラン相談(総活セミナーなど)
4. 体操や趣味活動などのための活動場所の提供
5. 買い物支援(無料配送、割引など)
6. その他 ()

問 67 最も頼りにしているかかりつけ医療機関はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にある
2. 市川市・鎌ヶ谷市にある
3. 柏市・流山市にある
4. 我孫子市・野田市にある
5. その他千葉県内にある
6. 千葉県外(都内など)にある
7. かかりつけ医療機関はない

→問 68 へ

→問 67-1 へ

→問 68 へ

※ かかりつけ医とは？
健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近に頼りになる医師のことです。

→かかりつけ医療機関が松戸市以外にある理由はなんですか。(1つの番号に○)

問 67-1 市外の医療機関にかかる理由はなんですか。(1つの番号に○)

1. 昔からかかっているから
2. 専門医が市内にいないから
3. 距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4. 開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5. 混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6. 家族が同じ医療機関にかかっているから
7. 勤務場所に近いから
8. その他 ()

問 68 最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にいる
2. 市川市、鎌ヶ谷市にいる
3. 柏市、流山市にいる
4. 我孫子市、野田市にいる
5. その他千葉県内にいる
6. 千葉県外(都内など)にいる
7. かかりつけ歯科医はいない

問 69 かかりつけ(いつも利用する)薬局はありますか。(1つの番号に○)

1. ある
2. ない

認知症に関することについてうかがいます。

問 70 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 71 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 72 認知症発症予防(予防)について意識していることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 医師の診察を受けている
- 2. 服薬している
- 3. 認知機能低下予防の脳トレを行っている
- 4. 禁煙している
- 5. アルコール量の調整をしている
- 6. 体重を気にしている
- 7. 食事に気をつけている
- 8. 適度な睡眠を取るようにしている
- 9. 適度に運動するようにしている
- 10. 口腔内を清潔に保つようにしている
- 11. 社会参加を行うようにしている
- 12. 趣味などの活動に参加するようにしている
- 13. その他 ()
- 14. 特に意識していることはない

問 73 オレンジカフェ(認知症カフェ) *がどこにあれば参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

- 1. 駅の近く
- 2. 市民センター等身近な公共施設
- 3. 高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)
- 4. 近くの喫茶店
- 5. 自治会館
- 6. 介護施設
- 7. 近所の民家や神社等
- 8. 参加したいと思わない

(* オレンジカフェ(認知症カフェ)とは？

お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場です。

問 74 松戸市が行っている認知症対策について、知っているものほどですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 認知症講演会
- 2. 認知症サポーター養成講座
- 3. オレンジ声かけ隊
- 4. オレンジ協力員
- 5. 認知症コーディネーター
- 6. 認知症ガイドブック(ケアパス)
- 7. 認知症初期集中支援チーム
- 8. まつど認知症予防プロジェクト
- 9. オレンジカフェ(認知症カフェ)
- 10. 介護者のつどい
- 11. いきいきメール
- 12. 高齢者の見守りシール
- 13. 認知症簡易チャット
- 14. プラチナカフェ
- 15. その他 ()
- 16. いずれも知らない

問 75 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうが良いと思うものほどですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
- 2. 認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 3. 「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
- 4. 認知症サポーター(認知症の方や家族を見守る人)など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
- 5. 徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
- 6. 成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
- 7. 認知症の本人のつどい(当事者ミーティング)
- 8. 就労など若年性認知症の方への支援
- 9. 認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
- 10. 認知症についての相談場所の周知
- 11. わからない

介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

問 76 介護保険の要介護(要支援)認定を受けなくても、基本チェックリスト(25項目)により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等も利用できることを知っていましたか。(1つの番号に○)

- 1. 知っていた
- 2. 知らなかった

問77 以下の①～③のサービスについて知っていませんか。また、利用してみたいと思いますか。(①～③それぞれサービスの番号に○)

① 訪問型元気応援サービス (生活支援コース) ※1	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
② 訪問型元気応援サービス (困りごとコース) ※2	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
③ 短期集中予防サービス (いきいきトレーニング) ※3	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

※1 訪問型元気応援サービス(生活支援コース)とは?
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。

※2 訪問型元気応援サービス(困りごとコース)とは?
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。

※3 短期集中予防サービス(いきいきトレーニング)とは?
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6カ月程度で機能の改善を目指すサービスです。

問78 介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 軽度者向けのデイサービス
2. 通いの場(元気応援くらぶ等)や地域活動などの社会参加
3. リハビリ専門職からの助言
4. 高齢者でも就労できる場
5. ボランティア活動
6. 個人でできる取り組み(健康体操や、食生活の改善等)

問79 あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。(1つの番号に○)

1. 利用している →問79-1・2へ
2. 利用していない →問79-3へ

介護保険サービス等を利用していると答えな方向におうかがいします。
問79-1 次のような在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 訪問型サービス(ホームヘルプ)
2. 通所型サービス(デイサービス)
3. 訪問看護
4. 訪問入浴介護
5. 通所リハビリテーション(デイケア)
6. 訪問リハビリテーション
7. 短期入所(ショートステイ)
8. 認知症対応型通所介護
9. 訪問診療(医師の訪問)
10. 訪問診療(歯科医師の訪問)
11. (看護)小規模多機能型居宅介護
12. 医師による療養上の指導(居宅療養管理指導)
13. 歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導(居宅療養管理指導)
14. 薬剤師による療養上の指導(居宅療養管理指導)
15. 福祉用具貸与
16. 福祉用具購入
17. 住宅改修
18. 訪問型元気応援サービス(生活支援コース・困りごとコース)
19. 短期集中予防サービス
20. 通所型元気応援くらぶ(住民主体の通いの場)
21. その他()

介護保険サービス等を利用していると答えな方向におうかがいします。
問79-2 介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自分で身の回りのことができなくなった
2. 意欲が出てきた
3. 体調が良くなった
4. 精神的ストレスが減った
5. 家族に対する気兼ねが減った
6. 外出する機会が増えた
7. 自分で身の回りのことをしなくなった
8. 意欲がなくなかった
9. 精神的ストレスが増えた
10. 家族に対する気兼ねが増えた
11. 外出する機会が減った
12. その他()
13. 特に変化はない

→問80へお進みください

介護保険サービス等を利用していないと答えた方におうかがいします。←

問79-3 あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自分でまだできるから	6. 利用料の負担が大きいから
2. 利用したいサービスがないから	7. 介護保険以外のサービスを利用しているから
3. 病院に入院しているから	8. その他 ()
4. 家族等の介護で十分だから	9. わからない
5. 他人に介護されるのが嫌だから	10. 特になし

問80 以下の①～③のサービスについて知っていますか。また、利用してみたいと思いますか。(①～③それぞれサービスの番号に○)

① 小規模多機能型居宅介護※1	1. すでに利用している
	2. 名称や内容は知っており利用してみたい
	3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. 名称や内容は知っており利用してみたい
	2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	4. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. 名称や内容は知っており利用してみたい
	2. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
	3. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
	4. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わさることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要となるタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

問81 あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 自宅で家族中心に介護を受けたい	→問81-1・2ハ
2. 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせさせて介護を受けたい	→問81-3ハ
3. 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	→問82ハ
4. サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい	
5. 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい	
6. その他 ()	
7. わからない	

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問81-1 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 在宅で十分な介護が受けられると思うから
2. 現在の住まいで生活を続けたいから
3. 施設で他人の世話になるのはいやだから
4. 他人との共同生活はしたくないから
5. 施設では自由な生活ができないから
6. 施設に入るだけの経済的余裕がないから
7. 施設を利用することに抵抗を感じるから
8. 具体的に施設を知らず、不安だから
9. その他 ()
10. わからない

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問81-2 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つの番号に○)

1. 家族だけに介護されたい
2. 家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3. ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4. ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5. その他 ()
6. わからない

→問82ハお進みください

21/28

外部の介護を受けたいと答えた方におうかがいします。←

問 81-3 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 家族がいらないから
2. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3. 家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができてきないから
4. 家族に負担をかけたくないから
5. 専門的な介護が受けられるから
6. 緊急時に対応の面で安心だから
7. 在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9. その他 ()
10. わからない

問 82 今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどうか考えますか。(1つの番号に○)

1. 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2. 現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引上げられなくてもやむを得ない
3. 保険料負担の引上げを上記1よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4. 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5. わからない

権利擁護・成年後見制度についてうかがいます。

問 83 あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)
2. 成年後見制度
3. 市民後見人の活動
4. 高齢者虐待の通報・相談窓口
5. フォーラス
6. クーリングオフ制度
7. いずれも知らない

問 84 あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する(努力)義務があることを知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 85 あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 86 あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
5. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 87 虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3. 虐待の通報先の広報
4. 児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6. 虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7. その他 ()

問 88 成年後見制度(障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度)を知っていますか。また、必要になったときに利用したいですか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 知っており利用してみたい
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知っていたが利用する予定はない
5. 知らなかったし利用する予定はない

市の高齢者施策についてうかがいます。

問 89 福祉まると相談窓口(介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口)について知っていますか。また、利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 名称や内容は知っており利用してみたい
3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
5. 名称や内容は知らなかったし利用したいとも思わない

問 90 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 名称は知っている
2. どこにあるか知っている
3. 日常生活圏域ごとに一箇所あること
4. 介護に関する相談窓口であること
5. 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6. 認知症に関する相談窓口であること
7. 権利擁護に関する相談窓口であること
8. 成年後見制度に関する相談窓口であること
9. 総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10. 要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること
11. いずれも知らない

問 91 松戸市では、在宅医療*と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていますか。（1つの番号に○）

1. 知っている
 2. 知らなかった
- ※ 在宅医療とは？
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職等が連携し、自宅で医療を提供することです。

問 92 在宅医療を利用してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1. すでに利用している → 問 92-1 へ
2. 利用してみたい → 問 92-2 へ
3. 利用したいと思わない → 問 92-2 へ
4. わからない

在宅医療をすでに利用していると答えた方におうかがいします。

問 92-1 在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 病気・状態により主治医が対応できないことがあった（主治医がみつからなかった）
2. 夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
3. 自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまった
4. 医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていないなかった
5. 必要な検査ができなかった
6. その他（ ）
7. 特になし

→ 問 93 へお進みください

在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと答えた方におうかがいします。

問 92-2 在宅医療を利用するとしたら不安を感じることはありませんか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 往診してくれる医師がどこにいるのかわからない
2. かかりつけ医が在宅医療に対応していない
3. 訪問看護の体制が整っていない
4. 症状が急変したときの対応に不安がある
5. 検査が十分にできるか不安がある
6. 病気や状態によっては対応できる医師がみつからない
7. 医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
8. その他（ ）
9. わからない
10. 特になし

問 93 松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 広報まつど（毎月1日及び15日に発行されている情報誌）
2. 松戸市公式ホームページ
3. 市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4. 介護なび・まつど（介護保険サービスの事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5. 生活カタログ市民便り帳（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6. ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7. まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8. 松戸市医師会医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と住診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9. 松戸歯科医師会のホームページ
10. その他（ ）
11. いずれも知らない

介護に関することについてうかがいます。

問 94 以下のケアに関する用語のうち、名称・内容とも知っているものはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. ケアラー※1
 2. ヤングケアラー※2
 3. ダブルケア※3
 4. いずれも知らない
- ※1 ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
- ※2 ヤングケアラーとは？
大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている18歳未満の子どものことをいいます。
- ※3 ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

問 97 介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護者が集える会合の場	3. 介護者向けの研修会・講習会
2. 介護者が地域とつながることのできる環境	4. その他 ()

問 98 「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある	4. 知っていたが参加したことはない
2. 知っており参加してみたい	5. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
3. 知らなかったが参加してみたい	6. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 99 「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常の介護の仕方のコツ	5. 悩みや愚痴を聞いてもらう
2. 介護の制度や仕組みに関する情報	6. リフレッシュ
3. 医療の情報	7. その他 ()
4. ピアサポート (同じ立場にある人との交流)	

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**令和4年12月13日(火)**までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力いただきありがとうございます。

28/28

問 95 あなたが現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護する時間がなかなか取れない
2. 相談できる人がいない
3. 相談する場所がわからない
4. 介護の方法がわからない
5. 早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
6. 緊急時の対応が大変である
7. 腰痛などの身体的負担が大きい
8. 介護を行う側の健康状態が良くない
9. 精神的に疲れる
10. 介護者のリフレッシュのための時間が取れない
11. 家族や近隣の人などの理解が足りない
12. ご本人が介護サービスを使いたがらない
13. イライラしてご本人に怒鳴ってしまうことがある
14. 思わず手を上げてしまうことがある
15. ご本人の訴えを無視してしまうことがある
16. 介護に要する費用がかかる
17. 認知症を診察してくれる医療機関(診療科)がわからない
18. 認知症の人への対応の仕方がわからない
19. 急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またははない
20. 徘徊して行方がわからなくなるときがある
21. その他 ()
22. わからない
23. 特にない

問 96 あなたは、介護について誰に相談していますか、または相談していませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 娘
3. 息子
4. 兄弟・姉妹
5. 自分の親
6. 配偶者の親
7. 子の配偶者
8. 友人・知人
9. 職場の人
10. 隣近所の人
11. 医師・歯科医師・看護師・薬剤師
12. 民生委員
13. 町会・自治会
14. シニアクラブ(老人クラブ)
15. 社会福祉協議会
16. 高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)
17. ケアマネジャー
18. 市役所(支所を含む)・保健福祉センター
19. 県の窓口(保健所など)
20. その他 ()
21. そのような人はいない

27/28

4. 要介護認定者（軽度）調査 調査票

WEB（インターネット）で回答する場合は、右のログインID・パスワードにて回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

**松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
要介護認定者（軽度）調査票**

この調査票を記入されるのはどなたですか。（1つの番号に○）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみた続柄：（ ）
3. その他（ ）

これ以降の「あなた」は、あて名のご本人についてお答えください。

あなた（あて名のかた）ご自身についてお答えください。（1つの番号に○）

問1 あなたの現在の就業状況をお答えください。（1つの番号に○）

1. フルタイムで働いている → 問2へ
2. パートタイム^{*}で働いている → 問1-1へ
3. 働いていない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

働いていないと答えた方にお答えください。

問1-1 働いていない理由を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 仕事が無い・採用されない（働きたいが仕事に就けない）
2. 身体的都合や周りの方の介護等（働きたいが仕事に就けない）
3. 希望する職種で働きたいから（希望職種以外は望まない）
4. 他に活動をしているから（地域活動やボランティア等に参加している）
5. 働くつもりはない

あなた（あて名のかた）のご家族や生活状況についてお答えください。

問2 家族構成を教えてください。（1つの番号に○）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（3世帯を含む）

問3 家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（1つの番号に○）

1. 自室からは出るが、家からは出ない → 問3-1へ
2. 自室からほとんど出ない
3. 該当する方はいない → 問4へ

家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方にお答えください。

問3-1 その方の年齢はいくつですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 18歳未満
2. 18歳～39歳
3. 40歳～64歳
4. 65歳～74歳
5. 75歳以上

問4 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満
8. 400～500万円未満
9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満
11. 700～800万円未満
12. 800～900万円未満
13. 900～1,000万円未満
14. 1,000～1,200万円未満
15. 1,200万円以上

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つの番号に○）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

現在、介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

問7-3 主にどなたに介護・介助を受けていますか。(1つの番号に○)

1. 配偶者(夫・妻)	5. 孫
2. 息子	6. 兄弟・姉妹
3. 娘	7. 介護サービスヘルパー
4. 子の配偶者	8. その他()

あなた(あて名のかた)の身体状況についてうかがいます。

問8 あなたの身長と体重をご回答ください。
(数字で記入。小数点以下は切り捨て(例)150.5cmの場合、150と記入、(例)60.5kgの場合、60と記入)

身長 cm 体重 kg

問9 この6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
3. あまりよくない	4. よくない

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つの番号に○)

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

問11 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ない	11. 外傷(転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん(悪性新生物)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症(脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他()
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)	

問12 あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた	2. 受けていない
-------------	-----------

問6 あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。(1つの番号に○)

1. 持家(一戸建て)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
2. 持家(集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他()
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つの番号に○)

1. 介護・介助は必要ない	→問8へ
2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→問7-1・2へ
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)	→問7-1・3へ

現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

問7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	9. 腎疾患(透析)
2. 心臓病	10. 視覚・聴覚障害
3. がん(悪性新生物)	11. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気(肺炎・肺気腫・肺炎等)	12. 背腰痛
5. 関節の病気(リウマチ等)	13. 高齢による衰弱
6. 認知症(アルツハイマー病等)	14. その他()
7. パーキンソン病	15. 不明
8. 糖尿病	

介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方におうかがいします。

問7-2 あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護・介助をお願いできる人が周りにいないから
2. 他人に介護・介助されるのが嫌だから
3. 介護サービスの利用方法がわからないから
4. 介護サービスを利用したいが相談先がわからないから
5. 利用したい介護サービスがないから
6. その他()
7. わからない
8. 特になし

→問8へお進みください

問 20 歯磨き（人にやってもらった場合も含む）を毎日していますか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 21 お酒は飲みますか。（1つの番号に○）

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

問 22 タバコは吸っていますか。（1つの番号に○）

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

問 23 どなたかと食事をともにする機会はありますか。（1つの番号に○）

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

からだを動かすことについてうかがいます。

問 24 次の①～⑤のからだを動かすことや転倒について、それぞれ回答ください。

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（1つの番号に○）	1. できるし、している
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つの番号に○）	2. できるけど、していない
③ 15分くらい続けて歩いていきますか。（1つの番号に○）	3. できない
④ 過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つの番号に○）	1. できるし、している
⑤ 転倒に対する不安は大きいですか。（1つの番号に○）	2. できるけど、していない
	3. できない
	4. 何度もある
	5. 1度ある
	6. ない
	7. とても不安である
	8. やや不安である
	9. あまり不安でない
	10. 不安でない

問 25 週に1回以上は外出していますか。（1つの番号に○）

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

問 13 あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。（1つの番号に○）

1. 1年以内に受けた（市の無料の成人歯科健診等）	3. 受けていない
2. 1年以内に受けた（1以外の健診）	

問 14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（1つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	→問 14-1ハ
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	→問 15ハ
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	→問 14-1ハ
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	→問 15ハ

入れ歯を利用していると答えた方におうかがいします。

問 14-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 15 なんでもよく噛めますか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 16 耳の聞こえに関して感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 話し声が大きいと言われる
2. 会話をしている時に聞き返すことがよくある
3. 数人の会話でうまく聞き取れないことがある
4. 会話の中でうまく聞き取れない場合に、推測で判断することがある
5. テレビの音量が大きいと家族に言われることがよくある
6. 特に感じることはない

食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 18 お茶や汁物などでむせることがありますか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 19 口の渇きが気になりますか。（1つの番号に○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問26 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つの番号に○)

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

問27 外出を控えていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ	→問28へ
-------	--------	-------

→外出を控えていると答えた方におうかがいします。

問27-1 外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 病気	6. 目の障害
2. 障害（脳卒中の後遺症など）	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配（尿もれなど）	9. 交通手段がない
5. 耳の障害（聞こえの問題など）	10. その他（ ）

→外出を控えていると答えた方におうかがいします。

問27-2 どのような支援があれば外出できますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 車両などによる送迎	4. 認知機能の低下を補うサポート
2. 歩行の不安を補う見守り・介助	5. その他（ ）
3. 歩行器・車椅子使用による付添・介助	6. 支援は必要としない

問28 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 徒歩	8. 病院や施設のバス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす（カート）
4. 自動車（自分で運転）	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車（人に乗せてもらう）	12. タクシー
6. 電車	13. その他（ ）
7. 路線バス	

問29 次の①～⑧毎日の生活のことについて、それぞれご回答ください。

毎日の生活についてうかがいます。

① 物忘れが多いと感じますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つの番号に○)	1. はい	2. いいえ

7/24

③ 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

④ バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つの番号に○)

1. できるし、している
2. できるけど、していない
3. できない

⑤ 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している
2. できるけど、していない
3. できない

⑥ 自分で食事の用意をしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している
2. できるけど、していない
3. できない

⑦ 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している
2. できるけど、していない
3. できない

⑧ 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. できるし、している
2. できるけど、していない
3. できない

問30 スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ（例：LINE等）を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 無料通話アプリ（LINE等）を使用して、家族、友人等と連絡を取り合っている	→問31へ
2. オンライン上で、講演会、交流会等に参加したことがある	
3. 上記1、2いずれも行ったことがない	

→いずれも行ったことがないと答えた方におうかがいします。

問30-1 行ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 参加できる教室、講演会、交流会等についての情報がわからない
2. オンラインでの教室、講演会、交流会に参加したいが、スマートフォン・タブレットの操作方法がわからない
3. オンラインの活用に興味・必要性を感じない
4. スマートフォン・タブレットを所持していない

問31 友人の家を訪ねていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問32 家族や友人の相談のっていますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問33 病人を見舞うことができますか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

8/24

問 39 普段の生活に困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 家中の修理
- 2. 電球の交換
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物
- 5. ごみ出し
- 6. 庭の草むしり
- 7. 外出
- 8. 通院
- 9. 食事の準備・調理・後片付け
- 10. 困っていない

問 40 あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物 (宅配は含まない)
- 5. ごみ出し
- 6. 外出同行 (通院、買い物など)
- 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
- 8. 見守り・声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他 ()
- 11. 利用していない

問 41 フレイル (年齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態) について知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 42 コロナ禍以前に比べ、外出・交流の機会が減ったことによる影響として感じていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 体力・筋力が落ちた
- 2. 気分が重さがちになった
- 3. 物忘れが増えた
- 4. その他 ()
- 5. わからない
- 6. 特に感じていない

地域での活動についてうかがいます。

問 43 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。(①～⑥それぞれ会・グループ等ごとに1つの番号に○、参加していない場合は「6」に○)

	1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回	4 月1～3回	5 年に数回	6 参加して いない
① ボランティアのグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教育サークル (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

10/24

問 34 ペットを飼っていますか。(1つの番号に○)

- 1. はい →問 34-1 ハ
- 2. いいえ →問 35 ハ

ペットを飼っていると言えた方におうかがいします。

問 34-1 ペットを飼っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 入院・入所
- 2. 日常の世話
- 3. 緊急時
- 4. 自分以外に世話する人がいない
- 5. その他 ()
- 6. 困っていない

問 35 生きがいがありますか。(1つの番号に○)

- 1. はい →問 35-1 ハ
- 2. 思いつかない →問 36 ハ

生きがいがあると答えた方におうかがいします。

問 35-1 「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 働くこと (自営・家事等も含む)
- 2. 家族の世話や介護
- 3. ご近所や友達とのつきあい
- 4. スポーツ・レクリエーション
- 5. 学習や教養を高めること・趣味の活動
- 6. 町会・自治会の活動
- 7. シニアクラブ (老人クラブ) の活動
- 8. ボランティア活動
- 9. おしゃれや服装のこと
- 10. 家族との回らん
- 11. テレビやラジオの視聴
- 12. 信仰に関すること
- 13. 旅行や買い物などの外出
- 14. 食事をする
- 15. その他 ()

問 36 あなたは、現在の程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください)。(1つの点数に○)

- ← とても不幸 →
- 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
- とても幸せ →

問 37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

9/24

問 47 仕事やこれまでの経験で培った技術、知識を就労やボランティア活動において活かしたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 既に活かしている	→問 49 ハ
2. 活かしたいと思っているが、活かせていない	→問 48-1 ハ
3. 活かしたいと思わない	→問 49 ハ

問 48 市内5か所にある老人福祉センター（60歳以上が対象）を利用したことがありますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に利用している	→問 49 ハ
2. 利用したことはあるが現在は利用していない	→問 48-1 ハ
3. 老人福祉センターを知っているが利用したことがない	→問 49 ハ
4. 老人福祉センターを知らなかった	→問 49 ハ

現在は利用していない、利用したことがないと答えた方におうかがいします。

問 48-1 「利用していない」「利用したことがない」理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 利用したくても家の近くにないから	4. 決まったメンバーの中に入るのは不安だから
2. 魅力的な活動*がないから	5. 身体的理由から外出が困難だから
3. 活動に空きがなかったから	6. その他 ()

* 活動：1～2日/月（例）カラオケ、体操、社交ダンスなどクラブ・サークルとしての活動のことをいいます。

問 49 今後の老人福祉センターに希望することは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 60歳未満でも利用できるようにしてほしい
2. 希望の多い活動に関しては抽選などで公平に利用できるようにしてほしい
3. 新しい講座を開設し、一人でも参加しやすくしてほしい
4. 高齢者だけでなく多世代が交流できる場を設定してほしい
5. その他 ()
6. 特に希望することはなし

たすけあいについてうかがいます。

問 50 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

	1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回	4 月1～3回	5 年に数回	6 参加して いない
⑤ 元気応援くらぶなど 介護予防のための通いの場 (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ (老人クラブ) (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑦ 町会・自治会 (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事 (1つの番号に○)	1	2	3	4	5	6

問 44 会・グループに1つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. どんな活動があるかわからないから	6. 他者と付き合う自信がないから
2. 活動場所が近くにないから	7. 興味がないから
3. 足が悪く、行く手段がないから	8. 利用料の負担が大きすぎるから
4. 活動内容がわからないから	9. コロナ禍で外出・交流を控えているから
5. 参加するきっかけがないから	10. その他 ()

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

企画・運営として参加したい・参加してもよいと答えた方におうかがいします。

問 46-1 活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. グループの運営の仕方がわからない	6. どこにグループがあるのかわからない
2. グループを運営する場所がない	7. 身体的理由から外出が困難
3. 時間的余裕がない	8. 活動に馴染める自信がない
4. 魅力的なグループがない	9. 特になし
5. 行ける範囲にグループが存在しない	

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 近所・同じ地域の人	5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ	6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人	7. その他 ()
4. 仕事での同僚・元同僚	8. いない

問 58 地域共生社会※の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 困っている人への声かけ	6. 趣味や特技を活かした社会貢献
2. 町会・自治会等への参加・協力	7. 話し相手になること
3. 家事支援 (ゴミ出し・草取りなど)	8. その他 ()
4. 地域の安否確認や見守り活動	9. わからない
5. 子育て支援	

※ 地域共生社会とは？
制度・分野ごとの『縦割り』や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

住んでいる地域についてうかがいます。

問 59 あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 非常に思う	4. あまり思わない
2. まあまあ思う	5. 全く思わない
3. どちらともいえない	

問 60 あなたは、ご近所とどのようなつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度のつきあいがしていない
4. つきあいは全くしていない

問 61 あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

1. 避難場所・経路を把握している
2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない
3. どちらも把握していない

問 51 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげてくれる人はいませんか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 52 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいませんか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 53 反対に、看病や世話をしてくれる人はいませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ()
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問 54 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自治会・町内会・シニアクラブ (老人クラブ)	5. 地域包括支援センター・役所・役場
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他 ()
3. ケアマネジャー	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。(1つの番号に○)

1. 0人 (いない)	4. 6~9人
2. 1~2人	5. 10人以上
3. 3~5人	

問 62 避難するにあたり不安はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 避難場所への移動手段がない
2. 避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない
3. 避難場所での生活が不安
4. 持病があるので不安
5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
6. ペットを連れて避難できるか不安
7. その他 ()
8. 不安はない

問 63 最も頼りにしているかかりつけ医療機関*はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にある
2. 市川市・鎌ヶ谷市にある
3. 柏市・流山市にある
4. 我孫子市・野田市にある
5. その他千葉県内にある
6. 千葉県外(都内など)にある
7. かかりつけ医療機関はない

→問 64ハ

→問 63-1ハ

→問 64ハ

※ かかりつけ医とは？

健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

※ かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方におうかがいします。

問 63-1 市外の医療機関にかかる理由はなんですか。(1つの番号に○)

1. 昔からかかっているから
2. 専門医が市内にいないから
3. 距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4. 開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5. 混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6. 家族が同じ医療機関にかかっているから
7. 勤務場所に近いかから
8. その他 ()

問 64 最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにありますか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内にいる
2. 市川市、鎌ヶ谷市にいる
3. 柏市、流山市にいる
4. 我孫子市、野田市にいる
5. その他千葉県内にいる
6. 千葉県外(都内など)にいる
7. かかりつけ歯科医はいない

問 65 かかりつけ(いつも利用する)薬局はありますか。(1つの番号に○)

1. ある
2. ない

認知症に関することについてうかがいます。

問 66 オレンジカフェ(認知症カフェ) *はどこにあれば参加してみたいと思いますか。

(1つの番号に○)

1. 駅の近く
2. 市民センター等身近な公共施設
3. 高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)
4. 近くの喫茶店
5. 自治会館
6. 介護施設
7. 近所の民家や神社等
8. 参加したいと思わない

※ オレンジカフェ(認知症カフェ)とは？

お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場です。

問 67 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2. 認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3. 「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4. 認知症サポーター(認知症の方や家族を見守る人)など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5. 徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6. 成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7. 認知症の本人のつどい(当事者ミーティング)
8. 就労など若年性認知症の方への支援
9. 認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10. 認知症についての相談場所の周知
11. わからない

介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

問 68 介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等も利用できることを知っていましたか。（1つの番号に○）

- 1. 知っていた
- 2. 知らなかった

問 69 以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。（①～③それぞれのサービスごとに1つの番号に○）

① 訪問型元気応援サービス (生活支援コース) ※1	1. 利用したことがある 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
② 訪問型元気応援サービス (困りごとコース) ※2	1. 利用したことがある 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない
③ 短期集中予防サービス (いきいきトレーニング) ※3	1. 利用したことがある 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

※1 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）とは？
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。

※2 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）とは？
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。

※3 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）とは？
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6か月程度で機能の改善を目指すサービスです。

問 70 介護状態にならないためには、どのようなサービスや仕組みが充実するとよいと思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

- 1. 軽度者向けのデイサービス
- 2. 通いの場（元気応援くらぶ等）や地域活動などの社会参加
- 3. リハビリ専門職からの助言
- 4. 高齢者でも就労できる場
- 5. ボランティア活動
- 6. 個人でできる取り組み（健康体操や、食生活の改善等）

17/24

問 71 あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（1つの番号に○）

- 1. 利用している → 問 71-1・2ハ
- 2. 利用していない → 問 71-3ハ

介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。

問 71-1 次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるものすべての番号に○）

- 1. 訪問介護（ホームヘルプ）
- 2. 通所介護（デイサービス）
- 3. 訪問看護
- 4. 訪問入浴介護
- 5. 通所リハビリテーション（デイケア）
- 6. 訪問リハビリテーション
- 7. 短期入所（ショートステイ）
- 8. 認知症対応型通所介護
- 9. 訪問診療（医師の訪問）
- 10. 訪問診療（歯科医師の訪問）
- 11. （看護）小規模多機能型居宅介護
- 12. 医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
- 13. 歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導（居宅療養管理指導）
- 14. 薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
- 15. 福祉用具貸与
- 16. 福祉用具購入
- 17. 住宅改修
- 18. 訪問型元気応援サービス（生活支援コース・困りごとコース）
- 19. 通所型元気応援くらぶ（住民主体の通いの場）
- 20. その他（ ）

介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。

問 71-2 介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるものすべての番号に○）

- 1. 自分で身の回りのことができるようになった
- 2. 意欲が出てきた
- 3. 体調が良くなった
- 4. 精神的ストレスが減った
- 5. 家族に対する気兼ねが減った
- 6. 外出する機会が増えた
- 7. 自分で身の回りのことをしなくなった
- 8. 意欲がなくなった
- 9. 精神的ストレスが増えた
- 10. 家族に対する気兼ねが増えた
- 11. 外出する機会が減った
- 12. その他（ ）
- 13. 特に変化はない

→ 問 72 ハ お進みください

18/24

問 73 あなた自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 自宅で家族中心に介護を受けたい →問 73-1・2ハ

2. 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい

3. 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい

4. サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい →問 73-3ハ

5. 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい

6. その他 ()

7. わからない →問 74ハ

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 73-1 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 在宅で十分な介護が受けられると思うから 6. 施設に入るだけの経済的余裕がないから

2. 現在の住まいで生活を続けたいから 7. 施設を利用することに抵抗を感じるから

3. 施設で他人の世話になるのはいやだから 8. 具体的に施設を知らず、不安だから

4. 他人との共同生活はしたくないから 9. その他 ()

5. 施設では自由な生活ができないから 10. わからない

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 73-2 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。(1つの番号に○)

1. 家族だけに介護されたい

2. 家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい

3. ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい

4. ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい

5. その他 ()

6. わからない

→問 74ハお進みください

外部の介護を受けたいと答えた方におうかがいします。

問 73-3 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。(1つの番号に○)

1. 家族がいらないから

2. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから

3. 家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから

4. 家族に負担をかけたくないから

5. 専門的な介護が受けられるから

6. 緊急時に対応の面で安心だから

7. 在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから

8. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから

9. その他 ()

10. わからない

介護保険サービス等を利用していないと答えた方におうかがいします。←

問 71-3 あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自分でまだできるから 6. 利用料の負担が大きいから

2. 利用したいサービスがないから 7. 介護保険以外のサービスを利用しているから

3. 病院に入院しているから 8. その他 ()

4. 家族等の介護で十分だから 9. わからない

5. 他人に介護されるのが嫌だから 10. 特になし

問 72 以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。(①～③それぞれサービスの番号に○)

① 小規模多機能型居宅介護※1	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わさること、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要に応じて提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

問 74 今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどうか考えますか。(1つの番号に○)

1. 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2. 現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引上げられなくてもやむを得ない
3. 保険料負担の引上げを上記1よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4. 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5. わからない

権利擁護・成年後見制度についてうかがいます。

問 75 あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2. 成年後見制度
3. 市民後見人の活動
4. 高齢者虐待の通報・相談窓口
5. テラス
6. クーリングオフ制度
7. いずれも知らない

問 76 あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 77 あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 78 あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
5. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 79 虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3. 虐待の通報先の広報
4. 児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6. 虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7. その他（ ）

問 80 成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていますか。また、必要になったときに利用したいですか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 知っており利用してみたい
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知っていたが利用する予定はない
5. 知らなかったし利用する予定はない

市の高齢者施策についてうかがいます。

問 81 福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていますか。また、利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 名称や内容は知っており利用してみたい
3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
5. 名称や内容は知らなかったし利用したいと思わない

問 82 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 名称は知っている
2. どこにあるか知っている
3. 日常生活圏域ごとに一箇所あること
4. 介護に関する相談窓口であること
5. 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6. 認知症に関する相談窓口であること
7. 権利擁護に関する相談窓口であること
8. 成年後見制度に関する相談窓口であること
9. 総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10. 要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること
11. いずれも知らない

問 83 松戸市では、在宅医療[※]と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていますか。(1つの番号に○)

1. 知っていた
2. 知らなかった

※ 在宅医療とは？
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職等が連携し、自宅で医療を提供することです。

介護に関することについてうかがいます。

問 86 以下のケアに関する用語のうち、名称・内容とも知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. ケアラール※1
 - 2. ヤングケアラー※2
 - 3. ダブルケア※3
 - 4. いずれも知らない
- ※1 ケアラールとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
- ※2 ヤングケアラーとは？
大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている18歳未満の子どものことをいいます。
- ※3 ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和4年12月13日（火）までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力いただきありがとうございます。

問 84 在宅医療を利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

- 1. すでに利用している → 問 84-1 へ
- 2. 利用してみたい → 問 84-2 へ
- 3. 利用したいと思わない → 問 84-2 へ
- 4. わからない

在宅医療をすでに利用していると答えた方におうかがいします。

- 問 84-1 在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)
- 1. 病気・状態により主治医が対応できないことがあった (主治医がみつからなかった)
 - 2. 夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
 - 3. 自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまったり
 - 4. 医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていないかった
 - 5. 必要な検査ができなかった
 - 6. その他 ()
 - 7. 特になし

→ 問 85 へお進みください

在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと答えた方におうかがいします。

- 問 84-2 在宅医療を利用するとしたら不安を感じることはありませんか。(あてはまるすべての番号に○)
- 1. 往診してくれない医師がどこにいるの
 - 2. 病気や状態により医師がみつからない
 - 3. 医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
 - 4. 訪問看護の体制が整っていない
 - 5. 医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
 - 6. その他 ()
 - 7. わからない
 - 8. 症状が急変したときの対応に不安がある
 - 9. 検査が十分に行えない
 - 10. 特になし

問 85 松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 広報まつど (毎月1日及び15日に発行されている情報誌)
- 2. 松戸市公式ホームページ
- 3. 市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
- 4. 介護ナビ・まつど (介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子)
- 5. 生活カタログ市民便利帳 (全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子)
- 6. ながいき手帳 (市独自の高齢者向けサービス (福祉・介護・保健等の施策) が掲載されている冊子)
- 7. まつど医療機関マップ (市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子)
- 8. 松戸市医師会医療機関ハンドブック (各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と住診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子)
- 9. 松戸歯科医師会のホームページ
- 10. その他 ()
- 11. いずれも知らない

5. 要介護認定者（重度）調査 調査票

問3 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和3年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満	6. 250～300万円未満	11. 700～800万円未満
2. 50～100万円未満	7. 300～400万円未満	12. 800～900万円未満
3. 100～150万円未満	8. 400～500万円未満	13. 900～1,000万円未満
4. 150～200万円未満	9. 500～600万円未満	14. 1,000～1,200万円未満
5. 200～250万円未満	10. 600～700万円未満	15. 1,200万円以上

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つの番号に○）

1. 大変苦しい	4. ややゆとりがある
2. やや苦しい	5. 大変ゆとりがある
3. ふつう	

問5 あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（1つの番号に○）

1. 持家（一戸建て）	5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
2. 持家（集合住宅）	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他（ ）
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つの番号に○）

1. 介護・介助は必要ない	→問7△
2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→問6-1・2△
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けていない家族などの介護・介助を受けている場合も含む）	→問6-1・3△

現在、介護・介助が必要だが現在は受けていない、または介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。

問6-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	9. 腎疾患（透析）
2. 心臓病	10. 視覚・聴覚障害
3. がん（悪性新生物）	11. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気（肺炎等）	12. 腎臓損傷
5. 関節の病気（リウマチ等）	13. 高齢による衰弱
6. 認知症（アルツハイマー病等）	14. その他（ ）
7. パーキンソン病	15. 不明
8. 糖尿病	

WEB（インターネット）で回答する場合は、右のログインID・パスワードにて回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
要介護認定者（重度）調査票

この調査票を記入されるのはどなたですか。（1つの番号に○）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみた続柄：（ ）
3. その他（ ）

これ以降の「あなた」は、あて名のご本人についておうかがいます。

あなた（あて名のかた）のご家族や生活状況についておうかがいます。

問1 家族構成を教えてください。（1つの番号に○）

1. 1人暮らし	4. 息子・娘との2世帯
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	5. その他（3世帯を含む）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	

問2 家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（1つの番号に○）

1. 自室からは出るが、家からは出ない	→問2-1△
2. 自室からほとんど出ない	→問3△
3. 該当する方はいない	

家族の中に家から出ない、自室からほとんど出ない方がいると答えた方におうかがいします。

問2-1 その方の年齢はいくつですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 18歳未満	4. 65歳～74歳
2. 18歳～39歳	5. 75歳以上
3. 40歳～64歳	

→介護・介助が必要だが現在は受けていないと答えた方におうかがいします。
 問6-2 あなたが介護・介助を受けていない理由を教えてください。
 (あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護・介助をお願いできる人が周りにいないから
 2. 他人に介護・介助されるのが嫌だから
 3. 介護サービスの利用方法がわからないから
 4. 介護サービスを利用したいが相談先がわからないから
 5. 利用したい介護サービスがないから
 6. その他 ()
 7. わからない
 8. 特にない

→問7へお進みください

介護・介助を受けていると答えた方におうかがいします。
 問6-3 主にどなたに介護・介助を受けていますか。(1つの番号に○)

1. 配偶者(夫・妻)
 2. 息子
 3. 娘
 4. 子の配偶者 ()
 5. 孫
 6. 兄弟・姉妹
 7. 介護サービスのヘルパー
 8. その他 ()

あなた(あて各のかた)の身体状況についてうかがいます。

問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つの番号に○)

1. とてもよい
 2. まあよい
 3. あまりよくない
 4. よくない

問8 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ない
 2. 高血圧
 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
 4. 心臓病
 5. 糖尿病
 6. 高脂血症(脂質異常)
 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
 9. 腎臓・前立腺の病気
 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
 11. 外傷(転倒・骨折等)
 12. がん(悪性新生物)
 13. 血液・免疫の病気
 14. うつ病
 15. 認知症(アルツハイマー病等)
 16. パーキンソン病
 17. 目の病気
 18. 耳の病気
 19. その他 ()

問9 あなたは1年以内に、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた
 2. 受けていない

問10 あなたは1年以内に、歯科健診を受けましたか。(1つの番号に○)

1. 1年以内に受けた(市の無料の成人歯科健診等)
 2. 1年以内に受けた(1以外の健診)
 3. 受けていない

問11 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つの番号に○)
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用なし
 2. 1. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用なし
 3. 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用あり
 2. 1. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用あり
 3. 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用なし
 2. 1. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用あり

入れ歯を利用していると答えた方におうかがいします。

問11-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つの番号に○)

1. はい
 2. いいえ

問12 なんでもよく噛めますか。(1つの番号に○)

1. はい
 2. いいえ

問13 耳の聞こえに関して感じて感じることはありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 話し声が大きいと言われる
 2. 会話をしている時に聞き返すことがよくある
 3. 数人の会話でうまく聞き取れないことがある
 4. 会話の中でうまく聞き取れない場合に、推測で判断することがある
 5. テレビの音量が大きいと家族に言われることがよくある
 6. 特に感じることはない

食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

問14 歯磨き(人にやってもらった場合も含む)を毎日していますか。(1つの番号に○)

1. はい
 2. いいえ

問15 お酒は飲みますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日飲む
 2. 時々飲む
 3. ほとんど飲まない
 4. もともと飲まない

問16 タバコは吸っていますか。(1つの番号に○)

1. ほぼ毎日吸っている
 2. 時々吸っている
 3. 吸っていたがやめた
 4. もともと吸っていない

→ いずれも行ったことがないと答えたい方がおられます。 (あてはまるものすべての番号に○)

問 23-1 行ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 参加できる教室、講演会、交流会等についての情報がわからない
2. オンラインでの教室、講演会、交流会に参加したいが、スマートフォン・タブレットの操作方法がわからない
3. オンラインの活用に興味・必要性を感じない
4. スマートフォン・タブレットを所持していない

問 24 パットを飼っていますか。(1つの番号に○)

1. はい	→問 24-1へ	2. いいえ	→問 25へ
-------	----------	--------	--------

パットを飼っているとき、困っていることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

問 24-1

1. 入院・入所
2. 日常の世話
3. 緊急時
4. 自分以外に世話する人がいない
5. その他 ()
6. 困っていない

問 25 生きがいがありますか。(1つの番号に○)

1. はい	→問 25-1へ	2. 思いつかない	→問 26へ
-------	----------	-----------	--------

生きがいがあると感じていることは、どんなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

問 25-1

1. 働くこと (自営・家事等も含む)
2. 家族の世話や介護
3. ご近所や友達とのつきあい
4. スポーツ・レクリエーション
5. 学習や教養を高めること・趣味の活動
6. 町会・自治会の活動
7. シニアクラブ (老人クラブ) の活動
8. ボランティア活動
9. おしゃれや服装のこと
10. 家族との団らん
11. テレビやラジオの視聴
12. 信仰に関すること
13. 旅行や買い物などの外出
14. 食事をする
15. その他 ()

問 26 あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください)。(1つの点数に○)

← とても不幸	とても幸せ →
0点	1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 27 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 17 どなたかと食事をする機会がありますか。(1つの番号に○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問 18 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つの番号に○)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問 19 転倒に対する不安は大きいですか。(1つの番号に○)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問 20 週に1回以上は外出していますか。(1つの番号に○)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

問 21 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つの番号に○)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問 22 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他 ()

問 23 スマートフォンやタブレットを活用し、無料通話アプリ (例: LINE等) を使用したことや、オンラインでの講演会や教室、交流会へ参加したことはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

毎日の生活についてうかがいます。

1. 無料通話アプリ (LINE等) を使用して、家族、友人等と連絡を取り合っている
2. オンライン上で、講演会、交流会等に参加したことがある
3. 上記1、2いずれも行ったことがない

→問 24へ
→問 23-1へ

問28 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○)

- 1. はい
- 2. いいえ

問29 あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物(宅配は含まない)
- 5. ごみ出し
- 6. 外出同行(通院、買い物など)
- 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
- 8. 見守り・声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他()
- 11. 利用していない

たすけあいについてうかがいます。

問30 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 自治会・町内会・シニアクラブ(老人クラブ)
- 2. 社会福祉協議会・民生委員
- 3. ケアマネジャー
- 4. 医師・歯科医師・看護師
- 5. 地域包括支援センター・役所・役場
- 6. その他()
- 7. そのような人はいない

住んでいる地域についてうかがいます。

問31 あなたは現在住んでいる地域にいつまでも住み続けたいと思いますか。(1つの番号に○)

- 1. 非常に思う
- 2. まあまあ思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思わない
- 5. 全く思わない

問32 あなたは、ご近所とどのようなつきあいをしていますか。(1つの番号に○)

- 1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
- 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
- 3. あいさつ程度のつきあひしかしていない
- 4. つきあひは全くしていない

問33 あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つの番号に○)

- 1. 避難場所・経路を把握している
- 2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない
- 3. どちらも把握していない

問34 避難するにあたり不安はありませんか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 避難場所への移動手段がない
- 2. 避難場所への移動にあたり協力を得られない人がいない
- 3. 避難場所での生活が不安
- 4. 持病があるので不安
- 5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
- 6. ペットを連れて避難できるか不安
- 7. その他()
- 8. 不安はない

問35 最も頼りにしているかかりつけ医療機関※はどこにありますか。(1つの番号に○)

- 1. 松戸市内にある →問36へ
- 2. 市川市・鎌ヶ谷市にある
- 3. 柏市・流山市にある
- 4. 我孫子市・野田市にある →問35-1へ
- 5. その他千葉県内にある
- 6. 千葉県外(都内など)にある
- 7. かかりつけ医療機関はない →問36へ

※ かかりつけ医とは？
健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

かかりつけ医療機関が松戸市以外にあると答えた方におうかがいします。

問35-1 市外の医療機関にかかる理由は何ですか。(1つの番号に○)

- 1. 昔からかかっているから
- 2. 専門医が市内にいないから
- 3. 距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
- 4. 開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
- 5. 混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
- 6. 家族が同じ医療機関にかかっているから
- 7. 勤務場所に近いかから
- 8. その他()

問36 最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにありますか。(1つの番号に○)

- 1. 松戸市内にいる
- 2. 市川市、鎌ヶ谷市にいる
- 3. 柏市、流山市にいる
- 4. 我孫子市、野田市にいる
- 5. その他千葉県内にいる
- 6. 千葉県外(都内など)にいる
- 7. かかりつけ歯科医はいない

介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。
問 40-1 次のような在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 訪問介護 (ホームヘルプ)
2. 通所介護 (デイサービス)
3. 訪問看護
4. 訪問入浴介護
5. 通所リハビリテーション (デイケア)
6. 訪問リハビリテーション
7. 短期入所 (ショートステイ)
8. 認知症対応型通所介護
9. 訪問診療 (医師の訪問)
10. 訪問診療 (歯科医師の訪問)
11. (看護) 小規模多機能型居宅介護
12. 医師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)
13. 歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導 (居宅療養管理指導)
14. 薬剤師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)
15. 福祉用具貸与
16. 福祉用具購入
17. 住宅改修
18. 訪問型元氣応援サービス (生活支援コース・困りごとコース)
19. 通所型元氣応援くらぶ (住民主体の通いの場)
20. その他 ()

介護保険サービス等を利用していると答えた方におうかがいします。
問 40-2 介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自分で身の回りのことができるようになった
2. 意欲が出てきた
3. 体調が良くなった
4. 精神的ストレスが減った
5. 家族に対する気兼ねが減った
6. 外出する機会が増えた
7. 自分で身の回りのことをしなくなった
8. 意欲がなくなった
9. 精神的ストレスが増えた
10. 家族に対する気兼ねが増えた
11. 外出する機会が減った
12. その他 ()
13. 特に変化はない

→問 41 へお進みください

10/16

問 37 かかりつけ (いつも利用する) 薬局はありますか。(1つの番号に○)

1. ある
2. ない

認知症に関することについてうかがいます。

問 38 オレンジカフェ (認知症カフェ) *がどこにあれば参加してみたいと思いますか。
(1つの番号に○)

1. 駅の近く
2. 市民センター等身近な公共施設
3. 高齢者いきいき安心センター (地域包括支援センター)
4. 近くの喫茶店
5. 自治会館
6. 介護施設
7. 近所の民家や神社等
8. 参加したいと思わない

* オレンジカフェ (認知症カフェ) とは?

お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場です。

問 39 松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2. 認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3. 「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4. 認知症サポーター (認知症の方や家族を見守る人) など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5. 徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6. 成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7. 認知症の本人のつどい (当事者ミーティング)
8. 就労など若年性認知症の方への支援
9. 認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10. 認知症についての相談場所の周知
11. わからない

介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

問 40 あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。(1つの番号に○)

1. 利用している
2. 利用していない

→問 40-1・2へ

→問 40-3へ

9/16

介護保険サービス等を利用していないと答えた方におうかがいします。←

問 40-3 あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 自分でまだできるから	6. 利用料の負担が大きいから
2. 利用したいサービスがないから	7. 介護保険以外のサービスを利用しているから
3. 病院に入院しているから	8. その他（ ）
4. 家族等の介護で十分だから	9. わからない
5. 他人に介護されるのが嫌だから	10. 特にならない

問 41 以下の①～③のサービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。①～③それぞれのサービスごとに1つの番号に○

① 小規模多機能型居宅介護※1	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. すでに利用している 2. 名称や内容は知っており利用してみたい 3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい 4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない 5. 名称や内容は知らなかったが利用したいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせること、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができるとする介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスが必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

問 42 あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（1つの番号に○）

1. 自宅を家族中心に介護を受けたい	→問 42-1・2ハ
2. 自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	→問 42-3ハ
3. 家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	→問 43ハ
4. サービス付き高齢者向け住宅などに住み替えて介護を受けたい	
5. 特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい	
6. その他（ ）	
7. わからない	

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 42-1 あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1. 在宅で十分な介護が受けられると思うから	6. 施設に入るだけの経済的余裕がないから
2. 現在の住まいで生活を続けたいから	7. 施設を利用することに抵抗を感じるから
3. 施設で他人の世話になるのはいやだから	8. 具体的に施設を知らず、不安だから
4. 他人との共同生活はしたくないから	9. その他（ ）
5. 施設では自由な生活ができないから	10. わからない

自宅で介護を希望と答えた方におうかがいします。

問 42-2 その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（1つの番号に○）

1. 家族だけに介護されたい
2. 家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3. ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4. ホームヘルパーなどの外部の介護を受けたい
5. その他（ ）
6. わからない

→問 43ハお進みください

外部の介護を受けたいと答えた方におうかがいします。

問 42-3 あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1. 家族がいらないから
2. 家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3. 家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4. 家族に負担をかけたくないから
5. 専門的な介護が受けられるから
6. 緊急時に対応の面で安心だから
7. 在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9. その他（ ）
10. わからない

問 43 今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどうか考えますか。(1つの番号に○)

1. 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2. 現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引上げられなくてもやむを得ない
3. 保険料負担の引上げを上記1よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4. 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5. わからない

権利擁護・成年後見制度についてうかがいます。

問 44 あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2. 成年後見制度
3. 市民後見人の活動
4. 高齢者虐待の通報・相談窓口
5. 法テラス
6. クーリングオフ制度
7. いずれも知らない

問 45 あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 46 あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問 47 あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また、参加してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っており参加したことがある
2. 知っており参加してみたい
3. 知らなかったが参加してみたい
4. 知らなかったし、参加してみたいと思わない
5. 知っていたが参加してみたいと思わない

問 48 虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2. 地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3. 虐待の通報先の広報
4. 児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5. 市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6. 虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7. その他（ ）

問 49 成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 知っており利用してみたい
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知っていたが利用する予定はない
5. 知らなかったし利用する予定はない

市の高齢者施策についてうかがいます。

問 50 福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. 知っておりすでに利用している
2. 名称や内容は知っており利用してみたい
3. 名称や内容は知らなかったが利用してみたい
4. 名称や内容は知っていたが利用したいと思わない
5. 名称や内容は知らなかったし利用したいとも思わない

問 51 高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 名称は知っている
2. どこにあるか知っている
3. 日常生活圏域ごとに一箇所あること
4. 介護に関する相談窓口であること
5. 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6. 認知症に関する相談窓口であること
7. 権利擁護に関する相談窓口であること
8. 成年後見制度に関する相談窓口であること
9. 総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10. 要支援1・2と認定された方への支援を行うところであること
11. いずれも知らない

問 52 松戸市では、在宅医療*と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。(1つの番号に○)

1. 知っていた
2. 知らなかった

*在宅医療とは？
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職等が連携し、自宅で医療を提供することです。

問 53 在宅医療を利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. すでに利用している → 問 53-1A

2. 利用してみたい → 問 53-2A

3. 利用したいと思わない → 問 53-2B

4. わからない → 問 53-2C

→ 在宅医療をすでに利用していると考えた方におうかがいします。

問 53-1 在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 病気・状態により主治医が対応できないことがあった(主治医がみつからなかった)
2. 夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
3. 自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまった
4. 医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていないかった
5. 必要な検査ができなかった
6. その他 ()
7. 特にない

→ 問 54へお進みください

在宅医療を利用してみたい、利用したいと思わない、わからないと考えた方におうかがいします。
 問 53-2 在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 往診してくれる医師がどこにいるのかわからない
2. かかりつけ医が在宅医療に対応していない
3. 訪問看護の体制が整っていない
4. 症状が急変したときの対応に不安がある
5. 検査が十分にできるか不安がある
6. 病気や状態によっては対応できる医師がみつからない
7. 医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
8. その他 ()
9. わからない
10. 特にない

問 54 松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 広報まつど (毎月1日及び15日に発行されている情報誌)
2. 松戸市公式ホームページ
3. 市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4. 介護なび・まつど(介護保険サービスの事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子)
5. 生活カタログ市民便覧帳(全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子)
6. ながいき手帳(市独自の高齢者向けサービス(福祉・介護・保健等の施策)が掲載されている冊子)
7. まつど医療機関マップ(市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子)
8. 松戸市医師会医療機関ハンドブック(各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子)
9. 松戸歯科医師会のホームページ
10. その他 ()
11. いずれも知らない

介護に関することについてうかがいます。

問 55 以下のケアに関する用語のうち、名称・内容とも知っているものはどれですか。
 (あてはまるものすべての番号に○)

1. ケアラ—※1
2. ヤングケアラ—※2
3. ダブルケア※3
4. いずれも知らない

※1 ケアラとは？

介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。

※2 ヤングケアラーとは？

大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話を行っている18歳未満の子どものことをいいます。

※3 ダブルケアとは？

育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。

記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
令和4年12月13日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

いきいき安心プランⅧまつど
(第10期松戸市高齢者保健福祉計画・第9期松戸市介護保険事業計画)

策定のためのアンケート調査報告書
(市民アンケート調査編)

令和6年3月

発行  松戸市

〒271-8588

千葉県松戸市根本387番地の5

TEL 047-366-1111 (代表)

編集 松戸市 福祉長寿部
高齢者支援課・地域包括ケア推進課・介護保険課
